

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

# 日本美術年鑑

平成 12 年版 (1999.1—12)

独立行政法人文化財研究所

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES  
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITOKU, TOKYO

## 序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和11年に当研究所美術部の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行された。この出版事業は、昭和28年に美術研究所が東京国立文化財研究所となっても変わることなく受けつがれてきた。平成13年4月、当研究所は、国の行政改革により独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められ、それにともない組織の一部も改組した。したがって今回は、その第57冊目になると同時に、東京文化財研究所として、最初の刊行となる。

この平成12年版は、平成11年(1999年1月～12月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集している。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承しているが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも、調査・採録すべき事項が急増しており、当研究所の年鑑編集能力は限界に近づきつつある。したがって各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状である。そのため、今回、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を再精査した結果、一部構成をあらためることにした。これにより、より美術界、および美術史等の研究動向をたどるうえで、この年鑑がこれまで以上に活用されるようになればと願っている。

なお、この年鑑の編集には、美術部黒田記念近代現代美術研究室と同部日本東洋美術研究室とが当たり、情報調整室の協力を得た。資料を提供して下さった多くの方々、公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げます。

平成14年3月

東京文化財研究所

所長 渡邊明義

## 凡 例

1. 本年鑑は、平成11年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
2. 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
3. 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。建築、写真、漫画、書はわれわれの注意をひく範囲にとどめた。
4. 人名を記す場合は、すべて敬称をはぶいた。
5. 「美術展覧会」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」と「東洋古美術」の区分を廃し、「企画展」「作家展」「団体展」の3つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。今回の改定は、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。

なお、「企画展」は、近現代美術における企画性の高い展覧会を中心とし、従来「東洋古美術」に区分した展覧会すべてを指す。「作家展」は、近代以降、現在まで活動する作家を主題とした展覧会、および小人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される主要な公募を原則とする展覧会を指す。
6. 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所在所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。
7. 「美術文献目録」の欄は、本年鑑より「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を新たに設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。
8. 本年鑑は、田中淳(美術部黒田記念近代現代美術研究室長)を編集主任とし、山梨絵美子(同部主任研究官)を中心にして、鈴木廣之(同部日本東洋研究室長)と勝木言一郎(同部主任研究官)が編集作業に当たった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の登録管理については情報調整室の協力を得た。

なお、本年鑑の編集に当たっては、井上聡美、杓沢耕介、谷口英理、塚本陽子、福永知代、本田論の6君の献身的な編集補助を得たので、ここに記しておきたい。

目次

序 .....	i
凡 例 .....	iii
目 次 .....	iv
平成 11 年美術界年史 .....	1
美術展覧会 .....	7
企 画 展 .....	7
作 家 展 .....	22
团 体 展 .....	38
美術文献目録 .....	41
凡 例 .....	41
定期刊行物所載文献 .....	47
目 次 .....	47
美術展覧会図録所載文献 .....	219
企 画 展 .....	219
作 家 展 .....	235
物 故 者 .....	249

## 平成11年美術界年史

## 1 月

- 1998年度朝日賞受賞者決定 わが国の文化・社会の発展に多大な貢献をした個人・団体に贈られる朝日賞受賞者を選ぶ財団法人朝日新聞文化財団と朝日新聞社の選考委員会(委員長・松下宗之同財団理事長、同社社長)は、1998年度の受賞者5氏を決定した。美術関係では美術史家山根有三が、『山根有三著作集』完結にいたる日本美術史、とくに中世、近世絵画史における功績によって、そして陶芸家鈴木治が、『走泥社』を長年運営し陶芸界に新しい領域を開いた功績によって、それぞれ受賞。贈呈式は21日、東京日比谷の帝国ホテルで行われた。これで第1回以来の同賞受賞者は377人、25団体となった。
- メディア芸術祭大賞決定 文化庁は、コンピュータグラフィックス(CG)やアニメなど新しい分野の芸術作品を対象に昨年度創設された「メディア芸術祭」の受賞作品を決定した。アニメーション部門、マンガ部門、デジタルアート・インタラクティブ部門、デジタルアート・ノンインタラクティブ部門の4部門からなり、マンガ部門大賞に「坂本龍馬」(黒鉄ヒロシ)をはじめ、大賞、優秀賞が決定した。授賞式は、2月26日、新国立劇場小劇場で行われた。
- 第39回毎日芸術賞受賞者決定 優れた芸術活動をした個人・団体を顕彰する1998年度の第39回毎日芸術賞は、6氏(内1氏が、このほど千田是也の遺族からの寄託により新設された千田是也賞)に贈られることになった。美術関係では、彫刻家村岡三郎(「村岡三郎展」の成果に対し)、陶芸家樂吉左衛門(「樂茶碗の四〇〇年 伝統と創造展」の成果に対して)に贈られ、贈呈式が29日、東京会館で行われた。

## 2 月

- 大分市美術館開館 17日、大分市美術館が開館した。延べ床面積9,036平方メートル、地上2階建て、常設展示室4室、企画展示室2室などの施設をもつ。これまで近世絵画から現代美術まで約1,000点を収

集、開館記念展には「田能村竹田と上方文化—絵画に見る」展を開催した。

- 第6回VOCA賞受賞者決定 平面美術の分野で国際的に通用する若手作家を支援するVOCA展(同展実行委員会、財団法人日本美術協会、上野の森美術館主催)の最高賞であるVOCA賞は、やなぎみわ「案内嬢の部屋B4」に決定した。奨励賞には、石川順恵、高柳恵里、堂本右美、平町公が選ばれた。
- セゾン美術館閉館 西武美術館として75年9月開館の同美術館(東京池袋)は、「アルヴァー・アールト」展を最後に22日に閉館した。開館記念展「日本現代美術の展望」以来、25年間に260の企画展を開催して、入場者が900万人にのぼった同美術館は、つねに先駆的で、多彩な展覧会を企画して活動してきたが、運営母体のリストラにより閉館となった。今後、同美術館のスタッフの一部は、「セゾン・アート・プログラム」として、独自の会場をもたずに、現代美術を中心に活動をつづけることになった。
- ドラクロワ「民衆を導く自由の女神」(ルーヴル美術館蔵)公開 日仏の国宝級交換展示により同作品が、東京国立博物館で26日より、特別展観(文化庁等主催)の一般公開がはじまった。これは、「日本におけるフランス年」の一環として開催されたもので、日本では初公開となった。
- 文化庁予算決まる 平成11年度の文化庁予算は、前年度比1.7%減の805億400万円とすることが決まった。長期にわたる経済情勢の悪化のため、2年連続、前年比マイナスとなった。

## 3 月

- 福岡アジア美術館開館 アジアの近代、現代美術を専門に収集展示する施設として世界で最初となる同美術館が、6日、福岡市博多区に開館した。複合商業ビル博多マリパレインの7、8階を施設として利用し、延べ床面積は9,785平方メートル、開館記念展としてアジアの21ヶ国、地域の作家が参加した「第1回福岡アジア美術トリエンナーレ1999」を開催した。
- 島根県立美術館開館 宍道湖畔に建設がすすめられていた島根県立美術館が、6日、島根県松江市に開館し

た。絵画、版画、工芸、写真、彫刻の5展示室をもち、ほかにアートルイブラリー、ミュージアムショップなどの施設を有している。開館記念展には、「水の物語 ヨーロッパ絵画にみる神話と象徴」展を開催した。

- 日本学士院賞決定** 日本学士院(藤田良雄院長)は、12日、総会を開き、学術の分野で優れた業績をあげた9件10人に平成11年度の同院賞を贈ることを決め、公表した。美術関係では、佐々木丞平(京都大学大学院教授)、佐々木正子(日本画家)による共同研究「円山応挙研究」に対して贈られた。
- 芸術選奨受賞者決定** 芸術の分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人々に贈られる芸術選奨の受賞者が、17日文化庁から発表された。美術関係では、小野具定(85)、「記憶の風景 2・26の午後」、染色家三浦景生(82)、「染めの詩 三浦景生展」が文部大臣賞、また庭園デザイナー榎野俊明(46)、「麴町会館の青山緑水の庭」が新人賞を受賞した。
- 日本芸術院賞受賞者決定** 日本芸術院(犬丸直院長)は、19日、芸術の各分野で顕著な功績のあった人に贈る平成10年度の日本芸術院賞受賞者を決定した。恩賜賞・日本芸術院賞の第1部(美術)受賞者には、陶芸家西本瑛泉(71)(日展出品作「玄窯縄文譜『黎明』」に対し)、日本芸術院賞には洋画の島田章三(65)(国展出品作「駅の人たち」に対し)、彫塑の山田良定(67)(日展出品作「開幕の刻」に対し)、書の日比野光鳳(70)(日展出品作「花」に対し)、建築の伊東豊雄(57)、「大樹海ドーム」設計に対し)が選ばれた。授賞式は6月7日に東京上野の日本芸術院会館で行われた。
- 重要文化財(建造物)指定** 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は、19日、日本橋(東京中央区)など11件の建造物を重要文化財に指定し、1件の街並みを重要伝統的建造物群保存地区に、49件の建造物を登録有形文化財に指定するよう有馬朗人文相に答申した。
- 「新国立美術展示施設(ナショナルギャラリー)」(仮称)の基本計画策定** 文化庁長官の私的諮問機関「新しい美術展示施設に関する基本計画検討協力者会議」(座長・平山郁夫日本美術院理事長)は、30日、基本計画をまとめ、林田英樹長官に提出した。基本計画によると、日展をはじめとする公募展や企画展の開催を目的とし、2000年度末に移転する東京・六本木の東大生産技術研究所などの跡地を建設場所にあて、14,000平方メートルの展示面積をもつ展示専用施設として2006年度の開館を目指す。
- 登録美術品、初の認定** 文化庁は、30日、98年12月に施行された「美術品の美術館における公開の促進に関する法律」(美術品公開促進法)に基づく登録工芸品5件を発表した。同法は、指定文化財や世界的な価値を持つ私蔵美術品を国に登録して、一般公開を促進することを定めた法律で、その第一号として、パリ万博

(1888年)出品のために制作された「菊花文飾壺」(二代横山弥左衛門作)など5件が決定、所有者と東京国立近代美術館、高岡市美術館がそれぞれ公開のための契約を結び、両美術館で公開されることになった。

## 4 月

- 「東アジア/絵画の近代一油画の誕生とその展開」展開** 日本を含む、中国、韓国、台湾などの東アジアの近代化と西洋化の推移を検証しようとする同展が、10日から静岡県立美術館で開催された。東アジアの各地域の「油画」193点によって構成された同展は、モダニズムの受容と固有性の主張を比較できる機会となり、貴重なところみであった。(会期、5月23日まで。以後同展は、兵庫県立近代美術館など4美術館を巡回した。)
- 名古屋ポストン美術館開館** 米国ポストン美術館の姉妹館となる名古屋ポストン美術館が、愛知県名古屋市中区に完成し、16日開館式典を開催した。同美術館は、今後、ポストン美術館の所蔵作品から選んだ作品をもとに、年に2回の企画展と5年ごとの常設展示で活動をつづけることになった。開館記念展は、「モネ、ルノワールと印象派」展を開催した。
- 国宝・重要文化財指定** 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は、16日、藤原為家が紀貫之の自筆原本を忠実に書き写した古写本「土佐日記」(大阪府箕面市、大阪青山学園)など4件を国宝に、黒田清輝の「湖畔」(東京国立文化財研究所保管)など36件を重要文化財に指定するよう有馬朗人文相に答申した。また、「日本工業倶楽部会館」(東京都千代田区)など文化財建造物113件を登録有形文化財に新規登録するよう答申した。
- 第28回現代日本美術展大賞決定** 23日から東京都美術館(東京上野)で開かれた同展は、155点の入選作から大賞に古川勝紀の「微風の中へ—国道254—II」、準大賞に岡崎ゆみこの「Y・U・M'99」が選ばれた。
- 「聖と隠者—山水に心を澄ます人々」展開** 奈良国立博物館において、27日から、同展が開催された。美術作品の題材として頻繁にとりあげられてきた隠遁者のイメージを、絵画等146点によって構成し、さまざまな側面から展観し、日本人と「聖」、「隠者」の関わりをあきらかにしようとする内容であった。

## 5 月

- 首里城など世界遺産に推薦** 文化庁は、9日までに琉球王国の歴史と文化を伝える首里城跡(沖縄県那覇市)や中城城跡(同県中城村)など、沖縄本島の5ヶ所の城

跡などを、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」としてユネスコの世界遺産(文化遺産)に推薦することを決めた。

- 人間国宝認定 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は、21日、11人を重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう有馬朗人文相に答申した。工芸技術の部では、有職織物の喜多川俵二(63)、読谷山花織の與那嶺貞(90)、螺鈿の北村昭斎(61)、沈金の前史雄(58)、友禪の田島比呂子(77)、彫金の鴨下春明(89)が選ばれた。これで、現在の人間国宝は104人、これまでの延べ人数は265人となった。
- 第1回亀倉雄策賞受賞者決定 97年5月に死去したグラフィックデザイナー亀倉雄策の業績をたたえ、優れたデザイナーを表彰するために創設された第1回の同賞(同賞事務局主催)の受賞者に田中一光が選ばれた。対象となったのは「サルバトーレ・フェラガモ展」のグラフィックデザインと空間デザインで、22日、贈呈式が金沢市民芸術村オープンスペース(石川県金沢市)で行われた。

## 6 月

- 第11回世界文化賞 文化、芸術の発展に貢献した芸術家に贈られる第11回高松宮殿下記念世界文化賞(財団法人日本美術協会主催)の受賞者が公表された。美術関係では、絵画部門でアンゼルム・キーファー(ドイツ、54)、彫刻部門でルイーズ・ブルジョワ(米国、87)、建築部門で楳文彦(70)が選ばれた。日本人の受賞は、89年の同賞創設以来、5人目となった。

## 7 月

- 第9回本郷新賞受賞者決定 同賞(札幌彫刻美術館等主催)は、97年9月に死去した彫刻家井上武吉の作品「my sky hole 97-2 水面への回廊 琵琶湖」に決定した。贈呈式は、8月27日、札幌彫刻美術館で行われた。
- 登録文化財(建造物) 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は、16日、依屋旅館(京都市)など建造物76件を登録有形文化財に登録するよう有馬朗人文相に答申した。
- 東京国立博物館新法隆寺宝物館開館 法隆寺献納物を収蔵する東京国立博物館の法隆寺宝物館が、改修工事を完了し、20日に開館した。新館(谷口吉生設計)は、地上3階、地下1階、延べ床面積4,030平方メートル、開館記念展として「生まれ変わった法隆寺宝物館」展を開催した。

## 8 月

- 第46回日本伝統工芸展入賞作品決定 第46回の同展(文化庁、日本工芸会等主催)は、716点の入選作から、日本工芸会総裁賞に山口松太の乾漆堆錦箱「古陵想」など13点の入賞作を選び、公表した。
- 三越美術館(新宿)閉館 三越新宿店の南館8階を展示スペースに、91年に開館した同美術館は、同店の営業不振により閉館となった。

## 9 月

- 1930年代をみなおす二つの展覧会開催 30年代の美術をみなおそうとする展覧会として、「危機の時代と絵画 1930—1945」展が、3日から愛知県美術館で(会期、10月17日まで)、また「20世紀日本美術再見Ⅲ 1930年代」展が、4日から三重県立美術館(会期、11月7日まで)でそれぞれ開催された。前者は、第二次世界大戦に向かう時代を、「危機の時代」としてとらえ、同時代をすごした国吉康男、鬘光、松本竣介など13人の画家たちの作品82点を精選して構成した。また、展覧会シリーズとしての後者は、30年代を、モダニズムと「日本的」と称される表現との両極を視野にいれて、絵画、彫刻、デザイン、工芸、写真、建築と、400点をこえる作品によって総合的に回顧をこころみたものであった。同時代をあつかいながら、対照的な構成であったが、時代の様相の深さを知るうえで貴重な機会となった。
- 「ラファエル・コラン」展開催 日本の近代洋画史では、黒田清輝をはじめ多くの画家が師事したことで大きな影響をあたえたとされながら、本国フランスでは、今日まで顧みられることのなかった画家コランの回顧展が、10日から静岡県立美術館で開催された。同展は、国内、フランスからコランの作品や自身が収集した日本美術の作品など131点によって構成され、19世紀後半から20世紀初頭に制作をつづけた、このアカデミー派の画家のはじめての本格的な回顧展となった。(会期、10月24日まで。以後同展は、福岡市美術館など5美術館を巡回した。)
- 「セザンヌ展」開催 セザンヌの作品とともに、明治末年から日本に紹介され、親しまれてきたこの画家の受容史をたどろうとする同展が、11日から横浜美術館で開催された。セザンヌの作品を紹介するばかりでなく、日本人にとってのセザンヌ像を検証しようとする試みであった。(会期、12月19日まで。以後同展は、愛知県美術館に巡回。)

- 「役行者と修験道の世界—山岳信仰の秘宝」展開催  
「役行者」の名で知られ、修験道の開祖である役小角の1300年の御遠忌を迎えることを記念した同展が、11日から東京池袋の東武美術館で開催された。修験三本山である醍醐寺、聖護院、金峯山寺、さらに修験道の聖地である大峯山寺にのこるさまざまな遺品約350点によって構成され、かならずしも正当に評価されてこなかったとされる修験道の美術をみなおそうとする内容となった。(会期、10月17日まで、以後大阪市立美術館に巡回。)
- 厳島神社の国宝倒壊** 24日、台風18号による強風と高波により、広島県宮島町の厳島神社で、左右一対ある国宝「門客神社」のうち、豊石窓命をまつた左門客神社が倒壊した。また、高潮のため回廊全体や能舞台が水没した。

## 10 月

- 「**仏教の美術**」展開催 みほとけ 静嘉堂に収蔵された仏教美術をはじめ、まとめて公開する同展が、2日から静嘉堂文庫美術館(東京都世田谷区)で開催された。同展は、中国、朝鮮半島、日本の東アジア三国の13、4世紀の仏画の態様を比較するまたとない機会となった。
- 第30回中原悌二郎賞決定** 彫刻家中原悌二郎の業績を記念して、北海道旭川市が創設した同賞の第30回の受賞作に、吾妻兼治郎「YU-847」が、同優秀賞に西雅秋「Innocence—Wedge」が選ばれ、3日、旭川市内で贈呈式が行われた。
- 東京芸術大学大学美術館開館** 東京芸術大学に、5日、同美術館が開館した。施設は、地下4階、地上4階、延べ床面積約8,720平方メートル、展示面積は約1,500平方メートル。開館記念展として、所蔵芸術資料約45,000点のなかから精選した作品で構成した、「芸大美術館所蔵名品展」を開催した。
- 東北歴史博物館開館** 旧石器時代から近代、現代までの東北地方の歴史と文化を研究、総合展示するための同博物館(宮城県立)が、9日、宮城県多賀城市に開館した。「体験できる博物館」という基本方針のもと、来館者がさまざまなかたちで参加、体験できるコーナーを設け、また「こども歴史館」などの施設がある。開館記念展として「祈りのかたち—東北地方の仏像」展を開催した。同展は、東北6県に伝えられてきた飛鳥時代後期から江戸時代までの仏像等131体によって構成され、今日まで伝承されている年中行事や民俗芸能のもとにある仏教文化を紹介する内容であった。
- 東京国立博物館平成館開館** 皇太子殿下ご成婚記念として東京国立博物館に建設がすすめられていた平成館が、12日に開館した。施設は、地上3階、地下1階、延べ床面積約18,000平方メートル、2階部分に

3,000平方メートルの特別展示室4室がある。開館記念として特別展「金と銀—かがやきの日本美術」を開催した。同展は、弥生時代から江戸時代までの考古資料、絵画、仏像、工芸品、書跡など276件によって、素材としての金と銀の多様な技法と表現を展覧しようとするものであった。

- 重要文化財(建造物)指定** 文化財保護審議会(西川杏太郎会長)は、15日、旧青木家那須別邸(栃木県黒磯市)、旧額田郡公会堂と物産陳列所(愛知県岡崎市)など7件の建造物を重要文化財に指定するよう中曽根弘文文相に答申した。また、歴史的な街並みを保存する重要伝統的建造物群保存地区と、近代建造物の保護を目的とした登録有形文化財(建造物)に79件を指定、登録するようにあわせて答申した。
- 「**花洛のモード—きもの時代**」展開催 みやこ 桃山から江戸時代にいたる「きもの」に焦点をあてた同展が、19日から京都国立博物館で開催された。同展は、当時の小袖や絵画資料など225点によって構成され、服飾としての「きもの」を、流行(モード)という視点からみなおし、日本人の美意識の変遷をたどろうとする内容であった。
- 第11回国華賞受賞者決定** 日本及び東洋の美術をテーマにした研究論文を対象に、平成元(1989)年に創設された國華賞(國華賞顕彰基金)の受賞者が公表された。受賞作は、須賀みほ(青山学院大学非常勤講師)の「弘安本北野天神縁起絵巻再考—系統諸本の考察から」(『美術史』146号、平成11年3月)、亀井若菜(学習院大学非常勤講師)の「サントリー美術館蔵『日吉山王・祇園祭礼図屏風』の制作意図」(『國華』1238号、平成10年12月)。贈呈式は、10月22日、東京築地の朝日新聞社浜離宮朝日小ホールで行われた。
- 「**源頼朝とゆかりの寺社の名宝**」展開催 頼朝没後800年を記念した同展が、23日から神奈川県立歴史博物館で開催された。同展は、源頼朝にゆかりのある寺社の美術資料をはじめ、頼朝が鎌倉に建立した永福寺の調査の成果や自筆の古文書を展示するとともに、各地につたわる頼朝像を一堂にあつめ、いまもなお日本人のなかに生きつづけるイメージを検証する機会となった。
- 文化勲章、文化功労者決定** 政府は、26日、11年度の文化勲章受章者と文化功労者を公表した。美術関係では、日本画家の秋野不矩(91)が文化勲章を受章、また、陶芸家の青木竜山(73)、日本画家の大山忠作(77)、彫刻家の舟越保武(86)、元奈良国立文化財研究所長で大阪府文化財調査研究センター理事長の坪井清足(77)が選ばれた。
- 第21回サントリー学芸賞受賞者決定** サントリー学芸賞(サントリー文化財団)の第21回目の受賞者が28日に公表された。美術関係では、「芸術・文学部門」で佐藤道信(東京芸術大学助教授)の『明治国家と近代美



術』(吉川弘文館)が選ばれた。贈呈式は、11月24日、東京丸の内の東京会館で行われた。

- 川崎市岡本太郎美術館開館 故岡本太郎(96年歿)の作品約2,000点を収蔵、展示する川崎市岡本太郎美術館が、同市多摩区に完成し、30日に開館した。同作家が、生前に同市に寄贈した作品を保存、公開することを目的に建てられたもので、施設は地上一階、地下一階で展示面積約5,000平方メートル、正面広場には約30メートルの彫刻「母の塔」が立つ。

## 11 月

- 日本芸術院新会員内定 日本芸術院(犬丸直院長)は、平成11年度の会員補充選考を行い、新会員7名を内定し、15日付けで発令した。第一部(美術)では、日本画の佐藤国男(77)、同じく山岸純(69)、洋画の島田章三(66)、工芸の大樋年朗(72)が会員となった。
- 「日本の前衛 Art into Life 1900—1940」展開催 近代日本における「前衛」表現を、ヨーロッパ・アヴァンギャルド芸術の受容と影響という視点からだけではなく、その自律的な展開と同時代のヨーロッパ芸術との交錯という視点からとらえなおそうとする同展が、23日から京都国立近代美術館で開催された。絵画、彫刻、工芸、デザイン、建築、写真、美術教育など多岐にわたる出品作約290点によって構成され、同時代の「前衛」を再考する機会となった。(会期、翌年1月23日まで。以後同展は、水戸芸術館現代美術センターに巡回。)
- 第20回ジャポニズム学会賞受賞者決定 日本文化が近代欧米に与えた影響など東西交流についての優れた研究に贈られる同賞の第20回目の受賞者が公表された。受賞作は、クリストフ・マルケ(フランス国立東洋言語文化研究所助教授)の『Ebis』誌98年冬期特別号

「H・チュルヌスキ その政治・経済活動と東洋美術蒐集」の編集・出版、鈴木弘子(筆名・桂木紫穂 総合美術研究所主任研究員)の「印象派から二十世紀への絵画名品展」(明石市立博物館、98年)図録所収の論文「『画商の使徒』テオ・ファン・ゴッホとカミーユ・ピサロ」、また同特別賞は深井晃子(神戸女子大学教授)の「モードのジャポニズム」ロサンゼルス展(98年)ニューヨーク展(98・99年)の企画に対して贈られた。

## 12 月

- 日光の社寺、世界遺産に登録 2日、モロッコのマラケシュで開かれていたユネスコの世界遺産委員会は、日本政府が推薦した「日光の社寺」(栃木県日光市)を世界遺産に登録することをきめた。国内の世界文化遺産としては、8件目、自然遺産を含めると10件目となる。
- 「皇室の名宝」展開催 天皇陛下御即位10年を記念して、「皇室の名宝—美と伝統の精華」展が、14日から東京国立博物館で開催された。同展は、御物のほか、宮内庁、東京国立博物館、奈良国立博物館に保管されている考古遺物、宸翰及び書、絵画、工芸品、さらに中国絵画及び近代絵画まで、211点によって構成されたもので、各時代において皇室が芸術の守護者、推進者としての役割を担ってきた足跡を紹介する内容であった。
- 第11回倫雅美術奨励賞受賞者決定 新鋭の美術評論家や美術史家を顕彰する倫雅美術奨励賞(同基金)の第11回目の受賞者は、「美術評論・美術史研究部門」に、佐藤道信(東京芸術大学助教授)の著作『明治国家と近代美術』、沼田英子(横浜美術館学芸員)の「世界を編む」展の企画及びカタログ中の論文が選ばれた。

## 美術展覧会

## 企画展

(ア)

アーガス写真展 3.15—4.17

The Third Gallery Aya

美術手帖 771 小口斉子

アートイング東京1999: 21×21展

10.4—11.28 Gアートギャラリー、文房堂ギャラリー、ギャラリー・ルデコ、ゆーじん画廊、スカイドア・アートプレイス、ギャラリーK、ギャラリー現、21+葉ANNEX、ギャラリー毛利、モリスギャラリー、ギャラリー檜、Key gallery、秋山画廊、セゾンアートプログラム・ギャラリー  
美術手帖 782 鷹見明彦

アート・エミッション・熱海

9.23—11.16 熱海周辺の美術館及びホテル

毎日夕刊 10.8 石川健次

アートコレクション展 秘蔵の名品

8.6—8.23 ホテルオークラ

毎日夕刊 8.9

読売夕刊 8.5 (前)

Art Forum—22 in Tama 9.2—

9.28 スペースエヌズ(立川市)ほか多摩地域の四つの画廊

毎日夕刊 9.10 石川健次

I WALK 1999 6.7—6.19 銀座、

京橋の画廊

毎日夕刊 6.10

藍染の美と阿波踊り 7.22—9.26

徳島市立徳島城博物館

愛知県立芸術大学長湫界日本画展

1.21—1.27 高島屋(日本橋)

美術の窓 188 篠原弘

アイヌの四季と生活 十勝アイヌと

絵師・平沢屏山 7.2—7.28 北海道立帯広美術館

読売夕刊 7.16

アイヌの四季と生活 十勝アイヌと

絵師・平沢屏山 9.3—10.17 埼玉県立博物館

新美術新聞 873

青木コレクション名品展 知られざ

る広重の肉筆を中心に 3.30—

5.9 千葉市美術館

朝日夕刊 3.27 小林忠

青・ブルー・藍—日本人が愛した色

の世界— 5.29—7.11 徳川美術館

秋のきぬと…—近世美術にみるうつ

ろいの美— 9.12—10.24 林原美術館

秋の優品展 10.23—12.19 遠山記

念館付属美術館

秋葉原TV展 2.27—3.14 秋葉原

街頭(コマンドN主催)

美術手帖 770

朝日夕刊 3.4 (若)

読売夕刊 3.5 (前)

悪疫退散・五穀豊穰 川越の獅子

10.2—11.14 川越市立博物館

アクション展 行為がアートになる

とき 1949—1979 2.11—4.11

東京都現代美術館

新美術新聞 853 岡村恵子

デザインの現場 102 西原珉

美術手帖 768 樹村緑

朝日夕刊 2.22 三田晴夫

朝日夕刊 2.24 大西若人

産経 2.21 渋沢和彦

東京夕刊 3.12 中村隆夫

赤穂浪士と伊予 6.26—9.26 愛媛

県歴史文化博物館

アジア系アメリカ人芸術家1945—

1970展 伝統と抽象 4.11—5.30

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

朝日夕刊 5.19 田中三蔵

亜細亜現代美術展35回 6.12—6.22

東京都美術館

美術の窓 191 高山淳

アジア漫画展4回 8.28—9.20 国

際交流フォーラム

日経 9.7

熱海ビエンナーレ1回 10.1—

11.14 静岡県熱海市/戸外

毎日夕刊 10.8 石川健次

読売夕刊 10.2

あっ!この遺跡知ってる!—親子で

楽しむ考古学— 7.24—9.5 滋

賀県立安土城考古博物館

安土城・1999 特別史跡安土城跡発

掘調査10周年成果展 9.25—

11.23 滋賀県立安土城考古博物

館

アブソルート エキシビジョン イ

ン ジャパン 9.23—9.26 スパ

イラルガーデン

芸術新潮 599

アフリカのかたち展 8.21—10.24

アニヴェルセル表参道一階ギャラ

リー

東京夕刊 9.10 中村隆夫

雨引の里と彫刻展3回 10.3—12.5

次城県真壁郡大和村

東京夕刊 11.11

毎日夕刊 10.15 三田晴夫

阿弥陀仏内納入染織品と朝鮮朝の装

身具—韓国精神文化と造形表

現— 6.18—7.30 文化学園服飾

博物館

鮎を語る01 7.17—8.31 さいたま

川の博物館

阿波の華 徳島城 10.9—11.28

徳島市立徳島城博物館

安徽省博物館名品展—中国悠久の至

宝— 8.4—9.12 高知県立美術

館

アングラ 日本のポスターのアヴァ

ンギャルド1960—1980展 9.16—

10.16 武蔵野美術大学美術資料

図書館

芸術新潮 599

アンデス文明の遺産 インカ帝国を

育んだ社会と文化 5.18—7.18

出光美術館

(イ)

井伊家伝来の名宝—近世大名の文と

武 11.2—12.12 サントリー美

術館

委員による春の日洋展13回 4.6—

4.14 東京セントラル美術館

美術の窓 189 高山淳

斑鳩寺—その宝物と歴史—絵画と彫

平成11年美術展覧会(企イ〜オ)

刻 9.8—10.3 太子町立歴史資料館  
開館20周年記念 石川県立美術館  
蔵 茶の湯の名品展 3.20—5.16 茶道資料館  
陶説 553 編集部  
石田三成—秀吉を支えた知の参謀— 10.22—11.21 市長浜城歴史博物館  
遺跡を科学する—過去を明らかにした科学のちから— 1.12—3.28 地底の森ミュージアム  
イタリア・ルネサンス美術展 3.20—6.20 国立西洋美術館  
朝日夕刊 5.20 原田環  
産経 4.25 渋谷和彦  
—乗谷の宗教と信仰 7.22—8.29 福井県立—乗谷朝倉氏遺跡資料館  
怡土城とその時代 11.2—12.19 伊都歴史資料館  
伊能忠敬が描いた日本 9.10—10.11 徳島県立博物館  
祈りのかたち—東北地方の仏像 10.9—11.14 東北歴史博物館  
祈りの造形—古代人の呪術と信仰— 9.25—10.31 浜松市博物館  
祈りの華 祭祀と荘厳の世界 7.2—9.5 細見美術館  
茨城の歌仙絵—華麗なる歌人の姿— 10.23—12.5 土浦市立博物館  
今、古代史がおもしろい 出土文字からさぐる房総の古代 12.4—1.9 千葉県立安房博物館  
イメージのむこうがわ展 10.8—12.12 東京都現代美術館  
アート・マガジン(エル・アール) 17

(ウ)

ヴァルトグラフ展 5.19—7.17 モダンアートバンク・ヴァルト(福岡市)  
展評 1 山口洋三  
ウィーン美術史美術館所蔵 古代エジプト展 9.3—10.17 仙台市博物館  
ヴェネチアン・グラス展 7.31—9.19 東京ステーションギャラリー  
朝日夕刊 7.28 由水恒雄

上野の森美術館大賞展17回 6.26—7.7 上野の森美術館  
産経 7.4 日野耕之祐  
VOCA展'99 2.20—3.7 上野の森美術館  
産経 2.28 (S)  
浮世絵師たちの神仏—錦絵と大絵馬に見る江戸の庶民信仰— 6.8—7.25 渋谷区立松涛美術館  
浮世絵名品展 10.13—11.14 櫛形町立春仙美術館  
うさぎワンダーランド 7.24—8.29 石川県立歴史博物館  
氏家浮世絵コレクション 4.29—5.30 鎌倉国宝館  
氏家浮世絵コレクション展 肉筆浮世絵の至宝東京全点初公開 10.1—10.26 太田記念美術館  
映された日英関係写真展 4.19—4.21 ホテルオークラ東京  
芸術新潮 594  
移りゆく横浜の海辺—海とともに暮らしていた頃— 7.31—9.15 横浜市歴史博物館  
海—海流に乗った古代の恋物語— 7.20—8.31 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
海を渡った陶磁器展 景德鎮・伊万里・デルフト 9.30—11.15 そごう美術館(横浜)  
雲谷派展 6.29—8.1 山口県立美術館

(エ)

英国デイヴィット・コレクション展 中国陶磁の至宝 2.27—4.4 徳島県立美術館  
第十七回永青文庫展 白隠と仙厓 細川護立コレクションの原点 4.8—5.9 熊本県立美術館  
エイブル・アート'99展 このアートの元気になる 2.16—3.22 東京都美術館  
朝日 3.1  
朝日夕刊 3.10 田中三蔵  
エジプトのガラス展 6.12—9.26 中近東文化センター  
朝日 7.29 真道洋子  
絵付 1.3—2.14 林原美術館  
江戸・明治風俗名所版画展 4.17—

6.20 板橋区立郷土資料館  
江戸小紋と型紙展 極小の美の世界 8.10—9.26 渋谷区立松涛美術館  
芸術新潮 598  
江戸時代の瀬戸内海 海道をゆく 7.10—8.29 愛媛県歴史文化博物館  
江戸時代の模本 6.16—7.22 埼玉県立博物館  
江戸南画の潮流1 谷文晁と鈴木芙蓉 10.23—11.23 飯田市美術館  
江戸のグルメ展 10.16—12.5 千葉県立総南博物館  
江戸の華 浮世絵展 錦絵版画の成立過程 10.2—11.23 町田市立国際版画美術館  
江戸の華 歌舞伎絵展—近世初期風俗画から幕末浮世絵まで— 4.24—5.30 東武美術館  
江戸モード大図鑑展 10.5—11.28 国立歴史民俗博物館  
歴博 98 安村敏信  
NHK大河ドラマ 元禄繚乱の世界 5.10—5.22 昭和女子大学光葉博物館  
絵巻物—アニメの源流展 8.10—9.12 千葉市美術館  
美術手帖 779 村上隆  
円空展 魂を木に刻んで 10.22—11.14 岐阜県博物館  
館蔵 演劇資料展 5.24—6.25 国文学研究資料館  
役行者と修験道の世界展 9.11—10.17 東武美術館  
芸術新潮 599 久保田展弘  
エンプティ・ガーデン展 4.24—11.7 ワタリウム美術館  
美術手帖 774 市原研太郎  
朝日夕刊 6.24 原田環  
産経 10.10 渋谷和彦  
読売夕刊 6.11 (菅)

(オ)

近江湖東・湖南の画人たち 高田敬輔・月岡雪鼎・旭応・玉瀟・紀樺亭・横井金谷・岡笠山 9.18—10.17 栗東歴史民俗博物館  
近江の彫刻—湖南地方を中心として— 4.24—5.30 栗東歴史民俗

博物館  
 大口コレクション展 日本の郷土玩具と世界の民俗玩具 11.16—12.19 豊橋市美術博物館  
 大峯山寺出土遺物展 7.6—11.30 山上ヶ岳歴史博物館  
 尾形乾山開窯三〇〇年・京焼の系譜 乾山と京のやきもの展 6.26—7.25 島根県立博物館  
 岡山の青銅器 7.24—8.29 岡山県立博物館  
 小川晴暘手拓 雲崗石窟拓本展 6.14—7.17 早稲田大学会津八一記念博物館  
 オスマー氏寄贈コレクションによる日本の美術工芸 12.7—3.10 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館  
 織田信長の寺と小杉放菴 安土城跡・総見寺の襖絵展 4.16—5.30 小杉放菴記念日光美術館  
 お伽草子・物語絵の世界 10.1—11.28 大阪青山歴史文学博物館  
 おとなとこどもの美術探訪 これはナンダ?—動物たちの姿— 7.18—9.5 林原美術館  
 オランダ・ダウマコレクション アル・ヌーヴォーとアル・デコの陶芸展 9.2—9.13 大丸ミュージアム(東京)  
 芸術新潮 598  
 オリент絨毯 9.7—11.28 白鶴美術館  
 折るころ 折り紙の歴史 10.9—11.28 龍野市立歴史文化資料館  
 オルセー美術館展1999 19世紀の夢と現実 6.19—8.29 神戸市立博物館  
 美術手帖 777 丹生谷貴志  
 日経 4.14—16 竹田博志  
 日経 5.31 鈴木博之  
 日経 8.6  
 オルセー美術館展1999 19世紀の夢と現実 9.14—12.12 国立西洋美術館  
 芸術新潮 596  
 朝日夕刊 11.18 吉田秀和  
 東京夕刊 9.24 草薙奈津子  
 日経 6.4 隠岐由紀子  
 日経 9.27—30 宝玉正彦

日経 11.22 野見山暁治  
 日経夕刊 11.1 福田美蘭  
 日経夕刊 11.2 中野良子/今田美奈子  
 オルレアン美術館展 3.21—5.16 宇都宮美術館  
 芸術公論 90  
 オルレアン美術館展 5.27—6.13 そごう美術館(横浜)  
 読売夕刊 5.26 富田章  
 温故知新 第五回市内遺跡発掘調査成果展 7.31—8.8 郡山市民文化センター

(力)

絵雅展—西行絵巻とやまと絵の優品— 9.23—12.19 萬野美術館  
 絵画と書跡 館蔵・秋の優品展 9.4—10.17 五島美術館  
 開港140年・条約改正100周年記念展示PART1 開港期・横浜の風景 5.29—7.4 横浜市歴史博物館  
 海洋国家・薩摩—薩摩に鎖国はなかった— 2.5—3.7 鹿児島県歴史資料センター黎明館  
 香りの世界展—時を越える人と香りの出会い— 3.20—5.9 古代オリエンツ博物館  
 画家・それぞれの戦争展 6.30—9.26 大川美術館  
 新美術新聞 870 岡義明  
 朝日夕刊 7.14 田中三蔵  
 加賀伝来の茶道具 10.28—11.27 金沢市立中村記念美術館  
 画家と額縁展 もうひとつの美術史 2.20—3.22 西宮市大谷記念美術館  
 芸術公論 89  
 芸術新潮 591 篠雅廣  
 朝日夕刊 5.18 木下直之  
 鏡を作る 海獣葡萄鏡を中心として 10.5—11.28 奈良国立文化財研究所飛鳥資料館  
 柿右衛門—その様式の全容— 10.8—11.14 佐賀県立九州陶磁文化館  
 カザールコレクション 文具 さまざまな蒔絵技法 9.4—10.26 石川県輪島漆芸美術館  
 勝海舟展 没後百年 4.20—6.6

平成11年美術展覧会(企才、力)

東京都江戸東京博物館  
 読売 5.14 落合則子  
 金沢文庫の名品50選 4.22—6.13 神奈川県立金沢文庫  
 かなと墨跡 12.3—12.25 MOA美術館  
 かなの書 7.2—8.15 根津美術館  
 香流会小品展11回 6.30—7.6 松屋(銀座)  
 新美術新聞 868 高岡忠雄  
 金山平三賞記念美術展 10.30—12.19 兵庫県立近代美術館  
 ピロティ 113 田原由紀雄  
 狩野永納—その多彩なる画業— 7.17—8.29 兵庫県立歴史博物館  
 狩野派の世界展 7.24—9.1 静岡県立美術館  
 芸術公論 91  
 鎌倉で栄えた密教とマンダラ 10.28—1.23 神奈川県立金沢文庫  
 鎌倉の国宝 10.1—10.17 鎌倉国宝館  
 華麗なる能装束の美 文化の伝承—江戸から現代へ 10.9—11.28 愛媛県歴史文化博物館  
 画廊宮坂15年目の通過展 7.13—7.18 アートミュージアム・ギンザ  
 展評 1 ワシオ・トシヒコ  
 河口慧海将来品とラマ教美術 1.5—3.14 東京国立博物館  
 感覚の解放展 9.9—11.21 東京オペラシティアートギャラリー  
 美術手帖 779 小倉正史  
 産経 11.7 渋谷和彦  
 日経 9.26 坂本憲一  
 毎日 9.1 宮本扶未子  
 読売夕刊 9.17 (菅)  
 韓国はやきもの 7.8—8.15 大和文華館  
 館蔵名品展 1.22—2.21 齋宮歴史博物館  
 漢代画像石の世界 2.2—3.28 東京国立博物館  
 観音山古墳と東アジア世界—海を越えた水瓶と鏡の縁— 10.2—11.23 群馬県立歴史博物館

(キ)

- 記憶された身体展—アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫 7.6—8.29 国立西洋美術館  
 芸術新潮 597  
 東京夕刊 7.9 草薙奈津子  
 読売 7.22 (前)
- キキとモンパルナスの画家たち展  
 1.21—2.9 大丸ミュージアム(東京)  
 東京夕刊 1.29 中村隆夫
- 危機の時代と絵画1930—1945展  
 9.3—10.17 愛知県美術館  
 芸術公論 92  
 朝日 10.6 田中三蔵
- 北九州ビエンナーレ5回 2.27—3.28 北九州市立美術館  
 美術の森 95 花田伸一
- 木村伊兵衛写真賞の軌跡展 6.20—8.1 川崎市市民ミュージアム  
 日経 7.11 稲垣直子
- Career〔キャリア〕持続する現場展  
 GINZA GALLERY NET' 99  
 6.21—7.3 鎌倉画廊、ギャラリーア・グラフィカ、ギャラリー上田、ギャラリーQ、ギャラリー手、シロタ画廊、東京画廊、77 gallery、村松画廊、コンテンポラリーアートNIKI、ギャラリーGAN、コバヤシ画廊、ギャラリーなつか、養清堂画廊、ギャラリー21+葉  
 アート・マガジン〈エル・アール〉15 中原佑介/名古屋覚/西雅秋/南畷宏司会/上田雄三総合プロデューサー
- 99新宿の遺跡—新発見遺跡速報展— 4.29—6.27 新宿歴史博物館
- 宮廷の装束 10.6—11.14 京都国立博物館
- 饗宴 伝統の美 11.14—11.28 宮内庁三の丸尚蔵館
- 京から熊野へ 4.24—6.27 和歌山県立博物館
- 行基菩薩を偲ぶ 2.23—3.31 奈良国立博物館
- 狂言とその衣装 10.9—11.23 狭山市立博物館

- 経塚出土陶磁展 5 中国・四国地方に埋納されたやきもの 1.5—1.31 奈良国立博物館
- 郷土の愛蔵刀 9.11—9.26 富山市郷土博物館
- 郷土玩具コレクション展 暮らしと遊びの「こころ」と「かたち」 9.15—11.30 中野区立歴史民俗資料館
- 京都洋画のあけぼの展 9.25—10.24 京都文化博物館  
 朝日夕刊 10.13 田中三蔵
- 京橋界隈'99 7.1—7.17 京橋周辺の画廊  
 日経 7.7 竹田博志
- 京紅板締め展—版木と着物のコレクション 11.30—12.12 芸術館/ギャラリーRAKU(京都造形芸術大学・京都芸術短期大学)  
 Quarterly Report 19 山口通恵
- 京友禅 きのう・きょう・あした展 4.17—6.6 目黒区美術館  
 朝日 5.13 福永重樹
- 煌めくプラハ展—19世紀末からアール・デコへ 10.2—12.12 世田谷美術館  
 あいだ 47 山口昌男  
 芸術新潮 599  
 東京夕刊 10.29 中村隆夫  
 読売 9.29 大島清次/鹿島茂
- キリンコンテンポラリー・アート・アワード1999受賞作品展 9.3—10.10 キリンビール新川本社ビル  
 朝日夕刊 9.17 (盛)  
 産経 10.3 (S)
- 裂織りの美・技・こころ 佐田岬半島の仕事着 4.24—6.13 愛媛県歴史文化博物館
- 重要文化財「金銀象嵌筒形金具」特別展示 4.29—5.9 MIHO MUSEUM
- 金工の茶道具名品展 花生、水指、釜の取り合わせ 8.20—10.3 根津美術館
- 金座—小判のふるさと 6.18—8.31 日本銀行金融研究所貨幣博物館
- 近世の遊楽 4.9—5.5 MOA美術館
- 近世公家の生活と伝統文化 冷泉家展 11.21—12.23 そごう美術館

(奈良)

- 近世大名の名品展 奥州板倉家を中心として 7.4—9.5 野馬追の里歴史民俗資料館
- 館蔵 近世の絵画 11.27—1.30 根津美術館
- 近世「のぼの」考—江戸時代の人々が見たヤマトタケル墓— 10.9—11.7 亀山市歴史博物館
- 近代化の軌跡 幕末佐賀藩の挑戦 10.29—11.28 佐賀県立博物館
- 近代京都画壇と『西洋』展 8.6—9.12 京都国立近代美術館  
 朝日夕刊 8.18 大西若人  
 読売夕刊 9.7 (前)
- 近代南画展 9.25—11.3 群馬県立近代美術館  
 朝日夕刊 10.13 田中三蔵
- 近代日本美術の名品展 1.21—2.2 高島屋(日本橋)  
 朝日夕刊 1.19 根崎光男
- 金と銀—かがやきの日本美術展 10.12—11.23 東京国立博物館  
 アート・マガジン〈エル・アール〉17 千葉成夫  
 文化財(月刊) 433 松原茂  
 文化財(月刊) 433 松浦宥一郎  
 文化財(月刊) 433 山本勉  
 文化財(月刊) 433 島谷弘幸  
 文化財(月刊) 433 田沢裕賀  
 文化財(月刊) 433 原田一敏

(ク)

- 空海とマンダラ 9.9—10.24 神奈川県立金沢文庫
- 空想と創造—自己と他者展 11.11—11.28 文化フォーラム春日井  
 アート・マガジン〈エル・アール〉17 伊藤伸之
- くずし字を読んでみよう—古文書入門— 2.18—4.18 神奈川県立金沢文庫
- クヌギくんの発掘たんけん—城陽の発掘調査と南山城— 2.6—3.22 城陽市歴史民俗資料館
- 熊野神社の御神幸 9.11—3.26 大原幽学記念館
- 熊野ってなんだろ? 7.17—8.15 和歌山県立博物館

くまもとの工芸400年祭 源流と未来展 10.15—11.7 財団法人熊本県伝統工芸館  
 くらしと美 饗宴のかたち 4.13—5.23 サントリー美術館  
 暮らしの中の木の椅子展 1.28—2.16 リビングデザインセンターOZONE  
 朝日 1.17 (草)  
 朝日夕刊 1.25 織田憲嗣  
 栗山村—その自然・歴史・民俗・文化 みどりと文化の交流展 10.16—11.28 板橋区立郷土資料館  
 第24回 くるめの考古資料展 むかしむかしあるところに…… 11.1—11.23 久留米市教育委員会

## (ケ)

芸大美術館所蔵名品展—近代日本美術の原点— 10.5—12.5 東京芸術大学大学美術館  
 美術手帖 782 高島直之  
 新美術新聞 874 薩摩雅登  
 朝日夕刊 10.28 西原珉  
 産経 11.26 山口律子  
 東京夕刊 12.17 草薙奈津子  
 日経 10.25—29 竹田博志  
 GAME OVER展 11.13—4.2 ワタリウム美術館  
 デザインの現場 107 西原珉  
 劇場の歴史展 5.9—6.1 グランシップ  
 美術手帖 773  
 乾山と京のやきもの展 1.3—1.19 高島屋(日本橋)  
 乾山と京のやきもの—尾形乾山開窯三〇〇年・京焼の系譜— 7.31—8.29 茨城県立歴史館  
 特別公開 国宝源氏物語絵巻—柏木(二)・宿木(二)— 11.20—11.28 徳川美術館  
 現水展38回 10.5—10.14 東京都美術館  
 美術の窓 195 高山淳  
 現代空想絵師展 2.27—3.28 滋賀県立近代美術館  
 産経 3.6  
 現代彫刻の展望展 TUES1999

7.10—11.3 美ヶ原高原美術館  
 産経 7.18 富田麻里子  
 産経 7.25 黒河内卓郎  
 現代日本画軸装 7.10—7.25 ギャラリー鉄齋堂  
 新美術新聞 867  
 現代日本美術の動勢 インダストリアル・デザインの新風景展 10.30—12.12 富山県立近代美術館  
 芸術公論 93  
 芸術新潮 602  
 現代の精鋭作家たち展 4.29—6.9 安田火災東郷青児美術館  
 美術(月刊) 284 村木明  
 東京夕刊 5.21 宝木範義  
 拳の文化史 ジャンケン・メンコモ 拳のうち 10.23—12.5 たばこと塩の博物館  
 元祿繚乱展 1.26—3.22 東京都江戸東京博物館

## (コ)

恋スル身体展—A SENSE of REALITY 7.18—8.29 宇都宮美術館  
 美術手帖 777 清水哲朗  
 朝日夕刊 8.4 田中三蔵  
 毎日夕刊 8.10 石川健次  
 光悦と宗達 6.1—7.11 サントリー美術館  
 光悦と能 華麗なる謡本の世界 10.29—12.1 MOA美術館  
 黄河の酒神展 12.4—3.20 山口県立萩美術館浦上記念館  
 高宮寺と時宗の美術 5.14—6.8 彦根城博物館  
 工芸オブジェの系譜展 7.17—9.5 東京国立近代美術館工芸館  
 朝日夕刊 8.11 北澤憲昭  
 日経 8.12  
 工芸のもよう 花・鳥・魚・幾何学 9.25—5.5 浦添市美術館  
 広告の1920年代展 8.2—8.26 電通ギャラリー  
 産経夕刊 8.11  
 東京 8.6 千万勲  
 甲骨—漢字文化のはじまり— 1.5—3.28 東京国立博物館  
 交錯する流れ MoMA現代美術コレクション展 4.3—5.30 原美術館  
 芸術新潮 594  
 武蔵野美術 114 林卓行  
 皇室の名宝—美と伝統の精華展 12.14—2.13 東京国立博物館  
 芸術新潮 602  
 美術手帖 782 池上ちかこ  
 高台寺蒔絵と南蛮漆器 1.5—2.21 京都国立博物館  
 交趾香合—福建省出土遺物と日本の伝世品— 1.1—2.24 MOA美術館  
 高知の遺跡速報展 9.15—9.26 高知県立美術館  
 国宝 弘法大師空海展 9.1—9.26 愛媛県美術館  
 高野山大宝蔵展20回 仏の姿 7.18—8.31 高野山霊宝館  
 GAW展[ゴールデン街・アート・ウェーブス] 9.27—10.10 新宿ゴールデン街  
 芸術新潮 599  
 東京 9.29 坂本充孝  
 古鏡・陶芸と文房具 5.15—7.25 五島美術館  
 古九谷 珠玉の小品 8.6—9.29 MOA美術館  
 極楽往生を願って 3.27—5.9 朝霞市博物館  
 御慶事のかたち展 8.7—10.17 宮内庁三の丸尚蔵館  
 芸術新潮 598  
 古写真に探る 幕末徳川の城 10.2—12.5 松戸市戸定歴史館  
 52年の会展 7.28—8.3 高島屋(横浜)  
 新美術新聞 871 高岡忠雄  
 湖上水運の盛衰と彦根三湊 7.18—8.17 彦根城博物館  
 古代アンデス シパン王墓の奇跡 黄金王国モチェ発掘展 11.20—12.26 伊勢丹(新宿)  
 古代中国の動物たち 3.16—6.10 MIHO MUSEUM  
 古代の技術を考える—大量生産への工夫と技術— 10.9—11.21 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
 古代びとの顔—面形(おもがた)の世界— 2.6—3.22 茨城県立歴史館

古丹波展 1.7—3.28 日本民芸館  
日経 1.20 武田博志  
金刀比羅宮の絵画 11.16—12.12  
香川県歴史博物館  
子どものための美術展'99 アー  
ト・スウィート・ホーム 10.2—  
11.21 広島市現代美術館  
芸術公論 93  
こどもを守るほとけたち 8.3—  
8.29 奈良国立博物館  
個の会展8回 6.1—6.6 三越(日  
本橋)  
新美術新聞 863 宝木範義  
古版画の美と祈り—所蔵東洋古版画  
コレクションから— 10.26—  
12.23 高崎タワー美術館  
護符 祈りの版画展—熊谷清司コレ  
クションより 12.28—1.24 松  
屋(銀座)  
芸術新潮 603  
古墳のための年代学(クロノロ  
ジー)—近畿の古式土師器と初期  
埴輪— 10.9—11.14 奈良県立  
橿原考古学研究所附属博物館  
勲展30回 5.31—6.10 東京都美術  
館  
美術の窓 191 高山淳  
蒙御免—相撲の起りと常陸の三横  
綱— 3.27—5.9 土浦市立博物  
館  
コラボレーション・アート展 共同  
制作の可能性 7.10—8.22 福岡  
県立美術館  
美術手帖 777 東谷隆司  
朝日夕刊 7.21 建昌哲  
これ、なあと?—ナゾの形は工夫の  
形— 12.11—2.13 愛媛県歴史  
文化博物館  
これは何でしょう ばあと3—紀銘  
民具展— 11.3—12.16 世田谷  
区立郷土資料館  
これを判じてごろうじろ—江戸の判  
じ絵— 4.17—5.23 たばこと塩  
の博物館  
今日の作家展34回APPROACHING  
REALITY—コンセプトリアリ  
ズムの新たな展開 3.4—3.23 横  
浜市民ギャラリー  
新美術新聞 857 市原研太郎  
美術手帖 771 鷹見明彦  
読売夕刊 3.15 (菅)

(サ)

最近話題の遺跡と遺物 平成10年度  
糸島地区の文化財調査の成果から  
5.1—5.30 前原市立伊都歴史資  
料館  
齋宮女御 10.2—11.14 齋宮歴史  
博物館  
さいたま最新出土品展'99 7.17—  
8.22 埼玉県立博物館  
さいたまの名宝シリーズ2 新指定  
の美術工芸品 11.2—12.5 埼玉  
県立博物館  
彩発見—よみがえる江戸の装い—  
10.22—11.23 八代市立博物館未  
来の森ミュージアム  
再発見、日本の姿：キーワードはデ  
ロリ展 9.11—10.24 郡山市立  
美術館  
芸術新潮 598  
美術手帖 780 天野一夫  
朝日夕刊 9.29 北澤憲昭  
朝日夕刊 10.15 (前)  
日経 9.23 宝玉正彦  
西遊記のシルクロード 三蔵法師の  
道 6.12—8.8 奈良県立美術館  
坂—文京のくらしと風景—  
10.30—12.12 文京ふるさと歴史  
館  
盃のある風景—盃・徳利・酒づく  
り— 10.16—11.23 朝霞市博物  
館  
相模の道祖神 10.9—11.23 平塚  
市博物館  
坂本龍馬 8.4—9.5 京都国立博物  
館  
ささやかなトリック展 10.29—  
11.24 ヨコハマポートサイド  
ギャラリー  
美術手帖 783 原田環  
薩摩治郎八と巴里の日本人画家たち  
展 2.5—3.7 そごう美術館(横  
浜)  
朝日夕刊 2.19 (三)  
里内文庫コレクション 6.5—7.11  
栗東歴史民俗博物館  
讃岐漆芸のあけぼの—玉椿象谷のわ  
ざ— 11.16—12.12 香川県歴史  
博物館  
讃岐の仏教美術—寄託資料から—

12.16—2.13 香川県歴史博物館  
サファヴィー朝のペルシア陶器 イ  
ラン・中国・日本 一七世紀の陶  
磁器貿易 3.27—5.30 中近東文  
化センター  
陶説 554 岡野智彦  
写真展—狭山の石仏'99— 5.22—  
6.20 狭山市立博物館  
サロン・ド・フィナル展14回  
6.10—6.16 O美術館  
美術(月刊) 286 栗原乃子/片  
山千代乃/戸島昭雄/佃堅輔司会  
三車線展 3.2—3.7 ギャラリー  
RAKU(京都造形芸術大学・京都  
芸術短期大学)  
Quarterly Report 19 松生歩  
サントリー美術館所蔵 日本のやき  
もの名品展 9.24—10.17 富山  
県民会館美術館  
サンフランシスコ近代美術館展  
7.10—8.8 伊勢丹美術館  
読売夕刊 8.4 藤枝晃雄

(シ)

シェイクスピアのヴィジョン展  
2.18—3.28 栃木県立美術館  
芸術公論 89  
朝日夕刊 3.4 原田環  
JPS展24回(セルフポートレート展)  
5.21—5.30 東京都美術館  
産経 5.7 宝田茂樹  
信楽—壺中の天展 9.1—12.15  
MIHO MUSEUM  
芸術新潮 598  
国宝 信貴山縁起絵巻 9.14—  
10.24 サントリー美術館  
磁器の技と美展—有田そして瀬戸  
へ— 4.24—5.30 神奈川県立歴  
史博物館  
朝日夕刊 4.23 仲野泰裕  
紫禁城の女性たち—中国宮廷文化展  
6.26—8.1 笠間日動美術館  
絵 424  
至高の縄文祭祀芸術—注口土器と土  
偶— 6.18—7.20 青森県立郷土  
館  
獅子・狛犬 1.5—4.11 京都国立  
博物館  
地震・大水・火事—富山 10.2—  
11.28 富山市郷土博物館

## 視線の回廊 4 集められた肖像展

1.15—3.24 東京都写真美術館  
新美術新聞 854 (賀)

## 時代の体温 ART/DOMESTIC展

2.11—3.22 世田谷美術館  
アート・マガジン(エル・アール)

13

美術手帖 771 新川貴詩

朝日 2.11 東谷隆司

朝日 3.11 原田環

朝日夕刊 2.17 田中三蔵

東京夕刊 3.5 北澤憲昭

日経 3.3 宝玉正彦

## 字面—宸翰・墨蹟・書状にみる人物

像— 10.31—12.23 林原美術館

## 信濃名宝展—鎌倉時代の文化財—

7.16—8.22 長野県立歴史館

## 忍藩主阿部家 藩政と遺宝

10.9—

11.23 行田市郷土博物館

## しまなみ海道をめぐる文化財展

4.23—5.23 広島県立歴史博物館

## しまなみの遺跡—考古学から見た芸

予諸島— 9.11—11.23 愛媛県

歴史文化博物館

## 島根の美術 9.10—10.31 島根県

立美術館

## 下板橋宿中宿名主 飯田家資料展

7.10—9.19 板橋区立郷土資料館

## JAG展22回 11.25—12.1 東京都

美術館

美術の窓 197 篠原弘

## 写真新世紀展 8回 11.5—11.27

P3 art and environment

アート・マガジン(エル・アール)

17 伊藤伸之

## 写真新世紀京都展 4.13—4.25

ギャラリーRAKU(京都造形芸術

大学・京都芸術短期大学)

Quarterly Report 19 藤井千鶴

## 19世紀前半の日本絵画 2.26—3.28

東京国立博物館

## 19世紀の画帖展—折り畳まれた美の

世界 10.26—11.14 芸術館(京

都造形芸術大学・京都芸術短期大

学)

Quarterly Report 19 黒川修一

Quarterly Report 19 原田平作

／芳賀徹／黒川修一

## 19世紀の和紙展 2.20—4.10 たば

こと塩の博物館

## 芸術新潮 593

## 修羅!—その大いなる遺産 古墳・

飛鳥を運ぶ— 4.20—6.20 大阪

府立近つ飛鳥博物館

## 純展29回 12.10—12.16 東京都美

術館

美術の窓 197 吉田純子

## 紹鷗・武家茶人ゆかりの井戸茶碗と

館蔵茶碗名品展 5.14—6.27 根

津美術館

## 小学生・中学生のための夏休み博物

館 むかしのものからわかること

これが歴史博物館のしごとだ!!

7.20—8.31 亀山市歴史博物館

## 第51回正倉院展 10.26—11.14 奈

良国立博物館

## 縄文土器のふしぎな世界—中部高地

の釣手土器展— 4.29—7.4 諏

訪市博物館

## 縄文人の暮らしと環境—早稲田大学

による貝塚研究の歩み— 9.20—

10.8 早稲田大学会津八一記念博

物館

## 昭和40年会展 欧州巡回展『東京か

らの声』凱旋帰国展 3.27—5.8

現代美術製作所(墨田区)

日経 4.3 川添真

## 昭和40年会展 晴れたり曇ったり

9.15—10.18 ナディッフ(渋谷

区)

日経 9.22 宮本扶未子

## 書—古筆・消息・墨蹟・画賛—

12.17—3.5 細見美術館

## 女子美術大学百周年記念版画展 徳

の華 5.31—6.13 ギャラリー・

ラ・リュージュ(港区)

美術(月刊) 285 編集部／大久

保婦久子／堀文子／月館れい

美術の窓 189 入江観

朝日夕刊 6.8 (三)

## 女性画家が描く日本の女性たち展

松園、小坡、蕉園、成園、緋佐子

の美人画 1.3—1.24 小田急美

術館

朝日夕刊 1.14 田中三蔵

## 庶民の娯楽と摺り物展 4.29—5.9

深川江戸資料館

朝日 3.11 久染健夫

## 白樺派と美術展—武者小路実篤、岸

田劉生と仲間たち 2.6—3.21

## 東京ステーションギャラリー

芸術新潮 592

東京夕刊 3.5 (横顔)

読売夕刊 2.2 紅野敏郎

## 新羅の古瓦 1.5—3.14 東京国立

博物館

## シリーズ「旅」その1 名物にうまい

ものあり《東海道》 11.3—12.12

玉村町歴史資料館

## シルクロードの煌めき—中国・美の

至宝 4.28—7.4 北海道立近代

美術館

## 宸翰と日本文化の伝統展 6.5—

7.25 宮内庁三の丸尚蔵館

芸術新潮 596

## 新芸術展24回 11.25—12.1 東京

都美術館

美術の窓 197 高山淳／篠原弘

## 新作家展 6回 3.9—3.14 東京セ

ントラル美術館

美術の窓 188 高山淳

## 新収上方役者絵 ヒソルフ・コレク

ション展 4.20—5.23 池田文庫

池田文庫 15 岡泰正

## 新収蔵資料展19回 12.11—12.26

群馬県立歴史博物館

## 新収品展1999 6.30—8.1 京都国

立博物館

## 新匠工芸会公募展 12.4—12.9 東

京都美術館

美術の窓 197 吉田純子

## 新世代への視点展 5回 楽園

8.2—8.14 ギャラリー—山口(京

橋)ほか銀座・京橋界限 9 画廊

朝日夕刊 8.6 (盛)

産経 8.8 渋谷和彦

## 身体の夢：ファッションOR見えな

いコルセット展 4.6—6.6 京都

国立近代美術館

芸術論 90

美術手帖 771 河本信治

視る 382 北山晴一

## 身体の夢：ファッションOR見えな

いコルセット展 8.7—11.23 東

京都現代美術館

芸術新潮 598

新美術新聞 872 (賀)

武蔵野美術 115 林卓行

朝日 8.2 今井竜三郎

朝日 10.23 森村泰昌



- 朝日夕刊 8.5 上間常正  
朝日夕刊 9.16 原田環  
毎日 8.23 高橋豊
- 身体のロゴス展 ドイツからの14人の女性アーティストたち 1.21—3.28 国立国際美術館  
美術手帖 769 小林昌廣
- 身体のロゴス展 ドイツからの14人の女性アーティストたち 4.11—6.27 栃木県立美術館  
アート・マガジン〈エル・アール〉14
- シンデレラ・ストーリー展 5.13—5.26 新宿タカシマヤ  
美術手帖 770 池上ちかこ
- 新日美展23回 12.10—12.16 東京都美術館  
美術の窓 197 高山淳／吉田純子
- 新発掘考古速報展 発掘された日本列島'99 6.12—7.7 東京都江戸東京博物館
- 新発見考古速報展 地域展示 掘り出された徳島の歴史 10.24—11.21 徳島県立博物館
- 神品とよばれたやきもの「宋磁」展 3.6—4.13 東武美術館  
陶説 552 弓場紀知
- 新弥生紀行—北の森から南の海へ— 3.9—5.9 国立歴史民俗博物館  
歴博 92 設楽博己  
歴博 94 広瀬一雄
- 新弥生紀行—卑弥呼の見なかった世界— 11.13—1.16 古代オリエント博物館
- 神話と聖書の図像学展 1.13—4.25 ブリヂストン美術館  
朝日夕刊 3.12 (三)  
東京夕刊 1.22

(ス)

- 須恵器の美と世界—鏡山古窯址群の時代— 10.9—11.14 野洲町立歴史民俗資料館
- 菅江真澄展 白井英二・秀雄より真澄へ 8.31—9.26 豊橋市美術博物館
- SKIN DIVE展 感覚の回路を開く 9回 5.25—6.12 京都、元龍池小学校

- 展評 1 太田垣實  
美術手帖 774 原久子
- 須坂・いま・昔 2 看板・広告・標札にみる須坂 9.21—11.7 須坂市立博物館
- ストリートギャラリー10回 10.29—11.7 静岡県三島市三島大通り商店街  
毎日夕刊 11.5 石川健次

(セ)

- 西欧近代の版画と素描展 岩井尊人コレクション 5.16—6.12 天理ギャラリー(中央区)  
日経 6.1
- 青枢展38回 6.12—6.22 東京都美術館  
美術の窓 191 高山淳
- 青銅器展 9.1—11.30 泉屋博古館  
生の中の死 10.9—12.12 福島県立博物館
- 「7(セヴン)」展 9.23—9.26 名古屋港ガーデン埠頭10号倉庫  
美術手帖 780 栗田秀法
- 世界スター・アート展 1.29—2.14 三越美術館(新宿)  
芸術公論 89
- 世界の絵本原画展 4.28—5.6 西武(池袋)  
東京 4.30 小形佳奈
- 世界を編む展 6.26—8.22 横浜美術館  
アート・マガジン〈エル・アール〉15

- 芸術新潮 596  
美術(月刊) 286 沼田英子  
美術手帖 775 高島直之  
朝日夕刊 7.22 原田環  
東京夕刊 7.30 中村隆夫  
日経 7.2 宝玉正彦  
毎日夕刊 8.2 三田晴夫
- せたがやむかしむかし 10.18—12.4 昭和女子大学光葉博物館
- 芹沢銈介と李朝の文物 10.5—1.23 静岡市立芹沢銈介美術館
- 館蔵 仙厓展 10.5—11.3 出光美術館
- 仙界伝説—卑弥呼の求めた世界— 10.2—11.28 大阪府立弥生文化博物館

- 全国縄文展—祈りと暮らし— 7.23—8.5 小矢部市教育委員会
- 戦国の女たち—それぞれの人生— 10.9—11.14 大阪城天守閣
- 染織にみる吉祥文様—祈る・招く・祝う— 9.1—10.17 遠山記念館 付属美術館
- 扇面といふかたち展—その風流と機知を求めて— 8.21—9.23 三鷹市美術ギャラリー  
芸術新潮 598

(ソ)

- 蒼騎展39回 10.5—10.14 東京都美術館  
美術の窓 195 高山淳
- 創彩展19回 7.8—7.17 東京都美術館  
美術の窓 193 高山淳
- 双樹展29回 8.21—8.30 東京都美術館  
美術の窓 193 高山淳
- 創展33回 10.4—10.14 東京都美術館  
美術の窓 195 高山淳
- 相馬のやきもの—収蔵資料を中心として— 4.11—6.6 野馬追の里原町市立博物館
- 園部藩と城—維新の築城にいたるまで— 11.3—12.5 園部文化博物館

(タ)

- 大英博物館 古代エジプト展 8.7—10.3 東京都美術館  
芸術新潮 598  
朝日 8.6 荒俣宏  
朝日 8.6 ビビアン・デイビース談  
朝日夕刊 9.2 立花隆／鈴木まどか  
朝日夕刊 9.9 原田環  
産経 8.22 奥田裕  
読売夕刊 3.26 (片)
- 代官山インスタレーション'99 11.20—12.12 代官山ヒルサイドテラスと周辺  
朝日夕刊 12.8 田中三藏  
産経 12.5 渋沢和彦  
毎日夕刊 11.30 三田晴夫

中国河南省八千年の至宝 大黄河文明展 1.5—2.21 福岡市博物館  
陶説 551 弓場紀知

大ザビエル展 来日450周年記念  
その生涯と南蛮文化の遺宝  
1.15—3.14 川崎市市民ミュージアム  
アート・マガジン〈エル・アール〉  
16 大橋正芳／高梨智子／稲庭佐和子  
芸術公論 88  
芸術新潮 590  
地方史研究 279 井上攻

大正～昭和の子供茶碗—小林一彦コレクション展 4.22—10.17 愛知県陶磁資料館  
芸術新潮 598

太平洋・日本海展 8.2—8.28  
ギャラリーみうら(銀座)  
展評 1 原田和俊

大洋展21回 11.25—12.1 東京都美術館  
美術の窓 197 高山淳／篠原弘

太陽美術展25回 11.25—12.1 東京都美術館  
美術の窓 197 高山淳／篠原弘

台湾先住民の工芸 1.5—3.14 東京国立博物館

瀧口修造と武満徹展 10.23—12.5 世田谷文学館  
日経 12.9  
読売夕刊 11.29 一柳慧

瀧口修造文庫・北園克衛文庫資料展  
6.5—6.19 多摩美術大学図書館  
資料展示室  
朝日夕刊 6.11 (三)

竹と語る—つくる・うる・つかう・そして…— 4.1—5.23 千葉県立上総博物館

たこ風あがれ 伝統風づくし展  
1.15—3.7 横浜市歴史博物館

Dust Box 7.24—9.5 綾部市資料館

国宝「太刀・短刀」 4.24—5.27 埼玉県立博物館

国宝「太刀・短刀、法華経一品経」  
10.23—11.25 埼玉県立博物館

脱・現代美術教養論展 10.2—11.14 板橋区立美術館  
朝日夕刊 10.21 西原珉

日経 10.21 宝玉正彦

館林市の遺跡 3.20—6.20 館林市立資料館

田能村竹田と上方文化—絵画に見る— 2.17—3.22 大分市美術館

たぶろう展42回 5.31—6.10 東京都美術館  
美術の窓 191 高山淳

魂の脱獄—版画によるインド・女囚つかのまの讃歌展 4.24—6.13  
ギャラリーTOM  
朝日夕刊 6.10 村山治江

多摩の板碑 8.10—9.26 町田市立博物館

## (チ)

地展3回 5.27—6.1 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 865 ワシオ・トシヒコ

地球環境ポスター展 京都造形芸術大学・京都芸術短期大学所蔵  
5.18—6.13 ギャラリーRAKU  
(京都造形芸術大学・京都芸術短期大学)  
Quarterly Report 19 佐藤淳

知多の絵馬 参詣図を中心に  
7.18—9.15 半田市立博物館

チバ・アート・ナウ'99展 知覚の実験教室 11.14—12.19 佐倉市立美術館  
美術手帖 784 白坂ゆり

茶の湯の道具展 3.5—4.7 MOA美術館

茶の湯の名碗—和物茶碗— 10.2—11.30 茶道資料館

茶の湯と唐物 11.20—1.30 徳川美術館

茶箱と茶籠 6.19—9.5 茶道資料館

中近東の染織—松島コレクション—  
1.5—3.14 東京国立博物館

中国近代の絵画と工芸 8.21—9.30 和泉市久保惣記念美術館

中国陶磁 青花 白にはえる青のモチーフ 6.1—8.1 逸翁美術館

中国陶磁の美—元代から清代まで—  
2.18—3.28 大和文華館

中国の響銅—轆轤挽きの青銅器—  
10.10—11.23 和泉市久保惣記念美術館

中国の正倉院 法門寺地下宮殿の秘宝—唐皇帝からの贈り物展  
9.25—11.23 新潟県立近代美術館  
芸術新潮 603

中国の陶磁 1.9—3.27 松岡美術館

中国美術の源流展—中国古代の工芸に表された図像を中心に—  
7.27—9.26 出光美術館

中国民間版画の彩展 民衆のいぶき  
2.20—4.4 町田市立国際版画美術館  
朝日夕刊 3.26 (若)

忠臣蔵の世界—この間の遺恨覚えたるか!— 11.19—12.19 兵庫県立歴史博物館

中世の祇園城 4.18—6.6 小山市立博物館

中世びとの祈り—仏像・金工品にみる祈りのかたち— 3.27—5.9 川越市立博物館

超感覚ミュージアム展 4.21—5.4 松屋(銀座)  
日経 4.23

彫刻・具象表現の解体と構築展  
10.21—11.10 東京芸術大学大学美術館陳列館  
芸術新潮 601  
新美術新聞 876 北郷悟

彫刻の理想郷 イタリア・チェレからの贈り物展 5.22—7.4 三重県立美術館  
日経 6.24

ちょっと昔の道具たち—日々の暮らしを語る民具の世界— 1.20—3.14 柏原市立歴史資料館

陳介祺収集の封泥—阿部房次郎氏寄贈— 2.2—3.28 東京国立博物館

## (ツ)

津軽こぎんと刺し子展 3.1—5.22 INAXギャラリー(京橋)  
芸術新潮 592

築地小劇場とその時代展 舞台・美術・写真 9.7—11.28 名古屋市美術館  
芸術新潮 599

- 土浦の遺跡4 常名台の古代のむら  
10.2—11.21 上高津貝塚ふるさと歴史の広場  
紬の世界—伝統の技と美— 9.18—  
11.14 山形県立博物館  
つわものたちの夢—柳之御所遺跡展  
9.18—11.7 一関市博物館

(テ)

- デジタル・パウハウス—新世紀の教育と創造のヴィジョン展 8.6—  
9.19 NTTインターコミュニケーション・センター(ICC)  
新美術新聞 872 (賀)  
朝日夕刊 9.3 (盛)  
手と目の冒険広場展 色と形のカラー  
イドスコープ 7.31—9.19 目黒  
区美術館  
東京夕刊 9.3 草薙奈津子  
デモクラート1951—1957展 開放さ  
れた戦後美術 6.8—7.11 和歌  
山県立近代美術館  
芸術公論 91  
美術手帖 780 水沢勉  
朝日夕刊 6.16 大西若人  
デモクラート1951—1957展 開放さ  
れた戦後美術 8.21—10.11 埼  
玉県立美術館  
読売夕刊 8.24 大久保静雄  
伝統工芸藍形染展 5.18—5.24 江  
戸川区総合文化センター  
産経 5.21  
伝統の朝顔 江戸を咲かす 8.3—  
9.5 国立歴史民俗博物館  
天皇陛下御即位十年記念特別展  
2.4—2.16 高島屋(日本橋)  
毎日 2.3  
天変地異と世紀末—日本人の災害  
観・終末観— 10.23—11.23 古  
河歴史博物館

(ト)

- 東海の木喰仏—200年の微笑の魅  
力— 5.20—6.20 安城市歴史博  
物館  
十果会展21回 7.8—7.14 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 869 高岡忠雄  
等迦展32回 12.2—12.9 東京都美  
術館  
美術の窓 197 篠原弘

- TOKYO 60/90 17人の写真家  
5.29—6.13 東京都写真美術館  
東京夕刊 5.28 飯沢耕太郎  
東京イラストレーターズ・ソサイ  
ティが描く ことばの20世紀展  
1.23—3.10 フジタヴァンテ・  
ミュージアム  
朝日夕刊 3.5 (三)  
毎日夕刊 1.13  
東京を描く画家たち展 8.9—8.21  
丸善ギャラリー(日本橋)  
東京 8.10  
陶芸の現在展 土の形態学 5.13—  
5.18 高島屋(日本橋)  
芸術新潮 595  
東寺の三十七尊マンダラー—光背の中  
の立体世界— 9.20—11.25 東  
寺宝物館  
東寺の密教図像—形像の相伝—  
3.20—5.25 東寺宝物館  
東大寺二月堂とお水取り 2.23—  
3.31 奈良国立博物館  
東大寺文書の世界 2.23—3.31 奈  
良国立博物館  
東大寺の至宝 12.9—1.23 東武美  
術館  
銅鐸・銅剣・剣矛 10.9—11.28  
辰馬考古資料館  
唐と奈良の文化—七〜八世紀中国・  
日本の美術工芸— 4.24—5.9  
黒川古文化研究所  
宮廷の栄華—唐の女帝・則天武后と  
その時代展 1.23—3.22 神戸市  
立博物館  
陶説 551 松本伸之  
銅版画憧憬展 コレクションによる  
テーマ展示 7.27—9.12 東京都  
現代美術館  
新美術新聞 869 林洋子  
動物彫刻の世界—宗教美術の脇役た  
ち— 10.23—11.28 大津市歴史  
博物館  
芸術新潮 601  
動物デザイン考古学 縄文人の作っ  
た小さな動物たち 7.16—9.19  
地底の森ミュージアム  
東方山安養寺の美術 8.20—9.12  
栗東歴史民俗博物館  
東北の戦国時代—伊達氏、仙台への  
道— 4.23—6.6 仙台市博物館

- 東洋の古代美術 5.20—6.27 大和  
文華館  
ドーナッツ展 9.1—11.21 オン・  
サンデーズ  
美術手帖 779  
ときのいろ にほんのかたち—デジ  
タルアーカイブのある世界—  
12.10—12.26 東京国立博物館  
時を紡ぐ、ゆたかに語る 絵本と絵  
巻 4.24—5.23 新潟県立近代美  
術館  
特殊製紙コレクション 香道具—か  
ぐわしきたくみ— 9.4—10.11  
佐野美術館  
栃木の遺跡—最近の発掘調査の成果  
から— 9.30—11.17 栃木県立  
なす風土記の丘資料館  
DOMANI・明日展 2.2—2.28 安  
田火災東郷青児美術館  
東京夕刊 2.12 草薙奈津子  
日経 2.17 竹田博志  
ともだち展 10.3—12.26 ギャラ  
リーTOM  
朝日夕刊 10.29 (盛)  
渡来人登場—弥生文化を開いた  
人々— 4.17—6.27 大阪府立弥  
生文化博物館  
取手アートプロジェクト99 12.7—  
12.21 取手市街  
日経 8.23  
毎日夕刊 11.29 日比野克彦  
取手リ・サイクリングアートプロ  
ジェクト'99展 12.7—12.12 東  
京芸術大学取手校  
朝日夕刊 12.10 (三)  
鳥の考古学 神・精霊・人の死—古  
代人の精神と密接にかかわる鳥の  
造形たち— 10.20—12.5 かみ  
つけの里博物館  
トルクメン・ジュエリー展 シルク  
ロードからの贈りもの 7.13—  
9.5 広島県立美術館

(ナ)

- ながれやまの宝物 7.17—3.12 流  
山市立博物館  
特別ナポレオン展 英雄のロマンと  
人間学 4.29—8.1 東京富士美  
術館  
芸術公論 90

## (二)

- 新潟湯津南町展—火焰土器と雪のまち— 3.20—5.9 狭山市立博物館
- NICAF'99展 11.3—11.7 東京国際フォーラム  
美術手帖 783 李美那
- 肉筆浮世絵逸品展 大画面に描かれた江戸の風俗 9.11—10.17 たびこと塩の博物館
- 肉筆浮世絵名作展 6.11—7.7 MOA美術館
- 二元展38回 6.12—6.22 東京都美術館  
美術の窓 191 高山淳
- 20人のセルフポートレイト展—存在と不在 5.11—5.16 ギャラリーRAKU(京都造形芸術大学・京都芸術短期大学)  
Quarterly Report 19 菅谷あゆ子
- 20世紀静物画の展開 4.3—5.16 東京ステーションギャラリー  
読売夕刊 4.2 金原宏行
- 20世紀日本の記憶写真展 10人の写真家たちの眼 7.27—8.29 芸術公論 91  
東京夕刊 8.13 中村隆夫  
読売 7.22 立松和平  
読売 8.3—14 飯沢耕太郎  
読売夕刊 8.9
- 二〇世紀日本美術再見展3 一九三〇年代 9.4—11.7 三重県立美術館  
朝日 10.6 田中三歳
- 20世紀のアメリカ版画展 4.17—6.20 町田市立国際版画美術館  
朝日 6.3 高木幸枝  
朝日夕刊 5.13 原田環
- 日常への礼讃 フランス、フランシュ・コンテ地方コレクション 7.17—11.3 メルシャン軽井沢美術館  
芸術公論 92
- 99 The日美展6回 7.20—7.25 埼玉県立近代美術館  
新美術新聞 867
- 日米交流のあけぼの—黒船きたる—全米最古ピーボディ・エセックス博物館の日本コレクションから 9.28—12.12 東京都江戸東京博物館  
芸術新潮 599  
朝日 9.25
- 日洋展13回 6.24—6.29 東京都美術館  
美術の窓 193 高山淳
- 日本画と日本陶磁 4.3—5.9 五島美術館
- 日本自由画壇展25回 8.21—8.30 東京都美術館  
美術の窓 193 高山淳
- 日本秀作美術展21回 6.3—6.16 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 864  
読売夕刊 6.1
- 日本新水墨派会展24回 11.25—12.1 東京都美術館  
美術の窓 197 篠原弘
- 日本人の世界観を探る—三途の川— 10.23—11.23 さいたま川の博物館
- 日本ゼロ年展 11.20—1.23 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
アート・マガジン〈エル・アール〉18 倉林靖／白川昌生／千葉成夫／榎木野衣／水谷みつる司会  
アート・マガジン〈エル・アール〉18 山本育夫  
芸術新潮 601  
美術手帖 784 木下長宏  
朝日夕刊 12.9 西原珉  
毎日夕刊 12.16 三田晴夫  
読売夕刊 12.1 (菅)
- 日本刀 京の名匠 来派の隆盛にみる 12.4—1.17 佐野美術館
- 日本陶芸展15回 5.27—6.8 大丸ミュージアム(東京)  
毎日 5.26 林屋晴三
- 日本／東洋の美 奈良・大和文華館の至宝 1.5—2.7 福岡市美術館
- 日本のお札—身近にあったグラフィック・アート— 10.23—11.7 黒川古文化研究所
- 日本のガラス2000年—弥生から現代まで— 7.20—9.5 サントリー美術館  
芸術新潮 597  
毎日夕刊 7.16 土屋良雄／赤司正文聞き手
- 日本の工芸 和鏡・うるし・やきもの楽しみ 6.6—8.8 和泉市久保記念美術館
- 日本のこころ 秋草 9.15—11.28 逸翁美術館
- 日本の生活デザイン展 7.17—8.8 パークタワーホール  
芸術新潮 596  
芸術新潮 597
- 日本の前衛 ART INTO LIFE 1900—1940展 11.23—1.23 京都国立近代美術館  
視る 386 山野英嗣
- 日本の版画2 1911—1920 刻まれた『個』の饗宴 9.21—10.24 千葉市美術館  
芸術新潮 599  
朝日夕刊 10.12 岩切信一郎  
東京夕刊 10.5—7 西山純子
- 日本の藩窯—東日本編— 10.23—11.23 彦根城博物館
- 日本版画会展40回記念 11.25—12.1 東京都美術館  
美術の窓 197 篠原弘
- 日本表現派展43回 10.5—10.14 東京都美術館  
美術の窓 195 高山淳
- 日本文人画府展28回 10.5—10.14 東京都美術館  
美術の窓 195 高山淳
- 日本・ポーランド交流写真美術展 10.3—10.17 大阪WTCビル+市民ギャラリー  
美術手帖 780 加須屋明子
- ニュースの誕生展—かわら版と新聞錦絵の情報世界 10.8—12.12 東京大学総合研究博物館  
芸術新潮 601  
朝日夕刊 10.7  
毎日夕刊 10.12 吉見俊哉  
毎日夕刊 10.19 鈴木穰  
読売夕刊 11.17 氏家幹人
- New Life展 2.12—3.7 現代美術製作所、小山登美夫ギャラリー、スウェーデン大使館、ナガミネプロジェクト、ナディッフ、ヒルサイドギャラリー、ミツマアートギャラリー、P-House  
美術手帖 770 梅宮典子
- 人形 2.25—4.4 京都国立博物館

人間国宝新作展34回 5.13—5.18  
松坂屋(上野)  
毎日 5.13 林田英樹

(ネ)

寧処に違あらず—古墳時代の戦乱—  
4.25—6.6 滋賀県立安土城考古  
博物館  
根付と遊具 その粋としゃれ  
4.20—5.23 須坂市立博物館

(ノ)

信長・秀吉・家康 戦国の覇者三英  
傑 7.17—8.29 徳川美術館

(ハ)

ハーバード大学コレクション展  
7.31—9.26 Bunkamura ザ・  
ミュージアム  
東京夕刊 8.27 中村隆夫  
日経 7.26—28 松岡弘城  
日経夕刊 8.24 阿部良/高階秀  
爾/酒井忠康/清水嘉弘/山本容  
子/クノー・ジェームズ

ハイカラ洋風建築展 7.1—9.19  
がす資料館  
東京 9.7

白鶴美術館名宝展—唐時代美術と殷  
周青銅器— 9.7—11.28 白鶴美  
術館

白土会展35回 8.21—8.30 東京都  
美術館  
美術の窓 193 高山淳

幕末の会津と若松市の成立—近代化  
への道— 9.18—11.7 若松城天  
守閣郷土博物館

バサージュ フランスの新しい美術  
展 7.17—9.19 世田谷美術館  
アートトップ 174 勅使河原純  
美術手帖 777 小倉正史  
武蔵野美術 114 瀧口杏子  
毎日夕刊 8.30 三田晴夫  
読売夕刊 8.25 小倉正史

羽間文庫—町人天文学者間重富と大  
阪 10.6—11.23 大阪市立博物  
館

芭蕉自筆 奥の細道 10.25—11.6  
国文学研究資料館

畠山記念館所蔵茶道美術名品五十選  
展 4.24—5.30 石川県七尾美術  
館

畠中光享コレクション5 オールド  
マスター絵画&ファッション小物  
4.27—5.9 ギャラリー RAKU  
(京都造形芸術大学・京都芸術短  
期大学)

Quarterly Report 19 潮江宏三  
発掘された遺跡 6.8—9.19 多賀  
城市埋蔵文化財調査センター

発掘された仙台の遺跡3 土の中か  
らのメッセージ 4.16—6.27 地  
底の森ミュージアム

発掘された町田の遺跡—木曾森野・  
野津田上の原遺跡— 5.1—6.13  
町田市立博物館

花—古瓦と古代寺院— 10.23—  
12.12 城陽市歴史民俗資料館

花と鳥—美の楽園— 9.4—10.3  
徳川美術館

茶のうつわ 花入と水指展 6.12—  
7.25 静嘉堂文庫美術館

花ひらく縄文文化—境A遺跡と三内  
丸山遺跡— 10.14—11.8 富山  
県埋蔵文化財センター

バプア・ニューギニアの工芸—小田  
信昭収集資料より— 9.2—11.20  
国際基督教大学博物館湯浅八郎記  
念館

パリ市近代美術館展 もうひとつの  
パリコレ 6.19—8.15 安田火災  
東郷青児美術館  
新美術新聞 866 小林晶子  
産経 6.10、11、16、17、19—21  
奥田裕

産経 6.18、22、25 千足伸行  
産経 6.20 シュザンヌ・バジュ  
/奥田裕聞き手

産経 7.18 城戸真亜子  
産経夕刊 6.8、9 奥田裕

パリのインスピレーション展  
4.28—5.11 Bunkamura Gallery  
美術手帖 773 原田環

パリのカフェと画家たち展  
10.13—11.7 小田急美術館  
読売夕刊 10.8 前田恭二

パリ、プティ・パレ美術館展  
4.29—6.13 フジテレビギャラ  
リー

産経 5.30 渋沢和彦

パリ、プティ・パレ美術館展  
8.11—9.26 京都市美術館

京都市美術館ニュース 178 中  
谷至宏

パリ・モード1870—1960展 華麗な  
る夜の時代 10.2—12.19 東  
京都庭園美術館  
毎日 10.13 宮本扶未子

バルーンアート・フェスティバル  
HOT AIR展 4.16—4.25 グラ  
ンシップ  
美術手帖 773 新川貴詩

はるかあのムラをめざして安中市・  
中野谷松原遺跡にみる縄文人の交  
流 4.28—6.28 かみつけの里博  
物館

春の景—桜を中心に展 3.20—5.5  
山種美術館  
朝日夕刊 4.1 原田環

春の優品展 3.28—6.13 遠山記念  
館付属美術館

板展展49回 6.11—6.22 東京都美  
術館  
美術の窓 191 高山淳

版画にみるアメリカ美術の100年  
1.5—2.7 北海道立函館美術館  
日経アート 123 倉林靖

(ヒ)

比叡山延暦寺の名宝と国宝・梵鐘  
4.17—10.17 佐川美術館

東アジア/絵画の近代—油画的誕生  
とその展開展 4.10—5.23 静岡  
県立美術館

アート・マガジン(エル・アール)  
15 千葉成夫  
美術手帖 773 岡部昌幸

朝日夕刊 4.28 田中三蔵  
読売夕刊 10.8 前田恭二

東アジア/絵画の近代—油画的誕生  
とその展開展 5.29—7.11 兵庫  
県立近代美術館

ピロティ 111 飯野正仁  
新美術新聞 876 三上豊

東アジアの金銅仏 愛らしき仏た  
ち—中国・韓国・日本 10.2—  
11.14 大和文華館

美術にみる詩歌と物語展—絵巻・詩  
歌帖・物語図屏風など— 4.10—  
5.30 静嘉堂文庫美術館

聖と隠者 山水に心を澄ます人々  
4.27—5.30 奈良国立博物館  
文化財(月刊) 427 西山厚

ひそやかなラディカリズム展  
 MOTアニュアル1999 1.5—3.28  
 東京都現代美術館  
 アート・マガジン〈エル・アール〉  
 12  
 アート・マガジン〈エル・アール〉  
 13 千葉成夫  
 美術手帖 769 名古屋覚  
 武蔵野美術 113 赤間啓之  
 朝日夕刊 2.3 大西若人  
 日経 2.10 宝玉正彦  
 読売夕刊 1.19 (菅)

常陸国風土記の世界—ひたみちの首  
 長と民— 10.23—11.28 茨城県  
 立歴史館

秀吉襲来—近世関東の幕開け—  
 10.9—11.28 横浜市歴史博物館

秀吉と日本三大水攻め 10.23—  
 11.23 和歌山市立博物館

ヒトと手道具 10.5—12.5 竹中大  
 工道具館

雑の世界 2.6—3.22 遠山記念館  
 附属美術館

ヒューストン美術館展 6.5—7.11  
 千葉県立美術館  
 読売夕刊 6.2 金田雅成

広重風景版画展 東海道五拾三次と  
 木曾街道六拾九次 1.15—2.14  
 平塚市美術館

(フ)

フィリピンにわたった焼きもの—青  
 磁と白磁を中心に—富山佐藤美術  
 館関コレクション 11.30—1.16  
 町田市立博物館

フェルメールとその時代展 4.4—  
 7.2 大阪市立美術館  
 毎日夕刊 11.16 千足伸行談/  
 石川健次聞き手  
 毎日夕刊 11.16 小林頼子談/  
 石川健次聞き手

福岡アジア美術トリエンナーレ 1 回  
 3.6—6.6 福岡アジア美術館  
 アート・マガジン〈エル・アール〉  
 15 千葉成夫  
 美術手帖 771 中村英樹  
 朝日 4.14 田中三蔵  
 産経 5.16 新川貴詩

福岡のやきもの—豊前田香焼—  
 1.5—3.28 九州歴史資料館

武士の意匠—透かし鐺 江戸時代か  
 ら古墳時代まで 2.5—3.15 佐  
 野美術館

FUJINO国際アートシンポジウム 2  
 回 9.5—10.11 神奈川県藤野町  
 美術手帖 779 室井絵里  
 毎日夕刊 9.10 石川健次

府中発「発掘最前線'99」 11.20—  
 12.5 府中市郷土の森博物館

仏教の美術 8.19—9.26 大和文華  
 館

仏教美術の名宝 9.15—9.26 大阪  
 青山歴史文学博物館

BOOKMARKS展 a Women Art-  
 ists' Association Presentation  
 3.16—3.21 ギャラリー RAKU  
 (京都造形芸術大学・京都芸術短  
 期大学)  
 Quarterly Report 19 中谷至宏

仏像—胎内の世界— 10.9—11.14  
 滋賀県立琵琶湖文化館

仏堂のある風景—古代のムラと仏教  
 信仰— 10.15—11.23 栃木県立  
 しもつけ風土記の丘資料館

不動堂と八大童子像 平成大修理国  
 宝 不動堂落慶記念展 10.3—  
 11.14 高野山霊宝館

府内と臼杵から戦国の世界が見え  
 る—都市・貿易・民衆—  
 10.13—11.21 大分県先哲史料館

プライベートルーム展 2 新世代の  
 写真表現 4.3—6.6 水戸芸術館  
 現代美術ギャラリー  
 美術手帖 771 後藤繁男  
 朝日夕刊 4.15 原田環  
 朝日夕刊 5.12 大西若人

フランス19世紀末の女性たち展  
 2.10—2.28 奈良そごう美術館  
 芸術公論 88

ふるさとのやきもの—近江のやきも  
 の・野洲のやきもの— 4.24—  
 5.30 野洲町立歴史民俗資料館

ブルックリン美術館所蔵浮世絵名品  
 展 4.1—4.25 太田記念美術館

文人画展 1 9.1—10.10 泉屋博古  
 館

文人画展 2 10.19—11.30 泉屋博  
 古館

(ヘ)

平安時代の美術—九州の彫刻を中心  
 に— 10.20—11.28 熊本県立美  
 術館

平家物語絵巻—物語を彩る人々と合  
 戦— 6.6—7.11 林原美術館

平成11年新指定国宝・重要文化財特  
 別展 4.20—5.5 東京国立博物  
 館

兵馬俑と秦・漢帝国の至宝展  
 6.5—7.11 岐阜市歴史博物館

ペインティング・フォー・ジョイ展  
 6.25—7.10 国際交流フォーラム  
 読売 7.7 菅原教夫

ベトナム若手作家展 MEMORY—  
 SPIRIT—POLLUTION 7.23—  
 8.28 ミヅマアートギャラリー  
 毎日 8.4 宮本扶未子

弁天海港佐久島・アートフェスティ  
 バル 2 回 11.6—11.30 弁天サ  
 ロン他、佐久島全域(愛知県)  
 アート・マガジン〈エル・アール〉  
 17 伊藤伸之

(ホ)

房総の神と仏展 11.2—12.12 千  
 葉市美術館  
 芸術新潮 601

法隆寺・宮内庁の宝物 生まれか  
 わった法隆寺宝物館 7.20—8.29  
 東京国立博物館

ポーランドクラクフ国立博物館 浮  
 世絵名品展 11.20—12.26 郡山  
 市立美術館

ポーランド作家版画展 7.18—8.1  
 坂出市民美術館  
 新美術新聞 868

北限への旅路—茶の自然と歴史を訪  
 ねて 茶はいかにしてこの地へ来  
 たのか… 5.1—6.13 入間市博  
 物館

北斎と広重 5.7—6.9 MOA美術  
 館

ほっこり展 2.16—2.21 ギャラ  
 リー RAKU(京都造形芸術大学・  
 京都芸術短期大学)  
 Quarterly Report 19 和田ひと  
 え

ポルトガル 栄光の500年展  
 10.17—11.28 東京富士美術館  
 産経 11.14 百田篤弘  
 産経夕刊 10.10、17、24、31、  
 11.21、28 白根敏昭  
 産経夕刊 10.13 江原和雄/浜  
 岡究/林田雅至/木室公生  
 産経夕刊 10.18～22 渋谷和彦  
 毎日 9.7  
 香港芸術館 珠玉の工芸 10.19—  
 11.28 東京国立博物館  
 本の装い展 9.28—11.7 岩手県立  
 博物館  
 岩手県立博物館だより 82 阿部  
 めぐみ  
 ポンベイ展 悲劇と栄光 9.18—  
 2.19 品川インターシティギャラ  
 リー  
 芸術新潮 602  
 朝日 10.3 青柳正規  
 朝日 11.1 八巻直史

(マ)

Mt. FUJI展3回 5.31—6.19  
 ギャラリーEMORI(渋谷区)  
 展評 1 ワシオ・トシヒコ  
 前田利家没後400年 城下町金沢の  
 人々よみがえる江戸時代のくら  
 しー 10.9—11.7 石川県立歴史  
 博物館  
 マグナムフォト写真展 1.15—1.27  
 朝日新聞記念会館(有楽町マリ  
 オン)  
 朝日夕刊 1.14  
 又兵衛絵巻展 山中常盤・堀江・淨  
 瑠璃 7.9—8.4 MOA美術館  
 まちに飛びだした美術館 7.1—  
 7.15 神楽坂～矢来町全域  
 産経 7.5 齊藤良雄  
 松平家の名宝 11.16—12.26 香川  
 県歴史博物館  
 学びの系譜展 10.30—11.28 名古  
 屋市博物館  
 芸術新潮 601  
 幻のおおでら—百済大寺 4.13—  
 5.30 奈良国立文化財研究所飛鳥  
 資料館  
 幻の中世都市十三湊—海から見た北  
 の中世— 9.8—10.4 国立歴史  
 民俗博物館  
 歴博 92 網野善彦

幻の宮 伊勢斎宮—王朝と祈りと皇  
 女たち— 3.27—5.5 横浜市歴  
 史博物館  
 満濃池1 11.16—12.26 香川県歴  
 史博物館

(ミ)

湖の船 木造船にみる知恵と工夫  
 7.20—11.23 滋賀県立琵琶湖博  
 物館  
 水の物語展 ヨーロッパ絵画にみる  
 神話と象徴 5.22—6.27 神奈川  
 県立近代美術館  
 東京夕刊 5.24 橋秀文  
 東京夕刊 5.25 太田泰人  
 東京夕刊 5.27 水沢勉  
 東京夕刊 6.11 山梨俊夫  
 源頼朝公展 6.10—6.20 鶴岡八幡  
 宮直会殿  
 源頼朝とゆかりの寺社の名宝  
 10.23—11.28 神奈川県立歴史博  
 物館  
 仏教の美術展 10.2—11.28 静嘉  
 堂文庫美術館  
 宮川寅雄 その生涯と時代展  
 12.15—12.20 品川区民ギャラ  
 リー  
 毎日夕刊 12.10  
 花洛のモード—きもの時代—展  
 10.19—11.23 京都国立博物館  
 芸術新潮 601  
 妙法院と三十三間堂 4.6—5.9 京  
 都国立博物館  
 文化財(月刊) 426  
 見ることと作ること展 1.5—1.23  
 東京国立近代美術館工芸館  
 日経 12.28 宝玉正彦  
 魅惑のマーブル紙展 4.1—5.9 紙  
 の博物館  
 朝日 3.25 大庭広道

(ム)

麦わら細工の輝き 9.5—10.3 大  
 田区立郷土博物館  
 無垢の芸術展 2.27—3.28 三重県  
 立美術館  
 朝日夕刊 3.10 田中三蔵  
 無言の情熱 遺物が語る古代アンデ  
 スの姿 6.19—7.31 遠山記念館  
 付属美術館

虫たちの囁き 4.24—6.21 石川県  
 輪島漆芸美術館  
 虫とのつきあい—おくる・めでる—  
 7.24—9.5 土浦市立博物館  
 室生寺のみ仏たち 国宝・五重塔復  
 興支援 4.20—6.13 東京国立博  
 物館

(メ)

目展4回 それぞれのかたち  
 10.20—10.26 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 877 高岡忠雄  
 明治のファッション展 4.1—6.27  
 がす資料館  
 朝日 4.1 石田久美子  
 名都美術館名品展—松園、清方、深  
 水を中心に 5.20—6.1 高島屋  
 (日本橋)  
 朝日夕刊 5.19 山盛英司  
 メキシコ国立芸術院エスメラルダ美  
 術学校・国際交流展3回[写真・  
 5人の方法] 7.6—7.18 ギャラ  
 リーRAKU(京都造形芸術大学・  
 京都芸術短期大学)  
 Quarterly Report 19 南貴子  
 目黒雅叙園と女流画家展 1.1—3.7  
 目黒雅叙園美術館  
 朝日夕刊 1.14 田中三蔵  
 メディテーション—真昼の瞑想展  
 90年代の日本の美術 7.1—9.26  
 栃木県立美術館  
 展評 1 天野一夫  
 美術手帖 777 清水哲朗  
 朝日夕刊 8.25 田中三蔵  
 日経 8.17 宝玉正彦  
 毎日夕刊 7.15 三田晴夫  
 読売夕刊 9.1 (菅)  
 メビウスの卵展 7.17—7.28 O美  
 術館  
 東京 7.27 加藤治男/林涼子聞  
 き手

(モ)

文字 5.1—5.30 園部文化博物館  
 モダニズム再考 二楽荘と大谷探検  
 隊 10.23—12.5 芦屋市立美術  
 博物館  
 芸術新潮 601  
 読売夕刊 10.22

館蔵 桃山の茶陶 9.15—11.28  
三井文庫  
桃山の美—数寄のかたちと意匠—  
3.9—5.9 出光美術館  
森に生きるかたち 彫刻の森美術館  
開館30周年記念展 8.1—9.10  
箱根彫刻の森美術館  
芸術新潮 597  
新美術新聞 874 松村寿雄  
美術手帖 780 三田晴夫  
朝日夕刊 9.1 田中三蔵  
産経 9.12 高階秀爾  
産経夕刊 10.5 奥村泰雄  
毎日夕刊 8.9 三田晴夫  
読売夕刊 8.17 (菅)

(ヤ)

焼き物にみる中世の世界—県内出土  
の土器・陶磁器を中心にして—  
3.20—5.9 上高津貝塚ふるさと  
歴史の広場  
柳之御所遺跡展 つわものたちの夢  
9.18—11.7 一関市博物館  
矢作川 川と人の歴史 5.15—7.18  
岡崎市美術館  
やまがたの古墳とその時代 10.1—  
11.30 山形県立うきたむ風土記  
の丘資料館  
大和川・北から西へ 宝永元年大和  
川の付け替え工事 9.29—12.10  
柏原市立歴史資料館  
大和の神々と美術 舞楽面と馬具を  
中心に 12.7—1.23 奈良国立博  
物館  
山本鼎版画大賞展1回 11.25—  
12.7 上田創造館  
版画芸術 107 野田哲也  
山本コレクション受贈記念 美濃の  
やきもの 黄瀬戸・瀬戸黒・志  
野・織部の系譜 10.16—11.30  
佐野美術館  
弥生時代の富沢あたり—弥生ムラと  
コメづくり— 10.5—12.23 地  
底の森ミュージアム  
弥生の装い—アクセサリーとその呪  
術性— 10.2—11.28 下関市立  
考古博物館

(コ)

湯浴み—湯の歴史と文化— 10.8—  
11.7 大分県立歴史博物館  
夢 2000年が遠い未来だった頃展  
12.3—12.26 ミキモトホール  
芸術新潮 601

(ク)

遙玄展26回 12.2—12.9 東京都美  
術館  
美術の窓 197 高山淳  
羊遊斎 江戸琳派の蒔絵師  
10.23—11.28 五島美術館  
横浜浮世絵と近代日本—異国“横浜”  
を旅する— 3.6—4.4 神奈川県  
立歴史博物館

吉野ヶ里遺跡と中野の弥生遺跡  
5.1—8.1 中野区立歴史民俗資料  
館

「装い」文化あれこれ 清野謙次コレ  
クションから 1.26—3.22 大阪  
府立近つ飛鳥博物館

読売招待関秀書展16回 3.3—3.8  
松屋(銀座)

読売夕刊 2.25 田宮文平  
よみがえる江戸時代絵巻 大名行列  
4.20—5.23 徳島県立博物館

よみがえる漢王朝 2000年の時をこ  
えて 6.22—8.22 国立歴史民俗  
博物館

歴博 93 西谷大  
歴博 96 杉山明

甦る古代の装い展—古代服飾考証の  
世界 9.16—10.16 多摩美術大  
学附属美術館  
毎日 10.14 上杉恵子

よみがえる正倉院宝物—再現された  
天平の技— 4.24—6.6 兵庫県  
立歴史博物館

(カ)

ラヴズ・ボディ展 ヌード写真の近  
現代 4.14—6.20 サントリー  
ミュージアム(天保山)  
アート・マガジン(エル・アール)  
16 笠原美智子/山本育夫聞き手  
羅漢図とその背景—禪宗の美を探  
る—展 10.1—12.12 大倉集古  
館  
芸術新潮 601

平成11年美術展覧会(企モ〜ル)

椋野寺の仏像 8.20—9.12 栗東歴  
史民俗博物館

螺鈿—虹色に輝く貝と漆の芸術—  
10.9—11.14 徳川美術館

蘭学万華鏡—江戸時代信濃の科学技  
術— 10.9—11.14 長野県立歴  
史館

ランゲン夫妻の眼 初公開 欧州随  
一の日本美術コレクション  
10.9—11.23 根津美術館

(キ)

新館開館記念 李秉昌コレクション  
韓国陶磁展—優艶の色・質朴のか  
たち— 3.17—4.18 大阪市立東  
洋陶磁美術館  
陶説 553 竹田博志

リパティ・スタイル展 20世紀の創  
造 アール・ヌーヴォーとモダ  
ン・デザインの源流 6.12—7.25  
東京都庭園美術館

芸術公論 91  
芸術新潮 596

リビング・ブリッジ/居住橋展 ひ  
と住まい、集う都市の橋 2.6—  
4.4 サントリーミュージアム(天  
保山)

芸術新潮 592 藤塚光政

両洋の眼・現代の絵画展 10回

2.2—2.7 三越(日本橋)  
新美術新聞 852 米倉守  
美術(月刊) 281 米倉守  
日経 2.17 竹田博志

繚乱、アジアの仮面—神界への昇  
華、世俗への降臨— 10.24—  
11.27 天理ギャラリー

繚乱の時—西部瀬戸内に咲いた、弥  
生の花— 10.16—11.23 松山市  
考古館

琳派展 2 9.10—12.5 細見美術館  
琳派の造形 物語絵と草花図の世界  
4.23—5.9 根津美術館

館蔵 琳派の美 11.16—2.13 出  
光美術館

(ク)

ルービックキューブ展 2.23—2.28  
ギャラリーRAKU(京都造形芸術  
大学・京都芸術短期大学)  
Quarterly Report 19 藤田忍



(レ)

歴史のものさしー弥生土器の編年ー  
12.16ー2.13 香川県歴史博物館  
蓮華百相一瓦からみた初期寺院の成  
立と展開ー 4.24ー5.30 奈良県  
立橿原考古学研究所附属博物館

(ロ)

ロー・コレクション展 西洋絵画  
500年の巨匠たち 10.9ー12.26  
安田火災東郷青児美術館  
芸術新潮 601 五十嵐卓  
産経 12.5 五十嵐卓  
産経夕刊 10.15、26ー28、11.19、  
23 渋谷和彦  
毎日夕刊 12.14 五十嵐卓

六大浮世絵師名品展 5.14ー6.13  
豊橋市美術館

六大浮世絵師名品展 7.17ー8.22  
茨城県天心記念五浦美術館

ロシア国立東洋美術館所蔵 首藤コ  
レクション 幻の日本画名品展  
6.18ー8.1 そごう美術館  
産経夕刊 6.11 市川雄二／大川  
聡美／鈴木進／佐藤光信  
読売夕刊 7.9 (前)

(ワ)

若狭の古代遺跡ー発掘の成果と出土  
品ー 10.19ー11.21 福井県立若  
狭歴史民俗資料館

倭国と加耶ー古代の海をこえてー  
9.8ー11.7 佐賀県立名護屋城博  
物館

和紙のかたち展 現代美術の手法 4  
4.24ー6.6 練馬区立美術館  
芸術新潮 595  
美術手帖 773 樋田豊次郎  
朝日夕刊 10.22 草薙奈津子  
毎日夕刊 5.20 石川健次

ワシントン・ナショナル・ギャラ  
リー展 1.30ー4.4 京都市美術  
館  
芸術公論 89

ワシントン・ナショナル・ギャラ  
リー展 4.17ー7.11 東京都美術  
館  
新美術新聞 859 島田紀夫  
東京 6.4 中村隆夫

読売 1.7 島田紀夫／アール・  
A・パウエル三世／阿川佐和子／  
赤瀬川原平／岩淵潤子

読売 4.10 真室佳武／小林頼子  
読売 4.22、23、26 菅原教夫  
読売夕刊 4.16

読売夕刊 4.19、20 菅原教夫  
読売夕刊 6.8 西岡文彦／横森  
理香／森英恵／中山公男

私の愛するデザイン展 出会いは  
ミッド・センチュリー 7.15ー  
8.10 リビングデザインギャラ  
リー  
芸術新潮 599 清家清

ONE DAY ONE SHOW展 3.1ー  
3.30 フリースペース3 (渋谷区)  
東京 3.24 小形佳奈

作家展

(ア)

会田誠展『道程』 4.29ー5.30 三菱  
地所アルティアム(福岡)  
芸術新潮 595 山下裕二

相原求一朗展 「北の十名山」と私の  
風土'99 1.21ー1.26 高島屋(な  
んば)  
アートトップ 169 ワシオ・ト  
シヒコ

美術の窓 185 井関正昭  
新美術新聞 851 高橋玄洋

相原求一朗展 「北の十名山」と私の  
風土'99 2.24ー3.2 高島屋(日  
本橋)

日経 2.26 竹田博志

相原求一朗の世界展 北の詩情ー永  
遠の時をたずねて 9.9ー9.19  
丸広百貨店(川越)

美術の窓 192 篠原弘  
青木野枝展 4.5ー4.24 ギャラ  
リーイデア

美術手帖 771 蔵屋美香  
朝日夕刊 4.9 (若)  
毎日夕刊 4.13 三田晴夫

青木野枝展「薬玉」 12.6ー12.25  
ギャラリー池田美術  
芸術新潮 602

赤木仁展 12.6ー12.26 成山画廊  
芸術新潮 602

秋岡美帆展 1.15ー1.30 ギャラ

リー16

美術手帖 769 小口斉子  
秋山武雄写真展 昭和28ー42年『私  
の東京』物語 8.17ー8.30 新宿  
ニコンサロン  
新美術新聞 870 (賀)

秋山祐徳太子&小沢剛 Hack the  
Future!展 美術史の闖入者た  
ち 10.9ー10.24 上野の森美術  
館

産経 10.17 渋谷和彦  
浅野修 絵画・オブジェ・音展  
10.4ー10.10 小野画廊  
美術の窓 193 篠原弘

安達博文の世界展 12.1ー2.29 池  
田20世紀美術館  
新美術新聞 880 野見山暁治／  
佐々木豊

阿部合成展 11.15ー11.30 秀友画  
廊  
芸術新潮 601

オマーージュ瀧口修造展19回 阿部展  
也 7.1ー7.24 佐谷画廊  
芸術新潮 596

荒木経惟展 センチメンタルな写  
真、人生。 4.17ー7.4 東京都  
現代美術館  
芸術新潮 594

朝日 4.3 (草)  
朝日 5.18 (草)  
朝日 5.26 建畠哲  
朝日夕刊 4.14 大西若人  
朝日夕刊 5.27 原田環

町田康・荒木経惟展 『俺、南進し  
て。』出版記念 10.19ー10.28 ヒ  
ルサイドフォーラム  
東京夕刊 10.25

安藤忠雄建築展 20のプロセス  
6.15ー8.15 茨木春日丘教会[光  
の教会]、兵庫県立こどもの館、  
姫路文学館、真言宗本福寺水御  
堂、直島コンテンポラリーアート  
ミュージアム、大阪府立近つ飛鳥  
博物館、兵庫県木の殿堂、サント  
リーミュージアム[天保山]、成羽  
町美術館、市立五條文化博物館、  
アサヒビール大山崎山荘美術館、  
ギャラリー小さい芽、越知町立横  
倉山自然の森博物館、清水建設株  
式会社、テクノ・ナミケン株式会

社、株式会社乃村工藝社  
朝日 8.9 大西若人  
産経 7.25 渋谷和彦  
**安野光雅展 旅の世界** 9.3—9.26  
そごう美術館  
毎日夕刊 8.30  
**マリオ・A展 F THE GEISHA**  
7.8—7.17 ミヅマ・アート・  
ギャラリー  
毎日夕刊 8.26 桐原良光

## (イ)

**飯田春行スペイン素描展** 5.6—  
5.18 羊画廊(新潟市)  
展評 1 大倉宏  
**飯野和好展** 9.1—9.29 トムズ  
ボックス&ギャラリーKuu  
芸術新潮 598  
**池石浩章展** 4.6—4.18 ヴォイス  
ギャラリー  
美術手帖 773 小口斉子  
**池田龍雄展** 5.10—5.29 ギャル  
リーユマニテ東京(銀座)  
毎日夕刊 5.24 三田晴夫  
**池田良二銅版画展** 4.5—4.28 南  
天子画廊  
毎日夕刊 4.22 石川健次  
**池山阿有展—炉ばた** 4.19—4.25  
東京銀座画廊・美術館  
美術の窓 188 篠原弘  
**伊沢以佐子・中谷昭雄展** 7.12—  
7.17 ギャラリー白(大阪市)  
展評 1 尾崎信一郎  
**AIR空気展[彦坂尚嘉、堀浩哉、石  
内都、宮本隆司]** 6.18—7.14  
ヨコハマ・ポートサイド・ギャラ  
リー(横浜市)  
朝日夕刊 7.9 (三)  
**石内都展** 10.5—12.11 東京国立  
近代美術館フィルムセンター  
朝日夕刊 11.17 大西若人  
**石垣定哉展—記憶の番人—**  
**Paradise of Color** 3.5—3.15  
日動画廊  
新美術新聞 855 篠田博之  
**石川九楊展** 10.15—10.25 ギャラ  
リー白い点  
朝日夕刊 10.22 (三)  
**石田徹也展** 9.6—9.18 ギャラ  
リーQ

アート・マガジン(エル・アール)  
16 伊藤伸之  
**石田眞利展** 7.26—8.7 ガレリ  
ア・グラフィカbis  
美術手帖 777 原田環  
**石原みどり展** 8.8—8.21 FREE  
SPACE 3  
美術手帖 779 堀元彰  
**石丸寛展** 3.16—3.21 BMWスク  
エア  
芸術新潮 593  
**石山修武展** 12.4—2.19 ギャラ  
リー間(渋谷区)  
朝日夕刊 12.15 (若)  
**市川美幸展** 7.19—8.7 ギャラ  
リーMAKI(中央区)  
展評 1 光田由里  
美術手帖 777 堀元彰  
**市川美幸展** 7.22—8.11 ツァイ  
ト・フォト・サロン(日本橋)  
芸術新潮 597  
展評 1 光田由里  
美術手帖 777 堀元彰  
**四人展 市野英樹・藤崎孝敏・ミズ  
テツオ・望月通陽** 6.17—6.30  
ギャラリー・しらみず美術  
美術の窓 189 篠原弘  
**井手日出志展** 8.21—9.25  
Gallery HAM(名古屋市)  
美術手帖 779 栗田秀法  
**伊藤紫虹展** 9.23—9.28 上野の森  
美術館  
産経 9.12  
産経 9.23  
産経 9.26  
**伊藤小坡展** 5.1—5.30 霞中庵  
竹内栖鳳記念館  
芸術公論 90  
**伊藤隆道展** 9.10—10.11 高岡市  
美術館  
朝日夕刊 9.22 田中三蔵  
**伊藤千帆展** 9.13—9.18 ガレリ  
ア・フィナルテ  
美術手帖 779 栗田秀法  
**伊東豊雄展** 11.17—12.23 TNプ  
ロープ(港区)  
朝日夕刊 12.15 (若)  
**伊藤彦造展** 7.1—9.26 弥生美術  
館  
朝日 8.5 中村桂子

**伊藤福紫展** 4.26—5.15 ギャラ  
リー風  
美術手帖 773 加藤義夫  
**糸園和三郎展—前田写実研究所時代  
から戦後の時代へ** 5.10—5.22  
名古屋画廊  
美術(月刊) 284 編集部  
**狗巻賢二展** 1.11—1.30 村松画廊  
(銀座)  
毎日夕刊 1.18 三田晴夫  
**生命の歌=井上和作品展 画業50年  
回顧** 4.5—4.11 東京銀座画廊  
美術館  
新美術新聞 861 瀧梯三  
**井上公雄石彫展 石の物語3**  
3.29—4.4 風童門  
美術の窓 189 井上公雄/広井  
力  
**井上洋介展** 6.28—7.10 ギャラ  
リー蘭  
芸術新潮 596  
**猪原秀彦展** 2.15—2.20 信濃橋画  
廊  
美術手帖 770 加藤義夫  
**伊庭靖子展** 11.12—11.21 スパイ  
ラル・ガーデン  
美術手帖 784 原田環  
**今井アレクサンドル展** 3.16—3.26  
バステルミュージアム  
産経 3.28 渋谷和彦  
**今関一馬展** 7.22—7.28 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 868 岡田武昌  
**岩男和子展** 1.27—2.10 AKI-EX  
ギャラリー  
美術手帖 769 蔵屋美香  
**ちひろとルイ子展[いささきちひろ  
/吉田ルイ子]** 7.15—10.3 ち  
ひろ美術館  
毎日 8.26 明珍美紀

## (ウ)

**アラン・ウエスト展 立ちはだかる  
屏風** 1.5—2.14 ギャラリー・  
1(新宿)  
朝日夕刊 1.29 (三)  
**上田アキ展** 4.5—4.11 フタバ画  
廊  
美術手帖 771 蔵屋美香  
**上野清二展 友禅と型絵染め**

平成11年美術展覧会(作ウ〜オ)

- 6.15—6.27 ギャラリー楽(京都造形芸術大学/京都芸術短期大学天心館)  
Quarterly Report 19 畠中光亨  
上原三千代展 1.18—1.30 ガレリア・グラフィカ  
芸術新潮 591  
上智前祐展 2.16—2.26 大阪府立現代美術センター  
美術手帖 770 加藤義夫  
上村松園展 没後五十年記念  
10.28—11.28 東武美術館  
朝日夕刊 10.26 大西若人  
朝日夕刊 11.11 西原珉  
ジェームズ・ウェリング展 9.8—10.16 ワコウ・ワークス・オブ・アート  
美術手帖 780 堀元彰  
ヴェルヴ展 6.21—7.10 ギャラリーEMORI  
新美術新聞 865  
ミシェル・ヴェルジュ展 4.8—5.15 ケンジタキ・ギャラリー  
美術手帖 773 小倉正史  
チャールズ・ウォーゼン展 1.30—3.6 白土舎  
美術手帖 770 栗田秀法  
ジョン・ウォーターズ展 12.10—1.10 パルコギャラリー  
芸術新潮 602  
アンドリュー・ウォルフォード展 4.22—5.20 長谷萬インテリアギャラリー  
産経 5.12  
宇治山哲平展 7.10—8.29 福岡県立美術館  
日経 8.11 竹田博志  
宇津木彩展 4.19—5.1 秋山画廊  
美術手帖 773 堀元彰  
ニルス・ウド展 7.1—7.17 かねこ・あーとギャラリー  
芸術新潮 597  
梅村侯夫展 8.2—8.14 ギャラリーなつか  
展評 1 西野浩文

(エ)

北九州ビエンナーレ展 繰り返しと連続性の美学[江上計太、桑山忠明、世良京子、祐成政徳]

- 2.27—3.28 北九州市立美術館  
朝日夕刊 4.8 (若)  
パンヤ・クラーク・エスピナル展  
9.8—10.15 カナダ大使館ギャラリー  
芸術新潮 599  
遠藤利克展[art—Link上野一谷中1999] 9.24—10.24 SCAI THE BATHHOUSE(台東区)  
芸術新潮 599  
美術手帖 780 原田環  
朝日 10.20 田中三蔵  
産経 10.17 渋谷和彦  
毎日夕刊 9.28 三田晴夫

(オ)

- 逢坂卓郎展 8.30—9.11 コバヤシ画廊(銀座)  
アート・マガジン(エル・アール) 16 伊藤伸之  
毎日夕刊 9.2 石川健次  
大石芳野展 凜と生きて 5.22—7.4 ギャラリー1/F  
朝日 6.15  
大岩久乃展 12.7—12.12 GALLERY MOCA  
美術手帖 784 原沢暁子  
大國章夫展'99 風の中で 11.30—12.8 日動画廊  
美術の窓 195 一井建二  
大久保英治展—四国の天と地の間  
阿波の国から歩く 1.15—3.14 徳島県立近代美術館  
美術手帖 769 加藤義夫  
朝日夕刊 3.3 田中三蔵  
毎日夕刊 3.4 新見隆  
中村彝賞記念 大沢昌助・奈良岡正夫展 12.11—1.30 茨城県近代美術館  
新美術新聞 881 加藤貞雄  
O JUN展 “感情教育” 7.5—7.24 ON GALLERY(大阪市)  
展評 1 島敦彦  
O JUN展 “感情教育” 10.21—11.27 ミゾマアートギャラリー  
美術手帖 783 原田環  
太田三郎展 1.7—1.23 コバヤシ画廊(銀座)  
芸術新潮 591  
毎日夕刊 1.11 三田晴夫

- 太田三郎展 7.5—7.24 ギャラリーなつか(銀座)  
芸術新潮 597  
大竹伸朗展 ZYAPANORAMA 日本景 5.28—7.11 パルコギャラリー(渋谷区)  
芸術新潮 595  
朝日夕刊 6.25 (盛)  
大辻清司写真実験室展 1.12—3.6 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室  
芸術新潮 591  
美術手帖 767 大日方欣  
朝日夕刊 2.10 大西若人  
東京夕刊 2.5 北澤憲昭  
日経 2.12  
読売夕刊 1.18 (前)  
大成浩展 風と蜃気楼 3.6—3.25 神奈川県民ホールギャラリー  
美術の窓 188 編集部  
大場緑展 4.1—4.27 INAXギャラリー2  
芸術新潮 594  
大平和正展 4.1—4.30 名古屋市主税町「加藤邸」  
日経 4.4 稲垣直子  
太平実展 1.10—2.20 ギャラリー絵門  
美術手帖 769 栗田秀法  
大藪雅孝展 浸透するまなざし 7.21—7.27 大丸(心齋橋)  
新美術新聞 868  
美術の窓 190 篠原弘  
岡鹿之助展 生誕百年記念 3.12—4.11 そごう美術館  
東京夕刊 4.9 中村隆夫  
日経 3.30  
岡典明展 8.2—8.15 藍画廊  
展評 1 岡野浩二  
岡崎乾二郎展 1.25—3.6 南天子画廊  
朝日夕刊 2.5 (若)  
岡田一郎+藤本由紀夫展 11.23—12.5 アートスペース虹  
アート・マガジン(エル・アール) 17 伊藤伸之  
美術手帖 783 加須屋明子  
岡田伊登子展 7.1—7.24 村松画廊  
芸術新潮 597

岡野浩二展 10.5—10.17 ギャラリーオオハシ(銀座)  
アートジャーナル 19 ワシオ・トシヒコ

岡村桂三郎展 7.1—7.7 高島屋(日本橋)  
展評 1 草薙奈津子

多面体・岡本太郎展—哄笑するダイナミズム 10.30—4.9 川崎市岡本太郎美術館  
芸術新潮 601  
東京夕刊 11.19 中村隆夫

小河朋司展 4.12—4.28 ギャラリーなつか(銀座)  
朝日夕刊 4.23 (若)

奥谷博展 画集刊行記念 4.5—4.16 日動画廊  
新美術新聞 858 松永伍一

奥村光正回顧展 7.10—8.15 豊科近代美術館  
日経 7.15 竹田博志

創造と伝統の木版画家 奥山儀八郎展 8.1—9.23 松戸市立博物館  
芸術新潮 597

小倉遊亀展 パリ展帰国記念 5.11—5.30 三越(日本橋)  
新美術新聞 861 岩田由美子  
朝日 5.18  
朝日夕刊 5.6 田中三蔵  
日経 5.19 竹田博志

小沢剛展 醤油画資料館 10.9—10.24 上野の森美術館レストラン  
朝日 10.19 大西若人

秋山祐徳太子&小沢剛 Hack the Future!展 美術史の闖入者たち 10.9—10.24 上野の森美術館  
産経 10.17 渋沢和彦

織田廣喜の世界展—愛しい女へ— 3.1—5.31 池田20世紀美術館  
新美術新聞 857 末光利夫

落合多武展 マドレーヌ 9.7—9.26 小山登美夫ギャラリー  
美術手帖 779 堀元彰

ロベルト・オテロ写真展 ピカソマイフレンド 2.1—2.21 ニューオータニ美術館  
産経 9.4 江原和雄

小野竹喬展 生誕百十年・没後二十

年記念 6.18—7.25 京都国立近代美術館  
新美術新聞 865 島田康寛  
日経 7.1 竹田博志

小野竹喬展 生誕百十年・没後二十年記念 8.1—8.31 東武美術館  
東京夕刊 8.6 草薙奈津子  
毎日 7.29 田原由紀雄

小野友三展 3.2—3.14 ギャラリー人  
芸術新潮 592

オノデラユキ展 8.19—9.10 ツアイトフォトサロン  
美術手帖 779 原田環

小尾修展 11.25—12.4 春風洞画廊  
美術の窓 195 高山淳

## (カ)

甲斐庄楠音と大正期の画家たち展 6.29—8.1 千葉市美術館  
読売夕刊 7.26 (前)

香川猛展 絵筆を友に40年新たな進展を求めて 6.8—6.13 東京銀座画廊・美術館  
美術の窓 189 篠原弘

笠井誠一展 6.15—6.21 三越(日本橋)  
新美術新聞 864 入江観  
美術の窓 189 高山淳

風間サチコ展 8.2—8.14 ギャラリー山口(京橋)  
展評 1 渋沢和彦

香月泰男展 10.2—11.14 笠間自動車美術館  
日経 10.22 竹田博志

加藤陽展 没後10年思索と情熱の画家 7.10—9.5 佐久市立近代美術館  
新美術新聞 867 小山雅比古

加藤陽子展 3.4—3.30 ギャラリーTAGA(世田谷区)  
毎日夕刊 3.16 石川健次

金守世士夫展 9.11—10.11 福光美術館  
版画芸術 105 尾山章

金子雄輔展 2.1—2.6 ギャラリーQ  
美術手帖 769 蔵屋美香

兼田昌尚展 6.25—7.1 彩陶庵本

館ギャラリー(萩市)  
展評 1 長曾我部誠

加納光於展 11.1—1.30 ギャラリーユマニテ東京  
日経 1.27 宝玉正彦

イリヤ・カバコフ展 シャルル・ローゼンタールの人生と創造 8.7—11.3 水戸芸術館現代美術ギャラリー  
芸術公論 93  
芸術新潮 598  
新美術新聞 869 五十殿利治  
デザインの現場 105 西原珉  
朝日 10.19 大西若人  
朝日夕刊 9.8 建島哲  
毎日夕刊 10.21 三田晴夫  
読売夕刊 8.25 (前)

アニッシュ・カプーア展 4.23—5.27 SCAI THE BATHHOUSE(台東区)  
芸術新潮 594  
朝日夕刊 5.19 田中三蔵

鍋木清方展 3.27—5.9 東京国立近代美術館  
芸術公論 89  
新美術新聞 856 大塚雄三  
朝日夕刊 4.21 北澤憲昭  
東京夕刊 4.2 草薙奈津子  
読売 4.13 草薙奈津子  
読売 4.14 塩川京子  
読売 4.15 松浦あき子  
読売 4.21 森まゆみ  
読売 4.22 太田治子  
読売夕刊 3.20 池内紀

鎌田悦男展 5.10—5.25 ウエストベースギャラリーコゾカ  
美術手帖 773 栗田秀法

上條陽子展 9.13—10.9 中京大学Cスクエア  
新美術新聞 872 ワシオ・トシヒコ

神谷理恵・下中真規子 どうぞごゆっくり展 2.2—2.7 カノーヴァン  
美術手帖 769 栗田秀法

デザイナー亀倉雄策展 2.2—3.14 新潟県立近代美術館  
新美術新聞 852 小見秀男

加山又造展 小さな四季 表紙絵原画に見る華麗な日本の四季

4. 12—4. 24 村越画廊  
美術の窓 187 篠原弘  
ソフィ・カル展 限局性激痛  
11. 20—2. 27 原美術館  
芸術公論 94  
読売夕刊 12. 13 (菅)  
カルティエ=ブレッソン写真展  
10. 12—10. 17 三越(日本橋)  
東京夕刊 10. 15 柏倉康夫  
河崎晃一展 3. 1—3. 29 INAXギャ  
ラリー 2  
芸術新潮 592  
川崎鈴彦挿絵展 3. 1—3. 13 北辰  
画廊(銀座)  
読売夕刊 3. 4 (川)  
川島亮子展 5. 17—6. 12 ギャラ  
リーGAN(銀座)  
美術手帖 775 原田環  
毎日夕刊 6. 1 三田晴夫  
川島亮子展 10. 25—11. 6 ガル  
リー・ソル(新宿区)  
毎日夕刊 11. 1 三田晴夫  
河尻隆次展 10. 16—11. 14 青梅市  
立美術館  
美術の窓 195 編集部  
河鍋暁斎展 没後110年記念  
3. 20—4. 18 古河街角美術館、古  
河歴史博物館、篆刻美術館  
芸術新潮 593  
川邊裕美展 6. 1—6. 13 ギャラ  
リーココ(京都市)  
美術手帖 775 小口斉子  
川西英と神戸の版画展 三紅会に  
集った人々 10. 8—11. 28 神戸  
市立小磯記念美術館  
版画芸術 106 金井紀子  
河野扶展 6. 8—6. 20 すどう美術  
館  
展評 1 日夏露彦  
川原直人展 11. 20—12. 18 タカイ  
シイ・ギャラリー  
美術手帖 783 堀元彰  
川俣正展 東京プロジェクト—  
New Housing Plan 1. 22—4. 24  
ギャラリー・ドゥ(目黒区)  
アート・マガジン(エル・アール)  
15 千葉成夫  
読売夕刊 1. 27 (前)  
川俣正 ワーク・イン・プログレス  
展 豊田市美術館のためのプラン

／プロポーザル 6. 29—10. 3 豊  
田市美術館  
美術手帖 777 村田真  
神戸文子個展—北アフリカの人と風  
土— 12. 16—12. 21 高島屋(日  
本橋)  
美術の窓 195 一井建二

(キ)

宮廻正明、アッバス・キアロスタミ  
二人展 Duet' 99 12. 1—12. 15  
弥生画廊(銀座)  
朝日夕刊 12. 2  
菊池武彦展 2. 7—2. 17 フタバ画  
廊移転準備室  
東京夕刊 2. 12 草薙奈津子  
菊池容斎と明治の美術展 没後一〇  
〇年 10. 24—12. 5 練馬区立美  
術館  
芸術新潮 601  
朝日夕刊 12. 1 田中三蔵  
東京夕刊 11. 5 草薙奈津子  
読売夕刊 11. 5 (前)  
菊畑茂久馬展「天河」 10. 4—10. 23  
SOKO東京画廊  
毎日夕刊 10. 12 三田晴夫  
読売夕刊 10. 19 (菅)  
菊畑茂久馬のオブジェ展 8. 7—  
11. 7 徳島県立近代美術館  
芸術新潮 598  
毎日夕刊 8. 19 三田晴夫  
岸本吉弘展 7. 10—8. 7 ギャル  
リームカイ  
日経 8. 4 宝玉正彦  
毎日 7. 9 三田晴夫  
木津文哉展 10. 1—10. 24 浜松市  
美術館  
美術の窓 195 高山淳  
橘田尚之展 4. 1—4. 27 かわさき  
IBM市民文化ギャラリー  
朝日夕刊 4. 16 (三)  
木戸孝光アトリエ展 5. 9—5. 16  
木戸孝光アトリエ(入間市)  
展評 1 天野一夫  
鬼頭恭子展 3. 1—3. 6 文芸春秋画  
廊  
美術の窓 186 篠原弘  
ラルフ・ギブソン&メイプルソープ  
展 光と影 9. 10—10. 9 伊藤忠  
ギャラリー

読売夕刊 9. 29 (菅)  
金昌永展 3. 2—3. 27 西村画廊  
日経 3. 19 宝玉正彦  
刷り師 木村希八の仕事展 9. 4—  
10. 11 練馬区立美術館  
朝日夕刊 9. 10 (三)  
木村圭吾展 2回 10. 1—1. 31 成川  
美術館  
美術の窓 196 篠原弘  
木村恒久展 what? 3. 4—3. 27  
ギンザ・グラフィック・ギャラ  
リー  
朝日夕刊 3. 19 (若)  
木村秀樹展 半透明 6. 22—8. 1  
京都市美術館  
展評 1 太田垣實  
版画芸術 104 三脇康生  
木村友紀展 12. 10—1. 22  
Kodama  
美術手帖 784 加須屋明子  
カジ・ギャスディン展 2. 25—3. 6  
みゆき画廊(銀座)  
日経夕刊 3. 2 (良)  
ロバート・キャパ全作品展 7. 24—  
9. 26 ひろしま美術館  
朝日夕刊 8. 17  
清原健彦展 1. 25—2. 6 シティ  
ギャラリー  
美術手帖 770 小口斉子  
截土容展[七代清水六兵衛] 6. 21—  
7. 3 コンテンポラリーアート  
NIKI  
芸術新潮 596  
カレン・キリムニック展 4. 23—  
6. 4 ギャラリーサイド 2  
美術手帖 774 堀元彰

(ク)

日下芝展 11. 1—11. 13 ギャラ  
リー舩(銀座)  
毎日夕刊 11. 9 石川健次  
草間彌生展 わたしは何処 5. 1—  
7. 3 オオタファインアーツ(渋谷  
区)  
朝日夕刊 6. 1 (三)  
草間彌生展 ニューヨーク／東京  
4. 29—7. 4 東京都現代美術館  
アート・マガジン(エル・アール)  
15 千葉成夫  
芸術公論 90

新美術新聞 861 関直子  
美術手帖 774 榎木野衣  
朝日夕刊 5.27 原田環  
朝日夕刊 6.23 建畠哲  
東京夕刊 5.28 草薙奈津子  
毎日夕刊 5.20 三田晴夫

**ヨーク・デル・クノッフェル展**  
3.5—3.22 NTTインターコミュニ  
ケーション・センター・ギャラ  
リーD  
美術手帖 771 堀元彰

**ミシャ・クバル展示 パワー・オ  
ブ・コード—対話のスペース**  
10.12—10.31 東京国立博物館  
朝日 10.20 田中三蔵

**熊谷元一の写真展 行と業** 7.1—  
7.11 清瀬市郷土博物館  
朝日 7.1 松村和子

**トニー・クラッグ展** 10.12—11.27  
ケンジタキギャラリー  
美術手帖 782 原田環

**倉俣史朗の世界展** 7.1—8.1 京都  
国立近代美術館  
朝日夕刊 7.26 (若)

**栗岡孝於展** 4.12—5.1 シティ  
ギャラリー  
美術手帖 773 加藤義夫

**栗本百合子展** 9.5—9.26 竹内織  
布(知多市)  
美術手帖 780 栗田秀法

**グレゴリー・クリュードソン展**  
4.8—5.9 ザ・ギンザアーツス  
ペース  
美術手帖 773 堀元彰

**黒川弘毅展** 12.4—12.27 ギャラ  
リーGAN(銀座)  
アート・マガジン(エル・アール)  
18 伊藤伸之

**黒澤信男1999展—日本の四季を描く**  
7.30—8.4 京王(新宿)  
美術の窓 191 高山淳

**桑原正彦展** 7.6—7.24 小山登美  
夫ギャラリー  
展評 1 渋澤和彦  
美術手帖 777 堀元彰

**北九州ビエンナーレ展 繰り返しと  
連続性の美学[江上計太、桑山忠  
明、世良京子、祐成政徳]**  
2.27—3.28 北九州市立美術館  
朝日夕刊 4.8 (若)

**ディーター・クンツ展** 10.19—  
10.31 ギャラリー16  
美術手帖 782 加須屋明子

## (コ)

**コイズミアヤ展** 7.11—7.24 ギャ  
ラリー椿(京橋)  
美術手帖 777 原田環

**小泉淳作展** 10.5—10.10 三越(日  
本橋)  
日経 10.6 竹田博志

**小磯裕司展** 3.5—3.16 ギャラリ  
イK(銀座)  
展評 1 塩入敏治

**高専寺赫展** 3.1—4.27 プラスマ  
イナスギャラリー(銀座)  
毎日夕刊 3.11 石川健次

**手でみる展覧会パート2 江田正盛  
の世界** 3.14—3.28 横浜美術館  
アートギャラリー  
RGB 34 江田正盛/三ツ山一  
志聞き手

**GAW展[ゴールデン街・アート・  
ウェブス]** 9.27—10.10 新宿  
ゴールデン街  
朝日 9.9

**國領経郎展** 4.10—6.6 横浜美術  
館  
美術(月刊) 284 編集部  
朝日夕刊 4.7 田中三蔵  
東京夕刊 5.7 中村隆夫

**木暮伸也展** 11.1—11.13 秋山画  
廊  
美術手帖 782 原田環

**ミエチスワフ・コシチェルニャック  
展** 8.17—8.22 世田谷美術館区  
民ギャラリー  
毎日 8.12 竹永昌代

**ジョセフ・コスース 1965—1999展**  
**訪問者と外国人、孤立の時代**  
12.21—2.6 千葉市美術館  
芸術新潮 602  
美術手帖 784 林卓行

**小杉小二郎展** 10.4—10.23 弥生  
画廊(銀座)  
日経 10.6 竹田博志

**ゴッホ展 クレラー=ミユラー美術  
館所蔵** 11.19—1.23  
Bunkamuraザ・ミュージアム  
芸術公論 93

新美術新聞 879 宮澤政男  
美術手帖 783 三浦俊彦  
朝日夕刊 11.25 西原珉  
読売夕刊 11.19

**小林孝亘展 75DAYS** 4.6—5.1  
西村画廊  
読売夕刊 4.23 (菅)

**駒井哲郎と浜田知明の一九五〇年代  
展 銅板画憧憬** 7.27—9.12 東  
京都現代美術館

日経 8.25 竹田博志

**古巻和芳展** 11.1—11.30 ギャラ  
リー・ラ・フェニーチェ  
美術手帖 782 加須屋明子

**ゴヤ、版画にみる時代と独創展**  
1.12—3.7 国立西洋美術館  
芸術公論 89

芸術新潮 591 雪山行二

美術(月刊) 280 編集部

朝日夕刊 2.12 (三)

読売 1.8、2.9、11—14 雪山行  
二

**ラファエル・コラン展** 9.10—  
10.24 静岡県立美術館  
芸術公論 92

美術手帖 779 山梨絵美子

**ラファエル・コラン展** 10.30—  
11.28 福岡市美術館  
デアルテ 16 植野健造

**ジャンニ・コロンボ展** 10.2—  
11.16 草月美術館  
美術手帖 779 編集部

朝日 10.6

朝日夕刊 11.5 (三)

毎日夕刊 11.2 石川健次

**近藤正勝展** 7.17—8.22 現代美術  
館(コオジオグラギャラリー)  
美術手帖 777 栗田秀法

## (サ)

**雑賀雄二展** 1.22—2.17 ヨコハマ  
ポートサイドギャラリー  
芸術新潮 591

**斎藤清展** 8.18—8.29 小田急美術  
館  
毎日 8.17

**齋藤ちさと展** 7.1—7.28 INAX  
ギャラリー2  
芸術新潮 597

平成11年美術展覧会(作サ、シ)

齋藤實展 8.25—9.6 松屋(銀座)  
読売夕刊 8.23  
齋藤義重展 1.6—3.28 群馬県立  
近代美術館  
産経 2.18 馬場章  
齋藤義重展 9.5—10.11 神奈川県  
立近代美術館  
朝日夕刊 9.22 田中三蔵  
産経 9.26 渋谷和彦  
東京夕刊 10.1 中村隆夫  
読売夕刊 9.10  
坂井淑恵展 11.12—12.4 小山登  
美夫ギャラリー  
美術手帖 783 堀元彰  
酒井英安近作展 4.12—4.18 銀座  
アートギャラリー  
美術の窓 187 篠原弘  
坂口國男個展 6.10—6.16 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 864  
酒巻洋一展 7.15—7.24 福原画廊  
(銀座)  
展評 1 中村隆夫  
坂本栄太郎展 後生大事 5.23—  
5.29 小野画廊(銀座)  
朝日夕刊 5.21 (三)  
坂本繁二郎展 没後三〇年記念  
7.14—9.12 石橋美術館  
日経 8.11 竹田博志  
坂本政十賜展 9.15—9.27 ギャラ  
リーNWハウス(新宿区)  
美術手帖 780 原田環  
作間敏宏展 colony 9.1—9.25  
アートフォーラム谷中  
産経 9.19 渋谷和彦  
毎日夕刊 9.6 石川健次  
佐々木宏子展 5.21—6.17 鎌倉画  
廊(銀座)  
美術手帖 774 鷹見明彦  
佐佐木誠展「100万の鼓動」 8.2—  
8.15 ギャラリー現  
展評 1 岡野浩二  
佐藤健吾エリオ展 4.20—4.28 ア  
ネックス日動画廊(銀座)  
展評 1 中村隆夫  
佐藤時啓展 光、呼吸 1.11—2.20  
ギャラリーGAN(銀座)  
毎日夕刊 1.25 三田晴夫  
呼吸する風景展 長沢秀之、佐藤時  
啓、平田五郎 6.22—8.8 埼玉

県立近代美術館  
朝日夕刊 7.7 田中三蔵  
東京夕刊 7.23 草薙奈津子  
毎日夕刊 7.27 石川健次  
佐藤泰生展 2.23—3.4 日動画廊  
(銀座)  
日経 2.26 竹田博志  
新井淳一・眞田岳彦 2人展 2.23—  
3.14 有鄰館  
芸術新潮 592  
ザ・バイタース展 7.9—8.7 オオ  
タファインアーツ(渋谷区)  
展評 1 日夏露彦  
美術手帖 777 堀元彰  
佐原光展—春を描く— 1.27—2.2  
高島屋(岡山)  
美術の窓 187 篠原弘  
ハウル・サバング展 4.5—4.16  
日動画廊  
美術の窓 189 篠原弘  
ラインハルト・サビエ展 まなざし  
6.6—6.27 小田急美術館  
展評 1 越智俊一/中村隆夫/  
ワシオ・トシヒコ  
朝日夕刊 6.7 田中三蔵  
東京夕刊 6.18 中村隆夫  
日経 6.23 宝玉正彦  
毎日夕刊 6.21 三田晴夫  
読売夕刊 6.24 (川)

(シ)

朴芝娥[ジ・アバク]展 4.5—4.10  
ギャラリーK(銀座)  
美術手帖 771 蔵屋美香  
季大純[ジ・ダシュン]展 7.1—  
7.31 ベイスギャラリー  
芸術新潮 597  
アラン・シールズ展 8.3—8.22  
三鷹市芸術文化センター アート  
スタジオ  
芸術新潮 597  
塩出英雄展 2.6—3.21 練馬区立  
美術館  
東京夕刊 2.26 草薙奈津子  
ホセ・マリア・シシリア展 4.12—  
5.28 タマダプロジェクトコーポ  
レイション  
芸術新潮 594  
朝日夕刊 5.14 (三)  
鎮目守治展 慶応を描く 6.12—

6.18 慶応大学三田キャンパス北  
新館  
産経 6.11  
篠田太郎展 1.25—2.27 レンドゲ  
ンクストラウム  
美術手帖 770 堀元彰  
柴川敏之展 4.25—5.5 まつもと  
コーポレーション・デビットホー  
ル(岡山市)  
展評 1 長曾我部誠  
柴倉一二三展 7.23—7.31 アー  
ト・ギャラリーせ・ら〜る  
芸術新潮 597  
柴田美穂展 7.12—7.24 ガレリ  
ア・フィナルテ  
美術手帖 775 栗田秀法  
島田鮎子展 色彩と形態のリリシ  
ム 4.24—5.16 刈谷市美術館  
美術の窓 188 篠原弘  
島田しづ展 6.5—6.26 東邦画廊  
新美術新聞 864  
島田章三展 かたちびと 1.5—  
2.14 三重県立美術館  
新美術新聞 850 酒井哲朗  
島田章三展 かたちびと 2.20—  
4.4 笠間日動美術館  
東京夕刊 2.17 井上昇治  
島田章三展 かたちびと 4.10—  
5.16 平塚市美術館  
東京 4.14、15 島田章三  
日経 5.7 竹田博志  
島橋宗文展—牛のいる風景シリー  
ズ— 1.12—1.17 三重画廊  
美術の窓 185 島橋宗文  
清水伸展 脈打つ色彩 10.30—  
12.4 神奈川県民ホール・ギャラ  
リー  
新美術新聞 877 藤島俊会  
田辺光彩・清水伸展 現代作家シ  
リーズ 10.30—12.4 神奈川県  
民ホール・ギャラリー  
朝日夕刊 11.26 (三)  
清水伸展 脈打つ色彩 10.30—  
12.4 神奈川県民ホール・ギャラ  
リー  
産経 11.28 奥田裕  
清水文恵 ヒト展 3.9—3.14  
ギャラリー楽(京都造形芸術大学/  
京都芸術短期大学天心館)  
Quarterly Report 19 井田彪

沈文燮展[シム・ムンソップ]  
1.18—2.6 東京画廊(銀座)  
アート・マガジン(エル・アール)  
13 千葉成夫  
毎日夕刊 1.25 三田晴夫

神谷理恵・下中真規子 どうぞご  
ゆっくり展 2.2—2.7 カノー  
ヴァン  
美術手帖 769 栗田秀法

ドナルド・ジャッド1960—1991展  
1.23—3.22 埼玉県立近代美術館  
カリスタ 6 林卓行  
芸術新潮 591  
新美術新聞 861 三上豊  
美術(月刊) 281 梅津元  
美術手帖 767 梅津元  
朝日夕刊 2.3 大西若人  
産経 3.14  
日経 2.25 宝玉正彦  
毎日夕刊 2.9 三田晴夫  
読売夕刊 2.10 (菅)

ドナルド・ジャッド展 5.14—6.30  
ギャラリーヤマグチ  
美術手帖 774 加藤義夫

トム・シャノン展 4.13—5.9 ヒ  
ルサイドフォーラム/ヒルサイド  
ギャラリー  
美術手帖 773 原田環

ペロニカ・シュトラッサー展  
10.9—10.11 尾白の森名水公園  
「べるが」  
毎日夕刊 10.8 武守克史

女流陶芸 第33回公募展 12.1—  
12.9 京都市美術館  
毎日夕刊 12.2 田原由紀雄

白汚零写真展「あなたのあな part  
2」 6.5—6.27 プラザ・ギャラ  
リー(調布市)  
芸術新潮 595 白汚零

白瀬昌子展 4.19—4.24 ギンザ  
ギャラリーハウス  
産経 4.22

白根光夫画業50周年記念自選展  
2.17—2.28 東京国際美術館  
美術の窓 186 篠原弘

白水博子展 10.27—11.14  
NTPPLAZAドーム植田店  
美術手帖 782 栗田秀法

(ス)

菅木志雄展 スタンス 2.6—3.28  
横浜美術館  
芸術新潮 592  
美術(月刊) 281 菅木志雄談  
朝日夕刊 3.3 田中三歳  
東京夕刊 2.19 中村隆夫  
毎日夕刊 3.18 三田晴夫  
読売夕刊 2.26 (菅)

菅創吉展 人間讃歌 2.5—2.27  
すどう美術館  
日経夕刊 2.23 阿部良

菅野圭介展 浪漫の画家 6.5—  
8.29 北御牧村立梅野記念絵画  
館・ふれあい館  
美術(月刊) 287 梅野隆  
産経 8.8

菅野まり子展 4.5—4.10 コバヤ  
シ画廊(銀座)  
毎日夕刊 4.6 石川健次

杉浦幸雄 ゆきお絵展 米寿記念  
9.2—10.3 タサキ・ジュエリー  
タワー8階ホール  
産経 8.31 末永恵

杉戸洋展 7.15—8.21 KENJI  
TAKI Gallery(名古屋市)  
展評 1 山田諭  
美術手帖 777 栗田秀法

杉本博司展 4.6—4.28 ギャラ  
リー小柳(銀座)  
美術手帖 773 原田環

杉山健司展 11.8—11.20 A・C・  
S  
美術手帖 783 栗田秀法

北九州ビエンナーレ展 繰り返しと  
連続性の美学[江上計太、桑山忠  
明、世良京子、祐成政徳]  
2.27—3.28 北九州市立美術館  
朝日夕刊 4.8 (若)

祐成政徳展 6.28—7.10 ギャラ  
リー現(銀座)  
毎日夕刊 7.6 三田晴夫

鈴木治の陶芸展 詩情のオブジェ  
3.19—5.9 東京国立近代美術館  
工芸館  
美術(月刊) 283 編集部  
朝日夕刊 3.31 井上隆生  
毎日 4.5 石川健次

鈴木克久絵画展 人間群像を描く  
6.8—6.27 相鉄ギャラリー  
美術の窓 188 高山淳

鈴木実・鈴木芳子の世界展 家族の  
肖像 11.20—12.19 いわき市立  
美術館  
美術の窓 195 篠原弘

須田寿・稗田一穂二人展 4.14—  
4.20 高島屋(日本橋)  
日経 4.19 宝玉正彦

須田悦弘展 2.19—3.20 ギャラ  
リー小柳(銀座)  
美術手帖 770 堀元彰  
産経 3.7 渋谷和彦

須田悦弘展 泰山木 9.11—11.7  
原美術館  
朝日夕刊 10.27 建昌哲  
日経 10.13 宝玉正彦

鷺見鷹展 5.22—6.26 白土舎(名  
古屋市)  
展評 1 井上昇治

鷺見和紀郎展 3.13—4.3 島田画  
廊  
芸術新潮 593

澄川喜一展 樹と木と気 5.25—  
5.31 三越(日本橋)  
新美術新聞 862 山本勉

木の系譜—澄川喜一・深井隆・藪内  
佐斗司展 9.22—9.29 高島屋  
(日本橋)  
新美術新聞 874 高岡忠雄

キキ・スミス展 12.1—12.27 ウ  
イルデンスタイン東京  
芸術新潮 601

隅田重次回顧(洋画)展 2.10—2.14  
岡崎市美術館  
美術の窓 187 編集部

諏訪功一郎展 1.25—1.30 ギャラ  
リーQ  
美術手帖 769 堀元彰

(セ)

関根正二展 生誕100年 7.10—  
8.22 神奈川県立近代美術館  
芸術新潮 597  
新美術新聞 867 橋秀文  
美術(月刊) 286 荒波力  
朝日 7.3  
朝日夕刊 7.6 酒井忠康  
朝日夕刊 7.28 北澤憲昭  
産経 8.15 渋谷和彦  
東京夕刊 7.16 中村隆夫  
日経 7.22 竹田博志



- 読売夕刊 8.11 (前)
- セザンヌ展** 9.11—12.19 横浜美術館  
芸術公論 92  
芸術新潮 599  
国立国際美術館月報 87 大河内菊雄  
新美術新聞 872 中村尚明  
新美術新聞 875 生尾慶太郎／河村錠一郎／奥谷博／永井信一／ヨシダ・ヨシエ／佐藤泰生／長谷川栄／大津英敏  
新美術新聞 876 米倉守／瀬木慎一／勅使河原純／村田慶之輔  
朝日夕刊 10.7 西原珉 東京 9.16  
東京 10.29 高橋幸次  
東京夕刊 9.8 武田厚  
東京夕刊 9.16 福田美蘭  
東京夕刊 9.17 山本貞  
東京夕刊 9.18 横尾忠則  
東京夕刊 9.20 赤瀬川原平  
東京夕刊 9.24 森村泰昌  
東京夕刊 9.25 辰野登恵子  
東京夕刊 10.15 中村隆夫  
東京夕刊 10.29 高橋幸次  
東京夕刊 12.3 (青リング)  
毎日夕刊 10.1 布施英利
- 北九州ビエンナーレ展 繰り返しと連続性の美学**[江上計太、桑山忠明、世良京子、祐成政徳]  
2.27—3.28 北九州市立美術館  
朝日夕刊 4.8 (若)
- 松山幾三郎・世利徹郎展** 7.3—8.1 青梅市立美術館  
新美術新聞 866
- (ソ)
- 徐旼廷[ソ・ミョンジョン]展**  
6.19—7.18 横浜美術館アートギャラリー  
毎日夕刊 7.13 石川健次
- 草々会展15回** 6.23—7.3 清月堂画廊(銀座)  
新美術新聞 867 高岡忠雄
- エツトレ・ソットサスと仲間たちの軌跡1980/1999展 建築からグラフィック・デザインまで** 8.12—10.17 新津市美術館  
芸術公論 92

- 曾根裕展—アルペン・アタック**  
1.27—2.17 草月ギャラリー  
読売夕刊 2.4 (菅)
- 園原小波個展** 5.31—6.9 風童門(銀座)  
美術の窓 189 高山淳
- 孫雅良[ソン・アヨウ]展** 3.29—4.10 シティギャラリー  
美術手帖 771 加藤義夫
- (タ)
- ジェシカ・ダイヤモンド展** 3.6—4.3 オオタファインアーツ(渋谷区)  
美術手帖 771 堀元彰
- 高瀬善明展 生命の律動と原初の旋律** 10.11—10.17 アート・ミュージアム・ギンザ  
美術の窓 195 篠原弘
- 高橋節郎墨彩展 ヨーロッパ・安曇野・大和路を描く** 4.20—4.28 和光ホール(銀座)  
新美術新聞 860 高岡忠雄  
新美術新聞 863 鈴木進  
美術の窓 187 高山淳
- 高橋信行展** 3.23—4.24 白土舎(名古屋市)  
展評 1 井上昇治
- 高馬浩展** 6.21—7.6 藍画廊  
美術手帖 775 原田環
- 高松次郎展** 6.26—7.30 ビューイングルーム ヨツヤ  
芸術新潮 596
- 高松次郎展** 10.21—12.5 国立国際美術館  
朝日夕刊 11.17 大西若人
- 高柳恵理展** 3.1—3.13 モリスギャラリー  
美術手帖 770 蔵屋美香
- 高柳恵里展** 10.20—11.1 ギャラリーNWハウス(新宿区)  
毎日夕刊 10.26 三田晴夫
- 高山良策展** 6.23—7.31 アートギャラリー環  
朝日夕刊 7.16 (三)
- 田河水泡生誕100年記念のらくろ展**  
2.9—3.14 町田市立国際版画美術館  
朝日 2.4 畠山豊  
毎日夕刊 2.4

- 瀧本光國展** 7.1—7.17 白銅鞮画廊  
芸術新潮 597
- 武井武雄展 空想へのいざない**  
8.7—9.5 茨城県近代美術館  
芸術新潮 598  
美術(月刊) 287 後藤哲也
- 竹内浩—日本画展** 3.10—3.15 松屋(銀座)  
日経 3.12 宝玉正彦
- 竹中一雄陶芸作品展** 12.8—12.21 江東区児童会館  
東京 12.8
- 竹久夢二「四季の美」展** 1.3—3.28 竹久夢二美術館  
朝日夕刊 1.28 原田環
- 田澤茂個展—魍魎魍魎の世界—**  
5.6—5.17 紀伊國屋画廊  
美術の窓 191 宝木範義
- 田島弘庸展** 7.17—8.8 双ギャラリー(武蔵野市)  
毎日夕刊 8.3 石川健次
- 館勝生展** 7.19—7.31 ギャラリー白(大阪市)  
展評 1 安黒正流
- 龍崎哲郎展** 3.2—3.28 オレゴンムーンギャラリー  
美術手帖 770 蔵屋美香
- メタモルフォーゼ・タイガー展—立石大河亞と迷宮を歩く** 11.19—12.23 O美術館  
朝日夕刊 12.1 田中三蔵  
毎日夕刊 11.25 三田晴夫  
読売夕刊 12.21 (前)
- 立嶋滋樹展** 7.6—7.11 ギャラリーココ(京都市)  
展評 1 安黒正流
- 田中信太郎展** 9.12—10.9 東京画廊  
毎日夕刊 10.5 三田晴夫
- 田中稔之退職記念展 円、円環、曲線の軌跡** 6.2—6.30 多摩美術大学付属美術館  
東京 5.28
- 田中信行展** 5.21—6.27 東京国際フォーラム  
毎日夕刊 6.3 石川健次

棚田康司展 5.11—6.5 ミヅマ  
アートギャラリー  
芸術新潮 595

MOMI 野生稲自生地保全 田辺光  
彰展 10.30—12.4 神奈川県民  
ホール・ギャラリー  
新美術新聞 877 藤島俊会

田辺光彰・清水伸展 現代作家シ  
リーズ 10.30—12.4 神奈川県  
民ホール・ギャラリー  
朝日夕刊 11.26 (三)

谷本重義論展 11.4—11.9 紀伊國  
屋画廊  
美術の窓 194 宝木範義

谷山恭子展 3.16—3.21 ガレリア  
ラセン  
美術手帖 771 堀元彰

心象風景の中の現代の人物像 玉川  
信一の世界展 11.11—12.12 茨  
城県つくば美術館  
新美術新聞 879 南寛宏  
美術の窓 195 一井建二

ダリの世界展 4.17—5.30 山梨県  
立美術館  
芸術公論 90  
芸術新潮 596

ダリ展 6.12—8.20 三越美術館・  
新宿  
芸術新潮 596  
東京夕刊 7.2 中村隆夫

(チ)

チャップマン兄弟のお受験展  
10.15—11.14 ザ・ギンザアート  
スペース  
美術手帖 779 榎木野衣

楽震文・張弛二人展「花・鳥・風・  
月」 3.23—3.29 そごう(有楽  
町)  
産経夕刊 3.19 洞富美男

(ツ)

塚越裕子展 1.29—2.9 ギャラ  
リイK(銀座)  
美術手帖 769 蔵屋美香

津上みゆき展 5.6—5.15 キュー  
ピック・ギャラリー(大阪市)  
展評 1 尾崎信一郎  
美術手帖 774 小口齊子

土屋公雄展 古代の雨 11.8—

12.25 ギャラリーGAN  
産経 12.19 渋谷和彦  
毎日夕刊 11.22 石川健次

土屋礼一展・大地から空へ—瑞龍寺  
本堂障壁画を中心に— 4.6—5.9  
岐阜県美術館  
美術の窓 187 篠原弘

常田健展 6.15—8.8 ギャラリー  
悠玄(銀座)  
朝日夕刊 7.14 田中三蔵  
東京 7.13 佐藤直子  
日経 8.4 宝玉正彦

恒松正敏展—映画『白痴』の仕事—  
9.6—9.18 ギャラリー椿(京橋)  
芸術新潮 599

(テ)

フィリップ=ロルカ・ディコルシア  
展 9.16—10.10 ザ・ギンザ・  
アートスペース  
美術手帖 780 堀元彰

寺井重三油絵展 4.27—5.3 三越  
(日本橋)  
美術の窓 188 高山淳

天童大人展 10.5—10.29 ストラ  
イブハウス美術館  
毎日 10.26 石川健次

(ト)

土井俊泰の画業展 4.10—6.8  
茅ヶ崎市美術館  
美術の窓 187 武田厚

東京イラストレーターズ・ソサエ  
ティが描くことばの20世紀展  
1.23—3.10 フジタヴァンテ  
ミュージアム  
芸術新潮 591

唐仁原教久展 Green Mile 6.1—  
6.30 トムズボックス&ギャラ  
リーKuu  
芸術新潮 596

東松照明の50年展 日本列島クロニ  
クル 2.6—4.4 東京都写真美術館  
美術手帖 770 西村智弘  
朝日夕刊 2.10 大西若人  
朝日夕刊 2.25 原田環  
読売夕刊 3.16 東松照明/前田  
恭二聞き手

オノレ・ドームエ版画展 2 1.18—

平成11年美術展覧会(作タ〜ナ)

2.23 東武美術館  
朝日夕刊 2.4 原田環  
時枝崇展 7.19—7.24 ギャラリー  
山口(京橋)  
美術手帖 777 原田環

鯨津朝子展 8.25—9.12 ナディッ  
フ(渋谷区)  
美術手帖 779 原田環

パトリック・トザニ展 6.11—7.3  
ミヅマアートギャラリー  
美術手帖 775 原田環

富岡直子展 9.24—10.24 東京国  
際フォーラム、FORUM ART  
SHOP  
東京夕刊 10.8 草薙奈津子  
毎日夕刊 9.30 石川健次

戸村茂樹展 6.14—6.26 ギャラ  
リーせいほう(銀座)  
展評 1 六岡康光

戸谷成雄展 6.7—7.3 ケンジタキ  
ギャラリー  
美術手帖 774 栗田秀法

ドラクロワ「民衆を導く自由の女神」  
展 2.26—3.28 東京国立博物館  
芸術新潮 592 山下裕二  
新美術新聞 854 村野隆男  
美術(月刊) 282 編集部  
朝日 2.17 (礼)

朝日 2.23 高階秀爾/田中三蔵  
朝日 3.20 田中真紀子/エリ  
カ・ペシャル・エルリー/福田  
美蘭/小勝禮子/大西若人構成  
朝日夕刊 2.19 (謙)  
東京夕刊 3.19 草薙奈津子  
マリア・ドンペ展 5.24—7.31 現  
代彫刻センター  
芸術新潮 595

(ナ)

内藤礼展 9.7—9.30 ギャラリー  
コヤナギ  
アート・マガジン(エル・アール)  
16 伊藤伸之

永井荷風と東京展 都市の散歩者  
7.27—9.5 東京都江戸東京博物  
館  
新美術新聞 870 (賀)

中井川由季展 1.18—2.6 ギャラ  
リー小柳  
朝日夕刊 2.1 石川健次

平成11年美術展覧会(作ナ～ハ)

中川政昭展 5.31—6.12 ギャラリー一樞  
 毎日夕刊 6.8 荒俣宏  
 中ザワヒデキ展 5.6—6.14 ギャラリーNWハウス(新宿区)  
 武蔵野美術 114 林卓行  
 長沢秀之展 7.19—8.7 南天子画廊  
 毎日夕刊 7.27 石川健次  
 呼吸する風景展 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎 6.22—8.8 埼玉県立近代美術館  
 朝日夕刊 7.7 田中三蔵  
 東京夕刊 7.23 草薙奈津子  
 毎日夕刊 7.27 石川健次  
 中島千波屏風絵展 花と富士 1.3—1.12 松坂屋(銀座)  
 美術の窓 185 篠原弘  
 読売 1.1 前田恭二  
 新美術新聞 850 橘秀文  
 新美術新聞 850 中島千波インタビュー  
 仲田幹一展 百歳の書 12.8—12.13 松屋(銀座)  
 毎日 12.4 斎藤正利  
 伊沢以佐子・中谷昭雄展 7.12—7.17 ギャラリー白(大阪市)  
 展評 1 尾崎信一郎  
 中村丘陵展 5.19—6.6 小田急美術館  
 朝日夕刊 5.18 川口直宜  
 中村一美展 9.10—10.11 セゾン現代美術館  
 朝日 10.1 (三)  
 中村桂子展 6.7—6.19 ガレリア・グラフィカbis  
 毎日夕刊 6.17 石川健次  
 仲村進展 大地・牛哀歌 3.11—3.16 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 855 武田厚  
 美術の窓 188 米倉守  
 中村哲也展 レプリカ・カスタム 6.29—7.19 ギャラリー小柳  
 産経 7.11 渋谷和彦  
 中村寝郎展 2.15—2.27 ギャラリーアメリカ  
 芸術新潮 592  
 中村宏展 5.17—5.29 村松画廊  
 毎日夕刊 5.24 三田晴夫  
 中村好文家具展 桐づくし 5.13—

5.18 リビングデザインギャラリー  
 芸術新潮 595 中村好文  
 中本裕史展 9.21—10.16 ナガミネプロジェクト  
 美術手帖 780 堀元彰  
 奈良美智展 4.2—5.10 ナディッフ(渋谷区)  
 芸術新潮 594  
 中村彝賞記念 大沢昌助・奈良岡正夫展 12.11—1.30 茨城県近代美術館  
 新美術新聞 881 加藤貞雄  
 植原健三展 3.16—3.27 ギャラリーEMORI  
 新美術新聞 856 瀧梯三  
 鳴海暢平展 7.6 — 8.7 TARO NASU GALLERY  
 産経 8.1 渋谷和彦  
 難波田龍起展 12.3—2.20 東京オペラシティアートギャラリー  
 芸術新潮 602  
 美術手帖 782 小林俊介  
 読売夕刊 11.30 芥川喜好

(二)

仁木智之展 10.18—10.23 スカイドア・アートプレイス青山  
 美術手帖 782 堀元彰  
 ニシジマ アツシ展 5.18—5.30 立体ギャラリー射手座  
 美術手帖 774 加藤義夫  
 西山晴恵展 9.1—9.11 ギャラリー360°  
 美術手帖 779 原田環  
 西山美なコ展 4.17—5.29 ギャラリーシマダ  
 美術手帖 773 原田環  
 丹羽誠次郎展 3.6—3.20 ウエストベスギャラリーコヅカ  
 美術手帖 770 栗田秀法

(又)

額田晃作油絵展 8.3—8.8 三越(日本橋)  
 美術の窓 191 篠原弘

(ノ)

野田裕示展 9.6—9.25 ギャラリーユマニテ東京

毎日夕刊 9.9 三田晴夫  
 野見山暁治展 4.26—5.15 ギャラリー山口  
 日経 5.7 竹田博志  
 毎日夕刊 5.10 三田晴夫  
 野村佐紀子展 6.8—7.3 タカインイ・ギャラリー  
 美術手帖 775 堀元彰

(ハ)

ロバート・ハインデル展—現代のドガ～バレエへの讃歌～ 8.31—9.5 三越(日本橋)  
 産経夕刊 8.18 奥村泰雄  
 毎日 8.30  
 朴炫基[バク・ヒュンキ]展 7.9—7.29 鎌倉画廊(銀座)  
 芸術新潮 597  
 朝日夕刊 7.23 (盛)  
 朴眩妹[バク・ヒョンジュ]展 11.15—11.27 コバヤシ画廊  
 毎日夕刊 11.18 石川健次  
 箱崎睦昌展 水の様 9.15—9.21 高島屋(日本橋)  
 毎日夕刊 8.31  
 橋本興家展 6.26—8.22 町田市立国際版画美術館  
 新美術新聞 865  
 パスキン展 エコール・ド・パリの異才 4.22—5.5 大丸ミュージアム・東京  
 芸術公論 90  
 芸術新潮 594  
 朝日夕刊 4.21 武田厚  
 朝日夕刊 5.4  
 長谷川純展 5.15—6.19 TARO NASU GALLERY  
 美術手帖 774 堀元彰  
 金工 竹次郎の生活道具展[長谷川竹次郎] 9.15—10.3 ギャラリーももぐさ(多治見)  
 芸術新潮 599  
 島山直哉写真展 UNDERGROUND 9.4—10.16 ハヤカワマサタカギャラリー(渋谷区)  
 芸術新潮 599  
 読売夕刊 10.12 (前)  
 浜口美和油絵展 3.16—3.22 東急(渋谷)  
 美術の窓 188 篠原弘

浜口陽三展 モノクローム作品を中心として 3.7—4.4 佐倉市立美術館  
 版画芸術 103 松山龍雄  
 朝日夕刊 3.17 田中三歳

浜田知明彫刻展 10.1—10.16 ヒロ画廊  
 日経 10.22 竹田博志

浜田弘明展 5.31—6.5 番画廊  
 美術手帖 775 小口斉子

早川俊治展 1.17—2.6 アスクエア神田ギャラリー  
 日経 2.5 武田博志

早川陽子展 12.20—12.28 ふたば画廊  
 美術手帖 784 天野一夫

早川義孝新作展6回 9.3—9.15 Bunkamura Gallery  
 新美術新聞 871 佃堅輔  
 美術の窓 192 編集部

漾々・花冠一 林敬二展 11.17—11.23 高島屋(日本橋)  
 新美術新聞 878 林紀一郎

林哲夫展 6.1—6.12 空想・ギャラリー(銀座)  
 展評 1 大倉宏

林 蘭子展 11.20—12.10 伽藍堂ギャラリー  
 美術手帖 783 栗田秀法

速水御舟—その知られざる世界—日本画と科学鑑定展 2.21—3.7  
 ギャラリースペース俊(茅ヶ崎市)  
 芸術新潮 592  
 日経 3.4

原田要展 9.27—10.9 信濃橋画廊 apron  
 美術手帖 780 加須屋明子

レメディオス・バロ展 6.10—6.25 伊勢丹美術館  
 朝日夕刊 6.10 原田環  
 東京夕刊 6.9 野中雅代  
 東京夕刊 6.18 木下亮

アル・ハンセン展 4.21—5.10 ラフォーレミュージアム原宿  
 芸術新潮 594

ベック&アル・ハンセン展 マッチデアソボ 5.21—6.10 ラフォーレミュージアム原宿  
 美術手帖 773 佐々木敦

(七)

須田寿・稗田一穂二人展 4.14—4.20 高島屋(日本橋)  
 日経 4.19 宝玉正彦

ゼロ・ヒガシダ展 3.15—5.15 現代彫刻センター  
 芸術新潮 593

東原徹展 7.6—8.1 諏訪市美術館  
 新美術新聞 866

東山魁夷展 永遠の祈り 9.11—10.24 茨城県近代美術館  
 日経 9.16 竹田博志

ピカソ展 パリ・国立ピカソ美術館所蔵 3.13—6.14 上野の森美術館  
 芸術新潮 592  
 新美術新聞 857 坂本暁美  
 美術手帖 769 小倉正史  
 産経 1.5 奥田裕/ジェラルール・レニエ  
 産経 1.13—16 山口昌子  
 産経 1.26—30 奥田裕  
 産経 2.26 久保田竜雄  
 産経 2.27 菅原慎太郎  
 産経 3.2 兼松康  
 産経 3.12 奥田裕  
 産経 3.14、15 渋谷和彦  
 産経 3.16、19 奥田裕  
 産経 3.20 渋谷和彦  
 産経 3.23 田中幸美  
 産経 3.27 秋月透馬  
 産経 3.28 北村豊  
 産経 4.8 本江邦夫/大高保二郎  
 産経 4.11 高階秀爾  
 産経 5.23 太田治子  
 産経 6.6 奥田裕  
 産経夕刊 2.25、3.1—3 ビエール・デクス/奥田裕聞き手  
 産経夕刊 3.18 奥田裕  
 読売夕刊 3.30 ジェラルール・レニエ/菅原教夫聞き手

ピカビア展 20世紀を駆け抜けた画家 8.12—9.7 伊勢丹美術館  
 芸術公論 92  
 芸術新潮 598  
 東京夕刊 8.20 草薙奈津子  
 読売夕刊 8.10 菅原教夫

樋口朋之展 8.30—9.18 ギャラ

平成11年美術展覧会(作ハ、ヒ)

リーなつか(銀座)  
 アート・マガジン(エル・アール) 16 伊藤伸之

AIR空展[彦坂尚嘉、堀浩哉、石内都、宮本隆司] 6.18—7.14  
 ココハマ・ポートサイド・ギャラリー(横浜市)  
 朝日夕刊 7.9 (三)

日高理恵子展 樹の空間から 4.24—5.30 調布市文化会館たづくり  
 日経 5.13 宝玉正彦

櫃田珠実展 3.19—4.10 小山登美夫ギャラリー(江東区)  
 産経 3.28 (S)

秀島由己男展 4.3—6.27 神奈川県立近代美術館  
 版画芸術 104 橋秀文

日野耕之祐展 ジャコモメッティ讃 6.7—6.26 吉井画廊(銀座)  
 美術の窓 189 篠原弘  
 産経 6.13 松村寿雄

日比野克彦展「鼻をかみたい」 9.3—10.1 スカイドア・アートブレイス青山(渋谷区)  
 毎日夕刊 9.20 村田真

ひびのこづえ展『べべ』 8.20—9.1 Bunkamura Gallery  
 朝日夕刊 8.20 (文)

スティーン・ピピン展 9.10—10.8 GALLERY SIDE 2  
 美術手帖 780 原田環

開光市展 4.2—4.17 ギャラリー一椿(京橋)  
 美術の窓 187 米倉守

平沢貞通 空白の画展 9.6—9.11 薔薇画廊  
 毎日 9.7 梶井正人

呼吸する風景展 長沢秀之、佐藤時啓、平田五郎 6.22—8.8 埼玉県立近代美術館  
 朝日夕刊 7.7 田中三歳  
 東京夕刊 7.23 草薙奈津子  
 毎日夕刊 7.27 石川健次

TPO展[平野治朗] 12.2—12.11 free space 3  
 美術手帖 783 原田環

平松礼二展 日本画家の視線 印象派・ジャポニスムへの旅 9.2—9.7 高島屋(日本橋)

平成11年美術展覧会(作ヒ～ホ)

新美術新聞 870 武田厚  
新美術新聞 870 平松礼二/松永伍一  
東京夕刊 8.26 稲葉千寿  
平山郁夫展 文化勲章受章記念  
4.20—5.2 三越(日本橋)  
新美術新聞 860 別府一道  
朝日 4.18  
朝日 4.18 富山秀男

(フ)

傅抱石展 20世紀中国画壇の巨匠  
10.12—11.21 渋谷区立松濤美術館  
読売夕刊 10.5 味岡義人  
フウラ展 SUGAR MOUNTAIN :  
龍安寺のピエタ 1.11—2.14 佐賀町エキジビット・スペース(江東区)  
産経 1.27  
フェルメールとその時代展 4.4—7.2 大阪市立美術館  
芸術公論 95  
木の系譜—澄川喜一・深井隆・藪内佐斗司展 9.22—9.29 高島屋(日本橋)  
新美術新聞 874 高岡忠雄  
福島俊を展 アートエキシビジョン  
6.22—6.27 広島県立美術館県民ギャラリー  
展評 1 大井健地  
福嶋敬恭展 11.15—11.26 ギャラリー白(大阪市)  
美術手帖 783 加須屋明子  
福島瑞穂の世界展 愛と死—Eros et Thanatos 9.1—11.30 池田20世紀美術館  
新美術新聞 871 新藤兼人  
朝日夕刊 11.10 田中三蔵  
読売夕刊 11.19 (川)  
福田豊四郎展 11.27—1.16 東京ステーションギャラリー  
東京夕刊 12.10 草薙奈津子  
日経 12.30  
福田美蘭展 NEW WORKS :  
Prints 3.6—5.30 CCGA現代グラフィックアートセンター  
芸術新潮 593  
朝日 4.7 大西若人  
日経 3.31 宝玉正彦

毎日夕刊 5.17 石川健次  
福田美蘭展 NEW WORKS :  
Prints 7.22—8.31 国立国際美術館  
岡山県立美術館ニュース 46 妹尾克己  
新美術新聞 868 小林昌夫  
美術手帖 775 石井弥夢  
朝日夕刊 8.24 (若)  
藤浩志展 ビニール・プラスチック・コレクション 7.24—8.31  
箱根・彫刻の森美術館アートホール  
産経 8.15 斎藤道子  
藤井浩一朗展 2.1—2.24 INAX  
ギャラリー2  
芸術新潮 591  
毎日夕刊 2.16 石川健次  
四人展 市野英樹・藤崎孝敏・ミズテツオ・望月通陽 6.17—6.30  
ギャラリー・しらみず美術  
美術の窓 189 篠原弘  
藤田淳展 11.16—12.10 ギャラリーサイド2  
美術手帖 783 堀元彰  
岡田一郎+藤本由紀夫展 11.23—12.5 アートスペース虹  
アート・マガジン〈エル・アール〉17 伊藤伸之  
美術手帖 783 加須屋明子  
藤山貴司展 6.24—7.5 ギャラリーNWハウス(新宿区)  
毎日夕刊 6.24 三田晴夫  
備前・藤原啓一炎の詩 生誕百年記念展 9.2—9.13 高島屋(日本橋)  
朝日夕刊 8.31 浅野稔  
藤原雄展 9.8—9.14 高島屋(日本橋)  
毎日 8.20  
ブッサンとラファエッロ展—借用と創造の秘密— 3.5—4.11 愛知県美術館  
芸術公論 89  
ポイチェフ・ブラジモウフスキ展 1.14—2.24 ストライプハウス美術館  
芸術新潮 591  
ディック・ブルーナの世界展 1.3—1.17 三越美術館・新宿

産経 1.14 斎藤道子  
BLESS展 12.4—1.23 GALLERY SPEAK FOR  
美術手帖 784 原田環  
ジャウメ・プレッサ展 10.7—11.30 タマダプロジェクトコーポレーション  
芸術新潮 601  
朝日夕刊 11.10 田中三蔵  
東京夕刊 11.26 草薙奈津子  
フンデルトワッサー展 9.4—10.11 兵庫県立近代美術館  
ピロティ 112 本間正義  
フンデルトワッサー展 10.23—12.12 埼玉県立近代美術館  
朝日夕刊 11.18 西原珉

(ヘ)

BEACON展 4.5—5.8 中京大学アートギャラリーC・スクエア  
美術手帖 771 栗田秀法  
ベーター・ペーレンス展 10.5—12.26 豊田市美術館  
芸術新潮 601  
アーヴィング・ペン全仕事展 11.11—1.23 東京都写真美術館  
朝日夕刊 11.10 笠原美智子  
東京夕刊 12.3 中村隆夫

(ホ)

ディーン・ポーエン展 3.1—3.13 シロタ画廊(銀座)  
日経夕刊 3.2 (良)  
星加哲男展 7.1—7.7 福屋八丁堀本店(広島市)  
展評 1 大井健地  
細井篤展 12.14—12.26 ガレリアラセン  
美術手帖 784 天野一夫  
ピーター・ポマー展 2.2—3.6 TARO NASU GALLERY  
美術手帖 770 堀元彰  
堀浩哉展 3.15—3.27 ギャラリー山口  
産経 3.21 (S)  
毎日夕刊 3.23 三田晴夫  
読売夕刊 3.24 (菅)  
AIR空気展[彦坂尚嘉、堀浩哉、石内都、宮本隆司] 6.18—7.14  
ヨコハマ・ポートサイド・ギャラ

リー(横浜市)  
朝日夕刊 7.9 (三)

**堀内誠一展 雑誌と絵本の世界**  
8.21—10.3 平塚市美術館  
新美術新聞 871 小池光理  
朝日夕刊 9.24 (三)

**デニス・ホリングスワース展**  
12.14—1.22 小山登美夫ギャラリー  
芸術新潮 602  
美術手帖 784 原田環

**本間純展** 6.21—6.26 ギャラリー  
現(銀座)  
美術手帖 775 堀元彰

(マ)

**ドゥエイン・マイケルズ展** 2.3—  
2.28 小田急美術館  
芸術新潮 591

**前沢知子展** 10.23—11.27 ハヤカ  
ワマサタカギャラリー  
美術手帖 782 堀元彰  
毎日夕刊 11.9 石川健次

**前田寛治の芸術展 詩情と造形**  
5.15—6.20 茨城県近代美術館  
朝日夕刊 6.2 田中三蔵  
東京 6.4 前田棟一郎

**前田寛治の芸術展 詩情と造形**  
7.2—8.22 愛知県美術館  
新美術新聞 866

**前田雅己展** 3.29—4.3 ギャラ  
リー山口(京橋)  
美術手帖 773 堀元彰

**牧島如鳩展** 7.3—9.15 足利市立  
美術館  
芸術新潮 598 江尻潔

**リタ・マクブライド展** 9.9—12.18  
ギャラリー・ドゥ(目黒区)  
芸術新潮 601  
美術手帖 782 原田環  
毎日 9.15 宮本扶未子

**眞島竜男展** 10.12—10.23 ギャラ  
リー・ル・デコ  
美術手帖 782 堀元彰

**眞島直子展** 7.1—7.17 ギャラ  
リー川船  
毎日夕刊 7.6 三田晴夫

**間島秀徳展** 10.4—10.23 ギャラ  
リエ・アンドウ  
毎日夕刊 10.19 石川健次

**間島領一展 修繕アート** 3.8—  
3.27 ギャラリーユマニテ東京  
(銀座)  
産経 3.21 渋谷和彦

**松井叔生展** 11.3—11.9 そごう  
(神戸)  
美術の窓 194 篠原弘

**松井正仁展** 11.1—11.6 ウェスト  
ベスギャラリーコヅカ  
美術手帖 782 栗田秀法

**松江泰治展** 6.28—7.17 ツァイ  
ト・フォト・サロン(日本橋)  
展評 1 荒木夏実

**マッケとその仲間たち—ライン河の  
色彩と光—展** ボン市立美術館所  
蔵 11.3—12.15 宇都宮美術館  
芸術公論 93

**松野良治展** 4.19—4.24 風童門  
美術の窓 190 粟津則雄

**松本秋則展** 8.26—11.30 ZOOM  
(渋谷区)  
毎日夕刊 8.10

**松山幾三郎・世利徹郎展** 7.3—8.1  
青梅市立美術館  
新美術新聞 866

**丸木俊展 私は女給描き 描きたい  
ことがありすぎて** 7.22—7.31  
八重洲ブックセンター  
毎日 7.28 竹永昌代

**丸田恭子展** 3.1—4.10 SOKO東  
京画廊(江東区)  
日経 3.19 宝玉正彦

## (ミ)

**三浦小平二展 東京芸大退官記念展**  
9.30—10.17 東京芸術大学大学  
美術館陳列館  
新美術新聞 874 高岡忠雄

**三上誠遺作展** 2.5—2.20 ときの  
忘れもの(港区)  
毎日夕刊 2.8

**三岸節子展 パリ展帰国記念**  
1.19—1.31 大丸ミュージアム・  
梅田  
芸術公論 88

**三品幸彦展** 2.22—3.6 ギャラ  
リー21+葉  
美術手帖 770 蔵屋美香

**パワー・オブ・コードー対話のス  
ペース展[ミシャ・クバル]**

10.12—10.31 東京国立博物館平  
成館  
毎日夕刊 10.27 中村敬治

**四人展 市野英樹・藤崎孝敏・ミズ  
テツオ・望月通陽** 6.17—6.30  
ギャラリー・しらみず美術  
美術の窓 189 篠原弘

**溝口七生油絵展** 9.17—9.23 京王  
(新宿)  
美術の窓 192 篠原弘

**三田村光土里展** 5.22—6.27 現代  
美術製作所  
美術手帖 774 原田環

**光島貴之の世界展** 6.14—6.19  
ギャラリーK  
読売夕刊 6.16 高橋直彦

**南方とその周辺の画家たち展[南方  
熊楠]** 4.3—5.30 田辺市立美術  
館  
芸術新潮 595

**若山哲・皆川琴美二人展** 3.12—  
3.15 浅草公会堂  
産経 3.7

**皆川泰蔵とその芸術展 世界の文化  
遺産を染める** 2.25—3.2 大丸  
ミュージアムKYOTO  
新美術新聞 854 加藤類子

**皆川泰蔵とその芸術展 世界の文化  
遺産を染める** 9.17—9.28 大丸  
ミュージアムKOBE  
芸術公論 92

**伸坊展[南伸坊]** 4.22—4.27 紀伊  
國屋画廊  
芸術新潮 594

**南川史門展** 12.3—2.20 東京オペ  
ラシティアートギャラリー  
美術手帖 784 天野一夫

**宮いつき展 多摩市在住作家シリー  
ズ** 3.20—3.28 パルテノン多摩  
朝日 3.18 林直子

**宮内勝写真展 劇写'69〜'99**  
8.17—8.25 オリンパスギャラ  
リー  
芸術新潮 598

**もうひとつのシベリア 宮崎進の世  
界展** 12.21—1.30 山口県立美  
術館  
新美術新聞 881 酒井忠康

**宮崎文子展** 2.22—2.27 シロタ画  
廊(銀座)

- 毎日夕刊 2.25 石川健次  
宮廻正明、アッバス・キアロスタミ  
二人展 **Duet'99** 12.1—12.15  
弥生画廊(銀座)  
朝日夕刊 12.2  
宮下実個展 10.7—10.12 高島屋  
(日本橋)  
美術の窓 193 篠原弘  
宮島達男展 **時の浮遊** 11.2—  
12.22 フジテレビギャラリー  
産経 11.14 渋谷和彦  
毎日夕刊 12.9 三田晴夫  
よみがえる宮本三郎展 **はぐくま  
れた華麗な世界** 4.3—7.4 世田谷  
美術館  
芸術公論 90  
芸術新潮 594  
美術(月刊) 283 勅使河原純  
朝日夕刊 4.6 宮本陽一郎  
朝日夕刊 6.3 原田環  
東京夕刊 4.23 中村隆夫  
宮本三郎展 8.7—9.19 東京都庭  
園美術館  
新美術新聞 870 山本文彦  
日経 8.30  
毎日 8.5  
AIR空気展[彦坂尚嘉、堀浩哉、石  
内都、宮本隆司] 6.18—7.14  
ヨコハマ・ポートサイド・ギャラ  
リー(横浜市)  
朝日夕刊 7.9 (三)  
ロランダ・ミュラー展 2.15—  
2.20 セルフ・ソウアートギャラ  
リー  
美術手帖 770 小口斉子  
リリアン・メイ・ミラー展 6.12—  
8.8 楯形町立春仙美術館  
新美術新聞 870 三上豊  
三輪美津子展 5.29—7.17 Gallery  
HAM(名古屋市)  
展評 1 山田論  
美術手帖 775 栗田秀法

(△)

- ブー・ムーン展 6.25—7.31 ギャ  
ラリーサイド2  
美術手帖 775 堀元彰  
村井進吾展 1.17—1.23 ギャラ  
リー山口  
美術手帖 769 堀元彰

- 毎日夕刊 1.11 三田晴夫  
村上華岳展 **没後60年** 6.27—7.25  
兵庫県立近代美術館  
新美術新聞 866 猪原由貴子  
村上華岳展 11.2—12.5 豊田市美  
術館  
朝日夕刊 11.24 北澤憲昭  
村上隆展 **ふしぎの森のDOB君**  
4.23—5.24 パルコギャラリー  
朝日夕刊 4.30 (若)  
産経 5.9 渋谷和彦  
東京夕刊 4.30 草薙奈津子  
村山直儀展 6.21—6.27 東京ロイ  
ヤル美術館  
新美術新聞 865

(メ)

- ラルフ・ギブソン&メイプルソープ  
展 **光と影** 9.10—10.9 伊藤忠  
ギャラリー(港区)  
読売夕刊 9.29 (菅)  
明和電機百貨展'99 3.17—4.4 小  
田急美術館  
芸術新潮 593  
朝日夕刊 3.24 大西若人  
毎日 3.9 石川健次  
毎日 3.18  
毎日夕刊 3.31 天野一夫  
明和電機百貨展'99 8.19—8.31  
大丸ミュージアムKOBE  
毎日夕刊 8.24 石川健次  
ファウスト・メロッチィ展 4.23—  
6.13 愛知県美術館  
日経 6.5  
美術手帖 774 峯村敏明

(モ)

- 毛利武士郎展 5.15—6.27 富山県  
立近代美術館  
芸術新潮 596  
朝日夕刊 6.9 田中三蔵  
最上壽之展—ミエナイミエナイ ナ  
ンニモミエナイ 7.24—9.26 入  
善町下山芸術の森発電所美術館  
芸術新潮 598  
新美術新聞 873 三上豊  
茂田井武展 10.7—1.16 ちひろ美  
術館  
芸術新潮 602  
母袋俊也展 1.11—2.6 ギャラリ

- ーなつか  
毎日夕刊 1.14 石川健次  
四人展 **市野英樹・藤崎孝敏・ミス  
テツオ・望月通陽** 6.17—6.30  
ギャラリー・しらみず美術  
美術の窓 189 篠原弘  
本野東一の染織展 5.21—7.11 東  
京国立近代美術館工芸館  
美術(月刊) 285 今井陽子  
モネ、ルノワールと印象派の風景展  
4.17—9.26 名古屋ポストン美術  
館  
東京夕刊 10.27 大津順吉  
百瀬寿展 11.8—11.20 ギャラ  
リー山口  
毎日夕刊 11.15 三田晴夫  
森太三展 1.12—1.24 ギャラリー  
そわか  
美術手帖 769 小口斉子  
森陶岳展 9.23—10.5 大丸ミュ  
ージアム・東京  
朝日夕刊 9.20 浅野稔  
森口宏一展 3.1—3.13 番画廊  
美術手帖 771 加藤義夫

(ヤ)

- 八木保次・伸子展 5.23—7.4 芸  
術の森美術館  
美術の窓 189  
矢島俊一油絵展 7.19—7.24 文芸  
春秋画廊  
美術の窓 192 高山淳  
安井健三遺作展 1.20—1.31 成増  
区民センターアクトホール  
産経 1.30  
安井曾太郎の『文芸春秋』表紙絵展  
12.3—2.27 プリヂストーン美術館  
東京夕刊 12.24 草薙奈津子  
保田春彦新作展 11.11—12.11 南  
天子画廊(京橋)  
東京夕刊 12.3 (三)  
日経 11.18 竹田博志  
保田春彦退任記念展 11.11—12.11  
武蔵野美術大学十二号館  
東京夕刊 12.3 (三)  
日経 11.18 竹田博志  
柳健司展 3.1—3.20 秋山画廊  
毎日夕刊 3.9 三田晴夫  
柳原義達展 **デッサンの魅力**  
10.21—1.23 神奈川県立近代美

術館別館  
 日経 12.15  
**柳原義達展** 11.5—1.25 現代彫刻  
 センター  
 日経 12.15  
**柳瀬正夢展 反骨の精神と時代を見  
 つめる眼** 3.2—3.28 三鷹市美  
 術ギャラリー  
 芸術新潮 592  
 美術(月刊) 282 編集部  
 東京夕刊 3.19 草薙奈津子  
**木の系譜—澄川喜一・深井隆・藪内  
 佐斗司展** 9.22—9.29 高島屋  
 (日本橋)  
 新美術新聞 874 高岡忠雄  
**山口晃展 借景** 9.7—10.16 ミツ  
 マアートギャラリー  
 産経 10.10 (S)  
 毎日 8.25 宮本扶未子  
 毎日夕刊 9.14 三田晴夫  
**山口勝弘新作展 電腦影絵遊戯**  
 9.17—10.16 佐谷画廊  
 読売夕刊 10.5 (前)  
**山口華揚回顧展 生誕100年記念**  
 1.3—1.18 松屋(銀座)  
 朝日夕刊 1.5 田中三蔵  
 日経 1.13 宝玉正彦  
 毎日夕刊 1.14  
**山口啓介展** 1.18—2.6 池田美術  
 日経 1.27 宝玉正彦  
**山口昌男ドローイング展 越境の人**  
 2.22—3.6 巷房  
 朝日夕刊 2.26 (三)  
 毎日夕刊 3.1  
**山口実展** 3.8—3.13 みゆき画廊  
 美術の窓 189 (淳)  
**山崎暢子展** 4.20—4.25 ギャラ  
 リーCOCO  
 美術手帖 773 小口斉子  
**山下充展** 5.27—6.7 日動画廊(銀  
 座)  
 日経 6.2 竹田博志  
**山下ユウコ展** 5.18—5.30 ギャラ  
 リーはなうさぎ  
 美術手帖 774 小口斉子  
**山下りんとその時代展** 5.18—3.27  
 千葉市美術館  
 朝日夕刊 6.2 田中三蔵  
 朝日夕刊 6.17 原田環  
 東京夕刊 6.11 草薙奈津子

読売夕刊 5.22 半田滋男  
**山下りんとその時代展** 7.3—8.15  
 足利市立美術館  
 芸術公論 91  
**山田光展—陶の標** 4.9—10.17 伊  
 丹市立美術館  
 美術手帖 780 太田垣實  
**山中冬児回顧展** 11.9—11.21  
 ギャラリーM(京都市)  
 産経 10.30 丸橋茂幸  
**ヨロシク カ! ヨチン個展 私とト  
 イレとみなさん(山野賀代)**  
 4.26—5.2 Gアートギャラリー  
 (銀座)  
 東京 4.26  
**山部泰司展** 3.9—3.14 ギャラ  
 リーココ(京都市)  
 美術手帖 771 小口斉子  
**山本浩二展** 1.22—2.14 OXYギャ  
 ラリー  
 美術手帖 769 加藤義夫  
**山本浩二展** 6.1—6.28 INAXギャ  
 ラリー2  
 芸術新潮 595  
**山本貞の世界展 光と影の記憶**  
 6.1—8.31 池田20世紀美術館  
 新美術新聞 864 武田厚  
 美術の窓 193 高山淳  
 日経 6.15 竹田博志  
**山本富章展** 5.11—6.26 アキライ  
 ケダギャラリー  
 美術手帖 774 栗田秀法  
**山本雅枝展** 5.10—5.22 ガレリ  
 ア・フィナルテ  
 美術手帖 773 栗田秀法

## (ユ)

**湯浅龍平展** 9.7—10.30 ビューイ  
 ングルーム ヨツヤ  
 毎日夕刊 9.14 三田晴夫  
**行近壯人日本画展 画業四十五年**  
 3.3—3.14 東京国際美術館  
 美術の窓 189 篠原弘

## (ヨ)

**ブルックス・ヨー マンス/J・  
 ヴィットリッヒ二人展** 11.19—  
 12.25 ザ・ギンザアートスベ  
 ス  
 芸術新潮 601

**横尾忠則の快美王国～21世紀は寝て  
 待て!展** 12.23—1.17 ラフォ  
 ーレミュージアム原宿  
 産経 1.10 渋沢和彦  
 東京夕刊 1.5  
**横山智子展** 3.8—3.27 ギャラリ  
 ー池田美術  
 芸術新潮 593  
**横山操展** 5.29—7.11 東京国立近  
 代美術館  
 芸術新潮 595  
 美術(月刊) 285 (F)  
 朝日夕刊 6.9 宝玉正彦  
 朝日夕刊 6.30 北澤憲昭  
 東京夕刊 6.25 草薙奈津子  
 毎日 5.28  
 毎日 6.22 市川政憲  
 毎日夕刊 6.17 中野嘉之  
 読売夕刊 6.22 (前)  
**吉澤章創作折り紙展** 10.6—10.18  
 松屋(銀座)  
 朝日 10.6 福田繁雄  
**故吉田克朗展** 11.1—11.20 SOKO  
 東京画廊(江東区)  
 朝日夕刊 11.12 (三)  
**ちひろとルイ子展 [いわさきちひろ  
 /吉田ルイ子]** 7.15—10.3 ち  
 ひろ美術館  
 毎日 8.26 明珍美紀  
**吉武研司展** 7.12—7.17 みゆき画  
 廊(銀座)  
 新美術新聞 867  
**ヨシタケシンスケ展** 3.13—4.11  
 BIG ART(横浜市)  
 朝日夕刊 3.24 大西若人  
**吉仲太造展—戦後美術を読み直す—**  
 12.7—1.30 渋谷区立松濤美術館  
 芸術公論 94  
 美術手帖 784 三田晴夫  
 毎日 12.15 宮本扶未子  
**吉野純展** 4.18—4.30 ギャラリ  
 ームサン  
 美術の窓 187 編集部  
**依田順子展** 4.5—4.24 村松画廊  
 朝日夕刊 4.16 (三)  
**米林雄一展** 9.10—10.30 現代彫  
 刻センター  
 朝日夕刊 10.22 (三)  
 毎日夕刊 10.21 石川健次  
**ブルース・ヨネモト展 消滅する記**



憶 4.23—6.13 NTTインターコ  
ミュニケーション・センター  
[ICC]  
毎日夕刊 4.26 三田晴夫  
毎日夕刊 5.7 (若)  
読売夕刊 6.4 (前)  
艾沢詳子版画展 7.3—7.18 ギャ  
ラリーポエム(武蔵野市)  
展評 1 大野正勝

(ラ)

楽震文・張弛二人展「花・鳥・風・  
月」 3.23—3.29 そごう(有楽  
町)  
産経夕刊 3.19 洞富美男  
プッサンとラファエロ展—借用と  
創造の秘密— 3.5—4.11 愛知  
県美術館  
芸術公論 89  
ナウイン・ラワンチャイクン展  
Asking for Nothingness  
5.28—6.25 佐谷画廊(銀座)  
芸術新潮 595  
美術手帖 774 原田環  
朝日夕刊 6.4 (盛)  
毎日 6.8 三田晴夫  
読売夕刊 6.17 (前)

(リ)

李禹煥新作彫刻展 1.22—2.24 鎌  
倉画廊(銀座)  
日経夕刊 2.2 阿部良  
毎日夕刊 2.2 三田晴夫  
読売夕刊 1.28 (菅)  
李珉展 12.6—12.18 シロタ画廊  
(銀座)  
毎日夕刊 12.16 石川健次  
ルネ・リートマイヤー展 5.9—  
5.29 スカイドアアートプレイス  
青山  
産経 5.22 洪沢和彦

(ル)

ジョルジュ・ルース展 聖なる光  
4.17—7.10 メルシャン軽井沢美  
術館  
美術手帖 770 岡部あおみ  
産経 6.13 洪沢和彦  
ルーベンスとバロック絵画の巨匠た  
ち展 ダリッチ美術館所蔵

1.21—2.22 伊勢丹美術館  
読売夕刊 1.20 千足伸行  
ピエール・ルシェール展 4.19—  
4.30 日動画廊  
美術の窓 187 篠原弘  
ピエール・ル＝タン展 5.14—6.13  
ザ・ギンザアートスペース  
芸術新潮 595  
モネ、ルノワールと印象派の風景展  
4.17—9.26 名古屋ポストン美術  
館  
東京夕刊 10.27 大津順吉

(レ)

アントニン・レーモンドの建築展  
3.1—5.14 ギャラリー・タイセ  
イ  
日経 4.6

(ワ)

アンドリュウ・ワイエスの世界展  
10.29—12.23 愛知県美術館  
芸術公論 93  
若木信吾写真展「takuji」 3.26—  
4.19 パルコギャラリー  
朝日夕刊 4.2 (若)  
若林奮展「前方に犬、下方に花」  
11.26—12.25 佐谷画廊  
朝日夕刊 12.8 田中三蔵  
日経 12.8 宝玉正彦  
毎日夕刊 12.20 三田晴夫  
若山哲・皆川琴美二人展 3.12—  
3.15 浅草公会堂  
産経 3.7  
脇田和回顧展 叙情の詩歌 4.3—  
6.6 神戸市立小磯良平記念美術  
館  
日経 4.28 竹田博志  
ワダエミの衣装展 1.3—1.24 松  
坂屋美術館  
芸術新潮 590  
和田みつひと展 5.14—6.4 ギャ  
ラリー日鉱  
美術手帖 774 原田環  
和田雄一展 6.24—7.16 横浜ガレ  
リアペリーニの丘ギャラリー  
展評 1 中野中  
毎日夕刊 6.29 石川健次  
渡辺豪展 3.27—4.18 art space  
dot

美術手帖 771 栗田秀法  
渡辺聡展—Landscape paintings  
9.7—10.16 TARO NASU  
GALLERY  
アート・マガジン(エル・アール)  
16 伊藤伸之  
美術手帖 779 堀元彰  
渡辺信子展 12.1—12.25 INAX  
ギャラリー2  
芸術新潮 602  
渡辺英弘展 5.8—6.12 レントゲ  
ン・クストラウム  
展評 1 荒木夏実  
美術手帖 774 堀元彰  
渡辺美喜展 5.27—6.1 松坂屋(名  
古屋)  
美術(月刊) 285 原田千夏子  
渡辺好明展 11.29—12.25 中京大  
学アートギャラリー  
美術手帖 784 原沢暁子

団体展

(ア行)

朝日陶芸展37回 9.18—10.17 陶  
芸の森信楽産業展示館  
朝日夕刊 9.20 鈴木治  
一期会展35回 8.21—8.30 東京都  
美術館  
美術の窓 193 高山淳  
一陽展45回 9.18—10.3 東京都美  
術館  
美術の窓 195 高山淳  
東京夕刊 9.24 中村隆夫  
一水会展61回 9.18—10.3 東京都  
美術館  
美術の窓 194 高山淳  
東京夕刊 9.24 中村隆夫  
一線展50回 10.5—10.14 東京都  
美術館  
美術の窓 195 高山淳  
上野の森美術館大賞展17回 6.26—  
7.7 上野の森美術館  
産経 7.4 日野耕之祐  
VOCA展'99 2.20—3.7 上野の森  
美術館  
新美術新聞 851  
産経 2.28 (S)  
東京夕刊 2.26 草薙奈津子  
毎日夕刊 3.1 三田晴夫

読売夕刊 3.3 (菅)  
**旺玄展65回** 5.21—5.30 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳

## (カ行)

**鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞展** 2.14—2.21 鹿沼市立川上澄生美術館  
 版画芸術 104 瀬木慎一  
**近代美術協会展36回** 8.20—8.30 東京都美術館  
 美術の窓 193 高山淳  
**近美展26回** 11.25—12.1 東京都美術館  
 美術の窓 197 高山淳／篠原弘  
**現代女流美術展20回** 11.25—12.5 上野の森美術館  
 東京夕刊 12.3 中村隆夫  
**現代童画展25回記念** 12.5—12.12 東京都美術館  
 美術の窓 197 高山淳／吉田純子  
**現代日本彫刻展18回** 10.1—11.10 宇部市野外彫刻美術館  
 毎日 10.18  
**現展55回** 6.12—6.22 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**元陽展30回** 11.25—12.1 東京都美術館  
 美術の窓 197 篠原弘  
**行動展54回** 9.1—9.16 東京都美術館  
 東京夕刊 9.10 清水真砂  
 日経 9.8 宝玉正彦  
 美術の窓 194 高山淳  
**光風会展85回** 4.6—4.21 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳  
**光陽展47回** 5.9—5.19 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**国展73回** 4.23—5.7 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
 日経 5.5 宝玉正彦  
**国画展30回** 12.2—12.9 東京都美術館  
 美術の窓 197 篠原弘

## (サ行)

**朔日会展68回** 5.9—5.19 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**三軌展51回** 3.26—4.4 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳  
**サントリー美術館大賞展 挑むかたち** 1.3—1.17 サントリー美術館  
 日経 1.12 阿部良  
**示現会展52回** 4.6—4.21 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳  
**自由美術展'99** 10.16—10.31 東京都美術館  
 美術の窓 195 高山淳  
 東京夕刊 10.22 中村隆夫  
**主体展35回** 9.1—9.16 東京都美術館  
 美術の窓 194 高山淳  
 東京夕刊 9.10 清水真砂  
 日経 9.8 宝玉正彦  
**朱葉展79回** 6.1—6.10 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**女流画家協会展53回** 5.21—5.30 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**春陽展76回** 4.23—5.7 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
 日経 5.5 宝玉正彦  
**新槐樹社展43回** 3.14—3.24 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳  
**新協展42回** 10.5—10.14 東京都美術館  
 美術の窓 195 高山淳  
**新構造展71回** 6.12—6.22 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**新興展49回** 5.21—5.30 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**新象展42回** 6.1—6.10 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**新世紀展44回** 5.9—5.19 東京都

美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**新制作展63回** 9.18—10.3 東京都美術館  
 美術の窓 194 高山淳  
 東京夕刊 9.24 中村隆夫  
**新美術展46回** 6.1—6.10 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**水彩連盟展58回** 3.26—4.4 東京都美術館  
 新美術新聞 861 林紀一郎  
 美術の窓 188 高山淳  
**創展33回** 10.4—10.14 東京都美術館  
 美術の窓 195 高山淳  
**創画展26回** 10.16—10.31 東京都美術館  
 東京夕刊 10.22 中村隆夫  
**創型展48回** 5.9—5.19 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**創元展58回** 4.7—4.21 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳

## (タ行)

**第一美術展70回記念** 5.21—5.30 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**大潮展63回** 12.11—12.24 東京都美術館  
 美術の窓 197 吉田純子  
**大調和展38回** 3.14—3.24 東京都美術館  
 美術の窓 188 高山淳  
**太平洋展95回** 5.20—5.30 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**中美展51回** 6.12—6.22 東京都美術館  
 美術の窓 191 高山淳  
**東光展65回** 4.23—5.7 東京都美術館  
 美術の窓 190 高山淳  
**独立展67回** 10.16—10.31 東京都美術館  
 美術の窓 195 高山淳  
 東京夕刊 10.22 中村隆夫

(ナ 行)

- 二科展84回 9.1—9.16 東京都美術館  
美術の窓 194 高山淳  
東京夕刊 9.10 清水真砂  
日経 9.8 宝玉正彦
- 二紀展53回 10.16—10.31 東京都美術館  
美術の窓 195 高山淳  
東京夕刊 10.22 中村隆夫
- 日展31回 11.2—11.24 東京都美術館  
新美術新聞 880 常磐茂  
美術の窓 196 高山淳  
東京夕刊 11.12 草薙奈津子  
日経 11.8 宝玉正彦
- 日本画院展59回 5.8—5.19 東京都美術館  
美術の窓 190 高山淳
- 日本現代工芸美術展38回 3.26—4.4 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 日本水彩展87回 5.31—6.22 東京都美術館  
美術の窓 191 高山淳
- 日本水墨画展32回 3.14—3.24 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 日彫展29回 4.5—4.21 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 日本伝統工芸展46回 9.21—10.3 三越(日本橋)  
朝日夕刊 9.18 樋田豊次郎
- 日本南画院展39回 3.14—3.24 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 版画展67回 4.6—4.21 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 再興院展84回 9.1—9.16 東京都美術館  
美術の窓 194 高山淳  
東京夕刊 9.10 清水真砂  
日経 9.8 宝玉正彦

(ハ・マ・ラ 行)

- 白亜展22回 12.10—12.16 東京都美術館

- 美術の窓 197 吉田純子
- 白日会展75回 3.26—4.4 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 美術文化展59回 3.26—4.4 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 从展25回 3.14—3.24 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- モダンアート展49回 4.6—4.21 東京都美術館  
美術の窓 188 高山淳
- 立軌展51回 2.10—2.21 東京セントラル美術館  
美術の窓 187 高山宏  
日経 2.17 竹田博志

## 美術文献目録

## 凡 例

- ここに採録した文献は平成11年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、主要美術展覧会図録に掲載されたものである。
- 本欄は、従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を新たに設けることにした。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また、両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
- 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関してはその他のアジアと西洋の美術を対象とした。古美術に関する文献の採録は、日本をはじめとする東アジアから西アジアに至る地域を対象とした。また、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
- 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は、内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
- 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」と「作家展」の2つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について50音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを掲載している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後にあられるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
- 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9・1、3、6、は平成11年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
- 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。

## 収録定期刊行物誌名 (50音順)

アートジャーナル	アートトップ	アートペーパー(名古屋市美術館)	RGB(横浜美術館)
アート・ドキュメンテーション研究	ARTの森(上野の森美術館)	アート・マガジン(エル・アール)	あいだ
アート・ドキュメンテーション通信	アートフォーラム(茨城県近代美術館)	ARTLET(慶應義塾大学アート・センター)	愛知教育大学研究報告 人文・社会科学

美術文献目録

愛知県史研究	魚津市立博物館紀要	香川県文化会館ニュース	京都府立総合資料館紀要
愛知県美術館研究紀要	View(熊本県立美術館)	学術研究(早稲田大学教育学部)	紀要 Hokkaido Art Museum Studies
愛知県立芸術大学紀要	URYU: 京都芸術短期大学紀要	学叢(京都国立博物館)	共立女子大学文芸学部紀要 青春
愛知県立大学文学部論集 日本文化学科編	絵	学鏡	金鯨叢書 史学美術史論文 集(徳川黎明会)
秋田県立博物館研究報告	AAC(愛知芸術文化センター)	鹿島島市立美術館だより	近代(神戸大学近代発行会)
AXIS	江戸東京たてももの園だより	鹿島美術研究	近代画説(明治美術学会)
アジアセンターニュース	NFC NEWSLETTER(東京国立近代美術館)	柏原市立歴史資料館館報	金融研究(日本銀行金融研究所)
アジア遊学	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	華頂博物館学研究	空想の森から(由布院空想の森美術館)
明日の東洋学	鴨東通信	神奈川県立博物館研究報告 人文科学	Quarterly Report(京都造形芸術大学京都芸術短期大学 芸術館)
跡見学園女子大学紀要	大分県立先哲史料館研究紀要	金沢大学文学部論集	GLASS(日本ガラス工芸学会)
跡見学園女子大学美学・美術史学科報	大分県立歴史博物館年報	金沢美術工芸大学紀要	群馬県立女子大学紀要 美学・美術史学編
甘木歴史資料館報	大倉山文化会議研究年報	鹿沼市立川上澄生美術館館報	群馬県立歴史博物館紀要
アマリス(静岡県立美術館)	大阪教育大学紀要	金沢文庫研究	慶応義塾大学アート・センター年報
アルカディア(岡崎市美術館博物館)	大阪市文化財協会研究紀要	鎌倉	芸術学(三田芸術学会)
AMBIANTE(東武美術館)	大阪城天守閣紀要	鎌倉遺文研究	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
飯田市美術館研究紀要	大阪市立博物館研究紀要	カリスト(東京芸術大学美術学部美学研究室)	芸術学研究(明治学院大学文学部芸術学科)
池田文庫	大阪大学人間科学部紀要	川崎市市民ミュージアム紀要	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
石川県立美術館だより	大阪大学文学部紀要	関西大学東西学術研究所紀要	芸術学研究(明治学院大学文学部芸術学科)
石川県立歴史博物館紀要	大阪の歴史と文化財	北の丸(国立公文書館報)	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
石川れきはく	大阪府立近つ飛鳥博物館館報	岐阜県博物館調査研究報告	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
石橋美術館館報	大阪文化財研究	岐阜市歴史博物館研究紀要	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
IS(ポーラ文化研究所)	大津市歴史博物館だより	ギャラリー(月刊)	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
一関市博物館研究報告	大手前女子大学論集	九州産業大学芸術学部研究報告	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要)	大美和(大神神社社務所)	九州史学	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
出光美術館館報	岡山県立美術館ニュース	九州歴史資料館研究論集	芸術学 学報(金沢芸術学研究会)
出光美術館研究紀要	岡山市立オリエント美術館研究紀要	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告 人文	化粧文化(ポーラ文化研究所)
伊能忠敬記念館年報	岡山大学文学部紀要	京都産業大学日本文化研究所紀要	現代芸術研究(筑波大学芸術学系五十殿研究室)
茨城県近代美術館研究紀要	沖縄県立芸術大学紀要	京都市美術館ニュース	現代思想
茨城県近代美術館だより	屋外彫刻調査保存研究会会報	京都市立芸術大学芸術資料館年報	現代の眼(東京国立近代美術館)
茨城県立歴史館報	小田原市郷土文化館研究報告	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	建築雑誌(日本建築学会)
茨城大学人文学部紀要 コミュニケーション学科論集	オリエント(日本オリエント学会)	京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要	建築史学
岩手県立博物館研究報告	外交史料館報		皇学館大学神道博物館館報
岩手県立博物館だより			
印度学仏教学研究			

皇学館論叢	埼玉県立博物館紀要	続日本紀研究	竹中大工道具館研究紀要
皇学館大学神道研究所紀要	埼玉史談(埼玉県郷土文化 会)	女子美術大学紀要	辰馬考古資料館考古学研究 紀要
考古学雑誌	採蓮 千葉市美術館研究紀 要	書陵部紀要	たまび
皇室の名宝(週刊朝日百科)	堺市博物館館報	書論	多摩美術大学研究紀要
高知県立美術館ニュース	佐賀県立名護屋城博物館研 究紀要	史料館研究紀要	淡交
高知県立美術館研究紀要	佐賀県立博物館・美術館調 査研究書	史料館報(国文学研究資料 館史料館)	地域研究論集(国立民族学 博物館地域研究企画交流セ ンター JICAS)
神戸商船大学紀要	佐賀県立博物館・美術館報	史林(京都大学文学部内史 学研究会)	千葉県立中央博物館研究報 告 人文科学
神戸市立博物館研究紀要	札幌大谷短期大学紀要	シルクロード学研究	千葉県美術館ニュース C'n
高野山大学密教文化研究所 紀要	サントリ―美術館ニュース	塵界(兵庫県立歴史博物館)	千葉県美術館ニュース C'n
郡山市立美術館研究紀要	三の丸尚蔵館年報・紀要	真宗総合研究所研究紀要	地方史研究
国学院雑誌	C. A. R. (Contemporary Artists Review)	新美術新聞	中国近现代文化研究
国学院大学紀要	JCAS Occasional Paper	人文学と情報処理	朝鮮学報
国語国文(京都大学文学部 国語学国文学研究室)	史淵(九州大学文学部)	人文学報(京都大学人文科 学研究所紀要)	潮流(下関美術館)
国語と国文学(東京大学国 語国文学会)	史学雑誌	人文研究(神奈川大学人文 学会)	千代田区立四番町歴史民俗 資料館資料館報
国文学研究資料館紀要	滋賀県立安土城考古博物館 紀要	人文社会科学論叢(宮城学 院大学人文社会科学研究所)	筑波大学芸術学研究
国文学研究資料館文献資料 部・調査研究報告	静岡県立美術館紀要	人文論究(関西学院大学人 文学会)	筑波大学芸術研究報告
国立国際美術館月報	史迹と美術	人類学博物館紀要(南山大 学人類学博物館)	筑波大学芸術研究報告 作 品集
国立西洋美術館研究紀要	思想	椋山女学園大学研究論集 人文科学篇	筑波大学芸術年報
国立民族学博物館研究報告	実践女子大学美学美術史学	朱雀(京都文化博物館研究 紀要)	筑波大学先史学・考古学研 究
国立民族学博物館研究報告 別冊	島根県立西部美術館準備 ニュース	墨	津田塾大学紀要
国立歴史民俗博物館研究報 告	下関市立考古博物館研究紀 要	駿台史学	津山弥生の里
古今(日本美術誌)(細見美 術館)	ジャポニスム研究	成城文芸	デアルテ(九州芸術学会)
古事(天理大学考古学研究 室)	宗教美術研究	世田谷美術館紀要	帝京大学山梨文化財研究所 研究報告
古代オリエント博物館紀要	修復	泉屋博古館紀要	デザインの現場
古代文化(財団法人古代学 協会)	修復研究所報告(創形美術 学校)	仙台市博物館調査研究報告	デジタルアーカイブ
古代文化研究(島根県古代 文化センター)	種智院大学密教資料研究所 紀要	全文連会報(全国国宝重要 文化財所有者連盟)	哲学会誌(学習院大学哲学 会)
国華	正倉院紀要	醍醐寺文化財研究所研究紀 要	帝塚山学院大学人間文化学 部研究年報
古文書研究(日本古文書学 会)	聖徳	大正大学研究紀要 人間学 部・文学部	帝塚山芸術文化
斎宮歴史博物館研究紀要	常民文化(成城大学常民文 化研究会)	大正大学総合仏教研究所年 報	帝塚山短期大学紀要
さいたま川の博物館紀要	城陽市歴史民俗資料館館報	大日光(日光東照宮)	天花(山口県立美術館)
埼玉県立さきたま資料館調 査研究報告			天台学報
			展評

美術文献目録

天理参考館報	徳島県立近代美術館研究紀要	日本文化研究(静岡県立大学短期大学部日本文化学会)	「美の世界」通信(NHK学園)
東京学芸大学紀要 芸術・体育	徳島県立博物館研究報告	日本文化史研究(帝塚山短期大学日本文化史学会)	ピブリア(天理図書館)
東京家政学院生活文化博物館年報	徳島文理大学比較文化研究所年報	日本歴史	姫路市立美術館研究紀要
東京家政大学研究紀要 人文社会科学/自然科学	とさえ	人間科学研究(大阪大学大学院人間科学研究科)	姫路市立美術館だより
東京芸術大学美術学部紀要	栃木県立美術館紀要	人間文化(滋賀県立大学)	百科(月刊)
東京大学史料編纂所研究紀要	富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館調査報告書	人間文化研究(京都学園大学人間文化学会)	氷華(北海道立旭川美術館)
東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	富山考古学研究	NORTHERN OWLS(北海道美術館学芸員研究協議会)	平出博物館紀要
東京大学総合研究博物館ニュース(ウロボロス)	豊橋市美術館研究紀要	野村美術館研究紀要	平出博物館ノート
東京大学総合研究博物館標本資料報告	長野県信濃美術館美術調書	博物館研究(日本博物館協会)	ひろ・ういんど(三重県立美術館)
東京都現代美術館紀要	長野県立歴史館研究紀要	浜松市博物館報	広島県立歴史民俗資料館研究紀要
刀剣美術	名古屋博物館研究紀要	版画芸術	広島市立大学芸術学部紀要
陶磁館ニュース	名古屋市美術館だより	版の絵(小野忠重版画館)	ピロティ(兵庫県立近代美術館)
同志社大学博物館学年報	名古屋市美術館研究紀要	美学	フィロカリア(大阪大学文学部美術科)
陶説	名古屋大学文学部研究論集 文学、史学、哲学	美学芸術学(同志社大学文学部美学・芸術学研究室)	Fontaine(東北芸術工科大学)
東方学	奈良学研究	美学美術史論集(成城大学大学院文学研究科)	福岡市博物館研究紀要
同朋大学仏教文化研究所紀要	奈良国立文化財研究所年報	比較文化論叢(札幌大学文化学部紀要)	福島県立博物館紀要
東方学報京都(京都大学人文科学研究所紀要)	奈良女子大学文学部研究年報	美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)	府中市郷土の森紀要
東北アジア研究(東北大学東北アジア研究センター)	奈良大学紀要	彦根城博物館研究紀要	府中市美術館開設準備室研究紀要
東北芸術工科大学紀要	南都仏教	美術(月刊)(サンアート)	仏教芸術
東北文化研究室紀要	にいくら(跡見学園女子大学花蹊記念資料館)	美術京都(財団法人中信美術奨励基金)	仏教史学研究
東北歴史資料館報	日仏美術学会会報	美術研究(東京国立文化財研究所)	仏教大学総合研究所紀要別冊
東洋学報(財団法人東洋文庫)	日経アート	美術史	仏教大学文学部論集
東洋史研究	日光山輪王寺	美術史学(東北大学美学美術史研究室)	フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)
東洋陶磁	日彫会報	美術史研究(早稲田大学美術史学会)	文化(東北大学文学会)
東洋文化(東京大学東洋文化研究所)	日展ニュース	美術史論叢(東京大学大学院人文社会系研究科・文学部美術史研究室)	文化化学年報(同志社大学文化学会)
東洋文化研究所紀要	日本学士院紀要	美術手帖	文学(季刊)
東洋文庫書報	日本建築学会計画系論文集	美術の窓	文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)
ドーム	日本考古学年報	美術フォーラム21	文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)
遠山記念館だより	日本史研究		滋賀文化財教室シリーズ
トキワ松学園横浜美術短期大学紀要	日本の国宝(週刊朝日百科)		文化財通信くまもと
	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)		文化財保存修復学会誌
	日本の美学		

文化史学	MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成過程紀要)	大和文華	歴博だより(愛媛県歴史文化博物館)
文化と情報	ミュージアム・データ(丹青研究所)	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要
文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	MUSEOLOGY(実践女子大学美学美術史学科研究室)	游美(茨城県立近代美術館友の会)	碌山美術館
法政考古学	MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成過程年報)	ユリイカ	碌山美術館報
法政史学	視る(京都国立近代美術館)	ヨーロッパ文化研究(成城大学大学院文学研究科)	和歌山県立近代美術館ニュース
北斎研究	民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所)	横浜市歴史博物館紀要	和歌山県立博物館研究紀要
保存科学(東京国立文化財研究所)	民博通信	横浜美術館研究紀要	和歌山市立博物館館報
北海道開拓記念館研究紀要	武蔵野美術	立正史学	和歌山市立博物館研究紀要
北海道東海大学紀要 人文社会科学系	武蔵野美術大学研究紀要	栗東歴史民俗博物館紀要	早稲田大学大学院文学研究科紀要
梵鐘(古鐘研究会)	ムゼイオン(立教大学博物館研究)	龍谷史壇	早稲田大学図書館紀要
待兼山論叢(大阪大学文学部)	棟柱(信州伝統的建造物保存技術研究会)	龍谷大学仏教文化研究所紀要	和洋女子大学紀要 家政系編、文系編
町田市立国際版画美術館紀要	明治村だより	龍谷大学論集	朝日
松ヶ岡文庫研究年報	明星大学研究紀要	黎明(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	朝日夕刊
三田国文	medium(女子美術大学)	黎明館調査研究報告	産経
密教図像	目の眼	歴史学研究	産経夕刊
密教文化	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	歴史研究(大阪教育大学)	東京
港区立港郷土資料館研究紀要	山形大学史学論集	歴史地理教育	東京夕刊
MIHO MUSEUM研究紀要	山口県立山口博物館研究報告	歴史と地理	日経
宮城学院女子大学研究論文集	山口蓬春記念館研究紀要	歴史と民俗(神奈川大学日本常民文化研究所論集)	日経夕刊
宮崎県総合博物館研究紀要	山口県文書館研究紀要	歴史評論(歴史科学協議会)	毎日
MUSEUM(東京国立博物館)		歴博	毎日夕刊
			読売
			読売夕刊



# 目 次

## 〔定期刊行物所載文献〕

総 説	48	石 工	103
美 学	48	木 竹 工	103
概 論	50	ガ ラ ス 工	103
日本美術史	54	その他の工芸	104
海外美術史(アジア)	58	建 築 一 般	104
海外美術史(その他)	59	都 市 ・ 集 落	104
保 存 修 復	62	宮 殿 ・ 官 衙	106
情 報 処 理	67	宗 教 建 築	106
文化財行政	69	城 郭	108
美 術 教 育	72	住 宅 ・ 館	109
古 美 術	76	その他の建造物	109
絵 画	76	庭 園	110
図像・文様	84	墳 墓	110
地図・絵図	85	建 築 部 材 等	111
彫 塑	85	その他の建築	111
土偶・埴輪	88	近現代美術	112
面	88	絵 画	112
書 蹟	88	漫 画	115
金石文など	91	版 画	116
工芸(一般)	92	写 真 ・ 映 像	117
宗 教 工 芸	93	彫 刻 ・ 空 間 表 現	118
武 具 ・ 馬 具 類	93	工 芸	119
茶 道 具	94	デ ザ イン	120
装 身 具 ・ 化 粧 具	94	建 築 史	123
文 房 具	94	その他のジャンル	126
装 潢 ・ 料 紙 装 飾	94	作 家	127
陶 磁	94	日 本	127
土 器	97	海 外	173
瓦	99	そ の 他	185
金 工	99	美術関係者	185
鏡	100	書 評	188
青 銅 器	100	時 評	195
刀 剣 ・ 刀 装 ・ 槍	100	美 術 館 ・ 博 物 館 ・ 画 廊	198
染 織 ・ 服 飾	102	海 外 展	213
漆 工	102		

定期刊行物所載文献

総 説				特集 ハイデガーの思想 アフォーダンスとミメシス		森本 浩一 " "	
美 学				特集 ハイデガーの思想 理性のドライブ装置 カント・ハイデガー・カッシーラー		柿本 昭人 " "	
アヴァンギャルドとポップ主義をめぐる(美術)の危機—資本の運動と、「作品」領域の拡張	園江光太郎	あいだ	39	特集 感覚の論理 芸術作品の問題 メルロ＝ポンティとハイデガー	エリアーヌ・エスクーバス 石原陽一郎 訳	"	27—10
美学の可能性	山川淳次郎	跡見学園女子大学 美学・美術史学科 報	27	20世紀を決めた／決めそこねた書物	鈴木 博之 田中 純 五十嵐太郎 鼎談 古山正雄、石田潤一郎 聞き手	建築雑誌	1433
啓蒙と自然(前)	正塚 晴康	大阪教育大学 紀要	47—2	美術史とその言説	小池 寿子 鈴木 杜 鶴岡 真弓 横山 勝彦 谷川 渥	国学院雑誌	1101
啓蒙と自然(2)	"	"	48—1	シャルル・ボードレール：(生の深さ)の詩学(上)(下)	吉村 和明	"	1104、1105
【特別寄稿】美的価値と芸術的価値の区別について	ヴォルフハルト・ヘンクマン 井村 彰 訳	カリスタ	6	談話室 美術作品と言葉—美術館の現場から—	横山 勝彦	"	1106
新しい視点から見たカントの美学	ゲルノート・ベーム 武藤三千夫 阿部美由起 共訳	"	"	距離を縮める「芸術と環境—エゴロジーの視点から—」に寄せて	岡本 康明	国立国際美術館月報	76
西田哲学における「道具」「言語」「芸術」—『論理と生命』を中心に—	大熊 治生	"	"	新作展の審査講評	原田 平作	"	85
ドゥルーズにおける感覚と生成	原田 葉子	"	"	創造性の構造と条件	木村 雅信	札幌大谷短期大学 紀要	30
ニヒリズムへの反動としての芸術—ハイデガーのニーチェ解釈の一断面—	秋富 克哉	京都工芸繊維大学 工芸学部 研究報告 人文	47	歴史家と図像	ジャン＝クロード・シュミット 佐藤 彰一 訳	思 想	897
ハイデガーのニーチェ解釈	小林 信之	京都市立芸術大学 美術学部 研究紀要	43	和辻哲郎『風土』についての批判的考察	内田 芳明	"	903
芸術的精神の現象学(4)	岩城 見一	京都大学 文学部 美学美術史学 研究室 研究紀要	20	現象か法則か—「自然の表情学」としてのゲーテ色彩論	高橋 義人	"	906
美、真理、自己—ブルーストの批評作品—	武藤 剛史	共立女子大学 文芸学部 紀要	45	ゲーテ色彩論はどのような科学か	河本 英夫	"	"
芸術作品のモノドロジー	前田 茂	芸術論究	26	自然には核もなければ殻もない—ゲーテの自然観察の方法論—	ゲルノート・ベーム 宮田 眞治 訳	"	"
特集 ハイデガーの思想 ハイデガーの手(ゲシュレヒト2)	ジャック・デリダ 藤本 一勇 訳	現代思想	27—6	世紀末の現代にゲーテを読む	柴田 翔 高橋 義人 対談	"	"
特集 ハイデガーの思想 「良心の呼び声」の余白に	丹生谷貴志	"	"				

カッシーラーとデュルタイゲートの根本現象をめぐって一	エルンスト・W・オルト 嶋田洋一郎 訳	"	"	第50回美学会全国大会発表要旨 存在および芸術の一義性—ドゥルーズの時間論—	大塚 直子	"	"
近代造形思考とゲーテ「くもり」と「残像現象」の観察から一	向井周太郎	"	"	第50回美学会全国大会発表要旨 ネルソン・グッドマンにおける「表出」(expression)の理論—美学における言語分析方法の理論的射程—	小川 真人	"	"
ワーズワスの崇高について	岩崎豊太郎	人文研究	138	第50回美学会全国大会発表要旨 芸術とテクノロジー—ハイデガーの技術論をめぐって—	小林 信之	"	"
梁啓超の絵画論	平野 和彦	中国近現代文化研究	2	第50回美学会全国大会発表要旨 クーザンとフランス・スピリチュアリズムの美学	瀧 一郎	"	"
中間評価論文梗概 造形の感性的評価構造に関する一考察 快—不快感情の生成と作用	井上 征矢	筑波大学芸術学研究	3	第50回美学会全国大会発表要旨 ベルクソンにおける芸術と社会—ギュイヨーとの比較を通じて—	西野 真季	"	"
美術史学の方法1—記述	中山 典夫	筑波大学芸術年報	1998	第50回美学会全国大会発表要旨 アンドレ・マルローの芸術論における、運命・絶対・価値について	武藤 麻矢	"	"
眼光ビーム	松田 行正	デザインの現場	101	シンポジウム 芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって	浅沼 圭司 有田 英也 小林 宗生 佐野みどり 野陽子 千足 伸行 佐田 日夫 津上 英輔 戸口 幸策 尾原 武満 田山 健吾 宮川 達三 川 毛利	12	美学美術史論集
「近代」の周辺	高田美規雄	天 花	76	芸術をめぐる言葉72 パロックは絶え間なく嬖を生み出す。—ドゥルーズ	谷川 渥	美術手帖	766
分析論的領域と説明概念	田島 正樹	東北芸術工科大学紀要	6	芸術をめぐる言葉73 浮世絵が紙を離れて、人間の皮膚に移ったのが日本の刺青である。—郡司正勝	"	"	767
〈土着性〉と〈都市性〉 アドルノによるハイデガー批判の考察	田路 貴浩	日本建築学会計画系論文集	524	特集2 覗きの美学 窃視症の時代	海野 弘	"	768
文化とアイデンティティの政治学のための予備考察	時安 邦治	人間科学研究	1	特集2 覗きの美学 覗きをめぐる3つのセオリー ジグムント・フロイト+ローラ・マルヴェイ+ミシェル・フーコー	樹村 緑 編集協力	"	"
読書とイメージ	西村 清和	美 学	196	特集2 覗きの美学 覗きという装置について	伴田 良輔	"	"
「日本的なもの」とアプリオリ主義のはざま—大西克礼と「東洋的」芸術精神—	小田部胤久	"	"	特集2 覗きの美学 盗撮ビデオの現場から	小野 一光	"	"
〈均衡〉としての芸術—エルンスト・カッシーラーのハンブルク時代の芸術論	喜屋武盛也	"	"				
像・イメージ・かたち	金田 晋	"	198				
パノフスキーの「芸術意思の概念」の解釈—カントの認識論との比較において	江藤 匠	"	199				
第50回美学会全国大会発表要旨 センバーの工芸論—総合性における細部化—	阿部美由紀	"	"				
第50回美学会全国大会発表要旨 センバーとゲーテ—センバーの「比較建築論」の形成過程をめぐる美学的考察	石川 恒夫	"	"				
第50回美学会全国大会発表要旨 パノフスキーの「芸術史と芸術理論の関係について」の解釈	江藤 匠	"	"				

芸術をめぐる言葉76 紅旗征戎吾が事に非 ず。—藤原定家	谷川 渥	美術手帖	770	特集 (自然)論の現 在 (自然)新論 自 然とは何か	高山 宏 中沢 新一	武蔵野美 術	112
特集 ファッション という創造性 越境 するファッション	成実 弘史	"	771	特集 (自然)論の現 在 第二の自然	藤田 治彦	"	"
特集 ファッション という創造性 ネイ キッド・ドレス 衣 服から身体そのもの へ	市原研太郎	"	"	特集 (自然)論の現 在 遠近法という魔 術/科学	松畑 強	"	"
芸術をめぐる言葉77 芸術に関すること で自明なことは、もは やなにひとつないこ とが自明になった。 —アドルノ	谷川 渥	"	"	特集 美学は可能か (美)学講義	谷川 渥 イン タヴ ユー・構成	"	114
芸術をめぐる言葉78 詩、弁論、絵画、彫 刻、その他、模倣を こととする諸芸術に おいて、われわれに は巨大な量の模範と なる傑作が満ちあふ れている。—ヴィー コ	"	"	773	特集 美学は可能か イデオロギー論の隘 路『美のイデオロ ギー』(テリー・イー グルトン)をめぐっ て	鈴木真理子	"	"
芸術をめぐる言葉79 ラスコー以来今日ま で、およそ絵画は、 純粋であろうと不純 であろうと、具象的 であろうとなかろう と、(可視性)の謎以 外のいかなる謎をも 祭りはしなかった。 —メルロ・ポンティ	"	"	774	特集 美学は可能か 作品/展示/批評 (美)の制度の脱構築	井上 明彦 川田都樹子	"	"
芸術をめぐる言葉80 いかなる富も、いか なる作品も生み出さ ないのが、遊びとい うものの特徴であ る。—カイヨワ	"	"	775	特集 美学は可能か 「政治的利用の芸術」 について	藤枝 晃雄	"	"
芸術をめぐる言葉82 ゴシック建築とスコ ラ学の間には、時間 と場所という純粋に 事実の領域において とても偶然とは思え ない明白な同時発生 が存在している。— パノフスキー	"	"	779	特集 美学は可能か 美と醜—連続の美学	青山 昌文	"	"
芸術をめぐる言葉83 曲線の街路はロバの 道。直線の街路は人 間の道。—ル・コル ビュジェ	"	"	780	特集 美学は可能か 美をめぐる問い 武 満徹の音楽を手がかり に	白石 美雪	"	"
トピックス 「日本 の美学」の形成 フェノロサから天心 へ	神林 恒道	美 術 フォーラ ム21	1	特集 美学は可能か (美)の彼岸 美と身 体性/精神性	新宮 一成 谷川 渥	"	"
近代美術史への視 座—戦後リアリズム 論争の出発点	武居 利史	府中市美 術館開設 準備室研 究紀要	3	想像論序論	富松 保文	武蔵野美 術大学研 究紀要	29
ブルクハルト文化史 学における感性	森田 猛	文化史学	55	特集 終末論【対 談】陽気な黙示録	高山 宏 種村 季弘	ユリイカ	414
芸術作品とハイデ ガーの世界概念	石黒 義昭	待兼山論 叢	33	地球時代の日本研究 12 フランスにおける 日本研究 大衆教 育の時代の東洋学	アラン=ロ シエ	歴 博	93
				地球時代の日本研究 15 米国における戦 後日本研究の発展	ヘレン・ ハーデッ カー	"	96
				試論 「芸術の自律 性」とボナバルティ ズムの危機の問題— ハインリヒ・ハイネ の近代性—	林 睦實	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	44
				「表現主義論争」再考	保坂 一夫	"	"
				この人・この一冊 ブルクハルト	高階 秀爾	毎 日	11.21
<b>概 論</b>							
				公共空間における アートの新しいアプ ローチ:ヒューマン ・インターフェイ スとしての椅子	吉田 美弥	アート・ ドキュメ ンテー ション通 信	42
				傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 1	小泉 晋弥	ア ー ト ト ッ プ	170

傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 2、3 (性)をめぐる スタンダード～前編、後編～	"	"	171、172	大英博物館で開催された「琳派展」と、ロンドン大学での琳派研究シンポジウム	内藤 正人	出光美術館館報	108
傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 4 芸術と偏見(その1) ダミアン神父像をめぐる	"	"	173	演習ノート つくられる風景	倉智久美子	URYU: 京都芸術短期大学紀要	21
状況考9 観念性と肉 体性をめぐってジェン ダー論争の極私的総括	三田 晴夫	アート・マガジン (エル・アール)	12	特別研究報告「京都パブリック・アート研究会」活動報告	川田都樹子	"	"
画廊からのオブジェク ション1 シンパシーこそ キキーワード	山口 侑子	"	"	美術エッセイ 思考の素描つれづれ草 そのハイインターナショナルとは何か	ヨシダ・ヨシエ	絵	429
抗議と蛇足—三田晴夫 氏へ	上田 高弘	"	13	イメージの機能と文化の多様性	木村 重信	鴨東通信	36
『(かたち)の領分』展 シンポジウム前編、後編 器物が芸術になると き	北澤 憲昭 小池 頌子 小清水 漸 重松 あゆみ 沈 文燮 樋田 豊次郎 司会	"	13、14	「美術に関する国際交流の援助」研究報告 国際会議開催 日韓芸術共同研究	青木 孝夫	鹿島美術研究	16
笠原美智子さんに聞く 『ラヴズ・ボディ—ヌード 写真の近現代』展を めぐって	笠原美智子 山本 育夫 聞き手	"	16	色彩環境論(8) 景観形成と色彩施策—金沢都市美文化賞の20年/1978—1997	山岸 政雄	金沢美術工芸大学紀要	43
笠原美智子さんに聞く 『ラヴズ・ボディ—ヌード 写真の近現代』展を めぐって	笠原美智子 山本 育夫 聞き手	"	16	特集 頑張り!!アート系NPO		ギャラリー(月刊)	167
検閲アプローチと助成 アプローチ	池端 忠司	あいだ	40	座談会 蘇る?美術評論	尾崎 真人 田島 正樹 横山 勝彦 小林 敬生	"	176
〈ウイメンズ・アート・ ネットワーク〉ATC1に 参加して	光田 由里	"	42	日本・韓国の色彩に関する比較研究 衣を巡る伝統色と若者達の官能調査から	白 淑子 鈴木 信康	九州産業大学芸術学部研究報告	30
美術世界の仮設性	山口 昌男	"	"	特集 ジェンダー・スタディーズ インタビュー ジェンダー・スタディーズへの招待	若桑みどり	現代思想	27—1
国際セミナー「みんな で作る地域活動とアート ・センター」を聞きに 行ってきました	穂葉 さり	"	44	〈活動紹介〉シンポジウム『日本の古墳と天皇陵』		古 事	3
ある事件の傍らで— 近代書の運命	天野 一夫	"	45	法隆寺昭和資財帳編纂完成の意義(上)(下)	高田 良信	聖 徳	160、161
『あいだ』の人々への ヒ口	山口 昌男	"	"	人らんだむ 映画「まひるのほし」を監督した佐藤真さん	(賀)	新美術新聞	852
雑感「展示されたアイ ヌ」	佐藤 雄二	"	46	消えるメセナ盛気楼	安井 収蔵	"	860
拝啓編集長様	松永 康	"	47	日の出トラスト 深まる危機感		"	866
戦争美術論考1	河田 明久	"	48	中国現代美術とベネチア・ビエンナーレ	清水 敏男	"	868
日本の原風景を今に 伝える「直島文化村」 プロジェクト		A X I S	80	ギザギザの茶碗	安井 収蔵	"	"
上海レポート 「中国 古代性文化展覧」を みて—現代中国の タブーに触れる	葉 豊	アジア遊学	9	第9回メセナ大賞99(株)東急文化村に		"	875
実物と対話する…… —その豊かさとのし さ	笹本 孝	跡見学園女子大学 美術学・美術史学科 報	27	日の出処分場問題で都収用委員会 トラスト地に収用裁決 若林齋「庭」に強制収用の危機		"	876
畝傍山・神武天皇陵・ 橿原神宮 三位一体 の神武天皇「聖蹟」	高木 博志	IS	82				

平成11年定期刊行物所載文献(総／概)

新美術時評 中国現代美術に対する日本と西欧の温度差	清水 敏男	新美術新聞	877	特集2 3つのエピソード東アジアの近代はタブーだった? 員果敢に挑んだ学生たちのエピソード 静岡県立美術館	越智裕二郎 李美那 ゲスト	"	47
アーカス構想 最後のパイロット事業始まる 茨城県	"	"	878	"	"	"	"
新美術時評 サンプルリング二題	三上 豊	"	879	MEPで、ダンスを12 東京芸術大学の学生を中心としたグループ ヘその実験室	D	"	"
"庭"の芸術性無視の裁決取り消しを 日の出トラスト建設相に審査請求	"	"	"	特集・考現学 考現学の再構築—銀座調査を中心として—	川添 登	人間文化	5・6合併号
都心開催で入場者アップNICA99 日の出の"庭"存続求める署名運動スタート	"	"	880	特集・考現学 座談会 新しい考現学のために	西川 幸治 高谷 好一 黒田 未壽 濱崎 一志 細馬 宏通 面矢 慎介	"	"
日本美術修復計画 フィリップモリス 2000年カレンダー基金	"	"	881	"	浅沼 圭司 沼田 英也 有田 宗生 小林 宗どり 小野 陽子 佐野 伸行 千足 行夫 津中 英輔 戸上 幸策 尾 武満 原田 健吾 東山 達三 宮川 利三	美学美術史論集	12
【動向 陵墓問題】シンポジウム「日本の古墳と天皇陵」参加記—陵墓限定公開20年をふりかえって—	鍛代 敏雄	地方史研究	277	シンポジウム 芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって	"	"	"
特集2 トヨタ・アートマネジメント講座千葉セッション「アートで人を育てよう！」	"	ドーム	42	"	"	"	"
特集2 公開シンポジウム・ドキュメント「アートで人を育てよう！」	長田謙一 井田清一 米田耕司 永山智子	"	"	シンポジウム「芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって」 「本文」のない「前文」あるいはシンポジウムのまえとあと	浅沼 圭司	"	"
MEPで、ダンスを10 平成九年度地域・草の根交流欧州派遣事業／芸術と社会を結ぶ報告書」を読む	"	D	44	シンポジウム「芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって」 芸術研究の普遍性をめぐる試論	宮川 達	"	"
特集 トヨタ・エイブルアート・フォーラム東京セッション アートが変わる、社会が変わる 新しいアートの胎動—エイブル・アートの可能性	高橋直裕 はたよしこ 服部正 播磨靖夫 森田ゆかり パネリスト	"	45	シンポジウム「芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって」 シンポジウムを振り返って	佐野 陽子	"	"
特集 トヨタ・エイブルアート・フォーラム東京セッション プレゼンテーション 1 エイブル・アートとは何か	栗原 彬 コーデイ ネーター	"	"	シンポジウム「芸術研究者の文体、またはその主観性と客観性をめぐって」 祭りの後で／後の祭り	津上 英輔	"	"
特集 トヨタ・エイブルアート・フォーラム東京セッション プレゼンテーション 2 アウトサイダー・アートとアール・ブリュットとは何か	播磨 靖夫	"	"	古書店街「美術」探索のすすめ 装幀者を成立させる大切なパートナー	菊地 信義	美術(月刊)	283
"	服部 正	"	"	古書店街「美術」探索のすすめ 歴史的資料に「美術」を見出だす	内田 啓一	"	"

特集 アートになつた昆虫たち 虫と美術、古今東西 大いなる寓話からささやかな私話へ	藤田 一人	"	286	博多バレインアートプロジェクト公開!	南條 史生	美術の窓	188
特集 アジアの美術 日本・アジア1 「現代」と出会うために	黒田 雷児	美術手帖	766	福岡市博物館・陝西歴史博物館友好館提携五周年記念 国際学術シンポジウム「唐朝文化と鴻臚館」実施報告	山崎 龍雄 吉武 学	福岡市博物館研究紀要	9
特集 アジアの美術 日本・アジア2 「ブーム」の表と裏	"	"	"	特集 グリム童話 グリム考現学 不思議の国のグリム童話	天沼 春樹	ユリイカ	417
特集 アジアの美術 アジア美術館の誕生 アジア・コレクションとアジア美術展の20年	後小路雅弘	"	"	時評 仁徳天皇陵を世界遺産に!	高木 博志	歴史学研究	725
特集 アジアの美術 鏡の中のアジア 在日アジア系アーティストと沖縄アートの昨日、今日、明日	鷹見 明彦	"	"	〈特設部会1〉視覚的表象と歴史学 醜い女はなぜ描かれたか—中世の絵巻を読み解く「行為体」とジェンダー—	千野 香織	"	729
国際美術評論家連盟(AICA)の初の日本大会	中原 佑介	"	"	陵墓問題シンポジウム報告	石橋源一郎	歴史地理教育	591
国際シンポジウム「地域社会になぜアートが必要か?」	降旗千賀子	"	767	正倉院の「常識」をとらえなおす	北尾 悟	"	594
映画「まひるのほし」と七つの個性 プリミティブアートの鏡演	"	"	"	近代天皇制と文化	高木 博志	"	"
特集2 視きの美学 跳ね返る視線と分裂する鏡像 80—90年代における視きの快楽と女性の表現	樹村 緑	"	768	科学運動通信 シンポジウム「日本の古墳と天皇陵—陵墓限定公開二〇年をふりかえって」参加記	井内 誠司	歴史評論	592
特別寄稿 都市の中のアート 都市における創造的介入の三つの事例	カトリーヌ・ブルー 藤原えりみ	"	"	いたずらされ撤去 裸婦像行き場なし JR立川駅北口		朝 日	1.7
特集 現代美術の素材と技法 結晶と安全ピンのあいだ 唯物論的素材論ノート	鷹見 明彦	"	769	「キャンディ・キャンディ」商品訴訟 原著作権は原作者に 東京地裁判決		"	2.26
特集 現代美術の素材と技法 20世紀アート マテリアル&メディアム百科	鷹見 明彦 監修・文	"	"	美術品の公開と秘蔵 現代のパトロンはだれか	田中 三蔵	"	6.26
特集 ファッションという創造性 アートを支援するファッション・ブランド	"	"	771	複製美術館が人気 贋作扱う小説・まんがも	大西 若人	"	11.11
特集 ファッションという創造性 ファッション&アート関係者に聞く ファッションとアートの関係は?	ミウツ チャ・プラダ スーザン・チャンシオ ロ市ノ瀬 津村久田 深井山崎	"	"	とけあう空間 都市・建築のいま1~6	"	朝日夕刊	3.8~17
台湾国立アートヴィレッジ計画と「九峰現代・伝奇—芸術逗陣」展	"	"	773	2000円札なぜ沖縄「守礼の門」? 基地問題そらしの飴玉「普天間」移設めぐり 緊迫	目取真 俊	"	11.4
				高尚だからアートなのか 越境する「美術」と「芸能」	大西 若人	"	11.9
				神としてのコンピュータ 「新しい中世」到来の予感	篠田 達美	"	12.6
				漫画「キャンディ・キャンディ」原作者にも著作権 東京地裁判決		産 経	2.26
				「絵画売買」真相は… 法廷で対決 「ルノワール」破格の9億6000万円で		"	3.30

批評の漫画引用適法 著作権訴訟「ゴ－宣」 小林さん敗訴	産 経	9. 1	日韓交流の盲点 待 たれる現代の柳宗悦	名和 修	"	11. 19	
絵画を商標に無断で 使用 つくだ煮店に 賠償命令 東京地裁	"	9. 29	グラフィティー20世 紀の現場 博覧会 「開発」終幕「環境」が 浮上	牧内 岩夫	日経夕刊	9. 11	
ナチス強奪絵画「返 せ」 私人所有者 日本人コレクターを 告訴 シスレーの風 景画 日仏捜査当局 に不協和音	山口 昌子	産経夕刊	9. 16	文化国家	多川 俊映	" 11. 13	
陵墓は国境を越えた 文化財 限定公開20 周年記念シンボから 『宮内庁は一層の公 開へ取り組みを』	東 京	1. 27	ジャポニズム復活 日本文化を芸術作品 に	"	"	12. 7	
ドキュメンタリー映 画「まひるのほし」 人々に共感の輪広が る	"	2. 22	細るメセナに芸術家 ら不満	"	"	12. 9	
つくだ煮店の商標は 日本画家の絵に酷似	"	9. 29	キャンディの“親権” 生みの親にも 東京 地裁判決 原作・水 木さんが勝訴 漫画 家いがらしさんの出 版差し止め	毎 日	2. 26		
文化経済学への招待 絵柄など財やサービ スの「質」 生活に入り 込む芸術	池上 惇	東京夕刊	3. 31	読み直される概念芸 術 「世界のコンセ プチュアリズム」展 に寄せて	千葉 成夫	" 7. 21	
赤倉を東洋のバルビ ゾンに[平山郁夫世 界文化芸術交流セン ター]	"	6. 10	超・複製技術時代の 芸術 ネット配信が もたらすもの	坂本 龍一	"	12. 14	
新しいファッション 論への誘い 21世紀 への視線・上、中	成実 弘至	"	7. 7、 8	「コドモノクニ」[幼 年画報]著者はだあ れ? 「絵本ギャラ リー」計画国会図書 館呼びかけ	丸山 雅也	毎日夕刊	1. 8
戦争の記憶と日本 21世紀への視線 4 極限の場の芸術	南 島 宏	"	8. 12	アジア美術紹介現地 の思いは「世界へ 窓開いてくれた」 日本側の貢献ぶり評 価 反面、選択展示 に課題も	三田 晴夫	"	5. 7
ナチス略奪美術品返 還事業が始動 ユダ ヤ人団体の標的に オーストリアに重い 「歴史の精算」	平野登志雄	日 経	2. 8	街の彫刻受難の時 愛されず無残な姿	松本 剛 読 売	2. 7	
原作者にも絵の著作 権 人気漫画訴訟 漫画家の主張退ける	"	2. 26	キャンディの著作 権、原作者にも 絵 の無断使用漫画家に 禁じる 東京地裁判 決	"	"	2. 26	
企業メセナのソロボ ン勘定 ひと足早く 景気回復宣言!?	スクープ取 材班	"	7. 11	論点 首都移転より 新東京建設	岡田 新一	" 4. 7	
古代史解明に「魔法 の光」 エジプト研 究に 極微量の元素 を放射光当て検出	中島 彰	"	7. 18	隠れた芸術家を発掘 「たけしの誰でもピ カソ」勝ち抜きア ートバトル	読売夕刊	1. 21	
地域に未来はあるか 第三部・発展幻想を 超えて1 かすむ博 覧会の世紀 愛知万 博、理念矛盾し迷走	"	8. 30	ナチスが関与 難航 する“略奪美術品”返 還	瀬木 慎一	"	2. 15	
国際美術展で日本発 信 3年に一度の 「トリエンナーレ」 新潟・横浜で計画進 む アジアでも後発 にじむ焦り	"	9. 4	建築季評 自由に批 評しあう重要性 不 動産的価値とは別次 元で	鈴木 博之	"	12. 8	
文化往来 長引く不 況下でも企業メセナ 着実に	"	11. 9	日本美術史	森 仁史	アート・ ドキュメ ンテー ション研 究	7	



二十一世紀はもうすぐ一戦後からグローバリズムへ	日向あき子 森下泰輔	アート・マガジン (エル・アール)	11	アンリ・チェルヌスキとテオドール・デュレが見た明治四年の日本	クリストフ・マルケ 丹尾安典	" "	" "
つづれ織り5 「ものえ派のはなし」の話2	山本 育夫	" "	" "	審美書院の美術全集にみる「日本美術史」の形成	村角 紀子	" "	" "
反復する「美術(びじゅつ/Bijutsu)の夢」	白川 昌生	" "	12	【シンポジウム発表要旨】明治神宮聖徳記念絵画館の成立経緯をめぐって	林 洋子	" "	" "
ART TODAY レクチャーシリーズ 「日本画って何だろう」 「日本画」のはじまり	北澤 憲昭	" "	16	江戸東京名所考(一) 興味津々 「南蛮」ワールド	高階 秀爾 坂本 満	" "	" "
ART TODAY レクチャーシリーズ 「日本画って何だろう」 スーパーフラットは日本人のスピリットだよ!	村上 隆	" "	" "	ART NEWS 1300年前の超人“役行者”って何者?	久保田展弘	" "	599
まなざしのフィールドワーク8 仮構の美術史	山口 昌男	あ い だ	46	臨終行儀の美術—儀礼・身体・物語—	加須屋 誠	芸術論究	26
遅すぎた当惑	大久保純一	跡見学園 女子大学 美術・美術史学科 報	27	正倉院の歴史 天平の息吹を伝える倉と宝物	木村 法光	皇室の名刊(週刊朝日百科)	1
日本近代美術史研究の課題と可能性	北澤 憲昭	" "	" "	宮内庁書陵部の歴史と所蔵品	吉岡 眞之	" "	7
研究ノート 日本におけるロダン素描論についての一考察	南 美幸	アマリリス	55	旧桂宮家の遺産 近世宮廷文化の伝統と継承	太田 彩	" "	9
地方紙「南信」における美術関連記事について(明治35~45年)	小島 淳	飯田市美術博物館 研究紀要	9	御物 天皇家の蔵品	木村 正光	" "	11
目録・行灯絵・絵師—イベントディスプレイの実態と変容—	大門 哲	石川県立歴史博物館 紀要	12	それからの土佐派と、現代美術の実験	松本 教仁	高知県立美術館研究紀要	1
大槻家旧蔵資料考—展覧会出品目録を中心として—	小岩 弘明	一関市博物館 研究報告	2	連載 生命と表現 No. 2	タイモン・スクリー 横山 茂雄 訳	古今(日術誌)	2
美術雑誌戦時統制と西洋美術	佐々木多喜子	鹿島美術研究	16	特集 『正倉院研究の現状』に寄せて	米田 雄介	古代文化	487
幕末明治期の写真導入を通して見た日本近代の建築認識研究—建築家と写真表現の関係を中心に—	清水 重敦	" "	" "	1998年の歴史学界—回顧と展望—古代七	西本 晶弘	史学雑誌	108—5
明治政府の殖産興業政策と岐阜県	松田 千晴	岐阜県博物館調査 研究報告	20	1998年の歴史学界—回顧と展望—古代八	片岡 直樹	" "	" "
日本美術史形成期の研究(1)—『稿本日本帝国美術略史』の作品選択と記述—	並木高松 誠士麻里 永島明子	京都工芸繊維大学 工芸学部 研究報告 人文	47	1998年の歴史学界—回顧と展望—中世九	池田 忍	" "	" "
「それらをどうすればよいのか」—米国公文書にみる「戦争記録画」接取の経緯—	河田 明久	近代画説	8	1998年の歴史学界—回顧と展望—近世十四	田島 達也	" "	" "
				1998年の歴史学界—回顧と展望—近現代十三	北澤 憲昭	" "	" "
				ラフカディオ・ハーンと第四回内国勲業博覧会—その美術史的意義について—	永田雄次郎	人文論究	49—3
				近世住友銅吹所幕府高官見分応接の儀礼について(その2)—床飾りを中心に—	今井 典子	泉屋博古館紀要	16
				もの派について	渡辺 嘉幸	多摩美術大学研究紀要	13

平成11年定期刊行物所載文献(総/日美史)

日本における古代ギリシア美術の受容に関する研究—蘭学書に記される古代ギリシア—	大木 綾子	筑波大学芸術学研究	3	日本美術は純正美術か応用美術か 第二回ヴェネツィア・ビエンナーレにおける日本美術	石井 元章	美術史	146
中間評価論文梗概 1910年 日英博覧会について	佐藤みちこ	" "	"	平成十年支部例会等研究発表要旨 明治国家における女性役割と「手芸」	山崎 朋子	" "	"
東京美術学校の外国人生徒(後篇)	吉田千鶴子	東京芸術大学美術学部紀要	34	資料紹介 ベルリンにおける日本古美術展覧会	安松みゆき	"	147
量綱彩色の研究—色彩の歴史の変遷—	栗田美由紀	奈良大学紀要	27	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 コンセプチュアル・アート 美術を他者にする素材	石井 弥夢	美術手帖	769
第78回例会発表要旨 日本における西欧美術コレクションの形成—ふたつの世界大戦と絵画の流入・流出—	宮崎 克己	日仏美術学会会報	18	20世紀の美術5 両大戦間の国際的動向	林 洋子 末永 照和 永井 隆則	" "	774
「夢ある日展」に第三十一回日展を前にして	石川 義泰 内海 耕之祐 日野 杉吉 杉山 一雄 浦山 眞言 勝野 萌木 伊藤 佳 藤市 芝堂 松下 華 橋崎 祥 坂公 雄 司会	日展 ニュース	94	特集—新セザンヌ解剖学 日本におけるセザンヌの受容史	永井 隆則	"	777
「第三十一回日展」—明日の日展に向けて—	関本 主税 橋本 堅太郎 那須 勝哉 川崎 麻児 田中 実 飯泉 俊夫 柴田 綱造 稲垣 克次 永井 鐵太郎 加藤 幸兵衛 榎倉 香 橋本 樹郎	"	95	特集 日本・未来・美術 日本・美術・未来 その先にある「美術でないもの」へ	榎木 野衣	"	780
宮城の歴史と文化 桃山とみちのく文化の融合・伊達文化	濱田 直嗣	日本の国宝(週刊日百科)	97	特集 日本・未来・美術 ひとりであるのには広すぎる星と「J」はいつた	三田 格	" "	"
地域紹介 北方の文化 「日本」という限界を超えて	佐々木利和	"	98	特集 日本・未来・美術 失われた貧困を求めて 一九九九年の T O K Y O SHOCK	清水 穰	" "	"
益田鈍翁は「指定」嫌いだった 民間コレクションと国宝・文化財	田中日佐夫	"	101	特集 日本・未来・美術 二十一世紀への火種はつくった アートを問う最もラディカルな現場 <<URBANART>>	榎本 了彦	" "	"
[国宝再発見]文化財の近代	高木 博志	"	110	特集 日本・未来・美術 宇宙・日本・美術 2000年新たな旅	並木 誠士	美術フォーラム21	1
東京帝国大学考古学講座の開設—国家政策と学問研究の視座から—	吉村日出東	日本歴史	608	風神雷神の系譜	篠原 弘	美術の窓	193
E. F. Fenollosa and the Importation of Aesthetics into Japan	加藤 哲弘	美学論究	14	特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか1 江戸狩野批判の真相	並木 誠士	美術フォーラム21	1
特集 平成11年前期の美術賞とその作品 戦後の美術賞、選考現場の熱気	瀬木 慎一	美術(月刊)	287	特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか2 狩野永岳はなぜ無視されたのか 幕末京狩野の盛衰	中谷 伸生	" "	"
				特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか3 神話なき神話 「絵所預士佐光起」の遍歴	実方 葉子	" "	"

特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか4 琳派なんて、本当にあったのか?	安村 敏信	"	"	第2章 美術振興調査會と國民美術展示所の資料の紹介	"	"	"
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか5 『光琳派画集』の前後 尾形光琳を中心とする近代「琳派」観をめぐって	安田 篤生	"	"	日本人留学生とバリ	神山 亮子	府中市美術館開設準備室研究紀要	3
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか9 大阪の憂鬱 軽視された“美術都市” 近世大阪画壇研究に思う	橋爪 節也	"	"	近代美術史への視座—戦後リアリズム論争の出発点	武居 利史	府中市美術館開設準備室研究紀要	3
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか10 美術史中無尽蔵。男性有り、女性有り…	バトリシア・フィスター 原田平作、白石 徳浩 訳	"	"	明治五年刊『西洋家作雜形』の建築用語	藤田 治彦	待兼山論叢	33
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか12 写楽はどのように語られてきたか 日本美術史と浮世絵師イメージ	岸 文和	"	"	ルイス・コムフォート・ティファニー寄贈のガラス—寄贈の経緯とその意味を中心に—	伊藤 嘉章	MUSE-UM	562
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか13 アンリ・フォションの浮世絵解釈とジャポニスム以後の日本美術史編纂	藤原 貞朗	"	"	谷口財団文学部門第一七回国際シンポジウム「近代世界における日本文明—コレクションの比較文明学—」	吉田 憲司	民博通信	86
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか17 「女のきもの」は「江戸の美術」か?	森 理恵	"	"	日本に導入された裸体美学	隠岐由紀子	武蔵野美術大学研究紀要	29
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか18 江戸時代は江戸時代	狩野 博幸	"	"	明治の至宝を訪ねて—The Khalili Collection—	樋田豊次郎	目の眼	276
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか19 想像の「江戸」と帝国の美術史	鈴木 廣之	"	"	特集 終末論 塔の眺め 浅草十二階というランドマーク	細馬 宏通	ユリイカ	414
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか20 江戸後期の「美術制度」 十九世紀美術史のために	ヘンリー・スミス 佐藤 守弘 訳	"	"	塔の眺め2～8	"	"	415、417 ～420、 422、424
「日本の美学」の形成 フェノロサから天心へ	神林 恒道	"	"	近い昔の物語 万博アートの人々2 戦争・国家問うた「反博」	針生 一郎	朝 日	9.10
第1章 戦争画とアメリカ	平瀬 礼太	姫路市立美術館研究紀要	3	デパートやコンビニ模し作品発表 「お店」型現代美術親近感演出、販売も	大西 若人	"	9.16
				近い昔の物語 万博アートの人々3 チカ・イラより月の石	針生 一郎	"	9.17
				探究・記者の目 ファッションとアート 時代への危機意識共有	上間 常正	"	9.25
				性に見る近世から近代・上 春画 自らの欲望処理に利用 快楽の享受は男女平等	宮代 栄一	朝日夕刊	2.8
				地方にアートの新拠点 独自の風土に根付く ネットなどで世界に発信	山口 律子	産 経	3.21
				日本には一枚? 日系収容所の絵 幻の邦人画家を日米で捜してみたら…	小国 智宏 樋口 浩一	東 京	11.18
				日本・多重文化の将来 超情報化社会にも通用する“伝統”	内藤 昌	東京夕刊	6.22

大和紀行と青春	上原 和	東京夕刊	9.12						
昆虫の小宇宙 膨らむ想像力 若手芸術家が"触手"	田中 良喜	日 経	10.23						
美術界は「三人寄れば文殊の知恵」個性輝くグループ創作		日経夕刊	11.30						
李王朝が収集 韓国で所蔵の日本の美術品 年内にも初展示		毎 日	1.12						
現代アート考 90年代の変質 変革の衝撃乏しいが	三田 晴夫	毎日夕刊	2.18						
思考の実験箱 (架空世代)と(現実世代)	柳川 時夫	"	2.19						
<b>海外美術史(アジア)</b>									
菅原教夫氏の「インド現代美術展」批判にこたえて	建 晶 哲	アート・マガジン(エル・アール)	13						
反古・旧聞ノート5 普遍と二重構造と多文化主義—アジアの現代美術と日本	田中 三蔵	"	14						
国際シンポジウム1999「アジアの美術：未来への視点」90年代の美術展を振り返って	デ ヴ ィ ッ ト・エ リ オット 建 晶 哲 アピナン・ポーサーナン 鼎談	アジアセンター ニュース	13						
特集 総論 東アジアの芸術・芸能と仏教における地獄と極楽の接点	勝木言一郎	アジア遊学	10						
日韓現代美術交流の現状と今後	車 季南	国立国際美術館月報	79						
「環流—日韓現代美術展」以後	山脇 一夫	"	80						
講演記録(抄録)「チベットの仏教美術」	マリリン・M・リー	探蓮 千葉市美術館研究紀要	2						
国際シンポジウム1999 「アジアの美術：未来への視点」をめぐって・上、下	後小路雅弘	新美術新聞	873、874						
新美術時評 各国の相違を踏まえ、活性化するアジア美術の理論構築	清水 敏男	"	874						
彙報 平成一〇年度秋期東洋学講座講演要旨(中央アジア探検の先駆者たち2)	中野 照男	東洋学報	80—4						
ドイッツ・フランスの中央アジア探検									
彙報 平成一〇年度秋期東洋学講座講演要旨(中央アジア探検の先駆者たち2)	伊藤 敏雄	"	"						
黄文弼とその後進たち—楼蘭調査を中心に—									
彙報 平成一〇年度秋期東洋学講座講演要旨(中央アジア探検の先駆者たち2)									
ドイッツ・フランスの中央アジア探検									
アンコール遺跡の盗掘品 バンコク経由で世界に流出									
東南アジア美術の今(上)(下)	三田 晴夫	毎日夕刊	4.19、20						
アジア美術、共通の地盤は? 国際シンポで活発な論議		"	"						9.6
中国における坐の様式の変遷過程に関する研究	李 舟 橋 奥 鈴木 小浦 木多								518
特集 アジアの美術 アジア各国・地域のアートシーン 拡大するアジアの現代美術	後小路雅弘 黒田 雷児 ラウンチャイ クン 寿子								766
特集 アジアの美術 欧米で活躍するアジア人作家たち	黒田 雷児	"	"						"
特集 アジアの美術 アジアの近代美術 美術運動と作家たち		"	"						"
特集 アジアの美術 東南アジアと日本のかわり	後小路雅弘	"	"						"
特集 アジアの美術 モダニズムとアイデンティティ 国際性と伝統の相克	"	"	"						"
特集 アジアの美術 近代「美術」の忘れもの 街にあふれるアート+歴史に消えた大衆美術		"	"						"
特集 アジアの美術 自分探しの迷宮[ラビリンス]	後小路雅弘	"	"						"
特集 アジアの美術 鏡の中のアジア 在日アジア系アーティストと沖縄アートの昨日、今日、明日	鷹見 明彦	"	"						"
特集 アジアの美術 アジアのアーティストにとって世界は狭くなったか	小倉 正史	"	"						"
探究・記者の目 植民地の歴史とアジア美術 支配の影響再考する動き	田中 三蔵	朝 日	5.8						
熱い美術・東南アジアを歩く上、中、下	"	朝日夕刊	4.7、8、13						
アジアの近代美術に光 進む再評価、日本でも紹介	宝玉 正彦	日 経	11.6						

東南アジア現代美術事情1~4 政治・社会批判が主流「比喩」で規制の網逃れる	菅原 教夫	読売夕刊	4. 12~15	ラファエル前派遣 遥一ウイティック・マナーのこと	蛭川 久康	学 鑑	96-9
逆境続く中国現代アート 国内では反体制・海外では現状回避?	牧 陽一	"	10. 4	女王のイメージ-エリザベス一世とヴィクトリア	鈴木杜幾子	芸術学研究	9
海外美術史(その他)				特集 現地特別取材 肌黒のゴッド・マザーがいた!「黒い聖母」詣での旅		芸術新潮	598
小さな物語たちの現代アート	小倉 正史	アート・マガジン(エル・アール)	13	みんなでワッシュヨイ、マリアさま町をゆく	夏目 典子	"	"
《海外情報》いや実は、「ハンク・ヘーロン」という名前からしてクサイと書いていたんだ、なんていまごろいっててももう遅い(サイエンス・ウォーズ)で思い出したアメリカのもうひとつのパロディ事件	高島 平吾	あいだ	38	なぜ黒いのか?「黒い聖母」の起源と信仰	馬杉 宗夫	"	"
フランスにおけるフォーマリズム絵画/彫刻の再考	園江光太郎	"	44	母強し!ポーランドの「黒い聖母」	塚原 琢哉	"	"
私にとっての西洋美術史学-反省をこめて	篠塚二三男	跡見学園女子大学 美学・美術史学科 報	27	特集 まるごと建築博物館の街 麗しのブラハ		"	599
或るアプローチへの戸惑い-《ヘゲソの墓》をめぐって-	福部 信敏	"	"	わが心の“美少女”ブラハ	鹿島 茂	"	"
Mへの手紙-パリ(八)	佃 堅輔	絵	420	ブラハ生まれ、ブラハ暮らし	ヴラスタ・チハーコヴァー	"	"
New York ReportIV 99 ミューズとしての美術館展	河西 貴子	"	425	ギリシャ美術とプラトン(5)	中山 典夫	芸 叢	15
New York ReportIV 101 シュルレアリスム展-二人の私的な目	"	"	427	グリーンマンの身体論	板倉 克子	化粧文化	39
New York ReportIV 103 「アメリカの世紀・美術と文化-九〇〇-二〇〇〇」展(パート2)	"	"	429	マルチカルチュアリズム・カナダ	岡部あおみ	国立国際美術館月報	78
クセニア画におけるポンペイ壁画と網目状構成の舗床モザイク	飯島 章仁	岡山市立オリエンタ美術館 研究紀要	16	若きポーランド	ステファニア・K・コザコフスカ 加須屋明子 訳	"	86
「ただし、クロードは死んでいません」:1886年のアンソールとヴェラーレン、ゾラ、「印象主義」(1)(2)	龍野 有子	岡山大学 文学部紀要	31、32	歴史家と肖像	ジャン=クロード・シュミット 佐藤 彰一 訳	思 想	897
研究ノート ローマ壁画における静物画を連ねた構成について	飯島 章仁	オリエンタ	41-2	「もっと男らしい男、もっと女らしい女」-ナチ人種憎悪のイコノグラフィ-	クローディア・クーンズ 原田 一美 訳	"	898
				ジャポニスム研究回顧:日本、ヨーロッパ、アメリカにおけるこの10年(1988-1997)	馬淵 明子	ジャポニスム研究	19
				画家ガッレン=カッレラとフィンランド美術のジャポニスム-1890年代の北欧のナショナル・ロマンティシズムをめぐって	荒屋鋪 透	"	"
				キリスト教美術に見られるアンチキリストとその聖書的背景	秦 剛平	宗教美術研究	6
				「死の舞踏」と『悪の華』	森 繁	女子美術大学紀要	29

2000年に向かって動くクラコウ国際版画トリエンナーレ展	サイトウ良	新美術新聞	850	特集 アジアの美術 欧米で活躍するアジア人作家たち	黒田 雷児	美術手帖	766
欧州世紀末美術紀行1、2	河村錠一郎	"	854、855	特集 ベルリン ラスト・ユートピア 第1回ベルリン・ピエンナーレ報告	市原研太郎	"	767
美術市場リーダー96全貌があげられるガッシー・コレクション	瀬木 慎一	"	860	特集 ベルリン ラスト・ユートピア 興隆するベルリン・アートシーン	嘉藤 笑子	"	"
現在通信from NEW YORK 抑止された視覚性(2)	富井 玲子	"	871	特集 ベルリン ラスト・ユートピア ベルリンアートの20世紀	河井 純枝	"	"
異郷としての「風景」	田川とも子	人文論究	49-2	特集2 視きの美学 内へ向かう視き 60年代以降の美術	岡村多佳夫	"	768
ヴィクトリア時代における労働者の衣装とその記号的役割 衣装とその記号性の研究4	山本 麻子	筑波大学 芸術学研究	3	20世紀の美術1 さ まざまな表現主義	末永 照和	"	769
サンティアゴ巡礼路のロマネスク美術研究序説(1)サンティアゴ大聖堂「銀細工師の門」上	浅野ひとみ	津田塾大学紀要	31	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 抽象表現主義の絵画技法からの再考	川田都樹子	"	"
芸術と雑誌—文芸雑誌『MA』をめぐる—	井口 壽乃	デアルテ	15	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 ポップ・アート 消費システムという技法	清水 哲朗	"	"
涙の文様の周辺—15世紀フランスのモード、ドゥヴィーズ、シンボル	徳井 淑子	日仏美術学会会報	18	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 ミニマル・アート 工業素材を最小限に扱う	林 卓行	"	"
シトー修道会創立900年祭	伊藤里麻子	"	"	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 コンセプチュアル・アート 美術を他者にする素材	石井 弥夢	"	"
研究紹介：シャルトル大聖堂のステンドグラスに関する最近の研究	木俣 元一	"	"	20世紀の美術2 空間と時間の分析—総合	末永 照和	"	770
第50回美学会全国大会発表要旨 ポップ・アートとレディ・メイド—vulgarityの表象をめぐる—	平芳 幸浩	美学	199	20世紀の美術3 抽象と構成	早見末永 堯 監修	"	771
平成十年支部例会等研究発表要旨「ディナー・パーティー」の再検証—アメリカ七十年代「フェミニストアートの代表作」をめぐる批評	北原 恵	美術史	146	20世紀の美術4 ダダの反抗と夢の開拓	"	"	773
平成十年支部例会等研究発表要旨 レア・シルヴィアの水瓶とアエネアースの盾—スキファノイア宮殿「十二ヶ月の間」装飾壁画の図像解釈の新たな試み	京谷 啓徳	"	"	20世紀の美術5 両大戦間の国際的動向	林末永 洋子 監修	"	774
第五十二回全国大会研究発表要旨 黙想と観想—ナポリ、サンタ・マリア・ドンナレジーナ聖堂における建築と絵画—	谷古宇 尚	"	147	20世紀の美術6 20世紀前半の彫刻	末永近藤 照和 末永監修	"	775
言説、形象—『言葉とイメージ』第一章	ノーマン・ブライソン 佐藤 康宏 訳	美術史論叢	16	20世紀の美術7 抽象表現主義からミニマル・アートへ	中村 英樹 末永監修	"	777

特集=新セザンヌ解剖学 セザンヌとジャポニスム	新聞 公子	" "	美の巨人たち ベラスケス 落日を見た「王の画家」1~3	柴崎 信三	"	7.25、8.1、8
特集=新セザンヌ解剖学 セザンヌinアメリカ	川田都樹子	" "	死の予感十選1 エクセキアス「アキレウストベンテシレイア」	小池 寿子	"	9.6
20世紀の美術 8 20世紀後半の具象絵画	嶋崎 吉信 末永 照和 監修	"	779	死の予感十選2 古代エトルリアの石棺蓋「夫婦横臥像」	"	9.7
20世紀の美術 9 ポップ・アートの誕生	"	"	780	死の予感十選3 中世の写本「魂の運命について」の挿絵	"	9.9
日本人留学生とパリ	神山 亮子	府中市美術館開設準備室研究紀要	3	死の予感十選4 中世の写本挿絵「人生の車輪」	"	9.10
エトルスキ家族のイメージ-棺・納骨容器からみた家族史-	岩崎 努	文化史学	55	死の予感十選5 ランブール兄弟「占星学的人体」(中世の写本挿絵)	"	9.14
ティトウス=スウェディオス=クレメンスの石柱	浅香 正	"	"	死の予感十選6 ルネサンス期の壁画「死の勝利」(部分)	"	9.15
特集 モダニズムのかたち ロシア・アヴァンギャルドを駆け抜けて 高見堅志郎『風景の旅びと』刊行に寄せる	五十殿利治	武蔵野美術	111	死の予感十選7 ニコラ・レニエ「鏡を見る女」	"	9.17
特集 タイポグラフィ タイポグラフィの発想3 モダン・アートの言葉モデル	海野 弘	"	113	美の巨人たち ドガとロートレック パリの陰翳(下)	宝玉 正彦	9.19
特集 終末論 反世紀末論 フランス一九〇〇年	山田登世子	ユリイカ	414	死の予感十選8 ウィリアム・ブレイク「慈悲」	小池 寿子	9.20
特集 モンスターズ怪物:事例研究	ロレイン・ダストン キャサリン・パーク 香月 遥 訳	"	418	死の予感十選9 ジャック・ブレヴェール「内奥の美」	"	9.21
特集 ボルヘス ボルヘスの地図	谷川 渥	"	422	死の予感十選10 フェルナン・クノッブ「私は私自身に扉を閉ざす」	"	9.22
〈特設部会1〉視覚的表象と歴史学 視覚的表象と労働者文化-ドイツ:1890-1933年-	相馬 保夫	歴史学研究	729	美の巨人たち デューラー 我は美を知らず2~4	小島 英照	10.3、10.17
20世紀精神史第3部・拡散する(知)現代美術 ニヒリズムが生んだ神話	建畠 哲	朝日夕刊	2.22	美の巨人たち ファンタン=ラトゥール 印象派前夜(下)	柴崎 信三	11.21
美の巨人たち アンディ・ウォーホル 機械になった男(上)	稲垣 直子	日 経	1.31	記憶の象徴としての『壁』[クリスト&ジャンヌ=クロード]	中原 佑介	毎日夕刊 8.24
美の巨人たち マレーヴィチ「黒い正方形」の神話1	原田 勝広	"	3.7	「ヨーロッパの形成」たどる展覧会 EUが後押し カール大帝しのぶ	越 宏一	" 9.13
美の巨人たち ルノワール 幸福を描く職人2	浦田 憲治	"	5.9	活気づく英国美術界 建築進むテート・モダン 日本作家への注目も高く	三田 晴夫	" 11.18
美の巨人たち ファン・ゴッホ 夜の印象主義	竹田 博志	"	6.20	アール・ヌーボー考 ナンシー派100周年中	前田 恭二	読売夕刊 5.26
				エルサレムにあったベンヤミン秘蔵の絵 クレーの「天使」に会う	"	7.8

保存修復				史料館活動報告 外交史料館における補修作業について	柳下 宙子	外交史料館報	13
(研究ノート)絵画修復における写真資料の整理方法の実例	増田 久美	アート・ドキュメンテーション研究	7	エキボン燻蒸の写真印画に与える影響	林 華子	川崎市市民ミュージアム紀要	11
ベトナム・フエの文化遺産の修復から学んだこと	重枝 豊	アジアセンターニュース	12	板戸に描かれた近代日本画修復事例 板絵花鳥画(出井家蔵)修復例	宮本 道夫	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	43
研究ノート 風土に応じた虫歯対策について	長谷川孝徳	石川県立歴史博物館紀要	12	調査 慶応義塾所蔵作品調査・保存活動 1. 山本鼎《沢木四方吉肖像》の修復 2. 和田英作《ステンドグラス原画》の修復	小林 嘉樹	慶応義塾大学アート・センター年報	6
地震対策について	田中阿部榎本 千秋 準雄 孝雄 誠二	石橋美術館館報	47	WORLD 厚化粧の下から現れたすっぴん《最後の晚餐》	浦野 羊子	芸術新潮	596
伊能図に使用された絵具について	青木 司	伊能忠敬記念館年報	1	特集 エコロジカル・テクノロジーの潮流 古民家再生とエコロジー	矢吹 昭良	建築雑誌	1436
匠の手 近代建築の修復について	石川 秀樹	江戸東京たてもの園だより	13	(修復トピックス)重要文化財吉川八幡宮本殿に見られる打ち割りによる製材技法について	金出ミチル	建築史学	32
連載:フィルムアーカイヴの諸問題第23回 福岡市総合図書館・映像資料課	八尋 義幸	NFC NEWS LETTER	23	(修復トピックス)伊勢神宮の式年造替	飯田喜四郎	"	33
特別レポート 女性映画祭とフィルム・アーカイヴ:アメリカの新しい動き	斉藤 綾子	"	24	(修復トピックス)彦部家住宅主屋の「ナガシ」について	稲葉 敦	"	"
連載:フィルム・アーカイヴの諸問題第24回 沖縄県公文書館(映像部門)	仲地 洋	"	"	正倉院の自然科学的調査	成瀬 正和	皇室の名宝(週刊朝日百科)	3
連載:フィルム・アーカイヴの諸問題第25回 京都府京都文化博物館(映像部門)	森脇 清隆	"	25	古代の染織品の復元模造	尾形 充彦	"	4
ナイトレート・フィルムに関するFIAFの国際研究:事務総長からのアピール	ロジャー・スミザー 安澤 秀太 訳 岡島 尚志 構成	"	27	正倉院文書を復元する	山口 秀男	"	5
ロベール・ドードラン講演会採録 第1講「カナダの映画保存とシネマテーク・ケベックワークス」	ロベール・ドードラン ときら	"	"	消化器薬剤の美術作品への影響	塚田 全彦	国立西洋美術館研究紀要	3
第2講「世界のフィルム・アーカイヴ運動:1970年代以降の展開」	黒川 弘毅 二宮 修治	屋外彫刻調査保存研究会報	1	調査研究活動報告 国立歴史民俗博物館の保存環境に関する調査研究の活動報告(平成9年度まで) 温湿度、汚染物質、生物	神庭 信幸	国立歴史民俗博物館研究報告	77
大神神社の社頭整備・修復の足跡 重文大神神社拝殿・三ツ鳥居瑞垣 保存修理の中間報告に代えて	猪又 規之	大 美 和	96	古代国印の復原と課題 信濃国印の復原制作を通して	福島 正樹	"	79
《大村益次郎像》ほか靖国神社境内に設置されたブロンズ製記念像等に関する調査報告 3 靖国神社所蔵金属製文化財の文化財保存科学的調査	黒川 二宮	屋外彫刻調査保存研究会報	1	非破壊手法による銅印の科学的研究	永嶋 正春	"	"
				装飾古墳の色彩と素材	"	"	80
				日本における土器編年と炭素14年代	春成 秀爾	"	81
				日本産樹木の年輪年代学研究	光谷 拓実	"	"



(活動紹介)宮崎県における遺跡探査の実験的研究	置田 雅昭 W. エド ワーズ 桑原 久男 岸田 徹	古 事 3	景初四年銘竜虎鏡の破損と修理	矢野 健一	辰馬考古資料館考古学研究紀要	3
行田市琴平神社「新川早船」絵馬について～複製製作にあたって～	西口 正純	さいたま川の博物館紀要	景初四年銘竜虎鏡の鉛同位体比	平尾 良光 榎本 淳子 早川 泰弘	" "	" "
博物館資料の取り扱い—考古資料梱包の考え方と実技—	関 義則	埼玉県立博物館紀要	景初四年銘竜虎鏡	鈴木 重夫	" "	" "
平成9年度館蔵資料保存修理事業報告	高木 叙子	滋賀県立安土城考古博物館紀要	文化財保護の草創期をふり返って—古美術品保存の基本	財津 永次	潮流	59
観音寺詮舜像模写事業報告	"	"	黄銅の煮色着色層における微細構造と光学的性質	北田 正弘 堀口 光彦 飯野 一栄 新山 本和弘	東京芸術大学美術学部紀要	34
整備・復元された奈良の頭塔	東 暲	史迹と美術	資料保存技術室研究報告—三条西実陸画像模写記録	村岡ゆかり	東京大学史料編纂所研究紀要	9
修理報告 万国絵図屏風 宮内庁三の丸尚蔵館	竹上 幸宏 伊加田剛史 担当 岡 泰央 文責	修 復 5	資料保存技術室研究報告—ガラス乾板の収蔵調査と保護対策	小林 聡	" "	" "
修理報告 「万国絵図屏風」の科学的調査	三浦 定俊	" "	伊万里修復技術に脱帽	後藤 正行	陶 説	559
修理報告 「万国絵図屏風」断片の顔料同定結果	早川 泰弘	" "	紅花染織布の変退色挙動に関する分光学的研究—ファイバeroプティクスシステムを導入した三次元蛍光スペクトル観測	松田 泰典	東北芸術工科大学紀要	6
修理報告 「万国絵図屏風」の膠着剤の分析	宮腰 哲雄	" "	わが国の文化財保存修復における「標準」の不在が与える教育への影響について	松田 泰典	" "	" "
修復技術 「補彩」とその材料について	山本 記子 小笠原具子 担当	" "	古典模写保存修復に向かって	松本 哲男 三浦 一之	" "	" "
修復材料 法隆寺献物帳	田畔 徳一 森 香代子 担当	" "	テンペラ画に適應する地塗りの研究	佐藤 一雄	トキワ松学園横浜美術短期大学紀要	14
シリーズ「水と文化財」1. 装演における酵素の活用と今後の課題	君嶋 隆幸 岡 岩太郎 担当 八木 三香 文責	" "	放射性炭素年代測定法による縄文時代の研究	山本 直人	名古屋大学文学部研究論集	134
資料 紙質検査一覧	"	" "	文化財建造物の振動特性	内田 昭人	奈良国立文化財研究所年報	1999—1
過去に修復された油彩画の再修復—ドイツ研修報告	渡辺 郁夫	修復研究所報告	出土琥珀の分析	佐藤 昌憲 高妻 洋成 肥塚 隆保	" "	" "
正倉院密陀絵、絵画、材質などの特別調査について	山崎 一雄	正倉院紀要	出土大型クスノキ製遺物の真空凍結乾燥	高妻 洋成 肥塚 隆保 沢田 正昭	" "	" "
史料収蔵環境に対する保存箱の効果	青木 睦	史料館研究紀要	アート探検隊が行く関東大震災のタイムカプセル	井上 良太	日経アート	123
日本美術修復計画 フィリップモリス2000年カレンダー基金	長友 恒人 横田 勝潔 外山 潔	泉屋博古館紀要	滋賀県における古寺保存法の運用と修理方針	水瀧あまな 藤岡 洋保	日本建築学会論文系集	518
コンピュータグラフィックによる東照宮奥社宝塔の復元について	田仲 亮司	大 日 光	モロッコ・フェズにおける歴史的環境の保全について—メディナ保全の歴史的展開と今日の課題—	吉田 正二	" "	520

米国における歴史的 環境保全の経済的側 面について—メイン ストリート・プログ ラム(その1)—	梅津 章子 西村 幸夫	日本建築 学会計画 系論文集	520	文化財建築物の修理 工事 風雨に曝され る文化財を護る	中村 雅治	"	"
伝統的建物の形態面 からみた保存地区画 定方法に関する研究 第二報 形態純化指 標の有用性に関する 検討	山本 明 田中 邦子 土久 菜穂	"	526	始原と古代—伶樂日 中共同プロジェクト の際に表に出さな かった原稿、二つ—	木戸 敏郎	比較文化 論叢	4
コラム 金色堂を守る 科学 徹底した温 度・湿度の管理	三浦 定俊	日本の国 宝(週刊日 朝科)	98	報告 東京国立文化 財研究所第二回国 際シンポジウム 「近代の文化遺産の 保存と活用」	川野辺 涉 井口 智子	文化財 (月刊)	425
コラム 螺鈿八角須 弥壇の復元模造 当 初の姿の正確な把握 が成否の鍵	小西 暲也	"	"	アジア・太平洋地域 文化財建造物保存修 復協力事業について	稲垣 榮三	"	426
歴史のなかの典籍・ 古文書	久保田 淳	"	108	ネパール仏教僧院 「イ・バハ・バヒ」の 修復とその評価	渡辺 勝彦	"	"
文化財の修理・保存 とは何か 求められる 修理・保存の哲学	渡邊 明義	"	109	一九九八年十一月 「インドネシアの木 造建築遺産保存修復 ワークショップ」の 概要報告	大和 智	"	"
美術工芸品の修理技 術の実際 細心の伝 統技術と新技術の結 合 仏画の修理	岡 岩太郎	"	"	インドネシアにおけ る建築遺産保護の軌 跡と展望	小野 邦彦	"	"
美術工芸品の修理技 術の実際 細心の伝 統技術と新技術の結 合 仏像の修理	小野寺久幸	"	"	インドネシアにおけ る木造建造物の保存 修復	野尻 孝明	"	"
美術工芸品の修理技 術の実際 細心の伝 統技術と新技術の結 合 漆工品の修理	北村 昭斎	"	"	ブータンにおける歴 史的建造物の保存技 術協力について	江面 嗣人	"	"
美術工芸品の修理技 術の実際 細心の伝 統技術と新技術の結 合 甲冑の修理	小澤 正實 池田 宏	"	"	ブータンの歴史的建 造物とその保存対策 の概要	加藤 裕	"	"
鎌倉大仏の科学調査 修理と保存の新しい 局面	三浦 定俊	"	"	ベトナム社会主義共 和国クアンナム省ホ イアン市における伝 統的建造物の修理	林 良彦	"	"
出土遺物の修理と保 存の技術 出土時の 状況を維持し、往時 の輝きを取り戻す新 技術 高松塚古墳壁 画の修復	増田 勝彦	"	"	登録文化財 美濃赤 坂の矢橋家住宅の保 存修理工事について	山崎 鯛介	"	430
出土遺物の修理と保 存の技術 出土時の 状況を維持し、往時 の輝きを取り戻す新 技術 藤ノ木古墳出 土遺物	沢田 正昭	"	"	国宝・重要文化財修 理だより1 彦部家 住宅の修理と現状変 更	稲葉 敦	"	"
出土遺物の修理と保 存の技術 出土時の 状況を維持し、往時 の輝きを取り戻す新 技術 象嵌のある鉄 器・鉄剣	青木 繁夫	"	"	旧長崎税関下り松派 出所の保存修理工 事—軟弱地盤に立つ 煉瓦造建築の構造補 強—	宮谷 慶一	"	432
出土遺物の修理と保 存の技術 出土時の 状況を維持し、往時 の輝きを取り戻す新 技術 木製遺物と木 簡	沢田 正昭	"	"	国宝・重要文化財修 理だより3 真田信 重霊屋の保存修理工 事—天井絵の復原—	岡 信治	"	"
				フランク・ロイド・ ライト設計の建築、 保存修理すすむ—自 由学園明日館(東京 都豊島区)—	若林 邦民	"	433
				国宝・重要文化財修 理だより6 重要文 化財福生寺観音堂の 修理工事—会津地方 の中世建築—	鈴木 誠	"	435

[報文]繊維類の保存に用いられた薬用植物の防虫に関する研究—丁香と桂皮の投葉方法の検討—	韓元直 中大沢櫻井	美京直 吉澄眞 清彦	文化財保存学会誌	43	博物館等施設の室内空気汚染—酢酸・ギ酸濃度—	"	"	"
[報文]各種防虫剤、防黴剤、燻蒸剤等の顔料・金属に及ぼす影響	木川宮澤 小泉佐野 三浦後出 木村富田	りか淑子 雅子千絵 定俊聡 広文四郎	"	"	金色堂の環境変化と漆膜に生じた亀裂に関する考察	三浦小川	定俊夫	"
[報文]ホルムアルデヒドによる無機顔料の化学変化	小瀬戸 佐野三浦	恵美千絵 美穂定俊	"	"	輸出漆器の修理材料の分析(1)	加藤川野 邊田口 五味	寛涉 善明 聖	"
[報文]天然染料染紙の湿熱劣化処理による色彩及び強度の変化	吉田齋藤 藤葉	和成京子 政満	"	"	輸出漆器の修理材料の分析(1)	早川朽津	典子信明	"
[報文]江戸時代小袖の絹繊維を傷めるペレンスの科学的調査	伊藤真貝 杉下龍一郎	敦子哲夫 一郎	"	"	漆工品の螺細技法の研究(1)—貝の成形技法とその工具について—	加藤五味	寛聖	"
[報文]スマルト油絵具の変色に対するカリウムとコバルトの影響(1)	秋山稲葉	純子政満	"	"	伝統的焼付漆技法の研究—漆の焼き付け(高温硬化)に関する研究(2)	木下上野 加藤藤宮	稔夫博志 寛聖子	"
[事例報告]ベトナム・ホイアン市、日本人墓保存修復に関する基礎調査	武田昭子	"	"	"	ICP—AES/MSによる中国二里頭遺跡出土青銅器の多元素分析	早川平尾 金鄭	泰弘良光 正耀光	"
[事例報告]蛍光X線分析法による天正大判の表面変色に関する調査	早川三浦 田尻	泰弘定俊 隆士	"	"	顔料鉱物の可視光反射スペクトルに関する基礎的研究	朽津黒木 井口石	信明紀子 智子正一	"
[資料]出土資料からみた江戸時代における鉄丹ベンガラ製の法について—東京大学本郷構内の遺跡から出土した資料—	北野降幡 原成瀬 堀内肥塚	信彦順子 祐一秀樹 隆保	"	"	(旧)岩崎家住宅壁紙調査報告(1)(受託研究報告 第70号)	井口川野 朽津大川	智子涉 信明昭典	"
[資料]文化財の研究、保存、修復の足跡と展望—文化財保存修復学会とIIC—	山崎一雄	"	"	"	黒田清輝「湖畔」調査報告	井口加藤 歌田三浦	智子淳子 眞定俊	"
[資料]文化財保存修復学会年表	三浦定俊	"	"	"	タイ国スコータイ遺跡のスリ・チュム寺院大仏の保存修復(1)	西浦石崎 忠輝志・アラニヤク	忠輝志 武志	"
出土文化財の延命治療—金属製品の保存処理に関するいくつかのポイント—	石川隆司	法政史学	52		タイ国アユタヤの歴史的レンガ建造物中の水分移動解析	石崎朽津 西浦ユッカ・シム	武志明輝 信明忠輝	"
絵画研究における科学的的手法—油画の重層構造について—	中右恵理子	"	"		展示公開施設の館内環境調査報告—平成9年度—	佐野三浦	千絵定俊	"
窒素等不活性ガスによる文化財殺虫処理装置の試作と処理例	木川山野 三浦前川	りか勝次 定俊信	保存科学	38	平成10年度 修復処理概報	修復技術部	"	"
低酸素濃度殺虫法—処理温度と殺虫効果の検討—	木川永山 山野	りかあい 勝次	"	"	古代金器のウランウムヘリウム放射線原子時計による真贋判定	アレクサンダーJ. コソラボフ アレクサンダーP. イワーノフ パーベルB. クズネツォフ	MIHO MUSE-UM研究紀要	2
変色試験紙上に捕捉された化学種—陽イオン、陰イオンと有機酸	佐野千絵	"	"		美術品の除染に関する調査研究	杉本賢司	武蔵野美術大学研究紀要	29
					聖ヨハネ教会堂保存修理工事について	長谷川良夫	明治村だより	16

【展覧会レポート】新薬師寺 国宝頗羅大將立像(十二神將立像のうち)搬入経過	井上 一穂	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	1	アルタミラ洞窟と“環境”現代人の生活問う壁画	木村 重信	”	1.9
大谷古墳出土馬甲に付着した毛皮の獣毛の形態およびDNA	木川 りか	和歌山市立博物館研究紀要	14	「最後の晩餐」修復に賛否 模範的な復元? 全体像損なう?		”	5.28
悠久の大仏砲撃無情 アフガニスタン・バーミヤン遺跡	宇佐波雄策	朝 日	2.5	5世紀の城壁残ったエディルネ門 修復部分がわずかに崩落	村上 大介	”	8.24
デジタルの技術光った「源氏」国宝の絵巻、修復		”	4.1	息吹き返す明治庶民の芝居小屋 福島市「旧広瀬座」重文指定を契機に来月、歌舞伎上演	丸樹 尚子	”	9.13
大鳥居高齢化9代目を探せ 厳島神社巨大クスノキ製		”	4.19	宮大工田中文男さんモノづくり復権人材どうする	田中 文男 池田 実 聞き手	東 京	5.26
21年の修復終え公開「最後の晩餐」…まず電話でご予約を		”	5.28	新宿御苑の「旧洋館御休所」来春へ向け修復工事		”	9.6
ひと 松浦昭次さん「技術者の人間国宝」に認定された宮大工	浅見 和生	”	6.22	東京の玄関口を「シャンゼリゼ」に 東京駅の駅舎復元		”	10.2
ミニ時評 文化財を守る・先人の知恵から学ぼう	古森 勲	”	7.26	復元 3階建て東京駅	井上 圭子	”	10.15
赤れんが駅舎 誕生の姿で再生 東京駅		”	10.6	石の文化財に“第三の敵” 浸食作用ある細菌を確認 文化庁 対策見直し迫られる		”	10.22
ハイテク威力、名画を“再生” イタリア「アッシジ」		”	11.22	姿消す『こて絵』に惜しむ声		東京夕刊	2.25
もう5年…免震対策で公開先送り 会えない人「考える人」		朝日夕刊	6.21	“ハマのシンボル”が泣いている 開港記念会館(横浜市)	金川真衣子	”	6.2
単眼複眼 旧琉球立法院の保存問題 「記憶伝える力」の行方は?	(若)	”	11.24	建築と都市の百年58 建築の保存と再生	初田 亨	”	12.20
壊してみなきゃ分からない 貴重な文化財の耐震性 改築前の寺院で実験、データ収集 香川		産 経	1.15	若者が蔵再生し町おこし ガラス工房 飲食店 ギャラリー	長田 美穂	日 経	1.16
まちの20世紀遺産 二水会館 常総地域の文化・経済的シンボル		”	3.11	震災禍の仏像に命再び	桜庭 祐介	”	3.10
台湾最古の日本式寺院「臨濟護国禅寺」取り壊しにストップ! 日・台合同シンポ	杉江 弘充	”	4.27	戦後建築に保存の動き 取り壊し相次ぎ危機感	稲垣 直子	”	3.27
国立西洋美術館「地獄の門」に免震対策 震度7の衝撃にもOK		”	5.2	戦前建築の山手小学校 芦屋の象徴「残して」建て替え計画に住民反対		”	3.29
デジタルで甦った北斎 長野の寺院の天井画 描いた当時の極彩色に		”	5.14	文化往来 「最後の晩餐」20年かけ修復完了		”	5.1
靖国神社 最古の明治庭園復元		”	9.9	「CG考古学」花盛り 古代都市や歴史建築 若手建築家・デザイナー 独自視点で復元	加藤 仁	”	5.1
原爆ドーム 建築時の姿見えてきた コンピューターで復元 図12枚完成		産経夕刊	1.8	この人この仲間 長谷川和男さんら日本民家再生リサイクル協会 移築や古材の利用で貴重な文化を次代へ		”	5.3

仏像・山車などの文化財 木曾漆器の技で修復		"	5. 16	売却控える第一勅銀碑文谷グラウンド "築100年"の倉庫 実は重文級	"	8. 20
大英博物館の日本画 救え 緊急"治療"、平山郁夫プロジェクトに参加	阿部 光博	"	6. 15	編集手帳 \$ 奈良・室生寺の五重塔修理 \$	"	9. 12
赤い洋館文化の調べ "東の鎌倉"市川でシャンソンなどの音楽会 [西洋館倶楽部]	渡辺 俊司	"	9. 1	大英博物館 日本画の美精密に修復	高規 矩郎 読売夕刊	1. 26
横浜の「赤レンガ倉庫」キリンビールが名乗り 発祥の地で商業施設運営		"	9. 14	ウズベキスタンのカラ・テバ仏跡 調査、保存へ後援会	(柳)	" 3. 12
東京駅、創建時通り復元 都とJRが合意 周辺整備も推進		"	10. 2	保存修復進むピラミッド	片岡 正人	" 3. 15
「デジタル遺産」残そう ホームページの歴史後世に	大島 泉	"	10. 9	建築季評 破壊を繰り返す歴史 都市から豊かさ失われる	鈴木 博之	" 3. 23
メイクリーン 油絵洗浄サービス 仏壇清掃のノウハウ活用		"	12. 29	茅葺き民家 消滅の危機 保存体制欧州に学ぶ	(片)	" 4. 5
伝えたいこと2 邦画の輝き 修復この手で		"	12. 30	復旧へ手ごたえ 昨秋に被災 奈良・室生寺五重塔	前田 恭二	" 4. 7
世界最大の仏塔 浄財で大幅改修 ミャンマー ヤンゴン		日経夕刊	2. 13	最後の晩餐よみがえる		" 5. 28
室生寺修復の願かけ 台風被害の五重塔に支援 全国から寄付1500件		"	2. 20	リストラされても生き残る近代ニッポンの"担い手" 新たな使命の建造物	笠間亜紀子	" 6. 12
私たち125 文化財直します1~5		"	4. 19~23	敦煌榆林窟保存に縁を5「乙女」と共に活動息長く	矢沢高太郎	" 9. 3
よみがえる風景 京都市上京区 若手芸術家、町屋を舞台に	佐藤 徳夫	"	8. 23	建築季評 容積率補償で文化財守る 収益確保へ業務用増床認可を	鈴木 博之	" 9. 14
産業遺産4 独ルール地方の挑戦 つめ跡残る大聖堂	飯野 克彦	"	9. 3	デジタル源氏絵巻一 鮮やかな色合い再現		" 11. 20
ひと 三和土でアンコール遺跡の修復に取り組む石田秀輝さん	上杉 恵子	毎 日	3. 3	アンコール遺跡保存シンポジウムから バイヨン寺院北経蔵 構造上の弱点克服	片岡 正人	" 11. 24
東京駅 2階建てドーム、「3階」に復元	堀井 泰孝	"	10. 6	よみがえるフレスコ画 伊のフランチェスコ教会 聖堂修復記念ミサ		" 11. 29
建築家フランク・ロイド・ライトの明日館保存・修復始まる	中安 宏規	毎 日 夕 刊	5. 1	修復20年 「システィーナ」壁画蘇る	西田 和也	" 12. 11
敦煌石窟保存について講演 来日した研究院、李最雄氏	石川 健次	"	12. 13	<b>情報処理</b>		
女22歳彩色職人 伝統世界に「新風」今年の登録めざす日光		読 売	1. 1	「身装」画像データベースにおける検索項目の構造	高橋 晴子	アート・ドキュメンテーション研究 7
"元禄絵巻"を再現		"	1. 19	インターネットを利用した博物館情報の流通:スタムの提案するモデルと「文化財情報システム」	井浜本 明昇 穴戸 芽衣 鈴木 志元 高橋 晴子 田窪 直規 内藤 広志 浜田 弘行 弘江 重徳	" "
街に聞く 甲冑師 三浦公法さん 「伝統工芸の粋」に魅せられ部品4000、ち密に修理・復元		"	2. 23			

写真、マイクロ フィッシュ、 MIDAS、そして DISKUS:画像アー カイヴ・フォト・ マールブルクードイ ツ美術史ドキュメン テーション・セン ター	フリッツ・ ラウピヒ ラー 川口 雅子 訳	アート・ ドキュメ ンテー ション研 究	7	第30回研究会「美術 館情報システムの パッケージングを考 える」報告	藤村 里美	"	"
『図書館情報学とそ の支援体制』に学 ぶ—JADSはいま どこにあるのか	水谷 長志	アート・ ドキュメ ンテー ション通 信	40	関西アート・ドキュ メンテーション通信 No.26 99年度第3回 月例研究会報告 笹井 真也「美術品のデジ タル技術と出版」	浜田 行弘	"	"
CCGA現代 グラ フィックアートセン ターのポスター収集	神山 俊一	"	"	連続講義:デジタル アーカイブの基礎の 基礎 第1回:デジ タル画像データにつ いて	矢頭 靖予	"	"
武蔵野美術大学美術 資料図書館のポス ター整理の方法	小野寺玲子	"	"	西洋の美術作家を探 すとき:人名のカタ カナ表記	大江長二郎	"	43
地域資料としてのポ スターの収集・整 理・保存	堀合 儀子	"	"	連続講義:デジタル アーカイブの基礎の 基礎 第2回:画像 データの形式と利用	矢頭 靖予	"	"
ヴィオー女史を悼む	波多野宏之	"	"	ヴィオー女史と日本 ある提案	岡田 恵子 恵光院 白	"	"
ars—WG1998年度第 4 講報告 津田基 「写真情報とars」	種市 正晴	"	"	土方巽デジタルアー カイヴ 資料館と アーカイヴと	森下 隆	ARTLET	12
関西アート・ドキュ メンテーション通信 NO.24 第5回月例 研究会報告	浜田 行弘	"	"	土方巽デジタルアー カイヴ 新しいアー カイヴに向けて	前田富士男	"	"
アート・ドキュメン テーション研究会第 29回研究会報告	小原由美子	"	41	インデックスについ て	鯨井 秀伸	愛知県美 術館研究 紀要	5
第7回シンポジウム 「美術館と画像デー タベース」参加報告	澤井 智実	"	"	中国絵画写真アーカ イヴの周辺	戸田 禎佑	明日の東 洋学	3
関西アート・ドキュ メンテーション通信 NO.25 第8回月例 研究会報告	田窪 直規	"	"	フリッツ・ルフと RKD—オランダに おける美術研究ド キュメンテーション の一面—	中村 節子	石橋美術 館館報	47
ars—WG1998年度第 8 講報告 畑千代美 「図書室をめぐる冒 険—福岡市美術館図 書室が活動してきた こと」	住広 昭子 笠井真一郎 中村 節子	"	"	超高精細画像データ ベースによる美術研 究(継続)	西野 嘉章	鹿島美術 研究	16
画像ワーキング研究 会報告	小林 成稔	"	"	岐阜県博物館所蔵品 のデータベース管理	浅井 正美	岐阜県博 物館調査 研究報告	20
第15回講演会 ビデ オワークショップと ビデオライブラ リー:ジャングルの中 のビデオリテラ シー 小林はくどう 氏の講演を聴いて	寺田 剛文	"	42	特集 もっと自由な 展開を…! アート 系ホームページの諸 問題	ギャラ リー(月 刊)	"	166
第31回研究会パネル ディスカッション 「日本の電子ネット ワークにおける美術 系サイトの意義と今 後の課題」報告	梁瀬三千代	"	"	特集 夏は涼しくイ ンターネット、ア ートサイトの見どころ チェック	"	"	172
資料目録ができるま で	笹倉いる美	"	"	国際図書館連盟 (IFLA)アムステル ダム大会参加報告— 刊行される二つの書 誌にふれて	水谷 長志	現代の眼	514
				コラム 歴史の風 中核的研究拠点形成 プログラムによる 「象形文化の継承と 創成に関する研究」 について	青柳 正規	史学雑誌	108—7

錦絵画像データベースの試作について	蔵持 重裕	史料館報 (国文学 研究資料 館史料 館)	71	ホームページ時代の データベース	石橋 忠信 柴 正博	"	374
アート・ドキュメン テーションの可能性 について上「美術 情報の明日を考える」 研究フォーラム 開催	岩淵 潤子	新美術新 聞	881	能楽画像データベー スの作成—古面・能 面・狂言面・能装 束・狂言装束の画像 データベースの試 作—	一色 忍 飯塚恵理人	文化と情 報	2
第5章 新たな「イ コノテーク」の形成 に向けて 美術館・ 博物館の考える電子 図書館	波多野宏之	人文学と 情報処理	別冊01	東京国立文化財研究 所所蔵X線フィルム データベースの構築	小倉 淳一 青木 繁夫 三浦 定俊	保存科学	38
浮世絵データベース を想定した絵画特徴 検索	ミヒャエル ・ヒルド	"	19	美術品の画像を鮮明 に保存		東京夕刊	10. 14
質的データによる浮 世絵美人画の数量的 分析	山田 奨治	"	20	デジタルでアートの 世界広がる 劣化し ない名作 仮想空間 と遭遇 ネットが キャンパス	坂本 憲一	日 経	1. 1
『君台観左右帳記』と 『柳営御物集』の研 究—数量化理論等の 応用—	矢野 環	"	"	テレビ番組保存急務 「文化遺産」進む劣化 ライブラリー整備に 動く	関原のり子	"	4. 17
薔薇の花を描いた美 術作品が見たい! モチーフでの検索 が可能な美術作品 データベースのため に	千速 敏男	"	21	本はともだち 国際 子ども図書館 アジ アの児童書充実 電 子図書館の機能も	池田 知隆	毎 日	12. 22
肖像画データベース の試み	高橋 典幸	"	22				
美術電子ネットワー クの特質とは	森田 慧	"	"				
セッション1『デジ タルアーカイブ国際 会議'98京都』より— シンポジウム デジ タルアーカイブの利 活用と知的財産権の 円滑処理策への提言	中川 久健 板村 敬士 椛山 デビッド・ J・ブライ スミッシェ リ シャル パネリスト 山根 一眞 コーディ ネーター	デジタル アーカイ ブ	8	《短期連載》美術と文 化政策—国際交流展 とは何か	白川 昌生	あ い だ	47
セッション3 ワー クショップより—パ ネルディスカッション ミュージアムと デジタルアーカイブ	飯沼 賢司	"	4	《短期連載》美術と文 化政策(続)—国際交 流展とは何か	"	"	48
第82回例会発表要 旨 美術史における資料 の問題 美術誌学 入門書の一構想—西 洋美術史を中心に	高見沢明雄 深田 独 久保田靖夫 笠羽 晴夫 パネリスト 阿部 信雄	"	"	地域における史料保 存の軌跡と課題—大 分県を中心として—	飯沼 賢司	大分県立 先哲史料 館研究紀 要	4
美術情報コーナーの 検索システム	千速 敏男	日仏美術 学会会報	18	史料保存シンポジウ ムの成果と課題	平井 義人	"	"
情報化社会と博物館	吉崎 元章	NORTH- ERN OWLS	10	〈情報昨今〉韓国の文 化財事情	鄭 桂玉	大阪の歴 史と文化 財	3
博物館ドキュメン テーション国際委員 会(CIDOC)	坂井 知志	博物館研 究	369	科学コラム 近代化 遺産としての土木	岡部 昭彦	学 鑑	96—6
	水島 英治	"	370	特集 正倉院聖語蔵 経巻カラーCD出版 記念 聖語蔵経巻の 整理と修理	榎山 和民	"	96—10
				『公文録』等の重要文 化財の指定について	公文書課	北 の 丸	31
				特集 運用実例を見 て、考える 登録美 術品制度って何?	ギャラリー (月刊)		170
				STARDUST いよいよ よスタート! 「登 録美術品」ってなに ?		芸術新潮	595
				ART NEWS わが 町の火焔土器が国宝 に! 新潟県の「国 宝第1号」が誕生す るまで		"	596

平成11年定期刊行物所載文献(総/行政)

建築界の動向と展望 登録制度導入後の歴 史的建造物保存をめ ぐる動向	後藤 治	建築雑誌	1444	伝統的建物の形態面 からみた保存地区画 定手法に関する研究 第一報 地区画定の 課題と伝統性判別指 標の抽出	山本 明徳 土久 菜穂	日本建築 学会計画 系論文集	515
記念シンポジウム 歴史的建造物の復 原・その現状と課 題—主として史跡内 の事例をめぐって—		建築史学	33	満州国における歴史 的建造物の調査保存 事業	田中 禎彦	"	525
動向 平成9年重要 文化財の指定につ いて		考古学雑 誌	84—2	世界的視野から文化 財を見る 日本の文 化財と世界の文化遺 産	平山 郁夫	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	101
動向 平成10年(上 半期)史跡の新指定 について		"	84—3	古器旧物の流出を防 ぐのが事始め 日本 の国宝・文化財保護 の歴史	渡邊 明義	"	"
動向 平成10年 国 宝・重要文化財の指 定について		"	85—1	文化財保護関連年表	編 集 部	"	"
正倉院はいま	榎山 和民	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	3	廃仏毀釈と金堂炎上 の悲劇を越えて 法 隆寺の文化財保護の 歩み	高田 良信	"	"
近世から近代の正倉 院 江戸・明治期の 宝物調査	米田 雄介	"	4	益田鈍翁は「指定」嫌 いだっ た 民間コレ クションと国宝・文 化財	田中日佐夫	"	"
日本の現代美術もな かなかのだから	家村 珠代	国立国際 美術館月 報	82	市民参加で文化財保 護の三十年 (財)日 本ナショナルトラ ストの活動	米山 淳一	"	"
平成11年度文化庁予 算 前年度比マイナ ス1.7%	(賀)	新美術新 聞	854	未来へ文化的遺産を 伝えるために 文化 財保護の将来像	渡邊 明義	"	"
平成10年度文化庁買 い上げ作品決まる 秋岡美帆さんらの7 作品		"	859	文化財としての考古 資料 指定基準と問 題意識の推移	岩崎 卓也	"	106
「お宝」第1号を公開 「登録美術品制度」は じめての適用		"	864	文化財レポート 平 成十年度前期の史跡 等の指定		日本歴史	610
会員通信 文化財保 護・活用等に関する 近況[滋賀・圓光寺]	山本 堯學	全文連会 報	33	文化庁「登録美術品 制度」の意味するも の	清水 秀作	美術(月 刊)	283
会員通信 国宝修理 装演師連盟の活動	宇佐美直八	"	"	事件批評 世界遺産 登録と(大仏商法)	安木 英郎	百科(月 刊)	436
文化財保護・活用の 現状と課題(九州地 区ブロック会議か ら)	伊賀 昇三	"	"	新指定の文化財 重 要文化財の指定	文化庁文化 財保護部	文化財 (月刊)	424
伝統技術保存団体連 絡協議会講演要旨 「生きた伝統職人の 世界をめざして」(そ の社会的可能性)	江面 嗣人	"	"	町並み保存の現状と 課題	上野 邦一	"	"
【動向 遺跡保存問 題】中世南部荘故地 の歴史的景観と中世 居館「高田土居」を めぐって—近畿自動 車道ICと圃場整備 事業の進行状況—	海津 一郎	地方史研 究	279	新選定の文化財 重 要伝統的建造物群保 存地区の選定	文化庁文化 財保護部	"	"
文化財の指定及び特 別登録		千代田区 立四番町 歴史民俗 資料館資 料館報	6	国際シンポジウム 「近代の文化遺産の 保存と活用」に学ん だこと	渡邊 明義	"	425
文化財と奈良—文化 財の活用についての 私論—	関根 俊一	奈良学研 究	2	地域に根ざそうとす る埋蔵文化財行政	佐野 隆	"	426
				埋蔵文化財関係統計 資料(平成十年度版) の解説と分析	岸本 直文	"	427
				新指定・選定の文化 財 重要文化財(建 造物)の指定 重要 伝統的建造物群保存 地区の選定	文化庁文化 財保護部	"	428



地域文化財・歴史的遺産活用による地域おこし事業について(主として建造物関係)	文化庁建造物課	"	"	学芸員活動と文化財遺跡の保存整備と活用—埼玉將軍山古墳の場合を中心として—	酒井 耕造	"	"		
新指定の文化財(美術工芸品) 国宝の指定	文化庁文化財保護部	"	429	建造物の保護・活用と歴史研究	若松 良一	"	"		
新指定の文化財(美術工芸品) 重要文化財の指定	"	"	"	「地域文化財」の思想と博物館の創造	米崎 清実	"	"		
新指定の文化財 記念物	"	"	430	近代「土木文化財」と地域史研究	長谷川 伸	"	"		
世界遺産条約と世界遺産委員会の活動	惣脇 宏	"	431	我が国による文化遺産保存国際協力事業の現状と問題点(1)—国際文化財保存修復研究会からの知見(1)—	横山 恵美	"	"		
文化財と防災—国際シンポジウム「災害から文化財を守る」報告—	崎谷 康文	"	"	時評 仁徳天皇陵を世界遺産に!	二神 葉子 西浦 忠輝	保存科学	38		
文化財の防災国際会議 文化遺産の危機管理に関する神戸東京宣言	野口 英雄	"	"	論文 民俗文化財の誕生—祝宮静と1957年文化財保護法改正をめぐって—	高木 博志	歴史学研究	725		
ユネスコ世界遺産条約の現在	ヤン・ミン ジャ 谷口 純子	"	"	歴教協創立五〇年奈良大会へどうぞ1 古くて新しい文化財保存問題	菊地 暁	"	726		
中世城館遺跡の調査と史跡指定	伊藤 正義	"	432	歴教協創立五〇年奈良大会へどうぞ2 「文化財のメッカ」は「文化財問題のメッカ」	武田 章	歴史地理教育	589		
登録文化財 地域で共有する文化遺産—鳴子町との出会いと登録文化財—	安井 妙子	"	"	第五一回大会のために 奈良に学ぶ3 「古都奈良の文化財」の世界遺産登録の意義と私たち奈良の市民運動	石橋源一郎	"	590		
史跡等の保存・整備・活用事業の考え方と今後の課題	本中 眞	"	434	歴史の広場 町並み探訪 鉾山町	浜田 博生	"	595		
史跡等の整備に関わる国庫補助事業の解説	平澤 毅	"	"	歴史の焦点 文化財保護の新たな展開—文化財登録制度について—	苅谷 勇雄	歴史と地理	522		
史跡整備に期待するもの—建造物復元問題を中心に—	西 和夫	"	"	陵墓の保存へ公開進めて	亀井 伸雄	"	"		
都市における文化遺産の保存・活用の連携方策	古澤 達也	"	"	重要文化財の指定 特に優れたもの国宝に 修理・保存に国補助も	沖 真治	朝 日	1.7		
新指定の文化財 民俗文化財	文化庁文化財保護部	"	435	ひと 古里の遺跡の保存運動に携わる関西外大助教授 佐古和枝さん	飯島 武彦	"	4.25		
新指定の文化財 記念物	"	"	"	「文化、値段で計れない」「箱もの」に好意的な発言	羽根 和人	"	5.8		
建物を活かし、文化を生かす 「滋賀県の登録文化財建造物について」	村田 信夫	滋賀文化財教室シリーズ	184						
平成7年度~10年度国指定・県指定の指定文化財特集		文化財通信くまもと	16—17						
大宰府史跡発掘調査の30年—近年の調査成果を中心にして—	横田賢次郎 赤司 善彦	文明のクロスロード MUSEUM KYUSUYU	63						
大宰府史跡の保存と活用	田上 稔	"	"	二つのトリエンナーレ 美術界再構築の試験紙[越後妻有アートトリエンナーレ2000/横浜トリエンナーレ2000]	田中 三蔵	"	8.21		
特集「歴史研究と文化財」の趣旨と展望	澤登 寛聡	法政史学	52	「日光の社寺」世界遺産に		"	12.2		

文化の市場化に抗して欧州の「多様性」保持へ トロトマン仏文化通信相に聞く	松葉 一清 聞き手	朝日夕刊	3.3	美術品物納制 宝の持ち腐れ? 納得できる評価制力ギ	野村 義博	日経夕刊	2.19
重要文化財を守れ! 法務省旧本館で消防演習 丸の内消防署		産 経	1.23	世界遺産今後の課題「周辺環境の整備が必要」奈良国立文化財研の田中琢所長に聞く	佐々木泰造	毎日夕刊	1.12
できるかな=公約チェック=都知事選箱モノ売却 現代美術館9年度は20億円の赤字		"	4.3	来夏、越後妻有アートトリエンナーレ 地域おこし狙い世界屈指の規模に	石川 健次	"	4.15
文化財貸し出します 墨田区「立花大正民家園」		"	7.1	富山・五箇山 合掌造りの家 風雪耐えて100年余		読 売	1.1
世界文化遺産条約加盟問題 平山郁夫氏、北朝鮮へ ユネスコ親善大使で政府関係者と交渉	中田 雅博	産経夕刊	4.6	近代化支えた施設「遺産」として保存 建物の劣化、細かく観測 実態調査、費用に課題	片岡 直人	読売夕刊	1.19
黄金に輝く「自由の炎」仏政府が寄贈「自由の女神像」に代わって来夏、台場に設置 気鋭の現代彫刻家が設計	山口 昌子	"	8.5	火事から文化財守れ 盗難文化財返還拒否に歯止め 保護条約に参加		"	1.22
ひわだ不足で文化財ピンチ 文化庁、安定供給へ動く 若手技術者育成へ	中曽根聖子	"	11.18			"	2.6
自由の女神像レプリカ頭部ブロンズが完成 来年末に日本で展示	山口 昌子	"	12.22	美術教育			
「からむし織りの村」福島・昭和村 『織り姫』応募の都会女性たち		東 京	2.17	巻頭特集 東京藝大の自画像 時代を拓く美術家たち		ア ー ト ト ッ プ	173
この人 世界遺産に登録された日光東照宮の宮司 稲葉久雄さん	(出)	"	12.16	特別対談 東京藝大にふさわしい「感性」教育をめざして	澄川 喜一 樋口廣太郎	"	"
文化財の民家キツキ被害 岐阜・飛騨の里 駆除それとも保護?		東京夕刊	5.15	私と藝大	平山 郁夫 高山 辰雄 稗田 一穂 中島 千波 田根 俊夫 中塚 寛吾 高塚 省 大沼 映夫 辰野 登恵子 網谷 幸二 渡辺 恂三 佐藤 忠良 橋本 堅太郎 数内 斗司 藤田 喬平 福田 繁雄 三輪 龍 村上 隆	"	"
霞ヶ関 不毛の? 英訳論争 文部省文化の表記も掲げ 外務省文化交流ならウチ思いやられる省庁再編		"	5.15				
放射線 文化を守る 税制	小倉 忠夫	"	11.30	未来への新しい才能と発想を求めて—シリコンバレーが注目する 大学 ワーク ショップ	瀧口 範子	A X I S	77
文化往来 阪神被災地、埋蔵文化財調査進む		日 経	1.5	特集 デザインを学べ! エデルコートが率いるアイデアをデザインする、コンセプトチュアルな場	松崎八千代	"	78
世界文化遺産 保存の難しさ指摘 11市町村の首長が会議		"	1.31	特集 デザインを学べ! 日本のデザイン教育の現在と未来	田中ひさし	"	"
国研が独立行政法人に移行 予算の執行柔軟に 課題多い研究所再編	竹内 雅人	"	2.1				
「日光の社寺」世界遺産登録 東照宮・輪王寺など		"	12.2	美学美術史学科における実技の思索	紀井 利臣	跡見学園 女子大学 美学・美術史学科 報	27

特別教育強化費助成報告 染織テキスタイルコース専攻科における二つの授業から	新道 弘之	URYU : 京都芸術短期大学紀要	21	1960年代中期のアメリカにおける美術教育会議の成果—カリキュラム開発への展望—	岡崎 昭夫	筑波大学芸術研究報告	33
子供とアート	広本 伸幸	学 鏡	96—8	学会活動報告 第59回大会研究発表 美術館における教育普及活動	鬼本佳代子	デアルテ	15
増田孝・その画業と美術教育—追悼—	五十嵐嘉晴	金沢美術工芸大学紀要	43	美術教育のありかたをめぐる—考察—実践者に内在する教育の諸問題を通して—	相田 隆司	東京学芸大学紀要	51
四芸術大学体育・文化交歓会の推移	若山 博	" "	" "	わが国の文化財保存修復における「標準」の不在が与える教育への影響について	松田 泰典	東北芸術工科大学紀要	6
特集 とびぬけ卒業生を探せ! 東日本編		ギャラリー(月刊)	168	美術科教員の役割に関する基礎的研究—中学校と高等学校の比較を中心として—	片桐 隆嗣 松野 豊	" "	" "
特集 とびぬけ卒業生を探せ! 西日本編		" "	169	教育および地域産業とガラス	早坂 功 増田 尚紀 三橋 幸次	" "	" "
トラス構造の造形教育へのアナロジー的応用	網本 義弘	九州産業大学芸術学部研究報告	30	特集1 川村記念美術館「なぜ、これがアートなの?」展が仕掛けたもの	D	ドーム	42
「画学校粉本」について	松尾 芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	9	MEPで、ダンスを11 デュシヤンと利休がマンズ—美術館で会ったとしたら…	"	"	45
幼児期から美術と親しむ	江口 善之	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	43	教育学における「方法多元論」の妥当性—O.F.ボルノーの所論を手がかりに—	佐久間裕之	トキワ松学園横浜美術短期大学紀要	14
アメリカのテキスタイル教育の現状	ひろいのぶこ	" "	" "	事例報告:鑑賞補助教材としての版画技法見本	友井 伸一 竹内 利夫	徳島県立近代美術館研究紀要	4
鑑賞教育をめぐる—美術館と子供の視点	白浜恵里子	現代の眼	518	高等学校の教育課程の基準の改訂と博物館	吉武 弘喜	博物館研究	372
建築界の動向と展望 “建築学科”の崩壊と職人大学	布野 修司	建築雑誌	1444	第50回美学会全国大会発表要旨 明治・大正期の高等教育における工芸	藤田 治彦	美 学	199
女子高等美術教育の先駆者 横井玉子研究(一)	佐藤 善一	女子美術大学紀要	29	特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ いま子どもたちは学校でどんな活動をしているのか	六澤 秀隆	美術手帖	770
「ファッション業界におけるインターンシップの実際」に関する報告—女子美術短期大学の企業実習を通して—	小倉 文子	" "	" "	特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 次の教育改革で美術教育はどう変わるのか	鈴石 弘之	" "	" "
「先端芸術表現科」がスタート 東京芸術大学美術学部		新美術新聞	857	特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術教育はすべての美術関係者の参加を待っている	阿部 英也	" "	" "
武蔵野美術大学が2学科を新設		" "	" "				
古都に総合芸術大学誕生 京都造形大と芸短が統合 2000年4月		" "	879				
特集 あそび たまび まなび—生涯学習センター		たまび	19				
中間評価論文梗概 台湾の小学校の「郷土教学活動」における「郷土美術」に関する研究—台北地区の実施状況—	蔡 惠真	筑波大学芸術学研究	3				

特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術と美術教育における連続と不連続	直江 俊雄	美術手帖	770	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例1 アメリカ ニューヨークのパブリック・スクール40の場合	梁瀬 薫 レポート	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 学生を「ばらばら死体」にしない美大教育の工夫	中村 英樹	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例1 アメリカ アメリカの美術教育とDBAE	山木 朝彦	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術系大が受験の石膏デッサンは誰のため?	中村 政人	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例2 イギリス ロンドンのクラウン・ウッズ・スクールの場合	玉重佐知子 レポート	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術教育の新たな拡張と実験の場としての美術館 岡本太郎美術館の場合	仲野 泰生	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例2 イギリス 英国の美術教育	直江 俊雄	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術教育の現状 ポツネン・トイル氏の発言から	建畠 朔弥	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例3 ドイツ ベルリンの Kult・シュヴィッターズ オーバーシュレーの場合	河井 純枝 レポート	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 児童施設における造形美術のワークショップの試み 造形美術による自己解放の方法	岩崎 清	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第3章海外の美術教育事情 事例4 フランス パリのラトリエ・オーボンヌ学校の場合	金 理恵 レポート	"	"
特集1 どうなる美術の教育 わたしの美術教育	平町 公史 笹形 能史 駒形 克己 椿	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第4章対談 21世紀の美術教育のために	宮脇 理彦 山木 朝彦	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第2章美術教育の現在形 事例1 子ども×現在×表現	平本佐智子	"	"	特集1 どうなる美術の教育 第5章座談会 いまの美術教育になにが求められているか	那賀村 貞彦 石川 泰昌 菅 健次	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第2章美術教育の現在形 事例2 子どもの造形の17の類型	岡田 匡史	"	"	"美術教育を考える" 7 東京芸大に新学科「先端芸術表現科」設置	編集部	美術の窓	187
特集1 どうなる美術の教育 第2章美術教育の現在形 事例3 美術教育において視覚メディアは有効か	幸 秀樹	"	"	芸術学科が変わる! 美術史・美術保存コース、歴史遺産コースとしてスタート。入学定員も20名から40名に。	松田 泰典 沢田 正昭 山田 中章 園田 直子	Fontaine	16
特集1 どうなる美術の教育 第2章美術教育の現在形 事例4 ニューアカデミズム/美術の様式/教育の構造	那賀 裕子 那賀 貞彦	"	"	特集 社会人のための工芸講座 つくる楽しさ	渡部 武子 黒田 優子 香澤 佳子	"	18
				美術館でアートと知り合い! めいさく根堀葉堀	植野比佐見	和歌山県立近代美術館 ニュース	20

めいさく根堀葉堀展 より—こんな団体さ んがいた—	"	"	21	東京芸大に先端芸術 表現科 21世紀の芸 術大学模索 ジャン ル超え新表現開拓	稲垣 直子	"	4.6
探求・記者の目 発 足する先端芸術表現 科 生き残りかけた 権威の決断	田中 三蔵	朝 日	2.20	国立5大学連合結成 へ 共同で教養教育	"	"	11.4
東京芸大が「先端芸 術表現学科」新設 真の先端生み出せる か	(前)	産経夕刊	1.29	自由な絵、幼児に描 かせて 心の領域広 げ創造力も育つ	鯉江 梅乃	日経夕刊	6.25
モノづくり復権人材 どうする 2001年 “職人大学”開校	田中 文男 池田 実 聞き手	東 京	5.26	京都の芸術系大学・ 短大 豪華布陣で芸 磨く	佐藤 徳夫	"	7.14
長寿番組の舞台裏 は? NHK教育「新 日曜美術館」	吉岡 逸男	"	11.10	国立5大学の連合構 想「学内外の支持を」	"	"	11.4
本当の豊かさとはな にか 秦阜村立学校 美術館	南 嵩 宏	東京夕刊	5.24	映像芸術家の卵ワセ タに來れ 埼玉・川 口に専門学校 2003 年めど 客員教授に 篠田正浩氏	"	"	12.10
択捉島に東海地方の 画家ら訪問 「待ち こがれた」日本芸術 家との交流	今里 義和	"	5.26	既成の枠を超え思う ままに表現 子供向 け絵画サークルが作 品展 デザイナーの 井上さんら“指導”	渡辺 英寿	毎 日	1.27
美大・芸大への人気 アップ	"	"	8.19	「東京自由大学」が20 日、第1回シンポ	"	"	2.16
文化往来 芸大の新 学科でユニークな試 み	"	日 経	2.23	キャンパスは黒板 チョークで名画 名 古屋の高校	千田 竜彦	読売夕刊	11.18

古 美 術					
絵 画					
一 般					
特集 ドラゴンへの挑戦 科学技術の時代に生きる龍	荒川 紘	美術(月刊)	285	中国洋風画の成立と展開	河野 実 " "
東 ア ジ ア				絵画史における中国と日本(三)一文人画について(二)絵画の私人化—	山岡 泰造 関西大学東西学術研究所紀要 32
四神図の系譜	和田 萃	国立歴史民俗博物館研究報告	80	『歴代名画記』とその時代—張彦遠における政治・士人・著作三者の繋がりをめぐって—	白 適銘 京都大学文学部美術学研究室研究紀要 20
北朝・隋唐と高句麗壁画 四神図像と畏獣図像を中心として	東 潮	"	"	中国北朝期の天文図試論—元父墓を例にして—	林 聖智 " "
中 国				京五山に伝来した「中国画」—瑞溪周鳳をめぐる絵画趣向—	高橋 範子 芸術論究 26
特集 石鼓廟地獄図壁画の図像について	勝木言一郎	アジア遊学	10	中国絵画の意味を尋ねる 皇室旧蔵品に寄せて	渡邊 明義 皇室の名宝(週刊日百科) 9
特集 飛天が奏でる天宮の楽 石窟壁画に見る楽器の形状	樋口 昭	"	"	中国の西湖景と日本の浮絵—阿英「閑話西湖景」洋片「発展史略」をめぐる—	岡 泰正 神戸市立博物館研究紀要 15
特集 『清明上河図』と北宋の風俗	伊原 弘	"	11	(史料紹介)孫機著『唐・李寿墓石椁の線刻画』—特に侍女図について—	松本みどり 古代文化 484
特集 座談会『清明上河図』をよむ	伊原 弘 高村 雅彦 清水場 東 玉井 哲雄 山形 欣哉 小泉 和子 黒田日出男	"	"	王建章筆「硯田莊扇面冊」	古原 宏伸 国 華 1241
特集 境界の風景 ギャロップする馬ともも肌ぬぎの男など	中野美代子	"	"	王諤とその「雪嶺風高図」軸について	嶋田 英誠 " 1243
特集 『清明上河図』と日本の都市景観 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』との比較を通して	玉井 哲雄	"	"	華岳筆 鵬拳図	鈴木 敬 " "
特集 絵画資料としての『清明上河図』 日本史からの読み方	黒田日出男	"	"	コラム 典型から個性へ 揚州八怪作品選	高木 聖雨 墨 139
コラム 宋・清二図に見る医学	吉元 昭治	"	"	『西遊記』物語絵史略	磯部 彰 東北アジア研究 3
収蔵品紹介 池田文庫所蔵 清代臉譜について(二)	赤松 紀彦	池田文庫	14	クチャ地域の供養者像に関する考察—キジルにおける供養者像の展開を中心に—	中川原育子 名古屋大学文学部研究論集 135
中国における撃毬の盛衰と撃毬図屏風について	福本 雅一	学 叢(京都国立博物館)	21	十六羅漢図像学事始—渡水羅漢図と降龍羅漢図—	中村 興二 奈良女子大学文学部研究年報 42
敦煌莫高窟・初唐壁画の研究—「宝楼閣図」による技術的傾向の分類—	山崎 淑子	鹿島美術研究	16	第50回美学会全国大会発表要旨 南京西善橋墓の「竹林七賢と榮啓期図」再考	林 聖智 美 学 199
請求仏画の受容について	山本 泰一	"	"	馬遠「西園雅集図巻」(ネルソン・アトキンス美術館)の史的位置—虚構としての「西園雅集」とその絵画化をめぐる—	板倉 聖哲 美術史論叢 16
				新知恩院本六道絵の主題について—水陸画としての可能性—	鷹巣 純 密教図像 18
				「伏見稲荷曼陀羅」考—個人本「吒枳尼天曼荼羅」に対する異見—	白原由紀子 MUSE-UM 560

蔬菜のイコノグラフィーに関するノート	アルフリーダ・マーク増記 隆介 訳	大和文華	102	愛媛県下の巡礼参詣絵馬に関する一考察—四国遍路と伊勢参宮の絵馬を事例として—	谷脇 温子	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	4
日 本							
《論文》釈迦院をめぐる絵師たち	神谷 浩	愛知県史研究	3	東寺宝菩提院旧藏北斗曼荼羅の画絹裏墨書と中尊について	松浦 清	大阪市立博物館研究紀要	31
愛知県史を語る会抄録 第三回「密藏院にみる密教美術と歴史史料」「密藏院の仏画について」	宮治 昭	" "	" "	〈資料紹介〉元禄の大坂を描く—浪華名所図屏風	末広 幸代	大阪の歴史と文化財	4
秋田市道川神社(旧愛染堂)の絵馬	嶋田 忠一	秋田県立博物館研究報告	24	狩野派と惣金屏風	武田 恒夫	大手前女子大学論集	32
収蔵品紹介 『絵本太閤記』の諸版	山本 卓	池田文庫	14	印からわかること—元信印の場合—	山本 英男	学叢(京都国立博物館)	21
収蔵品紹介 新収ヒソルフ・コレクションについて	松平 進	" "	15	直武『解体新書』:—「…予をしてこれが図を写さしむ」(直武)—	ヒロコ・ジョンソン	鹿島美術研究	16
収蔵品紹介 上方役者絵「其九絵彩四季桜」—ヒソルフ・コレクションから—	北川 博子	" "	" "	山東京伝序「江戸風俗図巻」をめぐる問題	安井 雅恵	" "	" "
古美術の20世紀 視線の変節1 1956年の雪舟「雪舟は芸術ではない」と言った男	山下 裕二	IS	81	高橋草坪の学習と工夫—「山水画冊」を中心に—	古賀 道夫	" "	" "
古美術の20世紀 視線の変節2 1995年の源頼朝像 この男は頼朝ではない	"	"	82	『覚禅鈔』についての文献学的研究	上川 通夫	" "	" "
シンポジウム「琳派の芸術—その継承とコンテクスト—」基調報告 琳派芸術の伝統と創造	山根 有三	出光美術館館報	108	絵巻物における異国表現	伊藤 真弓	" "	" "
シンポジウム「琳派の芸術—その継承とコンテクスト—」第一セッション発表 抱一の芸術	内藤 正人	" "	" "	初期土佐派の研究—『看聞日記』所載の藤原行光筆「泰衡征伐絵」をめぐる—	高岸 輝	" "	" "
新出の光琳筆「檜・楨・秋草図襖絵」について	山根 有三	" "	109	誰ヶ袖図屏風の成立と展開に関する試論	杉原 篤子	" "	" "
貴人と浮世絵	内藤 正人	出光美術館研究紀要	5	時宗における祖師肖像画の研究	高木 文恵	" "	" "
狩野光信と遊楽人物図	黒田 泰三	" "	" "	江戸時代後期京都画壇における基礎的研究	横谷賢一郎	" "	" "
絵馬	岡部 昌見	茨城県立歴史館報	26	岸派絵画資料の調査	小久保啓一	" "	" "
藤田家資料に見る盛岡藩御絵師	阿倍 守雅	岩手県立博物館研究報告	17	石田幽汀の研究	野口 剛	" "	" "
『一遍聖絵』巻2「雖有奇特恐繁略之」をめぐる	岡本 貞雄	印度学仏教学研究	94	狩野芳崖の写生帖—天瑞寺永徳画縮図の紹介をかねて—	古田 亮	" "	" "
				請来仏画の受容について	山本 泰一	" "	" "
				米国所在天神縁起絵巻の研究—ニューヨーク パブリック・ライブラリー所蔵スペンサー本を中心に—	須賀 みほ	" "	" "
				細川家をめぐる近世画壇の研究	平林 彰	" "	" "
				近世初期風俗画における図様継承の研究—岩佐又兵衛の画風解体と伝承イメージの形成を中心として—	田沢 裕賀	" "	" "

平成11年定期刊行物所載文献(古/絵)

曼荼羅	道端美也子	華頂博物館学研究	6	ART NEWS など「判じ絵」で江戸の庶民と知恵比べ	岩崎 均史	"	593
新発田藩版とその版木	高橋 明彦	金沢美術工芸大学紀要	43	話のツボ 似絵の名手のもうひとつの顔 藤原信実著『今物語』	三木 紀人	"	"
称名寺金堂壁画の再検討	吉田 典代	金沢文庫研究	302	ドクター・シノダの人物画診断1 秀吉の先天性多指症	篠田 達明	"	596
春日をめぐる因縁と言説—貞慶と『春日権現験記絵』に関する新資料—	近本 謙介	"	"	ひらがな日本美術史【連載】その六十二 素性の知れぬもの 俵屋宗達筆「風神雷神図屏風」	橋本 治	"	597
絵画史における中国と日本(三)—文人画について(二)絵画の私人化—	山岡 泰造	関西大学東西学術研究所紀要	32	ART NEWS 室生寺救済“出開帳”で意外なおまけ 国宝、板絵《伝帝釈天曼荼羅図》現わる!	"	"	598
美濃の南嶺派—鶴洲とその一門—	白水 正	岐阜市歴史博物館研究紀要	13	ドクター・シノダの人物画診断3 家康の驚愕反応	篠田 達明	"	"
重源をめぐる肖像観	根立 研介	京都大学文学部美術学美術史学研究室研究紀要	20	ひらがな日本美術史【連載】その六十三 笑うもの 俵屋宗達「田家早春図」	橋本 治	"	"
若冲画に示されたもの—「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって—	市川 彰	"	"	ART NEWS 没後800年目の「頼朝」くらべ	"	"	599
絵画のなかの京紅板締め	並木 誠士	Quarterly Report	19	ドクター・シノダの人物画診断4 明智光秀の近視	篠田 達明	"	"
江戸幕府歴代將軍画像の制作について	榊原 悟	群馬県立女子大学紀要	20	ひらがな日本美術史【連載】その六十四 勝つもの負けるもの 本阿弥光悦書&俵屋宗達筆「四季草花下絵古今集和歌巻」	橋本 治	"	"
錦小路家本『異本病草紙』の制作・流布の史的背景	唐沢 至朗瑛	群馬県立歴史博物館紀要	20	京五山に伝来した「中国画」—瑞溪周鳳をめぐる絵画趣向—	高橋 範子	芸術論究	26
伊藤若冲の「枿目画」作品を再考する—西陣織「正絵」との関係から—	泉 美穂	芸術学学報	6	国宝源氏物語絵巻についての一考察—和歌の絵画化という視点から—	横島菜穂子	芸 叢	15
金沢の絵馬悉皆調査報告2—泉野桜木神社、安宅住吉神社、栗ヶ崎八幡神社—	太田 昌子	"	"	〈修復トビックス〉大安寺本堂の障壁画と前身建物	金田さやか	建築史学	32
小林秀雄が見た雪舟(上)	山下 裕二	芸術学研究	9	【資料】御巫清直考証中村左洲画『齋内親王参宮図』について	吉川 竜実	皇学館大学神道研究所紀要	15
絵巻物—アニメの源流	"	芸術公論	92	高階隆兼と宮廷絵所	宮島 新一	皇室の名刊朝日百科	8
ART NEWS こうい顔、あるよね!いきいきお江戸の“顔”見世興行	安村 敏信	芸術新潮	589	『源氏物語』の受容と展開 源氏絵に見る庶民の描写	"	"	9
ひらがな日本美術史【連載】その五十八 色っぽいもの「松浦屏風」	橋本 治	"	"	『小栗判官絵巻』を読む 近世絵巻の魅力	太田 彩	"	10
ひらがな日本美術史【連載】その六十一 センスのいいもの「誰が袖屏風」	"	"	592	伊藤若冲の絵画世界 工芸の優品と宮中伝来の屏風	辻 惟雄	"	"
	"	"			太田 彩	"	"



北斎『西瓜図』と七夕	今橋 理子	" "	" "	《雪村研究の新視点と問題点1》雪村の作品の編年に関する問題点	小川 知二	"	1242
太子ゆかりの名品二点『聖徳太子画像』と『法華義疏』	東野 治之	"	11				
天皇影の系譜	宮島 新一	"	12	《雪村研究の新視点と問題点2》雪村画風のなかの高麗・李朝画的要素	赤沢 英二	"	"
合巻における舞台の表現—種彦合巻を中心に—	佐藤 至子	国語国文	775	三春の雪村と田村氏	"	"	"
『春日権現験記絵』と村上源氏	野村 卓美	"	779	雪村筆 葛花、竹に蟹図	小川 知二	"	"
合巻における絵と物語	佐藤 至子	国語と国文学	902	雪村筆 以天宗清像	大石 利雄	"	"
十二支の「セツ目」に関する俗信	腮尾 尚子	国立歴史民俗博物館研究報告	77	雪村筆 四季山水図	赤沢 英二	"	"
祭礼の練物 岡山東照宮祭礼	福原 敏男	"	"	雪村筆 瀟湘八景図	辻 惟雄	"	"
古墳時代の絵の文法	佐原 真	"	80	雪村筆 花鳥図屏風	林 進	"	"
古今〇観 江戸絵画の東と西	冷泉 為人	古今(日誌)	2	雪村筆 竹林七賢図屏風	中島 純司	"	"
(特集)若冲と竹田「まこと」江戸の文人意識	狩野 博幸 中野 三敏 対談	"	"	酒井抱一筆 調布の玉川図	内藤 正人	"	1243
秀吉讃歌の風俗画 豊公吉野花見図	成澤 勝嗣	"	"	研究資料 江戸「月次風俗図」研究	我妻 直美	"	"
連載 「たわけ」の美学 其ノ二 江戸画人 田能村竹田	狩野 博幸	"	"	土佐光茂の「牧馬図」について	川本 桂子	"	1244
連載 ミヤコの路地裏 其ノ二 「酔うこと」	奥平 俊六	"	"	長谷川等学筆 橋に扇面流図屏風—貼付の室町時代扇面画に触れつつ—	山根 有三	"	"
園城寺黄不動画像の作者についての再検討—『雑談鈔』第三十話『仏師仁算ノ事』をめぐって—	中前 正志	古代文化	480	貫名海屋筆 江山図屏風	星野 鈴	"	"
冷泉家の文化財について	冷泉 為人	国 華	1239	研究補遺『国華』(第千二百三十六号)所載の源平合戦図屏風の画題について	岩切友里子	"	"
冷泉家の御影	宮島 新一	"	"	サントリー美術館所蔵 伊勢物語色紙貼付屏風をめぐって	佐野みどり	"	1245
日本南画の形成に於ける朝鮮通信使の役割—祇園南海を中心に—	ブルクリント・ユングマン 上垣外憲一 訳	"	1240	伝周文筆 春冬山水図屏風について	赤沢 英二	"	1246
池田孤村筆 かきつばた・八橋図屏風	水尾比呂志	"	"	曾我蕭白筆 塞翁飼馬・蕭史吹簫図屏風	山口 泰弘	"	"
嵯峨本「二十四孝」の挿絵作者について(下)	川崎 博	"	"	歌川広重筆 目黒四季図	小林 忠	"	"
長谷川等秀筆 浮船図屏風	山根 有三	"	1241	老松図屏風(フランク・ロイド・ライト財団所蔵)と天瑞寺障壁画の新資料	狩野 博幸	"	1247
岩佐勝以筆 通盛と小宰相図	辻 惟雄	"	"	竹生島弁才天像	泉 武夫	"	"
ハーヴァード大学美術館蔵『源氏物語画帖』と『実隆公記』所載の「源氏絵色紙」	メリッサ・マコーミック	"	"	風流祭礼図屏風	田辺 昌子	"	"
				芦千鳥・梅竹図屏風	山本 英男	"	"
				上野家旧蔵・岩佐勝以筆三十六歌仙画冊について	辻 惟雄	"	1248
				新出長谷川等伯筆花鳥図屏風について	山根 有三	"	"
				『藤の衣物語絵巻(遊女物語絵巻)』の研究—復原と成立をめぐって—	伊東 祐子	"	"

平成11年定期刊行物所載文献(古/絵)

仁和寺藏八幡神影向 図	平田 寛 国 華	1249	《日吉山王祭礼図屏 風》を読む—海北友 雪の創意と戦略—	実方 葉子	泉屋博古 館紀要	16
長谷川派 洋犬・遊 女図屏風	山根 有三	" "	資料紹介 仙台市博 物館所蔵『年中行事 絵巻模本』十八巻	樋口 智之	仙台市博 物館調査 研究報告	19
渡辺崋山筆 大空武 左衛門像	岡戸 敏幸	" "	上醍醐寺総画図と上 醍醐の院家の遺跡	山岸 常人	醍醐寺文 化財研究 所研究紀 要	17
司馬江漢と十八世紀 イギリス風景版画— いわゆる「サーベン タイン河図」「療病院 図」の原画発見—	鶴岡 明美	" "	醍醐寺所蔵仏教絵画 総合目録1—両界曼 荼羅・別尊曼荼羅—	有賀 祥隆 川村 知行	" "	" "
「太平記絵巻」詞書小 考—『太平記』本文と 比較して—	谷澤 孝	埼玉県立 博物館紀 要	日本中世における地 方絵画についての基 礎研究—中部編2 (岐阜)	横田 忠司	多摩美術 大学研究 紀要	13
「木曾義仲合戦図屏 風」をめぐる	松尾 知子	採蓮 千 葉市美術 館研究紀 要	茶の湯のイコノロ ジ	佐々木 隆 淡 交		653
講演記録「奇想の画 家 国芳」	鈴木 重三	" "	中間評価論文梗概 武者絵成立考—巴御 前図を中心に—	岩崎 直人	筑波大学 芸術学研 究	3
当館蔵 高野山図屏 風について	張 洋一	堺市博物 館館報	長谷川等伯の上洛に ついて	守屋 正彦	筑波大学 芸術研究 報告	33
絵巻「をくり」につ いての再検討(二)—詞 書の料紙装飾を中心 に—	太田 彩	三の丸尚 蔵館年 報・紀要	近世武家肖像画にお ける像主の神格化に ついて(1)	"	筑波大学 芸術年報	1998
—平成九年度収蔵品 修理報告—	"	" "	武者絵の研究—「歴 史画」としての視点 による—考察—	菅原 真弓	哲学会誌	23
狩野永岳筆三十六歌 仙歌意図屏風の詳細	山下 善也	静岡県立 美術館紀 要	〈源氏物語絵巻〉にお ける場面選択法に関 する—考察	中川 貴恵	" "	" "
日本近世美術におけ る文人趣味の研究— 小田野直武筆「不忍池図」と盆花の 流行—	仲町 啓子	実践女子 大学美学 美術史学	江戸狩野・表絵師と その御用—東京芸術 大学所蔵 麻布一本 松狩野家資料をめぐ って—	松嶋 雅人	東京芸術 大学美術 学部紀要	34
浮世絵が記憶した 「伊勢物語絵」	"	実践女子 大学文学 部紀要	近世の毘沙門天曼陀 羅について—神峰山 寺所蔵「劍鎧護法像」 及び「二十八使者像」 と本山寺所蔵「毘沙 門天曼陀羅」から—	滝沢 幸恵	同志社大 学博物館 学 年 報	31
日本中世における地 方絵画についての基 礎研究—中部編3 (山梨)	横田 忠司	宗教美術 研究	ボクのアート・リー ディング19 赤髪の 背面少女が見ている ものは何?	山本 育夫	ト ー ム	44
浄土教思想の変遷と 来迎表現	奥村 秀雄	" "	写生花の歳時記	松尾 芳樹	と さ え	8
修理報告 宮内庁三 の丸尚蔵館所蔵「万 国絵図屏風」の修理 に伴う新発見につ いて	太田 彩 修 復	5	比較された東海道吉 田宿—その特色と名 物の評価—	藤井 隆	豊橋市美 術博物館 研究紀要	8
永納作品の制作年代	五十嵐公一 塵 界	11	資料紹介 須坂市立 博物館本『姦譜』	青木 歳幸	長野県立 歴史館研 究紀要	5
兵庫県立歴史博物館 蔵 仏涅槃図—過渡 期的作例の—様相—	知念 理	" "	山本梅逸筆「西国名 所真景図帖」	山田 伸彦	名古屋市 博物館研 究紀要	22
『親鸞聖人 御絵伝』 「絵解」資料解題	沙加戸 弘	真宗総合 研究所研 究紀要	『富嶽百景』論 北斎 のめざしたものを探 して	神谷 浩	名古屋市 美術館研 究紀要	8
日本の古星図と東ア ジアの天文学	宮島 一彦	人文学報				82

文学博士佐々木丞平及び佐々木正子氏の『円山応挙研究』(共同研究)に対する授賞審査要旨	日本学士院紀要	54-2	与謝蕪村の『夜色楼台図』自己を表現した文人画	河野 元昭	" "	" "
特集 秋田蘭画を生んだ土壌 佐竹曙山と小田野尚武	日本の国朝(週刊日百)	98	伊藤若冲の『動植綵絵』息詰まる仮想空間を構築	佐藤 康宏	" "	" "
仏教絵画とその広がり	濱田 隆	" 102	建築と障壁画 最新の調査成果から	西 和夫	" "	104
特集 仏画の描かれるとき 聖なる造形の現場から	平田 寛	" "	王朝の扇 過ぎにし方恋しきもの	佐野みどり	" "	107
コラム 唐絵とやまと絵 唐文化圏の中の日本	池田 忍	" "	「国宝再発見」絵巻に見る歴史 階級・性差の視点から	池田 忍	" "	110
コラム 情報伝達のわざ(1) 古画の模写と画像の伝承	濱田 隆	" "	絵の居場所1 たがいに呼応しあう絵の内と外—聖徳太子絵伝	太田 昌子 大西 廣	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	1
院の一声 華麗に変貌する藤原仏画	吉村 稔子	" "	絵の居場所2 「物」と「イメージ」の戯れ—楽器の上に楽器を描く 正倉院の金銀平文琴	" "	" "	2
コラム 情報伝達のわざ(2) 絵解きということ	梶谷 亮治	" "	絵の居場所3 巨大掛幅は「会」のメディア—涅槃図	" "	" "	3
コラム 肖像画の自立 後白河院が隆盛を招く	宮島 新一	" "	末期の眼・看取りのまなざし—「臨終行儀」を読む	加須屋 誠	日本の美学	29
世俗画の流れと多様性	辻 惟雄	" 103	絵様考—注文主と絵師の間—	片桐 弥生	日本文化研究	11
相阿弥の『瀟湘八景図』 足利将軍のアートディレクター	山本 英男	" "	「鳥獣草花図屏風」と若冲	道下亜矢子	" "	" "
雪村の『風濤図』 「筆様時代」の個性派アーティスト	"	" "	織女神とキトラ星宿図	上田 正昭	日本歴史	608
金剛寺の『日月山水図』屏風 強靱な美意識で構築された山水図	泉 万里	" "	中・近世における供養絵馬	坪井 利剛	" "	619
狩野元信の『四季花鳥図』 新時代を引き寄せた画風	山本 英男	" "	土佐光成筆 十二首和歌絵屏風について	田中 敏雄	野村美術館研究紀要	8
狩野光信の勸学院客殿障壁画 大和絵的叙情性に特色	辻 惟雄	" "	滋賀・高宮寺の他阿真教画像	高木 文恵	美学	198
狩野山雪の天球院襖絵 桃山の終焉と新たな時代感覚	"	" "	洒落本に見る「通」のメディア—遊里と美術—	岸 文和	美学芸術学	14
尾形光琳の『燕子花図』屏風 大胆な象徴化と謡曲『杜若』	河野 元昭	" "	絵巻物はどのように享受されてきたか—酒井家旧蔵『賢学草子』を手がかりに—	秋山美津子	" "	" "
喜多川歌麿の『歌撰恋之部』 女心と色香を小画面に凝縮	浅野 秀剛	" "	トポグラフィアとしての名所絵—江戸泥絵と都市の視覚文化	佐藤 守弘	" "	" "
東洲斎写楽の役者絵 デフォルメで役者の内実をえぐる	"	" "	フリーア本東北院職人歌合絵巻について	岡 泰央	美学論究	14
葛飾北斎の『富嶽三十六景』 名所絵ブームの火付け役に	"	" "	特集 ドラゴンへの挑戦 画龍点睛—龍はどう描かれてきたか	細野 正信	美術(月刊)	285
			特集 ドラゴンへの挑戦 龍のグラフィティ	編集部	" "	" "
			《光琳観の変遷》一八一五—一九一五	玉蟲 敏子	美術研究	371

雪舟等楊の研究 (三)―「秋冬山水図」 の情報学(上)―	島尾 新	美術研究	372
行事絵・名所絵として の最勝光院御所障 子絵―法金剛院との かかわり―	藤原 重雄	美術史	146
弘安本北野天神縁起 絵巻再考―系統諸本 の考察から―	須賀 みほ	" "	" "
江戸名所図の誕生― 細見美術館本「江戸 名所遊楽図屏風」を 中心に―	岡野 智子	" "	" "
元禄期における定家 詠月次花鳥歌絵につ いての考察―光起 本、探幽本、具慶本 を中心とした比較―	下原 美保	" "	" "
高橋草坪の山水画学 習と展開	古賀 道夫	" "	147
根津美術館本那智滝 図試論―制作環境を 中心に―	清水 健	美術史学 (東北大学)	20
胎藏四仏の配置にお ける台密系の特徴― 円珍による現図系配 置の改変―	松原 智美	美術史研 究	37
堂本家本「十二類合 戦絵巻」について	藤岡摩里子	" "	" "
高雄観楓図論	佐藤 康宏	美術史論 叢	16
I LOVE 琳派!!		美術の窓	193
金森宰司が考える 琳派とモダンアートの かたちと空間	松島 励路 金森 宰司	" "	" "
資料紹介 大阪天満 宮の「天神画像」	松浦 清	美術 フォーラム21	1
資料紹介 泉屋博古 館蔵《扇面散・農村 風俗図屏風》	並木 誠士	" "	" "
資料紹介 田中中華 《韃靼人狩猟図屏風》	中谷 伸生	" "	" "
資料紹介 横山清暉 《蘭亭曲水・舟遊図 屏風》	" "	" "	" "
資料紹介 富岡鉄斎 《巖栖谷飲図》	" "	" "	" "
資料紹介 円山応挙 《雪松図屏風》(三井 文庫)とその系譜	木村 重圭	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か1 江戸狩野批判 の真相	並木 誠士	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か2 狩野永岳はな ぜ無視されたのか 幕末京狩野の盛衰	中谷 伸生	" "	" "

特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か3 神話なき神話 「絵所預土佐光起」 の遍歴	実方 葉子	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か4 琳派なんて、 本当にあったのか?	安村 敏信	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か5 『光琳派画集』 の前後 尾形光琳を 中心とする近代 「琳派」観をめぐって	安田 篤生	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か6 「文人画」の 指し示すもの	田島 達也	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か7 「長崎派」考	黒川 修一	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か8 若冲という 事件	佐藤 康宏	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か9 大阪の憂鬱 /軽視された“美術 都市” 近世大坂画 壇研究に思う	橋爪 節也	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か10 美術史中無 尽蔵。男性有り、女 性有り…	パトリシア・ フィスター 原田 平作 白石 徳浩 訳	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か11 司馬江漢の アナモルフォーズ 洋画史の外へ	島本 澁	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か12 写楽はどの ように語られてきた か 日本美術史と浮 世絵師イメージ	岸 文和	" "	" "
特集 日本美術史再 考―江戸の美術はど のように語られてきた か13 アンリ・ フォションの浮世絵 解釈とジャポニスム 以後の日本美術史編 纂	藤原 貞朗	" "	" "
美術随想―絵と画と	武田 恒夫	" "	" "

司馬江漢『訓蒙画解集』をめぐる自筆書簡について—天理図書館所蔵日欧交渉資料(五)—	神崎 順一	ビブリア	112	絵画資料と歴史研究—『梅若権現縁起絵巻』を例として—	鈴木 敏弘	法政史学	52
山東京伝の肉筆画について—寛政以降の作品を中心に—	安井 雅恵	フィロカリア	16	新出の北斎版画(一)春朗期の錦絵作品	伊藤めぐみ	北斎研究	26
佐竹永海について	川延 安直	福島県立博物館紀要	14	北斎の新出版画(二)「風流隅田川八景 梅若の秋月」「風流隅田川八景 待乳の紅葉」	吉田和香子	"	"
府中市郷土の森博物館蔵(四季耕作図巻)について	小野 一之	府中市郷土の森紀要	12	北斎と葛飾派の川柳(二)—北斎と栄の句—	橋本 秀信	"	"
金沢文庫保管称名寺蔵「三十番神絵巻」考	佐伯恵里子	仏教芸術	243	名古屋の浮世絵師 牧墨僊の生涯と作品(二)(三)	榎本 紀子	"	26、27
秋田・当福寺蔵釈迦三尊像と京都・松尾寺蔵如意輪観音像—関東仏画論—	林 温	"	245	[完訳4][完訳5]フェノロサ『北斎・葛飾派肉筆画展カタログ』	山口恵里子	"	"
平等院鳳凰堂本尊後壁表面画主題に関する試論	大原 嘉豊	"	247	[完訳9]ミシェル・ルヴオン『北斎研究』	ミシェル・ルヴオン 三浦 和郎 訳	"	26
文化庁保管釈迦如来像—いわゆる如来鉢印像をめぐる—	林 温	"	"	北斎と葛飾派の川柳(三)—蹄齋北馬の句—	橋本 秀信	"	27
絵巻の中の考古学—信貴山縁起絵巻「尼公の巻」を中心に—	笠井 昌昭	文化学年報	48	資料紹介10北斎摺物「冷水売り」	伊藤めぐみ	"	"
《座談会》春本文化	花咲 一男 中野 三敏 山口 昌男 浅川 征一郎 延広 真治 司会	文 学 (季刊)	10—3	葛飾北斎肉筆鑑賞 五十九～六十七「卷子に亀図」「海老図」「竹に昼顔図」「なまこ図」「逆筆布袋図」「鶴図」「雲龍図」「鬼図」「紅葉に雁図」	永田 生慈	"	"
TOPOS EROTICA 春画絵馬探訪の記—『遊歴雑記』を歩く—	氏家 幹人	"	"	短冊型に印捺される印仏について	内田 啓一	町田市立国際版画美術館紀要	3
TOPOS EROTICA 春画史概説	浅野 秀剛	"	"	還俗僧万里集九周辺の画事について(四)—「番匠図」をめぐる—	高橋 範子	松ヶ岡文庫研究年報	13
TOPOS EROTICA 春画・春本の海外流出—コレクションを中心として—	白倉 敬彦	"	"	瑜祇経所説の三昧耶形図について	内田 啓一	密教図像	18
春本における雅と俗	中野 三敏	"	"	研究資料『不動雑記』	安嶋 紀昭	"	"
春本の読書	長友千代治	"	"	モノと怪異	佐野みどり	武蔵野美術	112
艶笑小咄と埒外噺本	武藤 禎夫	"	"	春信絵本の諸問題—墨摺絵本に見る図像の継承と展開—	藤沢 紫	武蔵野美術大学研究紀要	29
《座談会》春本・春画研究の臨界	上野千鶴子 田中 優子 佐伯 順子 スミエ・ジョーンズ 司会	"	"	菅田宗廟縁起絵巻の八幡神はなぜ顔もあらわに描かれたか—神社縁起絵巻における神と天皇の位置について—	山本 陽子	明星大学研究紀要	7
作中の京伝—『女夫香』の影印と翻刻—	延広 真治	"	"	江戸化政期の粹人、文人たち(17)(谷文一) 惜しまれる夭折の天才画家	渥美 國泰	目の眼	275
翻刻『笑本塊担枕』	早川 聞多	"	"				
総持寺蔵「高祖大師秘密縁起」考—新出断簡の紹介をかねて—	塩出貴美子	文化財学報	17				

北斎漫画異聞 北斎人物スケッチと広重狂戯	中右	瑛	目の眼	276					
白鳳会セミナー 印仏のたのしみ	高見沢忠勝	"	"	277					
江戸化政期の粹人、文人たち(18)(鈴木芙蓉・大岡雲峰) 谷文晁門三人の長老画家(上)	渥美	國泰	"	"					
はてな?おもしろ浮世絵161 江戸っ子の機知とユーモア 国芳の謎の数字 偶然か因縁か?死の予告	中右	瑛	"	"					
十六羅漢図像学事始	中村	興二	大和文華	102					
蔬菜のイコノグラフィーに関するノート	アルフリーダ・マーク	増記	隆介	訳	"	"			
高校の授業 現代社会 横穴墓の線刻壁画からせまる古代人の死生観	関	剛史	歴史地理教育	590					
常民研本「四季耕作子供遊戯図巻」の成立	河野	通明	歴史と民俗	15					
歴博対談 第22回 新収蔵『結城合戦絵詞』をめぐって—稀有な室町期合戦絵巻成立の背景—	真保 亨 井原今朝男	歴	博	92					
種姫筆 雪中富士図	寺西	貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	14					
豊前善光寺蔵「善光寺如来絵伝」考	吉原	浩人	早稲田大学大学院文学研究科紀要	44					
男色の花	丹尾	安典	"	"					
「指月」布袋の伝統—布袋は何を指しているのか—	阿部	朋絵	"	"					
<b>朝 鮮</b>									
朝鮮初期山水画論—「瀟湘八景図」を中心として—	廬	載玉	美学芸術学	14					
韓国の毘盧舎那仏の初期図像とその展開	朴	亨國	密教図像	17					
<b>インド・その他</b>									
アジャンタ基礎講座 『サマーヨーガ Tantra』の曼荼羅に関する一考察	安田	治樹	芸術新潮	591					
ネワール法界マンダラ図像資料	立川	武蔵	国立民族学博物館研究報告	23—4					
ネワール民家の入口を飾る壁画について	吉崎	一美	密教図像	17					
ローマンタン・チャンバ・ラカンの壁画マンダラについて—二階の瑜伽タントラ階梯のマンダラを中心に—	川崎	一洋	"	"					
研究発表 第3部会 6. サマルカンド壁画の古代朝鮮人使節について	影山	悦子	オリエン	ト	41—2				
鬼子母神と石榴: 研究の新視点	田辺	勝美	大和文華	101					
ペンコルチュエド仏塔不空罽索堂の胎藏曼荼羅諸尊壁画について	田中	公明	密教図像	17					
<b>図像・文様</b>									
<b>東 ア ジ ア</b>									
狛犬考(一)~(五)	上杉	千郷	陶	説	554, 555, 558, 559, 561				
桃の民俗誌—そのシンボリズム(その二)	王	秀文	日本研究	19					
<b>中 国</b>									
中国の仏教受容に見る習合図像の考察(下)—洛陽出土神仏画像鏡と梁山麻浩崖墓浮彫の二例—	紺野	敏文	芸術学	2					
蓬萊山と扶桑樹への憧れ—日本文化の古層の研究(上)—	岡本	健一	人間文化研究	1					
中国南北朝時代における植物雲気文について	酒井	敦子	美術史	147					
北魏時代後期の仏(道)教造像に見られる漢民族の伝統図像について	八木	春生	仏教芸術	245					
<b>日 本</b>									
伊達家の家紋に関する一考察—家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷—	高橋	あけみ	仙台市博物館調査研究報告	19					
様式と文様(7)物の格についての考察	原	一菜	目の眼	276					
様式と文様(8)吉祥小紋文様考	"	"	"	277					
<b>朝鮮・その他</b>									
古代韓半島の龍について	鄭	早苗	歴	博	95				
南インドにおける蓮華蔓草に関する一考察—ローマ帝政期のアカンサス唐草の受容と展開を中心に—	永田	郁	仏教芸術	246					

双頭馬の騎手—ク  
ションとカーフィ  
ル—カラシュをつな  
ぐもの—

藤原 達也 オリエン  
ト 42—1

麦積山石窟における  
北魏後期諸窟の研  
究—第133号窟を中  
心として— 八木 春生 筑波大学  
芸術研究  
報告 33

地図・絵図

日 本

中世称名寺における  
結界と絵図

飯田 晶子 建築史学 33

兜跋毘沙門天像の謎 神田 雅章 日本の国  
宝別冊  
(週刊朝  
日百科) 3

行基図系日本図の変  
遷について

福本健太郎 国学院雑  
誌 1106

東寺毘沙門天像—羅  
城門安置説と造立年  
代に関する考察— 岡田 健 美術研究 371

災害絵図研究試論  
18世紀後半から19世  
紀の日本における災  
害事例を中心に

北原 糸子 国立歴史  
民俗博物  
館研究報  
告 81

中国南北朝期におけ  
る菩薩像の胸飾につ  
いて 村松 哲文 美術史研  
究 37

調査・研究報告 絵  
図にみる近世の城陽

駒井 裕 城陽市歴  
史民俗資  
料館館報 4

盧舎那法界人中像再  
論—華嚴教主盧舎那  
仏と宇宙主的釈迦  
仏— 吉村 怜 仏教芸術 242

《資料紹介》千葉県立  
中央博物館蔵「明和  
五年土気東金街道御  
並木絵図」について

秋元 悦子 千葉県立  
中央博物  
館研究報  
告 12

過渡期の中国仏像に  
みられる模倣様式と  
変形様式—如来立像  
を中心に— 鄭 禮京 " 247

吉田城絵図4—地震  
破損図—

高橋 洋充 豊橋市美  
術博物館  
研究紀要 8

〔講演録〕中国の金銅  
仏—三世紀から六世  
紀まで— 馬 承源 鹿園雑集  
奈良国立  
博物館研  
究紀要 1

文化期信州更級郡に  
おける秣場出入りと  
絵図の作成—山布施  
村郷内山秣場出入り  
の場合—

館林 弘毅 長野県立  
歴史館研  
究紀要 5

会津コレクション二  
則—漢鏡に描かれた  
仙人・西晋墓出土の  
明器— 吉村 怜 早稲田大  
学大学院  
文学研究  
科紀要 44

日 本

研究余録 「山城国  
葛野郡班田図」補説

宮本 救 日本歴史 611

《論文》性海寺の仏  
像—特に本堂須弥壇  
安置の四天王像を中  
心として— 西林 孝浩 愛知県史  
山岸 公基 研究 3

一村限明細絵図地下  
図の図様と全体構成

山田 稔 山口県文  
書館研究  
紀要 26

明眼院仁王像調査報  
告 山崎 隆之夫 愛知県立  
芸術大学  
紀要 28

〈史料紹介〉周防長門  
両国「国絵図」関係資  
料

川村 克典 " "

日本彫刻史の研究—  
いくつかの発見— 副島 弘道 跡見学園  
女子大学  
美学・美  
術史学科  
報 27

研究 『紀伊国祇田  
荘絵図』に描かれた  
「島」の領有問題—中  
世から近世にかけて  
の渋田・島地域の開  
発史—

前田 正明 和歌山県  
立博物館  
研究紀要 4

岡谷・平福寺阿弥陀  
如来坐像について 織田 顕行 飯田市美  
術博物館  
研究紀要 9

彫 塑

中 国

齊 俑

于 保田 鹿島美術  
研究 16

鎌倉・南北朝時代の  
茨城の仏像 後藤 道雄 五浦論叢 6

江蘇漢代陶俑に関す  
る—考察—徐州北洞  
山漢墓出土陶俑を中  
心として—

傅 江 京都大学  
文学部美  
術史学研  
究室研究  
紀要 20

美術エッセイ 竜燈  
鬼・天燈鬼—鎌倉期  
の仏師康弁に想う 伊東 傀 絵 426

WORLD ここ掘  
れ、400体! 絶品  
の石仏群、北京で大  
公開中

鷺尾 卓彦 芸術新潮 599

調査研究事業の概要  
3 宇佐国東仏教美  
術文化財調査 大分県立  
歴史博物  
館年報 1998年度

宇賀弁才天像 キヤ サリ 鹿島美術  
ン・ルド 研究 16  
ビック

快慶作例を中心とす  
る中世結縁交名の比  
較研究 青木 淳 " "

広隆寺所蔵の半跏像  
について 林 南壽 " "

平成11年定期刊行物所載文献(古/彫)

大安寺系仏像における唐文化の受容	片岡 直樹	鹿島美術研究	16	湖東の聖徳太子像	小松 光江	聖 徳	161
神奈川・證菩提寺阿弥陀三尊像再考	塩澤 寛樹	神奈川県立博物館研究報告	25	比叢寺の聖徳太子像	"	"	162
新出・光明院大威徳明王像について	萩原 哉 津田 徹英	金沢文庫研究	303	天平時代に於ける四天王像の変遷	中西真美子	人文論究	49—3
日向大光寺の頂相二軀と造像の環境	井形 進	九州歴史資料館研究論集	24	資料保存技術室研究報告 万寿寺地藏菩薩像胎内文書の影写について	和田 幸大	東京大学史料編纂所研究紀要	9
興福寺南円堂鎌倉再興本尊像の作風	麻木 脩平	群馬県立女子大学紀要	20	描かれた仏師—中世における仏師図像とその史料性—	杉崎 貴英	同志社大学博物館学年報	31
木喰の自身像(前編)	孤杉 彩	芸術学学報	6	近世の毘沙門天曼陀羅について—神峰山寺所蔵「剣鎧護法像」及び「二十八使者像」と本山寺所蔵「毘沙門天曼陀羅」から—	滝沢 幸恵	"	"
ART NEWS 室生寺五重塔を救え!! こそぞって上京した仏たち		芸術新潮	594	南都の浄土信仰と造像活動の一形態—迎接坊経源と浄瑠璃寺九体阿弥陀像をめぐって—	磯波 恵昭	奈良学研究	2
新しく見出された誕生仏	光森 正士	国 華	1240	盧舎那仏造立前史	田村 円澄	南都仏教	76
石神石仏の分類について	三宅 宗議	埼玉史談	258	[調査報告]日光山輪王寺法華堂内の仏像群について(4)	北口 英雄	日光山輪王寺	66
岩船地藏探索記(上)表紙写真解説 東松山市岩殿正法寺の永俊銘石仏	斎藤 勝治 四方田 悟	"	"	東北の仏像群にみる独自性 木に対する強い意識	若林 繁	日本の国宝(週刊朝日百科)	97
口絵写真解説 玉川村龍福寺の古仏—阿弥陀如来坐像と毘沙門天破損仏—	石川 安司	"	"	仏像の変容と日本彫刻の歴史	田邊三郎助	"	105
肥前光浄寺の彫刻	竹下 正博	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	23	動物の彫刻 置物彫刻にも繋がる造形	"	"	"
黄葉信仰史 二十一~二十七	江口 正尊	史迹と美術	691,693,694,696~699	新しき神の出現 飛鳥寺釈迦如来坐像	浅井 和春	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	1
群馬県の石造延命地藏椅坐像	近藤 昭一	"	692	微笑する釈迦の世界 法隆寺金堂釈迦三尊像 法隆寺東院夢殿救世観音	"	"	"
蟹満寺観音菩薩坐像について—調査結果の紹介とあわせて—	八田 達男	"	695	思惟像—菩薩像—如来像	"	"	"
京都府山城町の国見観音石仏について	大鳥居総夫	"	"	白鳳の皇都にすまう仏たち	"	"	"
運慶の謎について(上)(中)(下)	小田 三月	"	695~697	博仏と白鳳彫刻	"	"	"
第八一四回例会 淡路島の仏像・石造品を訪ねて	坂田二三夫	"	696	調伏から鎮魂の祈りへ 東大寺法華堂不空鞞索観音立像	"	"	"
尼ヶ辻阿弥陀石仏調査報告	清水 俊明	"	698	天平の匠たちの技と自立 唐招提寺新宝蔵旧講堂木彫群 唐招提寺金堂盧舎那仏坐像	"	"	"
滋賀・歳苗神社の神仏習合遺品—神像・本地仏像・懸仏—	山下 立	"	699	東大寺大仏造立の思想的背景—唐・新羅・日本の『華嚴經』受容	朴 亨國	"	"
平清盛の信仰と平氏の造寺・造仏(下)	武笠 朗	実践女子大学美術史学	14	浄土僧と交感した山寺の霊像 神護寺金堂葉師如来立像	長岡 龍作	"	3
平成十年度国内調査報告 神仏習合と密教資料(2)—大分県国東半島・臼杵石仏群を中心として—	児玉 義隆	種智院大学密教資料研究所紀要	2				



神護寺・薬師如来立像再論	"	"	"	山梨・放光寺仁王像について	鈴木麻里子	"	245
兜跋毘沙門天像の謎	神田 雅章	"	"	東大寺大仏の化身論—蓮華藏莊嚴世界の構造について—	吉村 怜	"	246
空海独自の構想による密教群像 東寺(教王護国寺)講堂諸像	長岡 龍作	"	"	岡山・大通寺の不空羼索観音菩薩坐像	浅井 和春	"	"
神護寺と東寺—それぞれの密教	"	"	"	新薬師寺薬師如来坐像の造立年代とその背景—奈良時代末期の造東大寺司と薬師信仰をめぐる動向—	瀬谷 貴之	"	247
東寺観智院の九曜像	関根 俊一	日本文化史研究	30	猪名川町の木喰仏—調査概報—	栗田美由紀	文化財学報	17
東寺毘沙門天像—羅城門安置説と造立年代に関する考察—	岡田 健	美術研究	371	法隆寺金堂薬師仏光背銘文再読—法隆寺と舒明天皇—	北 康宏	文化史学	55
神護寺五大虚空蔵菩薩坐像の図像について	佐々木守俊	美術史	147	鑑真和上像をめぐつて	井上 一穂	"	"
興福寺四天王像の再検討—その肉身色を手掛かりとして—	瀬谷 貴之	"	"	僧形八幡神像の成立と展開—神護寺八幡神像と東寺八幡三神像をめぐつて—	津田 徹英	密教図像	18
葛井寺千手観音菩薩坐像小考—その制作事情に関して—	近藤 暁子	美術史学(東北大学)	20	妙見菩薩像の変容—千葉・個人蔵銅造妙見菩薩像懸仏の像容の検討を中心に—	山下 立	"	"
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか14 康知と円空	根立 研介	美術フォーラム21	1	遊行像の系譜—京都・六波羅蜜寺空也像をめぐる想像力—	田中 夕子	"	"
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか15 日本彫刻史における江戸時代の仏像彫刻	張 洋一	"	"	資料紹介 善光寺式阿弥陀如来像二例—東京国立博物館保管中尊像と福島・いわき市所蔵三尊像—	浅見 龍介	MUSE-UM	558
福岡・二丈町一貴山仁王像について—資料の紹介と胎内銘の検討—	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	9	六波羅蜜寺四天王像について	奥 健夫	"	559
鎌倉・明王院不動明王坐像と肥後定慶	塩澤 寛樹	仏教芸術	242	志賀・上品寺の菩薩立像(二軀)	岩田 茂樹	"	"
資料紹介 京田辺・法泉寺十一面観音立像と仏師院朝	伊東 史朗	"	"	東京国立博物館保管天王立像と兜跋毘沙門天	丸山 士郎	"	561
百済観音の装飾金具について—臂釧・腕釧に関する新知見を中心に—	加島 勝	"	243	薬師寺の大光背	伊東 史朗	"	"
中世前期史上に於ける九品来迎図の位相—壹岐鉢形嶺経塚出土滑石製弥勒如来像台座刻銘を中心に—	大原 嘉豊	"	"	東京国立博物館保管の慶算作毘沙門天立像とその修理	山本 勉	"	562
禅林寺阿弥陀如来立像(見返り阿弥陀)考—続・三尺阿弥陀像への視点—	伊東 史朗	"	244	謎を秘めた仏たち25 愛媛県庄の仏	川尻 祐治	目の眼	275
鎌倉時代以降における彫刻の衰微について—日本彫刻の可能性と限界—(前承)(承前)	清水 善三	"	244、245	謎を秘めた仏たち26 奥只見の仏	"	"	277
				来迎寺の地藏菩薩—彫像と縁起—	行俊 勉	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	6
				<報告>能登永光寺法堂及び僧堂の中世彫刻について	遠藤 広昭	横浜市歴史博物館紀要	3
				奈良国立博物館蔵十一面観音檀像について	井上 一穂	鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要	1

朝鮮					埴輪の絵	春成 秀爾	" "	" "
八大菩薩の圖像の成立と伝播に関する研究—韓国石窟庵の八大菩薩を中心に—	朴 亨國	鹿島美術研究	16		入れ墨のある土偶	設楽 博己	平出博物館ノート	13
韓国の毘盧舍那仏の初期圖像とその展開	"	密教圖像	17	面				
統一新羅金銅如来立像—大和文華館像の塔内発見の可能性	村田 靖子	大和文華	101	日本	伎楽面「呉女」について—その髪型の祖形と髪型からみた呉女の性格に関する一試論—	水野 さや	南都仏教	76
その他					仮面の世界 精神史を語る豊かな遺品	田邊三郎助	日本の国宝(週刊朝日百科)	105
クメール美術における密教的要素について	安元 剛	密教圖像	17		面打ち・大光坊幸賢と近江井関	"	文化財(月刊)	427
仏教と仏像の東漸—インダス河上流域で誕生した仏像	田邊三郎助	日本の国宝(週刊朝日百科)	105	書蹟				
マトウラーにおける仏像崇拜の展開(その3)	杉本 卓州	金沢大学文学部論集	19	中国				
ガンダラ美術と仏像の真贋	栗田 功	目の眼	276		江戸時代の輸入法帖と「李氏千字文帖」	大庭 脩	大阪府立近つ飛鳥博物館報	4
琉球通信45 破壊された大石仏	永井 信一	美術の窓	188		王羲之の『喪乱帖』と賀知章の『草書孝経』	角井 博	皇室の名宝(週刊朝日百科)	8
カーピシー出土仏像にみられる胎肩の意味	井上 陽	密教圖像	18		王羲之と道教	吉川 忠夫	書論	31
中央アジアにおけるナナー神の性質	武内 律志	古代オリエント博物館紀要	19		王羲之の書翰について	森野 繁夫	" "	" "
ニムルド北西宮殿出土の有翼精靈と王の従者	サミュエル・M. パレー 高橋夕美恵 訳	MIHO MUSEUM 研究紀要	2		王羲之の尺牘を問う 『世説新語』と王羲之の尺牘	杉村 邦彦 塚本 宏	" "	" "
土偶・埴輪					王羲之の尺牘—尺牘について—	源川 進	" "	" "
日本					蘭亭序攬字考	祁 小春	" "	" "
美術エッセイ 縄文・弥生の土偶たち	伊東 傀	絵	425		顔真卿書『東方朔画贊碑』に関する主要な題跋・著録の整理について	宮崎 洋一	" "	" "
長原タイプ終末期土偶試論	大野 薫	大阪市文化財協会研究紀要	2		書の鑑賞の第一歩	石川 九楊	墨	138
(資料紹介)小川コレクション旧蔵 岐阜市出土の埴輪	稲川由利子	岐阜市歴史博物館研究紀要	13		視点の交差点	石川 白石かずこ 鈴木 堀	" "	" "
縄文土偶と女神信仰—民族誌的情報の考古学への体系的援用に関する研究(3)—	渡辺 仁	国立民族学博物館研究報告	24—2		書論の広場3 沈曾植旧蔵『蘭亭集序七種』管見	菅野 智明	" "	" "
研究ノート 土偶形容器と鯨面付土器の製作技術に関する覚書—複製品の製作を通じて	設楽 博己	国立歴史民俗博物館研究報告	77		ガイドランス 明清の書ガイドランス 明清の名品紹介	中村 伸夫	" "	139
鯨面土偶から鯨面絵画へ	"	"	80		総論 明清都市経済と書画 都市は書画を育む	松村 茂樹	" "	" "
					書の旅10 長江流域編 湖北省博物館	高沢 浩一	" "	" "
					中国文人に見る落款	田中 東竹	" "	140

書論の広場5 揚攀墨跡本・王羲之書「寒切帖」実見の記	表	立雲	"	"	特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 聖語藏経卷の撮影準備から	杉本 一樹	"	"
書の旅11 長江流域編 「大吉買山地記考女曹娥廟」	高澤	浩一	"	"	伝源俊頼筆「民部類切」と『如意宝集』について	四辻 秀紀	金鯪叢書 史学美術 史論文集	26
書論の広場6 雁塔聖教序の線に関する考察—非正書体(行書体的表現)から正書体(楷書体的表現)への修正線として—	荒金	大琳	"	141	「堤中納言集」の伝来について	徳川 義宣	"	"
書の旅12 長江流域編 浙江省博物館・西泠印社・王陽明墓	高澤	浩一	"	"	風体についての一考察	東野 真紀	芸術文化 研究	3
臨書講座6 行書「争座位稿」	仲川	恭司	"	"	正倉院文書と聖語藏経卷 文書・経卷の森を歩く道標	杉本 一樹	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	5
汲冢書発見前後	吉川	忠夫	東方学報 京都	71	現存籍帳とその故地	"	"	"
西夏穀物賃借文書研究余滴(2)—『俄藏黒水城文献』所収仏典紙背文書について—	松沢	博	龍谷史壇	112	天平を彩った人びとの書	"	"	"
日 本					国分寺経とその周辺	西山 厚	"	"
「皇山切」について—新出断簡の紹介と二条良基との関わり—	別府	節子	出光美術 館館報	109	写経生の暮らし「月借錢解」の世界から	大平 聡	"	"
鳥丸光広の書にみる古典受容の一形態	笠嶋	忠幸	出光美術 館研究紀 要	5	開田図と初期荘園関係文書 荘園経営の実態	小口 雅史	"	"
伝耕雲明魏筆 歌集切に関する考察 付南北朝時代末期の耕雲明魏と禪林	別府	節子	"	"	伏見宮家蔵書群の形成と貞成親王	詫間 直樹	"	7
金剛寺蔵(佚名諸菩薩感応抄)所引『親世音応驗記』佚文	後藤	昭雄	大阪大学 文学部紀 要	39	九条家文書三千点の世界	飯倉 晴武	"	"
(資料紹介)史料探訪(2)—藤田美術館蔵天平古文書3通—	伊藤	純晃	大阪の歴史 と文化財	4	桂宮家と和歌	小池 一行	"	"
特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 写経の功德	高崎	直道	学 鏡	96—10	小野道風と三跡の活躍 和様書道の確立	古谷 稔	"	8
特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 正倉院聖語藏本の国語学的研究について	築島	裕	"	"	三の丸尚蔵館の名筆	平林 盛得	"	"
特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 聖語藏経卷と正倉院文書	皆川	完一	"	"	伝存稀な奈良・平安時代の天皇の書	"	"	11
特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 五月一日経『四分律』のことなど	末木文美士	"	"	"	太子ゆかりの名品二点 『聖徳太子画像』と『法華義疏』	東野 治之	"	"
特集 正倉院聖語藏経卷カラーCD出版記念 古訓点研究と正倉院聖語藏の経卷	月本	雅幸	"	"	「香紙切麗花集」卷第一春上の特質—新出の「香紙切」を中心に—	高城 弘一	国学院雜 誌	1104
					王朝料紙とその後—伝二条為氏筆「年魚市切」の紹介—	"	"	1111
					江戸時代初期の一休墨跡資料(一)—江月宗玩「墨跡写」—	岡 雅彦	国文学研 究資料館 文献資料 部・調査 研究報告	20
					資料紹介 大阪府・枚方市尊延寺所蔵文永十年摺写の大般若経について	稲城 信子	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	77
					『献物帳』試読	松尾 良樹	古代文化	487
					冷泉家の文化財について	冷泉 為人	国 華	1239
					藤原定家の筆跡について—『明月記』自筆本を中心に—	山本 信吉	"	"

平成11年定期刊行物所載文献(古／書)

安宅切本和漢朗詠集の価値	島谷 弘幸	三の丸尚蔵館年報・紀要	4	平城京右京八条坊一坊十四坪出土の漆紙文書	古尾谷知浩	"	"
献物帳の書に関する一試論	杉本 一樹	正倉院紀要	21	天平勝宝二・三年の寿量品四千巻書写について一関連帳簿の分析を中心に一	大隅亜希子	南都仏教	76
一九九八年出土木簡三題一「板野国守」「浄正五位下」「山部王」一	倉本 一宏	続日本紀研究	319	書跡・古文書関係国宝年表	編集部	日本の国宝(週刊朝日百科)	108
長屋王家木簡の御飯米について	八木 充	"	322	書道史から見た日本の書跡	古谷 稔	"	"
中世における王羲之の尊重	春名 好重	書論	31	歴史のなかの典籍・古文書	久保田 淳	"	"
書論としての古今集仮名序一和歌と女手との結ばれをめくって一	萱 のり子	"	"	古筆の文化史 国文学の立場からの古筆研究	小島 孝之	"	"
定家の若書き書風について	名児耶 明	"	"	古写本のもつ意味	久保田 淳	"	"
学芸員の見方 本物との邂逅 美術館は鑑賞天国	"	墨	138	天智天皇によって括められた王羲之の書法	飯島太千雄	日本歴史	608
再発見・桃山時代の書3「洒脱一鳥丸光広・華麗な変身の美学」	笠嶋 忠幸	"	"	史料散歩 他阿弥陀仏から他阿弥陀佛へ一遊行上人書状の書札札一	林 譲	"	610
日本の書文化2 当初に知覚された文字	松岡 正剛	"	139	二条大路木簡中の鼠進上木簡寸考	森 公章	"	615
書論の広場4 古筆端切考	中村健太郎	"	"	井伊家伝来の茶書と直弼の茶書収集	頼 あき	彦根城博物館研究紀要	10
再発見・桃山時代の書4「伝統美の本質一松花堂昭乗のレトリック一」	笠嶋 忠幸	"	"	新出の伝俊寛筆古今集切(ひえの山なる)	佐佐木忠慧	宮城学院女子大学研究論文集	89
再発見・桃山時代の書5 書の造形と絵ごころ、遊びごころ 後陽成天皇筆「二大字・龍虎」	"	"	140	新出の伝富小路資直筆拾遺集切(ゆく人を)	"	"	90
書史の変奏27 「仮名文」と美学一女房奉書論	石川 九楊	"	141	陽明文庫所蔵『春日権現講私記』一翻刻と解題一	行徳真一郎	MUSE-UM	558
再発見・桃山時代の書(最終回)「書のゆとり空間」近衛信尋筆・絵文	笠嶋 忠幸	"	"	新出の散らし書き書簡(金銀泥下絵料紙)	島谷 弘幸	"	559
日本の書文化4 「漢字の日本化にひそむ出来事」	松岡 正剛	"	"	後白河法皇の仮名書法と「梁塵秘抄断簡」一所の「ゆらぎ」と筆跡考証の視点一	古谷 稔	"	563
貫名菘翁とその時代幕末詩書画の世界	高橋 利郎	"	"	<b>朝鮮・その他</b>			
醍醐寺の角筆文献一附・醍醐寺蔵角筆文献一覽一	小林 芳規	醍醐寺文化財研究所研究紀要	17	統一新羅の伝達体系と「北海通」一韓国慶州雁鴨池出土の15号木簡の解釈一	李 鎔賢	朝鮮学報	171
天皇の書	下坂 守	淡交	655	大谷大学図書館所蔵パリー語貝葉写本の文献的研究 はじめに	吉元 信行	真宗総合研究所研究紀要	16
滋賀県聖衆来迎寺蔵『不空羼索神変真言経巻第三』について	石田 幸子	同志社大学博物館学年報	31	大谷大学図書館所蔵パリー語貝葉写本の文献的研究 1 大谷大学図書館所蔵パリー語貝葉写本の概要と入手経路	長崎 法潤	"	"
藤原宮出土「尾張国知多評」木簡補訂	寺崎 保広	奈良国立文化財研究所年報	1999—1				

大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 2 大 谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本一 覧(断簡を含む)	吉元 信行 長崎 法潤	" "	中国	コラム 普陀山の 「抗倭石刻」について	川越 泰博	アジア遊 学	3
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 3 『大谷大学図書館所 蔵パーリ語貝葉写本 目録』の一部補遺・ 訂正	" "	" "		コラム 寧波に現存 する博多在住宋人の 石碑—その発見・転 蔵・解説をめぐつ て—	王 勇	" "	" "
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 4 大 谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 特色	吉元 信行	" "		西安近郊の三階教史 跡—百塔寺と金川湾 唐刻石窟石経—	西本 照真	印度学仏 教学研究	95
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 5 ヒ ルマ文字版三蔵註釈 文献—tika(復註)の 一部とganthantara (諸雑典籍)、missaya (逐語訳)—	池田 正隆	" "		三蔵靈仙和尚道德頭 彰の碑	吉橋 孝治	埼玉史談	258
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 6 イ ンド・東南アジアに 伝わる羽衣説話—ス ダナとマノーハラ ー—	田辺 和子	" "		鄯乾墓誌銘について	山本 光朗	史 林	413
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 7 『大谷大学図書館所 蔵パーリ語貝葉写 本』に対する反響に ついて	舟橋 智哉	" "		書の旅9 麓山寺 碑・湖南省博物館	高澤 浩一	墨	138
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 付録1 パーリ語刊本・大谷 大学図書館所蔵貝葉 対照表	" "	" "		読み物 北碑派の情 熱	土屋 昌明	" "	139
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 付録2 大谷大学図書館所 蔵パーリ語貝葉 写本“PANNASA— JATAKA”と“Sisora —jataka”について	" "	" "		コラム 明清の篆刻	松村 一徳	" "	" "
大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本の 文献的研究 付録3 大谷大学図書館所蔵 パーリ語貝葉写本 Surupa—jataka	" "	" "		コラム 典型から個 性へ 揚州八怪作品 選	高木 聖雨	" "	" "
金石文など				書史の変奏25 唐様 の仮面をつけた御家 流 卷菱湖「白衆天 賀劉蘇州恩賜金紫」	石川 九楊	" "	" "
東アジア				中国レポート 近年 出土の陝西・秦漢瓦 当の珍品	馬 驥	" "	140
東アジアの石碑文化 と日本	東野 治之	IS 82		漱石と「石鼓文」の装 幀	栃尾 武	成城芸芸	167
				『稷山論書詩』の北碑 論	菅野 智明	中国近現 代文化研 究	2
				『玉冰鉄印存』に見る 鄭文焯の篆刻観	弓野 隆之	" "	" "
				戦国新出土文字資料 概述・補訂—貨幣部 分	江村 治樹	名古屋大 学文学部 研究論集	134
				北京・棲隠寺の仏塔 と碑文—劉定之と趙 孟頫—	松木 民雄	北海道東 海大学紀 要	11
				日本甲骨学事始—甲 骨発見百年に際し て—	松丸 道雄	歴史と地 理	526
			日本	特集 薬師寺東塔の 擦銘と西明寺鍾銘	藤善 真澄	アジア遊 学	4
				近世碑文異同攷—伊 能忠敬と渋江抽斎墓 碑銘について—	柴田 光彦	跡見学園 女子大学 紀要	32
				石は文より重し い しぶみを建てること	白幡洋三郎	IS	82
				記念碑文化の成立	羽賀 祥二	" "	" "

近世の百姓印章について—陸奥国磐井群・流・峠村の実物印章とそれらの使用例を通して—	大島 晃一	一関市博物館研究報告	2	『集古十種』印章類の資料的性格について	佐藤 洋一	"	"
資料紹介 史跡石垣山一夜城跡発見の加藤肥後守銘金石文について	大島 慎一	小田原市郷土文化館研究報告	35	日本古印譜の研究(序説) 藤貞幹以前について	小倉 慈司	"	"
印からわかること—元信印の場合—	山本 英男	学叢(京都国立博物館)	21	石文初文に続いて	佐野知三郎	史迹と美術	691
聖徳太子「伊予湯岡碑文」の解釈をめぐる—故小島憲之博士の御説に答える	上原 和	学 鏡	96-12	動向 研究会活動 東国文化研究会「板碑シンポジウム」に参加して	野尻かおる	地方史研究	282
内藤湖南の学問と方法についての試論—那須国造碑の書風を素材に—	奥村 郁三	関西大学東西学術研究所紀要	32	道場1遺跡出土の井戸祭祀に関わる遺物	野口 雅美	富山考古学研究	2
古印調査の経緯と概要	平川 南	国立歴史民俗博物館研究報告	79	墓誌ものがたり 墓誌にみる中国的嗜好	三輪 嘉六	日本の国宝(週刊日百)	99
日本古代印関係文献史料抄	"	"	"	重要文化財 肥前築山瓦経塚の研究報告一、二	松本 隆昌	仏教芸術	244、246
古印の実物写真	"	"	"	法隆寺金堂薬師仏光背銘文再読—法隆寺と舒明天皇—	北 康宏	文化史学	55
日本古代出土・伝世印集成 一覧・図面	"	"	"	考古学資料の情報集成的研究 板碑データの集成	小野 正敏	歴 博	97
群馬県境町「保泉・丸山西遺跡」出土の銅印	坂爪 久純	"	"	資料紹介 長保寺堅海一筆大般若經の奥書について	竹中 康彦	和歌山県立博物館研究紀要	4
平塚市構之内遺跡出土の銅印とその出土状況	上原 正人 田中 暁徳	"	"	早稲田大学図書館所蔵 蔵書印譜私稿(八)	大江 令子	早稲田大学図書館紀要	46
大宰府史跡出土の木製印章	狭川 真一	"	"	そ の 他			
筑前にゆかりある印章の伝来経緯について	"	"	"	印からみた南越世界(中篇)—嶺南古璽印考—	吉開 将人	東洋文化研究所紀要	137
「東大寺印」と「造東寺印」正倉院文書の分析から	田中 史生	"	"	新疆イリ川流域のソゴド語銘文石人について—突厥初世の王統に関する一資料—	大澤 孝	国立民族学博物館研究報告別冊	20
延暦十五年「越前国坂井郡符」にみえる「坂井郡印」について	三上 喜孝	"	"	シリア国エマル出土粘土板に捺された印章美術の研究	石田 恵子	鹿島美術研究	16
円形印の押された資料 正倉院文書と製塩土器	北條 朝彦	"	"	工芸(一般)			
漆紙文書における印影検出の可能性	古尾谷知浩	"	"	日 本			
鹿島郡の古印	瓦吹 堅	"	"	正倉院北倉とその宝物 聖武天皇遺愛の品を中心に	木村 法光	皇室の国宝(週刊日百)	1
古代の私印について	高島 英之	"	"	正倉院中倉とその宝物 中の蔵への移納で多様な収納品	三宅 久雄	"	2
私印論	土橋 誠	"	"	正倉院南倉とその宝物	成瀬 正和	"	3
考古資料としての古代銅印について	田路 正幸	"	"	工芸の優品と宮中伝来の屏風	太田 彩	"	10
古代郡印論	平川 南	"	"				
日本古代印研究 その歴史的・時系列的展開と律令国家の本質	久米 雅雄	"	"				

東北地方における近世食膳具の構成—近世墓の副葬品の検討から—	関根 達人	東北文化研究室紀要	40	資料紹介 足利・鏝阿寺所藏嘉暦元年銘鉦鼓	加島 勝	MUSE-UM	558
<b>朝鮮</b>				密観宝珠形舍利容器について	内藤 榮	鹿園雑集奈良国立博物館研究紀要	1
《資料講読》宣和奉使高麗図経	環黄海文化研究会	野村美術館研究紀要	8	[作品研究] 折り曲げられた鉄刀を伴出する経塚遺物	井口 喜晴	" "	" "
<b>宗教工芸</b>				実範伝の諸問題—その生涯と唐招提寺との関係を中心に—	金子 典正	早稲田大学大学院文学研究紀要	44
<b>中国</b>				<b>朝鮮</b>			
唐皇帝からの贈り物展—法門寺地下宮殿の宝物—	松本 伸之	陶 説	558	梵鐘の話(三) “曹溪寺鐘”について	杉山 洋	梵 鐘	10
中国鐘見学記	大鳥居総夫	梵 鐘	10	<b>武器・馬具類</b>			
<b>日本</b>				<b>中国</b>			
経塚資料覚書(二)	宮小路賀宏	九州歴史資料館研究論集	24	弩機銘文にあわられた魏と呉	今尾 文昭	文化学年報	48
若狭国太良荘で造られた東寺西院御影堂の鐘	小森 浩一	京都府立総合資料館紀要	27	<b>日本</b>			
ART NEWS 流転の国宝梵鐘、美術館入り		芸術新潮	593	鞍飾板の文様	桜井 久之	大阪市文化財協会研究紀要	2
御装束神宝の奉獻について—嘉保二年内宮遷宮を中心として—	八幡 崇経	皇学館大学神道研究所紀要	15	武器・武具の歴史 平安時代から江戸時代まで	池田 宏	日本の国宝(週刊朝日百科)	106
「節旗」考	加茂 正典	" "	" "	新井白石と正倉院の馬鞍	武部 敏夫	日本歴史	617
考古遺物が伝える信仰の姿 仏教考古	坂詰 秀一	日本の国宝(週刊朝日百科)	106	日本の初期騎馬文化の源流について—遼西発見の馬具、特に鞍金具に関連して—	中村 潤子	文化学年報	48
仏教文化が育てた金属工芸 仏教工芸	中野 政樹	" "	" "	許波多神社所蔵の鉄宝相華孔雀銅象嵌半舌鏡について	片山 寛明	MIHO MUSE-UM 研究紀要	2
日本の梵鐘 銘・姿・音の名鐘たち	香取 忠彦	" "	" "	特集 もののふの美と匠の技 武将の華—変わり形兜のうつろい—	編集部	目の眼	277
「武州高安寺」銘の中世鱧口	深澤 靖幸	府中市郷土の森紀要	12	内轡楕円形鏡板付轡の馬装	植田 隆司	龍谷史壇	111
琉球鐘	杉山 洋	梵 鐘	10	日本刀と大鎧の成立過程—金属考古学的立場からの考察—	佐々木 稔	歴史学研究	730
まぼろしの鐘	鈴木 重六	" "	" "	箴の成立—中世武士論・戦闘論に向けて—	近藤 好和	" "	" "
訪鐘記(最終回) 昭和五十年七月～五十五年九月	坪井 良平	" "	" "	資料紹介 新出の「村上武吉過所旗」について(上)	高橋 修	和歌山県立博物館研究紀要	4
[霊場の梵鐘]四 中国三十三観音札所の古鐘	眞鍋 孝志	" "	" "				
神奈川県厚木市・愛甲郡に江戸時代鐘を訪ねて	花房健次郎	" "	" "				
戻ってきた供出鐘 文京区白山の念速寺鐘	石田 肇 佐拔 邦一	" "	" "				

茶 道 具

日 本

毛利家と津田家一桃山期茶道史の一断面一	影山 純夫	近 代	84
茶の古典籍詳解8 天王寺屋会記	横田八重美	淡 交	650
歴代家元の手わざ二代少庵宗淳		"	651
茶の古典籍詳解9 烏鼠集四巻書	山田 哲也	"	"
床かざりの歴史	池田 俊彦	"	652
茶の古典籍詳解10 宗湛日記	横田八重美	"	653
歴代家元の手わざ仙叟宗室		"	654
茶の古典籍詳解11 山上宗二記	山田 哲也	"	"
茶の古典籍詳解12 草人木	横田八重美	"	655
《研究ノート》茶杓の変遷からみた天正十五年の位置づけ	高橋 清文	野村美術館研究紀要	8
《翻刻》野村得庵茶会記	野村美術館学芸部	"	"

装身具・化粧品

日 本

江戸城大奥の花簪	花咲 一男	化粧文化	39
江戸の女性を飾る華一秋文様の櫛・簪・紅板一	松木 幸男	目の眼	276

そ の 他

特集 化粧皿に見る楽園と饗宴のイメージ 北西インド・ガンダーラにおける楽園へのまなざし	服部 等作	アジア遊学	10
---	-------	-------	----

文 房 具

中 国

コラム 明清の文人と文房清玩	大橋 修一	墨	139
蚯蚓の眩5 歙州硯	小林 東五	目の眼	275

日 本

齋宮跡の硯	角正 芳浩	齋宮歴史博物館研究紀要	8
-------	-------	-------------	---

朝 鮮

蚯蚓の眩7 安東硯	小林 東五	目の眼	277
-----------	-------	-----	-----

装 潢 ・ 料 紙 装 飾

日 本

「料紙」ことはじめ	福田 行雄	墨	141
料紙の図柄あれこれ	高城 弘一	"	"
「西本願寺三十六人家集」成立のロマン	近藤 富枝	"	"
料紙に込められた日本人の美意識	"	"	"

陶 磁

東 ア ジ ア

一公開討論一「青花磁器」について		東洋陶磁	28
蚯蚓の眩6 陶片	小林 東五	目の眼	276

中 国

第一九八回水曜講演会 出光美術館の茶陶	林屋 晴三	出光美術館館報	106
陶範成形による隋唐の陶瓷器	亀井 明德	"	"
中国の磁器の起源一いわゆる「原始磁器」の陶器史上の位置づけを中心に一	弓場 紀知	出光美術館研究紀要	5
元代景德镇「御土窯」小考一その「官窯」としての性格について一	金沢 陽	"	"
福建省漳州窯から美濃・志野の成立過程へ一秀吉の新食器導入戦略としての漳州窯系陶磁・志野・唐津一	森村 健一	大阪市文化財協会研究紀要	2
天目茶碗の覆輪について	伊藤 純	"	"
隋唐期水注・浄瓶・罐の形式と編年	亀井 明德	"	"
北野天満宮所蔵青磁貼花牡丹唐草文花瓶の朱漆銘と修理	尾野 善裕	学叢(京都国立博物館)	21
明代中期正徳におけるアラビア文字青花についての一考察一その生産背景と景德镇窯業における位置一	佐藤サアラ	鹿島美術研究	16
明初「洪武様式」の青花・釉裏紅磁器の研究一遺品から推定される官窯設置年代一	長谷川祥子	"	"



ART NEWS 宋代青磁のスーパー兄弟、オールスター宋磁展で吠える!		芸術新潮	593	愛知県史を語る会抄録 第二回「常滑焼・瀬戸焼の流通」 「中世・常滑焼と渥美焼の全国分布」	中野 晴久	" "	
祥瑞へのみちのり(一)~(三)	武田 大	陶 説	551~553	シンポジウム「琳派の芸術—その継承とコンテクスト—」 第二セッション発表 日本の近世陶芸における琳派意匠の展開	荒川 正明 ニコル・ル マニエール	出光美術 館館報	108
中国陶磁にみる文様(4)—鳳凰—	豊増 晏正	"	551	肥前磁器と『八種画譜』—古九谷様式における人物意匠の背景—	荒川 正明	出光美術 館研究紀 要	5
中国陶磁にみる文様(5)—麒麟—	"	"	552	近世風俗画に描かれた陶磁器とその用途について	藤原 友子	鹿島美術 研究	16
中国陶磁にみる文様(6)~(8)—人物1~3—	"	"	553~555	北部九州における近世古窯跡の研究—筑前国鞍手郡山口村(現鞍手郡若宮町)浅ヶ谷窯跡について—	副島 邦弘	九州歴史 資料館研 究論集	24
中国陶磁にみる文様(9)—渣胎碗—	"	"	556	ひらがな日本美術史【連載】その五十九 さわるもの 本阿弥光悦作「白楽茶碗 銘不二山」	橋本 治	芸術新潮	590
法門寺出土の秘色青磁	出川 哲朗	"	558	ART NEWS 壺にはまった、目利きたちの信楽オマージュ		"	598
シンポジウム「宋・元時代の龍泉窯青磁を考える」について	森 達也	"	"	正倉院の三彩	巽 淳一郎	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	3
天目が眠る海底遺跡—定海白礁—一号沈船遺址—	野上 建紀	"	"	研究ノート 大宰府出土施釉陶器の編年について 九州の緑釉・灰釉陶器の基礎資料集成	山本 信夫	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	82
中国陶磁にみる文様(10)(11)—人物4、5—	豊増 晏正	"	558、559	古今〇観 あいまいさの魅力	荒川 正明	古今(日 本美術 誌)	2
田中本家伝来の煎茶具 宣興窯から磁胎七宝まで	仲野 泰裕	"	559	童仙房焼	村上 泰昭	史迹と美 術	694
中国陶磁にみる文様(12)—人物6—蕭何と韓信	豊増 晏正	"	560	銘のない姫路・東山焼—興禪寺山窯址・男山窯址の表採資料の紹介と検討—	村上 泰樹 塵 界	11	
元(至正)様式の青花磁器誕生についての—考察—景德鎮窯における各種技法変遷からの試論—	長谷川祥子	東洋陶磁	28	茶の湯のイコノロジー—9 井戸茶碗と三島茶碗	佐々木 隆 淡 交	651	
南北朝期貼花文青瓷の研究	亀井 明德	"	"	続・伊万里あれこれ(9) 新旧様式交替期の陶工を思う	小木 一良	陶 説	551
支那古陶磁 昔ばなし	藪山 順吉	"	"	「磁器の技と美」展に寄せて—輸出陶磁の隆盛と絵付業の開始—	服部 文孝	" "	
窯変の神秘 天目の美を科学する	島岡 達三	日本の国宝(週刊朝日百科)	107	伊万里研究日進月歩	後藤 正行	"	552
博山炉	大伴 公馬	日本文化史研究	30	上野焼試論(一)~(八)	毛利亮太郎	"	552~555 558~561
竜泉市大窯窯址を訪ねて	長谷部楽爾	目の眼	276				
隋唐陶器の研究—弁口瓶・鳳首瓶	亀井 明德	大和文華	101				
大和文華館所蔵「赤絵仙姑文壺」をめぐる諸問題	澤田 和人	"	102				
日 本							
愛知県史を語る会抄録 第二回「常滑焼・瀬戸焼の流通」 「古瀬戸の流通をさぐる」	藤沢 良祐	愛知県史研究	3				

平成11年定期刊行物所載文献(古/陶)

続・伊万里あれこれ(10) ひと過ぎる最近の贋作品	小木 一良	陶 説	552	茶道資料館開館二十周年記念特別展「茶の湯の名碗—和物茶碗—」よせて	赤沼 多佳	"	560
英国美術館より古い尾戸焼発見(其ノ一)(其ノ二)	森田 芳博	"	553、554	平成十一年秋季展茶碗—碗にこめられた想い	水田至摩子	"	"
真葛焼人物誌	佐藤 節夫	"	553	三井文庫別館秋季展館蔵 桃山の茶碗	清水 実	"	"
続・伊万里あれこれ(11) 初期輸出期色絵類の呼称について	小木 一良	"	"	特別展 山本コレクション受贈記念 美濃のやきもの—黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部の系譜—	編集部	"	"
古丹波の流れと丹波の茶陶	中西 薫	"	554	近世の茶碗(一三八) 松村弥平太	黒田 和哉	"	"
五条焼・清水焼人物誌(一)~(六)	佐藤 節夫	"	554、555、558~561	京都禁裏御用陶磁器について	三好 一	"	"
近世の茶碗(一三五) 今尾春岱焼・今春岱焼	黒田 和哉	"	554	「茶碗曾根」の海底遺跡—茂木港外遺跡—	野上 建紀	"	"
尾州犬山焼—吳州手写・雲錦手の華麗な競演—	仲野 泰裕	"	555	有田町周辺地域における初期の陶器の生産について	村上 伸之	"	561
根津美術館の「館蔵茶碗名品展」より—紹鳴・武家茶人ゆかりの井戸茶碗と館蔵の茶碗—	西田 宏子	"	"	塩田の窯(初期の陶器窯)について	峯崎 幸清	"	"
大正期を中心とする先駆的中国鑑賞陶磁器コレクションの形成と特質(一)~(五)—近代中国鑑賞美術成立史の視座から—	富田 昇	"	555、556、558~560	嬉野町内野山南窯跡の出土遺物	槐原 慎二	"	"
光悦の茶碗	林屋 晴三	"	556	唐津の土	須藤 善光	"	"
唐津の名碗	小田 栄一	"	557	陶片は語る(1)唐津	西岡 小十	"	"
唐津やきの魅力とルーツの謎(上)	中里太郎右衛門	"	"	唐津の系譜—表紙および口絵単色図版解説—	編集部	"	"
鉄絵付	毛利 茂樹	"	"	続・伊万里研究日進月歩—伊万里は唐津の延長—	後藤 正行	"	"
武雄古唐津—小山路窯の様式美とその歴史的背景について—	江口 勝美	"	"	富山県の古代施釉陶磁器	内田亜紀子	富山考古学研究	2
唐津古窯を発掘したバイオニアたち	黒田 草臣	"	"	尾張出土の焼継ぎ資料—名古屋城下を中心として—	浅野 弘子	名古屋市博物館研究紀要	22
伊万里誕生に関わる唐津と李朝、中国	小林 一良	"	"	茶碗にみる日本人の美意識	水尾比呂志	日本の国宝(週刊朝日)	107
奥高麗をめぐる謎(その8)—奥高麗茶碗の総数—	葛城三千子	"	"	本阿弥光悦 工芸作家の先駆	"	"	"
桃山文化人の茶碗に対する選択眼	伊藤 和雄	"	"	花の器 「供花」から「いけ花」まで	"	"	"
田中丸コレクションの古唐津	森 孝一	"	"	長崎県波佐見町近世窯跡群の調査と歴史的意義	中野 雄二	日本歴史	608
近世の茶碗(一三六) 奥田木白	黒田 和哉	"	558	近世都市江戸の「通い徳利」について	池田 悦夫	法政考古学	25
「柿右衛門・その様式の全容展」について	家田 淳一	"	559	「伊万里」調査最前線(14) 二十四孝と伊万里	大橋 康二	目の眼	275
元寇の島の海底遺跡—鷹島海底遺跡—	野上 建紀	"	"	日本のやきものにみる透彫	黒沢 悠	"	276
近世の茶碗(一三七) 鶴ヶ峯焼(平戸)	黒田 和哉	"	"	みるも語るもまた楽し その42 日本の滝そして、有田の赤絵具塗りつぶしの瓶	工藤 吉郎	"	277

「伊万里」調査最前線 (15) VOC文字入りの磁器	大橋 康二	" "		中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第1部 調査記録編 中央アジアの遺跡と陶磁器	佐々木達夫 杉村 棟	" "	
資料紹介 外国人の見た薩摩焼	山下 廣幸	黎明館調査研究報告	12				
李朝の焼きものと薩摩の焼きもの一壬辰倭乱と薩摩の陶工をめぐって一	北島 万次	歴史評論	595	中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 中央アジアの初期イスラーム陶器	岡野 智彦	" "	
朝鮮				中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 カザフスタン・オラトル遺跡出土陶器調査報告	杉村 棟 佐々木達夫	" "	
ART NEWS ある在日韓国人の夢 東洋陶磁美術館の新コレクション公開		芸術新潮	592	中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 中央アジアにおけるティームール時代の建築遺構と装飾	杉村 棟	" "	
ひとりよがりのものさし 第8回 李朝白磁とデルフト白磁	坂田 和実	"	596	中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 中央アジアの陶器窯と窯道具	岡野 智彦	" "	
朝鮮時代の磁器	鄭 良謨	東洋陶磁	28	特集 渤海の陶器と磁器	エフゲニア・I・ゲルマン アナトリー・エリシェフ訳	アジア遊学	6
透彫のやきものをめぐって	酒井 淳	目の眼	276	特集 ロシア沿海州中世遺跡出土の施釉陶器と磁器	エフゲニア・I・ゲルマン 荒井 雅子訳	" "	
二つの高麗青磁の化粧箱をめぐって	川島 公之	" "	" "	特集 渤海三彩陶試探	亀井 明德	" "	
李朝の焼きものと薩摩の焼きもの一壬辰倭乱と薩摩の陶工をめぐって一	北島 万次	歴史評論	595	いわゆる「サーリー手」陶器に関する一考察	山内 和也	岡山市立オリエンタル美術館研究紀要	16
その他				中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 アナウのモスクの龍文モザイク・タイル	岡野 智彦	シルクロード学 研究	7
ベトナム青花の変遷一文様を中心に一	矢島 律子	東洋陶磁	28	中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 第2部 論文編 トルクメニスタン出土陶器調査報告	佐々木達夫 野上 建紀	" "	
海外レポート 日本出土のベトナム陶磁器の生産地を求めて	手塚 直樹	文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	62	イスラームの染付	佐々木達夫	東洋陶磁	28
クメールの初期灰釉陶と古窯址	津田 武徳	東洋陶磁	28	土 器			
カンボディア・タニ窯跡群調査への予察	杉山 洋	奈良国立文化財研究所年報	1999-1	日 本			
ラオス陶磁と地下式窖窯(二)	津田 武徳	陶 説	551	《論文》奈良前期の須恵器生産と金属器一法隆寺献納宝物佐波理蓋を模倣した須恵器一	城ヶ谷和広	愛知県史 研究	3
タイ国南部のコーカオ島とポー岬遺跡出土のいわゆる北方白磁の産地推定	何 翠媚 ベネット・ブロンソン 二宮 修治 網干 守一雄	東洋陶磁	28				
インドネシア・バンテン遺跡出土の陶磁器	大橋 康二 坂井 隆	国立歴史民俗博物館研究報告	82				
ビルマ陶磁について	矢島 律子	鹿島美術研究	16				
中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁 序章 中央アジアのイスラーム陶器と中国陶磁器	杉村 棟	シルクロード学 研究	7				

平成11年定期刊行物所載文献(古/土)

岩手賢陸前高田市矢作町出土の経壺について	相原 康二	岩手県立博物館研究報告	17	縄文時代早期後葉土器編年における北関東地方の様相—栃木県佐野市流出原遺跡出土土器の型式学的検討—	阿部 芳郎	駿台史学	106
弥生時代北部東北地方の「クマ意匠」の再考	女鹿 潤哉	" "	"	資料紹介 茨城県石岡市北の谷遺跡出土の人面墨書土器の検討	吉澤 悟	筑波大学先史学・考古学研究	10
愛知県出土中世の甕棺墓に関する調査報告	石岡ひとみ	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	4	資料紹介・研究ノート(1)津山の弥生土器3(器台形土器)	中山 俊紀	津山弥生の里	6
水差土器一考	田中 清美	大阪市文化財協会研究紀要	2	資料紹介・研究ノート(2)吉見林道法面採集の土器	平岡 正宏純	" "	"
難波地域の古代土器—土器における都市性の把握—	京嶋 覚	" "	"	資料紹介・研究ノート(3)弥生時代後期の注口土器について	川村 雪絵	" "	"
資料紹介 崇禪寺遺跡の古墳時代初頭の土器様式	杉本 厚典	" "	"	資料紹介・研究ノート(4)津山市横山出土の須恵器	行田 裕美純	" "	"
池島・福万寺遺跡(福万寺1期地区)における絵画・記号土器について～弥生人の絵ゴコロを追う～	新倉 香	大阪文化財研究	17	小特集「在地・地域を考える」精製土器と粗製土器—学史的検討と土器型式による地域認識の問題—	阿部 芳郎	帝京大学山梨文化財研究所研究報告	9
朝光寺原式土器の成立をめぐる	浜田 晋介	川崎市市民ミュージアム紀要	11	小特集「在地・地域を考える」土器産地推定における在地—岩石学的胎土分析から推定する土器の移動	河西 学	" "	"
徳之島カムィヤキ古窯跡採集の南島陶質土器について	赤司 善彦	九州歴史資料館研究論集	24	小特集「在地・地域を考える」縄文土器に含まれる粗粒物質のテクスチュアル・アナリシス—製作地と製作技法解明への一試論—	谷口 陽子	" "	"
石田川式土器の再検討(2)—壺形土器を中心として—	小泉 昌美 井上 飯島 義雄	群馬県立歴史博物館紀要	20	佐野台地における古墳出現期の土器について	岡本淳一郎 三島 道子 町田 賢一 上田 尚美	富山考古学研究	2
論説・報告 宮滝式土器の再検討	和田 秀寿	考古学雑誌	84—2	下老子笹川遺跡の「大地型」壺について	金三津英則	" "	"
ベリリウム・鉛同位体による南西諸島出土縄文前期土器の産地と流通の研究	今村 峯雄 坂本 稔 齋藤 努 西谷 大	国立歴史民俗博物館研究報告	77	古代越中の墨書土器・硯に関する覚え書き	山元 祐人	" "	"
土器の流通・消費からみた平安京とその周辺	高橋 照彦	" "	78	道場1遺跡の器種組成について(予察)	酒井 重洋	" "	"
権現坂遺跡出土の刻印須恵器から	清水 正明	" "	79	舟形を呈する浅鉢—下老子笹川遺跡出土資料の紹介—	上田 尚美	" "	"
古印を捺した土器土器に印を捺すということ	榎村 寛之	" "	"	長野県富士見町札沢遺跡出土の釣手土器	綿田 弘実	長野県立歴史館研究紀要	5
縄文時代から弥生時代へ(1)—大洞A式・A'式土器の概念—	石岡 憲雄	埼玉県立博物館紀要	24	下部単孔土器の研究	渡辺 誠	名古屋大学文学部研究論集	134
「茅渟県陶邑」の最近の考古学成果から—陶器山地区北部を中心として—	樋口 吉文	堺市博物館館報	18	土器の起源と洞六遺跡—アジアの中の日本の地域性—	鈴木 重治	文化学年報	48
遠賀川式土器を論じて、海洋神・金属資源に及ぶ	佐佐木忠慧	人文社会科学論叢	8				
千葉県香取郡山田町向油田貝塚の土器	外松 恵	人類学博物館紀要	18				

重弧文土器の終焉—  
中・南九州における  
古墳時代初頭前後の  
一動向

河森 一浩 " "

弥生時代における土  
器の製作技術交流

西谷 彰 待兼山論 33

山梨市牧洞寺古墳採  
集の須恵器について

石神 孝子 山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化センター研究紀要 15

朝鮮・その他

資料紹介 韓国江原道溟州下詩洞古墳群出土遺物—東京大学工学部建築史研究室所蔵資料の紹介—

定森 秀夫 朱 雀 11

論文・研究ノート  
陶質土器高坏形器台  
について

竹谷 俊夫 天理参考館報 12

研究ノート 後期銅  
石器時代のアルスラ  
ンテペートランス  
コーカサス文化とメ  
ソポタミア文化との  
結節点—

紺谷 亮一 オリエン ト 42—1

瓦

日 本

近世・堺の瓦屋仲間  
と刻印瓦—住友銅吹  
所跡出土の堺刻印瓦  
に寄せて—

嶋谷 和彦 大阪市文化財協会研究紀要 2

出土瓦からみた難波  
京から大坂築城まで

宮本 佐知子 " "

奈良時代 大宰府の  
瓦は縄目瓦であった  
—第九次南北溝S  
D2340調査から—

栗原 和彦 九州歴史資料館研究論集 24

総持寺所蔵・伝阿武  
山古墳出土埴

奥村 茂輝 古代文化 485

肥前名護屋城跡出土  
の飾瓦

宮崎 博司 佐賀県立名護屋城博物館研究紀要 5

佐賀における煉瓦に  
ついて

宇治 章 佐賀県立博物館・美術館調査研究書 23

七世紀における造瓦  
組織の発展

梶原 義実 史 林 418

論文・研究ノート  
軽寺の瓦

太田 三喜 天理参考館報 12

大山麿寺出土の文字  
瓦

梶山 勝 名古屋博物館研究紀要 22

川原寺出土重弧紋軒  
平瓦細見

花谷 浩 奈良国立文化財研究所年報 1999—1

平城宮の隅木蓋瓦

千田 剛道 " "

武蔵国府出土の鬼面  
線刻埴

英 太郎 府中市郷土の森紀要 12

金 工

東 ア ジ ア

古代東アジアの熨斗

江 介也 文化学年報 48

中 国

春秋戦国時代中原に  
おける帯鉤の編年と  
その使用形態(上)

廣川 守 泉屋博物館紀要 16

博山炉

大伴 公馬 日本文化史研究 30

日 本

金銅製帯金具—清野  
謙次コレクションか  
ら—

岩瀬 透 大阪府立近つ飛鳥博物館報 4

南鐘撞堂谷出土の鉄  
製品について

村上 薫史 大 美 和 97

古代の鉄生産につい  
て—美濃・金生山の  
鉄をめぐる—

八賀 晋 学 叢(京 都国立博物館) 21

資料紹介 熊本県竜  
北町物見櫓古墳出土  
の金製垂飾付耳飾

今田 治代 考古学雑誌 84—2

離宮の鈔金具

斎藤 英俊 皇室の名宝(週刊日百科) 6

8世紀の透彫金具の  
製作について—正倉  
院宝物『幢幡絞具  
第一号 金銅華鬘形  
裁文』の製作工程を  
中心に—

西川 明彦 古代文化 487

正倉院銅製品の製作  
地等に関する検討—  
化学組成等から—

成瀬 正和 " "

正倉院の佐波理

橋詰 文之 " "

中・近世期の金属材  
料と製作技術の変遷

村上 隆 奈良国立文化財研究所年報 1999—1

黄金の美・黒鉄の美  
工芸品に見る日本人  
の美意識

原田 一敏 日本(週刊日百科) 106

大阪府の鑄造遺跡  
(2) 河内鑄物師遺  
跡をめぐる

西川 寿勝 梵 鐘 10

兵庫県金谷譲尾の観  
音様と金屋村鑄物師  
長谷川氏について

片山 昭悟 " "

地下式横穴墓に副葬  
された鉄剣装具の復  
元

近藤 協 宮崎県総合博物館研究紀要 21

<b>朝鮮・その他</b>									
朝鮮三国時代における漁具出土の墳墓—古墳出土の漁具との対照検討をかねて	門田 誠一	文化学年報	48	秀明ファミリーコレクションの中国南部のベル	ロザン・フオン・ファルケンハウゼン 前田 昭代 訳	MIHO MUSEUM 研究紀要	2		
<b>鏡</b>				<b>日 本</b>					
テル・マストゥーマ遺跡出土鉄関連遺物の自然科学的調査結果について	赤沼 英男	古代オリエント博物館紀要	19	『聞く銅鐸』への一考察—舞面上の型持ち孔を中心として—	菊池 勝	古代文化	482		
<b>中 国</b>				(資料紹介)石山寺辺銅鐸出土記録「古銅奇物記」	古川与志継	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	6		
<b>館蔵の銀貼鏡に関する一考察—銀貼小鏡を中心に—</b>				<b>そ の 他</b>					
八波 浩一	出光美術館研究紀要	5	オルドス青銅器文化の地域性と展開(上)(下)	宮本 一夫	古代文化	488、489			
正倉院の鏡	成瀬 正和	皇室の名宝(週刊朝日百科)	1	<b>刀剣・刀装・槍</b>					
<b>所謂「伯牙弹琴鏡」の型式分類と図様解釈</b>				<b>東 ア ジ ア</b>					
植松 勇介	美術史	146	東アジアの古代象嵌銘文大刀	西山 要一	文化財学報	17			
会津コレクション二則—漢鏡に描かれた仙人・西晋墓出土の明器—	吉村 怜	早稲田大学大学院文学研究科紀要	44	<b>日 本</b>					
<b>日 本</b>				資料紹介 福岡県夜須町出土の銅戈	伊崎 俊秋	甘木歴史資料館報	1		
論説・報告 中国で発見された15～18世紀の日本銅鏡	薛 鄭	考古学雑誌	84—3	正倉院の刀剣 奈良時代の装飾・実用の刀剣	加島 進	皇室の名宝(週刊朝日百科)	2		
正倉院の金工—鏡と銀器—	西村 俊範	古代文化	487	天皇家ゆかりの刀剣 曲身剣再考	小笠原信夫 桐原 健	古代文化	11 485		
第16回文化財講演会 報告「庵寺山古墳出土の鏡」	荒川 史	城陽市歴史民俗資料館館報	4	高力高長の太刀奉納について	池田 伸子	埼玉県立博物館紀要	24		
第16回文化財講演会 記念講演「鏡と古墳—城陽の鏡をめぐる—」	樋口 隆康	" "	" "	肥前刀雑記(31)八代忠吉に残る課題	横山 学	刀剣美術	504		
第17回文化財講演 和鏡及び日本の魔鏡について—魔鏡の実写と銅鏡の製作—	山本 鳳龍	" "	" "	刀装・刀装具初学教室(55)(56)柳川家について	福士 繁雄	"	504、505		
三段式神仙鏡とその相関問題についての研究—その日中交流史における位置づけを考える	霍 巍	日本研究	19	刀装具の画題(55)俱利迦羅龍・這龍	"	"	504		
鑄造鏡の変遷 唐・宋鏡から和鏡へ	前田 洋子	日本の国宝(週刊朝日百科)	106	矢上光広について	福士 繁雄	"	"		
<b>青 銅 器</b>				(郷土刀紹介)八戸藩鍛冶・精社斎宗有一作刀と系譜	富岡 昭	"	505		
<b>中 国</b>				刀装具の画題(56)岩夷・八駿馬	"	"	"		
洛陽出土伝世品青銅器の研究(一)	竹内 康浩	東洋文化研究所紀要	138	二代与三左衛門尉祐定について—未備前鍛冶の終焉を考える	横田 孝雄	"	506		
				[資料紹介]繁昌の作例紹介	近藤 邦治	"	"		
				刀装・刀装具初学教室(57)(58)大森家について	福士 繁雄	"	506、507		

刀装具の画題(57)人間万事塞翁が馬・一陽来復		"	506	資料紹介～審査の現場から～興味深い点を提示する薩摩の千疋猿 千疋猿透鐔	久保 恭子	"	"
貝三原の探索	中島 義一	"	507	刀装・刀装具初学教室(63)桂・江川家について	福士 繁雄	"	"
刀装具の画題(58)鶴退治・女三の宮		"	"	刀装具の画題(63)寒山拾得・豊干禪師		"	"
美作の刀匠・兼先の復権	鍋島 英夫	"	"	第二回薫山刀剣学奨励基金による研究論文・努力賞二席 名物丈木放	中村 達夫	"	513
安芸国輝広の研究―二代銘について(上)(下)	藤中 浩吉	"	508、509	刀装・刀装具初学教室(64)稲川庄三郎系・菊池序克系について	福士 繁雄	"	"
仙台藩刀匠考(四)奥州刀工 盛命	佐藤 一典	"	508	刀装具の画題(64)登竜門・鮎		"	"
刀装・刀装具初学教室(59)大森家の門流について	福士 繁雄	"	"	資料紹介～審査の現場から～会津刀三工―長国・国貞・兼友―	飯田 俊久	"	"
刀装具の画題(59)宇治川の先陣・熊谷と敦盛		"	"	第二回薫山刀剣学奨励基金による研究論文・努力賞三席 蓬萊の文様―その解釈と刀身彫刻・刀装小道具にみる意匠表現―	久保 恭子	"	514
資料紹介～審査の現場から～桜花の刻印が打たれた三代山吉の鐔 花唐草文図鐔	飯田 俊久	"	"	刀装・刀装具初学教室(65)三宅・臨川堂・佐野氏系について	福士 繁雄	"	"
刀装・刀装具初学教室(60)菊岡派について	福士 繁雄	"	509	刀装具の画題(65)檀溪渡河・太公望		"	"
刀装具の画題(60)桐の紋章・蟻通の宮		"	"	資料紹介～審査の現場から～水戸の光彩を放つ高瀬榮寿の作品 河骨に燕図大小鐔	久保 恭子	"	"
資料紹介～審査の現場から～加納夏雄の多彩な一頁を飾る作品 舞鶴に矮人図鐔	久保 恭子	"	"	仙台藩刀匠考(五)田代秀太郎長俊作の槍によせて	佐藤 一典	"	515
第二回薫山刀剣学奨励基金による研究論文・優秀賞 校正古刀銘鑑発禁の謎	佐藤 幸彦	"	510	刀装・刀装具初学教室(66)石黒派について	福士 繁雄	"	"
刀装・刀装具初学教室(61)(62)岩本家について	福士 繁雄	"	510、511	刀装具の画題(66)川中島の一騎打ち・明智左馬助と琵琶湖		"	"
刀装具の画題(61)朝妻船・牽牛織女(七夕)		"	510	資料紹介～審査の現場から～又七の業を受け継ぐ二工 重之深信	飯田 俊久	"	"
三原地誌考	間宮 光治	"	"	日本刀成立の過程を探る 日本刀に反りができるまで	廣井 雄一	日本の国宝(週刊朝日百科)	100
資料紹介～審査の現場から～角津田時代の新発見	檜山 正則	"	"	弥生時代の銅戈に鑄出された絵画と記号	常松 幹雄	福岡市博物館研究紀要	9
掌中古刀銘鑑(雲智明集)の正体	佐藤 幸彦	"	511	特集 もののふの美と匠の技 考察：刀物一刃物鍛冶が科学する―	岩崎 重義	目の眼	277
刀装具の画題(62)一路平安・大黒天		"	"				
資料紹介～審査の現場から～二代南紀文珠金助重国の脇指	飯田 俊久	"	"				
第二回薫山刀剣学奨励基金による研究論文・努力賞一席 天正大洪水による備前長船壊滅及び吉井川西遷説に対する一考察	石原 常雄	"	512				
[資料紹介]コンプトン・コレクション(六)	横山 学	"	"				

特集 もののふの美 と匠の技 鏝と秋	棟方 貞夫	目の眼	277	裂地としてみた正倉 院の調施について	尾形 充彦	正倉院紀 要	21
<b>染織・服飾</b>				《論文・研究報告 (3)沖縄伝統工芸 の時空間メタボリス ムに関する研究—そ の稿1:沖縄の工芸 文化1(紅型染織、 織物)—	石井 廣志	東京家政 学院生活 文化博物 館年報	7・8 合号
<b>東アジア</b>				古代衣料語彙とその 歌言葉—麻と木綿を めぐって—	木村 紀子	奈良大学 紀要	27
古代東アジアの織機 人間の能力を重視	植村 和代	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	4	芸能衣装と染織技法	長崎 巖	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	107
<b>中国</b>				遠江における原始・ 古代の紡織具	鈴木 敏則	浜松市博 物館報	12
明朝による服制の改 定—『孝慈録』の編 纂—	井上 徹	東洋学報	81—1	第50回美学会全国大 会発表要旨—能装束 における規式と数 寄—旧加賀藩前田家 の翁狩衣を中心に—	正田 夏子	美 学	199
錦の歴史 織物の金 メダリスト	河上 繁樹	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	107	十徳の変遷—中世を 中心に—	沢田 和人	美術史	147
「珠光緞子」松屋肩衝 茶入仕覆について	吉岡 明美	野村美術 館研究紀 要	8	特集 日本美術史再 考—江戸の美術はど のように語られてき たか? 「女のきも の」は「江戸の美術」 か?	森 理恵	美術 フォーラ ム21	1
<b>日本</b>				法隆寺献納宝物 幡 と幡足、平絹・錦残 欠—平成九年度の修 理を終えて—	沢田むつ代	MUSE- UM	558
研究論文 京紅板締 めの研究3—京紅板 締めの技術面の考 察—	石塚 広	URYU : 京都芸術 短期大学 紀要	21	<b>そ の 他</b>			
仏鑑禅師付法伝衣の 書をめぐって	古田 紹欽	大倉山文 化会議研 究年報	10	緋の道 東南アジア から日本まで	吉本 忍	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	107
在米国沖縄関連染織 品調査研究報告	ルバース 吟子	沖縄県立 芸術大学 紀要	7	近世初期風俗画に顕 れたインド更紗—東 洋館開館三十周年記 念特集陳列から—	小笠原小枝	MUSE- UM	563
辻が花	木下 明子	華頂博物 館学研究	6	<b>漆 工</b>			
京紅板締めの技法— 版木および彫刻刀に ついて—	石塚 広	Quarter- ly Report	19	<b>中 国</b>			
絵画のなかの京紅板 締め	並木 誠士	" "	" "	<b>日 本</b>			
ART NEWS 秀吉 の体臭が…!? 明 王朝から貰った装 束、初公開		芸術新潮	594	<b>漆 工</b>			
ART NEWS 武士 たるものは“小紋”で 決めろ!		" "	598	<b>中 国</b>			
正倉院の染織品 色 彩の奇跡の内容に迫 る	尾形 充彦	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	4	堆朱楊成による唐物 漆器の鑑定	小池 富雄	金鯱叢書 史学美術 史論文集	26
古代の織技、経錦と 緯錦	藤井 健三	" "	" "	北魏孝子伝図研究に おける二、三の問題 点	蘇 哲	実践女子 大学美学 美術史学	14
天平の染人たちの夢 正倉院の夾纈	北澤 勇二	" "	" "	<b>日 本</b>			
仏天蓋を飾った垂飾 残片 宝相華文刺繍 を読む	大山 明彦	" "	" "	近世漆工芸における 中国趣味の受容と展 開—小川破笠を中心 に—	小林 祐子	鹿島美術 研究	16
日本古代の機織り文 化	前田 亮	" "	" "				



正倉院宝物の螺鈿技法・修理・復元の視点から	北村 昭齋	皇室の名宝(週刊朝日百科)	2
摩尼宝珠曼荼羅時絵厨子	内藤 榮	国画華	1247
蒔絵・その技と美	日高 薫	日本の国宝(週刊朝日百科)	107
第50回美学会全国大会発表要旨「高台寺蒔絵」再考	並木 誠士	美学	199
特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか16 独り歩きする蒔絵師伝と蒔絵銘江戸時代蒔絵研究の問題点	土井久美子	美術フォーラム21	1
塗料から見た輸出漆器の受容について	加藤 寛	保存科学	38
東京国立博物館保管「楼閣山水蒔絵椅子」(H一四五二八)一十七世紀後半の輸出漆器作例として—	竹内美奈子	MUSE-UM	563
海を渡った漆器	日高 薫	歴史博	94

石 工

日 本

越前における法華信仰の展開 敦賀鋳物師地区の小型石造物考	古川 元也	国立歴史民俗博物館研究報告	77
板碑の史料学のために—仙台市の事例から—	大石 直正	古文書研究	50
藤原庚申	高島 英一	埼玉史談	258
〔口絵写真解説〕妙善院嘉暦四年銘五輪塔(所沢市)	栗原 伸道	"	259
三弁宝珠付紅頗梨色阿弥陀如来板碑の諸問題(上)(中)(下)	野村 隆	史迹と美術	692~694
双円性海塔私考	"	"	696
鞍馬寺凝灰岩宝塔の系譜(四国讃岐の宝塔との関連性)	森 章	"	697
〔資料紹介〕安房国における大和石工橘氏の作例	野村 隆	"	699
岡益庵寺層塔に関する一考察	森 章	"	700
薬師寺仏足石の来歴について	斎藤理恵子	美術史研究	37
重源と醍醐寺・村上源氏(上)—大藏卿栢杜堂と醍醐寺の三角五輪塔を巡って—	西川 新次	密教図像	17

墓塔・墓標の二次的使用に関する一考察—一中・近世における諸例の分析を通して—	濱田 幸司	歴史研究(大阪教育大学)	36
--	-------	--------------	----

そ の 他

論説・報告 遺物の中の異物—インダス文明の遺物から	後藤 健	考古学雑誌	84—4
軍事遠征と記念碑建立—アッシリア王シャルマネセル3世の場合—	山田 重郎	オリエント	42—1

木 竹 工

中 国

特集 テーブルと腰掛から見た『清明上河図』	小泉 和子	アジア遊学	11
-----------------------	-------	-------	----

日 本

正倉院の楽器	阿部 弘	皇室の名宝(週刊朝日百科)	1
清涼殿の調度	小泉 和子	"	6
東日本における古墳出現期の木工集団(上)(下)	飯塚 武司	古代文化	484、485
史料と情報 和人を魅了した蝦夷細工—手ぬぐい掛けを例にして—	大塚 和義	民博通信	84

ガラス工

中 国

古代ガラスを意味する「琉璃」と「瑠璃」について	小野田 伸	GLASS	43
唐・史道洛墓出土のガラス六曲環—正倉院蔵鉛ガラス曲環の技法的原形—	谷一 尚	古代文化	487
中国と日本の有線七宝に於ける一考察	高橋あつ子	トキワ松学園横浜美術短期大学紀要	14

日 本

薩摩切子の赤い色の原因	中井 泉 沼子 千弥 細野 秀雄 山崎 一雄	GLASS	43
佐賀藩精煉方藤山種廣の足跡	井上 暁子	"	"

平成11年定期刊行物所載文献(古ノガ、そ、建、都・集)

江戸明治時代のガラス 雑報雑攷	棚橋 淳二	GLASS	43	書が伝える紙の文化 古代・中世の紙の歴史	湯山 賢一	日本の国 宝(週刊百 朝科)	108
ART NEWS 薩摩切 子の“ウブ”な輝き、 初公開!		芸術新潮	597	縄文時代の骨角製品 と素材—製品と未成 品にみる素材の扱い 方—	金子 浩昌	MUSE- UM	562
正倉院のガラス 広 い文化交流によるコ レクション	谷一 尚	皇室の名 宝(週刊百 朝科)	2	イ ン ド			
古代のカリガラス— 大風呂南墳墓群出土 の青色ガラス釦—	肥塚 隆保	奈良国立 文化財研 究所年報	1999—1	ポスト=マウリヤ時 代の北インド土着王 国貨幣	山崎 元一	国学院大 学紀要	37
幕末維新期のガラス 技法書について—佐 賀と福岡—	岡本 文一	明星大学 研究紀要	7	建 築 一 般			
特集 開花したガラ ス器—古代と江戸 江戸期のガラス事情	井上 暁子	目の眼	275	東 ア ジ ア			
特集 開花したガラ ス器—古代と江戸 『長崎夜話草』から ガラスを読む	戸澤 道夫	” ”	” ”	日本・韓国・台湾伝 統建築外観のイメー ジ特性	金島 東 岡島 達 内藤 麗 内藤 善 昌	日本建築 学会計画 系論文集	517
特集：開花したガラ ス器—古代と江戸 正倉院の切子碗の ルーツ	木口 春幸	” ”	” ”	中 国			
白鳳会セミナー 古 代ガラスの魅力	賀来 達三	” ”	” ”	タリム盆地周縁部イ スラム史跡調査報 告	澤田 稔	帝塚山学 院大学人 間文化学 部研究年 報	1
その他の工芸				食事形式から見た中 国漢族の食卓の変遷	胡 平 惠 琴 聖	日本建築 学会計画 系論文集	525
東 ア ジ ア				日 本			
正倉院の薬物	米田 該典	皇室の名 宝(週刊百 朝科)	1	伊東忠太の「建築進 化論」について(上) その由来	川道 麟 橋 寺 太 郎 知子	日本建築 学会計画 系論文集	525
宮廷の盤上遊技 正 倉院の遊戯盤が語る もの	増川 宏一	” ”	2	国宝にみる日本建築 の流れ	鈴木 嘉吉	日本の国 宝(週刊百 朝科)	104
中 国				建築と障壁画 最新 の調査成果から	西 和夫	” ”	” ”
研究ノート 龍山文 化後期における玉器 のひろがり—陝北出 土玉器を中心に—	岡村 秀典	史 林	414	そ の 他			
石家河文化の玉器を めぐって	林 巳奈夫	泉屋博古 館紀要	16	小アジア半島におけ るオスマン以前のト ルコ系諸建築につい て	山下 王世	筑波大学 芸術学研 究	3
後漢・三国時代貨幣 史研究—古代から中 世への展開—	山田 勝芳	東北アジ ア研究	3	都 市 ・ 集 落			
日 本				中 国			
伝統紙に対する質感 の日韓比較	鈴木 信康 金子 正周 内藤 郁夫	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	30	特集 中国における 渤海都城と交通路の 研究	王 培新	アジア遊 学	6
富山県の管玉製作に ついて—弥生時代後 期の遺跡を中心に—	中野由紀子	富山考古 学研究	2	特集 『清明上河図』 都市建築考	高村 雅彦	” ”	11
				論説・報告 中商文 化の認識とその意義	唐 際 難 波 純子	考古学雑 誌	84—4

石割平造著『支那城郭ノ概要』旧陸軍軍人の目を通して見た中国の城郭都市	愛宕 元	国立歴史民俗博物館研究報告	78	藤原京の調査 藤原京右京八条一坊の調査—第90次	伊藤敬太郎 深澤芳樹	奈良国立文化財研究所年報	1999—2
北京内城・朝陽門地区の街区構成とその変化に関する研究	鄧布野 奕修司	日本建築学会計画系論文集	526	飛鳥地域等の調査 飛鳥池東方遺跡の調査—第92次・第91—6次	西口壽生 花谷浩充 長尾充	" "	" "
隋・唐長安城の総設計プランと平城京におけるその受容	王 維坤	文化学年報	48	平城京等の調査 左京三条六坊(興福寺西域)の調査—第293—6次	山下信一郎 次山淳	" "	" "
建康石頭城と洛陽金墉城—都市空間と防衛構想に触れて—	塩沢 裕仁	法政史学	51	平城京等の調査 一条条間路の調査—第293—7次	加藤 真二	" "	1999—3
彙報 平成十年度立正大学史学会月例研究会報告要旨 中国の都市のあり方について	田中雄一郎	立正史学	85	御井の風景 「藤原宮御井歌」にみる風景の構造3	香西 克彦	日本建築学会計画系論文集	515
				南山城寺田集落の空間構造に関する歴史的研究	河原 伸治	" "	" "
日 本				京都における地蔵の配置に関する考察	竹内 泰 布野 修司	" "	520
特集 『清明上河図』と日本の都市景観 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』との比較を通して	玉井 哲雄	アジア遊学	11	中世前期の首都と王権	大村 拓生	日本史研究	439
				研究 集散地遺跡としての博多	大庭 康時	" "	448
難波津私考	長山 雅一	大阪市文化財協会研究紀要	2	歴史手帖 出島再現—オランダ商館復原の現況—	西 和夫	日本歴史	608
古代の難波津について	前田 豊邦	" "	" "	藤原京の「条坊制」研究余録 「藤原京」の京城と条坊	中村 太一 仁藤 敦史	" "	612 619
資料紹介 難波京東部地域の発掘調査	積山 洋	" "	" "	聖武朝難波京の構造と平安時代前期の上町台地	鋤柄 俊夫	文化学年報	48
クラ雑考—大阪で発見されたクラ遺構から—	植木 久	大阪の歴史と文化財	3				
泰時以前の鎌倉—都市の点景—	岡 陽一郎	鎌 倉	88	大宰府条坊復元考	宮本 雅明	文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	63
論説・報告 平安京の造営計画とその実態	網 伸也	考古学雑誌	84—3	日本都市史研究ノート—古代都市と中世都市論—	北村 優季	山形大学史学論集	19
中世城郭都市の形成 日欧インカステラメントの比較考古学	千田 嘉博	国立歴史民俗博物館研究報告	77	平城京発掘・復原の歴史	舘野 和己	歴史地理教育	594
日本古代における都市形成と国家	浅野 充	" "	78	歴史の広場 町並み探訪—製蠟町	苅谷 勇雄	歴史と地理	527
中世末から近世初頭の善光寺門前町	笹本 正治	" "	" "	歴史の広場 町並み探訪—製磁町	" "	" "	530
近世中村城および城下町中村とその周辺における寺社配置	岩本 由輝	" "	" "	城下町和歌山の形成 試論—ヴィスタによる都市計画—	三尾 功	和歌山市立博物館研究紀要	14
日本中世集落における短冊形地割の考古学的研究	前川 要	" "	" "	そ の 他			
朝倉橘廣庭宮と筑紫守護城下山口の形態と構造	狭川 真一 山村 亜希	古代文化 史 林	484 415	田辺 勝美 堀 暁 石田 恵子 津村真輝子 山内 和也 木下 亘 古庄 浩明 ドミトリ ー・ル サーノフ 近藤さおり	古代オリ エント博 物館紀要	19	
神通川右岸における中世集落の—様相—建物群構成の検討を中心として—	青山 晃	富山考古学研究	2	ダルヴェルジン・テベの発掘(1998年度調査の概報)			

宮殿・官衙										
中国				(講演)平城宮・京都御所、離宮の流れ				中川登史宏	日本文化史研究	30
漢長安城桂宮2号建築遺跡B区の調査	長尾清野渡辺	充孝晃宏	奈良国立文化財研究所年報	1999-1	文化財レポート 大宰府史跡の発掘調査—三〇年の成果と課題—	横田賢次郎	日本歴史	611		
含元殿遺構とその当初の状態に対する再検討	傅福田 眞	熹年 美穂	仏教芸術	246	都府楼に関する“想像”復元の研究について	山本 輝雄	文明のクロスロード MU-S E U M KYUSYU	63		
日本				朝鮮						
前期難波宮遺構にみる建築的特色—いわゆる“小柱穴”遺構を中心—	植木 久		大阪市文化財協会研究紀要	2	近世倭館の造営・修補について	尹 裕淑	歴史評論	595		
江戸時代の御所と別荘	大和 智		皇室の名宝(週刊百科)	6	宗教建築					
				中国						
皇室文化の周辺 調査・研究の先駆者たち? 北浦定政 平城京を紙の上に建つ	岩本 次郎		"	7						
小墾田宮と浄御原宮	仁藤 敦史		古代文化	482	台湾新莊市の寺廟について	二階堂善弘	茨城大学人文学部紀要 コミュニケーション学科論集	5		
平城宮第一次大極殿基壇復元の再検討	蓮沼麻衣子 浅川 滋男		奈良国立文化財研究所年報	1999-1	泉州南普陀寺考	鎌田 茂雄	大倉山文化会議研究年報	10		
平城宮東院庭園出土の八角柱と五角斗	箱崎 和久 浅川 滋男 西山 和宏		"	1999-1	浙江省蕭山県小城隍廟調査報告—城隍廟覚書(1)—	濱島 敦俊 顧 希佳	大阪大学文学部紀要	39		
平城宮東院庭園「隅楼」の復原	浅川 滋男 箱崎 和久 蓮沼麻衣子		"	"	中国江南の塔めぐり	佐橋 清宏	史迹と美術	693		
遺跡の履歴 大極殿の近代	内田 和伸		"	"	麦積山石窟における北魏後期諸窟の研究—第133号窟を中心として—	八木 春生	筑波大学芸術研究報告	33		
藤原宮の調査 西北官衙地区の調査—第94次	小野 健吉		"	1999-2	元代大都の勅建寺院をめぐって	中村 淳	東洋史研究	58-1		
藤原宮の調査 西面南門・大垣の調査—第96次	毛利光俊彦		"	"	台北市の「寺廟」、「神壇」の建築類型とその分布に関する考察	関田中布野	銘崇 碩彦 修司	日本建築学会計画系論文集	526	
平城宮の調査 第一次大極殿院地区の調査—第295次・第296次	蓮沼麻衣子 古尾谷知浩 高橋 克壽		"	1999-3	大谷探検隊が墨書木杯を採取した中央アジアの石窟を訪れて	斎藤 忠	日本歴史	608		
平城宮の調査 馬寮東方地区の調査—第298次	玉田 芳英 川越 俊一		"	"	日本					
平城宮の調査 平城宮北辺地域の調査—第293—3次・第293—4次	井上 和人		"	"	特集 日本建築における装飾の展開について 浄土表現の変化を辿る	菅澤 茂	アジア遊学	10		
平城宮の調査 東院地区の調査—第292次・第293—10次	清野 浅川 孝之 滋男		"	"	四天王寺の創建年代—土器・瓦の年代決定をめぐって—	佐藤 隆	大阪の歴史と文化財	3		
紫宸殿上に於ける天皇及び公卿らの香の着脱について—儀式時の検討—	飯淵 康一 永井 康盛 安原 盛彦		日本建築学会計画系論文集	519						
弘御所の空間的性格	藤田 勝也		"	525						

千代寺院跡の再検討	岡本 孝之	小田原市郷土文化館研究報告	35	飛鳥地域等の調査 吉備池廃寺の調査— 第95次	西口 壽生 伊藤敬太郎	" "	" "
中世門跡寺院の歴史的機能—延暦寺の場合を中心に—	下坂 守	学叢(京都国立博物館)	21	平城京等の調査 西大寺境内西南隅の調査— 第294次	浅川 滋男 次山 淳	" "	1999-3
〈修復トピックス〉大安寺本堂の障壁画と前身建物	金田さやか	建築史学	32	平城京等の調査 興福寺中門・南面回廊の調査— 第297次	次山 淳 高橋 克壽 加藤 真二	" "	" "
神社建築の形成過程における官社制の意義について	丸山 茂	"	33	平城京等の調査 西隆寺旧境内・右京一条二坊の調査— 第299次	千田 剛道 次山 淳	" "	" "
五大堂の形態変化と五壇法の成立 密教空間の展開に関する一考察	富島 義幸	"	"	平城京等の調査 薬師寺旧境内の調査— 第293—8次	箱崎 和久 千田 剛道	" "	" "
研究ノート 「法勝寺新堂用途勘文案」からみた平安時代後期の仏堂造営	清水 擴	"	"	山田寺金堂と法隆寺中門の柱間寸法計画について 古代建築の柱間寸法計画と垂木割計画(1)	溝口 明則	日本建築学会計画系論文集	516
研究ノート 寺社建築に対する江戸幕府の規制法令について(寛文八年令)の再検討	金行 信輔	"	"	法勝寺の伽藍形態と その特徴	富島 義幸	" "	" "
〈書評〉『密教建築空間論』書評への反論	藤井 恵介	"	"	絵画史料による讃岐国善通寺二重ノ宝塔の分析	山之内 誠	" "	" "
古代日本人の造形観—伊勢と遷宮—	宇津野金彦	皇学館大学神道研究所紀要	15	永平寺隆芳院廟所について 福井藩の靈廟建築に関する研究 その1	国京 克巳	" "	518
〈研究ノート〉宇治白川金色院の平安時代—発掘調査からの試み—	浜中 邦弘	古代文化	484	上賀茂の場所と構造 賀茂祭と賀茂神話の 関わりから	熊沢 栄二	" "	520
研究資料 大覚寺宸殿について	川本 重雄	国 華	1246	永平寺隆芳院廟所の 四脚門について 福 井藩の靈廟建築に 関する研究 その2	国京 克巳	" "	522
古代地方寺院造営の背景—七世紀後半の東国を中心として—	三舟 隆之	史学雑誌	108-10	13世紀前・中期の讃岐国善通寺における造営活動の様相 中世讃岐国善通寺における造営活動の研究 その1	山之内 誠	" "	523
第一—八回東京例会秋の常陸路に久慈川沿岸の中世文化財を訪ねて	金田 殖 江ヶ崎龍三	史迹と美術	696	本薬師寺金堂及び曼荼羅寺多宝塔の普通寺移建説への反論	"	" "	" "
近江日野新善光寺三重塔の発見古図と塔址について	中西 亨	"	700	讃岐国善通寺における大勸進の性格について	"	" "	524
金光明寺と金鐘寺についての二、三の解釈	若井 敏明	続日本紀研究	320	長州藩藩祖廟の形成	岸本 覚	日本史研究	438
研究ノート 飛鳥・白鳳期における寺院の立地について	上杉 和央	史 林	418	天治三年『中尊寺供養願文』の伽藍比定をめぐって	菅野 成寛	" "	445
中世前期の近江国一宮建部社	上杉 和彦	駿台史学	106	所蔵先紹介 中尊寺奥州藤原氏の栄華を偲ぶ	破石 澄元	日本の国刊朝日百(週刊)	98
南宗寺と茶道 南宗寺今昔	田島 碩応	淡 交	651	所蔵先紹介 櫛引八幡宮 南部藩の総鎮守	池田 宏	" "	" "
飛鳥地域等の調査 飛鳥寺の調査—第 91—8次、第97次	花谷 浩 毛利光俊彦	奈良国立文化財研究所年報	1999-2	所蔵先紹介 水神社水の神を祀る社	鈴木 規夫	" "	" "
飛鳥地域等の調査 川原寺の調査—第 91—7次	鈴木 恵介	"	"				

神仏のための建築 寺社建築の歴史	鈴木 嘉吉	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	104	朝鮮・その他			
寺社建築の彩色装飾 神仏の空間を飾る歴史	中村 雅治	"	"	百済弥勒寺の縁起から見た伽藍構造と思想について	李 興範	印度学仏 教学研究	95
王権・仏教・官寺創建 —百済大寺跡の発見とその意義—	大脇 潔	日本の国 史別冊 (週刊朝 日百科)	1	エローラ仏教石窟の柱のデザインの由来と空間	野々垣 篤	日本建築 学会計画 系論文集	517
儀礼にみる日本の仏教 —時代を映す法会と法要—	佐藤 道子	"	2	琉球通信42 サンチーのスツパ(塔)	永井 信一	美術の窓	185
古代仏堂の空間と中世的 変容 唐招提寺金堂 唐招提寺講堂 唐招提寺礼堂・東室	山岸 常人	"	"	アジャンタ後期窟(大乘窟)の年代を巡って—シュピングの新説紹介と感想—	高田 修	仏教芸術	242
伝説の地に建つ中世 仏堂 当麻寺曼荼羅堂 当麻寺金堂 当麻寺講堂	"	"	"	イスファハーンのマドラサ調査から—建築形態と分布状況について—	深見奈緒子	東洋文化 研究所紀 要	137
住宅風の空間をもつ 真宗本堂 照蓮寺本堂	"	"	"	城 郭			
神護寺につながる 「神聖な谷」—梅ヶ畑 祭祀遺跡の発見	高橋 潔	"	3	日本			
国府をめぐる山林寺院 の展開—越前・加賀の場合—	久保 智康	"	"	魚津市松倉城跡の試掘調査	麻柄 一志 塩田 明弘	魚津市立 博物館紀 要	5
広隆寺の創立と移転	林 南壽	日本歴史	611	古代地方都市論 多賀城とその周辺	平川 南	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	78
中世における伊勢神宮 の仮殿遷宮—錦綾を中心—	鈴木喜久子	"	615	資料紹介・研究ノート(5)津山城今昔3〜通称“大溝”〜	行田 裕美	津山弥生 の里	6
平成10年度考古企画 展記念座談会 寺町 廃寺は三谷寺か	松下 正司 亀田 修一 島田 朋之	広島県立 歴史民俗 資料館研 究紀要	2	特集「中世城館の考古学」「館」発生の考察	工藤 清泰	帝京大学 山梨文化 財研究所 研究報告	9
静岡浅間神社文化 度造営と現存遺構・造 営関係資料	村田 健一	仏教芸術	242	特集「中世城館の考古学」「館跡」「城跡」という遺跡	飯村 均	"	"
文献史料からみた法隆寺 の火災年代	東野 治之	文化財学 報	17	特集「中世城館の考古学」居館と詰城—発掘成果から見た山城の成立過程—	中井 均	"	"
研究ノート 福井県大谷寺 遺跡の成立に関する一考察	堀 大介	文化史学	55	特集「中世城館の考古学」居館の出現とその意義	山川 均	"	"
重源と醍醐寺・村上源氏(上) —大藏卿栢柱堂と醍醐寺の三角五輪塔を巡って—	西川 新次	密教図像	17	特集「中世城館の考古学」銭貨を埋納する堀立柱建物跡—史跡七戸城跡北館曲輪発掘調査の事例から—	小山 彦逸	"	"
彙報 平成10年度立正 大学史学会月例研究会 報告要旨 平安時代に 於ける天台宗山林寺院 の伽藍類型	吉田美弥子	立正史学	85	特集「中世城館の考古学」首が護る城	山口 博之	"	"
立正大学史学会大会 研究発表要旨 権崎寺 跡の発掘調査報告書	足利市教育 委員会(足 立 佳代)	"	86	特集「中世城館の考古学」瓦器、その城館的なるもの—北東日本の事例から—	水澤 幸一	"	"
共同研究 北近畿地方 の古代寺院の研究	岡崎 晋明 ほか7名	龍谷大学 仏教文化 研究所紀 要	38	特集「中世城館の考古学」戦国期の城・町・街道—越前を中心にして—	岩田 隆	"	"

特集「中世城館の考古学」城郭が語る地域史—四国西南部の中世城郭調査事例から—	松田 直則	" "	" "	「宿館」「宿所」と「本宅」成立期中世政治都市についての覚書	斉藤 利男	国立歴史民俗博物館研究報告	78
特集「中世城館の考古学」城の成立と展開—甲斐国中世城郭史序説—	山下 孝司	" "	" "	紀伊藩徳川家江戸中屋敷における外部空間について	中村 光彦 浅羽 英男	日本建築学会計画系論文集	515
特集「中世城館の考古学」焔硝蔵の成立をめぐって	畑 大介	" "	" "	寛文期江戸における大名下屋敷拝領過程	金行 信輔	"	516
元禄14年赤穂城請取りに関する一考察—受城使の組織と行列にみる近世城下町の都市構造—	生田 国男 篠野 志郎 羽深 久夫	日本建築学会計画系論文集	523	毛利藩における萩、山口の御客屋について	岡田 悟	" "	" "
土城としての御土居—土築構造と立地についての基礎的予察—	門田 誠一	仏教大学文学部論集	83	歌合空間の実態とその受容—中世「会所」の起源に関する研究	藤田 勝也	"	519
甲府城の鬼門守護と除災招福の思惟—稲荷曲輪にみる一考察—	崎田 哲	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化センター研究紀要	15	紀伊徳川家江戸中屋敷の殿舎構成における特色と格式	中村 光彦 浅羽 英男	"	524
兼報 平成十年度立正大学史学会月例研究会報告要旨 後北条氏領国内における城郭についての一考察	土屋 一未	立正史学	85	毛利藩における山口の御茶屋、御客屋、本陣について	岡田 悟	"	525
朝鮮・その他				人のための建築—中・近世の住居の歴史	西 和夫	日本の国宝(週刊朝日百科)	104
倭城跡を訪ねて	高瀬 哲郎	佐賀県立名護屋城博物館研究紀要	5	重要文化財「吉福家住宅」の歴史的背景と建築的価値—一隻のいさば船から飛躍した家—	溝渕 博彦	文化財(月刊)	428
天山北麓の故城跡	堀 直	国立民族学博物館研究報告別冊	20	書院造と庭園の関わりについて	水谷 昌義	文化史学	55
特集 渤海における土城・山城・寺院	田村 晃一	アジア遊学	6	九州の博物館 旧吉原家住宅及び旧吉原家住宅資料	岡 美詠子	文明のクロスロード MUSEUM KYUSU	64
住宅・館				越後国奥山荘の考古学的研究の現状と課題—地域史研究の実践から—	水澤 幸一	立正史学	85
中国				その他			
中国における「非一明両暗」型四合院に関する研究 その1 四合院の平面類型と「非一明両暗」型住宅の分布	周 南 青木 正夫 上和田 茂	日本建築学会計画系論文集	518	特集 悠久たる歴史、独特の芸術—嘉絨チベット族の住宅・寺院の建築と装飾芸術—	李 森 和 偉 訳	アジア遊学	5
日本				その他の建造物			
環境工学者と建築設計者が考える健康な建築 民家の変遷と囲い方の知恵	安藤 邦広	建築雑誌	1438	中国			
				中国における「清明上河図」の船を造る	山形 欣哉	アジア遊学	11
				中国における井戸の成立と展開	堀 大介	文化学年報	48
				日本			
				いわゆる、複材式刳舟について	辻尾 栄市	大阪市文化財協会研究紀要	2





建築部材など

日 本

床の間の発生と変遷	前 久夫	淡 交	652
古代建築における建物規模・構造と部材長	村田 健一	奈良国立文化財研究所年報	1999-1
「CAD軒反り式」からみた文化財社寺軒反り曲線の特徴	麓 和善 鈴木光雄 河田克博 小川英明 内藤 昌	日本建築学会計画系論文集	517
加賀藩における江戸時代初期の大工の手法—細部様式の渦文を中心として—	田中 徳英	"	523
信州伝統的建造物保存技術研究会調査報告『特集』茅葺にみる屋根葺技術の調査と記録	信州伝統的建造物保存技術研究会	棟 柱	2

その他の建築

中 国

中国の斧と鉞	沖本 弘	竹中大工道具館研究紀要	11
中国古典建築書『工程做法則例』の構成	蔡 軍 麓 善 平 滝 野 健 張 雄 内 昌 藤 昌	日本建築学会計画系論文集	520

日 本

庄内藩大工棟梁小林家旧蔵の慶長期以前の木割書に見られる一間社について(その2)	永井 康雄 飯淵 康一	建築雑誌	1434
庄内藩大工棟梁小林家旧蔵の慶長期以前の木割書に見られる屋敷について(その1)	永井 康雄 飯淵 康一 岡田 一 悟	"	1440

古代における建築工 事の工程と儀礼	浜島 正士	国立歴史民俗博物館研究報告	77
古代・中世における 建築用主要道具につ いて—一木の建築をつ くくる技術と道具の歴 史に関する調査報告 その1—	渡邊 晶	竹中大工道具館研究紀要	11
在郷大工組(摂津国 福井組・河内国古橋 組)を取り巻く施主 方の動向—在郷大工 得意場を通じてみた 近世建築規制解釈の ための一考察—	妻木 宣嗣 青山 賢信	日本建築学会計画系論文集	515
屋敷雛形の書誌的考 察	山崎 純 岡本真理子 河田克博 麓 和善 仙田 満 内藤 昌	"	518
大坂町奉行所による 寛文8年令規模解 釈、および普請申請 書類からみた規模表 現法と記載規模の実 態について—大坂町 奉行所支配地域にお ける寺院建築規制運 用実態把握のための 一試論—	妻木 宣嗣 青山 賢信	"	524
『岩倉村文書』普請願 書と家建見分	丸山 俊明	"	"
特色ある日本の大工 道具 引き使いの鋸 と鉋	渡邊 晶	日本の国 宝(週刊 朝日百 科)	104
江の川の船大工道具—三次市・光森賢治氏の船大工道具—	伊藤 実	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	2
【歴史科学協議会第 三二回大会 地域論 の現段階 報告】日 本近代の職人集団と 地域社会—社会集団 論の視点から—	篠宮 雄二	歴史評論	587
歴博けんきゅう便 第一回 非文献資料 の基礎的研究 棟札	浜島 正士	歴 博	94

近 現 代		日 本	
絵 画			
一 般		巻頭特集 美人画百 花繚乱	ア ー ト ト ッ プ 170
「人物画」、何を描く か。	(HK)	美人画から読めるこ と	井上 章一 " "
美術史と民族学	岡谷 公二	特別対談 優れた美 人画の条件	濱田 台児 関 千代 " "
線画による奥行き の造形展開—表現の可 能性と作品の個性 (2)—	北原 靖子	福富太郎が選ぶ美人 画家十傑	福富太郎談 " "
折れる壁をめぐっ て—アトリエ画のプ ロブレマティク—	井上 明彦	巻頭特集 京都画壇 の光彩 受け継がれ た日本画の精神	" 172
ピクチャレスクとい う「感じ」—詩は絵 画のように—からの 考察—	山下 順子	京都画壇の歴史と現 状	藤 慶之 " "
心のイメージ描画法 1—鉛筆画による—	村山久美子	京都洋画界を育てた 四人—浅井忠・安井 曾太郎・梅原龍三 郎・須田国太郎—	島田 康寛 " "
日本人はなぜ印象派 が好きか	濱本 聰	東京藝術大学の主流 と傍流 東京美術学 校と官展との関わり から	生尾慶太郎 " 173
絵画の正面性に関す る—考察	仏山 輝美	戦争画資料拾遺1、 2	笹木 繁男 アート・ マガジン (エル・ アール) 11、13
フェイス・アップ6 司馬江漢「捕鯨図」	ド ー ム	L R 十一号掲載の 『戦争画資料拾遺1』 補記	" " 14
「病」としての絵画— 形象・言語・身体—	山口 真理	戦争画資料拾遺3、 4 戦後の美術界の 戦争責任問題	" " 15、16
第50回美学会全国大 会発表要旨「絵画 の終焉」論以後の身 体	外山紀久子	研究ノート「名所 絵」の変容	飯田 真 アマリリ ス 53
デッサン論8 フロ イトの著作中のデッ サン・その1 動物 恐怖とオートポイ エーシス	赤間 啓之	講演会記録 近代の 水墨	佐藤 道信 石川県立 美術館だ より 184
デッサン論9 フロ イトの著作中のデッ サン・その2 鳥た ちの旅と転移のネッ トワーク	"	政治家たちの肖像	木下 直之 I S 81
ポーロニャ・ブック フェア 児童図書の 最前線 健闘する日 本の絵本	東京夕刊	絵を読む・絵を語る 8 色彩についての 雑感	今井 淳 鴨東通信 35
浮世絵を愛した外国 人絵師たち十選2 フリッツ・カペラリ 「雨中女学生の帰路 の図」	猿渡紀代子	学芸員のノートから 13 「琵琶湖眺望真 景図」ご案内	横谷賢一郎 大津市歴 史博物館 だより 36
浮世絵を愛した外国 人絵師たち十選3 エミール・オルリク 「日本の摺師」	"	水彩画の流行と風景 の変容	鈴木 勝雄 鹿島美術 研究 16
	"	ニューヨーク、ア ート・ステューデ ンツ・リーグに学んだ 日本人美術家たち	村田 真宏 宮本 高明 木下 京子 " "
	"	写真的視覚の交錯と 近代日本絵画の諸相	横田 洋一 神奈川県 立博物館 研究報告 25
	"	日本の近代絵画—日 本画の場合—	塩田 博子 京都産業 大学日本 文化研究 所紀要 4
	"	北海道の画家と北方 (きた)の現れ方	鈴木 正實 紀 要 Hokkaido Art Museum Studies 1998—99

【シンポジウム発表 要旨】明治神宮聖徳 記念絵画館の日本画 について	佐藤 道信	近代画説	8	歌川派の“洋風”をめ ぐって2	花田 伸一	美術の森	94
福富太郎のアート・ キャバレー2号店 20~27	福富 太郎	芸術新潮	591~599	浮世絵版画に見る粹 の諸相(上)	”	”	96
特集 ジェンダー・ スタディーズ 物語 絵巻を見る ジェン ダー・ネイションの 領域を構築する力に 抗って	池田 忍	現代思想	27-1	特集 日本美術史再 考—江戸の美術はど のように語られてきた か 6 「文人画」 の指し示すもの	田島 達也	美術 フォーラ ム21	1
日本画の装飾性をめ ぐるいくつかの立 場—セントルイス万 博における日本画論 を中心に—	志邨 匠子	女子美術 大学紀要	29	特集 日本美術史再 考—江戸の美術はど のように語られてきた か 7 「長崎派」 考	黒川 修一	”	”
史料紹介と研究 肖 像画研究余滴	佐多 芳彦	東京大学 史料編纂 所附属画 像史料解 析 セン ター通信	4	特集 日本美術史再 考—江戸の美術はど のように語られてきた か 11 司馬江漢 のアナモルフォース 洋画史の外へ	島本 浣	”	”
日展史(1907~1971) における信州の風景 画の出展率について— 「日展史にみる 信州の風景画年表 〔洋画編〕」による	岸田 恵理	長野県信 濃美術館 美術調書	8	第1章 戦争画とア メリカ	平瀬 礼太	姫路市立 美術館研 究紀要	3
失われた風景20 作 者未詳 楽屋の女	星野 桂三	日経アー ト	125	《悲母観音》研究の再 構築にむけて	古田 亮	MUSE- UM	561
特集 愛すべき日常 女性日本画家の視線 等身大の生き方— 一九八〇年代の空気を 背に	藤田 一人	美術(月 刊)	284	近代京都画壇と「西 洋」—日本画革新の 様相—	榊原 吉郎	視 る	384
特集 愛すべき日常 女性日本画家の視線 評価の定まらないも のを描く、その可能 性	米谷 清和 立島 恵	”	”	戦前、戦後の前衛日 本画運動について— 西洋への思いを背景 に—	塩川 京子	”	”
特集 愛すべき日常 女性日本画家の視線 (ギャラリー・レ ポート)コレクション としての日常風景	水田 由紀	”	”	「デモクラート」—関 西の視点から—特別 展の開催にあたって	安来 正博	和歌山県 立近代美 術館 ニュース	20
特集 愛すべき日常 女性日本画家の視線 日常を描くことが生 み出す価値への期 待—90年代にあふれ る「ガリーフォト」 との比較から	編集 部	”	”	戦争画の空白の歴史 埋める資料の収集を 笹木繁男	(盛)	朝日夕刊	10.4
後期印象派・考— 九一二年前後を中心 に(中二)	田中 淳	美術研究	372	燃料木材に「夢の壁 画」アトム飛びバイ キンマン住み11び きのねこ遊ぶ 小学 校の宝物に	小国 智宏 石井 敬	東 京	11.23
第五十二回全国大会 研究発表要旨 仏伝 主題をインド風に描 いた明治・大正期の 日本画をめぐる一考 察	成原 有貴	美術史	147	壁画は街の活力剤	竹田 博志	日 経	6.19
巻頭特集 世紀末を 救う?! 宗教画 院 展の歴史 風俗画に みるキリスト教	篠原 弘	美術の窓	194	さまよえる日本画 次代へけん引役不在	竹田 博志	日 経	6.19
				疎開画家、町に文化 の種 藤田嗣治らと 神奈川・藤野町民の 交流追う	榿 徹	”	6.28
				「戦争記録画」守った 画家 焼却命令に抵 抗した山田新一氏、 信念の収集	青木 脩	”	8.13
				「戦争画」はいかに集 められたか 知られ ざる遺稿に綴られた 内幕	笹木 繁男	毎日夕刊	8.5

海 外									
研究ノート「東アジア/絵画の近代—油画の誕生とその展開」展に向けて	越智裕二郎	アマリス	52	テンペラ画に適應する地塗りの研究	佐藤 一雄	トキワ松学園横浜美術短期大学紀要	14		
"Dialogo della pittura di M.Lodovico Dolce, intitolato L Aretino" 翻訳と註解(4)	森田 義之 越川 倫明	五浦論叢	6	TÜRK TEZHİP SANATI トルコの TEZHİP技術	菅間ゆみい	" "	" "		
New York Report IV 102 冬の印象派展—雪の効果	河西 貴子	絵	428	第82回例会発表要旨 美術史における資料の問題 科学的調査の限界と可能性をめぐって—初期ネーデルラント絵画の場合	蜷川 順子	日仏美術学会会報	18		
16世紀前半のイタリア美術とサクロ・モンテ	関根 浩子	鹿島美術研究	16	イタリア至福千年 トリニタ・ディ・モンティ、およびコレッジオ・ロマーノ人を驚かせてこそ	池上 英洋	日経アート	125		
17世紀イタリア絵画におけるストイシズム主題	佐々木由里子	" "	" "	キリスト教絵画に描かれた都市フィレンツェについての考察 都市景観画(ヴェドゥータ)による都市フィレンツェに関する建築論的研究(その2)	深水 浩	日本建築学会計画系論文集	523		
サン・スヴェールのベアトゥス写本挿絵における一連の動物モチーフについて—中世の写本挿絵における星座図像との関連において—	柴田いずみ	" "	" "	鏡と絵画—初期ネーデルラント絵画における—	蜷川 順子	美 学	196		
グリザイユ画法の研究(3)	寺田栄太郎	金沢美術工芸大学紀要	43	アナモルフォーズ・ヴァニタス" cogito"	池上 英洋	" "	198		
『アエネイス』における絵画的表現—第一巻四二六行の解釈をめぐって—	山下 太郎	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文	47	ラファエル前派運動と装飾芸術	藪 亨	" "	199		
メキシコ壁画を訪ねて	山添 耕治	京都市立芸術大学工芸学部研究紀要	43	第50回美学会全国大会発表要旨 秤を持つ女—17世紀オランダの経済生活と美德の表象—	阿部 純子	" "	" "		
イギリス中世後期の絵画—内陣仕切(rood screen)絵画を中心に—	潮江 宏三	" "	" "	第50回美学会全国大会発表要旨 キリスト降誕図からマドレ・ピアヘー礼拝する聖母マリア図の形成と展開	塚本 博	" "	" "		
箋紙と「師曾、茫父…の時代」—魯迅書信(原信)の総合解析—	阿部 幸夫	実践女子大学文学部美術史学	14	第50回美学会全国大会発表要旨 マイスター・E・Sとタピスリー—半身像記念像の一図像をめぐって—	保井 亜弓	" "	" "		
『両地書』「第三集」のころの花紙・箋紙 魯迅原信の総合解析二	"	実践女子大学文学部紀要	41	ヨーロッパの風景画の特徴	エーリヒ・シュタイングレーバー 勝國 興 訳	美学芸術学	14		
イコンに内在する時間	益田 朋幸	女子美術大学紀要	29	平成十年支部例会等研究発表要旨 パルピゾン派と写真	中島 徳博	美術史	146		
15世紀フランドル絵画の技法と材料	三浦 明範	" "	" "	平成十年支部例会等研究発表要旨 十六世紀フランドルの時祷書からブリュゲルの農民画の世界へ	森 洋子	" "	" "		
花と水をめぐる想像力—「オフエーリア」と「草枕」	齊藤 泰嘉	筑波大学芸術年報							
ボクのアート・リーディング21 今号は背面放蕩息子 背面銃殺隊 背面点描で、どうだ	山本 育夫 林 容子 ゲスト	ド ー ム	46						



ギャグ漫画の物語5 ネ暗トピア	鈴木 繁	朝日夕刊	9.20	マンガって何だ? 1~15	石田 汗太	読売夕刊	9.27 ~ 10.21
アトム 夢難産 川崎「手塚治虫ワールド」3セク方式断念		東京	5.24	とれんど in 漫画再復刊「ガロ」、メジャー志向	"	"	12.22
“ジャパニメーションの波に乗り” 電脳空間で“アボカドマンガ”販売 専門古書店来月ロスへ進出	北川坂本 成史充孝	"	7.16	海 外			
描きたい! 読みたい! 巨大コミックマーケット3 漫画と政治 せめぎ合う人権と表現	"	"	8.12	漫画—Manggha—マンガ	ベアータ・ロマノヴィッチ 加須屋明子 訳	国立国際美術館月報	83
現代マンガ私史1~75	辻 真先	東京夕刊	1.4~4.3	新世界事情 夢中度ジャンプ日本のマンガ 米国・中国・ベルギー・韓国	野口麻子 白石徹夫 水野雅夫 五味洋治	東京夕刊	9.2
コミック評判記 弑瓶勉「BLAME!」	澤野 雅樹	"	10.8	マンガの居場所 香港でもメディアミックス	鈴賀 れに	毎日夕刊	4.9
終わらない人気マンガ 時代を超えて共感 近作に閉塞感 読者、名作に回帰	加藤 仁 日 経	"	2.13	マンガの居場所 元氣な東アジアのマンガ	夏目房之介	"	8.27
不況が変えたサラリーマン漫画の若者像	川添 真	"	5.8	近ごろの米国マンガ事情 長編で独自世界ひらく	小野 耕世	読売夕刊	2.9
版 画							
一 般							
ネットで発揮漫画家パワー ちば氏らの団体ホームページ開設 横の連携強める武器に 世界に向け文化発信へ	"	"	9.6	版画技法における素材と用具の材料学的調査研究—学長特別教員研究費による— その1「紙の研究」(和紙を中心として)	磯見丸山 輝夫 設楽倉地 浩司 昭久	愛知県立芸術大学 芸要	28
60年代の少女画 人気復活 個展開催、関連グッズも続々	大島 泉	"	9.18	版画における複製と複数性	黒崎 彰	国立国際美術館月報	86
わが青春の漫画同人誌 石ノ森氏らの肉筆で毎号1冊、40年ぶり再会	山内ジョージ	"	11.16	古今東西版画はこんなに素晴らしい		日経アート	124
貸本漫画、復刻で「お宝」に 作家の個性強くにじむ		日経夕刊	3.2	日 本			
グラフィティ—20世紀の現場 漫画「良識」に抗い、本音を描く	石鍋 仁美	"	7.31	今秋注目の木版画展	内田 啓一	新美術新聞	875
まんがワールド コミック☆フィギュア王 懐かしい名作ズラリ	いしかわ じゅん	"	12.7	「日本の版画 2」によせて—明治と大正のあいだ	薬科 英也	千葉市美術館 ニュース C'n	11
マンガの居場所 「失われた時間」への思い	夏目房之介	毎日夕刊	1.8	史料紹介と研究 錦絵出版年月推定方法によせて	宮地 正人	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信	8
マンガの居場所 学年誌で学ぶ読み方	宮本 大人	"	3.26	企画展「ニュースの誕生~かわら版と新聞錦絵の情報世界」から ふたつの震災をめぐって~神戸と江戸~	木下 直之	東京大学総合研究博物館 ニュース(ウロポロス)	9
マンガの居場所 <革命>を支えるモノ	瓜生 吉則	"	12.3	小野秀雄コレクションから(ニュース)を読む	吉見 俊哉	"	"
続・維新残影16 團圓珍聞 風刺漫画で権力批判		読 売	10.9				

版画研究最前線10  
近代版画の背景—創作  
版画の開花と問題  
点

西山 純子 版画芸術 103

スクリーンプリントの  
未来形 プリンターに  
聞く—スクリーン  
プリントの今後の  
可能性 版が幅  
を持たせてもらっ  
ている

岡部 徳三  
川西 浩史  
林 聡 " 106

特集 版画NOW '99  
こたつで選べる新作  
版画200点

美術(月  
刊) 281

近代版画創成期とム  
ンク—大正初期を中  
心に

遠藤 望 視 380

明治期雑誌の印刷表  
現② 博文館の雑誌  
群とその印刷技術  
(上)

森 啓 明星大学  
研究紀要 7

海外

池田文庫の服飾関係  
資料③ ジャクマン  
画『四世紀から十九  
世紀までの市民服、  
軍服の全般的体系的  
図像集』全五冊

平井 紀子 池田文庫 14

西洋版画コレクション  
事始④ モダン・  
マスターズの版画を  
10万円で買いたい

ギャラリー  
弓 岡部・松山  
インタビュー  
ビュー・構  
成 版画芸術 104

西洋版画コレクション  
事始⑥ 小さな版  
画—美しき蔵書票を  
掘り起こす

伊藤 文学 " 106

(特設部会2)ヨー  
ロッパ世界における  
コミュニケーション  
の諸相 木版画に現  
れた農民—宗教改革  
時代の情報手段をめ  
くって—

森田 安一 歴史学研  
究 729

写真・映像

一般

特集 変容する空間  
イメージの権利 情  
報資本主義と公共空  
間の崩壊

港 千尋 現代思想 27-13

古写真の調査・鑑定  
に関する一考察—人  
物写真を中心に—

吉田 成 東京大学  
史料編纂  
所研究紀  
要 9

特集 超写真術 専  
門家が教えるプリン  
トの見方のコツ

山崎 信 美術手帖 779

特集 超写真術 暗  
闇は十分に学習され  
るか 写真展示の  
現在

倉石 信乃 " "

技術時代における映  
像芸術の可能性—芸  
術の現代的意味につ  
いての一考察—

深田 独 横浜美術  
館研究紀  
要 2

動物のいる写真十選  
③ エドワード・マ  
イブリッジ「馬の  
ギャロップ」

倉石 信乃 日 経 8.2

動物のいる写真十選  
④ 木村伊兵衛「板  
扉」

" " 8.3

動物のいる写真十選  
⑦ 渡辺眸「猿年記」  
より

" " 8.9

動物のいる写真十選  
⑨ 宮崎康彦「ライ  
オン、東北サファリ  
パーク」

" " 8.12

動物のいる写真十選  
⑩ エドワード・  
ウェストン「死んだ  
ペリカン」

" " 8.13

日本

ars—WG1998年度第  
4講報告 津田基  
「写真情報とars」

種市 正晴 アート・  
ドキュメ  
ンテー  
ション通  
信 40

映像メディアにおけ  
る「映像」の特質に  
関する研究—絵本と  
アニメーションの比  
較を通して—

田口 真奈  
井上 光洋 大阪大学  
人間科学  
部紀要 25

写真的視覚の交錯と  
近代日本絵画の諸相

横田 洋一 神奈川県  
立博物館  
研究報告 25

資料紹介「ダゲレオ  
タイプに写された日  
本人」—グラント・  
ローマー氏による調  
査会報告—

深川 雅文 川崎市市  
民ミュー  
ジウム紀  
要 11

自然から学ぶ創作活  
動—秋吉台の自然と  
アート

庫本 正 潮 流 58

1959年の「映像論争」  
—40年経た今日から  
の分析と評価—

坂本 浩 筑波大学  
芸術学研  
究 3

史料紹介と研究 幕  
末維新期の写真師点  
描

宮地 正人 東京大学  
史料編纂  
所附属画  
像史料解  
析セン  
ター通信 4

史料紹介と研究 東  
京印刷局写真(続)

" " 6

日本統治時代のミクロネシア古写真	印東 道子	東京大学総合研究博物館標本資料報告	34	特集 繋がりのデザイン バーチャル・リアリティ ベックマン研究所のバーチャル・ビジュアライゼーションの試み	ゴードン・ブルース	"	82
学芸ノート「大正、昭和初期の姫路の写真家たち」	高瀬 晴之	姫路市立美術館だより	62	中国のニューウェイヴ『新撮影(NEW PHOTO)』の写真家たち	飯沢耕太郎	美術手帖	775
【資料紹介】港郷土資料館所蔵古写真1	松本 健	港区立港郷土資料館研究紀要	5	(特設部会1)視覚的表象と歴史学 写真のなかの戦場—1960年代初頭のヴェトナム報道—	生井 英考	歴史学研究	729
1960年代の東京を讀解・記述する〜「東宝クレージーシリーズ」を例に〜	小笠原 伸	武蔵野美術大学研究紀要	29	中国の新世代写真家たち 転換期の社会状況を反映	飯沢耕太郎	毎日々刊	5.27
明治期雑誌の印刷表現2 博文館の雑誌群とその印刷技術(上)	森 啓	明星大学研究紀要	7	<b>彫刻・空間表現</b>			
<b>一 般</b>							
ミニ時評 脱写真文化後進国 実を結び始めた積極活動	中井 征勝 朝 日		6.18	彫塑的感覚—ヘルダー『彫塑』をめくつて—	古川 裕朗	芸術文化研究	3
20世紀の名著 写真同人誌「プロヴォーク」	宮本 隆司 東 京		10.10	「彫刻家のデッサンについて」その四	武井 魁之	東京学芸大学紀要	51
研究余録 日本最古の銀板写真—島津音彬像	芳 即正 日本歴史		618	探検キーワード インスタレーション	山盛 英司 仲坊	朝日夕刊	11.6
<b>日 本</b>							
写真師列伝の希書 古書店主らが復刻 幕末—大正期に活躍の78人紹介『貴重な実証的資料』		東京夕刊	3.23	《大村益次郎像》ほか 靖国神社境内に設置されたブロンズ製記念像等に関する調査報告1、2 調査実施概要/調査対象と内容	大坪 潤子 高橋 裕二 田中 修二	屋外彫刻調査保存研究会報	1
モーショングラフィックス 動くCGデザイン広がる	松本 勇慈 日 経		3.27	太平洋画会の彫刻家たちについて	田中 修二	鹿島美術研究	16
立体アニメ、手作り感魅力	石鍋 仁美 "		4.17	世界遺産菅沼集落のモニュメントデザイン	黒川 威人	金沢美術工芸大学紀要	43
デジタルアートで町おこし 自然や伝統「長所」活用	鋤柄 玲 "		6.26	シンポジウム「表面と構造」	谷 新 司 土屋 武 村岡 三郎 福嶋 敬恭 小清水 漸	千葉市美術館研究紀要 採連	2
死生観を撮る	中野 英伴 読売夕刊		6.5	仏像の変容と日本彫刻の歴史	田邊 三郎助	日本の国宝(週刊朝日百科)	105
コンサートとカメラ	木下 晃 "		7.3	動物の彫刻 置物彫刻にも繋がる造形	"	"	"
とれんどin 小説「コラボレーション」好評 写真や俳句、別作品とも共振、溶け合い新境地に	鶴飼 哲夫 "		12.14	野外彫刻の新たな試み—公園を彫刻にする—	井上みどり	NORTH ERN OWLS	10
'99回顧 写真 見方の再考 迫る内容「大辻清司展」と「荒木経惟展」展示の在り方に一石	平木 収 読売夕刊		12.27	特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか15 日本彫刻史における江戸時代の仏像彫刻	張 洋一	美術フォーラム21	1
<b>海 外</b>							
欧州最大のCGの祭典「Imagina99」にみるヨーロッパCGクリエイターの現在	川上 典子 A X I S		79				



オフィスが美術館になる 東京・品川大林組東京本社受付から会議室までの世界的アーティストの作品群

渋沢 和彦 産 経 10.3

銅像記念碑考

羽賀 祥二 I S 82

海 外

ギリシア美術と現代(4)―若さの表現

中山 典夫 筑波大学芸術研究報告 33

コントラポスト

斎藤 泰嘉 日彫会報 43

第50回美学会全国大会発表要旨 ロマネスク彫刻の「吝嗇」像―オーヴェルニュ地方を中心に―

高橋あき子 美 学 199

「ダビンチの馬」完成500年ぶり、ブロンズ像で

(共同) 朝日夕刊 9.16

光るドーナツの広場 UFOの大群?

産 経 2.7

工 芸

一 般

光沢繊維の質感への明度と色彩の影響

金子かつこ 九洲産業大学芸術学部研究報告 30  
 潤野 剛生 郁夫  
 内藤 飯岡 正麻

琉球通信43 沖縄発―染の創造

永井 信一 美術の窓 186

21世紀を探す旅“玄界人”日韓を結ぶ朝鮮陶工の歴史学びクラブ誕生[玄海人クラブ]

伊藤 章治 東 京 7.26

姉妹都市提携20周年有田の里にマイセンの使節

玉利 伸吾 日 経 5.3

日 本

八橋人形の歴史と信仰

高橋 正 秋田県立博物館研究報告 24

浅舞紋「段変わり文様着物」に見られる絞り染めの技術

宮本 康男 秋田県立博物館研究報告 24

匠のかたち 和太鼓

A X I S 77

匠のかたち 水引

” 78

匠のかたち 神輿

” 80

匠のかたち 若狭塗

” 81

講演会記録 図案は語る～その魅力と歴史～

樋田豊次郎 石川県立美術館だより 187

京紅板縮めの研究3 石塚 広 URYU : 京都芸術短期大学紀要 21

明治・大正期工芸の成立基盤に関する一考察 原田 敦子 鹿島美術研究 16

明治期後半の東京の陶磁器産業とその図案の特質 小林 純子 ” ”

金銀糸平箔について 城崎 英明 金沢美術工芸大学紀要 43

「近代日本の美術と工芸：見ることと作ること」―1 見ることの創造性

鈴木 勝雄 現代の眼 519

「近代日本の美術と工芸：見ることと作ること」―2 工芸の役割

樋田豊次郎 ” ”

愛知県立陶器学校を中心ける近代にみた瀬戸にお陶芸の目覚め

佐藤 一信 陶 説 554

漆芸「塗り塗」技術とコンピュータグラフィックの融合化研究

小林 伸好 東北芸術工科大学紀要 6

学芸員ノート 染型紙の突彫の覚え書

水上嘉代子 遠山記念館だより 17

うさぎたちのワンダーランド

安村 敏信 日経アート 124

戦後遠州織物関係資料

斎藤 新 浜松市博物館報 12

第50回美学会全国大会発表要旨 戦後の工芸における伝統概念の形成

辻 成史 美 学 199

第50回美学会全国大会発表要旨 工芸と装飾美術―比較芸術的考察―

利光 功 ” ”

特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 素材を知りつくした表現者たち

金子 賢治 美術手帖 769

講演 近代京都の漆芸3～6

水内 杏平 視 る 379～382

世界のセト・ノベルティ

服部 文孝 明治村だより 15

資料紹介 外国人の見た薩摩焼

山下 廣幸 黎明館調査研究報告 12

江戸期の輸出漆器上物「発見」相次ぐ「貴族魅了した輝く「黒」

中村 謙 朝 日 11.25  
 種村 季弘

笠間焼の試作にCG

産経夕刊 4.17

押絵羽子板職人がエッセー集 墨田区の西山鴻月さん出版

東 京 11.9

「東京陶人倶楽部」新設！！ 本格的な陶芸が楽しめる 指導は東京芸大出身の気鋭たち		東京夕刊	4.6	ヴェネツィアのガラス芸術『北鎌倉小瀧美術館』開館に寄せて	水田 順子	東京夕刊	4.30
若手に開放のガラス工房【牧山ガラス工房】		"	6.3	透明幻想十選4 マイヨール「フローラのトルソのための習作」	谷川 渥 日 経		1.26
新興陶器産地熱く	森 晋也	日 経	8.8	<b>デザイン</b>			
和製レース 文化融合の美 今世紀初頭、欧米で人気を博した「高木商店」	中里 喜子	"	10.15	<b>一 般</b>			
守る のれんの重み 3 江戸職人の心意 気後世に【江戸指し物】		日経夕刊	3.29	オビニオン2000	リーナス・トーバルズ	A X I S	78
よみがえる風景 琉球ルネサンス 書に映える伝統の上部	杉野 耕一	"	8.2	特集近未来モビリティ考 これからの交通システムとは？ ケーススタディ	鈴木 緑 深川千夏子 石黒 知子	"	79
益子焼 新人受け入れ伝統守る	五十嵐英美	毎 日	7.19	特集近未来モビリティ考 フロッグ・デザインの「ワイヤーズ・アンド・タイヤーズ」会議	瀧口 範子	"	"
海外で注目される和紙 静かなる造形の美として 資源循環の知恵として	森島 紘史	毎日夕刊	3.4	オビニオン2000	酒井 伸一	"	"
<b>海 外</b>				オビニオン2000	ジェームズ・E・ミラー	"	80
インドの工芸が現代に花開くために	デボラ・ティアガラン	アジアセンター ニュース	13	特集服に潜むクリエイション		"	81
植民地時代におけるニューヨーク市銀細工師に関する一試論——一六八七～一七五〇年——	茨木 慶三	大手前女子大学論集	32	特集繋がりデザイン テリー・ウィノグラードに聞く インターフェースからインタラクションへ、そして次なる概念	瀧口 範子	"	82
ヴァルトグラス	黒川 高明	GLASS	43	オビニオン2000	伊藤 敬祐	"	"
アコリス遺跡出土のガラス器について	千喜良 淳	"	"	伝統紙に対する質感の日韓比較	鈴木 信康 金正周 金子かつこ 内藤 郁夫	九州産業大学芸術学部研究報告	30
パレルモのガラス・モザイク	寺井 良平	"	"	日本・韓国の色彩に関する比較研究 衣を巡る伝統色と若者達の官能調査から	白 淑子 鈴木 信康	"	"
悲劇のロシア皇帝一家が愛したファベルジェの卵	井上 一馬	芸術新潮	592	クリシュナムルティに学ぶデザイン論	森本 武	国立国際美術館月報	77
高架橋下に開かれた工芸村 バスティューク・ヴィアデューク・プロムナード	長谷川 栄	新美術新聞	870	メディア機器とアイデンティティに関する一考察	田川 彰人	筑波大学芸術研究報告	33
特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 素材を知りつくした表現者たち	金子 賢治	美術手帖	769	七角形のデザイン5	磯貝 恵三	筑波大学芸術年報	
ルイス・コムフォート・ティファニー寄贈のガラス—寄贈の経緯とその意味を中心に—	伊藤 嘉章	MUSE-UM	562	「かわいい」をデザインする、「愛着」をデザインする	武正 秀治	デザインの現場	101
アフリカのかたち—感動をよぶ原始美術のスピリット	俵小川 有作 弘	目の眼	278	モダン・デザイン史再訪36~41	海野 弘	"	101~106
				自己ブランド化から始めるということ	清水久美子	"	106
				周囲を巻き込みながら楽しんでつくるデザイン	仙頭 邦枝	"	"

デザインを考える 2-21世紀における デザインのすがた→ エコロジカル・デザ インへの展開一	岸本 義弘	東京学芸 大学紀要	51	デザインの役割、シ ンポで問い直し[世 界デザイン機構]		日 経	7.14
デザイン論のいま	宮島 久雄	美 術 フォーラ ム21	1	オピニオン2000	中村雄二郎	A X I S	77
「都市の成熟と芸術 の役割—歴史的建造 物と芸術の共振 No.2」	前川 義彦 蝦澤 達夫 伊藤 敏光 松本 敏 金田 治 対談	広島市立 芸術学 部紀要	4	駅の様体5 新幹 線の駅を考える—東 北新幹線くりこま高 原駅と水沢江刺駅を 見て…	笹森 裕悦 隈 研吾 中崎 隆司 山田 雅夫 座談会	" "	" "
芸術表現と場の研 究—歴史的建造物を 現代芸術表現の場と するための基礎調査 と実験—「都市の成 熟と芸術の役割」関 連研究	伊藤 敏光	" "	" "	人間型ロボットをデ ザインする ホンダ 「P2」「P3」が提 示 する未来	渡辺 保史	" "	78
ユニバーシティアイ デンティティーUI の研究と開発	及川 久男	" "	" "	イッピン発掘記9 『ホンダ ハンター カブ』の巻	大谷 和利	" "	" "
特集モダニズムのか たち デザインはど こに向かうか 見え ないものを見えるよ うにすること	平尾 始 寺山 祐策	武蔵野美 術	111	駅の様体7 鉄道 による京浜工業地帯 の再生—京浜臨海線 構想への提案	メディア・ ステーシ ョン研究会	" "	79
特集タイポグラフィ (文字)を巡って 漢 字からクレオール文 字まで	杉浦 康平 松岡 正剛	" "	113	特集 JAPAN DESIGN 次なるリ アル 内と外の視点 海外を拠点に活躍す るデザイナー	" "	" "	" "
特集タイポグラフィ 早わかりタイポグラ フィ事典	編集部編 安達 史人	" "	" "	特集 JAPAN DESIGN 次なるリ アル 日本のデザイ ナーと彼らを取り巻 く環境のこれから	若井 浩子	" "	" "
特集タイポグラフィ 「造形詩」の超域的展 開とその印刷技術的 一断面	西野 嘉章	" "	" "	モノづくりの新たな 視点を探して 98年 度JIDAインハウス 女性デザイナー研究 会報告	" "	" "	" "
特集タイポグラフィ ある革命/タイプ フェイスからフォン トへ	津野海太郎	" "	" "	駅の様体8 地域 密着型鉄道としての 未来—島根県・一畑 電車の生き残り戦略	" "	" "	" "
広告色彩の快適性評 価システムの研究開 発	千々石 英彰 白石	武蔵野美 術大学研 究紀要	29	駅の様体9 「東 京エコロジーライ ン」—東武東上線の アイデンティティ構 築のための提案	メディア・ ステーシ ョン研究会	" "	81
情報 デザイン (1994)一2:モノの デザインからプロセ スのデザインへ/ソ フトウェア・デザイ ンにおける情報プロ セスの組織化とイン タラクション/	下村 千早 井上 野枝	" "	" "	特集 繋がりのデザ イン 実世界指向イ ンターフェース ソ ニーコンピュータサ イエンス研究所	渡辺 保史	" "	82
カラフルなデザイン で 人気 iMac& iBook 進化型かた だのおもちゃか	鈴木 杏樹 神足 裕司 遠藤 論 北澤 憲昭	朝 日	11.13	特集 繋がりのデザ イン コミュニケー ション・ツール 松 下通信のモバイルマ ルチメディアツール	深川千夏子	" "	" "
世紀をモードで振り 返る 機能性求め 「脱いだ」歴史	深井 晃子	東京夕刊	8.4	金沢市公的サイン計 画	服部 光彦	金沢美術 工芸大学 紀要	43
楽器もルックス デ ザイン競争曲	若杉 敏也	東京夕刊	9.25	「食習最終手帖」にみ る食卓・膳の使われ 方	車 政弘	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	30

平成11年定期刊行物所載文献(近/デ)

対談 日本—生活—身近な暮らしの昔・今	川本 三郎 柏木 博	建築雑誌	1447	洋風生活、ルーツは進駐軍 将校住宅向け家具・調度品、一般家庭に普及	小泉 和子	日 経	3. 19
台所100年	小菅 敬子	" "	" "	写真主体の表紙 若い読者つかめ 書籍離れ阻止に一手	田中 良喜	" "	4. 10
インテリアの100年 映画のシーンにみる……?	光藤 俊夫	" "	" "	ヒット直送便 アーティスト系雑貨店 若い男性、実質彩る 作品物色	(郡)	" "	" "
表記記号に関する研究 明治時代以降のわが国の印刷物における表記記号	森西川 優子 潔	筑波大学 芸術学研究	3	オーディオ機器雑貨 風に 外観・機能に「遊び」インテリア化 進む	桜庭 薫	" "	5. 8
意外と忘れてる? デザインの基本 2008年大阪オリンピックを考える	江並直美 原東 泉一郎	デザインの現場	101	「大正」映す叢書を探せ 文芸大衆化の時代 解く110種1350冊 収集、記録	紅野 敏郎	" "	5. 18
特集 フォト・ディレクション 『Number』ファッション写真のディレクションの形	山本 雅也	" "	103	特産品、デザインで再生 パッケージに一工夫、販売拡大へ	田中 良喜	" "	6. 12
新雑誌『サイゾー』創刊の現場	長谷川直子	" "	" "	若手建築家、柔軟な 連携 内装・CGデザインも	加藤 仁	" "	7. 10
PAPER In My WORK 新潮社装幀室 ます(ソフライト)があった	池上ちかこ	" "	" "	広告・デザインの最先端ADC展 ざん新さで日本人台頭	松本 勇慈	" "	7. 31
デザインの煎じ薬6 目に見えない部分のデザイン	武正 秀治 諸墨 淳子	" "	" "	工業デザイン独創競え iMac訴訟を検証する	川添 真	" "	10. 9
ドラフト発信 大量生産に逆行する「生みの楽しみ」	沢水 潤	" "	106	交遊抄 デザイン論 熱く	葉田 順治	" "	11. 18
「空想システム」というシステム	川上 典子	" "	" "	のびやかな感性と創造 '98毎日デザイン賞	田中 一光 栄久庵憲司	毎 日	1. 27
日本のデザインングを映し出す「イタリア」という鏡	西村 佳哲	" "	" "	「デザインの現場」創刊100号 作り手に こだわり続け…	田中 為芳 桐山 正寿 イン タビュー	毎日夕刊	1. 22
黒川雅之氏に聞く デザイナーよ、欲望を抱け!	紫牟田伸子	" "	" "				
湘南スタジオ設計デザインにおける空間感の考察—色彩と素材の変化による視覚的空間の計画—	大久保 晃	トキワ松学 園横浜 美術短期 大学紀要	14				
古書店街“美術”探索のすすめ 限られた予算でも堪能、古書の持つ美術的側面の魅力	高橋 輝次	美術(月刊)	283	特集 ヨーロッパ発 1999 ヨーロッパデザイン 行方—革新に向けてのビジョン	ジョン・ サッカー	A X I S	77
平成十年支部例会等研究発表要旨 一九二〇年代から四〇年代にかけての日本のポスターにおける階調表現について	中野 仁人	美術史	146	特集 ヨーロッパ発 1999 消え去ったデザイン、そして再び 誕生すべきデザイン—オリベッティ創立90周年記念国際デザイン会議	アルマン・ デ・ ヴァイッチ	" "	" "
愛知万博シンボルマーク制定に向けて「EXPO 2005公開セッション」	永井一正 浅葉克己 山内瞬 高北幸矢 中原研哉 中沢新一 残間里江子	東京	6. 18	デザインから文化への回答 「アジア」に向けた新しい車椅子の提案	ゴードン・ ブルース	" "	79
				フィンランド・デザイン・トゥデイ ニュー・アアルトを代表する4名+2組のデザイナーたち		" "	80

オビニオン2000	アルベルト・アレッシイ	"	81	建築史				
				日本				
「連携」という名のプロジェクト 5人のデザイナーを起用したイッタラ社のニューデザインを探る		"	"	特集 近未来モビリティ考 建築家が見た都市の中の移動性	妹島 和世 西沢 立衛	A X I S	79	
未来の車が生まれる場所 シリコンバレーに研究開発拠点を構えるBMWとダイムラークライスラー	瀧口 範子	"	"	再び新境地へ挑むコムデギャルソンのショップ展開		"	"	
デザインマネジメントの勝利 誕生10年を迎えるパリのメトロ。	竹原あき子	"	82	究極のエコ住宅となるか? 「アルミの家」の展望を図る	伊藤 公文	"	82	
「座る」メカニズム解剖 ニールス・ディフリエントのフリーダム・チェア	ゴードン・ブルース	"	"	21世紀住居図鑑27 「カーテンが包む柔らかな家族像」	大西 若人	"	"	
未来のヒト・技術・環境を映し出す空間エキスポ2000ハノーバーに向けて	小町 英恵	"	"	マウソロスの墓と伊藤博文 議事堂の屋根の隠された意味	鈴木 博之	I S	81	
イッピン発掘記13 『ブラウン・パーソナルファン』	大谷 和利	"	"	20世紀の国会議事堂と日本	中谷 礼仁	"	"	
『OUT of DESIGN』を読む マッキントッシュとデザイナーの間にあったこと	今泉 洋	デザインの現場	101	建築の東京を観る Vol. 3 明治生命館+日本工業倶楽部	米山 勇	江戸東京たてもの園だより	14	
特集 モダニズムのかたち デザイン・パラダイムの展開 近代デザインとはなにか	柏木 博 向井周太郎	武蔵野美術	111	メディアとしての空間(4) 「座敷…住まいの男性空間」	定松 修三	九州産業大学芸術学部研究報告	30	
特集 モダニズムのかたち アール・デコへと至るモダンの径路	三宅 晶子	"	"	建築奇想天外 オバケホテル	安藤 鉄哉	建築雑誌	1437	
特集 モダニズムのかたち 美女と野獣 流線形デザインとアメリカニズムのレトリック	生井 英孝	"	"	鼎談 20世紀を決めた建築—日本編	植田 実、 藤岡 洋保、 中谷 礼仁 鼎談 照信、 古山 正雄、 石田潤一郎 聞き手	"	1441	
特集 モダニズムのかたち パウハウスとウルム造形大学 近代とデザインの形成理念	小林 昭世	"	"	鼎談 建築の近代と現代の表現	磯崎 新、 原 広司、 石山 修武 鼎談 照信、 古山 正雄、 石田潤一郎 聞き手	"	1442	
特集 モダニズムのかたち 消費社会の夢 アメリカ的生活様式	柏木 博	"	"	対談 ジャーナリズムとメディアにおける建築の存在	川添 登 天野 祐吉 対談 若山 滋 高木 啓司 聞き手	"	1443	
特集 タイポグラフィ ニュータイポグラフィの位相 サンセリフ体の潮流	後藤 吉郎	"	"	視点 建築の世紀末 19世紀末との比較から	鈴木 博之	"	1444	
				デザインレビュー ポジティブな批評性の確立に向けて 1998年、建築はどこを目指していたのか	末廣 香織	"	"	

平成11年定期刊行物所載文献(近/建)

住宅の100年 洋風化の象徴としての住宅の輸入	内田 青蔵	建築雑誌	1447	神仏のための建築 寺社建築の歴史	"	"	"	
集合住宅の100年 同潤会江戸川アパートメントの経験とともに	大月 敏雄	"	"	人のための建築 中・近世の住居の歴史	西 和夫	"	"	
平成の木造五重塔7	吉田 実	史迹と美術	691	「東山手十二番館」の変遷	宮下 雅史	文化財(月刊)	424	
昭和の木造五重塔(追加篇)	"	"	693	正統か? 異端か? — 天理教とほんみち	五十嵐太郎	武蔵野美術	114	
明治初期における木造洋風建築の装飾と意匠について[1]	小松 弘光	女子美術大学紀要	29	1960年代の東京を読解・記述する〜「東宝クレージーシリーズ」を例に〜	小笠原 伸	武蔵野美術大学研究紀要	29	
一八九一年濃尾震災と死者追悼—供養塔・記念碑・記念堂の建立をめぐる—	羽賀 祥二	名古屋大学文学部研究論集	134	宇治山田郵便局重要文化財指定記念 郵政建築の流れと宇治山田郵便局	飯田喜四郎	明治村だより	16	
東山大茶会の会場となった建築・庭園の所在地と造営時期—東山大茶会に見る近代数寄空間の研究—	矢ヶ崎善太郎	日本建築学会計画系論文集	515	日曜講座「明治建築種明かし」	西尾 雅敏	"	17	
「分離派風局舎」と通信省管轄の建築—大正後期の通信省建築に関する研究 その2—	小原丹羽 誠和彦	"	516	とけあう空間 都市・建築のいま1〜6	大西 若人	朝日夕刊	3.8〜11.16, 17	
旧松本健次郎邸の意匠とその歴史的展開に関する研究 住友本店臨時建築部と日本のアール・ヌーヴォー2	足立 裕司	"	517	21世紀新都心 変わる東京都心 大人のテーマパークめざす		産 経	1.1	
明治・大正・昭和初期における東京近郊の遊園地の実態—都市娯楽施設の史的的研究—	安野 篠野 彰志郎	"	518	都心復興へ250階建ビル構想 建築家菊竹清訓さん		"	"	
蒲郡ホテルと国際リゾート地開発	砂本 文彦	"	520	磯崎新氏設計の「楕円堂」 劇場使用はダメ		"	12.25	
『名古屋都市計画公園』の計画理念	向口 武志	"	522	関東大震災で焼失 昭和天皇も過ごした「高輪御殿」 設計図が伝えるリサイクル御所	井上 圭子	東京	9.23	
長崎旧居留地に建つ明治中期の洋風住宅について—東山手の9番、10番住宅の設計寸法を中心に—	謝 土田 少明 充義	"	"	多摩川をいく45 まなざしに明治の気骨 宮大工	平野 勝	"	12.18	
浜名湖・弁天島における別荘地の変遷と空間的遺産の現況	土屋 和男	"	523	建築と都市の百年 1〜62	初田 亨	東京夕刊	10.12〜12.25	
「文化会館」の系譜—「文化」概念の変容と建築家の姿勢—	藤岡 朝田 洋保 十太	"	524	伝統ある民家生かせ! 移築保存や木材再利用	山崎 昭男	日 経	5.30	
法務省旧本館の木構造技術に関する研究	堀内 正昭	"	525	東京・青山同潤会アパート マンション 草分け再生へ		"	11.17	
藤田綱島邸の概要と大工棟梁・今井平七について	大川 三雄	"	526	住宅への関心強める 若手建築家		"	11.24	
国宝に見る日本建築の流れ	鈴木 嘉吉	日本の国刊(週日百科)	104	自然と人工の中間を演出[西武ドーム]	飯島 洋一	読 売	3.18	
				国会議事堂の“霊廟型”屋根 命がけの国政参画促す 鈴木博之・東大教授が新説	(前)	読売夕刊	4.16	
				評価には時間必要 現代建築の特殊性 [磯崎新]	土居 義岳	"	5.24	

海外

「政治」の進入、捏造、借用、そしてまた捏造 アジア的王権の造形

村松 伸 I S 81

ブルーノ・タウトの亡命期の建築について—アンカラ大学文学部校舎を中心に—

沢 良子 鹿島美術研究 16

メフメト二世・バイエズイト二世期のイスタンブルにおけるモスク建築に関する研究 モスクへ改修されたビザンティン教会堂との接点について

山下 王世 建築史学 32

朝鮮の居留民奉斎神社と朝鮮総督府の神社政策—「勝地」としての神社境内の形成およびその変容と持続—

青井 哲人 朝鮮学報 172

モダニズム再発見の旅番外編1 シー・ランチ

鈴木 紀慶 デザインの現場 104

ヘルシンキ 3つ十字の教会 マレイア邸

" " 106

イスファハーンのマドラサ調査から—建築形態と分布状況について—

深見奈緒子 東洋文化研究所紀要 137

第77回例会発表要旨建築と絵画の対話 ルイ14世治下のヴェルサイユ宮殿におけるその設計過程と図像主題の構想について—ル=ヴォーの「包圍建築」(1668-)とアレドゥアン=マンサールの鏡の回廊(1678-)をめぐって

中島 智章 日仏美術学会会報 18

デルフィ、アテナ・プロナイア神域の大石建築のクランプに関する研究

中川 明子 日本建築学会計画系論文集 515

MARS (Modern Architectural Research)グループによる1938年 New Architecture展覧会を通して見られるイギリス近代建築運動の本質について イギリス近代建築運動におけるMARSグループの活動に関する研究 1933年から1957年までを中心に その1

渡辺 研司 " " "

重商制成功者の上流社会に対抗するが参入も図る自由貿易論者のパラディオ風/ロココ風ゴシック

岡田 和正 田辺 健雄 鈴木 一 " "

重商主義スペインに対抗する18世紀初頭の英国自由貿易論者の城塞風ゴシック

岡田 和正 田辺 健雄 鈴木 一 " 516

台湾神社の造営と日本統治初期における台北の都市改編

青井 哲人 " 518

煉瓦造アーチの製作実験 フリーハンド応用工法によるトンネル・ヴォールトの施工法に関する研究

五島利兵衛 堀田雄一郎 青木 伸浩 " 519

コンスタンティノープル、聖使徒教会の聖遺物と典礼に関する研究

太記 祐一 " "

パリにおける博覧会の変遷に関する研究—1855—1937年を対象とした配置計画の分析を中心として

三田村 哲哉 小林 克弘 中原 まり " "

朝鮮神宮の鎮座地選定—京城における日本人居住地の形成および初期市区改正との関連から—

青井 哲人 " 521

1947年CIAM第6回会議に関する言説を通して見られるMARS (Modern Architectural Research)グループの戦後CIAM活動への役割について イギリス近代建築運動におけるMARSグループの活動に関する研究 1933年から1957年までを中心に その2

渡辺 研司 " "

日本植民地期における台湾神社境内の形成・変容過程

青井 哲人 " "

「視深度」による建築平面記述・評価の研究 壁と開口部を考慮した近代住宅作品の空間構成

北川 啓介 早瀬 幸彦 近藤 正一 張 姜 若山 健 涌 滋 " 522

スウェトランスカヤ通り沿道に現存する建築物 ウラジオストク中心市街地の都市空間構成に関する研究 その2

佐藤 洋一 戸沼 幸一 " "

カエレにおけるエトルリア墳墓の視点場に関する研究

堀賀 貴 " "

ルイ14世治下のヴェルサイユ宮殿第2次増築の沿革について—関連資料の位置付けと解釈をめぐる諸問題—	中島 智章	日本建築学会計画系論文集	522	ピサの斜塔まっすぐに!? 周りの地面に傾斜 建物わざと斜めに	丸山 兼也	日経夕刊	11.25
アテネのゼウスのストアの設計法	林田 義伸	"	523	姿現した興礼門 ソウル中心部朝鮮総督府跡	大澤 文護	毎日夕刊	10.21
コンスタンティノブル、ボノス宮に関する研究 『儀式について』にみる住宅建築	太記 祐一	"	"	蘇生した「産業遺跡」ドイツ・ルール地方10 壮大な挑戦 10年続く再開発「国際建築博」斜陽の街に美の息吹	港 千尋	読売夕刊	10.29
古典主義建築における視覚補正理論と空間スケール	土居 義岳	"	"	<b>その他のジャンル</b>			
— 一般 —							
十八世紀初期フランスとメゾン・ド・ブレザンス フランス—ドイツ啓蒙主義建築思潮研究 その1	市川 秀和	"	"	特集 システム論 虹の部屋	港 千尋	現代思想	27-4
エジプト、アコリスにおける列柱廊の設置線について	堀 賀貴	"	525	特集2 ビデオトープは生きている ミュージアム	杉山 恵一 監修 DOME編 集部 構成	ドーム	44
ヴェルサイユ宮殿鏡の間の天井画の図像主題の変遷が城館と庭園の関係に及ぼした影響について	中島 智章	"	526	紙から音が出る? 「スキャントーク」で広がるアート・ワールド	原田 環	美術手帖	770
後期古代のキリスト教会堂の壁システムに関するゼーデルマイヤの研究—ゼーデルマイヤの教会堂建築論1—	黒岩 俊介	"	"	特集 ファッションという創造性 掟やぶりの小さな反逆者たち	林 央子	"	771
S・ボワスレーとE・シュイタインレの「グラール神殿」復元案について—十九世紀ドイツ建築における中世回帰の様相—	石川 恒夫	美 学	197	特集 〈自然〉論の現在 表象からプロセスへ—メディアアートにおける自然	四方 幸子	武蔵野美術	112
バオロ・ファルコニエーリと一六八一年のピッティ宮改修計画案	金山 弘昌	美術史	147	印刷伝来ロードを行く 400年前の遺欧少年使節の足跡手始めに	青山 敦夫	日 経	9.10
第五十二回全国大会研究発表要旨 パラッツォ・デル・テ「鷲の間」の政治的意味解釈	望月由美子	"	"	<b>日 本</b>			
モルモン教の神殿建築について	五十嵐太郎	武蔵野美術	112	新作能の舞台美術	山口 昌男	あいだ	44
世界の終わりと宗教建築	"	"	113	匠のかたち レンズ		A X I S	79
重要文化財聖ヨハネ教会堂修理工事完成に寄せて—キリスト教会と聖ヨハネ聖堂	飯田喜四郎	明治村だより	16	匠のかたち ゴジラ		"	82
ペロー建築、その透明さ 境界消えて融合される現世		朝日夕刊	2.10	着せ替え人形で遊ぶ人たち—似顔人形から「着せ替え模倣人形」まで—	川井 ゆう	URYU: 京都芸術短期大学紀要	21
				特集 明治維新を筆跡で読む 志士たちの書	石川 九楊	芸術新潮	597
				いきのいいパフォーマンス「第六回ニパフ」開催		美術手帖	771
				コンピュータが伴侶になりはじめた〜ペット用ロボット『AIBO』登場〜感情移入や「癒し」の対象	柏木 博	東京夕刊	7.30



デジタルでアートの世界広がる 劣化しない名作 仮想空間と遭遇 ネットがキャンパス	坂本 憲一	日 経	1.1
「電子絵本館」設置へ ネットで著作権者探し 国会図書館、ページ開設		"	1.6
風船の芸術 イベントで紹介		"	8.1
現代アート展、曲がり角 表現の多様化に対応しきれず…	桜庭 薫	"	11.20
国会図書館・デジタル絵本計画 ネットで著作権者探し		読売夕刊	1.6

海外

「動き」の本質への問いーウィリアム・フォーサイスとフランクフルト・パレエの挑戦	柿沼 美穂	カリスト	6
西洋版画コレクション 事始3 挿絵本・アーティストブックは版画の宝の山	川松 義宣 岡部・松山 インタビュー	版画芸術	103
ロシアにおける書籍印刷(第4回)	岩田 行雄	早稲田大学図書館紀要	46
注目されるイスラエルのコンテンポラリーダンス	佐東 範一	東京夕刊	9.1
透明幻想十選10 レンドルフとトリュルシュ「ヴェルージュカ」	谷川 渥	日 経	2.4

作家

日本

(ア)			
絵は風景 「会話」戯嘔	芥川 喜好	読 売	6.13
相笠昌義展 相笠流・グレーの考現学	武田 厚	絵	427
特集 アートになった昆虫たち スカラベに魅せられた美術家 わが愛すべき虫たち	相笠 昌義	美術(月刊)	286
BT的《新刊コミック・リレーション》(心に穴を開け、かき回し、それを優しく埋めるための三冊) [会田誠]		美術手帖	777

特集 日本・未来・美術 インタビュー 会田 誠	編集部ききて・構成	"	780
会田誠の孤独な営み 確かな想念培養する「絵描き」	山下 裕二	毎日夕刊	9.29
油彩で描かれた“日本画” 川越が生んだ大画家・相原求一朗	田中 穰	新美術新聞	862
相原求一朗 誰にも譲れないこのころの風土	武田 厚	美術(月刊)	281
追悼 相原求一朗 見えざる手に導かれた美術館	小田 豊	"	283
福田たね・青木繁作 《逝く春》について	志賀 秀孝	府中市美術館開設準備室研究紀要	3
「歴史」をみる眼十選 5 青木繁「わだつみのいろこの宮」	山梨 俊夫	日 経	5.17
Being ART Watching54 現代リアリズム考ー青木敏郎	中野 中	ギャラリー(月刊)	165
青木敏郎の芸術	千足 伸行	美術の窓	193
まんがワールド 鯨組 [青柳裕介]	村上 知彦	日経夕刊	5.24
常識覆すアート 子供たちに	青山美野子	朝 日	9.29
“先生”は拾ったお椀	赤木 明登	芸術新潮	591
赤瀬川原平 INTERVIEW	赤瀬川原平 窪田 研二 インタビュー	ARTの森(上野の森美術館)	1
新発見!“ないしょの若書き”大公開 不器用なほどに真面目な油彩	赤瀬川原平	芸術新潮	600
日本美術応援団17 応 挙のメッセージャー、南紀で絶好調 長沢廬雪	赤瀬川原平 山下 裕二	日経アート	124
日本美術応援団18 実は、内気なアヴァンギャルド 安井曾太郎	赤瀬川原平 山下 裕二	"	125
人生の〈島の時間〉	赤瀬川原平	百科(月刊)	438
のんびり元気術	赤瀬川原平 南 伸坊 渡辺 和博	朝 日	1.1
限界認め新しい道を「老人力」著者、赤瀬川原平さんに聞く	赤瀬川原平	談	1.13
観察の冒険続けて物の道理を見る力 『ぼくにとつての学校』	赤瀬川原平	"	4.4
『萬野美術』篠山紀信著	"	"	5.30

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日ア)

書棚から 記憶に残る本 気になる本	赤瀬川原平	朝 日	6.20	いみが盛り インドの大地に感謝 日本画家・文化功労者 秋野不矩さん	早瀬 廣美 産 経	5.1
『閑古堂の絵葉書散歩 東編・西編』林丈二著 昔の名所確認の旅 何か綿密な味わい	"	"	7.11	「満足できる絵へ精進」[秋野不矩]	斎藤 清明	毎日夕刊 10.23
書棚から タンポポの家ができた	"	"	11.21	文化勲章 秋野不矩さん		読売夕刊 10.26
1999年の幸福論 3 晩白柚	"	朝日夕刊	1.6	写真家の秋山庄太郎さん 作品無償提供、常設へ 町田市フォトサロン建設進む	泰 淳哉 東 京	7.4
加藤芳郎の甘辛倶楽部 美術家・作家 赤瀬川原平さん	加藤 芳郎 赤瀬川原平	産経夕刊	3.21	ART-LINK上 野一谷中'99参加企画 「Hack the Future!」展を語る	小沢 剛 秋山祐徳太 子対談	ARTの森 (上野の森美術館) 3
放射線	赤瀬川原平	東京夕刊	4.25、7.3、10、17.31、8.7、21、28.9.11、18.20、10.2、9、23.11.6、13.20、24.27、12.4.11、18.25	特集 日本・未来・美術「日本・通俗・芸術」その父から息子へ、息子から父へおくる往復書簡	秋山祐徳太 子 小沢 剛	美術手帖 780
奥の横道	"	日 経	1.10、17、24.31、2.7.14、21.3.2、7.28	創造の現場から16	秋山 陽	" 779
『優柔不断術』赤瀬川原平著	井上 志津	毎 日	7.18	福富太郎のアート・キャバレー 2号店25 額縁の裏を読む[浅井忠]	福富 太郎	芸術新潮 597
美の標本室 上手なキレ方を学ぼう	赤瀬川原平	毎日夕刊	12.3	関門美術史探索ノート(番外篇)[浅枝次朗]	(H)	潮 流 57
光の中あふれる透明感 金と気合いで逸品収集 身近な感じの印象派	赤瀬川原平 岩淵 潤子	読 売	1.7	梟の城ズームアップ 意匠担当・朝倉撰	岡本 耕治 ききて	産経夕刊 9.22
よむサラダ	赤瀬川原平	"	2.7、14、21、28	撰 美術、舞台そして明日13~50[朝倉撰]	皆川 博子	毎 日 1.10~ 9.26
座標軸	"	読売夕刊	1.11、3.15、5.24、7.26、9.20	ふたり語り 伝統音楽	朝倉 撰 池辺晋一郎 対談	読 売 7.13
まんがワールド 天才バカボン 赤塚ギャグの大きさ[赤塚不二夫]	いしかわ じゅん	日経夕刊	10.19	フェイス21世紀 5 浅野 信二	(常)	新美術新聞 863
ひとり語り 赤塚不二夫さん バカになりきれない	石田 汗太	読 売	8.10	浅野マサオ写真集 『東京某家』		東 京 2.14
絵は風景 「赤いバックの静物」赤堀尚	芥川 喜好	"	9.12	浅野マサオ写真集 「東京某家」	(ま)	読 売 2.21
風光り	秋岡 美帆	国立国際美術館月報	82	イッピン発掘記11 『NeXTコンピュータ』の巻	安次富 隆	A X I S 80
語る 秋野不矩の世界	秋野 不矩 佐田 智子 聞き手	朝日夕刊	10.6	探訪 日本画家東詔光先生を訪ねて		游 美 33
				版画美術館建設への熱い思い 畦地梅太郎先生の思い出	河野 実	新美術新聞 862
				畦地梅太郎と山	藤井 久栄	版画芸術 105
				知られざる郷土の画家5 我孫子真人	編集 部 鈴木 晋	美術(月刊) 280
				天野純治 物質になった平面	天野 純治 安田インタビュ	版画芸術 104
				LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	天利 道子	アート・マガジン(エル・アール) 11

ハワイ日系人の「心の師」荒了寛師 下		産経夕刊	2.23	夏の終わりに	安西 水丸	読売夕刊	9.8
日本人のアイデンティティとは? その7 荒井繁雄 物自体と神道	高山 淳	美術の窓	185	特集 安藤忠雄 可能性の(場)としての美術館		美術手帖	773
特集 岡本太郎 呼び出せるか太郎さんたちの	荒川 修作	ユリイカ	423	特集 安藤忠雄 美術を活性化する場合づくりとは 直島・家プロジェクトと「南寺」	秋元 雄史	" "	" "
新・作家への道標54 荒木経惟		ギャラリー(月刊)	169	特集 安藤忠雄 対話とプロセス ダイアローグー建築・アート・社会	安藤 忠雄	" "	" "
特集 ジェンダー・スタディーズ 表現、流通、セクシュアリティ 「アラニキー」写真と意味形成の磁場	萩原 弘子	現代思想	27-1	特集 安藤忠雄 建築は終わらない	上田 実	" "	" "
特集2 覗きの美学家妻エロス	荒木 経惟	美術手帖	768	特集 安藤忠雄 自然・美術・建築の融合	木村 重信	" "	" "
特別企画 草間彌生×荒木経惟サクラ対談	塩田 純一	"	771	特集 安藤忠雄 現代美術と建築の新しい関係	酒井 忠康 安齋 重雄 川俣 正忠 安藤 忠雄	" "	" "
特集 岡本太郎 アルバム 初めてのヌード 『Taro愛』アウトテイクス	荒木 経惟 インタビュー	ユリイカ	423	安藤忠雄「淡路夢舞台」自然を蘇生 壮大な庭園	飯島 洋一	読売夕刊	11.24
藤原新也の末法眼蔵裸小説[荒木経惟著、KKベストセラーズ発売]	藤原 新也	朝 日	3.7	一升瓶を使い鎮魂の造形[安藤日出彦]		東京夕刊	8.12
荒木経惟写真集『男の顔面』		東 京	4.18	テーマ'99生きる力 安野光雅さん	安野 光雅 時田 英之 聞き手	読 売	1.11
動物のいる写真十選 荒木経惟	倉石 信乃	日 経	8.10	(イ)			
江東区の造形作家? 荒野さん 幼稚園児の卒園記念製作に協力[荒野真司]		東 京	1.30	言葉と絵9 飯田クラウス太郎	和気英一郎	武蔵野美術	112
キャリアグラフィティ 「語らい」の情景、復活目指す 荒野真司さん	(松)	日 経	2.27	映像の中の時間/言語 飯村隆彦40年の軌跡	柳井 康弘	ARTLET	12
縁台の街並み 現代に[荒野真司]		読 売	10.9	向う三軒両隣 神奈川横丁27 五百住乙人 造形の詩心	武田 厚	美術の窓	188
有元伸也写真集『西藏(チベット)より肖像』	(前)	"	9.5	まんがワールド たいへんもいじーちゃん[いがらしみきお]	村上 知彦	日経夕刊	9.14
近現代日本の装幀十選5 粟津潔「シュールレアリスム宣言」(A・ブルトン著)	菊地 信義	日 経	11.16	「お札の顔」撮った鬼才[五十嵐与七]	江木 基彦	日 経	7.5
現代作家紹介 安喜万佐子 「見ること」の時間性 「絵画」への意志	川田都樹子	美術フォーラム21	1	近代工芸の異端者たち十選6 生野祥雲斎「ホールのための置物 梟将」	樋田豊次郎	"	6.4
特集 安藤忠雄 現代美術と建築の新しい関係	酒井 忠康 安齋 重雄 川俣 正忠 安藤 忠雄	美術手帖	773	私が選んだこの一冊 「モオツァルト・無常といふ事」	池口美智子	毎 日	6.16
ぼくの空想コレクション247 模様の花園—安西大	秋山 和歩	美術(月刊)	282	半世紀の反省記15~24	池田 龍雄	あ い だ	39~48
				青春プレイバック 池田龍雄 神奈川県川崎市久本町龍台寺	西川 昌宏	新美術新聞	871



私のいる風景 山水	伊藤 彬 前田 恭二 聞き手	読売夕刊	7.24	第9回本郷新賞に 故・井上武吉氏		新美術新聞	868
昭和会賞選考委員を 交代して	伊東 傀	絵	419	井上武吉「マイ・ス カイ・ホール」鑑 賞者も主役となる “六”	永井 泰山	産 経	6.6
美術エッセイ	"	"	423~428				
アート/生態系—美 術表現の「自然」と 「制作」展覧会関連シ ンポジウム	建島 哲 司 公象 伊藤 成雄 戸田 京太朗 丸山 直文 谷 新	アート・ マガジン (エル・ アール)	12	井上武吉『Bukichi Inoue my sky hole 1997』		産 経	10.31
伊藤公象作品「森の 鬚の道筋」に寄せて 響きあう箱根の自然 と芸術	奥田 裕	産 経	8.29	中特集 井上正子 虚空ほのかに白し・ 魂の形体	米倉 守	美術の窓	192
現在美術TOKYO発 6「タプロロー・レ アル」—田原桂一 の実験	伊東 順二	美術の窓	194	Being ART Watch- ing6? 「空気線」の リアリティーと幽玄 性—井上雅之	中野 中	ギャラ リー(月 刊)	173
現代日本美術の最高 峰—東山魁夷画伯を 偲ぶ	伊藤 清永	新美術新聞	864	名陶探訪 実りの秋 新しい自分をみつけ よう 人間国宝・井 上萬二さんに学ぶ有 田焼の技と心		東京夕刊	10.4
独牛・独語4~9	伊藤 忠雄	空想の森 から	145~150	『天来顕彰展 有一 作品撤回事件』の真 相[井上有一]	海上 雅臣	アート・ マガジン (エル・ アール)	14
伊東忠太の「建築進 化論」について(上) その由来	川道 麟太郎 橋寺 知子	日本建築 学会計画 系論文集	525	まなざしのフィール ドワーク1 比田井 天来と井上有一	山口 昌男	あいだ	39
芸術表現と場の研 究—歴史的建造物を 現代芸術表現の場と するための基礎調査 と実験—「都市の成 熟と芸術の役割」関 連研究	伊藤 敏光	広島市立 大学芸術 学部紀要	4	「比田井天来と日本 近代書道の歩み」展 のはらむ問題[井上 有一]	大泉ひがし	"	40
伊藤彦蔵イラスト レーション	(前)	読 売	8.29	学芸員諸君、この 本質を見よ—「天来 顕彰展有一作品撤回 事件」について	田中 三蔵	"	41
わたしの好きなもの 不思議な金属	伊藤 誠	新美術新聞	863	ART NOW 没後作 家の人格権成立[井 上有一]		美術の窓	188
伊藤誠 視線の旅行	伊藤 誠 安田 インタ ビュー・構 成	版画芸術	105	東京大空襲の惨状描 いた書家 大本營の 門札に揮ごうした書 家 一緒に展示する のは人格権侵害と訴 えへ 長野県信濃美 術館に撤去求める [井上有一]		朝日夕刊	2.24
「都市の成熟と芸術 の役割—歴史的建造 物と芸術の共振 No.2」	前川 義彦 蝦澤 達夫 伊藤 敏光 松本 憲 金田 治 対談	広島市立 大学芸術 学部紀要	4	ガスコーニュ・ジャ パニーズ・アート・ スカラーシップ 派 遣アーティスト伊庭 靖子さん		新美術新聞	858
探訪 陶芸家伊藤東 彦先生を訪ねて		游 美	31	このごろ通信 今井 俊満さん 新スタイ ルで裸婦に挑む	三田 晴夫	毎日夕刊	7.30
技法講座14 稲垣考 二 ダブルイメージ による裸婦像	松島 励路	美術の窓	187	ひと 第37回朝日陶 芸展でグランプリを 得た 今井美奈さん	井上 隆生	朝 日	8.24
特集 美学は可能か 作品/展示/批評 (美)の制度の脱構築	井上 明彦 川田 都樹子	武蔵野美 術	114	今泉清 ふるさとの 水彩、ふるさとへの 情熱	村山 鎮雄 今泉 清	美術(月 刊)	284
絵は風景「観光地 の乗り物」井上悟	芥川 喜好	読 売	8.29	被爆の語り部 絵筆 に託し[今口賢一]	戸上 航一	東京夕刊	8.3
土曜訪問 現実映す ベチャコな線と色 アーティスト村上隆 さん	井上 昇治	東京夕刊	10.2				

人らんだむ 第14回 小山敬三美術賞を受 賞した今関一馬さん	(西)	新美術新 聞	860	見えないかたち	植松 奎二	国立国際 美術館月 報	78
ひと 生涯現役のグ ラフィックデザイ ナー 今竹七郎さん	末益 公一	朝 日	4.24	インタビュー上村淳 之氏に聞く 京都日 本画の伝統		ア ー ト ト ッ プ	172
向う三軒両隣 神奈 川横丁26 入江観 セザンヌの前と後	武田 厚	美術の窓	187	上村淳之の「喉嚨荘 通信」9~11	上村 淳之	美 術(月 刊)	280、282、 283
もう、現代美術がむ ずかしい、なんて言 わせない。LR誌 上レクチャー2 美 術の多様化をめぐっ て[岩井成昭]	鷹見 明彦	アート・ マガジン (エル・ アール)	11	山水鳥語との抱擁現 象・画[上村淳之]	米倉 守	美術の窓	185
コンテンポラリー・ アーティスト 岩尾 恵都子 坂の途中で 実感すること	池上ちかこ	C. A. R.	31	おやじを語る 日本 画家上村淳之さん 花鳥画の先輩として 一番の理解者	生田 誠	産 経	8.9
富山県で作品発表続 ける岩城信嘉 太陽 と影と時間の織りな すドラマ 大地に痕 跡残すアースワーク	池上ちかこ	構成	31	上村純一郎 古典へ の憧憬から自身の自 然観へ編集部		美 術(月 刊)	281
アート・トップ現代 版画入門 版画は創 造する	筆塚 稔尚 岩切 裕子 横山 貞二 岡田 まり 小林 敬生	ア ー ト ト ッ プ	168	美の巨人たち 上村 松園 火中の蓮華 (上)	原田 勝広	日 経	8.22
絵は風景 「バケモ ノ百鬼夜行図」岩崎 巴人	芥川 喜好	読 売	11.21	美の巨人たち 上村 松園 火中の蓮華 (中)(下)	坂本 憲一	"	8.29、9.5
特集 平成11年前期 の美術賞とその作品 受賞作家 インタ ビュー	岩崎 裕子	美 術(月 刊)	287	おやじを語る 日本 画家上村淳之さん 花鳥画の先輩として 一番の理解者[上村 松園]	生田 誠	産 経	8.9
現代日本のグラス・ アートの先駆者た ち一岩田藤七と各務 鎌三	土田ルリ子	サ ン ト リー美術 館ニュー ス	174	ひみつ 玄界灘 漫 画家うえやまとちさ ん	中村 通子	朝 日	4.6
人らんだむ 第8回 サントリー美術館大 賞を受賞したイワタ ルりさん	(美)	新美術新 聞	851	まんがワールド クッキングパパ 日 常のファンタジー [うえやまとち]	小野山理絵	日経夕刊	8.10
わたしの好きなもの カタチがあってカタ チのないもの	イワタルリ	"	874	時代精神の根拠地 セゾン美術館が遺し た課題 現在の断面 と歴史的展望を結ぶ 場に	宇佐美圭司	東京夕刊	3.5
日本画家岩橋英遠さ ん 道産子の意志と 愛情と	山盛 英司	朝日夕刊	7.29	宇佐美圭司作品集 「絵画空間のコスモ ロジー」	(川)	読 売	6.13
創造の現場から15	上田 薫	美術手帖	777	牛島憲之 午後(貝 焼場)	村山 鎮雄	府中市美 術館開設 準備室研 究紀要	3
古今の美2 写真家 植田正治	後藤 繁男 植田正治	古 今	2F	江戸博蔵めぐり「俳 優出世富士登山寿語 六」歌川国貞(3代) 画	岩城 紀子	読 売	2.12
続維新残影7 写真 師「官」組織的に歴 史記録 熊本博物館 に上野彦馬らの120 枚が現存		読 売	7.17	学ぶ志は衰えず 96 歳で大学合格 浮世 絵師歌川豊国さん		産 経	2.23
絵は風景 「野にみ つ」上野泰郎	芥川 喜好	"	5.30	NEWお仕事カタク ロ イラストレー ター[宇田川のり子]		東 京	5.12
				駅 の 多 様 体6 ニューヨーク市地下 鉄に見る文化人類学 的デザイン[宇田川 信学]		A X I S	78

まんがワールド ロ ダンのココロ 一匹 とひと家族の幸せ (内田かずひろ)	いしかわ じゅん	日経夕刊	7.27	絵は風景 「青派」江 面忠信	芥川 喜好 読 売	7.4	
LR artists enquete あなたは日本に四季 があることをどう感 じていますか?	内田かんぬ	アート・ マガジン (エル・ アール)	14	家族の形に見る昭和 日米開戦の日を前に	江成 常夫 毎 日	12.7	
内堀晶夫写真集『パ ンドラの街 東京 1971-1975』何を 夢見て…		東 京	11.28	「都市の成熟と芸術 の役割—歴史的建造 物と芸術の共振 No.2」	前川 義春 鰐澤 達夫 伊藤 敏憲 松本 光治 金田 治 対談	広島市立 大学芸術 学部紀要	4
内堀晶夫写真集「パ ンドラの街」		読 売	11.21	向う三軒両隣 神奈 川横丁32 海老塚市 太郎 ハマツ子気質 で生きる	武田 厚 美術の窓	194	
LR artists enquete あなたは作品を購入 するということにつ いてどう思っていますか?	宇津木 彩	アート・ マガジン (エル・ アール)	13	まんがワールド ご くふつうの恋 現実 揺るがす過激さ[え みこ山]	小野山理絵 日経夕刊	10.12	
紙の甲冑、手づくり 指南 子どももお年 寄りも集う塾、武者 行列も名物に	卯月 永年	日 経	5.5	全盲の画家 世界が 評価 イラストレー ター エム・ナマエ さん	赤沢信次郎 東 京	10.20	
内海信彦さんの多彩 な活動 パルで再 度の個展 演劇祭で 公開制作も	石川 健次	毎日夕刊	5.28	交遊抄 猫が取り持 つ縁	遠藤 彰子 日 経	2.6	
おやじの背中	榎岡かずお	朝 日	10.11	土曜訪問 現代の 「不快さ」を見つめる 美術家遠藤利克	井上 昇治 東京夕刊	2.6	
美術エッセイ 梅原 龍三郎「朝陽」	日野耕之祐	ARTの 森(上野 の森美術 館)	2	(オ)			
天馬が空を行く1 梅原龍三郎	米倉 守	清 春	29	ユニバーシティアイ デンティティUI の研究と開発	及川 久男 広島市立 大学芸術 学部紀要	4	
注目集める日動美術 財団の「登録会」「梅 原龍三郎の会」と「安 井曾太郎の会」を新 たに設立	長谷川徳七 談	美 術(月 刊)	281	LR artists enquete あなたの「嫌いなも の」について書いて 下さい。	扇 千花 アート・ マガジン (エル・ アール)	11	
《座談会》「梅原龍三 郎の会」スタートに あたって	嶋田 啓作 富山 秀男 浅野 徹郎 陰里 鐵三 瀧 務孝 鈴木 健孝 居原田 健 長谷川徳七 長谷川智恵 子	"	282	コンテンポラリー・ アーティスト 扇千 花 紙がつくる軽や かな空気感	C. A. R.	31	
梅原龍三郎とその時代 2	宝木 範義	明星大学 研究紀要	7	特集 平成10年後期 の美術賞とその作品 受賞インタビュー 見えない「宇宙線」に 注ぐ情熱	逢坂 卓郎 美 術(月 刊)	280	
マンガの居場所 浦 沢直樹が追求するもの	宮本 大人	毎日夕刊	11.5	[特集]富山県立近代 美術館事件：国家賠 償訴訟地裁判決をう けて 空虚な中心と 周縁の危機[大浦信 行]	暮沢 剛巳 あいだ	37	
(工)				[特集]富山県立近代 美術館事件：国家賠 償訴訟地裁判決をう けて 非公開以前の こと[大浦信行]	島 敦彦 "	38	
江上計太：場の「喧 噪感」	花田 伸一	美術の森	95	[特集]富山県立近代 美術館事件：国家賠 償訴訟地裁判決をう けて 縄文の縄で首 を吊れるか	大浦 信行 "	"	
人間発見 デザイン は世界のために1~ 4	栄久庵憲司 河野 孝 聞き手	日経夕刊	2.8、9、 10、12	21世紀住居図鑑26 「ケヤキの転生」[大 江匡]	伊藤 公文 A X I S	81	

「法政大学大学院」における「近代」の意味 建築家・大江宏の言説に関する方法的 研究 その1	崔 康勲	日本建築 学会計画 系論文集	525	特集 超写真術 モ ノクロームへのこだ わり ストイックで 豊かな表現世界[大 塚勉]	三橋 純予	美術手帖	779
クルドの誇り「山」で 接写 国家なき遊牧 民族の真実を追い続 ける	大河原 隆	日 経	4.30	大辻清司写実実験室 「写真の写真家」とい うべき大辻清司	鈴木志郎康	現代の眼	514
時間は仕事のため集 約 レリーフで独自 の境地確立 皮革工 芸作家 大久保婦久 子さん	大久保婦久 子 森 淳美 聞き手	産 経	7.17	大辻清司写実実験室 上原ノート	高梨 豊	" "	" "
《大村益次郎像》ほか 靖国神社境内に設置 されたブロンズ製記 念像等に関する調査 報告4 大村益次郎 像鑄造の背景[大熊 氏廣]	高橋 裕二	屋外彫刻 調査保存会 報	1	現代版「パンの会」発 足 江東区の大西さ んら [大西猛夫]	大西 忠夫	香川県文 化会館 ニュース	102
《大村益次郎像》ほか 靖国神社境内に設置 されたブロンズ製記 念像等に関する調査 報告5 《大村益次 郎像》を見る角度と 距離と時間[大熊氏 廣]	田中 修二	" "	" "	日本人のアイデン ティティとは?その 1 大沼 映夫 広 がりのある空間	一井 建二	美術の窓	185
LR artists enquete あなたが美術館につ いて感じていること をお書き下さい。	大島 成己	アート・ マガジン (エル・ アール)	15	作家訪問274 木版 画家 大野隆司さん	編 集 部	目の眼	276
版画系 大島成己 映像の身体	松 山	版画芸術	103	きれないハサミ	大場 郁代	明星大学 研究紀要	7
太田三郎 見慣れない 「切手」	安 田	版画芸術	103	フェイス21世紀3 大場 再生(常)		新美術新 聞	858
講演要旨 阪急電鉄 のポスターを創った 三人のデザイナーたち [奥野英雄、菅井 汲、田川覚三]	大高 猛	池田文庫	14	愛玩記 手元に残っ た品々15 芸術家 様々な相貌[大場正 男]	渥美 國泰	ア ー ト ト ッ プ	168
特集 日本・未来・ 美術 インタヴュー 大竹伸朗	東谷 隆司 ききて・構 成	美術手帖	780	林文浩のPHOTO SHOCK CHECK! 家族のアルバム 大 橋 仁	林 文浩	デザイン の現場	102
藤原新也の末法眼蔵 ぬりどき日本列島 (大竹伸朗著、新津 市文化振興財団)	藤原 新也	朝 日	7.4	何を胸に刻む 大橋 仁写真集『目のまえ のつづき』		東 京	10.3
繊細で深い、ひらめ きの随想 既にそこ にあるもの 大竹伸 朗著	宮内 勝典	東 京	8.22	LR artists enquete あなたは、画廊や ギャラリーに何を望 みますか?	大橋 勝	アート・ マガジン (エル・ アール)	16
アートと渾然一体と なった香港デザイン シーン トミー・ リーと彼を取り巻く 5名のクリエイター たち	大谷 治	A X I S	81	研究ノート アン チープの砦—ニコ ラ・ド・スタールに ついて—	大森 翠	URYU : 京都芸術 短期大学 紀要	21
大津英敏 版に刻み こむ現在	編 集 部	美術(月 刊)	285	川端文学書画に花咲 かす 企画立て、作 品のモチーフを芸術 家に橋渡し[大山忠 作]	北川 栄一	日 経	8.18
家族の肖像十選1~ 10	大津 英敏	日 経	10.4,5, 7,8,11, 14,15, 18~20	風景の中の道十選6 岡鹿之助「村の一隅」	小杉小二郎	" "	1.12
				天心再評価の機運	小倉 忠夫	東 京	12.14
				土佐美術史外伝22 岡崎精郎	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニュース	24
				岡田華邨「西王母」試 料片調査報告 附・ 現代日本画の顔料	宮田 順一	修復研究 所報告	14
				不思議な詩人尾形亀 之介 若い世代に共 感呼ぶ	酒井 佐忠	東京夕刊	12.17



日本人のアイデンティティとは?その3 岡田徹 人間心理を凝視(みつ)める	高山 淳	美術の窓	185	特集 岡本太郎 民族学と岡本太郎	山口 昌男	" "	" "
特集 平成10年後期の美術賞とその作品受賞インタビュー 壁に映った蘇鉄の影をヒントに	岡田 秀明	美術(月刊)	280	特集 岡本太郎 いま考えてみると……	巖谷 國士	" "	" "
アート・トップ現代版画入門 版画は創造する	筆塚 稔尚 岩切 裕子 横山 貞二 岡田 まり 小林 敬生	アート トップ	168	特集 岡本太郎 一九五〇年代 岡本太郎と私	山口 勝弘	" "	" "
制作ノート 繊維の五感	岡野 優	武蔵野美術	111	特集 岡本太郎 岡本太郎宣言	山下 裕二	" "	" "
版画ラジオ	岡谷 敦夫	明星大学研究紀要	7	特集 岡本太郎 夜の遺言 岡本太郎とジョルジュ・パティユ	酒井 健	" "	" "
作家訪問268 木版画家 岡見和郎さん	編集部	目の眼	270	特集 岡本太郎 戦後の伝統論と岡本太郎	辻 惟雄	" "	" "
柳宗悦に火を灯された人々57[岡村吉右衛門]	近藤 京嗣	陶 説	559	特集 岡本太郎 アルバム 初めてのヌード『Taro愛』アウトテイクス	荒木 経惟 インタビュー ビュー	" "	" "
川口直宜の絵画巡覧 26 21世紀を展望する作家たち 岡村桂三郎一新領域を開拓し続ける力	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	175	特集 岡本太郎 太陽の塔の子供たち	小沢 剛 ヤノベケンジ 対談	" "	" "
"壁"が破れた時	岡村桂三郎 談	美術(月刊)	284	特集 岡本太郎 痛烈な反撃	中世古佳伸	" "	" "
LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか?	岡村 太郎	アート・マガジン(エル・アール)	12	特集 岡本太郎 強力と相対 岡本太郎作家論	中ザワヒデキ	" "	" "
制作点描 岡本敦生「origin '99」	山岸 孝彦	産 経	7.11	特集 岡本太郎 瞬間の彫刻 岡本太郎の映像人類学的探求	港 千尋	" "	" "
岡本太郎ルネッサンス3~6	日向あき子	版画芸術	103~106	特集 岡本太郎 太陽と戦慄	岸野 雄一	" "	" "
特集 岡本太郎 岡本太郎の肖像	アラン・ジュフロワ 後藤 敏郎 訳	ユリイカ	423	特集 岡本太郎 (一つの恋)の終わりのために	中里 効	" "	" "
特集 岡本太郎 美の時空間旅行	岡本 敏子 インタビュー 山下 裕二 聞き手	" "	" "	ニッポン現場紀行 岡本太郎美術館 ヤノベケンジさんに行く	鈴木 繁 朝 日	2.19	
特集 岡本太郎 走り書き風な太郎論	大岡 信	" "	" "	高みの見物記2 太陽の塔(大阪府)[岡本太郎]	保科 龍朗	" "	7.11
特集 岡本太郎 芸術家とその作品について	横尾 忠則	" "	" "	近い昔の物語 万博アートの人々 太陽の塔に刻んだ絶望[岡本太郎]	針生 一郎 山盛 英司 構成	" "	9.3
特集 岡本太郎 「痛ましき腕」とサインペン	建畠 哲	" "	" "	岡本太郎ブーム再燃 関連書、多彩に次々と	吉村 千彰	" "	10.3
特集 岡本太郎 驚きと笑いの塔	王 欣太	" "	" "	人気再爆発の故岡本太郎 価値観再構築の時代に美術の領域を超えた支持	田中 三蔵	朝日夕刊	11.15
特集 岡本太郎 呼び出せるか太郎さんたちの	荒川 修作	" "	" "	風テーマのイベント 続々 岡本太郎風コイのぼり	産 経	" "	4.18
特集 岡本太郎 黒い太陽の神話 太陽の塔から岡本太郎へ	山下 裕二	" "	" "	甦る岡本太郎の文章 ブックマーク 岡本太郎の“文筆業”	高澤 秀次 (律)	" "	5.16
				岡本太郎の思想再発見	日 経	" "	1.24
					宮川 匡司	" "	12.5

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日オ)

「没後4年」前に関連出版続々 岡本太郎が「爆発だ！」	(前)	読売夕刊	11.27	編集長対談	奥谷一井 博 建二	" "	" "
しもべの思索	岡本 文一	明星大学研究紀要	7	講演要旨 阪急電鉄のポスターを創った三人のデザイナーたち[奥野英雄、菅井汲、田川覚三]	大高 猛	池田文庫	14
最後の南画家・小川芋銭の「河童百図」について	北島 健	茨城県立歴史館報	26	もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめくって[奥村綱雄]	鷹見 明彦	アート・マガジン(エル・アール)	11
塔の眺め5 垂直のメディア・平面へのメディア[小川一真]	細馬 宏通	ユリイカ	419	美術エッセイ 奥村土牛「醍醐」	日野耕之祐	ARTの森(上野の森美術館)	1
塔の眺め6 パノラマと現実[小川一真]	"	"	420	プロムナード	三輪 龍作	日経夕刊	1.9
思いでの東京528枚はがき絵をまとめて出版[小川幸治]	小国 綾子	東京	5.8	茨城・天心記念五浦美術館「目玉絵画」朝日新聞が一足先に展示 11日からの「院展」実物大のカラー写真で代用[小倉遊亀]	小倉 寛子	日経	10.11.18
私空間	小川 淳	朝日夕刊	5.31~6.3	名譽博士号、パリで絵画展へ[小倉遊亀]	読売夕刊	1.4	
LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか?	小河 朋司	アート・マガジン(エル・アール)	14	絵は風景「amorphous・B」尾崎愛明	芥川 喜好	読売	5.9
コンテンツラリー・アーティスト 小河朋司 ゆるやかに放たれる色彩のリフレクション	池上ちかこ	C. A. R.	30	カヤぶき民家訪ね全国スケッチ旅行 大田区の小沢さんきょうから作品展	竹永 昌代	毎日	12.12
近代工芸の異端者たち十選3 小川雄平「陶製黒豹置物」	樋田豊次郎	日経	5.31	ART-LINK 上野一谷中'99参加企画「Hack the Future!」展を語る	小沢 剛 秋山祐徳太子 対談	ARTの森(上野の森美術館)	3
[作品研究] 荻原守衛作《女》をめくって	高橋 幸次	現代の眼	516	特集 最新東京アート&カルチャー完全ガイド アーティストがよく行く街 小沢剛のすすめるインディー百貨店	美術手帖	774	
荻原守衛生誕百二十周年を迎えて	柳沢 廣	碌山美術館	9	特集 日本・未来・美術「日本・通俗・芸術」その父から息子へ、息子から父へおくる往復書簡	秋山祐徳太子 小沢 剛	"	780
荻原守衛関係自筆断片資料及び論説資料補遺	千田 敬一	碌山美術館報	19	特集 岡本太郎 太陽の塔の子供たち	小沢 剛 ヤノベケンジ 対談	ユリイカ	423
F・ロートン著「オーギュスト・ロダンの生涯と作品」について	濱谷 一梅	"	"	東京解剖図鑑 6 畳一間の画廊が自己表現の場[押川東一郎]	石橋 春海	東京	5.21
インタビュー奥田元宋氏に聞く 画塾とは何であったか		アートトップ	171	絵は風景「パリ祭にて」織田廣喜	芥川 喜好	読売	7.11
奥田元宋さん「新日曜美術館」に出演		新美術新聞	854				
LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか?	奥田 博士	アート・マガジン(エル・アール)	14				
奥谷博一感動のカッパドキア	武田 厚	絵	422				
アンケート特集「セザンヌ展に思う」単純に見えて複雑	奥谷 博	新美術新聞	875				
奥谷博 具象を問い続ける画家	加藤 貞雄	美術(月刊)	283				
奥谷博の写実と幻想 神話となった海彦の視覚	中山 公男	美術の窓	187				
不安な絵 生の真実に届く眼差し[奥谷博]	山梨 俊夫	"	"				

著者に会いたい『女神たち』小田まゆみさん 日常から生まれる理想の女	吉村 千彰 朝 日	7. 11			近現代日本の装幀十選4 恩地孝四郎「槐多の歌へる」(村山槐多著)	菊地 信義 日 経	11. 12	
版画家・小田まゆみさん 竹パルプの紙で作品集			産経夕刊	8. 14				(カ)
奇想天外の趣向 江戸絵画十選5 小田野直武「不忍池図」	榊原 悟 日 経	2. 16			現代美術の「寅さん」でいこうかな 1998年9月12日 開発好明インタビュー	開発 好明 岡村 恵子 聞き手	アート・マガジン〈エル・アール〉	11
近代工芸の異端者たち十選7 越智健三「植物の印象」	樋田豊次郎	"	"	6. 7	追悼・加賀美勲 勲兄と八ヶ岳	宮下 実	新美術新聞	858
絵は風景「箱舟-blue&yellow」小野絵里	芥川 喜好 読 売	12. 19			現代日本のグラス・アートの先駆者たち一岩田藤七と各務鎌三	土田ルリ子	サントリー美術館ニューズギャラリー(月刊)	174
「記憶の風景2・26の午後」で芸術選奨を受賞 小野具定さん	西		新美術新聞	860	Being ART Watching58 多重心層を切開する一垣花恵子	中野 中		169
いまが盛り 独学で夢を実現 画家・考古地理学者 小野今さん	早瀬 廣美 産 経	5. 29			茶の湯釜師(人間国宝)角谷一圭さん(14日死去、94歳) 集中支えた寄り道人人生	坪井 恒彦 読 売		1. 31
コンテンポラリー・アーティスト 小野隆生 恩・ザ・ロードの風に吹かれて			C. A. R.	30	葛西萬司が残した県内の建築及び資料について	瀬川 修	岩手県立博物館研究報告	17
《冬日帖》(一九二八年)誕生の背景[小野竹喬]	上園 四郎 視 る	383			時の贈り物 「消去法」で我が道を歩んだ	風間 完 大原 悦子 聞き手	朝日夕刊	4. 23
小野竹喬・最上川の燃焼	池田 弘	"	"	"	創造の現場から17	風間サチコ	美術手帖	780
南風ものがたり 沖縄「次代」の若者たち3 継承 海渡り琉球ガラス修行[小野田郁子]	池田 弘	"	"	"	100周年記念企画一 記念ビデオ完成について[『志、富士より高く』一片岡球子]	女子美術大学同窓会	medium	6
特集 超写真術 オノデラユキ コンセプトと作品を結ぶキーワード	藤川 哲 美術手帖	779			江戸の浮世絵師、地下鉄駅の壁画に[片岡球子]		朝 日	12. 11
創造の現場から10	湊見 一秀	770			この人 片岡鶴太郎さん	(通)	東 京	1. 26
デザイナー、現場に行く! 3 織咲誠さん、ミカ製版を“感じ”に行く	山本 雅也 デザインの現場	102			「ヨーロッパからの八人」展出品作、ジグマール・ボルケ《ホワイト・ルーム》をめぐって[片瀬和夫]	群馬県立近代美術館学芸課	アート・マガジン〈エル・アール〉	11
1910年代における恩地孝四郎の「抒情」をめぐって—未来社の活動と『月映』—	桑原 規子 鹿島美術研究	16			土佐美術史外伝21 片山敏彦	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース	23
『月に吠える』研究—萩原朔太郎、田中恭吉、恩地孝四郎の時代—	井上 芳子	"	"	"	まんがワールド まんちよくスナイパーとどめ 片山流のち密な計算[片山まさゆき]	いしかわじゅん	日経夕刊	1. 26
研究発表(要約)「恩地孝四郎の(抒情画)と竹久夢二」	桑原 規子 近代画説	8			戦後の香月泰男(上)(中)(下)	安井雄一郎 絵		427~429
恩地孝四郎の『飛行官能』をめぐって—一九三〇年代における芸術形式と大衆社会—	"	芸 叢	15		TV人の週間日誌 画家・香月泰男さんのやさしい思い出よみがえる	菅野 高至 読売夕刊		7. 21
					特集 超写真術 畠山直哉×桂英史 写真と芸術をめぐる希望	畠山 直哉 桂 英史 対談	美術手帖	779

青春ブレイバック 桂川寛 東京都千代 田区神田保町ラド リオ	西川 昌宏	新美術新 聞	855	狩野芳崖の写生帖一 天瑞寺永徳画縮図の 紹介をかねて一	古田 亮	鹿島美術 研究	16
追悼・角卓先生	網島 徹夫	"	862	近現代日本の装幀十 選7 加納光於「螺 旋都市」大岡信著	菊地 信義	日 経	11.19
特集「白洲正子」全一 冊 美の種まく人 何につくともなき心 かな一西行の和歌を 表具する	加藤 静允	芸術新潮	600	特集 鏗木清方が描 き、語る私の東京も のがたり		芸術新潮	592
加藤金一郎遺作展 遺作展に寄せて	三浦 小春	絵	428	清方さんに会いたく て…鎌倉もうで	福富 太郎	"	"
Being ART Watch ing63 “人型”によ る現代仏画一加藤正 二郎	中野 中	ギャラ リー(月 刊)	174	「鏗木清方展」一1 まわりつづく「記憶」 の語り手	古田 亮	現代の眼	515
アラスカ滞在記1〜 3	加藤 晋	アート トップ	171〜173	「鏗木清方展」一2 祖父清方のこと	根本 章雄	"	"
家族のこと話そう 親の言うこと聞かん のが“家風”	加藤 卓男 高間 睦 聞き手	東 京	12.12	脱近代の試み・鏗木 清方	加藤 類子	国立国際 美術館月 報	81
核時代のハートを描 く 画家加藤正さん	大日方公男	東京夕刊	7.10	鏗木清方展に寄せて 未来永劫伝えたい文 化遺産	福富 太郎	新美術新 聞	861
漆器に変身牛乳バック 再生紙づくり高 じて、実用工芸品を 製作	加藤 友三	日 経	8.4	編集手帳[鏗木清方] よみうり寸評[鏗木 清方]		読 売	4.8.21
「加藤土師萌展」一 歴史の中の加藤土師 萌	金子 賢治	現代の眼	518	木の作家を訪ねて16 神山明氏	神山 明 新明 英仁 聞き手	氷 華	40
「加藤土師萌展」一2 加藤土師萌陶芸の原 点一日野厚と瀬戸凶 案研究会	服部 文孝	"	"	彫刻と社会のあいだ (後)〜「日本の具象 彫刻10人展」展覧会 報告に代えて〜[神 山明]	中村 聖司	"	"
加藤嶺夫写真集「東 京 消えた街角」	(前)	読 売	10.10	〈石版『懐古東海道五 十三驛真景』油彩原 画〉研究序説[亀井竹 二郎]	中山 恵理	郡山市立 美術館研 究紀要	1
彫刻のいま9 加藤 豊「物語、そして具 象彫刻のひろがり」	高山 淳	美術の窓	186	シンポジウム 亀井 の描いた東海道をめぐ って 名所絵から 風景画へ	青木 茂 歌田 眞介 村田 哲朗 中山 恵理 丹尾 安典 司会	"	"
笑いの仕掛人たち 加藤芳郎さん ナン センスを楽しむ		毎 日	3.28	「中山道」を描き続け て	亀子 誠	新美術新 聞	857
ぼくの空想コレク ション250 意境よ りの招き一加藤良造	秋山 和歩	美術(月 刊)	285	宿場町消えゆく面影 描く	"	日 経	3.17
金瀬胖写真集 「ZONE-終の国」	(前)	読 売	5.23	日本の近代版画コレ クション・ダイジェ スト4から一香山小 鳥・藤森静雄・逸見 亨について	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館ニ ュース	21
絵は風景 ライフ 「朝のカフェ」金森宰 司	芥川 喜好	"	10.10	加山又造氏に井上靖 文化賞		産経夕刊	2.6
現在美術TOKYO発 7 ロボットでエレ ジーを作る男 金丸 賀也	伊東 順二	美術の窓	195	加山画伯が語る 横 山操展TV放送録画 撮り		毎 日	6.15
LR artists enquete あなたにとって「美 術館」とは何です か?	金村 修	アート・ マガジ ン(エル ・アール)	12	謙虚に受賞の喜び語 る 井上靖文化賞の 加山又造さん	石川 健次	毎日夕刊	2.3
対談 「東京ノイズ」 近藤等則VS金村修	八角 聡仁 司会	"	14				
都市の熱2〜4	金村 修	読売夕刊	8.4〜6				

川上澄生と詩集	橋本野乃子	鹿沼市立川上澄生美術館報	15	都市の死角 川俣正の「東京プロジェクト」	美術手帖	768
長岡輝子の詩集『詩歴』と川上澄生	小林 利延	" "	" "	特集 安藤忠雄 現代美術と建築の新しい関係	酒井 忠康 安齋 重雄 川俣 正雄 安藤 忠雄	美術手帖 773
南蛮船に秘められた慕情	橋本野乃子	" "	16	土曜訪問 自動車の街で新たなプロジェクトを始める 美術家川俣正さん『公共アート』へ問題提起も	井上 昇治	東京夕刊 7.3
澄生南蛮船は一隻の船だった	小林 利延	" "	" "	現代アート考 川俣正の「家」	三田 晴夫	毎日夕刊 1.21
ある洋画家の軌跡 川口軌外展	奥村 泰彦	和歌山県代官立美術館ニュース	22	絵は風景 「行方」川村悦子	芥川 喜好	読 売 11.14
特別な感懐	河口 龍夫	京都市美術館ニュース	178	追悼 二人の川村氏の先見性と決断力 川村勝巳・川村茂邦氏を偲ぶ	広本 伸幸	新美術新聞 862
特集 ファッションという創造性 ファッションを変えた3人 川久保玲 アヴァンギャルドな信念を貫く	清水 早苗 文・構成	美術手帖	771	川村 清雄一「和」と「洋」の融合をめざして	三浦 篤	千葉市美術館ニュース C'n 9
特集 ファッションという創造性 意識のエンジニアリング 三宅一生と川久保玲を中心として	長谷川祐子	" "	" "	忘れられた彫塑の巨匠 米に数々の大作を残した川村吾蔵を追う	飯沼 信子	日 経 6.8
身体論の罫 「シナリオ」の失敗 [川久保玲]	林 卓行	武蔵野美術	112	追悼 二人の川村氏の先見性と決断力 川村勝巳・川村茂邦氏を偲ぶ	広本 伸幸	新美術新聞 862
ぼくの空想コレクション248 混沌の彼方より—川越良昭	秋山 和歩	美術(月刊)	283	ぼくの空想コレクション252 ユートピアの夢—河村卓見	秋山 和歩	美術(月刊) 287
夢の形見に 倉俣史朗デザイン論7~12	川崎 和男	A X I S	77~82	ひと ポップなアートが静かなブーム 川村紀子さん	市川 速水	朝 日 1.12
川崎和男 「道具のデザイン」から「人工臓器のデザイン」へ	鈴木 紀慶 インタビュー	デザインの現場	103	特集 タイポグラフィ タイポグラフィの発想1 現代美術と(タイポグラフィ)的領域 河原温についての覚え書き	高島 直之	武蔵野美術 113
川嶋清裁判の結果報告	長谷 宗悦	あいだ	46	意識・フィールド・時間 主体の新たなあり方へむけて [河原温]	長谷川祐子	" 114
川口直宜の絵画巡覧 23 21世紀を展望する画家たち 河嶋淳司—古典とコンテンポラリー	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	172	カボチャドキヤ遊覧記 [川原田徹]	川原田 徹	版画芸術 105
香川の作家シリーズ ニューヨーク現代事情	川島 猛	香川県文化会館ニュース	103	ミュージアム・トーク '99第3回 恩師 杉浦非水先生	神田 昭夫	島根県立西部美術館準備ニュース 11
特集「白洲正子」全一冊 美の種まく人 最後まで、こわい方でした	川瀬 敏郎	芸術新潮	600	北の大地愛した農民画家 町の誇り「神田日勝」、心に染みる画風	菅 訓章	日 経 12.27
もぬけの殻でこんにちは	河田 政樹	アート・マガジン(エル・アール)	15			
遺品から「武四郎の涅槃図」9年費やした河鍋曉斎の傑作を確認	明珍 美紀	毎日	9.21			
新・作家への道標51	川俣 正	ギャラリー(月刊)	166	鬼海弘雄写真集「東京迷路」	(前) 読 売	12.5

(キ)

新世紀人 初めての 絵本で伊の国際児童 書賞を受賞 菊田ま りこさん	(泉)	日 経	8. 14	絵は風景 「蟬の音」 北村さゆり	芥川 喜好	読 売	8. 15
江戸博蔵めぐり 「小塚原図」菊池容斎 画	熊谷 紀子	読 売	4. 23	研究ノート 旧野村 元二郎邸の北村四海 作「橘媛」について	江上 ゆか	ピロティ	113
私が愛した名探偵 金田一耕助 最初の 印象悪かったが…	喜国 正彦	朝日夕刊	12. 6	この人 北村昭彦さ ん 螺鈿技術で初の 人間国宝	(本)	東 京	6. 12
調査報告 菊畑茂久 馬のオブジェ作品目 録	友井 伸一 吉川 神津夫	徳島県立 近代美術 館研究紀 要	5	「初心 忘れず、終 生、表現・技術 磨 く」[北村昭彦]		読売夕刊	9. 14
ひと 「岸田劉生、 麗子との三人展」を 初めて開く 岸田夏 子さん	川村 二郎	朝 日	10. 24	創造の現場から13 城戸孝満		美術手帖	774
【シンポジウム発表 要旨】明治天皇事蹟 をめぐって—二世五 姓田芳柳と岸田劉生 もう一つの「麗子立 像」[岸田劉生]	横田 洋一	近代画説	8	My 往生 色に包ま れて[城戸真亜子]		朝 日	11. 8
写真への姿勢—質感 表現をめぐって 由 一と劉生を中心に	小林未央子	「美の世 界」通信	22	日本人のアイデン ティティとは? その 6 インタビュー	一井 建二	美術の窓	185
美と出会う おかざ き世界子ども美術博 物館 「秋」岸田劉生	稲垣 満春	東 京	9. 19	絹谷幸二 両端を 握って真ん中で新し い創造を		篠原 弘	188
20世紀精神史第4 部・日本の思想 美 術における主体 リ アリズムの自壊的展 開[岸田劉生]	北澤 憲昭	毎日夕刊	6. 28	絹谷幸二の新しい巨 大壁画 なら100年 会館に「日月大和麗 し(光ふる街奈良)」 を完成させる	西村 貞一 絹谷 幸二	産 経	9. 30
絵は風景 「天使」岸 野香	芥川 喜好	読 売	11. 28	全日本アートサロ ン 絵画大賞展を語る 対談 独自性に心を こめて	絹谷 幸二	読 売	11. 2
魯山人の酒器	塚田 晴可	目の眼	277	「煌めくプラハ展」か ら3 誘惑を閉じこ める水	木内 岬	游 美	33
絵は風景 「千尋の 滝(屋久島)」北岡文 雄	芥川 喜好	読 売	6. 20	父を語る 木内克の ことなど	木下 晃	読売夕刊	7. 3
熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展	寺口 淳治	和歌山県 立近代 美術館 ニュース	21	コンサートとカメラ	木下 晃	読売夕刊	7. 3
北川民次の魅力	村田 真宏	絵	422	Being ART Watch ing65 祈りの透視 カー木下晋	中野 中	ギャラ リー(月 刊)	176
北川天写真集『天 川の神人』熱い ぜ! 火おどり		東 京	6. 13	ひとこと 木原浩 さん(写真家)「風、 光、空気感 環境も 写したい」		朝日夕刊	6. 9
北川原温「港区立大 平台みなと荘」国 立公園の制約内 和 風と近未来性両立	飯島 洋一	読売夕刊	6. 10	絵は風景 「SAND PLAY 9811F」金昌 永	芥川 喜好	読 売	4. 25
川口直宜の絵画巡覧 19 21世紀を展望す る作家たち 北田克 己—画境深化の意志 力と創造の柔軟性	川口 直宜	ギャラ リー(月 刊)	168	地下茎のEnergy/ その新たな現代性— 土と陶の造形より—	金 鉉淑	女子美術 大学紀要	29
第五十二回全国大会 研究発表要旨 北野 恒富の表現とその時 代—明治末期の作品 について	川西 由里	美術史	147	「決定的瞬間」とい う言説—戦後日本社 会におけるカルティエ =ブレスソンの受容 について—[木村伊 兵衛]	殿内 真帆	芸 叢	15
				20世紀日本の記憶6 木村伊兵衛 日常素 早く切り取る	飯沢耕太郎	読 売	8. 11
				木村圭吾 桜花と北 陸路の集中制作	瀧 悌三	美術(月 刊)	283
				木村莊八 夜の宿	中山 なち	府中市美 術館開設 準備室研 究紀要	3

特集 平成11年前期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー 木村太陽	美術(月刊)	287	藤田 一人	美術(月刊)	285
フォト・モニター ジュ作品集発表 木村恒久さん 重みますディテール	前田 恭二 読売夕刊	3. 25	國安 孝昌	筑波大学芸術研究報告	32
まんがワールド 母親の娘たち 冷静な筆で本質描く[樹村みのり]	村上 知彦 日経夕刊	5. 25	"	筑波大学芸術年報	
まんがワールド 中学生日記 男の子の日常を再現[QBB]	"	7. 6	福岡 賢正	毎日	11. 3
近現代日本の装幀十選9 清原悦志「吸血妖魅考」日夏耿之介著	菊地 信義 日経	11. 23	妹尾 克己	岡山県立美術館ニュース	43
青春プレイバック 清水九兵衛 京都市東山区清水寺山門付近	西川 昌宏 新美術新聞	863	小杉小二郎	日経	1. 15
特集 平成10年後期の美術賞とその作品受賞インタビュー 彫刻と陶芸の世界の歩み寄り	清水九兵衛 美術(月刊)	280	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	166
交遊抄 変わり者	"	5. 22	久野 和洋	日経	7. 29
特集 岡本太郎 驚きと笑いの塔	王 欣太 [キングコ] ユリイカ	423	黒田 和子	芸術新潮	596
(ク)					
インタビュー「網点の幻覚が体中に拡がっていくの」草間彌生は今日も無限増殖中		595	芥川 喜好	読売	11. 7
草間彌生 反復と増殖	建畠 哲 版画芸術	103	川崎 和男	A X I S	77~82
カボチャの中の私	草間 彌生	"	久里 洋二	美術(月刊)	286
インタビュー 無限の容貌	草間 彌生 安田・松山インタビュー	"	久里 洋二	日経	1. 25
特別企画 草間彌生×荒木経惟サクラ対談	塩田 純一 美術手帖	771	安達 一成	毎日夕刊	12. 17
ひとこと 「苦しい道でした 今を折り返しに」草間彌生さん		5. 26	栗田直次郎	日経	7. 22
「3つの夢」達成も『もっと創りたい』現代美術家・草間彌生さん	(い) 東京夕刊	5. 7	(A)	"	5. 17
青春プレイバック 工藤甲人 東京都文京区小石川 川端画学校	西沢 美子 新美術新聞	861	松葉 一清	朝日	8. 19
絵は風景「孤独なる蟹」工藤甲人	芥川 喜好 読売	6. 27	(樹)	読売	8. 15
國司華子 スタイルの確立、第二章へ			藤田 一人	美術(月刊)	285
螺旋形をめぐる近作から			國安 孝昌	筑波大学芸術研究報告	32
焼土によるインスタレーションの制作について8(屋内における近作から)			"	筑波大学芸術年報	
第18回現代日本彫刻展で大賞(宇部市賞)に輝いた國泰孝昌さん			福岡 賢正	毎日	11. 3
研究ノート 国吉康雄「祭りは終わった」再考二重のメッセージ			妹尾 克己	岡山県立美術館ニュース	43
風景の中の道十選8 国吉康雄「秋のたそがれ」			小杉小二郎	日経	1. 15
川口直宜の絵画巡覧 17 21世紀を展望する画家たち 久野和洋一宇宙の存在を看取る眼			川口 直宜	ギャラリー(月刊)	166
交遊抄 ふるえる線描			久野 和洋	日経	7. 29
昭和十七年、叔父が遺した卒業制作[久保克彦]			黒田 和子	芸術新潮	596
創るアングル 写真家・久保田博二 現代史を正面から活写				日経	6. 27
絵は風景「ツクチェの祭り」熊谷権			芥川 喜好	読売	11. 7
夢の形見に 倉俣史朗デザイン論7~12			川崎 和男	A X I S	77~82
特集 アートになった昆虫たち 私にとっての虫 珍種出現のリアリティ			久里 洋二	美術(月刊)	286
あと1!世紀末1000人絵 ふと思ひ立ち10年、日本人の「顔」描く			久里 洋二	日経	1. 25
亡父の個展開いた画家[栗木映]			安達 一成	毎日夕刊	12. 17
土地の心、路傍の馬頭観音 馬好き高じ、様々な石像を訪ね撮影			栗田直次郎	日経	7. 22
触れて楽しむ絵画製作 エイ・ティ・アール知能映像通信研究所客員研究員 樹沢順氏			(A)	"	5. 17
黒川紀章氏の「ゴッホ美術館新館」日蘭の異文化せめぎあい共生の思想が立ち上がる			松葉 一清	朝日	8. 19
黒木一明写真集『The Color of America』			(樹)	読売	8. 15

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日ク、コ)

版画における複製と複数性	黒崎 彰	国立国際美術館月報	86	特集 ドラゴンへの挑戦 厳しさと慈愛の心もつ姿	小泉 淳作	美術(月刊)	285
黒崎彰の新・版画講座 3～5	"	版画芸術	103～106	向う三軒両隣 神奈川県横丁25 小泉淳作 山川草木に見る宇宙観	武田 厚	美術の窓	185
画家にして版画家 エドワルド・ムンク	"	視る	379	アトリエの窓から 小泉淳作氏 淡々辛口に画業の心得語る		日 経	1.17
まんがワールド ネオデビルマン～ゼノンの立つ日～[黒田 硫黄]	いしかわ じゅん	日経夕刊	6.8	横山操 絵と人の足跡 頂点まで極めた人	小泉 智英	美術の窓	189
美術エッセイ 黒田清輝「読書」	日野耕之祐	ARTの森(上野森美術館)	3	特集 フォト・ディレクション デザイナーのための「写真と文字のバランス術」	小泉 均	デザインの現場	103
黒田清輝にみる裸体画の受容とその影響	児島 薫	実践女子大学文学美術史学	14	LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか?	小磯 裕司	アート・マガジン(エル・アール)	12
黒田清輝「智・感・情」修復報告	渡辺 一郎	修復研究所報告	14	21世紀住居図鑑22 「普通」を思い出す [小井田康和]	植田 実	A X I S	77
黒田清輝「智・感・情」試料片調査報告	宮田 順一	"	"	家族の肖像十選10 小出楯重「Nの家族」	大津 英敏	日 経	10.20
黒田清輝「編物する女」修復報告	伊藤 由美 木島 隆康	"	"	絵は風景 「陽だまり」郷倉和子	芥川 喜好	読 売	2.7
ボクのアート・リーディング19 赤紙の背面少女が見ているものは何? [黒田清輝]	山本 育夫	ドーム	44	特集 最新東京アート&カルチャー完全ガイド アーティストがよく行く街 合田佐和子のすすめる小さな貝の博物館		美術手帖	774
第五十二回全国大会研究発表要旨 近代日本洋画におけるピュヴィス・ド・シャヴァンヌの受容について—黒田清輝の壁画制作を中心に—	杉山 章子	美術史	147	土佐美術史外伝23 幸徳幸衛	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース	25
日本に導入された裸体美学[黒田清輝]	隠岐由紀子	武蔵野美術大学研究紀要	29	追悼 河野鷹思 KONO流モダニズム……その深遠。	白田 捷治	デザインの現場	103
本のアート十選7 黒田清輝「読書」	中川 素子	日 経	3.10	追悼 河野鷹思 映画人としての河野鷹思 美校から松竹蒲田まで	佐伯 知紀	"	103
映像版の「戦争童話集」完結 黒田征太郎さんが3万枚の絵	桐原 良光	毎日夕刊	8.16	追悼 河野鷹思—国際水準の視覚性を牽引した才腕	白田 捷治	"	104
20世紀日本の記憶 桑原甲子雄	飯沢耕太郎	読 売	8.3	貞秀=玉蘭齋 ノート—地図および地図的作品への手がかりとして—[五雲亭貞秀]	三好 唯義	神戸市立博物館研究紀要	15
桑原正昭展 夢の中の風景の昂まり	編集部(熱田)	絵	429	[研究ノート]古賀春江とパウハウス—デザイン視点から	大谷 省吾	現代の眼	519
桑山忠明:平面と空間との間	花田 伸一	美術の森	95	古賀春江『題のない画』	(O)	潮 流	60
作家訪問266 ガラス作家 郡和子さん	編集部	目の眼	268	國領さんのこと	日野耕之祐	アートトップ	171
(コ)				追悼 國領経郎先生を悼む	塗師祥一郎	新美術新聞	862
『(かたち)の領分』展 シンポジウム後編 器物が芸術になるとき	北澤 憲昭 小池 頴子 清水 漸 重松あゆみ 沈 文燮 植田豊次郎 司会	アート・マガジン(エル・アール)	14				



世界の十字架撮り歩き 多様な形に興味、教会から田園まで数千枚	児島 昭雄	日 経	5. 24	アート・トップ現代 版画入門 版画は創造する	筆塚 稔 岩切 尚 横山 裕 岡田 貞 小林 真 まり 敬生	ア ー ト ト ッ プ	168
叙勲受章…穏やかな 笑み 勲四等・漫画 家の小島勲さん		東 京	11. 3	座談会 蘇る?美術 評論	尾崎 眞人 田島 正樹 横山 勝彦 小林 敬生	ギ リ ヤ ー (月 刊)	176
児島虎次郎とベル ギー	松岡 智子	日仏美術 学会会報	18	絵は風景 「蘇生の 刻」小林敬生	芥川 喜好	読 売	9. 5
『(かたち)の領分』展 シンポジウム後編 器物が芸術になる とき	北澤 憲昭 小池 頌子 清水 漸 重松 あゆみ 沈文 燮 樋田 豊次郎 司会	アート・ マガジン (エル・ アール)	14	特集 最新東京ア ート&カルチャー完全 ガイド アーティスト がよく行く街 小 林建二のすすめる ショップ		美術手帖	774
風景の中の道十選 1 アンリ・ルソー「ヒ エール川の谷間の 春」	小杉小二郎	日 経	1. 4	特集 平成11年前 期の美術賞とその作品 受賞作家インタ ビュー 小林努		美 術(月 刊)	287
風景の中の道十選 7 ポナール「カフェと 街頭風景、クリシー 広場」	"	"	1. 14	蚯蚓の眩 1~9	小林 東五	目 の 眼	271~279
風景の中の道十選 8 国吉康雄「秋のたそ がれ」	"	"	1. 15	1999年の幸福論 2 郊外	小林のりお	朝日夕刊	1. 5
風景の中の道十選 10 モランディ「風景(白 い道)」	"	"	1. 19	花見の季節の回想	小林 紀晴	読売夕刊	4. 14
【シンポジウム発表 要旨】明治天皇事蹟 をめぐって—二世五 姓田芳柳と岸田劉生	横田 洋一	近代画説	8	第15回講演会 ビデ オワークショップと ビデオライブラ リー：ジャングル の中のビデオリテ ラー 小林はくどう 氏の講演を聴いて	寺田 剛文	アート・ ドキュメ ンテー ション通 信	42
皇室文化の周辺 調 査・研究の先駆者た ち 6 五姓田芳柳 『明治天皇記』附図の 作成	米田 雄介	皇室の名 宝(週刊 朝日百 科)	6	巻頭特集・ゴッホは 死んだのか!? 憂 いを帯びた太陽—サ ン・レミのゴッホの 魅力—	小林 英樹	美術の窓	195
グレヴィ政権下のサ ロン—モネそして五 姓田義松の場合—	吉川 節子	鹿島美術 研究	16	小林裕児—漂流人間 の見る夢は—	小林 裕児 辺 見 聞き手	版画芸術	103
現代作家紹介 自写 像を通して「生」の深 淵へ—小谷泰子の世 界	中島 徳博	美 術 フォー ラム21	1	技法講座17 小林裕 児 テンペラ・油彩 による人体	松島 励路	美術の窓	193
キャリアグラフィ ティー 後藤慶さん (紙工作作家)	(泉)	日 経	2. 13	清春桜 その17[小 林和作]	田村 祥蔵	清 春	29
大正期モダニズムの 一枝—未来派美術協 会々員後藤忠光と 『青美』について	滝沢 恭司	町田市立 国際版画 美術館紀 要	3	日野耕之祐のティ ータイムエッセイ 3 小林和作生誕一〇 年	日野耕之祐	美 術(月 刊)	280
後藤英彦 木版画に 響き合う創作本能	秋 田	版画芸術	106	駒井哲郎銅版画《R 婦人》をめぐって	長谷川てい	にいくら	4
愛玩記 手元に残っ た品々16 最後の浮 世絵師三人[小林清 親]	渥美 國泰	ア ー ト ト ッ プ	169	追悼・駒形十吉	村越 伸	新美術新 聞	858
江戸博蔵めぐり 東 京小梅曳舟夜図 小 林清親画	湯川 説子	読 売	12. 3	ぼくの空想コレク ション245 心よ絵 よ動け—小松謙一	秋山 和歩	美 術(月 刊)	280
				小松健一写真集『雲 上の神々』	(前)	東 京	2. 28
				小松健一写真集『雲 上の神々』		読 売	4. 4
				私空間	小松 義夫	朝日夕刊	8. 23~26

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日コ、サ)

人気復活 個展、画 集も続々 画家小松 崎茂	内藤麻里子	毎日夕刊	4.30	第14代酒井田柿右衛 門さん 大学院教授 に就任した陶芸家	江上 泰 朝 日	4.7
家族のこと話そう 五味太郎さん[絵本 作家]	岩岡 千景 聞き手、写 真	東 京	6.13	莫山仏心紀行	榊 莫山 每 日	7.18、 8.22、 9.5、12、 19.26、 10.3、24、 31.11.7、 14.12.12
私と東京 人間国宝 小宮康孝さん 最先 端の街で伝統美追求	末永 恵 産 経	3.9		ひとり語り 還暦を 生まれ変わり	榊 莫山 渡辺 浩平 聞き手 読 売	9.7
近現代日本の装幀十 選1 小村雪岱「日 本橋」(泉鏡花著)	菊地 信義 日 経	11.9		まんがワールド 「石の花」[坂口尚]	村上 知彦 日経夕刊	4.27
特集 ベルリン ラ スト・ユートピア タヘレス アーティ ストが占拠する廃墟 のユートピア	小柳 洋子 美術手帖	767		LR artists enquete あなたは作品を購入 するということにつ いてどう思っていま すか?	櫻井美智子 アート・ マガジン (エル・ アール)	13
(サ)						
斎藤義重の軌跡		美術手帖	780	ぼくの空想コレク ション249 上昇す る「かたち」—酒匂謙	秋山 和歩 美術(月 刊)	284
北方四島ビザなし交 流に参加して	齋藤 吾朗 新美術新 聞	872、875		対談「造ること、観 ること」	奥村 泰彦 笹岡 敬 田上 賀世子 中前 寛文 福岡 彩子	15
斎藤吾朗の世界展— 「モナ・リザ」から赤 絵「風土記」—	編 集 部 美術の窓	188		安達博文の世界展 テンペラ・ルネッサ ンスの幕開け	佐々木 豊 新美術新 聞	880
愛玩記 手元に残っ た品々15 芸術家 様々な相貌[斎藤真 成]	渥美 國泰 アート トップ	168		「オンディーヌ」	佐々木 豊 明星大学 研究紀要	7
絵は風景 「子供の 遊び」斎藤民雄	芥川 喜好 読 売	12.12		仕事机 ささめやゆ きさん 講談社出版 文化賞「さしえ賞」受 賞		産経夕刊 5.29
川口直宜の絵画巡覧 22 21世紀を展望す る画家たち 斎藤典 彦—素材に対する考 察	川口 直宜 ギャラ リー(月 刊)	171		「激情の画家」に魅せ られて 三岸節子の 素顔、日本で仏で撮 り続け写真集	笹本 恒子 日 経	2.3
この人 創立30周年 を迎えた「山岳写真 ASA」グループの会 長 斎藤誠さん	(二) 東 京	1.6		三岸節子さんの写真 集を出版 同性の視 点で写真家、笹本恒 子さん	明珍 美紀 毎日夕刊	1.5
どこか懐かしく美し い バルカンを撮る	齋藤 亮一 読売夕刊	11.9		漆芸家(文化勲章受 章者)佐治賢使さん	藺浦健太郎 読 売	6.27
作家の原風景19、20 佐伯祐三のバリ	朝日 晃 アート ジャーナ ル	19、20		まんがワールド 1 +1は? 病理と平 穩さが同居[さそう あきら]	村上 知彦 日経夕刊	10.5
芹沢光治良の『巴里 に死す』と、佐伯祐 三のPARIS(上)(中) (下)	朝日 晃 絵	424~426		とれんど in 漫画 エピソード積み重ね 「音」を絵にした「神 童」[さそうあきら]	石田 汗太 読売夕刊	7.13
早世の天才画家佐伯 祐三「女」の遺作展” 目録発見 油彩1点 も		産 経	7.6	特集 カメラ好きあ つまれ! アーネス ト・サトウの写真教 室 第1~3部	森村 泰昌 島山 直哉 佐藤 年 福 りの子 聞き手	芸術新潮 594
作家訪問277 陶芸 家 酒井隆夫さん	編 集 部 目の眼	279				
現代作家紹介 「私 絵画」坂井淑恵の作 品	尾崎佐智子 美 術 フォーラ ム21	1				
日本人のアイデン ティティとは? その 5 酒井弘子 現実 と瞑想	高山 淳 美術の窓	185				

特集 カメラ好きあ つまれ！アーネスト・サトウの写真教室 特別エッセイ 城主の孤独、芸術家の眼	梅原 猛	" "			絵は風景 「ベニス館とゴンドラ」佐藤泰生	芥川 喜好	読 売	3. 21
LR artists enquete あなたは、画廊やギャラリーに何を望みますか？	佐藤 勲	アート・マガジン〈エル・アール〉	16		Being ART Watching56 過ぎゆく時を定着化…佐藤幸代	中野 中	ギャラリー(月刊)	167
特集=新セザンヌ解剖学 アーティストが見たセザンヌ セザンヌの作品には血なまぐささを感じます	"	美術手帖	777		現在美術TOKYO発3 りさ・キャンを探索！[さとうりさ]	伊東 順二	美術の窓	191
今月の顔・佐藤栄太郎 日本美術専門学校長 教育者として彫刻家として	佐藤栄太郎	美術の窓	191		新世紀人 作品ごと街に繰り出すアーティスト さとうりささん	(薫)	日 経	12. 25
佐藤杏子一ふるえる線の表情	岡 部	版画芸術	103		LR artists enquete あなたが美術館について感じていることをお書き下さい。	眞田 岳彦	アート・マガジン〈エル・アール〉	15
「歴史」をみる眼十選 10 佐藤敬「ニューギニア激戦」	山梨 俊夫	日 経	5. 25		失われた風景19 澤部清五郎 バラの髪飾り 赤き衣まとえる女	星野 桂三	日経アート	124
「田中一光ポスター展」1 一光さん	佐藤 晃一	現代の眼	517		(シ)			
時の贈り物 三太郎は健在生涯青春です	サトウサンペイ 渡辺 延志 聞き手	朝日夕刊	7. 23		特集 平成10年後期の美術賞とその作品 受賞インタビュー 自分、この複雑な存在の基点としての日本画	重政 啓治	美術(月刊)	280
からだ物語 米で肺炎、700万円請求 サトウサンペイさん	(亜)	読 売	7. 19		『(かたち)の領分』展 シンポジウム後編 器物が芸術になるとき	北澤 憲昭 小池 頌子 小清水 漸 重松あゆみ 沈 文燮 樋田豊次郎 司会	アート・マガジン〈エル・アール〉	14
光の階梯 佐藤秀明 写真集『陽はまた昇る』		東 京	1. 10		人らんだむ 第10回 倫雅美術奨励賞を受賞した重松あゆみさん	(西)	新美術新聞	850
優勝力士額、色添える細腕	佐藤寿々江	日 経	11. 19		鎮目守治 冒険者が未来に建てた陸標	編 集 部	美術(月刊)	287
上海での個展を終えて	佐藤 多持	新美術新聞	867		作家訪問275 陶芸家 設楽道生さん	"	目 の 眼	277
佐藤哲 自然の臨場感を求めて	篠原 弘	美術の窓	185		志野和男 紙版が写す幻像	志野 和男 松 山 イ ン タ イ ュ ー	版画芸術	104
元大尉の水彩画「帰郷」 中国出征中、風景を描写 大震災で発見 孫が延岡市に寄贈[佐藤照市]		日経夕刊	8. 14		生老病死の旅路 一点、一瞬に全霊込めて	篠田 桃紅 尾崎真理子 聞き手	読売夕刊	9. 25
LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか？	佐藤 時啓	アート・マガジン〈エル・アール〉	12		『萬野美術』篠山紀信著	赤瀬川原平	朝 日	5. 30
新・作家への道標60 佐藤正明・ニューヨーク成功物語		ギャラリー(月刊)	175		「萬野美術」撮影・篠山紀信、監修・萬野美術館	(前)	読 売	5. 16
佐藤泰生の油彩画とガラス絵の個展に寄せる 粹な夢の王国の軽妙と重さ	瀧 悌三	絵	420		司馬江漢と十八世紀イギリス風景版画—いわゆる「サーペンタイン河図」「療病院図」の原画発見—	鶴岡 明美	国 華	1249
アンケート特集 「セザンヌ展に思う」セザンヌのアトリエ	佐藤 泰生	新美術新聞	875					

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日シ)

司馬江漢 相州江之島児淵園	金子 信久	府中市美術館開設準備室研究紀要	3	思想の言葉	"	思想	906
司馬江漢「療病院図」の手本原画 ロンドンで発見 江戸中期に英と文化交流			日 経 1.4	『限定版 下岡蓮枝写真集』石黒敬章編		毎日	7.11
作家訪問273 陶芸家 柴垣千恵子さん	編集部	目の眼	275	彫刻のいま12 下川昭宣 (かたち)の吸引力	柄本 美喜	美術の窓	193
五節句詩絵手箱にみる伝統的風物[柴田是真]	伊藤 哲夫	サントリー美術館ニュース	175	下谷千尋 未知と出遭うために	下谷 千尋 辺見 聞き手	版画芸術	106
柴田長俊 想いが、強さとなって充ちる画面	藤島 俊會 柴田 長俊	美術(月刊)	283	巻頭特集 下村観山と日本画の近代		アート トップ	169
いまが盛り 日本洋画壇の中心的存在 洋画家・芝田米三さん	丸橋 茂幸	産 経	8.7	線の観山	細野 正信	アート トップ	169
絵は風景 「春待山色」澁澤脚	芥川 喜好	読 売	2.28	滞英時代の観山について	八柳 サエ	" "	" "
特集 フォト・ディレクション 澁谷克彦	渡部 千春	デザインの現場	103	祖父・観山の遺したもの	下村 茂 談	" "	" "
私空間	島尾 伸三	朝日夕刊	5.24~27	五浦時代の観山	長山 貞之	" "	" "
LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	島田 清徳	アート・マガジン(エル・アール)	11	大観・観山合作の壁画《明暗》の周辺	児玉 俊子	五浦論叢	6
個展に際して	島田 章三	美術(月刊)	280	追悼・下村良之介「日本画」への課題を遺す	天野 一夫	新美術新聞	854
日本人のアイデンティティとは? その2 島田章三 早熟と晩成-時代の鏡	篠原 弘	美術の窓	185	LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか?	積永 道代	アート・マガジン(エル・アール)	12
おやじを語る 洋画家島田章三さん 果たせなかった夢託し、支えてくれた	丸橋 茂幸	産 経	6.28	創造の現場から12	庄司 達	美術手帖	773
アヴァンギャルドとポップ主義をめぐる(美術)の危機-資本の運動と、「作品」領域の拡張[嶋田美子]	園江光太郎	あいだ	39	満つる刻・現代を駆け抜ける老境の画家たち 荘司福	藤田 一人	展 評	1
病のネットワーク LuReの時代5~7	清水 誠一	アート・マガジン(エル・アール)	11.14.16	絵は風景「福笑い・は」庄田常章	芥川 喜好	読 売	1.10
清水多嘉示の諏訪時代	井上智恵子	嶽山美術館報	19	ひと 女流陶芸公募展で最高の文部大臣奨励賞を受賞した白石正子さん	田原由紀雄	毎日	12.7
-研究資料-清水多嘉示滞欧書簡	千田 敬一	" "	" "	白川昌生「基準-日本」から	真武真喜子	美術の森	96
清水登之の帰国	杉村 浩哉	栃木県立美術館紀要	13	反復する「美術(びじゅつ/Bijutsu)の夢」	白川 昌生	アート・マガジン(エル・アール)	12
まんがワールド 輝夜姫「生命の闘争」の物語[清水玲子]	村上 知彦	日経夕刊	2.23	白鳥真太郎写真集『貌 白鳥写真館』	(前)	読 売	10.31
美の命を語る 手は考える	志村ふくみ	古 今	2	ころの風土記 白旗史朗さん 大月市	佐藤 憲一	読売夕刊	10.30
				新宮晋作「生命の響き」彫刻の森美術館記念モニュメント	奥田 裕	産 経	9.5
				時の贈り物 出合いの「窓」は開いている	新宮 晋 山盛 英司 聞き手	朝日夕刊	10.15
				水と光 生命の響き 彫刻の森美術館30周年モニュメント[新宮晋]		産 経	7.11
				ザ・パーティー 4日・新宮晋さんの絵本「小さな池」の出版記念	渋沢 和彦	産経夕刊	3.5

新宮晋氏の『小さな池』絵本に込めた壮大な地球	中川 素子	朝日夕刊	4. 14	闇の空間	杉山 英行	国立国際美術館月報	76
(ス)				ハマから古都 鳳凰の親子 京の名刹に油絵の障壁画 元国会記者杉山冽さん制作	塩野 栄	東京	3. 30
近代美術資料58~61吹田草牧『渡欧日記』(続)		視 る	378. 381、382. 385、386	祐成政徳：光と余白がつくりだす場	真武真喜子	美術の森	95
菅木志雄 試論	熊谷伊佐子	東京都現代美術館紀要	4	作家訪問272 装飾品作家 頭土真砂樹さん	編集部	目の眼	274
いまが盛り さらなる挑戦意欲わく 須加五々道さん	森 淳美	産 経	12. 4	LR artists enquete あなたは、画廊やギャラリーに何を望みますか？	鈴木 芳康	アート・マガジン(エル・アール)	16
講演要旨 阪急電鉄のポスターを創った三人のデザイナーたち[奥野英雄、菅井汲、田川寛三]	大高 猛	池田文庫	14	「詩情のオブジェ 鈴木治の陶芸」展—1 鈴木治と記号的形象	渡辺 誠一	現代の眼	515
Being ART Watching60 大画面に漲る緊張感—菅原健彦	中野 中	ギャラリー(月刊)	171	「詩情のオブジェ 鈴木治の陶芸」展—2 走泥社の初期の頃・鈴木治さんのことなど	益田 芳徳	" "	" "
特集 タイポグラフィ(文字)を巡って 漢字からクレオール文字まで	杉浦 康平 松岡 正剛	武蔵野美術	113	鈴木治《春ノ魚》・山田光《銀泥 横に延びるパイプ》—収蔵作品の紹介	蘆科 英也	採蓮 千葉市美術館研究紀要	2
近現代日本の装幀十選6 杉浦康平「地図」	菊地 信義	日 経	11. 17	鈴木治さん 前衛と日本的感性		朝 日	1. 1
ミュージアム・トーク'99 第3回 恩師 杉浦非水先生	神田 昭夫	島根県立西部美術館準備二ユース	11	「陶の認識」を超える表現 第37回朝日陶芸展の審査を終えて	鈴木 治	朝日夕刊	9. 20
まんがワールド ヤポテンとマシュマロいわく言いがたい味 [杉作J太郎]	いしかわ じゅん	日経夕刊	3. 30	「鈴木治の陶芸」展から 自作を語る1~5	"	日 経	3. 22~26
近代工芸の異端者たち十選4 杉田禾堂「用途を指示せぬ美の創案—原始期・過渡期・完成期」	樋田豊次郎	日 経	6. 1	絵本の中は魔法の楽園 気持ちよさを味わって スズキコージさん	(す)	朝日夕刊	6. 28
特集=新セザンヌ解剖学 アーティストが見たセザンヌ セザンヌを好きになるのには時間がかかりました	杉戸 洋	美術手帖	777	LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか？	鈴木 省三	アート・マガジン(エル・アール)	14
言葉と絵8	"	武蔵野美術	111	わたしの好きなもの写真	"	新美術新聞	858
制作ノート FACE/OFF—(顔)のない世界	杉野目由行	"	113	現代日本美術の最高峰 東山魁夷画伯を偲ぶ	鈴木 竹柏	"	864
制作ノート 水ディスプレイの開発	杉原 有紀	"	114	絵は風景 「雪気」鈴木竹柏	芥川 喜好	読 売	1. 24
LR artists enquete あなたは、画廊やギャラリーに何を望みますか？	杉松 治美	アート・マガジン(エル・アール)	16	もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。 LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめぐる [スズキヒロシ]	鷹見 明彦	アート・マガジン(エル・アール)	11
東京解剖図鑑 職人物の残像で人形を好きな人に伝えたい [ろう人形師・杉本英輝]	今村 守之	東 京	8. 23	研究ノート 須田国太郎の自筆作品目録2種	下山 肇	アマリリス	54
				夢なら正夢40 「海峡」—須田寿老の風雅の誠	米倉 守	美術(月刊)	285

交遊抄 ふるえる線描 [須田寿]	久野 和洋	日 経	7.29	LR artists enquete あなたが美術館について感じていることをお書き下さい。	関根勢之助	アート・マガジン (エル・アール)	15
もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめぐる [須田悦弘]	鷹見 明彦	アート・マガジン (エル・アール)	11	作家訪問271 画家 関原泰生さん	編集部	目の眼	273
特集 現代美術の素材と技法 彫ること植物と会話すること 須田悦弘	嘉藤 笑子 取材・文	美術手帖	769	カバーインタビュー 妹島和世+西沢立衛		A X I S	80
特集 フォト・ディレクション STOIQUE&CO.	仙頭 邦枝	デザインの現場	103	とけあう空間 都市・建築のいま3 [妹島和世]	大西 若人	朝日夕刊	3.10
まんがワールド おさんぽ大王 [須藤真澄]	いしかわ じゅん	日経夕刊	5.18	文才見せても「あくまで写真家」[瀬戸正人]		読売夕刊	6.16
創造の現場から11 鷺見和紀郎		美術手帖	771	世良京子：光・タイトル・世界に潜むもの	前田 淳子	美術の森	95
編集長対談 澄川喜一	澄川 喜一 一井 建二 対談	美術の窓	189	千住博氏ルーツを語る 初期作からの軌跡辿る個展(ギャラリー白石)で		新美術新聞	856
維新の士 美術教育開く「初の官立学校」生みの親・山尾庸三の足跡	澄川 喜一	日 経	10.11	ニューヨークのアートシーンの中で その制作と視点-日本画家千住博氏に聞く		美術(月刊)	281
惜別 人間国宝日本刀刀工 隅谷正峯さん 壁を乗り越える楽しみ	伊藤 周	朝日夕刊	1.13	千住博が原画を描いた横綱・武蔵丸の化粧まわし	(篠)	美術の窓	192
天竺への旅「体験」 「三蔵法師の道」展	諏訪 緑	朝 日	12.1		(ソ)		
伝承20世紀「原風景」 神奈川歴史博物館永久保存の作品から [諏訪部晃]	野呂 法夫	東 京	12.21	相馬武夫 “脱・幻想絵画”に向けて	編集部	美術(月刊)	286
				著者に聞く 園部雄作さん(画家)	園部 雄作 (寿)インタビュー	東 京	6.6
(七)				「池田満寿夫記念芸術賞」大賞受賞 傍嶋飛龍さん	渋沢 和彦	産 経	8.5
巻頭特集 関主税の原風景		ア ー ト ト ッ プ	171	デザイナー、現場に行く! 2 祖父江慎さん、製本の現場を見に行く	仙頭 邦枝	デザインの現場	102
関主税が語るあの時のこと、これからのこと	関 主税 談	" "	" "		(タ)		
関様式の展開と背景	村瀬 雅夫	" "	" "		(同)	東 京	8.28
関主税をめぐる人々~素明・岳陵を中心として~	鈴木 進 談	" "	" "	この人 「宮古麻織り」に意欲を燃やす 織物組合新理事長 平良清子さん			
関主税さんのこと	中村 溪男	" "	" "	近代工芸の異端者たち十選10 高木敏子「螺旋階段 一対」	樋田豊次郎	日 経	6.11
命の“ほむら” [関主税]	原田大二郎	" "	" "	絵は風景 「雨を聴きながら」高岸昇	芥川 喜好	読 売	6.6
現代日本美術の最高峰 東山魁夷画伯を偲ぶ	関 主税	新美術新聞	864	見直される高松次郎の芸術 定説覆す初期の絵画	高島 直之	毎日夕刊	12.2
“Masaji”—もう一人の関根正二	[M. M.]	A A C	29	まんがワールド せりなりニューアール! 電脳時代の子ども描く [高瀬綾]	小野山理絵	日経夕刊	9.21
関根正二 愛と孤独と信仰の20年—夭折の天才画家(夭折)の肖像画家—関根正二	岡部 幹彦	美術の窓	190				

個人蔵 高野三三男 「曇りの日のモンマルトル・サンピエール寺院」水性地に描かれた油彩画の修復	後藤 八郎 増田 久美	修復研究 所報告	14	西郷さん銅像設立 渋谷承諾 伊藤博文 ら直筆の書簡[高村 光雲]	読 売	3.28
LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	高橋 功	アート・ マガジン (エル・ アール)	11	ひと 彫刻家高村光 雲の作品を撮影した 孫 高村規さん	川村 二郎	朝 日 9.27
LR artists enquete あなたが美術館について感じていることをお書き下さい。	高橋 克之	"	15	智恵子のデッサン [高村智恵子]	産 経	5.16
2冊目の版画集を出 版[高橋幸子]		読売夕刊	3.5	近代工芸の異端者た ち十選2 高村豊周 「挿花のための構成」	樋田豊次郎	日 経 5.28
特集 JAPAN DE- SIGN 次なるリアル	高橋 盾	A X I S	80	わたしの好きなもの メルヘン街道	高柳 恵里	新美術新 聞 861
現代日本美術の最高 峰 東山魁夷画伯を 偲ぶ	高橋 節郎	新美術新 聞	864	高柳裕展に寄せて 夢という生気の獲得	高橋 順子	絵 424
リレー対談・新世紀 へ向けて 美術家の 視界〜人間学風景4	平松 礼二 高橋 千裕 対談	美術の窓	192	ART NEWS 高山 辰雄が描いた「若き 日の空海」高野山 奉納屏風第1期完成	浅木 正勝 聞き手	新美術新 聞 855
公共ポスター作家 高橋春人さん 一周 忌に遺作集	平 しの	読 売	7.11	早春ビッグ対談 高 山辰雄VS堀文子	高山 辰雄 松木 理砂、 瀬尾 典昭 聞き手	山口蓬春 記念館研 究紀要 1
〈色絵磁器〉東洋色絵 磁器と西洋色絵磁器	高橋 紘	明星大学 研究紀要	7	高山辰雄〈高野山金 剛峰寺障壁画〉完成		" "
特集 平成10年後期 の美術賞とその作品 受賞インタビュー 日本社会の底辺から	高橋 雅史	美術(月 刊)	280	山口先生のこと		" "
高橋由一「酢川にか かる常磐橋」の謎	森田 恒之	近代画説	8	“大師の情熱”再現 高野山・金剛峯寺 高山辰雄さんの奉納 絵完成	産 経	9.11
資料紹介 高橋由一 『三県道路完成記念 帖』の異版について	大下 智一	"	"	東山魁夷さんを悼む 高山画伯、屏風絵を 完成 高野山・金剛 峯寺に奉納	高山 辰雄	日 経 5.9
福富太郎のアート・ キャバレー2号店19 由一に引かれて金比 羅参り[高橋由一]	福富 太郎	芸術新潮	590	こころの風土記 高 山辰雄さん 大分市 講演要旨 阪急電鉄 のポスターを創った 三人のデザイナーた ち[奥野英雄、菅井 汲、田川寛三]	前田 恭二	読売夕刊 3.13
写実への姿勢―質感 表現をめぐる 由 一と劉生を中心に	小林未央子	「美の世 界」通信	22	『のらくろ探検記』と 『スリッパ』―戦時 下の児童文学におけ る「満州」―[田河水 泡]	大高 猛	池田文庫 14
コミック評判記 高 畑勲「となりの山田 君」名作『ホルス』 への回帰	佐野 雅樹	東京夕刊	8.6	「のらくろ」の世界再 現 江東に記念館13 日オープン[田河水 泡]	磯田 一雄	成城文芸 166
人間発見 アニメ世 界の挑戦者1〜5	高畑 勲 榎木 誠 聞き手	日経夕刊	9.20~24	この人 能画を描 き、能面を打つ瀧川 虹風さん	(二)	" 7.14
Yさんへの手紙8 [高松次郎]	堀 浩哉	アート・ マガジン (エル・ アール)	12	新世紀人 建築家 滝口聡司さん 依頼 者と対話、発想磨く	(良)	日 経 5.22
影の人[高松次郎]	田中信太郎	国立国際 美術館月 報	85	川口直宜の絵画巡覧 23 21世紀を展望す る画家たち 滝沢具 幸一独特なマチエール の魅力	川口 直宜	ギャラ リー(月 刊) 173
展覧会出品作品紹介 《影の母子像》高松次 郎	尾野 正晴	"	"	特集 日本・未来・ 美術 対談 村上隆 ×滝沢直己		美術手帖 780
光雲の木彫探し孫の 執念	高村 規	日 経	11.1			

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日々)

フェイス21世紀6 田口貴大	(常)	新美術新聞	866	夢二 青春の絵はがき 早稲田で発見 夢の出発点	小国 智宏	東京	9.1
インタビュー田窪恭治 リングの里ノルマンディーで甦った 500年前の礼拝堂	野中 昭夫 撮影	芸術新潮	590	夢二 美人画の原点 デビュー前の学生時代 日記、スケッチ 見つかる		"	11.2
仏の礼拝堂から日本へ 風景再生の闘いは続く [田窪恭治]	(若)	朝日夕刊	3.15	放射線 大正 夢二 青春	小倉 忠夫	東京夕刊	10.5
田窪恭治に聞く フランス・ノルマンディー地方の礼拝堂を再生へ	渋谷 和彦	産 経	2.14	眠り覚めた夢二デザイン 19種 京都の出版社倉庫		日 経	2.20
美術と社会のかかわり 方問う 邦人美術家が 仏の礼拝堂再生に尽力 [田窪恭治]	前田 恭二	読売夕刊	6.7	夢二の美人画里帰り 60余年ぶり、欧州から		"	6.25
スタンドグラスの薬師三尊 [琢磨大雅]		読 売	4.8	竹久夢二の風景画 舞台は富山・庄川町		"	8.17
山本容子さんの絵本箱 『武井武雄画噺1 あるき太郎』	山本 容子	朝日夕刊	2.22	名曲に残る「夢二の世界」 埋もれた楽譜収集、作曲も 企画し歌う	竹 大和	"	9.14
栖風と大観	田中日佐夫	ア ー ト ト ッ プ	172	近現代日本の装幀十選3 「竹久夢二」露地のほそみち	菊地 信義	"	11.11
絵を読む・絵を語る 9 栖風「喜雀屏風」のこと	今井 淳	鴨東通信	36	夢二の「松竹梅」掛け軸 発見	澤 圭一郎	毎 日	1.4
第50回美学会全国大会 発表要旨 竹内栖風の 絵画論	廣田 孝	美 学	199	命日に合わせ初の収録 作も 竹久夢二の新画集	柴沼 均	毎日夕刊	8.31
Artist interview 竹岡雄二	清水 穰	美術手帖	768	夢二「美人画」の原点 京都精華大芸術学部 教授に内定したマンガ家 竹宮恵子さん	"	"	11.2
“孫の手”でリハビリ	武田 秀雄	芸術新潮	596	LR artists enquete あなたにとって「美術館」 とは何ですか?	石田 汗太	読 売	12.8
フェイス21世紀2 武田史子	常磐 茂	新美術新聞	880	青春ブレイバック 田島征三 東京都西多摩 郡日の出町	竹本 博文	アート・マガジン (エル・アール)	12
研究発表(要約) 明治 二十年代における竹内久一 の制作活動とその背景	香沢 耕介	近代画説	8	特集 アートになった 昆虫たち 私にとつての虫 弱き存在への共感	西澤 美子	新美術新聞	869
イッピン発掘記8 『ナショナル電気釜』	竹原あき子	A X I S	77	銅版画の制作	田島 征三 編 集 部 タ イ ビ ュ ー ・ 構 成	美術(月刊)	286
イッピン発掘記12 『シャー プE L E R 805』の巻	"	"	81	聞き書き21、22 相馬 駒焼一五代 田代清治 右衛門さん一、二	田島 直樹	筑波大学 芸術研究報告	32
デザインマネジメントの 勝利 誕生10年を迎える バリのメトロ。	"	"	82	まんがワールド 愛して ナイト 読者獲得した “安定感”[多田かおる]	小野山理絵	日経夕刊	3.23
竹久夢二と『法律新聞』	西 恭子	女子美術大学紀要	29	100周年記念企画一 記念ビデオ完成について [多田美波「光ありて 輝かさず」]	女子美術大学 同窓会	medium	6
夢二の空白埋める日記		朝 日	11.2	LR artists enquete あなたが美術館について 感じていることをお書き 下さい。	館 勝生	アート・マガジン (エル・アール)	15
幻の夢二「美人画」里 帰り「化粧する女」		産 経	6.24				
「20歳の夢二」発見 学生時代の日記、スケッチ など「空白の青年期」 伝える		"	11.2				
竹久夢二の風景画モデル “幻の”青島村富山に あった		産経夕刊	8.17				



特集 タイポグラフィ ファイ タイポグラフィックアート1 立花文穂		武蔵野美術	113	もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめぐつて[田中麻衣子]	鷹見 明彦	アート・マガジン(エル・アール)	11
20世紀日本の経済人 黎明編8 辰野金吾	辻 教雄	日 経	2. 22	もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめぐつて[タナカレイコ]	"	"	"
特集=新セザンヌ解剖学 アーティストが見たセザンヌ 絵画でしか表現することのできない力をセザンヌは教えてくれる	辰野登恵子	美術手帖	777	谷内こうたの世界 ノルマンディの光と風とほほえみと	飯田 祐三	美術(月刊)	284
セザンヌ「5人の水浴の女たち」	"	東京夕刊	9. 25	日影 眩の360°のニューヨーク59、60谷岡ヤスジと性と蛇の視点(1)、(2)	日影 眩	ギャラリー(月刊)	172、173
現代アート考 立石大河亞の位置 回顧された多彩な足跡	三田 晴夫	毎日夕刊	11. 25	「サムライ」貫き続けた 漫画家谷岡ヤスジさん、6月14日死去(いんとうがん)	鈴木 繁	朝日夕刊	7. 1
マンガの居場所 外からの視線の大切さ [立石大河亞]	夏目房之介	"	12. 17	谷岡ヤスジ傑作選刊行 「孤絶の天才」笑いの絶景	(す)	"	11. 29
まんがワールド 虎の巻 多分野で常識を笑う[タイガー立石]	いしかわじゅん	日経夕刊	12. 28	まんがワールド 谷岡ヤスジ傑作選 天才の証明	村上 知彦	日経夕刊	12. 14
青春プレイバック 建畠覚造 東京都・巢鴨自宅兼アトリエ	芳賀 敏博	新美術新聞	858	マンガの居場所 谷岡ヤスジの破壊力	夏目房之介	毎日夕刊	7. 2
創造の現場から?	建畠 覚造	美術手帖	767	追悼抄 漫画家谷岡ヤスジさん	石田 汗太	読 売	6. 27
《こぼれ話》アレ、どこかで見た!—「押しつけがましき美学」後日譚[田中昭]	(F)	あいだ	39	黎明館企画展 谷口午二の色紙	黎 明		16-4
制作にあたって	田中 敦子	国立国際美術館月報	81	交遊抄 車遊から青遊へ	田沼 武能	日 経	1. 9
虚空からへへのメッセージ[田中敦子]	野田 尚稔	サントリー美術館ニュース	172	ひと キリンコンテンポラリー・アワード1999で最優秀作品賞を受賞 東芋さん	赤瀬川原平	毎 日	10. 7
「田中一光ポスター展」1 一光さん	佐藤 晃一	現代の眼	517	絵は風景「ヘスペリデスの園」田淵安一	芥川 喜好	読 売	8. 22
「田中一光ポスター展」2 田中一光の概念装置 日本から出て日本に出る	松岡 正剛	現代の眼	517	こころの風土記 田淵安一さん 小倉	前田 恭二	読売夕刊	7. 10
特集 タイポグラフィ ファイ タイポグラフィの発想2 意味と形のアマルガム文字の匠/田中一光のポスター表現を中心に	片岸 昭二	武蔵野美術	113	本当に大切なのは「アート」と名付けられることではない[田甫律子]	大西 若人	アート・マガジン(エル・アール)	12
『月に吠える』研究—萩原朔太郎、田中恭吉、恩地孝四郎の時代—	井上 芳子	鹿島美術研究	16	絵は風景「Rの休日」玉川信一	芥川 喜好	読 売	5. 16
影の人	田中信太郎	国立国際美術館月報	85	フェイス21世紀7 玉虫良次	常磐 茂	新美術新聞	869
				大正期の玉村方久斗(2)	加藤 弘子	東京都現代美術館紀要	4
				現代作家紹介 田村潤悟の彫刻	藤枝 晃雄	美術フォーラム21	1

放射線	田村能里子	東京	1. 9、23、 2. 6、27、 3. 13、30、 4. 10、17、 24、5. 8、 15、22、 6. 5、12、 19、26	近代工芸の異端者たち十選5 辻晋堂「詰め込み教育を受けた子供」	"	"	6. 3
田村さんの壁画完成 北里病院新病棟[田村能里子]		東京夕刊	3. 30	龍になった画伯=對馬白龍=	藤田 寛治	潮流	60
白い壁は私のキャンパス 公の空間で壁画制作、年明けに30作目着手	田村能里子	日経	12. 22	近現代日本の装幀十選2 津田青楓「道草」(夏目漱石著)	菊地 信義	日経	11. 10
「アンコールの王道を行く」写真・田村仁/文・石澤良昭	(片)	読売	4. 11	土田麦僊のこと	藁科 英也	千葉市美術館 ニュース C'n	10
	(チ)			土田麦僊のヨーロッパ一渡欧による芸術観の変化について一	上田 文	美学論究	14
Being ART Watching 57 スケール大きい自然感一千葉石修	中野 中	ギャラリー(月刊)	168	逝った画家たちへの恋文抄[土田麦僊]	塩川 京子	美術京都	22
ひと 日本ギリシャ修好百周年神話絵の個展を開く千葉政助さん	八田 伸拓	朝日	6. 18	土谷武一作品の周辺一	外館 和子	アートフォーラム	50
21世紀住居図鑑25 都市との距離を空間化した「江東の家」[千葉学]	植田 実	A X I S	80	私の創作の原点 1944—1960年	土谷 武	視る	378
鳥海青児を書く(六十六)〜(七十四)	原田 光	絵	419~428	新・作家への道標55	土屋 公雄	ギャラリー(月刊)	170
薩摩焼の第14代沈寿官氏 韓国で文化勲章受章	伊集院 敦	日経	2. 6	土屋礼一氏、瑞龍寺に障壁画を完成 岐阜		新美術新聞	858
十五代「沈寿官」襲名		毎日	1. 17	特集 ドラゴンへの挑戦 嵐の中で得た鮮明なイメージ	土屋 禮一	美術(月刊)	285
韓国政府から文化勲章を授与された薩摩焼宗家 十四代沈寿官さん	都留 悦史	読売	3. 7	イッピン発掘記10 『三菱デボネア』の巻	都築 響一	A X I S	79
	(ツ)			特集 超写真術 都築響一のくるくる写真講座		美術手帖	779
塚原琢哉写真集『101のマドンナ』		東京	5. 16	1999年の幸福論6 樂民	都築 響一	朝日夕刊	1. 12
"		日経	5. 9	絵は風景 「水引人」常田健	芥川 喜好	読売	8. 1
絵は風景「聖堂」塚原哲夫	芥川 喜好	読売	1. 17	ハイテク時代に深呼吸	坪田 政彦	国立国際美術館月報	77
フェイス21世紀4 塚本聡	(常)	新美術新聞	861	売却控える第一勧銀 碑文谷グラウンド “築100年”の倉庫 実は重文級[妻木頼黄]		読売	8. 20
愛玩記 手元に残った品々16 最後の浮世絵師三人[月岡芳年]	渥美 國泰	アートトップ	169	林文浩のPHOTO SHOCK CHECK! NAKED EYES 釣崎清隆	林 文浩	デザインの現場	101
文化という劇場 つげ義春の文庫本	冠木 雅夫	毎日	5. 10		(テ)		
近代工芸の異端者たち十選9 辻光典「遊蝶石」	樋田豊次郎	日経	6. 10	INTERVIEW 勅使河原宏		AMBI-ANTE	25
				没後10年手塚治虫 ゆかりの宝塚 ファン“巡礼”の手引きにマップ作製 大阪の女子大生、ネットで発信		産経	1. 9

手塚ワールド魅力拡大 文化史的に位置付け		日経夕刊	9.21	特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 妙義山図・瀨八丁図屏風	水尾比呂志	" "	" "
巻頭特集 現代の日本画家6人と琳派 手塚雄二	篠原 弘	美術の窓	193	特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 夏景山水図	河野 元昭	" "	" "
「歴史」をみる眼十選 1 寺崎広業「大仏開眼」	山梨 俊夫	日 経	5.10	特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 養水喫霞図	内山 武夫	" "	" "
交遊抄 寺島さんの絵[寺島竜一]	小島 勝平	"	7.6	特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 高士弾琴図	笠嶋 忠幸	" "	" "
マンガの居場所 (寺田克也)のズゴさ	夏目房之介	毎日夕刊	5.7	特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 富而不驕図	深山 孝彰	" "	" "
	(ト)			富岡鉄斎年譜	北野 良枝	" "	" "
				資料紹介 富岡鉄斎《巖栖谷飲図》	中谷 伸生	美術フォーラム21	1
東郷青児作《帽子をかむった男》の原題について	角田美奈子	名古屋市美術館研究紀要	8	逝った画家たちへの恋文抄[富田溪仙]	塩川 京子	美術京都	22
第三十一回日本芸術大賞 東松照明		芸術新潮	595	もう、現代美術がむずかしい、なんて言わせない。LR誌上レクチャー2 美術の多様化をめぐる[富田俊明]	鷹見 明彦	アート・マガジン(エル・アール)	11
“新しい世界地図”としての写真[東松照明]	榎木 野衣	"	"	[作品研究]富本憲吉《色絵草花文角鉢》、《色絵蘭文角鉢》	本田 拓也	現代の眼	514
土曜訪問 戦後の日本を撮り続ける写真家東松照明	勝美 啓吾	東京	6.5	柳宗悦に火を灯された人々54[富本憲吉]	近藤 京嗣	陶 説	555
私の好きなもの 消しゴム	堂本 右美	新美術新聞	855	近代陶芸の「知将」富本憲吉	九原 秀樹	"	556
アートの“言葉狩り”? 土岐さんの作品の一部撤去[土岐小百合]		"	874	頓宮隆輔 ある遭遇展		日 経	7.5
川口直宜の絵画巡覧 22 21世紀を展望する画家たち 戸田康一—余白が生み出すもの	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	176	ひと「光州事件」の美術展を初めて日韓で開いた富山妙子さん	乾 達	毎日	2.4
テーブルトーク 戸田つとむさん	(あ)	朝日夕刊	8.30	特集 アートになった昆虫たち 私にとっての虫 主役に近い小道具	友永 詔三 編集部 イン・夕 ビュー・構 成	美術(月刊)	286
「前田寛治の芸術」展調査ノートから 寛治と鉄斎[富岡鉄斎]	[B.K.]	A A C	28	藤田嗣治の1920年代—二枚の《私の部屋》に込められた意味[土門拳]	林 洋子	東京都現代美術館紀要	4
文墨縦談6 探訪・最晩年の富岡鉄斎—藤田清太郎のこと、印癖のこと—	笠嶋 忠幸	鴨東通信	33	土門拳が愛した国宝の数々	酒井 義夫 構成	日経アート	123
特集富岡鉄斎 鉄斎の画業・その展開	鶴田 武良	国 華	1250	アート/生態系—美術表現の「自然」と「制作」展覧会関連シンポジウム	建畠 哲 伊藤 公象 藤戸 成雄 袴田 京太郎 丸山 直文 谷 新	アート・マガジン(エル・アール)	12
特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 越溪観楓図	村越 英明	"	"	館藏品紹介 戸谷成雄「洪水」	島 敦彦	国立国際美術館月報	80
特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 旧蝦夷風俗図屏風	佐々木利和	"	"	LR artists enquete あなたが美術館について感じていることをお書き下さい。	豊嶋 康子	アート・マガジン(エル・アール)	15
特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 富士山図屏風	高階 秀爾	"	"				
特集富岡鉄斎 富岡鉄斎筆 蓬莱仙境図・武陵桃源図屏風	金澤 弘	"	"				

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日ト、ナ)

愛玩記 手元に残った品々16 最後の浮世絵師三人[豊原國周]	渥美 國泰	アート トップ	169	福富太郎のアート・キャバレー2号店21 美人画の“推奨銘柄”中澤弘光	福富 太郎	芸術新潮	593
作家訪問276 陶芸家 トロック祥子さん	編集部	目の眼	278	絵は風景 「薄日」 中地融人	芥川 喜好	読 売	3.14
(ナ)				フィジカルな道具の快感をデザインする使い手がつくったラジオペンチとニッパ [中島郁子]	池上ちかこ	デザインの現場	101
日本美術を見る 内藤春治の《壁面への時計》	小林未央子	C. A. R.	30	人生讃歌 “風の画家”と呼ばれて 中島潔氏7、15、21、22	中島 潔	産経夕刊	1.21、 2.16、 3.2、3
新・作家への道標56	内藤 礼	ギャラリー(月刊)	171	画家中島潔さん 同郷の仲間と別れ独り立ちの四畳半	(剛)	読売夕刊	1.21
まんがワールド デビルマン 圧倒的な質量の情熱[永井豪]	いしかわじゅん	日経夕刊	9.7	中島千波 生命肯定論者の孤独	草薙奈津子	美術(月刊)	280
はてな?おもしろ浮世絵152~162	中右 瑛	目の眼	268~278	巻頭特集 現代の日本画家6人と琳派 中島千波	篠原 弘	美術の窓	193
「格闘写真集 FIGHTS」長尾迪・写真	(徹)	読 売	2.7	セザンヌ展を観て 理論的な構成静物画の手本	中島 千波	東京夕刊	11.13
石川寅治、吉田博、中川八郎の画帖一(琉球)について	永山多喜子	郡山市立美術館研究紀要	1	太神楽椿 大輪に新世紀への願い	"	日 経	1.1
スクリーンプリントの新鋭 中川久子 やさしさと冷たさのバランス	中川 久子	版画芸術	106	交遊抄 鍛金研究室	中島 尚正	"	11.24
織部賞と中川幸夫氏よい受賞者が「賞」を育てる	(若)	朝日夕刊	6.8	中島宏 色が生み出す形 生命	金子 賢治	美術(月刊)	283
語る 中川幸夫の世界	川村 二郎	"	7.14	LAでの生活1、2	長島有里枝	武蔵野美術	112、113
知られざる郷土の画家6 長崎助之照	編集部 九里 文子	美術(月刊)	281	1999年の幸福論4 普通	"	朝日夕刊	1.7
追悼・長沢節 自由に、多彩に、シンプルに	村上 哲也 穂積 和夫 三宅 一生	デザインの現場	105	骨董市で見つけた「G・永瀬」[永瀬義郎]	浅田 正春	芸術新潮	592
水彩画家長沢節さんの性 粋超え個性美貫く	上間 常正	毎日夕刊	7.22	未公開資料—仲田定之助のベルリン日記(下)	寺門臨太郎	現代芸術研究	3
自由でシンプル大切に 画家長沢節さん(6月23日死去、82歳)	武中 英夫	読 売	7.11	ひと プラチスラバ 世界絵本原画展でグランプリに輝いた 中辻悦子さん	石村 綾子	毎 日	12.24
諦念の明るさ—中ザワヒデキ論ノート	千葉 成夫	アート・マガジン(エル・アール)	11	永都康之 質的時間の絵画化、画家の眼の奥行き	米倉 守	美術(月刊)	286
特集岡本太郎 強力と相対 岡本太郎作家論	中ザワヒデキ	ユリイカ	423	LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	中西 學	アート・マガジン(エル・アール)	11
館蔵品紹介 《井戸》長沢英俊	中井 康之	国立国際美術館月報	84	勝負師の顔 一瞬の構図 対局中の棋士撮影	中野 英伴	日 経	1.21
新・作家への道標57	長沢 秀之	ギャラリー(月刊)	172	20世紀日本の記憶7 長野重一 高度成長の光と影	飯沢耕太郎	読 売	8.12
				絵は風景 「遠い光芒の暮色」中野淳	芥川 喜好	"	9.26

中野弘彦氏講演会「絵画において大事なものは」	平野 重光	京都市美術館 ニュース	177	「ふるさとニッポン展」のための序論	中村 聖司	紀 要 Hokkaido Art Museum Studies	1998—99
横山操 絵と人の足跡 全ての基になる一本の線を教えてくれた人	中野 嘉之	美術の窓	189	特集 現代美術の素材と技法 権威が上塗りされているような薄っぺらいものが好き 中村哲也	嘉藤 笑子 取材・文	美術手帖	769
「版—その意味するもの—」	中林 忠良	ビブリア	112	特集 最新東京アート&カルチャー完全ガイド アーティストがよく行く街 中村哲也のすすめる骨董屋と徽章屋		"	774
企画展「中林竹溪—水と風の画家」準備ノート	竹内美砂子	名古屋市博物館だより	128	特別記事「終わりの始まりの」中村正義	野地耕一郎	"	770
企画展 中林竹溪 水と風の画家		"	129	探訪 画家中山節子先生を訪ねて		游 美	32
LR artists enquete あなたは作品を購入するということについてどう思っていますか?	中林ヒサカズ	アート・マガジン〈エル・アール〉	13	特集 現代美術の素材と技法 「メディア」を素材にしたニュー・アメリカン・ペインター デミアン・ローブ	中山ダイスケ 取材・文	美術手帖	769
永遠の夢とあこがれ 中原淳一をめぐる2 展覧会		新美術新聞	858	『湯河原ジャポニスム美術館』開館記念室伏哲郎連続対談12	中山 忠彦 ゲスト	美術(月刊)	282
『美しく生きる 中原淳一 その美学と仕事』	(才)	毎 日	5.9	魅惑の一点 オルセー美術館展より4ルノワール「エチュード：若い女性のトルソ、陽の効果」	中山 忠彦	日経夕刊	9.24
中原淳一記念館開館へ 遺族ら作品探し		読 売	7.8	流政之肌追展 流々の戯れ白し	米倉 守	絵	428
スクリーンプリントの新鋭 中東剛 ささやかな聖域	辺 見	版画芸術	106	新・作家への道標61 流政之・無骨作家の美学		ギャラリー(月刊)	176
対談「造ること、観ること」	奥村 泰彦 笹岡 敬子 田上 賀世子 中前 寛文 福岡 彩子	アート・マガジン〈エル・アール〉	15	特集 現代美術の素材と技法 FRPじゃなきゃできないかたちであると思う 奈良美智	池上ちかこ 取材・文	美術手帖	769
LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか?	中村 明子	"	14	奈良美智の人気 偽りのない子供の叫び	大西 若人	朝日夕刊	1.21
中村一美の絵画 集成展で展望切り開く	三田 晴夫	毎日夕刊	9.16	不気味な子供増殖中 TV番組 美術作品CM [奈良美智]	石鍋 仁美	日 経	6.19
何故「東京焼」なのかわたしのケーススタディ1981—98	中村 錦平	多摩美術大学研究紀要	13	美の標本室 奈良美智が描く「胎児」の顔 絵筆燃え尽きるまで 96歳洋画家大作完成 [奈良岡正夫]	布施 英利	毎日夕刊	7.2
テーブルトーク キッチンに徹す東京焼 様式をあざ笑う力強さ 中村錦平さん(陶芸家)	(U)	朝日夕刊	8.16	青春プレイバック 奈良原一高 早稲田大学演劇博物館	宮本扶未子	毎 日	6.24
中村桂子 平面に立ちこめる(霧)の深さ	辺 見	版画芸術	105	芸苑雑事記84 橘原健三さんのこと	芳賀 敏博	新美術新聞	866
フラワーライフ121 研一の愛した自然豊かな地 花の絵のある美術館 [中村研一]		東 京	10.4	バーの闇と光、切り絵に モノクロームの世界、個性を表現し100軒	瀧 悌三	美術の窓	194
1997年度特別研究助成活動報告 研究課題：「メディアアート；音」のドイツでの制作・研究	中村 滋延	URYU：京都芸術短期大学紀要	21		成田 一徹	日 経	1.20
絵は風景 「緒い月」 仲村進	芥川 喜好	読 売	10.24				



LR artists enquete あなたは作品を購入 するというこについて どう思っていますか？	橋場 信夫	"	13	まんがワールド 四 季つづり「私の世 界」を強く希求[花郁 悠紀子]	小野山理絵	日経夕刊	11.2
二十世紀初頭アメリ カにおける日本美術 受容—チャールズ・ H・キャフィンの橋 本雅邦論をめぐって—	志邨 匠子	美術史研 究	37	交遊抄 巨匠の来訪 [浜口陽三]	吉原 英雄	日 経	10.16
現代日本美術の最高 峰 東山魁夷画伯を 偲ぶ	橋本堅太郎	新美術新 聞	864	琉球通信44 浜田庄 司作の惣之助詩碑	永井 信一	美術の窓	187
[特集]富山県立近代 美術館事件：国家賠 償訴訟地裁判決をう けて 作家として考 えること—美術と制 度	長谷 宗悦	あいだ	37	特別対談 優れた美 人画の条件	濱田 台児 關 千代	ア ー ト ト ッ プ	170
作家研究 長谷川潔 その錬金術の世界	猿渡紀代子	版画芸術	106	浜田泰介 京都醍醐 寺障壁画一三六面完 成	編 集 部	美 術 (月 刊)	285
作家研究 長谷川潔 日本的なピュランの 世界	魚津 章夫	"	"	金の花びら平成の花 見 醍醐寺内に新障 壁画[浜田泰介]		朝 日	1.29
『はせがわくんきら いや』が絵はがきに なってしまった	長谷川集平	芸術新潮	596	壁を彩る金・銀の桜 京都・醍醐寺の障壁 画 6年がかりで新 調[浜田泰介]		産 経	1.29
ひと ビザなし渡航 で北方四島を訪れた 画家長谷川坊さん	大木 俊治	毎 日	11.12	熱気球[醍醐寺三宝 院障壁画・浜田泰 介]		東 京	1.29
失われた風景18 秦 テルヲ 佛化開縁之 図	星野 桂三	日経ア ー ト	123	単眼複眼 浜谷浩と D・キューブリック 20世紀の表と裏の姿 を表現	(若)	朝日夕刊	4.1
特集 カメラ好きあ つまれ！アーネス ト・サトウの写真教 室 第2部 アーネ スト・サトウ写真館	畠山 直哉	芸術新潮	594	よみうり寸評[浜谷 浩]		読売夕刊	3.10
特集 超写真術 畠 山直哉×桂英史 写 真と芸術をめぐる希 望	畠山 直哉 桂 英史	美術手帖	779	追悼浜谷浩 今世紀 の日本・写真に凝縮	平木 収	"	3.12
版画まんだら 生命 賛歌と青春懐旧[畑 中純]	村上 知彦	日 経	4.6	日本人のアイデン ティティとは？その 4 早川義孝 線の 持つ意味	編 集 部	美術の窓	185
特集 最新東京ア ー ト&カルチャ完全 ガイド アーティス トがよく行く街 八 谷和彦といっしょに 秋葉原ショッピング		美術手帖	774	『閑古堂の絵葉書散 歩 東編・西編』林 丈二著 昔の名所確 認の旅 何か綿密な 味わい	赤瀬川原平	朝 日	7.11
八谷和彦エアボード 超実験レポート		"	779	様式と文様(1)~(10)	原 一菜	目 の 眼	270~279
ひとつの画廊の終焉 と周縁の観客のつど ひ	八田 淳	あいだ	39	まんがワールド 暴 力商売 原点のダイ ナミズム[天王寺 大・原恵一郎]	小野山理絵	日経夕刊	2.16
特集 フォト・デイ レクション 服部一 成	沢水 潤	デザインの 現場	103	2008年 大阪オリ ンピックをデザインす る 大地に溶けるス タジアム	原 研哉	デザイ ンの 現場	102
ある青年画家の肖像 3、4	服部 泰一	ア ー ト ジャー ナル	19、20	会いたい人、見たい 版画 原陽子「曖 昧」な境界線上で	岡 部	版画芸術	103
				美の標本室 原田大 三郎『START OVER』 CGという理科系の アート	布施 英利	毎日夕刊	5.7
				ミュージアム・トー ク'99第1回 ミュ ンヘンにおける森鷗 外と原田直二郎	中島 順一	島根県立 西部美術 館 準備 ニュース	10
				特集 タイポグラ フィ タイポグラ フィックアート3	羽良多平吉	武蔵野美 術	113

Kへの手紙4 [板東敏雄]	佃 堅輔	アートジャーナル	20	東山魁夷氏死去 画壇に不滅の「道」 国民の心に「残照」	鈴木 進、尾崎 正明、田沼 武能、陰里 鉄郎、高山 辰雄、日野耕之祐談			5.8	
(七)									
日影 眩の360°の ニューヨーク52~63	日影 眩	ギャラリー(月刊)	165~176	東山魁夷さんを悼む 平和永続の一時代映す	瀬木 慎一	東京夕刊		5.10	
追悼 東山魁夷氏逝く 国民的情感の画家—東山魁夷画伯を悼む—	細野 正信	アートトップ	171	東山氏、郷愁の画筆 現代風景画に新局面 海外でも高い知名度	宝玉 正彦	日 経		5.8	
現代日本美術の最高峰 東山魁夷画伯死去		新美術新聞	862	東山魁夷さんを悼む	高山 辰雄			5.9	
PARIS発 追悼東山魁夷画伯	安部 雅延		864	東山魁夷さんの遺骨 長野に				7.5	
	関橋 主税、橋本 堅太郎、鈴木 竹柏、高橋 節郎、伊藤 清永、犬丸 直、杉岡 華郷、三谷 敬三、渡辺 妙子、藤村 正樹、下平 孝一、千葉 光行、岡村 孝一、井根 英治、桜井 宏子、山崎 富治、ファイリバルト			故東山魁夷画伯 唐招提寺に分骨				9.25	
現代日本美術の最高峰 東山魁夷画伯を偲ぶ				東山魁夷さん この緞帳見てほしかった「神戸市民の支えに」 生命の賛歌描く		日経夕刊		5.8	
				故東山魁夷氏の分骨 法要営む 唐招提寺				10.23	
				花の「道」で天国へ 東山魁夷さん「お別れの会」	石川 健次	毎 日		5.16	
				現代と歩調を合わせた画家 東山魁夷氏の死から1ヶ月	草薙奈津子			6.7	
				東山魁夷さんを悼む 日本画の巨匠 常に謙虚で誠実な人柄	平山 郁夫、石川 健次、聞き書き	毎日夕刊		5.10	
				東山魁夷さんを悼む 心とらえた風景の原像	辻 惟雄				
東山魁夷(大和春秋) 考証(下)	星野 良史	長野県信濃美術館美術調書	8	東山魁夷さんを悼む 一期一会の美を求めて	本間 正義				
悼 東山魁夷 障壁画と駅弁	中野 稔	美術(月刊)	286	東山魁夷氏死去 日本画の最高峰、文化勲章		読 売		5.8	
悼 東山魁夷 ありがとう東山芸術	K			「道」の画家として [東山魁夷]	芥川 喜好				
芸苑雑事記85 東山魁夷賛	瀧 悌三	美術の窓	195	愛された詩的な風景画 「東山芸術」世界も感動					
天声人語 [東山魁夷]		朝 日	5.9	編集手帳 [東山魁夷]				5.9	
東山魁夷氏をしのぶ—作品にも人にも誠実	平山 郁夫	朝日夕刊	5.10	よみうり寸評 [東山魁夷]				5.10	
瀬戸内の自然出発点に 国民的日本画家 東山魁夷さん、5月6日死去(老衰)	山盛 英司		5.27	トマトアイスクリーム試食会・最終回 複雑で流動的な運動の網 ジェイムス仙吉VS彦坂尚嘉 ゲスト=今道子、石内都、真島竜男、藤井博	中山ゆかり + LR 編集部 取材・編集	アート・マガジン (エル・アール)		12	
風景の中に「心」描く 東山魁夷さん逝く 身近な美術確立	洪沢 和彦	産 経	5.9	絵は風景 「東の国へ渡る鳥」久永強	芥川 喜好	読 売		12.5	
清澄な世界を確立 挫折を超えた国民画家 [東山魁夷]		産経夕刊	5.8						



菱田春草の落款・印章	小島 恵蔵	飯田市美術博物館研究紀要	9	LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか?	ひらいゆう	アート・マガジン(エル・アール)	14
横山大観と菱田春草の渡印後の作品について 菱田春草の(乳糜供養)を中心に	佐藤 志乃	筑波大学芸術学研究	3	はじめてのAIR体験—LIGHT WORK—	"	国立国際美術館月報	87
菱田春草筆「落葉」の空間構成に関する一考察—同時代絵画の中での位置付け—	五月女晴恵	美術史学	20	絵は風景「魚眠館異聞」平賀敬	芥川 喜好	読 売	1.31
特集 現代美術の素材と技法 作りたいイメージがスムーズにできる方法 菱山裕子	池上ちかこ 取材・文	美術手帖	769	このごろ通信 平垣内清さん 入賞で創作を続ける自信	石川 健次	毎日夕刊	4.23
まなざしのフィールドワーク1 比田井天来と井上有一	山口 昌男	あいだ	39	「社会の窓」からなにが見える? 平川典俊の注目CD-ROM	平川 典俊	"	766
特集 フォト・ディレクション 日高英樹	真壁 佳織	デザインの現場	103	特集2 覗きの美学 美学としての覗きについて ある夏の終わりの日の午後	平川 典俊	"	768
彫刻のいま10 日高頼子「母なる自然の歌」	柄本 美喜	美術の窓	189	技法講座13 開光市油彩による幻想的な人物画《前編》エスキースから地塗り、背景の描画まで	松島 励路 取材・文志 河野 安志 写真撮影	美術の窓	185
「加藤土師萌展」—2 加藤土師萌陶芸の原点—日野厚と瀬戸凶案研究会	服部 文孝	現代の眼	518	技法講座13 開光市油彩による幻想的な人物画《後編》ハッチングによる描画	"	"	186
魂の道歩んだ「遍歴徒弟」東山魁夷氏を悼む	日野 啓三	読売夕刊	5.8	技法講座13 開光市エッセイ 創ること、壊すこと	開 光市	"	"
國領さんのこと	日野耕之祐	アート トップ	171	平櫛田中研究—《五浦釣人》を焦点に—	柳沢 秀行	鹿島美術研究	16
日野耕之祐のティータムエッセイ3~9	"	美術(月刊)	280~287	美の巨人たち 平櫛田中 天衣無縫の木の下(上)(下)	坂本 憲一	日 経	2.21, 28
これからの芸術表現に期待すること	日比野克彦	アート トップ	173	まんがワールド フーンゾク魂 “地獄”を巡る表現者[平口広美]	いしかわ じゅん	日経夕刊	3.9
コンテンツラリー・アーティスト 日比野克彦 〈鼻をかみたい〉という欲求	"	C. A. R.	32	「画家・平沢貞通」発掘の旅 養子・武彦さん、収集続ける	"	朝 日	9.24
野田秀樹+日比野克彦の「赤鬼」再演	高城 綾子	美術手帖	775	帝銀事件元死刑囚「画家・平沢」半世紀ぶりに光 故郷・小樽で作品展示へ テンペラ画の知られざる先駆者	"	読 売	5.31
『MOTERWAY』伊藤桂司著	日比野克彦	朝 日	9.5	特集 JAPAN DESIGN 次なるリアル 平野敬子	"	A X I S	80
日比野克彦のデザイン考 HI美NO+LOW美YES	"	毎日夕刊	1.26, 2.23, 3.23, 4.27, 5.25, 6.30, 7.29, 8.30, 9.30, 10.28, 11.29, 12.22	20世紀の古典 ロシア・アヴァンギャルド	平野 甲賀	朝 日	1.15
こころの風土記 日比野克彦さん 岐阜市	"	読売夕刊	9.25	近現代日本の装幀十選10 平野甲賀「本郷」[木下順二著]	菊地 信義	日 経	11.24
絵は風景「合体」平井一男	芥川 喜好	読 売	10.31	Being ART Watching59 慈愛のまなざしに満ちて—平野雅子	中野 中	ギャラリー(月刊)	170

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日ヒ、フ)

特集 平成11年前期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー	平松賢太郎	美術(月刊)	287	平山画伯にスミソニアン協会賞[平山郁夫]		毎日夕刊	4.6
横山操 絵と人の足跡 あかね空	平松 礼二	美術の窓	189	東山魁夷さんを悼む日本画の巨匠 常に謙虚で誠実な人柄	平山 郁夫 石川 健次 聞き書き	"	5.10
リレー対談・新世紀へ向けて 美術家の視界～人間学風景1～6	平松 礼二 中島栄一郎 西谷晋久夫 岡野喜久夫 高橋千裕 小栗康平	"	189～194	ブロードキャスト 砂漠の大画廊[平山郁夫]	荻野 祥三	"	6.22
巻頭特集 平松礼二の印象派・ジャボニスムへの旅 平松礼二へのQ&A	"	"	192	英仏2週間の旅に思う 文化遺産保護世界レベルで 国際協力の必要性改めて痛感	平山 郁夫	読売夕刊	12.10
巻頭特集 平松礼二の印象派・ジャボニスムへの旅 編集長対談	平松 礼二 一井 建二	"	"	フェイス21世紀2 蛭田均	(常)	新美術新聞	855
巻頭特集 平松礼二の印象派・ジャボニスムへの旅 平松礼二日本趣味をこえる路を求めて	篠原 弘	"	"	挿絵と美人画[鰐崎英朋]	松本 品子	アート トップ	170
巻頭特集 現代の日本画家6人と琳派 平松礼二	"	"	193	デザイナー、現場に行く!1 ヒロ杉山さん、GRAPHの工場を見に行く	青野 尚子 編集部	デザインの現場	102
あとがきのあと 路……印象派への旅 平松礼二氏	"	"	9.26	人間発見 わがままだに生きよう1～5	弘兼 憲史 翔木 誠 聞き手	日経夕刊	1.25～28
世界的視野から文化財を見る 日本の文化財と世界の文化遺産	平山 郁夫	日本の国宝(週刊朝日)	101	スクリーンプリントの新鋭 廣澤仁「リアル」な感触	岡 部	版画芸術	106
新連載 平山郁夫の文化財赤十字を考える1～9	編集部	美術の窓	185～195	LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	広田 美穂	アート・マガジン(エル・アール)	11
東山魁夷氏をしのぶ一作品にも人にも誠実	平山 郁夫	朝日夕刊	5.10	(フ)			
世界文化遺産条約加盟問題 平山郁夫氏、北朝鮮へ ユネスコ親善大使で政府関係者と交渉	中田 雅博	産経夕刊	4.6	ぼくの空想コレクション251 異な物たちー深沢軍治	秋山 和歩	美術(月刊)	286
平山画伯の贋作売り込み 両陛下の肖像画		東京	5.30	特集 繋がりのデザイン 精神と身体と環境すべての繋がりのなかでデザインを考える	佐々木正人 深澤 直人 対談	A X I S	82
第10回東京ー北京友好都市提携 日中交流シンポジウム 21世紀の若者像を考える 特別講演『アジアの一員』忘れずに	平山 郁夫	"	5.31	絵は風景 「星の門」吹田文明	芥川 喜好	読 売	8.8
平山画伯の寄付で中国の小学校再建 授業に傘もういらない!!	加藤 直人	"	7.10	名作散歩 露谷虹児作詞 童謡・花嫁人形	山村 堯	東京	5.9
ひととき 5月1日開通の「しまなみ海道」沿線の風景画展を開く平山郁夫さん 橋生かした文化期待		日 経	4.25	日本人画家がフレスコ画 フィレンツェに再現 福井洋一さん 歴史あるホテル2軒に	高梨美穂子	産経夕刊	2.18
				福井良之助の初期作品について	大衛 彩織	一関市博物館研究報告	2
				特集 平成10年後期の美術賞とその作品受賞インタビュー 日本画における青の追求	福王子一彦	美術(月刊)	280
				絵は風景 「長崎夜景」福王子法林	芥川 喜好	読 売	4.18

作家の原風景19 佐伯祐三のバリ[福沢一郎]	朝日 晃	アートジャーナル	19	特集=新セザンヌ解剖学 アーティストが見たセザンヌ セザンヌをルノワールのように自分の作品として引用するのは困難	福田 美蘭	"	777
福沢一郎関係資料 福沢一郎宛書簡に関する調査 その一 滞欧期の絵葉書(一)	伊藤 佳之	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館調査報告書	2	ドラクロワ「民衆を導く自由の女神」	"	朝 日	3.20
中特集 福島瑞穂 カソリシズム 殉教という理想	一井 建二	美術の窓	192	三岸節子の歩んだ「時代」 画家・福田美蘭さんに聞く	大西 若人	"	4.26
中特集 福島瑞穂 人間の面白さ	福島 瑞穂 一井 建二 対談	"	"	オルセー美術館展の見どころ 時代の精神映す鏡	福田 美蘭	朝日夕刊	11.1
これはカミワザだ 吉澤章創作折り紙展	福田 繁雄	朝 日	10.6	セザンヌ「カード遊びをする人々」	"	東京夕刊	9.16
時の贈り物 デザインは目をたます忍者	福田 繁雄 堀田あゆみ 聞き手	朝日夕刊	7.16	Artist Interview 藤浩志のOSのアート	"	美術手帖	780
			1.10、17、24、31、2.7、14、21、28、3.7、14、21、28、4.4、11、18、25、5.2、9、16、23、6.6、20、7.4、11、18、25、8.1、8、15、22、29.9.5、12、19、26.10.3、10、17、24.11.7、14、21	藤井敬子 版画の自由な装い	辺見イビュウ・構成	版画芸術	103
福田繁雄の百科視典 トリックアートの世界	福田 繁雄	毎 日		21世紀住居図鑑24 対話生むスポーティな「向齡住宅」[藤木忠善]	大西 若人	A X I S	79
				箱根「彫刻の森美術館」開館30周年 開館30周年企画展に出品	藤田 昭子	産 経	1.8
				心象表現1991~1997	藤田 志朗	筑波大学芸術研究報告	32
				藤田嗣治の1929年一パリから日本への転換点一	林 洋子	鹿島美術研究	16
福田たね・青木繁作《逝く春》について	志賀 秀孝	府中市美術館開設準備室研究紀要	3	藤田 嗣 治 の1920年代一一枚の《私の部屋》に込められた意味	"	東京都現代美術館紀要	4
逝った画家たちへの恋文抄[福田平八郎]	塩川 京子	美術京都	22	この道 大きなチャンス[藤田嗣治]	石井 好子	東京夕刊	7.29
新・作家への道標52 福田美蘭		ギャラリー(月刊)	167	特集 平成11年前期の美術賞とその作品受賞作家インタビュー	藤田 雅彦	美術(月刊)	287
特集 福田美蘭 名画をわれらに!		芸術新潮	596	スクリーンプリントの新鋭 藤田夢香版を使って遊ぶ	飯 笹	版画芸術	106
みんなの名画、自分だけの名画	福田 美蘭 山下 裕二	"	"	私のいる風景 藤野千夜さん	尾崎真理子	読売夕刊	8.7
この月報の文章を寄せるにあたり	福田 美蘭	国立国際美術館月報	83	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 ここには、いままでのような技法も素材も作品もない—コンピュータが見せてくれたこと	藤幡 正樹	美術手帖	769
展覧会出品作品紹介《帽子を被った男性から見た草上の二人》福田美蘭	小林 昌夫	"	"				
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド アーティストがよく行く街 福田美蘭のすすめるかっぱ橋道具街		美術手帖	774				



真栄城興茂 藍染めから透かし見る沖縄の風	編集部	"	283	熊野の音+熊野の色 増田感・北堅吉彦展	寺口 淳治	和歌山県立近代美術館ニューズ	21
前田寛治の二十歳	前田棟一郎	絵	428	建築家増田清の経歴と広島における建築活動について	石丸 紀興 李	日本建築学会論文系論文集	525
「前田寛治の芸術」展調査ノートから	【B. K.】	A A C	28	増田孝・その画業と美術教育—追悼—	五十嵐嘉晴	金沢美術工芸大学紀要	43
「コレクション万華鏡」展より 前田寛治《赤い帽子の少女》	土田 真紀	ひる・ういんど	65	「詩情のオブジェ 鈴木治の陶芸」展—2 走泥社の初期の頃・鈴木治さんのことなど	益田 芳徳	現代の眼	515
家族の肖像十選 3 前田寛治「棟梁の家族」	大津 英敏	日 経	10. 7	絵は風景 「月の水(A)」又木啓子	芥川 喜好	読 売	10. 3
前田常作 曼荼羅への旅路を照らす輝きを求めて	仙頭 邦枝	デザインの現場	102	特集=新セザンヌ解剖学 感覚のパニツク状態	松浦 寿夫	美術手帖	777
特集 繋がりの中のデザイン 人とコンピュータの失われた絆を求めて—ジョン前田の「デザイン・バイ・ナンバーズ」	ゴードン・ブルース	A X I S	82	絵は風景 「砂」松尾多英	芥川 喜好	読 売	7. 25
「前田真三写真美術館」	(片)	読 売	7. 18	特集 ドラゴンへの挑戦 湯島の白龍	松尾 敏男	美術(月刊)	285
LR artists enquete あなたは日本に四季があることをどう感じていますか?	前田 雅巳	アート・マガジン(エル・アール)	14	建築家 松ヶ崎萬長の後期の経歴と作品—松ヶ崎萬長の経歴と作品(その2)—	岡田 義治 初田 亨	日本建築学会論文系論文集	519
絵は風景「木叢」牧進	芥川 喜好	読 売	5. 23	知られざる人物発掘ストーリー 松崎二郎 真夏の夜の蠟人形	カルロス山崎	芸術新潮	597
モダニズム建築家・楨文彦の挑戦 浮かび上がる「日本的なもの」高松宮殿下記念世界文化賞建築部門受賞	飯島 洋一	産 経	10. 24	青春プレイバック 長野県・下諏訪町諏訪湖	松澤 宥	新美術新聞	852
第11回世界文化賞の2氏 建築家楨文彦氏に聞く モダニズムは常に更新される	前田 恭二	読売夕刊	11. 2	著者に聞く『さくら子、中国、美の放浪』を出版した漆造形作家の松島さくら子さん	(西)	"	851
マキシグラフィカの目指した「絵画と版画」	マキシグラフィカ 松山 龍雄 聞き手	版画芸術	106	技法講座15 八木幾朗 自然のイメージの造形《後編》枝垂桜を描く	松島 励路	美術の窓	190
日本美術を見る 牧野虎雄の《庭の少女》	小林未央子	C. A. R.	31	技法講座18 渡部満名画のなかに旅する幼女《後編》描画をすすめる、完成	"	"	195
絵は風景 「天華」牧野宗則	芥川 喜好	読 売	2. 21	展覧会特集 山口師範学校時代の松田正平	安井雄一郎	天 花	78
進級のアトリエで思う “絶望を突き抜けた青空”を希求する日々	馬越 陽子	新美術新聞	879	LR artists enquete あなたの「嫌いなもの」について書いて下さい。	松田 博之	アート・マガジン(エル・アール)	11
絵は風景 「彼方にある夜明けを」馬越陽子	芥川 喜好	読 売	2. 14	デザイナー、現場に行く! 4 本誌AD松田行正さん、若葉印刷社の活版組みを見に行く	沢水 潤	デザインの現場	102
この人たちの「証言」52 坪内祐三 師の「夢物語」と弟の「泣きごと」[正宗得三郎]		毎日夕刊	8. 2	私空間	松永 真	朝日夕刊	8. 16、18、19
LR artists enquete あなたが美術館について感じていることをお書き下さい。	真島 直子	アート・マガジン(エル・アール)	15				



よみうり寸評[三岸節子]		読 売	4.26	特集 岡本太郎 瞬間の彫刻 岡本太郎の映像人類学的探求	港 千尋	ユリイカ	423
洋画家 三岸節子さん「至上の花」求めた80年	尾崎真理子	"	5.16	蘇生した「産業遺跡」ドイツ・ルール地方10壮大な挑戦 10年続く再開発「国際建築博」斜陽の街に美の息吹	"	読売夕刊	10.29
追悼三岸節子 絵筆に込めた生の讃歌	吉武 輝子	読売夕刊	4.30	ART NEWS 意外と優男だったナポレオンのデスマスク	南 伸坊	芸術新潮	597
講演 近代京都の漆芸 3~6	水内 杏平	視 る	379~382	のんびり元気術	赤瀬川原平 南 伸坊 渡辺 和博	朝 日	1.1
妖怪はいるんです、ほら 水木しげる	田の中 勇 川上 弘美 四方田犬彦 宮田 登篤 小原 構成	朝 日	2.6	まんがワールド 仙人の壺[南伸坊]	村上 知彦	日経夕刊	2.2
ニッポン現場紀行 見世物学会 水木しげるさんと行く	馬場 秀司	"	6.4	峰岸達 懐かしき昭和 少年の日々へ	仙頭 邦枝	デザインの現場	102
妖怪さんまい50年 漫画家・水木しげるさんに聞く	鈴木 貴彦	東京夕刊	2.10	芝築地派と峰島尚志	青木 茂	町田市立国際版画美術館紀要	3
創るアングル 漫画家 水木しげる 無心になって描く妖怪画		日 経	2.28	川口直宜の絵画巡覧 25 21世紀を展望する画家たち 宮いつき一宗教的香味さえ感じさせる絵画世界	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	174
なぜウケる「水木しげる」	(汗)	読 売	1.30	近代工芸の異端者たち十選1 宮川香山「蟹水盤」	樋田豊次郎	日 経	5.27
こころの風土記 水木しげるさん 境港市	小梶 勝男	読売夕刊	9.4	特集 ファッションという創造性 ファッションを変えた3人 三宅一生	清水 早苗 文・構成	美術手帖	771
第18回土門拳賞 水越武氏「森林列島」に		新美術新聞	858	特集 ファッションという創造性 意識のエンジニアリング 三宅一生と川久保玲を中心として	長谷川祐子	"	"
土門拳賞 これからの仕事に勇氣とエネルギー 受賞の言葉	水越 武	毎 日	3.17	特集 タイポグラフィ タイポグラフィックアート2 宮坂淳		武蔵野美術	113
作家訪問269 染色家 水島かなえさん	編 集 部	目の眼	271	新・作家への道標50 宮崎進		ギャラリー(月刊)	165
絵は風景 「たけの子」水谷愛子	芥川 喜好	読 売	5.2	今月の読書『宮崎進画集』私のシベリア 森と大地の記憶	(高)	新美術新聞	851
LR artists enquete あなたは、画廊やギャラリーに何を望みますか?	光川 裕介	アート・マガジン(エル・アール)	16	宮崎進画集 漂泊者の魂のなかの風景	大井 健地	美術の窓	185
ザビエルの日本画バチカン献上へ[満田慧峰]		産 経	3.14	宮崎進画集「私のシベリア 森と大地の記憶」	(前)	読 売	3.21
ザビエルの像をバチカンに寄贈 大阪の日本画家、満田さん[満田慧峰]		"	5.1	動物のいる写真十選9 宮崎康彦「ライオン、東北サファリパーク」	倉石 信乃	日 経	8.12
ザビエル・島津家対面の図、法王に 来日450周年[満田慧峰]		日経夕刊	4.24	わが20世紀人 フリーダ・カーロ 強い自我、絵画へ昇華	宮迫 千鶴	読売夕刊	3.13
第五十二回全国大会 研究発表要旨 満谷國四郎・一九一四年	高柳有紀子	美術史	147	宮澤正明『赤外写真集1979-1999』 繭の中の少女		東 京	9.26
現代染色の第一人者 染色家皆川泰蔵さん	早瀬 廣美	産 経	9.25				
特集 平成11年前期の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー 南谷具代		美術(月刊)	287				





ニューキャラが続々登場!この秋、村上隆が手がけたワクワクの品二点		"	777	特集 村山槐多 槐多、エフェメール、天子(使)の囁き	吉田 文憲	"	"
「絵巻物—アニメの源流」展	村上 隆	"	779	特集 村山槐多 放尿する槐多 夭折の現象学	小林 正廣	"	"
特集 日本・未来・美術 対談 村上隆×滝沢直己		"	780	特集 村山槐多 村山槐多の探偵小説 江戸川乱歩からの視覚	浜田 雄介	"	"
特集 日本・未来・美術 対談 村上隆×あさのまさこ		"	"	特集 村山槐多 村山槐多の自画像	酒井 哲朗	"	"
村上隆さんのイチ押し 青の6号		朝日夕刊	8.27	特集 村山槐多 火だるま槐多 疾風怒濤の青春記録	荒波 力	"	"
家族のこと話そう 村上康成さん(絵本作家) 山や川への愛着はおやし譲り	赤沢信次郎 聞き手	"	4.25	特集 村山槐多 「研究所だより」から「アマチュア=画家」と美術雑誌読者の世界	五十殿利治	"	"
村上豊画集「四季」	(前)	読 売	7.25	日本文学の百年 もう一つの海流 村山知義『忍びの者』	尾崎 秀樹	東京夕刊	6.30
新春特別展「目録・行灯絵の世界—祝いの芸術—」に寄せて 昭和「浮世絵」師伝 [村田金次]		石川れきはく	50	向う三軒両隣 神奈川横丁33 室井東志生 伝統の日本画を護る	武田 厚	美術の窓	195
特集 平成10年後期の美術賞とその作品 受賞インタビュー 大地に根差す稲架木、越後風景の強さを	村田 省蔵	美術(月刊)	280	振り返れば貴重なひと時	室越 健美	美術(月刊)	284
(焼絵)というバクレン画—村山槐多の焼絵盆『茶煙残夢』をめくって	佐々木 央	絵	425	(メ)			
特集 村山槐多 濃血人 槐多の格闘	酒井 忠康 高橋 睦郎 対談	ユリイカ	419	<明和電機>の経営学	山口 昌男	あいだ	40
特集 村山槐多 全集未収録作品 魔童子伝	村山 槐多	"	"	現在美術TOKYO発 1 世界に羽ばたく 抽象企業 明和電機	伊東 順二	美術の窓	189
特集 村山槐多 全集未収録作品 絵馬堂を上げて	"	"	"	(モ)			
特集 村山槐多 槐多をめくって	栗津 則雄	"	"	LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか?	母袋 俊也	アート・マガジン<エル・アール>	12
特集 村山槐多 槐多と心平	入沢 泰夫	"	"	まんがワールド ドラゴンヘッド 迷宮の闇から心の奥へ [望月峯太郎]	村上 知彦	日経夕刊	10.26
特集 村山槐多 絵具をしぼる男	安藤 元雄	"	"	絵は風景 「きいろのなかで」元永定正	芥川 喜好	読 売	3.7
特集 村山槐多 疾走「槐多」を追って	窪島誠一郎	"	"	本野精吾の凶案教育—京都高等工芸学校凶案史料3—	宮島 久雄	京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要	20
特集 村山槐多 槐多伝	原田 光	"	"	「本野東一の染色」展《対話》	福本 繁樹	現代の眼	516
特集 村山槐多 血染めのラッパ吹き鳴らせ 村山槐多の短い生涯について	長谷川龍生	"	"	現在美術TOKYO発 5 時間を遊ぶうさぎたち—もとみやかをる	伊東 順二	美術の窓	193
特集 村山槐多 槐多の時代	鈴木 貞美	"	"	具象画の祖母に“接近” [本宮健史]		読売夕刊	11.17
特集 村山槐多 レカ屎スル	東 俊郎	"	"				

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・日モ)

茂登山東一郎 丁寧に静かな主張を繰り返す	水上 睦男	美術(月刊)	284	本当に女優になった私 森村泰昌が蛭川幸雄作品でデビュー	新美術新聞	869
百瀬寿 色彩の王国	百瀬 寿 松岡・岡部 イン・タ ビュー・構 成	版画芸術	106	特集 現代美術の素材と技法 現代美術の「素材と技法」を変えた4つの潮流 デジタルでアナログな関係一「森村百貨店」開店予定	原 久子	美術手帖 769
らせんによる造形	森 竹巳	筑波大学芸術年報				
元気覇気勇気48〜50 デザイナー 森英恵	長戸 雅子	産 経	3.1〜3	巻頭特集・ゴッホは死んだのか!? ゴッホに寄せて4 ゴッホはカッコいいか	森村 泰昌	美術の窓 195
現在通信from NEW YORK グローバルとアジアの価値[森万里子]	富井 玲子	新美術新聞	868			
特集2 森万里子 インタビュー 森万里子の真実		美術手帖	775	デジタル時代のキッシュな自画像、あるいは演劇的なアート 森村泰昌「空装美術館」—絵画になった私	太田 喬夫	美術フォーラム21 1
特集2 森万里子 海外における森万里子という現象	西原 珉	" "	" "	森村泰昌データベース 文献:美術雑誌編	天野 太郎	横浜美術館研究紀要 2
特集2 森万里子 天使は不在だが彼女は生きる	中沢 新一	" "	" "	私が愛した名探偵 合田雄一郎	森村 泰昌	朝日夕刊 5.10
交遊抄 2人の女性芸術家[森万里子]	多川 俊映	日 経	1.16	セザンヌ「りんごとオレンジ」	"	東京夕刊 9.24
この人 第6回陶芸ビエンナーレ 森泰司さん	(勝)	東 京	3.24	森村泰昌の「仮想百貨店」裏話披露、美術身近に	中野 稔	日 経 7.18
森緑翠さん おわかれの会	編 集 部	美術の窓	190	美の標本室「電腦美術館」を開いた森村泰昌	布施 英利	毎日夕刊 8.6
二十一世紀はもうすぐ—戦後からグローバルイズムへ—	日向あき子 森下 泰輔	アート・マガジン(エル・アール)	11	美と出合う 加賀アートギャラリー「雪の白山」森本仁平	見神 千絵	東 京 2.7
バナナが紙に ハイチで可能性	森島 紘史	東京夕刊	5.25	向う三軒両隣 神奈川横丁28 守屋多々志 私のための歴史画・推理と夢を楽しむ	武田 厚	美術の窓 189
森田曠平の歴史画の特徴について—構図と画題を中心に—	中田 智則	茨城県近代美術館研究紀要	6			
川口直宜の絵画巡覧 18 21世紀を展望する画家たち 森田りえ子—写生を生かしつつ蘭麝の馨り	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	167	時の贈り物 鳥のように自由に描きたい	守屋多々志 内藤好之 聞き手	朝日夕刊 9.17
森田りえ子 華麗なだけでなく、その神秘性をも描く	編 集 部	美術(月刊)	282	ひとり語り 未来感じられる絵に	守屋多々志 相馬幸司 構成	読 売 5.25
森野真弓 見えるモノと見えないモノ	森野 真弓 飯笹・松山 イン・タ ビュー・構 成	版画芸術	105	トキワ荘もう一つの青春 無名のままひとり逝った森安なおやさん		毎日夕刊 6.19
特集 カメラ好きあつまれ! アーネスト・サトウの写真教室 第1部 アーネスト先生の名物講座 直弟子・森村泰昌が熱演再現します	森村 泰昌	芸術新潮	594	Artist interview 1 森山大道	中川 道夫 ききて	美術手帖 767
				メトロポリタン美術館で回顧展開催中の写真家[森山大道]	近藤康太郎	朝 日 10.28
				まんがワールド 西遊妖猿伝 肉体感覚に活劇の魅力[諸星大二郎]	村上 知彦	日経夕刊 11.16

(ヤ)									
技法講座15 八木幾朗 自然のイメージの造形《前編》《中編》 地塗りと額縁の制作	松島 励路	美術の窓	188,189	洋画家柳井伊都岐氏 フランスでグリユー ネヴァルトを模写 描き続けて20年	産 経	7.11			
巻頭特集 現代の日本 画家6人と琳派 八木幾朗	篠原 弘	美術の窓	193	ひとり語り 柳宗理 さん「用から出た 美」求め	小泉 成史	読 売	4.20		
近代工芸の異端者たち 十選8 八木一夫 「アリスの人形」	樋田豊次郎	日 経	6.8	都市遊民たちの行方	やなぎみわ	国立国際 美術館月 報	80		
こころの風土記 矢口 高雄さん	遠田 昌明	読売夕刊	2.20	人らんだむ 第6回 VOCA賞を受賞した やなぎみわさん	(美)	新美術新 聞	856		
シュルレアリスムと 日本の伝統—矢崎博 信の俳諧論を中心 に—	大谷 省吾	現代芸術 研究	3	わたしの好きなもの 不思議な店	やなぎみわ	”	866		
父、八島太郎の絵を 知りませんか?	マコ・イワ マツ	芸術新潮	589	特集 平成11年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタビュー やなぎみわ		美 術(月 刊)	287		
登録会発足に寄せる 座談会 安井曾太郎 画伯を語る一人と作 品 その一〜三	安井 良子 富山 秀男 瀧原 健三 居原 健七 長谷川 徳七	絵	420~422	特集 超写真術 や なぎみわ アイデン ティティをなくした 恍惚感	編 集 部 ききて	美術手帖	779		
日本美術応援団18 実は、内気なアヴァ ンギャルド 安井曾 太郎	赤瀬川原平 山下 裕二 対談	日経ア ート	125	ひと VOCA賞を受 けた美術家 やなぎ みわさん	大西 若人	朝 日	2.23		
注目集める日動美術 財団の“登録会”「梅 原龍三郎の会」と「安 井曾太郎の会」を新 たに設立	長谷川徳七 談	美 術(月 刊)	281	「スラムダンク」の井 上雄彦が吉川英治原 作を描くマンガ「バ ガボンド」話が優 等生的 原作を壊し て	やなぎみわ 繁 鈴木 構成	”	11.20		
LR artists enquete あなたは、画廊や ギャラリーに何を望 みますか?	安来 明宏	アート・ マガジン (エル・ アール)	16	LR artists enquete あなたにとって「美 術館」とは何です か?	柳沢 暁子	アート・ マガジン (エル・ アール)	12		
家族写真を40年 日 本写真協会賞を受賞 安河内蒸治さん	(鳥)	読 売	6.13	柳沢淑郎展 現代の 優美	村瀬 雅夫	絵	428		
「戦地・東京」レンズ で探訪 町中にひっ そり、消えゆく大戦 の痕跡を記録	安島太佳由	日 経	6.4	柳田昭 風景の中に 込められた“愛惜”	水上 睦男	美 術(月 刊)	283		
モデルは19歳の周恩 来 画家・保田龍門 が描く 日本留学時 下宿を共に		読 売	9.7	柳瀬正夢の「マヴォ」 (その2)—MVから ねじ釘へ—	野崎たみ子	東京都現 代美術館 紀要	4		
特集 超写真術 写 真のことを考えるた めにもっとカメラ について話そう	安彦 裕介 野口 里佳 対談 仙頭 邦枝 十 部 編 集 ン イ ヴ ユー・構 成	美術手帖	779	特集 岡本太郎 太 陽の塔の子供たち	小沢 剛 ヤノベケン ジ対談	ユリイカ	423		
「歴史」をみる眼十選 8 矢田一嘯「元寇 大油絵」	山梨 俊夫	日 経	5.21	ニッポン現場紀行 岡本太郎美術館 ヤ ノベケンジさんで行 く	鈴木 繁 朝	日	2.19		
創造の現場から6 八柳尚樹		美術手帖	766	矢萩喜従郎—ジャ ンルを越え、「動きの 中」から見えてくる 視覚世界	鈴木 紀慶	デザイン の現場	104		
				著者に会いたい 『PASSAGE/バサー ジュ』矢萩喜従郎さ ん	吉村 千彰	朝 日	3.28		
				街路のいたずら 矢 萩喜従郎著『バサー ジュ』		東 京	3.21		
				矢萩喜従郎作品集 「バサージュ」	(前)	読 売	5.9		

素朴の眼十選1～6	矢吹 申彦	日 経	4.20～ 5.4	「版との出会い デ モクラート時代を振 返って」山中嘉一 講演会より	山中 嘉一 安来 正博 構成	和歌山県 立近現代 美術館 ニユース	22
まんがワールド BABYいびつ 思春 期の異物感描く[山 口綾子]	小野山理絵	日経夕刊	11.30	現在美術TOKYO発 2 ショーシャンク の空のように 山中 学	伊東 順二	美術の窓	190
[作品研究]山口勝弘 《ヴィクトリーヌ No. 47(完全分析方 法による風景画)》	松本 透	現代の眼	517	内面のリリシズム 山中現の作品創造を めぐって	田中 清光	版画芸術	105
特集 岡本太郎 一 九五〇年代 岡本太 郎と私	山口 勝弘	ユリイカ	423	山中現 もうひとつ の場所	山中 現 安田・松田 イブ・タ ピュー・構 成	" "	" "
本のアート十選10 山口勝弘「リベ ル・リベール」	中川 素子	日 経	3.17	向う三軒両隣 神奈 川横丁29 山中雪人 聖人像に託す想い	武田 厚	美術の窓	191
学芸ノート 「山口 南草という画家」	岸野 裕人	姫路市立 美術館だ より	61	絵は風景 「雲岡仏」 山中雪人	芥川 喜好	読 売	9.19
「山口先生のこと」	高山 辰雄 松木 理砂 瀬尾 典昭 聞き手 聞き手	山口蓬春 記念館研 究紀要	1	時の贈り物 「言葉」 の力で我が身を立て た	山藤 章二 武居 克明 聞き手	朝日夕刊	4.9
「山口蓬春 新日本 画としての風景画を 目指して」	松木 理砂	" "	" "	ヤクザの組長から画 家に転身してこの秋 で丸10年[山本集]	川瀬 辰男	毎 日	5.13
山口蓬春と戦争画 昭和13年—20年	瀬尾 典昭	" "	" "	第22回安田火災東郷 青児美術館大賞に山 本貞氏!!		美術の窓	188
(蓬春研究ノート)昭 和31年中国渡航につ いて	岡田 修子	" "	" "	土佐美術史外伝24 山本倉丘	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニユース	26
「やまと絵の風景」 [山田蓬春]	井上研一郎	" "	" "	今月のこの作家・こ の作品 山本隆 一 月四日の初詣	編集部・F	美術(月 刊)	280
「山口先生と赤湯」 [山田蓬春]	小関 賢一	" "	" "	安田火災東郷青児 美術館大賞 山本貞氏 の「水辺の光景」に		新美術新 聞	859
「福田平八郎と六潮 会展を見学して」 [山田蓬春]	"	" "	" "	セザンヌ「サントニ ヴィクトワール山と シャトー・ノワール」	山本 貞	東京夕刊	9.17
山口蓬春の日記	豊成 貴紘 岡田 修子	" "	" "	愛玩記 手元に残っ た品々15 芸術家 様々な相貌[山本豊 市]	渥美 國泰	アートの トップ	168
山下充論	宝木 範義	絵	423	まんがワールド 学 校 人間の根源問う 試み[山本直樹]	いしかわ じゅん	日経夕刊	6.29
山下充 生命感あふ れる中間色の美技	瀧 悌三	美術(月 刊)	285	まぼろしの詩集『蜻 蛉集』[山本芳翠]	河盛 好蔵	芸術新潮	593
絵を読む・絵を語る 6 写生について [山田耕雲]	今井 淳	鴨東通信	33	「歴史」をみる眼十選 3 山本芳翠「浦島 図」	山梨 俊夫	日 経	5.12
絵を読む・絵を語る 7 続写生について [山田耕雲]	"	" "	34	LR artists enquete あなたが美術館につ いて感じていること をお書き下さい。	山本 雅枝	アート・ マガジン (エル・ アール)	15
「戦争記録画」守った 画家 焼却命令に抵 抗した山田新一氏、 信念の収集	青木 脩	日 経	8.13	LR artists enquete あなたの「嫌いなも の」について書いて 下さい。	山本 麻矢	"	11
鈴木治《春ノ魚》・山 田光《銀泥 横に延 びるパイプ》—収蔵 作品の紹介	薬科 英也	採蓮 千 葉市美術 館研究紀 要	2				
プロジェクトが立ち 上がったゆえとき一 美術館とアーティスト の試み[山出淳也]	森 千花	東京都現 代美術館 紀要	4				

彩り様々 貝殻で描く絵 海岸で集めた600種 駆使、花や鳥、人物題材に	山本 実 日 経	11.24	旅 心の風景 心の底まで浸透する自然鞍馬山	横尾 忠則	朝日夕刊	3.25
天使と音楽[山本容子]	中沢 新一	アート トップ	168	流れゆく「印象」との対話 横尾忠則	大西 若人	" 4.30
山本容子さんの絵本箱	山本 容子	朝日夕刊	1.18、 2.22、 5.17、 6.21、 7.3、 7.26、 10.25、 11.29	セザンヌ「誘拐」	横尾 忠則	東京夕刊 9.18
妖精の国 山本容子『展覧会の展覧会』		東京	11.7	横尾忠則の雑誌創刊	日 経	1.31
風貌'99 才色進化 山本容子	工藤 憲雄	日経夕刊	3.15	私の貯金箱 死ぬ時はスッカラカンで	横尾 忠則	" 9.12
ひとものがたり 「フランダースの犬」ネルロ少年が夢見た絵	山本 容子	毎 日	9.22	近現代日本の装幀十選8 横尾忠則「絵草紙 うろつき夜太」(柴田鍊三郎著)	菊地 信義	" 11.22
特集 ファッションという創造性 ファッションを変えた3人 山本耀司 新しいエレガンスを探索する視線	清水 早苗 文・構成	美術手帖	771	「夢枕」を出版した横尾忠則さん	毎 日	1.1
山本理顕「埼玉県立大学」あまりにも体系的 巨大な工場のよう	飯島 洋一	読売夕刊	8.9	スケジュールの合間で 美術家横尾忠則さん 宝塚の世界に魅せられ	清水 靖子	" 10.10
資料紹介 山脇信徳 残された原稿から(1)	河村 章代	高知県立美術館研究紀要	1	「私」という迷宮 横尾忠則の世界	長井 好弘	読 売 2.10
(二)				死後の世界、巧みに表現 映画「奇跡の輝き」ロマン派から影響	横尾 忠則	読売夕刊 6.15
まんがワールド ジャジャ馬グルーミン★UP! 軽やかな描写にさえ「ゆうきまさみ」	小野山理絵	日経夕刊	7.13	強烈な磁力 わがピカピカ体験	"	" 9.2
まんがワールド 福家堂本舗 老舗三人娘の恋模様[遊知やよみ]	"	"	2.9	作家訪問270 陶芸家 横地美希重さん	編 集 部	目の眼 272
絵は風景 「ならば人ならば鳥」柚木沙弥郎	芥川 喜好	読 売	4.4	特集2 覗きの美学 他者との対面	横溝 静	美術手帖 768
Being ART Watching64 精神の浄化作用—弓手研平	中野 中	ギャラリー(月刊)	175	少年漫画こだわり10万ページ 横山光輝さん	石田 汗太	読売夕刊 5.18
(三)				LR artists enquete あなたにとって「美術館」とは何ですか?	横山 飛鳥	アート・マガジン(エル・アル) 12
特集 岡本太郎 芸術家とその作品について	横尾 忠則	ユリイカ	423	栖鳳と大観 [横山大観]	田中日佐夫	アート トップ 172
藤原新也の末法眼蔵『涅槃境』[横尾忠則著]	藤原 新也	朝 日	6.27	大観・観山合作の壁画《明暗》の周辺 [横山大観]	児玉 俊子	五浦論叢 6
近い昔の物語 万博アートの人々4 ポリシーがあった横尾[横尾忠則]	針生 一郎	"	9.24	朦朧体とベンガル・ルネサンス —横山大観、菱田春草がオポニンドロナト・タゴールに与えた影響について(一)— [横山大観]	佐藤 志乃	芸 叢 15
				横山大観と菱田春草の渡印後の作品について 菱田春草の《乳糜供養》を中心に	"	筑波大学芸術学研究 3
				美の巨人たち 横山大観 堂々流転(上)(中)(下)	竹田 博志	日 経 11.28、 12.5.12
				アート・トップ現代版画入門 版画は創造する	筆塚 稔 岩切 尚 横山 裕 岡田 貞 岡田 二 小林 まり 敬生	ア ー ト ト ッ プ 168

創造の現場から14 横山豊蘭		美術手帖	775	追悼 吉田克朗 見 ることのひろがり	千葉 成夫	版画芸術	106
新世紀人「演じる 書道」で国内外公演 横山豊蘭さん	(泉)	日 経	6.12	追悼 吉田克朗 右 手の冷たさと左手の 暖かさの間で	"	美術手帖	779
"希求"の新天地[横 山操]	村瀬 雅夫	ア ー ト ト ッ プ	171	吉田初三郎のパノラ マ地図 観光の20世 紀が導いた誇張	(若)	朝日夕刊	5.25
「横山操展」—1 「地獄」をみた画家横 山操	針生 一郎	現代の眼	516	石川寅治、吉田博、 中川八郎の画帖— (琉球)について	永山多喜子	郡山市立 美術館研 究紀要	1
「横山操展」—2 戦 後の表象—横山操再 考	天野 一夫	" "	" "	秘宝拝見2 古代ギリ シヤの女神像[吉 田富士夫]		産経夕刊	2.10
「横山操展」—3 風 雲児横山操の特攻精 神	富山 秀男	" "	" "	朱葉の記—吉田ふじ をの生涯と作品(不 同舎時代を中心に)	山村 仁志	府中市美 術館開設 準備室研 究紀要	3
横山操 絵と人の足 跡 全ての基になる 一本の線を教えてく れた人	中野 嘉之	美術の窓	189	惜別 漆彩色技師 吉原昭夫さん「天 女の天井絵」実らず	片山 正和	朝日夕刊	1.13
横山操 絵と人の足 跡 あかね空	平松 礼二	" "	" "	交遊抄 巨匠の来訪	吉原 英雄	日 経	10.16
横山操 絵と人の足 跡 横山さんと一壺 堂石川図案社	石川 雅也	" "	" "	LR artists enquete あなたは、画廊や ギャラリーに何を望 みますか?	吉本 作次	アート・ マガジン (エル・ アール)	16
横山操 絵と人の足 跡 「展覧会のたびに 帰って来そうな気が します」	横山 基子 談 集 部 編 集 文責	" "	" "	暗と明を描いたゴッ ホ ロサンゼルスの特 別展に寄せて	吉屋 敬	毎日夕刊	2.19
横山操 絵と人の足 跡 頂点まで極めた 人	小泉 智英	" "	" "	名作点描 淀井敏夫 「ローマの公園」緊 張感に満ちた空間	市川 茂	産 経	4.11
「波濤」の裏に幻の絵 横山操の「踏切」発見	三田 晴夫	毎 日	6.26	特集 愛すべき日常 女性日本画家の視線 評価の定まらないも のを描く、その可能 性	米谷 清和 立島 惠	美 術(月 刊)	284
横山光輝原画集 『1999年 横山光輝』		日 経	8.8				
この人「卒寿」を迎 えてなお創作意欲を 燃やす漫画家 横山 隆一さん	(啓)	東 京	5.18			(ラ)	
特集 JAPAN DE- SIGN 次なるリアル 吉岡 徳仁		A X I S	80	対談 様々な世界を とおして	梅原 猛 楽吉左衛門	美術京都	23
吉岡俊直 サイバ ースペースと「版」の感 触	松 山	版画芸術	106	毎日芸術賞 楽吉左 衛門氏「樂茶碗の 四〇〇年伝統と創 造」展の成果	林屋 晴三	毎 日	1.1
LR artists enquete あなたは、画廊や ギャラリーに何を望 みますか?	吉川裕美子	アート・ マガジン (エル・ アール)	16			(ロ)	
絵は風景「刻(こ く)」吉澤照子	芥川 喜好	読 売	10.17	六角鬼丈・監修「東 京芸術大学大学美術 館」重厚と軽妙、 縦横無尽に 一個の 工芸品見るかのよう	飯島 洋一	読売夕刊	11.10
LR artists enquete あなたが美術館につ いて感じていること をお書き下さい。	吉田 暁子	アート・ マガジン (エル・ アール)	15			(ワ)	
追悼 吉田克朗	小清水 漸	あ い だ	45	新・作家への道標53	若江 漢字	ギャ ラリー(月 刊)	168
館蔵品紹介《Cut -off No.2》吉田克 朗	中井 康之	国立国際 美術館月 報	86	新世紀人 写真家 若木信吾さん 祖父 の日常を切り取る	(石)	日 経	4.10

日の出・処分場問題 第9回 初の「一問 一答」審理開催[若林 奮]		新美術新 聞	850	特集 アートになっ た昆虫たち 私に とつての虫 多様性 と揺がりが想像力を かき立てる	渡辺 恭子 編集部 インタビュー ・構成	美術(月 刊)	286
日の出処分場問題で 都収用委員会 トラ スト地に収用裁決 若林奮「庭」に強制収 用の危機		"	876	LR artists enquete あなたは作品を購入 するという事につ いてどう思っていま すか?	c	アート・ マガジン (エル・ アール)	13
緑の森の一角獣 8 夢窓さんの(水の、 ……)庭	吉増 剛造 若林 奮	武蔵野美 術	111	まんがワールド 風 光る 新撰組への思 い熱く[渡辺多恵子]	小野山理絵	日経夕刊	6. 22
道路の遠近を忘れた り一地図その1 ア リゾナの最終(分別 処分場Landfillにて	"	"	112	絵は風景「華清池」 渡辺信喜	芥川 喜好	読 売	7. 18
道路の遠近を忘れた り2 離れよう別れ ようとするとき、宇 宙は「隠された宝具 のように、……」そ の姿を顕はす	"	"	113	技法講座18 渡部満 名画のなかに旅する 幼女《前編》地塗り と描画	松島 励路	美術の窓	194
道路の遠近を忘れた り3 “白雑巾(ジャン ・ジュネ)の教え	"	"	114	渡辺幽香作《幼児図》 と世界コロンブス博 覧会婦人館について	柏木 智雄	横浜美術 館研究紀 要	2
「運動のシンボル が…」日の出町処分 場収用裁決 『あきら めない』トラスト 地内 芸術家らに危 機感[若林奮]	安藤 恭子	東 京	10. 5	特集 平成11年前期 の美術賞とその作品 受賞作家インタ ビュー 藁谷剛巳		美術(月 刊)	287
アートと緑の森とご み処分場と[若林奮]	小泉 晋弥	東京夕刊	7. 14	海 外		(ア)	
LR artists enquete あなたは作品を購入 するという事につ いてどう思っていま すか?	若宮 綾子	アート・ マガジン (エル・ アール)	13	予想超えたアーウイ ンの世界 ミゲティ センター 人類と自 然の「新世紀」提示	樋口正一郎	産 経	1. 24
若本俊雄写真集 『Swan Song』	(ま)	読 売	6. 20	カバーインタビュー ジョナサン・アイヴ		A X I S	79
調査メモ 和田英作 による2つの肖像画	山西 健夫	鹿児島市 立美術館 だより	46	Artist Interview リ タ・アッカーマン	木村 緑 ききて	美術手帖	779
慶應義塾旧図書館ス テンドグラスの図像 成立について[和田 英作]	柳井 康弘	慶応義塾 大学アート・セン ター年報	6	平成十年支部例会等 研究発表要旨 フィ デンツァ大聖堂のアン テラーラ ミーベネ デット・アンテラー ラのクロノロジーと 彼の様式形成をめぐ って一	児嶋 由枝	美術史	146
福富太郎のアート・ キャバレー 2号店19 由一に引かれて金比 羅参り[和田英作]	福富 太郎	芸術新潮	590	(ウ)			
和田英作「欧州日記」 について	泰井 良	静岡県立 美術館紀 要	14	第五十二回全国大会 研究発表要旨 ヴァ ートの「画中彫刻」表 現についての一考 察一 雅宴画に描かれ る裸婦彫刻の成立過 程と諸様相一	杉山奈生子	美術史	147
21世紀住居図鑑23 現代住宅における 「真っ当さ」の表現 [渡辺明]	伊藤 公文	A X I S	78	イタリア至福千年 それは「出藍の誉れ」 だったか[ピエト ロ・ヴァンヌッチ]	池上 英洋	日経アー ト	124
のんびり元気術	赤瀬川原平 南 伸坊 渡辺 和博	朝 日	1. 1				

ローレンス・ウィナー来日制作 英語=日本語による2つの並置作品[ジャクスタポーズ]を見る	市原研太郎	美術手帖	774	オープン作《マネ礼賛》〜イギリスにおけるマネ及び印象派受容の様相〜イギリス	伊藤 一郎	美術史論叢	16
ブライアン・ウィリアムズ 茅葺き屋根のパノラマ	辺見 海	版画芸術	104	コントラストの妙技 空間演出家ジャン・オット	清水久美子	デザインの現場	102
(カ)							
WORLD フランドル絵画の神様、ロヒール・ファン・デル・ウェイデンと知っていますか?	玉重佐知子	芸術新潮	595	クリフトン・カーフー 古都を彩る色と線のハーモニー	編集部	版画芸術	104
頬をつたう涙 ロヒール・ファン・デル・ウェイデンと初期フランドル絵画における感情表現	幸福 輝	国立西洋美術館研究紀要	3	ルイス・カーンのキンベル美術館における創作思想の読解に関する研究	山田 雅美	日本建築学会計画系論文集	524
日本画家アラン・ウエストの挑戦		アートトップ	168	アンドレア・ディ・ラッザーロ・カヴァルカンティ(1412-61/62)に関する基礎的研究	林 羊歯代	鹿島美術研究	16
おぞましき女体・文化 女性によるセクシュアリティの表象をめぐる多元文化論の試み4 ヴェロニカ・ヴェラ 男に母性的マゾヒズムを教育するボルノ・クイーン	越智 和弘	武蔵野美術	114	ジャン・ジグー 旧蔵ガヴァルニの石版画一八九点について	小勝 禮子	栃木県立美術館紀要	13
現在通信from NEW YORK 《熱〜デーヴィッド・ヴォイナローヴィッチのアート》	富井 玲子	新美術新聞	854	特集 モダニズムのかたち 合理から機能の地平へ チェーザレ・カッターネオの作品をめぐる	鶴沢 隆	武蔵野美術	111
世紀末のヌード20 J.W.ウォーターハウス	中山 公男	日経アート	125	画家ガッレン=カッレラとフィンランド美術のジャポニスム—1890年代の北欧のナショナル・ロマンティシズムをめぐる	荒屋鋪 透	ジャポニスム研究	19
芸術をめぐる言葉74 僕は機械みたいになりたい ウォーホル	谷川 渥	美術手帖	768	彫刻の内・外—カノーヴァ《ハベ》をめぐる—	金井 直美	美学	196
カナダにおける前衛の骨抜き状態から脱するために	ウディチコ・クシュシトフ 高島 平吾 訳	あいだ	44	STARDUST イリヤ・カバコフの落ちてきた空		芸術新潮	593
ウディチコ論文のための断片的・注釈的解説	高島 平吾	あいだ	44	イリヤ・カバコフの多層な物語 ニューヨークのカバコフを訪ねる	鴻 英良 インタビュー	美術手帖	775
作家点描 デスピオとウレリック	(N)	日彫会報	43	イリヤ・カバコフの多層な物語 空間のドラマトウルギー	鴻 英良	" "	" "
(エ)							
第3回ベネッセ賞 オラファー・エリアソン氏		新美術新聞	867	イリヤ・カバコフの多層な物語 作家は作品を二度みる	イリヤ・カバコフ 鴻 英良 訳	" "	" "
マックス・エルンストからの三通の書簡—パウル・クレールとダダ(2)—	宮下 誠	国学院雑誌	1101	Artist Interview アニッシュ・カプーア	編集部 インタビュー 島田 淳子 通訳	" "	773
(オ)							
作家訪問267 日本画家 王昭さん	編集部	目の眼	269	第五十二回全国大会研究発表要旨 犠牲の血—カラヴァッジオ「洗礼者ヨハネの斬首」の図像解釈	宮下規久朗	美術史	147



札幌の彫刻的庭園空間 ダニ・カラヴァン「隠された庭への道」+イサム・ノグチ「モエレ沼公園」記憶の装置	酒井 忠康	美術手帖	777	クリストにおける「プロジェクト」の形成	長谷 明美	芸術学	2
札幌の彫刻的庭園空間 ダニ・カラヴァン「隠された庭への道」+イサム・ノグチ「モエレ沼公園」《隠された庭への道》への道	吉崎 元章	" "	" "	スイスの木立を美しく包んだクリストとジャンヌ＝クロードの新プロジェクト「Wrapped Tree」	高石 由美	美術手帖	768
ソフィ・カルの近作について	近藤 幸夫	ARTLET	12	クリムトとニーチェ	西田 兼	芸術論究	26
おぞましき女体・文化 女性によるセクシュアリティの表象をめぐる多元文化論の試み3 クレア・ガルート レズビアンマゾヒズムのもつ新たな可能性	越智 和弘	武蔵野美術	112	テロリストと小説家、アーティストの相互関係とは？TV時代の今世紀を振り返る、ヨハン・グリモンブレ《Dial H-I-S-T-O-R-Y》		美術手帖	773
「決定的瞬間」という言説—戦後日本社会におけるカルティエ＝ブレッソンの受容を巡って—	殿内 真帆	芸 叢	15	独自のデザイン哲学を持つKIDIの新星 スコット・クリンカー	金田小夜子 田村和子 通訳	デザインの現場	103
カンディンスキーの作品におけるキュビズムの造形的関与	真野 宏子	鹿島美術研究	16	マックス・クリンガーの《天幕》について	奥野 克仁	高知県立美術館研究紀要	1
館蔵品紹介 ヴァシリイ・カンディンスキー《絵の中の絵》	中西 博之	国立国際美術館月報	78	パウル・クレア《蛾の踊り》	寺門臨太郎	愛知県美術館研究紀要	5
カンディンスキーとロベール・ドローネーに関する一考察	真野 宏子	美術史研究	37	クレアの作品に見られるグロッシの影響	卞 眞恵	鹿島美術研究	16
(キ)				マックス・エルンストからの三通の書簡—パウル・クレアとダダ(2)—	宮下 誠	国学院雑誌	1101
New York Report IV 97 キーファー展	河西 貴子	絵	423	絵画の導きとしてのエネルギー—クレアとゲーテ—再考	前田富士男	思想	906
神話へと広がる寓意 高松宮殿下記念世界文化賞絵画部門受賞 アンゼルク・キーファー氏の業績	多木 浩二	産 経	10. 17	パウル・クレアとシュルレアリスム—「シュルレアリスム革命」誌第三号に見るイメージ戦略—	宮下 誠	デアルテ	15
80's ロンドン・デザインの現在 ネヴィル・プロディ、マルコム・ギャレット、ピーター・サヴィル	三宅由希子	デザインの現場	102	自己批判する絵画—パウル・クレアの方形画—	近藤 正樹	美学	197
Mへの手紙—バリ、ウィーン(十) [キルヒナー]	佃 堅輔	絵	422	第50回美学会全国大会発表要旨 パウル・クレアの色彩について—矩形色彩画を中心に—	辻 智美	" "	199
(ク)				媒介をめぐる試論—連想の場としてのクレアの Zwischenreichn—	後藤 文子	MUSE-UM	562
スティーヴン・クライン イメージメーカーのリッチな疎外感	菅付 雅信	デザインの現場	103	エル・グレコ作《ラオコーン》再考	松原 典子	鹿島美術研究	16
まぶたの日本 屏風絵に 大戦で検挙・帰国の米人画家、“望郷”半世紀	ロバート・クラウダー	日 経	2. 8	エル・グレコのイタリア滞在(1)—ズッカロ兄弟と関係について	越川 倫明	美術史論叢	16
				[事例報告] マドリード、サン・ヒネース 聖堂所蔵エル・グレコ作『神殿の浄め』洗浄過程における署名の再発見	土屋 裕子 アントニオ・サーチェス パリーガ 歌田 眞介	文化財保存修復学会誌	43

	(ケ)				巻頭特集・ゴッホは死んだのか!? ゴッホが肖像画に夢見たもの	篠原 弘	" "	
資料公開 マティアス・ゲールング『黙示録注解』木版画連作	佐川美智子	町田市立国際版画美術館紀要	3		資料公開『S. M. S (エス・エム・エス)』全6巻[ウィリアム・コプリ]	高木 幸枝	町田市立国際版画美術館紀要	3
ダニエル・ケリーー感性は文化を超える	岡部 万穂	版画芸術	104		パリ便り ゴヤ回顧展	孝子・トビー	絵	421
	(コ)				フランシスコ・デ・ゴヤ作 版画集《戦争の惨禍》に関する一考察—アレゴリーの生成と変容	横山由紀子	美術史論叢	16
第五十二回全国大会研究発表要旨 ポール・ゴーガン《我々はどこから来たのか、我々とは何か、我々はどこへ行くのか》の制作過程と構図に関する一考察	高久 馨	美術史	147		ピエトロ・ダ・コルトーナのピッティ宮改修計画案	金山 弘昌	芸術学	2
ダグラス・ゴードンの仕事に関する覚書 拘禁と解放のあいだにある何か、あるいは照射し合う(真実)	川出 絵里	武蔵野美術	111		ピエトロ・ダ・コルトーナ展とドメニキーノ展—一年間のローマ滞在を振り返って—	浦上 雅司	デアアルテ	15
特集 近未来モビリティ考 レム・コールハースの地下トラムトンネル		A X I S	79		イギリス・ロマン派の詩と絵画における自然—ブレイク、ワーズワス、ターナーとコンスタブル—	岩崎豊太郎	人文研究	136
ART NEWS NYアート界の危険人物 ジョー・コールマン	北小路隆志	芸術新潮	591					
ジョセフ・コスースとアド・ラインハート—一九六〇年代後期におけるコンセプチュアル・アートと絵画に関する一考察	水沼 啓和	採蓮 千葉市美術館研究紀要	2		80's ロンドン・デザイン・現在のネヴィル・ブロンディ、マルコム・ギャレット、ピーター・サヴィル	三宅由希子	デザインの現場	102
美術市レーダー100 ナチス掠奪品問題ついに日本に波及	瀬木 慎一	新美術新聞	872		館蔵品紹介 オシップ・ザッキン《ボモナ》	中西 博之	国立国際美術館月報	82
ファン・ゴッホとモンティセリ	並川 汎	清 春	29		サビエー新しいメッセージ絵画	中岡 吉典 談 編集部 編 集 部 文 責	美術の窓	189
WORLD パリ発、ゴッホの主治医、《ガシェ医師》はほんものか?	永島 章雄	芸術新潮	592		ニキ美術館を訪れたニキ・ド・サンファル	桜井ただひさ	美術手帖	766
特集1 3つのエピソード あのデッサンが贋作? 話題の著書『ゴッホの遺言』をめぐるエピソード ひろしま美術館	古谷 可由 ゲスト	ドーム	47					
巻頭特集・ゴッホは死んだのか!? ゴッホに寄せて4 ゴッホはカッコいいか	森村 泰昌	美術の窓	195		平成十年支部例会等研究発表要旨 エーゴン・シーレの『抱擁』についての一考察	嶋田 宏司	美術史	146
巻頭特集・ゴッホは死んだのか!? 北帰行	粟津 則雄	" "	" "		第五十二回全国大会研究発表要旨 フランソワ・ジェラル作《プシュケとアモール》(ルーヴル美術館蔵)について—その文学的着想源とプシュケのうつろな眼差しの意味—	安室可奈子	" "	147
巻頭特集・ゴッホは死んだのか!? 憂いを帯びた太陽—サン・レミのゴッホの魅力—	小林 英樹	" "	" "					

『(かたち)の領分』展 シンポジウム後編 器物が芸術になると き	北澤 憲昭 小池 頌子 清水 漸 重松あゆみ 沈文燮 樋田豊次郎 司會	アート・ マガジン (エル・ アール)	14	ジョエル・スチュ ワート ぼかしの奥 に見えるもの	岡部 万穂	版画芸術	104
映画「オフィス・キ ラー」が公開される シンディ・シャーマ ンにインタビュー	河内 タカ イ タ ン ヴュー	美術手帖	774	エル・グレコのイタ リア滞在(1)―ズッ カロ兄弟と関係につ いて	越川 倫明	美術史論 叢	16
第77回例会発表要旨 建築と絵画の対話 ピュヴィス・ド・シャ ヴァンヌの装飾壁画 家としての出発とそ の周辺	海老澤千春	日仏美術 学会会報	18	Artist Interview ベ アート・ストロイリ	中村 早苗 通訳・翻訳	美術手帖	773
世紀末のヌード19 ピュヴィス・ド・ シャヴァンヌ	中山 公男	日経アー ト	124	特集 フォト・ディ レクション デ ビー・スミス	川上 典子	デザイン の現場	103
第五十二回全国大会 研究発表要旨 近代 日本洋画における ピュヴィス・ド・ シャヴァンヌの受容 について―黒田清輝 の壁画制作を中心 に―	杉山 章子	美術史	147	(七)			
ドナルド・ジャッド 1960―1991記念講演 会抄録「ドナルド・ ジャッドの作品の諸 相」	マリアナ・ ストックブ ラント 小寺 由美 通訳 尾崎佐智子 文責	フランシ ンゴ	60	文学と美術のあいだ (二十九)～(三十四) ゾラの『作品』はセザ ンヌを怒らせたか (十二)～(十七)	新関 公子	絵	419～424
LR artists enquete あなたにとって「美 術館」とは何です か?	トーマス・ シャノン	アート・ マガジン (エル・ アール)	12	セザンヌ 画家のメ チエ	前田 英樹	現代思想	27―5、 27―7、 27―10
特集 最新東京アー ト&カルチュア完全 ガイド アーティス トがよく行く街 ク リストフ・シャルル +ボル・マローのす ずめるミュージッ ク・ショップ		美術手帖	774	セザンヌの手紙を/ から読み直す(前 編)―特別研究「モダ ニズム美術とその公 衆」の小さき果実	上田 高弘	東北芸術 工科大学 紀要	6
館蔵品紹介 ジャス パー・ジョーンズ 《旗》	小林 昌夫	国立国際 美術館月 報	77	特集=新セザンヌ解 剖学 アーティスト が見たセザンヌ	杉戸 洋 佐藤 敷 福田 美蘭 辰野登恵子	美術手帖	777
ジャスパール・ジョ ーンズとアメリカの詩	村山 康男	多摩美術 大学研究 紀要	13	特集=新セザンヌ解 剖学 セザンヌと ジャポニスム	新関 公子	" "	" "
機械と身体―ゲー オルク・ショルツの 新即物主義的懐疑	大原まゆみ	芸術学研 究	9	特集=新セザンヌ解 剖学 日本における セザンヌの受容史	永井 隆則	" "	" "
ルドルフ・シンド ラーの住宅建築に みる空間構成の類 型とその移行	末包 伸吾	日本建築 学会計画 系論文集	518	特集=新セザンヌ解 剖学 セザンヌinア メリカ	川田都樹子	" "	" "
(ス)				特集=新セザンヌ解 剖学 セザンヌと男 性水浴図	島田 紀夫	" "	" "
カバーインタビュー フィリップ・スタ ルク		A X I S	77	特集=新セザンヌ解 剖学 時代の子セザ ンヌ	堀 浩哉	" "	" "
				特集=新セザンヌ解 剖学 感覚のパニッ ク状態	松浦 寿夫	" "	" "
				特集=新セザンヌ解 剖学 造形から無意 識へ―セザンヌ論 の系譜	浅野 春男	" "	" "
				芸術をめぐる言葉81 セザンヌにとって総 合とは、絶えず接近 しようと努めても完 全に到達することが 不可能な漸近線であ り、完全な実現が望 み獲ない一つのリア リティであった。― R・フライ	谷川 渥	" "	" "

セザンヌをめぐる十二 章7〜12	林 道郎	百科(月刊)	435〜440	Frederic Edwin Church's The Heart of The Andes : An American Perception of South America	瀧井 直子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	44
ゴットフリート・ゼ ンパーの第1ドレス デン宮廷劇場につい て ゴットフリート ・ゼンパーの劇場 建築における建築手 法 その1	河田 智成	日本建築 学会計画 系論文集	523				
(夕)							
イギリス・ロマン派 の詩と絵画における 自然—ブレイク、 ワーズワス、ター ナーとコンスタブル—	岩崎豊太郎	人文研究	136	現在通信from NEW YORK グローバル とアジアの価値(蔡 國強)	富井 玲子	新美術新 聞	868
New York ReportIV 98 ジム・ダイン展	河西 貴子	絵	424	特集 蔡國強 龍、 奔る 全時空的旅程 総覧	鷹見 明彦	美術手帖	768
スター・ウォーズ最 新作の世界観を具現 化した、コンセプト デザイン監督ダグ・ チャンインタビュ		A X I S	79	特集 蔡國強 Chronology & Selec- ted List of Exhibi- tion		美術手帖	768
朦朧体とベンガル・ ルネサンス —横山 大観、菱田春草がオ ポニンドロナト・タ ゴールに与えた影響 について(一)—	佐藤 志乃	芸 叢	15	特集1 第48回ヴェ ネツィア・ビエン ナーレ詳報 蔡國強		"	775
ダリ 美術史的引用 の図像学	新関 公子	美術手帖	773	WORLD CULTURE MAP ロシア 誰も 自分の顔を知らない オレグ・ツェルコフ	鈴木 正美	ユリイカ	413
美術館事件簿19 [ジェームズ・タレ ル]	勅使河原純	ア ー ト ト ッ プ	169	Mへの手紙—バリ (九)[ティエポロ]	佃 堅輔	絵	421
特集 安藤忠雄 美 術を活性化する場合 づくりとは 直島・家 プロジェクトと「南 寺」[ジェームズ・タ レル]	秋元 雄史	美術手帖	773	第五十二回全国大会 研究発表要旨 ア キッレスとプリセイ ス：ヴィッラ・ヴァ ルマラーナのティエ ポロー「ホメロスの 間」の詩的源泉—	高梨 光正	美術史	147
特集 ベルリン ラ スト・ユートピア 第1回ベルリン・ピ エンナーレ アー ティスト・コメント ウイベケ・タンベル グ	嘉藤 笑子 中村 早苗	"	767	特集 ベルリン ラ スト・ユートピア 第1回ベルリン・ピ エンナーレ アー ティスト・コメント リクリット・ティラ ヴァニヤ	嘉藤 笑子 中村 早苗	美術手帖	767
(チ)							
展覧会出品作品紹介 崔正化《ファニー・ ゲーム》	小林 昌夫	国立国際 美術館月 報	79	ヴォルフガング・ ティルマンズへの14 の質問	樹村 緑	"	771
WORLD CULTURE MAP ロシア民衆 のための「ソ連文化」 V&N・チェルカー シ	鈴木 正美	ユリイカ	425	作家点描 デスピオ とウレリック	(N)	日彫会報	43
日韓現代美術交流の 現状と今後	車 季南	国立国際 美術館月 報	79	デューラーの「絵画 論」(10) 建築の比 例、透視図法の草稿 の試訳	下村 耕史	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	30
				デューラーの《犀》 写実とエンブレムの あいだ	佐藤 直樹	国立西洋 美術館研 究紀要	3
				アルブレヒト・ デューラー作《パ ニャカヴァッコの聖 母》に関する一考察	平川 佳世	美術史	146

アルブレヒト・デューラー作『ローゼンクランツ祝祭図』の成立について 山中 淑江 文化史学 55

デュシャンとその蝶番 北山 研二 ヨーロッパ文化研究 18

カバーインタビュー アート・デュリンスキー A X I S 82

(ト)

茨城県近代美術館所蔵ドーミエのリトグラフ《アクチュアリテ》の作品解題(前編) 山口 和子 茨城県近代美術館研究紀要 6

Auguste-marie Boulard:ami et collectionneur d'Honore-Victorin Daumier Dominique LOBSTEIN 日仏美術学会会報 18

逆立ちしたドーミエの風刺画 喜安 朗 歴史と地理 529

世紀末のヌード18 ヤン・トーロップ 中山 公男 日経アート 123

研究ノート アンチープの砦—ニコラ・ド・スタールについて— 大森 翠 URYU:京都芸術短期大学紀要 21

New York Report IV 95 ドツツ・ドッシ展 河西 貴子 絵 421

カバーインタビュー ジョン・ワーウィック&スティーブ・ベイカー(トマト) A X I S 81

ピエトロ・ダ・コルトーナ展とドメニコ・ノ展—一年間のローマ滞在を振り返って— 浦上 雅司 デアルテ 15

論稿『国民的建築を求めて』にみるリュイス・ドメネクの建築理念 建築家リュイス・ドメネク・イ・モンタネル研究1 中渡 憲彦 日本建築学会計画系論文集 519

第50回美学会全国大会発表要旨 モリスとド・モーガンのタイトル—そのデザインと受容をめぐって— 吉村 典子 美学 199

カンディンスキーとロベール・ドローネーに関する一考察 真野 宏子 美術史研究 37

(ナ)

『マリオット・ディ・ナルド作《同信会祭壇画》』についての補遺 マーヴィン・アイゼンバーグ 国立西洋美術館研究紀要 3

(二)

クリスタルの魂 「エンプティ・ガールズ」展のカールス・テン・ニコライ 佐々木 敦 美術手帖 777

(ネ)

白日会が75回展を記念してオッド・ネルドールの新作6展を特別陳列 伊藤 清永 新美術新聞 858

(ノ)

リチャード・ノイトラの住宅作品における空間構成材とモデュールに夜空間構成法 末包 伸吾 日本建築学会計画系論文集 521

イサム・ノグチと恋と壁画と 上野 清士 芸術新潮 598

札幌の彫刻的庭園空間「ダニ・カラヴァン」[隠された庭への道]+イサム・ノグチ「モエレ沼公園」記憶の装置 酒井 忠康 美術手帖 777

札幌の彫刻的庭園空間「ダニ・カラヴァン」[隠された庭への道]+イサム・ノグチ「モエレ沼公園」イサムが残してくれたもの 川村 純一 " "

イサム・ノグチの美術館誕生 石に命吹き込む創造の磁場 稲垣 直子 日 経 5.16

(ハ)

バーン=ジョーンズ:画家としての出発 白石 和也 九州産業大学芸術学部研究報告 30

レーザーで甘美な宗教世界を 京都賞受賞のナム・ジュン・パイク氏 三田 晴夫 毎日夕刊 1.4

おぞましき女体・文化 女性によるセクシュアリティの表象をめぐる多元文化論の試み2 クリスタ・バインシュタイン 原始母権制と供犠への憧憬 越智 和弘 武蔵野美術 111

館藏品紹介 ミロスワフ・パウカ《\$ 51 × 4、85 × 43 × 49》 加須屋明子 国立国際美術館月報 81

二日間 ミロスワフ・パウカ 加須屋明子 訳 " 84

研究ノート バッサーノの兎(完結篇)	石崎 勝基	ひる・ういんど	65	パリ便り ピカソ1901—1909	孝子・トビー	絵	420
カバーインタビュー リチャード・ハッテン		A X I S	78	New York Report IV 96 「ピカソと戦争画」展	河西 貴子	絵	422
特集 現代美術の素材と技法 作品に取り込まれないためにフィニッシュにこだわる シヴォーン・ハバスカ	ジェイムズ・ロバートツ	ききて川出 絵里	美術手帖 769	ピカソと北斎	ブリジット・ペアー	清 春	29
もう一つの歴史をつくる女性アーティスト「バプタワン・スワンナクト」	フローデット・メイ・ダトウイン	アジアセンター ニュース	13	ボクのアート・リーディング22 今号は、ピカソの徹底的にブルーな、「背面2人女」との出会い旅編だ	山本 育夫	ドーム	47
特集1 第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ詳報 アン・ハミルトン		美術手帖	775	版画研究最前線11 エピナール版画を描いていた帰国後のピゴ	及川 茂	版画芸術	104
リチャード・ハミルトン ニュー・テクノロジーの有効性	リチャード・ハミルトン	版画芸術	106	Artist Interview 2 ミケランジェロ・ピストレット	拝土 雅彦 イヴン・タウ ヴェュー・構成	美術手帖	767
バルテュス モルヴァンのアトリエ：一九五三—一九六一	桐島 敬子	絵	427	ビュッフェ氏自殺 独自画風、日本でも人気	山口 昌子	毎日夕刊	10.5
バルテュスとフランスの伝統—一九三四年のピエール画廊における展覧会をめぐって—	竹口 浩司	フィロカリア	16	ビュッフェ氏が自殺 71歳、病気苦に		"	10.9
L'anti — platonismo nel Cinquesento. Una precisazione iconografica della diogene disegnata da Parmigianino.	K a o r u ADACHI	美術史学	20	(フ)			
フェデリコ・パロッチの伝記資料(下) — ベッローリの『近代美術家列記』より —	甲斐 教行	五浦論叢	6	ユリアン・ファワトによる1885年の中国・日本訪問	イエジ・マリノフスキ	美術史論叢	16
フェデリコ・パロッチ作《マドンナ・デル・ポポロ》の図像解釈—カブチーノ会士マッティア・ダ・サローの著作に基づいて—	甲斐 教行	美術史	146	ランブル兄弟からヤン・ファン・エイクへ	栗山 守正	美学芸術学	14
(ヒ)				ミース・ファン・デル・ローエのフリードリヒ街オフィスビル案の平面における幾何学的方法について	佐野 潤一	日本建築学会計画系論文集	518
オーブリー・ピアズリー研究の一考察—文芸誌『サヴォイ』を中心に—	日賀野友子	武蔵野美術大学研究紀要	29	フーケ作《聖ミカエル騎士団規約扉絵》の制作(1470年)前後期	篠原田鶴子	群馬県立女子大学紀要	20
Artist Interview ヴァネッサ・ピークロフト		美術手帖	771	アルゼンチン時代のルーチョ・フォンターナ 『白の宣言』成立の背景を追う上	峯村 敏明	多摩美術大学研究紀要	13
第五十二回全国大会研究発表要旨 ピエロ・デッラ・フランチェスカの壁画技法と遠近法	瀬分 緑	美術史	147	川口直宜の絵画巡覧 21 21世紀を展望する画家たち—マコト・フジムラ—思想を絵画化し得た希有な才能	川口 直宜	ギャラリー(月刊)	170
詩+絵12 この渡り歩きの者たちは[パブロ・ピカソ]	佃 堅輔	アートジャーナル	19	ニコラ・プッサン作《サテュロスに跨がるニンフ》(カッセル州立絵画館蔵)について	新畑 泰秀	鹿島美術研究	16
				プッサンとラファエッロー借用と創造の秘密	栗田 秀法	版画芸術	103

Auguste-marie Boulard:ami et colle- ctionneur d'Honore- Victorin Daumier	Dominique LOBSTEIN	日仏美術 学会会報	18	(木)			
フラゴナールの絵画 における愛の世界	野口 榮子	芸術文化 研究	3	新・作家への道標58	ホアン・ヨ ン・ピン	ギャラ リー(月 刊)	173
国立西洋美術館寄託 フランク・ブラン グイン版画104点の 来歴について	佐藤みちこ	国立西洋 美術館研 究紀要	3	ヨーゼフ・ボイス研 究—(私はウィーク エンドなんて知らない) 〔前編〕	山本 和弘	栃木県立 美術館紀 要	13
C.D.フリードリヒの 1820年前後における 様式転換について— C.G.カールスの風景 画論を手がかりとし て—	江川 均	鹿島美術 研究	16	第50回美学会全国大 会発表要旨 ヨーゼ フ・ボイスとアレゴ リー	小用 隆史	美 学	199
イギリス・ロマン派 の詩と絵画における 自然—ブレイク、 ワーズワス、ター ナーとコンスタブル—	岩崎豊太郎	人文研究	136	WORLD CULTURE MAP フランス 沼のほとりである いはポーデュアンの 『存在物は自然を 脱—設置する』につ いて	椎名 亮輔	ユリイカ	423
サラ・ブレイヤー 和 紙がつくる空気	辺見 海	版画芸術	104	納屋で着替える旅回 りの女役者たち 〔ウィリアム・ホ ガース〕	ゲオルク・ クリスト フ・リヒテ ンベルク 佐々木 滋 訳	明星大学 研究紀要	7
80'sロンドン・デザ インの現在 ネヴィ ル・プロディ、マル コム・ギャレット、 ピーター・サヴィル	三宅由希子	デザインの 現場	102	審美逍遙59~69 ヒ エロニムス・ボス	栗津 則雄	美術の窓	185~195
エルトマン・フンメ ル作「素描芸術の発 見」—ベルリン画壇 での遠近法の役割を めぐる—考察—	尾関 幸	美術史	146	イタリア至福千年 サンティニャツィオ 教会(ローマ)ある天 井画ができるまで 〔アンドレア・ポッ ツォ〕	池上 英洋	日経アー ト	123
		(へ)					
特集 感覚の論理 絵画と感覚〔フラン シス・ペーコン〕	ジル・ドゥ ルーズ 山 縣 熙 訳	現代思想	27—10	ブルーストとポッ ティチェッリ—何故 ポッティチェッリの チッポラか	青柳 りき	金沢美術 工芸大学 紀要	43
特集 感覚の論理 感覚と個体〔フラン シス・ペーコン〕	前田 英樹	" "	" "	聖性と写実—ボナの 《キリスト》と階級的 イメージ—	喜多崎 親	美 学	197
フランス・ペーコン の映画「愛の悪魔」 監督ジョン・メイブ ライにインタビュー	北小路隆志	美術手帖	768	「ヨーロッパからの 八人」展出品作、ジ グマール・ボルケ 《ホワイト・ルーム》 をめぐって	群馬県立近 代美術館学 芸課	アート・ マガジン 〈エル・ アール〉	11
ウィーン工房とアー ル・デコ—D. ペッ へのデザイン—	濱野 節朗	京都工芸 繊維大学 工芸学部 研究報告 人文	47	ジェニー・ホル ツァーにおける文字 (1)	穂積 利明	紀 要 Hokkaido Art Museum Studies	1998—99
フィデンツァ大聖堂 のアンテラーミ	児嶋 由枝	美術史	147	傷ついた美術史 〈時代〉と闘うアート 1〔ジャクソン・ボ ロック〕	小泉 晋弥	ア ー ト ト ッ プ	170
パリ便り キース・ ヘリング メイド・ イン・フランス展	孝 子・ト ビー	絵	428	New York ReportIV 93 ジャクソン・ ボロック回顧展	河西 貴子	絵	419
特集 〈自然〉論の現 在—いかにドミニ ク・ペローは「数々 の自然」を創造した か	五十嵐太郎	武蔵野美 術	112	新美術時評 人間が 神から独立すること の代償〔ジャクソ ン・ボロック〕	清水 敏男	新美術新 聞	853

ジャクソン・ポロック展(MOMA)の印象	石垣 定哉	新美術新聞	853	マン・レイにおける女性の眼の表現と「不気味なもの」	田中 正之	美学	199
特集 現代美術の素材と技法	レイチエル・ホワイトリード	美術手帖	769	驚くべきマン・レイと知られざるマン・レイ	真武真喜子	美術の森	94
特集 ベルリン ラスト・ユートピア 第1回ベルリン・ピエンナーレ アーティスト・コメント モニカ・ボンヴィチーニ特集	嘉藤 笑苗 中村 早苗	"	767	(ミ)	ジ ヨ ル ジ ヨ ス ビ ッ 【翻訳】ミケランジェロと政治(三)	森田 義之 松本 典昭	五浦論叢 6
(マ)							
マイク・ミン 生きるスピードと描くこととをイコールで結ぶ、強い線	仙頭 邦枝	デザインの現場	101	平成十年支部例会等研究発表要旨 ミケランジェロ作『サン・ピエトロ聖堂のピエタ』の画像学—幼児のように小さいキリストを伴う晩課像との関連を中心に—	嶋谷 昭彦	美術史	146
紙という素材を追求するユーモアの仕掛け人 イング・マウラー	インゴ・マウラー	A X I S	78	西洋版画コレクショ	森岡部 恭子 松山 山 イビユ ン ピユ ン ビユ ン 成	版画芸術	105
マグリットとヴァラエティー音楽	山口 昌男	あいだ	43	スターの華・ミューシャを追いかける	村井 則子 イビユ ン タ		
芸術をめぐる言葉75 これはパイプではない マグリット	谷川 渥	美術手帖	769	リサ・ミルロイ あふりふれた光景に、ふと立ち止まって見入る瞬間	イビユ ン タ ウ ヴ ユ ン 編 集 部 成	美術手帖	766
東京じゅうに描き込みしていったうわさのアーティスト「TWIST」の正体[バリー・マッギー]		美術手帖	774	(ム)			
オーペン作《マネ礼賛》～イギリスにおけるマネ及び印象派受容の様相～イギリス	伊藤 一郎	美術史論叢	16	ボクのアート・リーディング20 ムンクの「背面絵画」を考察するのだ	山本 育夫	ドーム	45
現在通信from NEW YORK 《マネ作品 シングル・ローン展観》	富井 玲子	新美術新聞	869	画家にして版画家 エドワルド・ムンク	黒崎 彰	視る	379
シモーネ・マルティエーニの工房とその周辺	松原 知生	美術史	146	(モ)			
第五十二回全国大会 研究発表要旨 政府 装飾画としてのシモーネ・マルティエーニ作《マエスタ》	出 佳奈子	"	147	パリ便り モネ“睡蓮”連作展	孝子・ト ビー	絵	426
特集 最新東京アート&カルチャー完全ガイド アーティストがよく行く街 クリストフ・シャルル+ボル・マローのすすめるミュージック・ショップ		美術手帖	774	グレヴィ政権下のサロン—モネそして五姓田義松の場合—	吉川 節子	鹿島美術研究	16
マン・レイの写真	小久保 彰	九州産業大学芸術学部研究報告	30	第50回美学会全国大会発表要旨 構成主義と光の造形[モホイ=ナジ]	谷本 尚子	美学	199
				生活の美の再生を求めて—ウィリアム・モリスにおける芸術と社会	三浦 永光	津田塾大学紀要	31
				第50回美学会全国大会発表要旨 モリスとド・モーガンのスタイル—そのデザインと受容をめぐる—	吉村 典子	美学	199



ウィリアム・モリスとMEDIEVALISM 木村 竜太 文化史学 55  
 パリ便り ギュスターヴ・モロー回顧展 孝子・トビー 絵 419  
 モンドリアンの抽象絵画の変貌をめぐる一試論—理論と制作との関連から— 福士 理 美術史 147

(ヤ行)

WORLD CULTURE MAP フィンランド トーベ・ヤンソンの(ハル) 孤独な人びとの島 富原 眞弓 ユリイカ 424  
 ブルース&ノーマン・ヨネモト スクリーンの裏に隠された世界 市原研太郎 美術手帖 775

(ラ)

落水荘 ライトが浮世絵の中に見たもう一つの視点 鈴木 紀慶 デザインの現場 102  
 ジョセフ・コースとアド・ラインハート 一九六〇年代後期におけるコンセプトチュアル・アートと絵画に関する一考察 水沼 啓和 採蓮 千葉市美術館研究紀要 2  
 プッサンとラファエッロ—借用と創造の秘密 栗田 秀法 版画芸術 103  
 素材を愛し、現代を体現するデザイナー ロス・ラブ グローブ A X I S 77  
 ランブル兄弟からヤン・ファン・エイクへ 栗山 守正 美学芸術学 14

(リ)

現代美術と日常 境界消失危ぶむ 表現の力を失う恐れ 李 禹煥 日 経 2.13  
 アートと渾然一体となった香港デザイン シーン トミー・リーと彼を取り巻く5名のクリエイターたち 大谷 治 A X I S 81  
 柳宗悦に火を灯された人々53〜56 [バーナード・リーチ] 近藤 京嗣 陶 説 554〜556, 558  
 没後20年バーナード・リーチを辿る 和と洋の融合リーチの軌跡を追う 木村理恵子 目の眼 269  
 没後20年バーナード・リーチを辿る リーチの語った「ゼロ」 図師 礼三 " "

リーバーマンを偲ぶ 現代文明批判を宿す 巨大彫刻 渋谷 和彦 産 経 11.28

館蔵品紹介 ロイ・リキテンスタイン《日本の橋のある睡蓮》 尾野 正晴 国立国際美術館月報 76

第2回[武蔵野美術] 評論賞/受賞論文 ナラティブな空間をめぐって 「Beirut」から「Every One」まで[ソフィー・リス テルーベ] 高間麻衣子 武蔵野美術 112

ピピロッティ・リスト 両手いっぱい の願ひ事を 村井 則子 美術手帖 774

(ル)

なぜルオーに惹かれるか—素人玄人(二)— 鈴木 治雄 清 春 29  
 小川 国夫

ある「ル・カイン病」患者の手記 渋谷 稔 芸術新潮 599

建築的製作における場所の想起の問題 ル・コルビュジエのEglise Saint Pierreの構想過程を通して 千代章一郎 日本建築学会計画系論文集 519

ル・コルビュジエのChapelle de Ronchampの製作における原型と「音響的形態」 " " "

建築的製作における敷地の問題 ロンシャンの丘を巡るル・コルビュジエの制作を通して " " 522

ピエール・ルシュール展に寄せて 豊かな伝統から生まれた確かさ 中村 隆夫 絵 422

(レ)

ドクター・シノダの人物画診断2 モナ・リザの高脂血症 [レオナルド・ダ・ヴィンチ] 篠田 達明 芸術新潮 597

レオナルドと西欧騎馬像の展開(二) 三神 弘彦 芸 叢 15

レオナルドの《最後の晩餐》—作品の来歴 片桐 頼継 実践女子大学美術史学 14

レオナルド・ダ・ヴィンチと中国の影響—『モナ・リザ』の風景と山水画について— 田中 英道 美術史学 20

レオナルドと言語遊戯 久保 尋二 百科(月刊) 436

平成11年定期刊行物所載文献(近/作・海レ、口)

レンブラントの銅版画《寺院のシメオン》(B. 49)をめぐって	光岡 幸治	紀 要 Hokkaido Art Museum Studies	1998—99	研究ノート 日本におけるロダン素描論についての一考察	南 美幸	アマリリス	55
特集 現代美術の素材と技法 「メディアア」を素材にしたニュー・アメリカン・ペインターミアン・ローブ	中山ダイスケ 取材・文	美術手帖	769	ロダンを魅了「花子」探して 日本人踊り子のマスク入手、資料館建設へ	清水 玲子	日 経	12.20
	(口)			対談「トーキング・ノット・ウォーキング」	リチャード・ロング 大島 清次	世田谷美術館紀要	6
				Artist Interview ロイス・ワインバーガー	樹村 緑 インタビュー・文	美術手帖	775
パリ便り マーク・ロスコ展	孝子・トビー	絵	422				

そ の 他

美術関係者

日 本

(ア 行)

八一と良寛一会津八一の『良寛詩集』への書き入れ一	喜多 上	書 論	31
師弟拾遺一会津八一と吉野秀雄一3	長坂 吉和	" "	" "
東京画廊・石井利治氏に聞く一生立ちから三ツ喜ビル時代の東京画廊まで一	五十殿利治 佐竹 美奈 中山ゆかり 聞き手	現代芸術 研究	3
画廊物語 東京画廊石井利治	阿部 稔哉	展 評	1
20世紀日本の経済人25 石橋正二郎	小島 英熙	日 経	6.21
芸術選奨受賞の井上章一氏 祝賀会でジャズピアノ	(恭)	読売夕刊	8.31
今泉雄作伝	吉田千鶴子	五浦論叢	6
20世紀日本の経済人21 岩崎小弥太	島田 章	日 経	5.24
ザ・現場 美術界のウラオモテ3 あるコレクターのあり様 [上田國昭]	藤田 一人	美 術(月刊)	287
文化勲章受章者の横顔 成し遂げた仕事は「まだ半分」	梅原 猛	産経夕刊	10.26
著者に会いたい『最後の浮世絵師 河鍋曉斎と反骨の美学』及川茂さん	長沢美津子	朝 日	2.14
20世紀日本の経済人39 大倉和親「ノリタケ」世界ブランドに	島田 章	日 経	9.27
20世紀日本の経済人黎明編15 大倉喜八郎	"	"	4.12
大連図書館「大谷文庫」蔵書について [大谷光瑞]	張王 本義 柴田 幹夫 訳	龍谷史壇	113
「日本的なもの」とアブリオリ主義のはざまー大西克礼と「東洋的」芸術精神一	小田部胤久	美 学	196
20世紀日本の経済人20 大原孫三郎	名和 修	日 経	5.17
資料紹介 西崖日記 [大村西崖]	吉田千鶴子	近代画説	8
岡倉天心の美術主義的文明論一『東洋の理想』の構想力一	田中 秀隆	金鱗叢書 史学美術 史論文集	26

美の復権2 天心岡倉覚三伝第二部「日本美術史」から支那踏査へ	中村 愿	古今(日 本誌)	2
特集1 この国は、まだ「天心の夢」の中にある 茨城県天心記念五浦美術館 [岡倉天心]	D	ド ー ム	43
特集2 茨城県天心記念五浦美術館開館記念シンポジウム「天心と近代日本美術のあゆみ」完全再録 [岡倉天心]	高階 秀爾 パネリスト 兼コーディネーター 木下藤尾 森田パネリスト	" "	" "
特集 日本美術史再考一江戸の美術はどのように語られてきたか「日本の美学」の形成 フェノロサから天心へ [岡倉天心]	神林 恒道	美 術 フォーラム21	1
岡倉天心の人物像探る研究会		日 経	5.18
岡倉天心 内外で再評価 ポストン美術館が展覧会/福井で「サミット」	松岡 弘城	"	11.13
20世紀精神史第4部・日本の思想 美術における主体 リアリズムの自壊的展開 [岡倉天心]	北澤 憲昭	毎日夕刊	6.28
	(カ 行)		
日本近代における経営者と美術コレクションの成立一益田孝と柏木貨一郎一	山口 昌男	比較文化 論叢	3
私空間 「博物館行き」	加藤 有次	朝日夕刊	7.19
喜田貞吉と法隆寺(上)一法隆寺論争を中心に一	田畑 久志	奈良学研 究	2
木下利玄と桃山ルネサンス	童門 冬二	絵	423
人 狩野探幽の研究で「島田賞」を受賞した鬼原俊枝さん	中井 良則	毎 日	10.21
この人 第5回蓮如賞を受賞した久我なつみさん	(黒)	東 京	2.4
この人 35万年前の石器を発見 栗島義明さん 小6の時、発掘物語に感動。「手にしたときは放心状態でした」	(共)	"	7.24
ドイツ壁画の調査・修復 24年の成果現地出版 越宏一東京芸術大学教授	桜井 元	朝日夕刊	8.26

平成11年定期刊行物所載文献(そ／美関カ、サ行)

児島喜久雄のレオナルド識『白樺』が紹介した芸術家—	高草 茂 清 春	29		さよなら白洲さん4 白洲さんの養[白洲正子]	高橋 睦郎	" "	" "
皇室文化の周辺 調査・研究の先駆者たち10 小杉樞郎 正倉院宝物・文書の整理	東野 治之	皇室の名宝(週刊日百朝科)	10	骨董店にて 骨董からエネルギーを吸い尽くす[白洲正子]	柳 孝	" "	" "
20世紀日本の経済人33 五島慶太	島田 章 日 経	8.15		骨董店にて 古道具屋に舞い降りた「天上の人」[白洲正子]	坂田 和實	" "	" "
小林秀雄が見た雪舟(上)	山下 裕二	芸術学研究	9	骨董店にて 「吉平さん、何かいいものある?」[白洲正子]	瀬津 吉平	" "	" "
	(サ 行)			骨董店にて お預けした仏さま[白洲正子]	宮島 格三	" "	" "
戦争画の空白の歴史埋める資料の収集を笹木繁男 現代美術資料センター主宰	(盛)	朝日夕刊	10.4	新発見!“ないしょの若書き”大公開 不器用なほどに真面目な油彩[白洲正子]	赤瀬川原平	" "	" "
佐治さんと企業と文化 メセナ支える人間奥さ[佐治敬三]	牧内 岩夫	日経夕刊	11.9	新発見!“ないしょの若書き”大公開 気のみなもと 白洲正子の自筆歌帖より	前 登志夫	" "	" "
美術普及 埋もれた偉才 明治・大正期に数々の事業参画、執行弘道の足跡	瀬木 慎一	日 経	5.25	新発見!“ないしょの若書き”大公開 [若き日のノートから探る]白洲正子とは何者だったか	山崎 省三	" "	" "
歴史秘話 満州の邦人を美術品で救った男[首藤定]	富田 章	芸術新潮	595	さよなら白洲さん5 一期一会のボーイフレンド[白洲正子]	ニーゼル・フィリップ	" "	" "
私の履歴書18	白川 静	日 経	12.19	夢なら正夢37 幻の「余白を語る」白洲正子	米倉 守	美術(月刊)	282
私の履歴書21	" "	" "	12.22	枯れぬ白洲正子人気没後一年、特集・刊行続く	朝 日	12.5	
美の種まく人 何につくともなき心かな—西行の和歌を表具する[白洲正子]	加藤 静允	芸術新潮	600	魂の師・白洲正子さんを悼んで 一瞬に本質を見抜く金貨のような人でした	車 長吉	朝日夕刊	1.4
美の種まく人 一枝の花[白洲正子]	古澤万千子	" "	" "	随筆家白洲正子さんいつ死んでも悔いなく	川村 二郎	" "	1.6
美の種まく人 サンローランと能装束[白洲正子]	高田 俊男	" "	" "	希有なる魂の目利き 白洲正子さんを悼む	前 登志夫	東京夕刊	1.6
美の種まく人 最後まで、こわい方でした[白洲正子]	川瀬 敏郎	" "	" "	白洲正子さんの思い出 食堂の壁目に浮かぶ	青柳 恵介	読売夕刊	3.18
さよなら白洲さん1 縁結びは明恵上人[白洲正子]	河合 隼雄	" "	" "	(紹介)杉山信三先生の著作目録	堀内 明博	建築史学	32
生涯をめぐる三つの断章[白洲正子]	青柳 恵介	" "	" "	茶人研究 住友春翠の数寄生活—その人柄と茶風—	外山 潔 淡 交	650	
さよなら白洲さん2 おばあさんといっしょ[白洲正子]	白洲 實	" "	" "	著者に聞く 社会主義リアリズムの過剰繰り返すな 瀬木慎一さん	(寿)	東 京	2.7
美味しいもの、大好き! 白洲学校の給食係[白洲正子]	松井 信義	" "	" "	皇室文化の周辺 調査・研究の先駆者たち9 関野貞 古建築を丹念に調査	稲葉 信子	皇室の名宝(週刊日百朝科)	9
正子さんは着道楽 白洲さんを“巻く”[白洲正子]	三宅 一生	" "	" "				
さよなら白洲さん3 御姫さんへのラブレター[白洲正子]	高橋 延清	" "	" "				
かくれ里、いまむかし 山国の火祭[白洲正子]	山崎 省三	" "	" "				

	(タ 行)				市井に徹しタブーに先鞭 江戸文芸研究家・林美一さん	前田 恭二	読 売	4. 11
特集 モダニズムのかたち ロシア・アヴァンギャルドを駆け抜けて 高見堅志郎『風景の旅びと』刊行に寄せる	五十殿利治	武蔵野美術	111		林屋先生を偲ぶ[林家辰三郎]	下坂 守	学叢(京都国立博物館)	21
シュールレアリスムを日本に紹介 故瀧口修造氏の寄贈品ポスターなど1万点データベース化進む多摩美大上野毛図書館		朝 日	4. 11		8・15集会に欠かさず参加し「過去を忘れてはならない」と訴える評論家 針生一郎さん	(共)	東 京	8. 12
ひと 見世物学会の会長に就任する演劇評論家田之倉稔さん	高橋 豊	毎 日	11. 4		理想の美術館長 神奈川近美の土方定一氏	芳賀 徹	アルカディア	2
田村博士を偲ぶ[田村実造]	岩見 宏	東 方 学	98		美術エッセイ[土方定一]	伊東 傀	絵	424
田村實造先生を偲ぶ	間野 英二	" "	" "		夢を追う 藤森照信さん 見て楽しむ緑、建築に必要	松村由利子	毎 日	9. 16
辻惟雄新学長インタビュー	田口 敦子	た ま び	17		古香庵伝・美は魔術である二 細見良行状記、その縁起	後藤 繁雄	古今(日誌)	2
[特集]坪井良平「憶い出の記」		梵 鐘	11			(マ 行)		
<学史>中央アジアへの夢を歩く[土居淑子]	前田 耕作	古代文化	488		建築保存運動を退官展で振り返る東京芸大教授 前野堯さん	清水 弟	朝 日	12. 4
(ナ 行)					日本近代における経営者と美術コレクションの成立—益田孝と柏木貨一郎—	山口 昌男	比較文化論叢	3
ある美術史家の自伝的回想13～21	中山 公男	美術の窓	186、187、189～195		20世紀日本の経済人黎明編10 益田孝	小島 英熙	日 経	3. 8
キャリアグラフィー ティー 茄子太郎さん(画廊オーナー) もうけ度外視、作家を支援	(真)	日 経	2. 20		20世紀日本の経済人黎明編11 松方幸次郎	野村 義博	" "	3. 14
皇室文化の周辺 調査・研究の先駆者たち3 蛭川式胤 明治初年の文化財行政に尽力	東野 治之	皇室の名宝(週刊朝日百科)	3		東洋美術の鑑賞を歩いた人—藪山順吉氏追悼座談会—	長谷部楽爾 西田 宏子 弓場 紀知 杉山 定敏 松田 卓治	陶 説	561
蛭川式胤の事績—正倉院の宝物調査に関連して—	米田 雄介	古代文化	487		共に学びし朋友—藪山順吉と私—	チャーマン・リー	" "	" "
(ハ 行)					東洋古美術 ある目利きの「遺産」[藪山順吉]	竹田 博志	日 経	9. 24
長谷川徳七さんの出版と還暦を慶ぶ 七つの徳の惚れ人よ—愛と美の一致—	米倉 守	絵	429		特別インタビュー 三谷敬三((株)三溪洞取締役会長)氏に聞く 美術賞50年～東京美術倶楽部と共に歩んだ軌跡～	油井 一人	新美術新聞	859
長谷川徳七さんの出版と還暦を祝う会報告		" "	" "		光森正士先生を悼む	水野 正好	文化財学報	17
著者に聞く 長谷川徳七さん(日動画廊社長) 画商生活35年の出会いと感動記す「私が惚れて買った絵」	(塩)	東 京	9. 26		光森正士先生 年譜 および著作目録	" "	" "	" "
					四年間を回顧して	光森 正士	" "	" "
					我が来し方(1)～(3)	源 豊宗	古代文化	480、482、483
					紹介 宮上茂隆君の御逝去を悼む	片桐 正夫	建築史学	33

紹介 故宮上茂隆氏著作目録	木岡 敬雄	建築史学	33
武藤三千夫教授を送る	井村 彰	カリスタ	6
村田数之亮先生を偲ぶ	衣笠 茂	史 林	414
皇室文化の周辺 調査・研究の先駆者たち2 森岡外 帝室博物館総長・図書頭	吉岡 眞之	皇室の名刊宝(週刊朝日科)	2

(ヤ・ラ・ワ行)

桃山中心主義に抗して—日本の美イメージをめぐる柳宗悦の闘争—	竹中 均	大阪大学人間科学部紀要	25
維新の士 美術教育開く「初の官立学校」生みの親・山尾庸三の足跡	澄川 喜一	日 経	10. 11
古今インタビュー 花と絵の宿命[いのち] 山根有三	後藤 繁男 文・構成	古今(日本文誌)	2
絵を見抜く「心眼」 山根有三さん 美術史家		朝 日	1. 1
女子高等美術教育の先駆者 横井玉子研究(一)	佐藤 善一	女子美術大学紀要	29
神宿る御文庫蔵 番人生 歌聖・藤原定家らの「御影」公開を終え感慨	冷泉 為人	日 経	6. 17
20世紀精神史 第4部・日本の思想 東洋の哲学 「共同体の思考」という自己表現[和辻哲郎]	坂部 恵	毎日夕刊	5. 24

海 外

New York Report IV 100 ガシエ博士コレクション展 セザンヌからゴッホまで	河西 貴子	絵	426
「銀座の変容」を研究するキューバ人留学生 エミリオ・ガルシアさん	(信)	東 京	8. 31
追悼 レオ・キャステリ 世界にアメリカ現代美術を知らしめた男、ついに逝く	藤森 愛実	美術手帖	779
二十世紀初頭アメリカにおける日本美術受容—チャールズ・日・キャフィンの橋本雅邦論をめぐって—	志邨 匠子	美術史研究	37
画商と画家—ポール・キョームを描いた画家たち—	島田 紀夫	視 る	385

ポール・キョームとアフリカ美術—オランダジュリーのコレクションの裏に隠された、美術商兼蒐集家のもうひとつの顔—

詩のテキストと絵画—クローデルにおける絵画と文学の接点

特集1 第48回ヴェネツィア・ビエンナーレ 詳報 [インタヴュー] 総合ディレクター ハラルド・ゼーマン

E.F.Fenollosa and the Importation of Aesthetics into Japan

「日本の美学」の形成 フェノロサから天心へ

特集 日本美術史再考—江戸の美術はどのように語られてきたか13 アンリ・フォションの浮世絵解釈とジャポニスム以後の日本美術史編纂

「アンドレ・マルローとフランス画壇の十二人の巨匠たち」展特別講演会 アンドレ・マルローとの出会い—その生涯を貫くもの—

「アンドレ・マルローとフランス画壇の十二人の巨匠たち (André Malraux, Notre ami)」展報告

アンドレ・マルローとヒューマニズム—悲劇的狀況と芸術の価値

もうひとつのジョージ・アーネスト・モリソン本

書 評

和 書

『アヴァン・チャイナ—中国の現代アート』牧陽一著

『青の美術史』小林康夫著

『赤塚不二夫120%』赤塚不二夫著

”

稲賀 繁美	”	”	”
内藤 高	大阪大学文学部紀要	39	
和多利恵津子	美術手帖	775	
加藤 哲弘	美学論究	14	
神林 恒道	美術フォーラム21	1	
藤原 貞朗	”	”	
岩崎 力	出光美術館館報	106	
	”	”	
武藤 麻矢	芸術学学報	6	
ウィリアム・シヤング	東洋文庫書報	30	
牧 陽一	新美術新聞	853	
西垣 通	朝 日	11. 7	
與謝野文子	東 京	11. 28	
芹沢 俊介	朝 日	3. 21	
(飼)	読 売	2. 7	

- 『アジア視線』稲越功  
一写真集 東京夕刊 6.24
- 『アジアの美術—福岡アジア美術館のコレクションとその活動』後小路雅弘、黒田雷児、ラワンチャイケン寿子他著 後小路雅弘 デアルテ 15
- 『足利尊氏文書の研究』小松茂美著 上島 有 古文書研究 50
- 『アフリカのかたち POWER OF FORM』小川弘著 宗 左近 東京 10.3
- " (前) 読 売 9.12
- 『アメリカ絵画の本質』佐々木健二郎著 (西) 新美術新聞 856
- 『アルジャイ洞窟のウイグル式モンゴル文字銘文研究』ハスエルデニ、ダンザン、プリンバト、ガルディ、ジャルサン、N・バトジャルガル、エンハバートル共著 井上 治 東洋学報 81—1
- 『アルバム ジャコメッティ』矢内原伊作撮影・テキスト (前) 読 売 10.17
- 『家をつくることは快樂である』藤森照信著 東京 1.10
- 『イギリス美術』高橋裕子著 中村 隆 山形大学史学論集 19
- 『イタリアの初期キリスト教聖堂 建築巡礼42』香山壽夫、香山玲子共著 水谷 千尋 学 鑑 96—10
- 『一休和尚年譜1・2(東洋文庫)』今泉淑夫校注 船岡 誠 日本歴史 615
- 『一遍聖絵を読み解く 動きだす静止画像』武田佐知子編 藤原 重雄 " 618
- 『祈りの人 棟方志功』宇賀田達雄著 長部日出雄 日 経 2.21
- " 城戸 朱理 読 売 8.8
- 『伊良原ダム関係文化財調査報告 伊良原—民俗文化財の調査—(福岡県文化財調査報告書 第143集)』伊良原ダム民俗文化財調査指導委員会編 井上 聡 史学雑誌 108—8
- 『イリヤ・カバコフの芸術』沼野充義編著 東京 9.26
- " 日 経 9.19
- 『ヴァールブルク学派—文化科学の革新』松枝到編 木田 元 学 鑑 96—6
- 『ウィルソン氏の驚異の陳列室』ローレンス・ウェシュラー著、大神田丈二訳 高木 鷹士 東京 1.17
- 『運慶の挑戦』上横手雅敬、松島健、根立研介共著 石井 進 読 売 8.15
- 『描かれた女たち』塩川京子著 大井 健地 美術の窓 191
- 『江戸期昔話絵本の研究と資料』内ヶ崎有里子著 中村 正明 国学院雑誌 1106
- 『江戸の思考空間』タイモン・スクリーチ著、村山和裕訳 港 千尋 読 売 3.7
- 『絵本はいかに描かれるか』藤本朝巳著 日 経 12.19
- 『お金の不思議—貨幣の歴史学—貨幣と人間』国立歴史民俗博物館編 鈴木 公雄 歴 博 92
- 『岡本太郎が、いる』岡本敏子著 井上 志津 毎 日 12.12
- 『小倉遊亀 天地の恵みを生きる』小倉寛子著 江原 和雄 産 経 5.22
- " (前) 読 売 5.30
- 『お騒がせ絵師自伝』エリック・ヘボン著、立原宏要訳 江原 和雄 産 経 3.6
- " " 東京 3.7
- " " 港 千尋 読 売 2.21
- 『オセアニア・オリエンタリズム』春日直樹編 白川 千尋 民博通信 86
- 『女?日本?美?新たなジェンダー批評に向けて』熊倉敬聡・千野香織編 笠原美智子 ARTLET 12
- 『「オンライン書店」の誘惑』津野海太郎編 (西) 新美術新聞 861
- 『絵画の東方 オリエンタリズムからジャポニズムへ』稲賀繁美著 酒井 忠康 日 経 12.12
- " " 張 競 毎 日 11.21
- 『絵画の行方』本江邦夫著 東京 11.7
- 『『快樂の園』を追われて』中野孝次著 日 経 6.20
- 『語る現在、語られる過去 日本美術史学100年』東京国立文化財研究所編 吉見 俊哉 朝 日 8.1
- 『楽器の考古学』山田光洋著 桐山 秀穂 古代文化 486
- 『金沢北条氏と称名寺』福島金治著 納富 常天 古文書研究 49
- 『加能史料 戦国1』加能史料編纂委員会編 山家 浩樹 日本歴史 619

平成11年定期刊行物所載文献(そ/書)

『かぼちゃと風船』画伯吉田和正著	池内 紀 朝 日	1.24	『現代建築の見かた』鈴木博之著	日 経	4.11
『鎌倉大仏の中世史』馬淵和雄著	石井 進 読 売	1.10	『建築史研究の新視点——建築と障壁画』西和夫著	尾本 師子 建築史学	33
『河内飛鳥と終末期古墳 横口式石槨の謎』羽曳野市教育委員会編	土生田純之	日本歴史 619	『建築史の空間一関口欣也先生退官記念論文集一』関口欣也先生退官記念論文集刊行会編	山之内 誠 " "	" "
『感性の思考 美的リアリティの変容』W・ヴェルシュ著、小林信之訳	大森 淳史	美術フォーラム21 1	『建築のイコノグラフィとエレクトロニクス』R・ヴェンチャーリ著	渋沢 和彦 産 経	8.29
『関東中世水田の研究—絵図と地図にみる村落の歴史と景観—』高島緑雄著	峰岸 純夫	日本歴史 613	『建築を語る』安藤忠雄著	飯島 洋一 東 京	7.4
『官能の庭』マリオ・プラーツ著、若桑みどり・森田義之・白崎容子・伊東博明・上村清雄訳	高階 秀爾	毎 日 1.10	"	" 日 経	7.4
『綺想主義研究』マリオ・プラーツ著、伊東博明訳	"	" "	"	" "	10.11
『北アジア史(アジアの歴史と文化7)』竺沙雅章監修、若松寛編	野田 仁	史学雑誌 108—8	『考古学は謎解きだ』金関恕著	島森 路子 毎 日	9.19
『京都画壇周辺』加藤一雄著作集	冷泉 為人	毎 日 10.6	『考古学は謎解きだ』金関恕著	(前) 読 売	6.27
『京都現代建築ほめ殺し』洛中建築膝栗毛隊著	斎藤美奈子	朝 日 3.7	『考古学は謎解きだ』金関恕著	春成 秀爾 東 京	4.11
『匈奴「帝国」』加藤謙一著	沢田 勲	歴史学研究 725	『歴博 大学院セミナー考古資料と歴史学』国立歴史民俗博物館編	新納 泉 歴 博	96
『近世オランダ貿易と鎖国』八百啓介著	藤田加代子	史 林 418	『興福寺(日本歴史叢書)』泉谷康夫著	稲葉 伸道 日本歴史	616
『近代絵画の暗号』若林直樹著	川口 昌人	新美術新聞 867	『江陵九店東周墓』湖北省文物考古研究所編著	佐藤三千夫 東洋学報	80—4
"	藤森 照信	毎 日 4.4	『児島善三郎資料集—その創造と軌跡—』福岡市美術館編	古川 智次 デアルテ	15
『近代建築史』石田潤一郎・中川理編	吉田 鋼市	建築史学 32	『古代王権と都城』仁藤敦史著	鷲森 浩幸 日本史研究	443
『近代天皇制の文化的研究 天皇就任儀礼・年中行事・文化財』高木博志著	阪本 是丸	日本歴史 609	"	遠山美都男 歴史評論	594
『近代の神社景観—神社局時代に撮影された神社—』(財)神道文化会編	青木 祐介	建築史学 32	『古代荘園図と景観』金田章裕著	吉川 敏子 日本史研究	444
『空間へ』磯崎新著	宮本 隆	東 京 10.24	"	鷲森 浩幸 日本歴史	618
『グスタフ・クリムト 素描と絵画』C・M・ネベハイ著、水沢勉訳	(す)	読 売 1.17	『ゴッホ 自画像の告白』ヴィンセント・ヴァン・ゴッホ画・文、木下長宏編・訳	木田 元 朝 日	5.23
『クラシック・イメージ アンセル・アダムス作品集』	(ま)	" 3.7	『ゴッホの遺言』小林英樹著	平川 祐弘 東 京	8.22
『芸術と策謀のパリ』横張誠著		東 京 3.28	『孤独な帝国 日本の一九二〇年代』ポール・クローデル著、奈良通子訳	(川) 毎 日	2.28
『現代絵画入門』山梨俊夫著		産 経 2.14	『言葉の降る森』舟越桂著	吉野 敏武 日本歴史	614
"		読 売 5.2	『古文書の補修と取り扱い』中藤靖之著	西垣 通 朝 日	1.17
			『コンピュータ画家アaronの誕生』パメラ・マコーダック著、下野隆生訳	森下 章司 史 林	417
			『三角縁神獣鏡の時代』岡村秀典著		



- 『色彩論 完訳版』J・W・ゲーテ著、高橋義人・前田富士男・南大路振一ほか訳 大杉 洋 思想 906
- 『下岡蓮杖写真集』石黒敬章編 (前) 読 売 6.6
- 『若冲の目』黒川創著 東 京 4.25
- 『写真の哲学のために』ヴィレム・フルッサー著 大石 芳野 読 売 3.28
- 『シャボン玉の図像学』森洋子著 川口 昌人 新美術新聞 864
- ” 松山 巖 朝 日 6.20
- ” 谷川 渥 日 経 6.6
- 『蒐集』ジョン・エルスナー&ロジャー・カーディナル編著、高山宏ほか訳 高木 鷹士 東 京 1.17
- 『十二世紀のアニメーション』高畑勲著 日 経 4.25
- 『十八世紀の江戸文芸—雅と俗との成熟—』中野三敏著 谷脇 理史 文学(季刊) 10—3
- 『呪術誕生』岡本太郎著 東 京 2.21
- 『書翰等からみた史学・考古学の先覚』斎藤忠編著 角田 文衛 古代文化 484
- 『正倉院宝物の歴史と保存』米田雄介著 西 洋子 日本歴史 615
- 『肖像画の中の科学者』小山慶太著 東 京 3.28
- 『肖像画を読む』黒田日出男編 宮島 新一 日本歴史 614
- 『縄文弥生移行期の土器と石器』佐藤由紀男著 池上 悟 立正史学 86
- 『書と高野山』楠見敏雄著 静 慈円 書 論 31
- 『書の文化史 書状にみる人と書』波多野幸彦著 瀬戸 薫 古文書研究 50
- ” 松澤 克行 日本歴史 609
- 『死を見つめる美術史』小池寿子著 與謝野文子 東 京 11.28
- ” 読 売 11.28
- 『身体と芸術』上村博著 新田 博衛 美 学 197
- 『睡虎地秦簡よりみた秦代の国家と社会』工藤元男著 大榎 敦弘 東洋史研究 58—1
- 『建築ライブラリー3 数寄屋ノート二十章』早川正夫著 松田 剛佐 建築史学 32
- 『図説 浮世絵に見る江戸』吉原藤原千恵子著 毎日夕刊 7.1
- 『図説 だまし絵—もうひとつの美術史』谷川渥著 榎木 野衣 朝 日 11.7
- 『図説年表 西洋建築の様式』鈴木博之編 吉田 綱市 建築史学 32
- 『図像のなかの中国と日本—ヴィクトリア朝のオリエンタ幻想—』東田雅博著 貴堂 嘉之 史学雑誌 108—1
- 『スタンツェ 西洋文化における言葉とイメージ』ジョルジョ・アガンベン著、岡田温司訳 森谷 宇一 美術フォーラム21 1
- 『既にそこにあるもの』大竹伸朗著 宮内 勝典 東 京 8.22
- 『生と死のイオタ』伊藤俊治著、荒木経惟写真 川本 三郎 毎 日 1.24
- 『世界史のなかの日本中世文書』河音能平著 西岡 芳文 歴史評論 594
- 『戦国の寺・城・まち 山科本願寺と寺内町』山科本願寺・寺内町研究会編 吉野 秋二 日本誌研究 442
- 『造形の視座から—私風景の中で—』保田春彦著 大井 健地 美術の窓 186
- 『装幀時代』白田捷治著 鷺田 清一 東 京 11.7
- ” 日 経 10.31
- ” 港 千尋 読 売 12.12
- 『走泥社50年のあゆみ』(生) 朝日夕刊 7.13
- 『大有』『異路倫』横尾忠則著 松岡 正剛 東 京 2.14
- 『ダダの性と身体 エルンスト・グロス・ヘーヒ』香川檀著 吉見 俊哉 朝 日 2.14
- 『魂の裸像』エゴン・シーレ画・文、黒井千次編 (飼) 読 売 4.18
- 『タンポポ・ハウスのできるまで』藤森照信著 木下 直之 朝 日 9.19
- ” 赤瀬川原平 ” 11.21
- ” 日 経 7.4
- ” 杉浦日向子 毎 日 7.4
- 『千葉県歴史資料編 中世2(県内文書1)』千葉県史料研究財団編 井原今朝男 日本歴史 610
- 『チャイナ・ヴィジュアル』中野美代子著 藤森 照信 日 経 6.13
- 『中央アジア史(アジアの歴史と文化8)』竺沙雅章監修、間野英二編 小前 亮 史学雑誌 108—8

平成11年定期刊行物所載文献(そ／書)

『中国古玉器総説』林巴奈夫著	難波 純子	史 林	417	『長屋王家木簡と金石文』大山誠一著	吉田 一彦	"	108—1
『中国五台山竹林寺の研究』『中国天台山諸寺院の研究』斎藤忠編著	坂詰 秀一	古代文化	485	『奈良・京都の古寺めぐり』水野敬三郎著	(前)	読売夕刊	3.27
『中国古代都城と文化交流の研究』王維坤著	蔡 鳳書	"	484	『奈良古代史論集』第三集 奈良古代史談話会編	大隅 清陽	日本歴史	611
『中国周文化考古学研究』飯島武次著	高浜 秀	"	483	『似顔絵物語』和田誠著	向井 敏	毎 日	1.17
『中世都市と一の谷中世墳墓群』網野善彦ほか編	海老澤 衷	歴史学研究	722	『肉体と死と悪魔』マリオ・プラーツ著、倉智恒夫・草野重行・土田知則・南條竹則訳	高階 秀爾	"	1.10
『中世の奈良 都市民の寺院と支配(歴史文化ライブラリー50)』安田次郎著	山岸 常人	建築史学	33	『二重言語 国家・日本』石川九楊著	絃 秀実	東 京	8.22
『長楽寺文書』小此木輝之校訂	峰岸 純夫	古文書研究	49	『20世紀建築研究』20世紀建築研究会編	鈴木 博之	学 鏡	96—5
『追想岡崎精郎』岡崎鶴子著	木下 直之	朝 日	9.19	『にせもの美術史』トマス・ホーヴィング著、雨沢泰訳	水沢 勉	東 京	4.25
『ディアスポラの思考』上野俊哉著	港 千尋	読 売	6.13	"	"	日 経	4.4
『D-ZONE』戸田ツトム著	(前)	"	7.11	『日本絵画の風景表現 原始から幕末まで』成瀬不二雄著	永田雄次郎	美 術 フォーラム21	1
『てのひらの肖像画』リットン・ストレイチー著、中野康司訳	黒田日出男	朝 日	8.8	『日本原始古代の住居建築』宮本長二郎著	溝口 正人	建築史学	33
『天空の玉座—中国古代帝国の朝政と儀礼—』渡辺信一郎著	坂上 康俊	日本史研究	437	『日本建築史基礎資料集成—社殿1』太田博太郎編集責任稲垣榮三本巻編集執筆担当	黒田 龍二	"	32
『電子美術館』伊藤俊治著	港 千尋	読 売	5.2	『日本建築史論考』川上貢著	光井 涉	"	33
『東京大学史料編纂所写真帖目録』東京大学史料編纂所編	村井 章介	史学雑誌	108—9	『日本古代寺院造営の研究』森郁夫著	富島 義幸	"	32
『東寺百合文書にみる日本の中世』京都府立総合資料館編	山家 浩樹	日本歴史	609	"	小笠原好彦	日本歴史	612
『東北アジアの考古学研究』秋山進午編	田村 晃一	考古学雑誌	84—4	『日本古代社会と仏教』吉田一彦著	本郷 真紹	"	613
『都市のイメージ』ケヴィン・リンチ著	渡辺 武信	東 京	2.21	『日本古代都城の研究(ポテンティア叢書46)』山中章著	浅野 充	史学雑誌	108—7
『友よねむれ—シベリア鎮魂歌』久永強著	榎木 野衣	朝 日	10.3	"	山下信一郎	日本歴史	614
『土門拳 骨董の美学』藤森武監修・写真	(前)	読 売	10.3	"	仁藤 敦史	歴史学研究	719
『敦煌社邑文書集校』寧可・郝春文集校	石田 勇作	東洋学報	80—4	『日本古代の宮都と木簡』佐藤信著	館野 和己	日本歴史	613
『中根金作京都名庭百選』中根金作著		東 京	5.9	『日本古代の交通と社会』館野和己著	佐々木虔一	歴史学研究	725
『中原淳一 美しく生きる その美学と仕事』[別冊太陽]	(才)	毎 日	5.9	『日本古代仏教の文化史』竹居明男著	根本 誠二	日本歴史	610
『長屋王(人物叢書221)』寺崎保広著、日本歴史学会編	渡辺 晃宏	史学雑誌	108—8	『日本写真史を歩く』飯沢耕太郎著		読 売	8.29
				『日本中世の禅宗と社会』原田正俊著	高橋慎一郎	史学雑誌	108—6

『ニミスとアルクス スウェーデン海辺の アート論争』ラー シュ・ヴィルクス著	小泉 晋弥	新美術新 聞	872	『美の復権』中村愿著	石井 進	読 売	11.28
『梅花無尽蔵注釈 別巻一万里集九詩文 拾遺』市木武雄著	今泉 淑夫	日本歴史	613	『フェルメール論— 神話解体の試み』小 林頼子著	高橋 達史	学 燈	96—4
『博物館を考える』水 藤真著	中池 敏之	博物館研 究	369	『藤島武二画集』	中田 祐子	絵	419
『歴史文化ライブラ リー 幕末維新の風 刺画』南和男著	土屋 礼子	日本歴史	619	『藤田伝三郎の雄渾 なる生涯』砂川幸雄 著		日 経	6.20
『幕末写真師 下岡 蓮杖』大島昌宏著	秋山ゆり子	産 経	5.23	『富春館作品集戸次 帆足家伝来』大分市 美術館編	黒田 泰三	デアアルテ	15
『長谷川潔の世界』 (上・中・下)猿渡紀 代子著	富山 秀男	博物館研 究	370	『譜代藩城下町姫路 の研究』三浦俊明著	松本 二郎	日本史研 究	445
『八幡信仰と修験道』 中野幡能著	新川登亀男	日本歴史	614	『仏教東漸』劉建著	佐々木令信	仏教史学 研究	41—2
『母なる色』志村ふく み著		東 京	6.6	『無の造形』(海賊本) 谷川雁著	石川 九楊	東 京	7.18
『早川良雄の仕事と 周辺』	(え)	読 売	9.26	『プランクシーの フォトグラフ』プラン クシー撮影	藤原 新也	日 経	11.29
『版画まんだら』畑中 純著		東 京	4.25	『フランスの浮世絵 師ビゴ』及川茂著		東 京	1.31
『反写真論』倉石信乃 著		"	11.7	『ブルースト美術館 『失われた時を求め て』の画家たち』吉川 一義著	川口 昌人	新美術新 聞	859
"	港 千尋	読 売	10.31	『文化交流の時代へ』 榎泰邦著		東 京	5.30
『萬有ピンボー漫画 大系』竹熊健太郎、 杉森昌武編著	榎木 野衣 朝	日	12.12	『文明のなかの博物 学 西欧と日本』 上・下 西村三郎著	大場 秀明	日 経	11.7
『ヒエロニムス・ボ ス 『悦楽の園』を追 われて』中野孝次著	長谷川眞理 子	"	7.11	"	井上 章一	東 京	10.10
『東アジアの王権と 交易—正倉院の宝物 が来たもうひとつの 道—』李成市著	古畑 徹	朝鮮学報	170	『ベイタリアン 西 脇順三郎』伊藤勲著		"	"
『ピカソと過ごした ある日の午後』ピ リー・クルーヴァー 著	(前)	読 売	5.30	『壁画修復師』藤田宜 永著		読 売	9.5
『ピカソ マイフレ ンド』ロベルト・オ テロ写真		東 京	2.21	『北京芸術村 抵抗 と自由の日々』麻生 晴一郎著	扇田 昭彦	朝 日	9.19
『ひかりの引き出し』 島尾伸三著	清水 良典	朝 日	12.12	『冒険する造形作家 たち』柴辻政彦、米 澤有恒著		東 京	3.7
『美術のゆくえ、美 術史の現在』北澤憲 昭、木下長宏、イザ ベル・シャリエ、山 梨俊夫編	黒田日出男	"	10.3	『法隆寺献納宝物銘 文集成』東京国立博 物館編	新川登亀男	古文書研 究	50
『ひたすら造形のこ とばで』岡鹿之助著		日 経	1.24	『梵雲庵雑話』淡島寒 月著	木下 直之	朝 日	9.19
『人はなぜ傑作に夢 中になるの』アメリ ア・アナレス著、木 下哲夫訳	松山 巖	朝 日	10.17	『マグナム 報道写 真半世紀の証言』 ラッセル・ミラー 著、木下哲夫訳		新美術新 聞	875
『美のジャポニスム』 三井秀樹著	高島 直之	東 京	5.16	"	飯沢耕太郎	東 京	7.11
"		日 経	5.9	"	生井 英考	日 経	7.18
				『マチスについての 手紙』遠山一行著		"	10.3
				『円山応挙研究(「研 究 篇」「図 録 篇」)』 佐々木丞平・佐々木 正子著	太田 孝彦	美 術 フォー ラム21	1

平成11年定期刊行物所載文献(そ／書)

『マロニエの花が言った』(上・下)清岡卓行著 宇佐美 斉 東 京 10. 3

” 菅野 照正 日 経 10. 10

” 清水 徹 毎 日 10. 17

『マンガ誕生』清水勲著 水野良太郎 産 経 10. 18

『マンガの力』夏目房之介著 ” ” 9. 27

『萬野美術』篠山紀信撮影 辻 惟雄 芸術新潮 593

『南イタリアへ!』陣内秀信著 藤森 照信 毎 日 5. 30

『宮崎進画集 私のシベリアー森と大地の記憶』 絵 419

『見る人 ジャコメッティと矢内原』宇佐見英治著 池内 紀 朝 日 10. 3

” 中村 桂子 毎 日 10. 17

『明代大蔵経史の研究—南蔵の歴史学的基礎研究—』野沢佳美著 手島 一真 立正史学 85

『ムネモシユネ』マリオ・ブラーツ著 港 千尋 読 売 12. 19

『名画とファッション』深井晃子著 松山 巖 朝 日 5. 23

” (茂) 毎 日 4. 18

『明治国家と近代美術—美の政治学』佐藤道信著 横山 勝彦 あいだ 43

” (前) 読 売 6. 20

『メタボリズム—一九六〇年代—日本の建築アバンギャルド』八束はじめ・吉松秀樹著 笠原 一人 建築史学 32

『盲者の記憶』ジャック・デリダ著、鶴飼哲訳 木田 元 朝 日 1. 24

” 桂 秀実 東 京 1. 31

” 港 千尋 読 売 1. 24

『MOTERWAY』伊藤桂司著 日比野克彦 朝 日 9. 5

『木簡—古代からのメッセージ』大庭脩著 荊木 美行 皇学館論叢 186

『物語の中世—神話・説話・民話の歴史学—』保立道久著 藤原 重雄 歴史評論 596

『安井賞展40年史』安井曾太郎記念会編 新美術新聞 864

『靖国』坪内祐三著 三上 豊 ” 858

『大和古寺幻想』上原和著 栗田 勇 日 経 6. 6

『優柔不断術』赤瀬川原平著 井上 志津 毎 日 7. 18

『ヨーロッパ建築史』西田雅嗣編 吉田 綱市 建築史学 32

『横の会展 全記録184—1993』美術年鑑 大須賀 潔 新美術新聞 876

『甦る和辻哲郎』佐藤康邦ほか編 東 京 5. 16

『リーメンシュナイダー』高柳誠著 日野 啓三 読 売 5. 23

『劉伯温与哪吒城—北京建城的伝説』陳学森著 金 文京 東洋史研究 58—1

『両洋の眼—二十一世紀の絵画』 生尾慶太郎 新美術新聞 856

『類聚雑要抄指図巻』川本重雄・小泉和子編 藤田 盟児 建築史学 32

『ルオー礼讃』鈴木治雄著 並川 汎 新美術新聞 852

『ル・コルビュジエと日本』高階秀爾、鈴木博之、三宅理一、太田泰人編 赤坂 喜顕 学 燈 96—11

『レニ・リーフェンシュタール』平井正著 瀬尾 育生 東 京 10. 10

” 池田 浩士 日 経 10. 3

『老人力』赤瀬川原平著 芹沢 俊介 朝 日 2. 7

『ローマ百景 建築と美術と文学と』マリオ・ブラーツ著、白崎容子ほか訳 樺山 紘一 毎 日 8. 22

『ロマネスク世界論』池上俊一著 饗庭 孝男 日 経 10. 3

洋 書

“Bibliography of Modern Art on Disc: Catalog of The Museum of Modern Art Library, New York” G. K. Hall & Co., 1998 杉浦 公子 アート・ドキュメンテーション通信 42

“E. B ÈNÉZIT: Dictionnaire critique et documentaire des peintre, sculpteurs, dessinateurs et graveurs 14 tomes” 惠光院 白 ”

Hilary Spurling—The Unknown Matisse: A Life of Henri Matisse. Volume One: 1869—1908 天野 知香 学 燈 96—6

『dans l'océan du silence』[ヴォア・ダングル社、大岡信詩画集] 酒井 佐忠 毎日夕刊 1. 12

Koichi Koshi—Die frühmittelalterlichen Wandmalereien der St. Georgskirche zu Oberzell auf der Bodenseinsel Reichenau 辻 成史 学 燈 96—3

Kockerbeck, Christoph, Die Schönheit des Lebendigen Ästhetische Naturwahrnehmung im 19. Jahrhundert, Wien/Köln 1997	阿部美由起	カリスタ	6	公募団体展総評(7~8月)	常磐 茂	"	872
über moholy-nagy, hrsg. von Gottfried Jäger und Gudrun Wessing Ergebnisse aus dem Internationalen László Moholy-Nagy Symposium, Bielefeld 1995, zum 100. Geburtstag des Künstlers und Bauhauslehrers, Kerber Verlag Bielefeld, 1997, 255S.	谷本 尚子	美学	196	'99秋の公募団体展第1陣~第4陣総評	"	"	874, 876, 878, 879
Ram katzir, Your Coloring Book, Idea Books	日比野克彦	朝 日	10.10	瀧 悌三 生尾慶太郎 南 篤 宏 武田 厚 ワシオ・ト シヒコ 千葉 成夫 谷 新守 米倉 範義 宝木 堅輔 林 紀一郎 川浪 千鶴 建 昌 哲	新たなる千年期に向かって 回顧'99 さよなら20世紀年末 アンケート	"	881
時 評				ART NOW 美術界の転換期!? 休刊、閉館相次ぐ		美術の窓	187
前年度分				1999年上半期の美術界総論	中山 公男	"	191
展評	瀧 悌三	アート トップ	168~173	西洋古典絵画にスポット 海外作家の個展に見応え	中村 隆夫	朝 日	12.17
展評	米倉 守	"	"	回顧'99 美術 迷走のやまない美術館経営 生活との「復縁」はかる動き アジアとの関係新段階へ	田中 三蔵	朝日夕刊	12.6
Being ART Watching55 閉塞感に穴あける個人パワー	中野 中	ギャラリー (月刊)	166	回顧'99 美術 私 の5展	北澤 憲昭 篠原 資明 建 昌 哲 千村 香織 中村 英樹	"	12.6
座談会 美術界の「現在」を語る	宝木 串田 油井 範義 光子 一人	新美術新聞	851	'99年美術回顧 世紀末から「未来への予感」	渋谷 和彦	産 経	12.26
'98 12月の公募団体展総評(Part・1)	(常)	"	856	春の公募展から 光風会展充実感漲る力作ぞろい モダンアート展明るさとユーモア	清水 真砂	東京夕刊	4.16
公募団体展総評('98年12月~2月)	"	"	858	書 この1年 巨匠の遺墨に魅了される中堅・若手の奮起に期待	中安 宏規	毎 日	12.7
'98焼きものベスト展覧会アンケート	編集部	陶 説	552	美術この一年 横行した「数字」の論理	三田 晴夫	毎日夕刊	12.8
特集 平成10年後期の美術賞とその作品		美術(月刊)	280	マンガの居場所 外からの視線の大切さ	夏目房之介	"	12.17
1998年の美術界を振り返る	中山 公男	美術の窓	186	99回顧 美術 多様性内包し世界化へ「対モダニズム」脱却の動き アジアに関心/「現代美術」枠解体へ/「近代」の再検討	菅原 教夫	読売夕刊	12.14
当年度分				受賞・美術賞			
村木明のアートクリティカルファイル 19, 20	村木 明	アート ジャーナル	19, 20	ターナー賞の審査を終えて	南條 史生	新美術新聞	852
美術界この一年	編集部	編 絵	429				
よろず手控帖(七)	青木 茂	近代画説	8				
新美術時評 二月のアッシー	三上 豊	新美術新聞	855				
公募団体展総評('98年12月~'99年2月)	(常)	"	858				
公募団体展総評(3月)	"	"	859, 861				
公募団体展総評(3月~4月)	"	"	862				

平成11年定期刊行物所載文献(そ/時)

タカシマヤ美術賞 池田真弓(日本画)川 村悦子(洋画)清水征 博(工芸)の3氏	新美術新 聞	853	アートマーケットを 考える	加藤 義夫	アート・ マガジン (エル・ アール)	13	
第6回日本文化藝術 振興賞 安斉重男氏 らに決定	"	858	アートマーケットを 考える2	"	"	14	
「山種美術館賞」の延 期が決まる	"	"	特別企画 秋のア ートフェア特集第1弾 第1回東美アート フェア		ギャラ リー(月 刊)	173	
岡本太郎記念現代芸 術大賞 大賞該当作 なし 準大賞に栗野 ユミト氏と小沢剛氏	"	859	特別企画 秋のア ートフェア特集第2弾 よみがえるか?現代 美術のアートフェア NICAF'99Tokyo		"	174	
青木繁記念大賞 最 高賞は浜田宏氏	"	"					
天理ビエンナーレ 1999大賞に橋本和代 さん	"	860	WORLD REPORT 世紀の競売、ロス チャイルド・コレク ション	西野 嘉章	芸術新潮	597	
ICCビエンナーレ '99 グランプリは ペリー・ホバーマン 氏	"	877	美術市場リーダー93 98年度の欧米市場	瀬木 慎一	新美術新 聞	851	
平成11年度文化勲章 秋野不矩さん(日本 画) 文化功労賞 青木龍山(陶芸)大山 忠作(日本画)舟越保 武(彫刻)の3氏	"	878	美術市場リーダー94 ゲッティとウイン、 二つのアメリカン・ パワー	"	"	854	
第1回「池田満寿夫 記念芸術賞」大賞に 傍島飛龍氏	"	"	第10回五島記念文化 賞美術部門新人賞 石田瑞夫氏、木村太 陽氏に決まる		"	856	
第3回熊谷守一大賞	"	879	美術市場リーダー95 一九九八年の美術品 輸入激減	瀬木 慎一	"	857	
第2回金山平三賞 花房完昇氏の「迷宮 の風」	"	880	美術市場リーダー98 驚異的なアールピバ ンの業績 低迷続く 大手美術商	"	"	866	
第24回伊奈信男賞 百々俊二氏「千年楽 土」に 第1回三木 淳賞には甲野善一郎 氏	"	"	美術市場リーダー99 異変と慎重の混在 前半期の国際市場	"	"	869	
第18回安田火災美術 財団奨励賞展開幕	清水 乙恵	美術の窓	187				
第18回安田火災美術 財団奨励賞		"	188				
美術マーケットのい ま?	山岡 泰造	美術 フォーラ ム21	1				
ル・プリ・プル・ ル・プリ 奥歯にモ ノをはさみながら [世界文化賞]	上田 高弘	武蔵野美 術	111				
池田満寿夫さんのよ うに 現代アートの 才能発掘へ[池田満 寿夫記念芸術賞]	小倉 忠夫 佐藤 陽子 西村 貞一	産 経	4.1				
土門拳賞 選考経過 重いテーマ正面から	江成 常夫	毎 日	3.17				
<b>美術市場</b>							
生尾慶太郎の美心独 往「インサイド」・ アート・マーケット	生尾慶太郎	ア ー ト ト ッ プ	169	展覧会図録で回顧す る美術展この1年 内容と希少性で決ま る図録の古書価	佐藤 克也	美術(月 刊)	280

オークション情報 好調維持し落札総額 3億8千万円のシン ワAA 2回連続で 急上昇、同3億円に 迫るA. J. C.	清水 秀作	"	281	東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動 洋画の鑑定は 洋画商の手で!!	長谷川徳七	"	"
特集 ここまで力を つけた!?日本の オークション	瀬木 慎一 清水 秀作	"	282	日本洋画商協同組合 の鑑定登録委員会 正式にスタート!	編集部	"	187
古書店街“美術”探索 のすすめ 自分の目 で評価し発掘する浮 世絵蒐集の楽しみ方	稲垣 進一	"	283	日本洋画商協同組合 青年部座談会	上田 勉 今津 浩太 荒井 裕史 山田准一郎 藤井 万博 横井 勝利 編集部司会	"	"
古書店街“美術”探索 のすすめ “古書”が “美術”になる時	藤田 一人	"	"	東京美術商協同組合 新理事長、浅木正勝 氏に聞く	浅木 正勝 談	"	192
オークション情報 落札総額4億5千万 円、好調維持のシン ワAA 復調! 3回 連続アップ、3億5 千万のA. J. C.	清水 秀作	"	284	バブル期購入絵画30 点バリで競売へ 金 融機関など担保不良 在庫処理急ぐ 東京 のベンチャー仏会社 と提携	産 経		5.28
東京美術商協同組合 の新理事長になった 浅木正勝氏に聞く より開かれた魅力あ る業界に	"	"	287	レンブラントたった 150円! オランダ のみの市	産経夕刊		4.17
海外巨匠版画市場の 変遷(市場への登場 から成熟期まで)	長谷川公之	"	"	セザンヌの油絵 72 億円で落札 NY オークション史上4 番目の高値	"		5.11
ロンドンで行われた 初のアジア・ア ヴァンギャルド・ オークション 名門 クリスティーズの誤 算	サイモン・ グラント 浅沼 敬子 訳	美術手帖	766	米、美術品競売も “好景気” サザビーズ 1晩150億円	"		11.13
特集 ベルリン ラ スト・ユートピア ベルリン・アートの 市場価値は?	ガブリエ レ・ヴェット 鈴木 陽子 訳	"	767	ナチスに没収、返還 48億円相当の美術品 競売へ ロスチャイル ド家	東 京		4.11
芸苑雑事記76 梅 原・安井登録会のこ と	瀧 悌三	美術の窓	186	重文含む土地建物を 競売に 大津の名利 「円満院」	"		10.9
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動 梅原龍三郎・ 安井曾太郎・藤田嗣 治他数十名の鑑定を 東京美術倶楽部と日 動美術財団と日本洋 画商協同組合で争 う?!	編集部	"	"	バブル期に買われた 美術品はどうなった か 不可解極まる 『死蔵』 景気回復待 ちの姿勢が問題	瀬木 慎一	東京夕刊	6.17
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動 東京美術倶楽 部は解散していない !!	三谷 敬三	"	"	ナチス没収美術品 返還後ロンドンで競 売 ロスチャイルド 家	日 経		4.11
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動論より証拠!! 各交換会が東京美術 倶楽部鑑定委員会を 支持	浅木 正勝	"	"	住宅開発の東京現代 美術館 欧米の美術 館と協力 埋もれた 美術品 鑑定・売却 後押し	"		8.25
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動 東京美術倶楽 部は解散していない !!	三谷 敬三	"	"	ゴッホ「医師ガシエ の肖像」ナチス「略奪 絵画」だった 故斎 藤了英氏が史上最高 値で落札	竹田 博志	"	10.2
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動論より証拠!! 各交換会が東京美術 倶楽部鑑定委員会を 支持	浅木 正勝	"	"	美術品鑑定のお粗末 時価会計導入でわか った!!	スクープ取 材班	"	11.7
東京美術倶楽部鑑定 委員会洋画部門分裂 騒動論より証拠!! 各交換会が東京美術 倶楽部鑑定委員会を 支持	浅木 正勝	"	"	消えゆく“バブルの 名画” 国内に残す 手立てを	野村 義博	日経夕刊	10.7

偽シャガールや偽  
ジャコメッティ…サ  
ザビーズも被害 世  
紀の贋作コンピ実刑  
ロンドン刑事法院

荒井 利明 読売夕刊 2.16

美術館・博物館・画廊

一 般

アート・ドキュメン  
テーション研究会  
第28回研究会報告  
美術館の画像提供：  
その今日的課題を考  
える

井出洋一郎  
岡崎乾二郎  
伊藤 真志  
水谷 長志  
アート・ドキュメン  
テーション研  
究

7

美術館事件簿23

勅使河原純  
アート  
トップ

173

第二回美術史学会東  
支部シンポジウム  
国立博物館、美術館  
などの独立行政法人  
化問題徹底討議 前  
編 1998年12月5  
日・学習院大学

木下直之、  
馬淵明子  
司会 敏博  
大橋秀爾  
高階秀爾  
宮崎克己  
本江勉  
雪山行二  
渡辺明義  
アート・マ  
ガジン  
(エル・  
アール)

13、14

博物館の論争性の保  
証はいかにして可能  
か—博物館をメディア  
論の視座でとらえる  
試論的考察

山本 珠美 あいだ 41

美術館のエフェメラ  
リティ

山口 昌男 " "

美術館運営、その正  
当化の論理

友岡 邦之 " 43

記憶と忘却の装置—  
アジアの3つの「記  
念館」を訪ねて(日帝  
侵略館・独立記念  
館・中国人民抗日戦  
争記念館)

吉田 憲司 " 46

ある学芸員の悩み

島 敦彦 " 48

大学とギャラリー

山口 昌男 " "

【美術館のある街】原  
宿・青山 太田記念  
美術館、ギャラリー  
&カンパニー、レン  
トゲンクストラウ  
ム、ワタリウム美術  
館

AMBI-  
ANTE 25

【美術館のある街】鎌  
倉・北鎌倉 神奈川  
県立近代美術館、鎌  
倉彫資料館、鎌倉古  
陶美術館、葉祥明美  
術館、北鎌倉美術館

" 26

【美術館のある街】箱  
根 成川美術館、箱  
根早雲山美術館、箱  
根美術館、オルゴール  
の小さな博物館、  
箱根おもちゃ博物館

" 27

【美術館のある街】山  
梨芸術の森公園 山  
梨県立美術館、山梨  
県立文学館

" 28

平成十一年度博物  
学実習記録 館内実  
習参加報告

実習生一同 華頂博物  
館学研究 6

特集 ジェンダー・  
スタディーズ  
ミュージアム展示の  
ジェンダー 日本軍  
「慰安婦」歴史館を訪  
ねて

千野 香織 現代思想 27—1

特集 大学改革 美  
術館はどうなる

多木 浩二 " 27—7

鑑賞教育をめぐつ  
て—美術館と子供の  
視点

白浜恵里子 現代の眼 518

韓国博物館史におけ  
る表象の政治人類  
学—植民地主義、民  
主主義、そして展望  
としてのグローバリ  
ズム—

全 京秀 国立民族  
学博物館  
研究報告 24—2

博物館・美術館の来  
館者研究—アメリカ  
の事例から—

三木 美裕 " 24—3

博物館と学校教育の  
融合を目指して—  
「出前授業」「博学会  
同研修会」の取り組  
みを通して—

田村 宣也 埼玉県立  
さきたま  
資料館調  
査研究報  
告 12

新美術時評 第2回  
独立行政法人化問題  
シンポジウム

清水 敏男 新美術新  
聞 850

新美術時評 小さな  
メディアへ

三上 豊 " 852

98年美術展覧会入場  
者数 トップは  
「テート・ギャラ  
リー展」の約41万人

" "

美術館クライシスの  
時代 財団赤字で独  
立行政法人化に警鐘

" 857

現在通信 from  
NEW YORK 最近  
のNY美術 館事情  
(1)(2)

富井 玲子 " 858、860

新美術時評 問われ  
る博物館・美術館の  
在り方

清水 敏男 " 862

独立行政法人 国立  
館職員は「国家公務  
員型」に

" "

新美術時評 アート  
センター的施設の必  
要性

清水 敏男 " 871

「国立」の名称を残し  
4法人へ移行 三博  
物館、四美術館の独  
立行政法人化で

" 873

美術市場レーダー  
101 美術館が直面  
する最大の危機

瀬木 慎一 " 875



新美術時評 地域との関係構築を迫られる美術館	清水 敏男	"	880	アート探検隊が行く展覧会の舞台裏	井上 良太	日経アート	124
新しい時代の博物館	中村 節子	人文学と情報処理	24	歴史博物館における年間入場者数の経年変化に関する研究	仙田 満 矢田 誠 池田 崇 五嶋	日本建築学会計画系論文集	517
博物館教育活動と地域—遺跡博物館と移動博物館の新しいかたち—	南西山 博史 加藤 弥生 幸治	朱雀	11	美術館展示室の建築計画的な配置方法と利用者の評価について	仙田 満 篠 直人 矢田 努 鈴木 裕美	"	"
フィンランド博物館 見てある記	鈴木 忠司	"	"	—抄録—21世紀の創造的美術館像を求めて	廣瀬 隆人	NORTHERN OWLS	10
【動向 資料保存利用問題】「アーキビスト・史料館員問題について」の参加記	山崎 圭	地方史研究	277	巻頭言—3つの私見	加藤 貞雄	博物館研究	369
Status : Abnormal - Loop	毛利 義嗣	デアルテ	15	教育課程の基準の改訂と博物館	吉武 弘喜	"	"
ミュージアム・ミュージアム	後小路雅弘	"	"	情報化社会と博物館	坂井 知志	"	"
学会活動報告 第59回大会研究発表 美術館における教育普及活動	鬼本佳代子	"	"	文部省における博物館振興施策の概要について	占部浩一郎	"	"
デジタル・アレキサンドリア第一回国際シンポジウム 諸文明の饗宴 デジタル・テクノロジーと美術館の未来		デジタルアーカイブ	8	小さな博物館・大きな博物館	亀井 節夫	"	372
美術展覧会における解説目録と展示解説	関根 俊一	帝塚山短期大学紀要	36	高等学校の教育課程の基準の改訂と博物館	吉武 弘喜	"	"
デジタルミュージアムから 英国博物館のストアを訪ねて	坂村 健	東京大学総合研究館博 物 館 ニュース (ウロポロス)	9	ICOM大会参加報告—ICOMON 会議の模様—	大久保 隆	"	"
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ・ブック	林 容子 ゲスト	ドーム	46	フランス博物館の学習支援活動	水島 英治	"	374
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ アメリカ編	林 容子 資料作成・ゲスト	"	"	「歴史博物館」事始(ことはじめ)	平野 邦雄	"	375
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ イタリア編	軍司 泰則 資料作成 林 容子 ゲスト	"	"	ドイツの博物館における学習支援活動について—国際比較調査報告—	後藤 文子	"	"
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ ドイツ編	清水 陽一 資料作成 林 容子 ゲスト	"	"	国立博物館・美術館・文化財研究所の独立行政法人化について	有賀 祥隆	美術史	147
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ フランス編	清水 敏雄 資料作成 林 容子 ゲスト	"	"	注目のアート・スポット 上野ミュージアム・ショップ巡り	池上ちかこ	美術手帖	766
特集 海外の国立博物館・美術館の「民営化度」最新データ イギリス編	桜井 武 資料作成 林 容子 ゲスト	"	"	特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド エリア別ガイド	池上ちかこ 内田真由美 嘉藤 笑子 兒島やゆり 白坂 貴詩 新川 享子 平林 絵里 室井	"	774
自然と歴史への旅—雲南の博物館を訪れて—	亀井 節夫 日下 武久	徳島県立博物館研究報告	9	特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド 人生に絶望しそうになったら美術館へ 歴史美術館・博物館ガイド	横山 勝彦 野地耕一郎	"	"
					橋 秀文	"	"

特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド 画廊今昔物語	村田 真	美術手帖	774	Museum Education: アメリカからの現場レポート1	三木 美裕	" "	" "
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット オルタナティブ系	新川 貴詩	" "	" "	世界のミュージアム ホームページ現状調査レポート		" "	47
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット デザイン系	大山ゆかり	" "	" "	「1999年度全国博物館園アンケート調査」結果報告(テーマ調査編)	石庄福	川司留	" "
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット 写真系	西村 智弘	" "	" "	Museum Education: アメリカからの現場レポート2	三木 美裕	" "	" "
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット 新人系	鷹見 明彦	" "	" "	有形文化財(美術工芸品)の展示を主体とする美術館または美術工芸品を多く取扱う博物館等の施設設置に関する基準について(文化庁)		MUSE- OLOGY	18
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット	鷹見 明彦	" "	" "	《座談会》博物館教育を考える—学校教育と博物館教育—	村岡 篤 斎藤 孝 矢島 雄 吉田 優	MUSE- OLOGY- ST	14
特集 最新東京アート&カルチャ完全ガイド ジャンル別 アートスポット 工芸系	池上ちかこ	" "	" "	《特集・博物館のネットワーク》利用者による情報発信の場としての博物館	布谷 知夫	" "	" "
美術館博物館の現状と問題点	原田 平作	美術フォーラム21	1	アメリカ合衆国の美術館・博物館における日本関係展示について	笹原 亮二	民具マン スリー	381
みゆうじあむ・えっせい 史料の利用と保存	江島 香	文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	62	資料と情報 「博物館は『文化』のイメージをいかに創りあげてきたか」—文部省国際シンポジウム報告—	田村 克己	民博通信	84
アメリカ東海岸の博物館漫遊	森 弘子	" "	63	入館者数から美術館を見ると	宮島 久雄	" "	85
フォーラムとしてのミュージアム	手塚 薫	北海道開拓記念館研究紀要	27	博物館資料論・博物館実習と「情報」について—立教大学芸芸員課程における博物館資料論・博物館実習の検討を通じて—	石井 輝義	ムゼイオン	45
博物館資料論(序)	矢島 国雄	MUSE-UM STUDY	" "	本の中の展覧会「Catalog」	山田 愛子	medium	6
博物館法の戦後直後史	吉田 優	" "	" "	地球時代の日本研究 14 イギリスの博物館と史跡で考えたこと	小島 道裕	歴博	95
博物館と学芸員についての提言	浜名 徳順	" "	" "	歴博対談 第27回 広がる国立博物館の活動と役割	石毛 直道 佐原 真	" "	97
アメリカでの展示の検証と評価法の応用—展示の検証とはお客様を知ることである—	三木 美裕	ミュージアム・データ	44	韓国新博物館運動事始	李 仁淑	和歌山市立博物館報	14
体験型の展示手法を導入する意義—個人的体験からの考察—	" "	" "	45	天声人語[国立博物館のエージェンシー化]	朝 日	" "	2.28
「最近3カ年の入館者数」に関するアンケート調査 結果報告	石川 庄 (貴) 司	" "	" "	ひとこと P・ローザンベールさん ルーブル美術館長 「女神の展示はトレビアン」	" "	" "	3.18
特集: 1998年度開設博物館情報	" "	" "	46				

増えるワークショップ 美術館に「教育」期待 子供も大人も参加し、新たな試み	山盛 英司	"	8.26	「百貨店美術館」冬の時代 「セゾン」閉館／揺れる「東武」ファン拡大貢献したがリストラの対象に	坂本 憲一	"	4.10
地域に根ざす視点必要	山本 育夫	"	8.26	「大学博物館」国立大で設置進む 最先端研究 やさしく展示	神谷 浩司	"	5.22
広域古美術品窃盗容疑者逮捕 3カ月 3億円相当がいまだに不明	"	"	10.24	やさしい経済学 独立行政法人の役割 3 人事管理の柔軟性確保	山本 清	"	8.11
探究・記者の日 国立美術館・博物館の独立法人化 ちぐはぐな文化行政	田中 三蔵	"	11.20	やさしい経済学 独立行政法人の役割 4 業績管理は成果志向で	"	"	8.12
博物館等の独立法人化 転換期こそ長い目で	網野 善彦	朝日夕刊	4.6	やさしい経済学 独立行政法人の役割	"	"	8.17
ミュージアムで宿題を	"	"	8.6	扉開く大学美術館時代 作品や研究公開 芸術教育に新風	松岡 弘城	"	8.21
コンサートのプログラム／美術展カタログ 日本も書籍化の流れ	江原 和雄	産 経	3.8	美術の秋をネットで堪能 展示品をカラーで鑑賞	牧内 岩夫	"	10.25
博物館、美術館など10機関 独立法人後も「国立」の名称 「日本文化の顔」考慮	脇地 炯	"	8.30	さまよえる美術館 2 宙に浮くコレクション	坂本 憲一	"	11.2
ウォッチング石原 「文化は値段じゃ測れない」「バブルの遺産」一転、業績を評価	"	東 京	6.24	さまよえる美術館 3 作品購入に不信の眼	稲垣 直子	"	11.3
故手塚治虫さんら漫画家が青春過ごす 住民ら「トキワ荘記念館」を熱望 豊島区南長崎 建設求め 議会へ陳情	"	"	9.25	さまよえる美術館 4 迫る独立行政法人化	松岡 資明	"	11.4
ウォッチング石原 都庁に美術館 いいかも	"	"	11.3	さまよえる美術館 5 止まらぬ企業化の流れ	稲垣 直子	"	11.5
美術展望 憂うべき 美術行政の後退	北澤 憲昭	東京夕刊	1.8	新生・関西文化からよみがえる中之島 中心に学術・グリーン 大学院・美術館など 続々	"	"	11.19
国立美術館・博物館はどうあるべきか 21世紀への視線 上・中・下	本江 邦夫	"	5.17~19	回顧'99 美術 個性派美術館新たな胎動	宝玉 正彦	"	12.24
芸術らいふ 視線遊ばせ、聴く ミュージアム・コンサート考	恩地 元子	"	7.16	都の文化芸術施設 迫られる自助努力	"	"	12.25
ナショナル・ギャラリー計画の問題点 任意公募団体展への貸し会場は妥当か	嶋崎 吉信	"	8.31	ギャラリーに異変 アーティストが画廊主に	日経夕刊	2.23	
放射線 苦境に立つ 美術館	小倉 忠夫	"	10.19	常設展がおもしろい 不景気なときこそ活躍 館藏品であれこれ工夫	"	"	3.30
一刀両断 何が「市場」になじむのか 文化活動は「隔離」が必要	佐和 隆光	日 経	2.22	独立行政法人化の死角 基礎研究、「効率」で制約	松岡 資明	"	4.27
				海外美術館展を楽しむ もう 初公開 多く「板絵」も出品	"	"	8.3
				進化するミュージアムショップ おしゃれにアートを演出	"	"	10.12
				展覧会の図録「軽薄 短小」に 来館者、「豪華本」を敬遠	"	"	11.4

平成11年定期刊行物所載文献(そ／美・博・画日ア行)

親しみやすい美術館とは 日常的課題を考える	佐々木晃彦	毎日夕刊	1.14						
「独立行政法人」国立歴史民俗博物館など先行に疑問 大学との連携失いかねず	横山 浩一	"	3.12						
入浴施設に名画は似合わぬ!? 神奈川・秦野でホットな論争 展示室計画に文化団体反発	澤 晴夫	"	5.11						
百貨店と美術の深い関係 不況下、思い返したい歴史	藤田 一人	"	8.23						
顔 作品と観衆の関係こそ芸術 対話型の美術館教育を提案するアメリカ・アレナスさん	松本 由佳	読 売	1.7						
「古典」紹介続々と	中山 公男 原田 平作	"	4.28						
IBMグループ 世界の名作自宅で鑑賞 美術館のネット閲覧開始	上伊沢沖宏	"	6.23						
博物館がビジネス戦略 問われるセンス、サービス精神 集客・収益アップで生き残り	蒲池 明弘 大堀 哲 談	"	12.6						
手帳 独立行政法人化一律の適用は疑問 国立民族学博物館長が訴え	(恭)	読売夕刊	5.21						
建築季評 美術館建築の現在	鈴木 博之	"	7.2						
国立博物館・美術館の独立行政法人化 制度肉付けの段階へ 自主性重視の方策を	(前)	"	9.21						
閉館のセゾン美術館と休館の川口現代美術館 初志継ぐ活動スタート	"	"	10.21						
独立行政法人 「国立」名称外したった1機関 文化財研究所 他12機関は“現状維持”	"	"	11.8						
日 本									
(ア 行)									
移動する視線とアート コラボアート「緑」の試み[愛知県芸術文化センター]	松澤 慶信	美術手帖	766						
あさご芸術の森美術館「淀井敏夫記念館」開館		新美術新聞	863						
あさご芸術の森美術館オープン!		美術の窓	187						
MEPで、ダンスを9 村立のユニークな現代美術館からの贈り物 アンフォルメル中川村美術館						D	ドーム	43	
飯田市美術博物館での中学校部活動について—一九九八年飯田市立緑ヶ丘中学校での実践—	横村 洋介 加山	飯田市美術館研究紀要	9						
マンガ美術館 リアルさ追求し作品の魅力再現 「原作」超え創造も[いがらしゆみこ美術館]	加藤 仁	日 経	9.4						
イサムノグチ庭園美術館開館		新美術新聞	862						
ひと「イサム・ノグチ庭園美術館」を実現した 和泉正敏さん	伊勢 剛	朝 日	5.16						
アトリエを庭園美術館に 世界的彫刻家故イサム・ノグチ氏の活動拠点 香川県牟礼町 世界的功績若い世代へ		産経夕刊	2.1						
放射線 日米文化の懸け橋[イサム・ノグチ庭園美術館]	小倉 忠夫	東京夕刊	9.14						
イサム・ノグチの美術館誕生 石に命吹き込む創造の磁場	稲垣 直子	日 経	5.16						
急募学芸員になろう「街角キュレーター」制度[板橋区立美術館]		新美術新聞	867						
街角キュレーターに13人が合格 板橋区美		"	877						
CURATOR・美術館の舞台裏 何故「街角CURATOR」は生まれたか[板橋区立美術館]	尾崎 真人	展 評	1						
CURATOR・美術館の舞台裏 尾崎氏を追う[板橋区立美術館]	白石 牧子	"	"						
記念館を開館させるということ	青木 司	伊能忠敬記念館年報	1						
天心記念五浦美術館開館及び開館記念展の広報について	征矢 真一	茨城県近代美術館研究紀要	6						
日本画体験BOX—日本画トランクー[茨城県天心記念五浦美術館]	村木 正英	茨城県近代美術館だより	46						
特集1 この国は、まだ「天心の夢」の中にある 茨城県天心記念五浦美術館						D	ドーム	43	

特集2 茨城県天心記念五浦美術館開館記念シンポジウム「天心と近代日本美術のあゆみ」完全再録	高階秀爾 パネリスト 兼コーディネーター 木下長宏 藤尾道安 森田義之 パネリスト	" "	第一級韓国陶磁など奇贈 在日韓国人実業家、大阪市に375点[大阪市立東洋陶磁美術館]	日 経	1.23
入館者対策と現状—茨城県天心記念五浦美術館の試み	大久保 武	博物館研究	東洋陶磁美術館に新コレクション 韓国陶磁の名品ズラリ 来月、大阪で一般公開[大阪市立東洋陶磁美術館]	竹田 博志	" 2.14
続・伊万里あれこれ(12) 今右衛門古陶磁美術館を観る	小木 一良	陶 説	近つ飛鳥工房でハンズ・オンしてハンズ・オンする一発見、気づき、考え、楽しむための展示に向かって[大阪府立近つ飛鳥博物館]	一瀬 和夫	大阪府立近つ飛鳥博物館報 4
ヴィトラ・デザイン・ミュージアム	藤田 治彦	美術フォーラム21	(情報昨今)大阪府立弥生文化博物館の活動—より親しめる博物館をめざして—	渡辺 昌宏	大阪の歴史と文化財 3
江戸友禪資料館で再出発 来月から墨田の『墨泉庵』		東京	世界初の陶板名画美術館誕生 「空想美術館」実現まで[大塚国際美術館]	前場 理沙	博物館研究 370
博物館見学プログラム「さがしてごらん、カミさまはどこにいる？」—子供のための教育活動の試み—	鈴木 有紀	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	週中講座 大塚国際美術館	中谷 桂子 青柳 正規 大塚 正士 塚的 幸雄	産経夕刊 4.21
研究室から 学芸員の自己内省—民俗展示に思うこと—[愛媛県歴史文化博物館]	大木 敬久	歴博だより	放射線 大原美術館	小倉 忠夫	東京夕刊 8.24
劣化の石造文化財修復方法のカルテ 大分県の博物館が作成 [大分県立歴史博物館]		日 経	子供向けの美術館 [大原美術館]		日 経 8.27
大分市立美術館オープン 田能村竹田を目玉に高山辰雄らゆかりの作家など作品約1000点を収蔵		新美術新聞	「人氣が爆発だ！」東京・青山の岡本太郎記念館	渋谷 和彦	産 経 1.17
ピカソと私11 大川栄二さん[大川美術館]	田中 幸美	産 経	遊学スコープ 岡本太郎記念館 芸術に生きた巨匠しのぶ	吉沢 理	読売夕刊 11.4
家庭に宿るインドの神々 駐在中に神像350体収集、あつい信仰心に学ぶ[大倉集古館]	山内 利男	日 経	特集3 3つのエピソード 市民と学芸員が交換日記?常設展示作品をめぐるエピソード 岡山県立美術館	柳沢 秀行 ゲスト	ド ー ム 47
平成9年度新収蔵資料紹介	北川宮本 裕次信 跡部	大阪城天守閣紀要	1999年・北海道の美術状況 二つの町立美術館が開館 [小川原脩記念美術館]	吉田 豪介	新美術新聞 880
二つの祖国[大阪市立東洋陶磁美術館]	(石)	朝日夕刊	沖縄県立博物館における教育普及活動—活動の歴史とその背景—	仲底 善章	博物館研究 371
第一級の陶磁器351件、45億円相当を寄贈 東京在住の韓国人男性大阪の美術館に[大阪市立東洋陶磁美術館]		産 経	車いすからみた美術館6 小田急美術館	山下 和子	「美の世界」通信 23
			自然光だけの美術館 安藤忠雄氏設計日暮れとともに閉館 滋賀・日野町「赤い帽子 織田廣喜ミュージアム」		読売夕刊 4.28

尾道白樺美術館オープン 梅原龍三郎の旧宅を移築	新美術新聞	863		歌川国芳「木曾街道六十九次」全作品を入手 岐阜県博物館	産経夕刊	4.12
(カ行)				車いすからみた美術館5 ギャラリーTOM	山下 和子	「美の世界」通信 22
【動向 博物館活動】博物館における調査研究事業と特別展— 神奈川県立歴史博物館の場合—	嶋村 元宏	地方史研究	279	コルビュジエ作品収集 西新宿の美術館再訪者続々10万人突破[ギャラリー・タイセイ]	朝 日	5.8
「現代美術」の拠点を継承 閉、休館後に多彩な試み セゾン、川口両美術館	石川 健次	毎日夕刊	7.23	西新宿ギャラリー・タイセイ「建築」テーマの美術館来場者10万人に	読 売	5.11
現代アート考 非営利の画廊活動[かわさきIBM市民文化ギャラリー]	三田 晴夫	"	4.15	百年の悲願—大きく動き出した九州国立博物館(仮称)の設置について	松枝 功	博物館研究 372
川崎市岡本太郎美術館オープン	新美術新聞	877		九州国立博物館(仮称)基本計画の概要	新構想博物館の整備に関する調査研究委員会	文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU 63
人らんだむ 川崎市岡本太郎美術館のオープンを迎えた館長の村田慶之輔さん	(西)	"	"	九州国立博物館(仮称)基本計画	"	"
特集1 どうなる美術の教育 第1章日本の美術教育ここが問題だ 美術教育の新たな拡張と実験の場としての美術館 岡本太郎美術館の場合	仲野 泰生	美術手帖	770	「九州国立博物館」建設へ アジアとの交流テーマ	脇地 炯	産 経 2.14
川崎市岡本太郎美術館オープン	池上ちかこ	"	780	京都市 町の財産、小学校跡生かす 姿残し博物館・芸術拠点[京都芸術センター]	海野 太郎	日 経 3.14
ニッポン現場紀行 岡本太郎美術館 ヤノベケンジさんと行く	鈴木 繁	朝 日	2.19	史料目録 京都国立博物館所蔵文書「例規録」件名目録	館史編纂班	学 叢(京都国立博物館) 21
太陽そそぐ中「母の塔」建つ 川崎の岡本太郎美術館		東京夕刊	1.20	京都市 町の財産、小学校跡生かす 姿残し博物館・芸術拠点[京都市学校歴史博物館]	海野 太郎	日 経 3.14
岡本太郎美術館の「母の塔」全容現す		日経夕刊	1.20	東京・遊学スポット 玉堂美術館		東 京 3.5
太郎人気再び爆発だ!! 川崎市岡本太郎美術館		毎 日	9.23	三の丸尚蔵館とその收藏品 平成に寄贈された旧御物[宮内庁三の丸尚蔵館]	太田 彩	皇室の名宝(週刊日百科) 8
岡本太郎美術館が開館 川崎市 彫刻や絵画 教育・普及の展覧会も		毎日夕刊	11.10	日本画の装飾性・そのルーツ 県立美術館・装飾古墳室への道のり[熊本県立美術館]	松下 博	V i e w 90
私空間 博物館学の実践[川崎市市民ミュージアム]	加藤 有次	朝日夕刊	7.20	体験学習の役割と有効利用—学校団体の利用を中心として—	新井 和良	群馬県立歴史博物館紀要 20
特集1 川村記念美術館「なぜ、これがアートなの？」展が仕掛けたもの	D	ド ー ム	42	学校教育と連携した展示活動—群馬県立歴史博物館「子どものための特集展示むかしのくらし」の事例から	群馬県立博物館	博物館研究 372
ヴェネツィアのガラス芸術『北鎌倉小瀧美術館』開館に寄せて	水田 順子	東京夕刊	4.30			

したまち新空間1 現代芸術の城誕生 若手作家と「美への 夢」追う[現代美術製 作所]		読 売	2. 3	博物館はどう利用さ れ、今何が求められ ているか「堺市博 物館」についての市 政モニターアンケー トから	中井 正弘	博物館研 究	374
特集 現代美術の素 材と技法 現代美術 の「素材と技法」を変 えた4つの潮流 世 界の第一線のアー ティストの技法が間 近に見られるユニークなスペース[現代 美術センターCCA 北九州]	中村 信夫 イヴュー 井口き	美術手帖	769	天声人語[佐喜眞美 術館]		朝 日	6. 4
9. 25高知豪雨		高知県立 美術館 ニュース	23	沖繩の肖像 シマン チュの声 基地に面 した美術館[佐喜眞 美術館] 反戦画家 の“謝罪”に感銘、意 志継ぎ10年	城内 康伸	東 京	8. 8
展覧会チラシに点字 がついた[高知県立 美術館]		新美術新 聞	865	画廊を閉じることは 新たな出発の始まり [佐谷画廊]	佐谷 和彦	読売夕刊	12. 24
神戸市立博物館にお ける学校との連携事 業	磯辺 次雄	神戸市立 博物館研 究紀要	15	あっと・わーく 美 術館学芸員 サント リー美術館 丹羽理 恵子さん		日経夕刊	6. 14
高野山霊宝館の開設	永島福太郎	日本歴史	608	《特集・博物館の ネットワーク》利用 者による情報発信の 場としての博物館 [滋賀県立琵琶湖博 物館]	布谷 知夫	MUSE- OLOGI- ST	14
ART NEWS 高麗 美術館を襲った窃盗 団	金 巴望	芸術新潮	590	原点を見つめる[滋 賀県立琵琶湖文化 館]	藤井 芳男	博物館研 究	369
車いすからみた美術 館4 国立西洋美術 館	山下 和子	「美の世 界」通信	21	MEPで、ダンスを 8「シズオカ人と 美術を結ぶ会」と、 静岡県立美術館の ワークショップ		D	ド ー ム 42
「みんなく電子ガイ ドシステム」の開発 [国立民族学博物館]	栗田 靖之	民博通信	85	特集2 3つのエ ピソード東アジアの 近代はタブーだった？ 果敢に挑んだ学芸員 たちのエピソード 静岡県立美術館	越智裕二郎 李美那 ゲスト	"	47
民族学博物館・大英 博物館… 世界の収 藏品同時に閲覧 イ ンターネットを活用 [国立民族学博物館]		日経夕刊	6. 12	ミュージアム・トー ク'98PART4 島根 県立美術館の展望	副島三喜男	島根県立 西部美術 館 準備 ニュース	8
歴史の証人 写真に よる新収藏品紹介 或る嘶家の蒐集[国 立歴史民俗博物館]	高橋 敏	歴 博	97	島根県立美術館オー プン 宍道湖畔「水 の物語」展で開幕		新美術新 聞	856
ART SPOT 児玉美 術館 南国に光彩を 放つ海老原ブルー		日経アー ト	124	島根、名古屋に公立 美術館 受難の時代 に、あえて挑戦[島 根県立美術館]		毎日夕刊	4. 1
九谷焼の展示館が開 業 石川県小松市に [小松市立錦窯展示 館]		日 経	5. 10	特別展「墨の彩— (財)日本博物館協 会の複製画による水 墨画の世界」を実施 して[下妻市ふるさ と博物館]	樋口 正信	博物館研 究	375
(サ 行)				ニッポン現場紀行 昭和館 井出孫六さ んと行く	上田 穎人	朝 日	4. 9
齋宮歴史博物館の復 元・模型資料	榎村 寛之	齋宮歴史 博物館研 究紀要	8				
斎藤記念川口現代美 術館 無期休館へ スポンサーの資金打 ち切り		新美術新 聞	858				
埼玉・川口現代美術 館資金難で休館へ 活動継続の道を模索	(前)	読売夕刊	3. 10				

平成11年定期刊行物所載文献(そ／美・博・画日サ行)

わが家を博物館に [昭和のくらし博物 館]	小泉 和子	江戸東京 たてもの 園だより	14		中村隆夫 武田厚 井関正昭 村英樹 金沢毅 南條生夫 近藤幸史 海野弘二 野坪健 大坪二宏 南長谷川 長谷川晃 藤枝雄 谷市田幸 前尾常 生尾太郎 峯村敏 川口直 赤津侃 静倉和子 倉林靖			
「昭和のくらし博物 館」をオープンして	"	歴史地理 教育	596					
私の「お宝」見てくだ さい 自宅や店に身 近な「博物館」[昭和 のくらし博物館]		朝 日	4.1	アンケート特集 さ よならセゾン美術館 Part2 セゾン(西 武)美術館が遺した もの				855
保存しよう庶民の暮 らし 昭和のくらし 博物館	林 涼子	東 京	8.15					
生家を「昭和の暮ら し博物館」に 生活 史家小泉和子さん	鈴木志津子	毎 日	3.4					
伝統の美意識[神宮 美術館]	小倉 忠夫	東京夕刊	10.12					
ART SPOT スキュ ルチュール江坂		日経アー ト	125	「セゾン美術館・お 別れの会」の混乱の 中で感じたこと	油井 一人	"		856
西武ギャラリー開設 SMA館を改装改称、 イルムス館2階に		新美術新 聞	861	新美術時評 セゾン 美術館の消滅	清水 敏男	"	"	
セゾン・アート・プ ログラム(SAP) ポ スト美術館活動が明 らかに 今秋にも始 動		"	857	アンケート特集 さ よならセゾン美術館 Part3 セゾン(西 武)美術館が遺した もの	山脇一夫 所明義 柳田昭 正木基 菅原猛 日向あ 村田慶 堂本尚 郎	"	"	
セゾンアートプログ ラム始動	上田久美子	産 経	6.27					
文化往来 セゾン美 術館の精神継ぎ新拠 点[セゾンアートプ ログラム・センター]		日 経	7.13	セゾン美術館閉館で メモリアルシンポ		"	"	
《特別記事1 イン タビュー》まず学芸 員の意識改革を一セ ゾン美術館の経験か ら 田村信寿さんに 聞く	編 集 部 聞き手	あ い だ	42	展覧会図録で回顧す る美術展この1年 グローバル・スタン ダードを目指した企 画展&カタログ[セ ゾン美術館]	難波英夫 石川健次 聞き手	美術(月 刊)		280
特集 セゾンとアート の関係から見えて くること[セゾン美 術館]		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	165	夢なら正夢38 さ らば百貨店、名門出 版社、大新聞社、そ して美術館[セゾン 美術館]	米倉 守	"		283
STARDUST とんが って25年、セゾン美 術館の閉幕		芸術新潮	592	西武美術館/セゾン 美術館の25年	三田 晴夫	美術手帖		768
ワシオ・ト シヒコ 永井信一 宝木範 加藤義 酒井貞 飯沢雄 耕太郎 伊東康 小倉順 原田二 佐正史 宇佐実 田圭司 池田龍 平井雄 末永亮 佐藤照 勅使多 日夏純 海老露 塚耕一		新美術新 聞	853	特集 最新東京ア ート&カルチャー完 全ガイド デパートと 美術館 西武・セゾ ンを軸に	村田 真	"		774
アンケート特集 さ よならセゾン美術館 part1 セゾン(西 武)美術館が遺した もの		新美術新 聞	853	セゾン美術館閉館 現代美術の先端歩む 企業文化戦略の枠超 えた斬新さ	渋沢 和彦	産 経		2.28
				『セゾン美術館』の25 年の業績を回顧 閉 館迎え『お別れ会』		東京夕刊		2.27
				時代精神の根拠地 セゾン美術館が遺し た課題 現在の断面 と歴史的展望を結ぶ 場	宇佐美圭司	"		3.5



セゾン美術館四半世紀の歴史に幕 現代美術で活動継続		日 経	2.2	旧陪審法廷、記念館に[桐蔭学園横浜大学、メモリアルアカデミウム]	保泉 淳子	毎日夕刊	6.22
不況と美術館の行方 セゾン美術館閉館を考える	三田 晴夫	毎日夕刊	3.12	私財投じ「オペラシティ」に美術館[東京オペラシティアートギャラリー]		日 経	9.6
「現代美術」の拠点を継承 閉、休館後に多彩な試み セゾン、川口両美術館	石川 健次	"	7.23	東京オペラシティアートギャラリー 9月9日オープン	高岡 忠雄	新美術新聞	871
実践報告 学齢期を対象とした「美術鑑賞教室」—鑑賞教室プログラムを中心に—世田谷美術館	大庭 秀幸	世田谷美術館紀要	6	東京画廊・石井利治氏に聞く—生い立ちから三ツ喜ビル時代の東京画廊まで—	五十殿利治 佐竹 美奈 中山ゆかり 聞き手	現代芸術研究	3
(夕 行)				社会に開かれた大学として 大学美術館 歌田眞介館長にきく [東京芸術大学大学美術館]		ア ー ト ト ッ プ	173
東京・遊学スポット 大名時計博物館		東 京	3.12	東京芸大美術館お披露目		新美術新聞	868
各界の盆栽愛好者文化継承知恵絞る[高木盆栽美術館]		日 経	9.12	35万人がみた 芸大美術館にオリジナル・グッズ		"	881
マンガ美術館 リアルさ追求し作品の魅力再現「原作」超え創造も[宝塚市立手塚治虫記念館]	加藤 仁	"	9.4	今秋オープン東京芸大に美術館 近現代美術の主流一堂に開館記念で所蔵の名品公開[東京芸術大学大学美術館]	渋沢 和彦	産 経	7.4
ワンポイント・ミュージアム42 たばこと塩の博物館 展示室には、キセルをふかす「浮世絵」美人が	D	ド ー ム	42	名品ズラリ集うファン 東京芸大美術館開館1ヶ月で13万人		"	11.3
多摩美術大学美術館 オフ・キャンパスの施設 2000年開館 旧東京国際美術館の建物を取得		新美術新聞	880	読者応答室 東京芸大の新しい美術館の特徴は	塩野 栄	東京夕刊	8.9
開館三十周年に思う 古丹波蒐集八十年 [丹波古陶館]	中西 通	陶 説	554	東京芸大美術館がお披露目 膨大な所藏品、10月に開館へ	石川 健次	毎日夕刊	7.26
学校団体による千葉県立中央博物館利用アンケート結果—開かれた博物館をめざして—	小川力 岡本 直也	千葉県立中央博物館研究報告	12	東京芸大美術館と東博平成館 国宝、重文、名品そろえ開館		"	10.13
《特集・博物館のネットワーク》博物館のネットワークの実践事例[千葉県立美術館]	米田 耕司	MUSEOLOGIST	14	芸大に美の殿堂 美術館が完成10月オープン[東京芸術大学大学美術館]		読売夕刊	7.5
暮らしとインテリア 小さな美術館[千葉市美術館]		東 京	5.23	東京国立近代美術館の増改築にあたって	市川 政憲	現代の眼	517
遊学スコープ ちひろ美術館 絵本作家の息遣い伝わる	吉沢 理	読売夕刊	9.30	夏休みの美術館 工芸館での鑑賞教室報告と、各地のワークショップ見学レポート [東京国立近代美術館]	一条 彰子	"	518
箱根「彫刻の森美術館」開館30周年	鈎持 邦弘	産 経	1.8	東京国立博物館 新法隆寺宝物館がオープン		新美術新聞	865
“人にやさしい美術館”新たなスタート 箱根「彫刻の森美術館」		"	3.31	東京国立博物館平成館 10月12日開館		"	872
彫刻の森美術館30周年に寄せて	酒井 忠康	東 京	8.1	東京国立博物館法隆寺宝物館開館によせて	金子 啓明	文化財(月刊)	430

皇太子殿下御成婚記念 東京国立博物館 平成館の概要	竹内 茂	文化財 (月刊)	433	「殿堂」休館に大困惑 公募展開催どうなる 東京都美術館の2002年改修問題	近藤康太郎 朝 日	1.14
博物館書目誌稿 皇室之部 徳川頼貞氏 寄贈品のうち銅駝坊 旧蔵書一[東京国立博物館]	佐々木利和	MUSE-UM	560	争点ルポ都知事選 文化財政との両立 [東京都美術館]	読 売	4.3
おすすめアート 生まれ変わった法隆寺 宝物館 東京国立博物館 法隆寺宝物館	原田 環	朝日夕刊	7.29	東北歴史資料館25年の歩み—展示を振り返って—	東北歴史資料館報	28
法隆寺宝物館の改築終了 来月20日から 常時公開 東京国立博物館		東京夕刊	6.12	「東北歴史博物館」に引き継ぐ	" "	" "
東博本館無料開放を 魅せる展示へ優美な 演出 東京国立博物館がリニューアル	(大 人)	"	12.2	街の20世紀遺産 遠山記念館 母への思い…没落した生家再興	横江初太郎 産 経	3.18
法隆寺宝物館へ	稲垣 直子	日 経	10.3	ひとつの画廊の終焉 と周縁の観客のつどひ [ときわ画廊]	八田 淳 あいだ	39
東京芸大美術館と東博平成館 国宝、重文、名品そろえ開館	竹西 寛子	"	11.14	ときわ画廊の閉廊 35年の軌跡 一時代を築いた場の重み	高島 直之 美術手帖	768
今年の建築 美しい美術館建築とは [東京国立博物館]		毎日夕刊	10.13	常滑に『やきものの里』	東京夕刊	6.10
薬剤頼らず文化財保護 東京国立博物館 虫・カビの薫蒸見直し 内装、空調強化へ	新見 隆	"	12.28	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 空虚な中心と周縁の危機	暮沢 剛巳 あいだ	37
生まれ変わった法隆寺館 飛鳥期の宝物ぐっと身近に	松田誠一郎	読売夕刊	8.20	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 富山県立近代美術館の問題の原点	堀 浩哉 " "	" "
昔を伝える建物25棟を 復元展示 江戸東京たてももの園		東 京	1.29	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 作家として考えること—美術と制度	長谷 宗悦 " "	" "
来て見て触って！！ 館内の複製で自由に 体験 江戸東京博物館		東 京	5.5	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて なかなかキモチが見えてこないもどかしさ—初期のころをふりかえって	三頭谷鷹史 " "	" "
春秋[東京都江戸東京博物館]		日 経	3.11	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 富山県立近代美術館問題という博物館問題	犬塚 康博 " 38	" "
入り口の分かりにくい 江戸東京博物館 案内表示もっと親切に	竹永 昌代	毎 日	2.23	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 作品売却に対する私見	松永 康 " "	" "
プロジェクトが立ち 上がってゆくととき— 美術館とアーティストの 試み	森 千花	東京都現代美術館 紀要	4	[特集] 富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 非公開以前のこと	島 敦彦 " "	" "
みどころ・解説助っ 人いかが ガイドポ ランティア活躍中 [東京都現代美術館]		朝日夕刊	2.19			
できるかな公約 チェック 箱モノ売却 [東京都現代美術館]		産 経	4.3			
青島都知事 都現代美術館初視察で『閉鎖論』を批判		東 京	3.19			

[特集]富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 縄文の縄で首を吊れるか	大浦 信行	"	"	冬を時代を生き抜く「妹」美術館の先駆性 [名古屋ポストン美術館]	(盛)	朝日夕刊	7.5
[特集]富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 『あいだ』版知の技法—比較文学篇 芸術攻撃の話	編集部 編	"	"	17日に開館した名古屋ポストン美術館の初代館長 小倉忠夫さん	(斎)	東京	4.22
[特集]富山県立近代美術館事件：国家賠償訴訟地裁判決をうけて 一枚の枯葉—いわゆる「天皇 コラージュ裁判」といわゆる「千円札裁判」のことなど	今泉 省彦	"	40	名古屋ポストン美術館開館 来日のロジャース館長に聞く	井上 昇治	東京夕刊	4.27
利用者の知る権利を侵害 「大浦訴訟」で原告一部勝訴[富山県立近代美術館]		新美術新聞	852	ひととき 17日にオープンする名古屋ポストン美術館館長 小倉忠夫さん 海外との文化交流促す		日 経	7.6、13、27.8.3、10.17、24.31、9.28、10.19、26.11.2、9.12.21、12.28
安曇野の小さな町の美術館から[豊科近代美術館]	以倉 新	国立国際美術館月報	79	名古屋ポストン美術館オープン 米国の至宝日本に常設 世界初の姉妹館形式	坂本 憲一	"	4.18
「トリックアート美術館」30日リニューアル・オープン	井上 英介	毎 日	10.15	新世紀へはばたく中部 美術館 再開発の目玉に[名古屋ポストン美術館]		日経夕刊	5.28
問われる没後作家の人格権 井上有一の作品展示問題と背景 [長野県信濃美術館]	中安 安規	朝日夕刊	3.3	島根、名古屋に公立美術館 受難の時代に、あえて挑戦[名古屋ポストン美術館]		毎日夕刊	4.1
学芸課ノート 博物館実習後記	山田 伸彦	名古屋市博物館だより	126	ポストン美術館 名古屋に初の海外姉妹館	岡本 隆明	読売夕刊	4.14
博物館のボランティア	水谷栄太郎	"	127	大型美術展 都心でOK スペース難ようやく解消 場所貸し 施設建設へ[ナショナル・ギャラリー]		産 経	1.30
ウィーン市歴史博物館での「侍と武士道」展を終えて	井上 光夫	"	130	古都の修学旅行「予習」はお任せ 奈良国立博物館が“プレ講座”		日 経	3.9
馬場駿吉美術館参与へのインタビュー [名古屋市美術館]	(S.Y.)	ア ー ト ペーパー	42/43	ひと 奈良国立文化財研究所長就任から2カ月余り 町田彰さん	大森 顕浩	毎 日	6.15
「心でみる美術展 歩く彫刻・聴く彫刻」に関する報告 [名古屋市美術館]	角田美奈子	名古屋市美術館研究紀要	8	成川美術館 いまを生きる美術館 日本画と大自然との対話	富田 芳和	美術(月刊)	283
名古屋市美術館ボランティア導入の経緯と考え方	神谷 浩 伊藤 優子	"	"	企画展は一流でも閑古鳥 [新津市美術館]		東京夕刊	11.18
ポストン美術館から拝借して、名古屋に姉妹館オープン [名古屋ポストン美術館]		芸術新潮	594	ニキ美術館を訪れたニキ・ド・サンファル	桜井ただひさ	美術手帖	766
名古屋ポストン美術館開館 20年で3500万ドル難産の末に		新美術新聞	859	1999年・北海道の美術状況 二つの町立美術館が開館 [西村計雄記念美術館]	吉田 豪介	新美術新聞	880
名古屋ポストン美術館 所蔵品持ため初の試み	井上 隆生	朝 日	4.23				

平成11年定期刊行物所載文献(そ／美・博・画日ナ、八行)

一九九九年(平成十一年) 日動画廊の一年	編集部 編	絵	429	福岡アジア美術館がオープン 同じ地平で向かい合う	中村 英樹	朝日夕刊	3.8
日本新聞博物館 資料15万点集め来秋横浜に開館		毎 日	10.15	福岡アジア美術館開館 多彩なアート大集合	稲垣 直子	日 経	3.7
沼田絵本美術館 原画の素晴らしさ子供たちに	五十嵐英美	"	7.21	福岡アジア美術館がオープン 同じ地平で向かい合う	中村 英樹	"	3.8
ワンポイント・ミュージアム45 常陸国雨情の里 野口雨情記念館	D	ド ー ム	45	順風のスタート切った福岡アジア美術館いきなり「ダリ展」同情、反対…論議呼ぶ	石川 健次	毎日夕刊	4.16
	(八 行)						
「明治村修景改造計画」	西尾 雅敏	明治村だより	15	“他者との共存”はぐくむ 福岡アジア美術館オープン	菅原 教夫	読売夕刊	3.11
「明治村の蔵書について」其三	中野 祐子	"	"	真のアジア交流へ地道な対話が必要 「アジアマンス」で考える[福岡アジア美術館]	"	"	10.6
ワンポイント・ミュージアム44 財団法人 長谷川町子美術館	D	ド ー ム	44	展示会のバックステージ 「宮崎準の助—くすだまとくすぐるまの庭から—」展をめぐる人々[福岡県立美術館]	川浪 千鶴	文明のクロスロード MUSEUM KYUSYU	65
触って遊んで子供の美術館 日本初の常設館、静岡にオープン[ビュフェこども美術館]			産経夕刊 8.17				
特集1 市民が参加してつくった展覧会 平塚市美術館「幻想植物園」展の新鮮度	D	ド ー ム	44	ars—WG1998年度第8講報告 畑千代美(福岡市美術館)「図書室をめぐる冒険—福岡市美術館図書室が活動してきたこと」	住広 昭子 笠井真一郎 中村 節子	アート・ドキュメンテーション通信	41
ワンポイント・ミュージアム46 平山郁夫美術館	"	"	46	福岡東洋陶磁美術館の開館まで一館長・溝口虎彦氏に聞く—	森 孝一	陶 説	553
特集1 3つのエピソード あのデッサンが贋作? 話題の著書『ゴッホの遺言』をめぐるエピソード ひろしま美術館	古谷 可由 ゲスト	"	47	近づいていく博物館と学校—「出前授業」(アウトリーチ・プログラム)の実践を中心に—	長島 雄一 鈴木 功	福島県立博物館紀要	14
創造的なコミュニケーションをめざす福岡アジア美術館	後小路雅弘	国立国際美術館月報	84	展示資料の簡易色分布調査—福岡県立博物館常設展示室展示資料の場合—	相田 優	"	"
福岡アジア美術館オープン アジア近現代美術の世界的拠点に		新美術新聞	855	とびだせ開拓記念館 [北海道開拓記念館]	吉田 和夫	博物館研究	375
特集 アジアの美術 福岡アジア美術館のコレクションを中心に	後小路雅弘 黒田 雷児 ラワンチャイ イクン 寿子	美術手帖	766	北海道開拓記念館の現状と課題	氏家 等	民博通信	86
特集 アジアの美術 アジア美術館の誕生 アジア・コレクションとアジア美術展の20年	後小路雅弘	"	"	美術館における教育活動についての一考察—北海道立近代美術館の例をもとに—	久米 淳之	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	1998—99
ひと 開館近い福岡アジア美術館の学芸課長 後小路雅弘さん	伊佐 恭子	朝 日	3.12	破たんの遺産 拓銀所蔵の絵 来月一般公開[北海道立近代美術館]		読 売	3.11
				新設館の紹介 北海道立釧路芸術館	地家 光二	NORTH-ERN OWLS	10

北海道立釧路芸術館	"	博物館研究	375	戦死画学生の「生き た証」長野県上田 市「無言館」で展示	松崎 健 小松崎祐太 尾崎 玲奈 西山奈央子	読 売	7. 11
北海道立北方民族博 物館のこと	岡田 宏明	民博通信	85	開館した元外相東郷 茂徳記念館	小浜 健児	歴史地理 教育	590
(マ 行)							
幕張メッセと幕張北 澤美術館		東 京	4. 24	(ヤ・ラ・ワ行)			
写真家の秋山庄太郎 さん 作品 無償提 供、常設へ 町田市 フォトサロン建設進 む	泰 淳哉	"	7. 4	ガリ版の美技一堂に 印刷物から機械まで 7000点、会社敷地に 資料館[山形謄写印 刷資料館]	後藤 卓也	日 経	9. 7
エコ観光列島2 松 と砂浜の美術館 鳥 の足跡の展示品に		日経夕刊	11. 17	山口博物館80年のあ ゆみ	吉本 一雄 伊原慎太郎	山口県立 山口博物 館研究報 告	25
ワンポイント・ ミュージアム43 ミ サワバウハウスコレ クション	D	ド ー ム	43	《特集・博物館の ネットワーク》市民 と博物館[横須賀市 自然・人文博物館]	大場 信義	MUSE- OLOGI- ST	14
宮崎駿アニメの世界 再現 13年秋、三鷹 に市立动画美術館 [三鷹の森ジブリ美 術館]		産 経	2. 20	財団法人による公立 美術館の管理運営を めぐってー横浜美術 館の場合	陰里 鉄郎	博物館研 究	374
マンガ美術館 リア ルさ追求し作品の魅 力再現 「原作」超え 創造も[三鷹の森ジ ブリ美術館]	加藤 仁	日 経	9. 4	米子市美術館の建設 経緯ー地方美術館 に関するケース・ ワークとしてー	野中 明	"	371
「ジブリ美術館」2001 年10月開館 概要決 定[三鷹の森ジブリ 美術館]		読 売	7. 4	このごろ通信 レト ロ商品美術館が開館 串間努さん(B級文 化評論家)	内藤麻里子	毎日々刊	11. 5
トトロ、もののけ姫 …井の頭公園に集合 「三鷹の森ジブリ美 術館」2001年10月 開 館概要決定		"	"	「このごろの美術 館は」編集長インタ ビュー 「眼と精 神ーフランス現代美 術」展を終えて	奥村 泰彦 編集長 インタ ビュー	和歌山県 立近代 美術館 ニュース	20
三越美術館・新宿が 閉鎖へ 8月新宿南 館の閉鎖に伴い		新美術新 聞	850	学校教育における博 物館活用法を探るー 一学校と和歌山県立 歴史博物館の連携の 深まりを願ってー	西村 充司	和歌山県 立博物館 研究紀要	4
三越美術館新宿 最 後も「ダリ」展		"	857	特集 ここはまるで 芝居の見世物小屋だ あ〜！ 早稲田大学 演劇博物館		芸術新潮	593
絵画好んだ両親しの び美術館[水上村・ 川のほとりの美術 館]		東京夕刊	5. 20	ワセダの杜の“演劇 廃棄物”見物記[早稲 田大学坪内博士記念 演劇博物館]	荒俣 宏	" "	" "
ワンポイント・ ミュージアム47 MIHO MUSEUM	D	ド ー ム	47	全世界は劇場なり 坪内逍遙と演劇博物 館[早稲田大学坪内 博士記念演劇博物 館]	菊池 明	" "	" "
子どものための美術 展 たんけんミュー ジウム	宮城県美術 館	博物館研 究	372	エンパク実見ショッ ク覚めやらず対談 [早稲田大学坪内博 士記念演劇博物館]	松本幸四郎 荒俣 宏	" "	" "
ミュゼ浜口陽三・ヤ マサコレクション	渋谷 和彦	産 経	1. 31	〈リニューアル情報〉 早稲田大学坪内博 士記念演劇博物館 古 稀の再生	鳥越 史蔵	博物館研 究	369
占守島悲歌 「無言 館」に税金がもどっ た話	窪島誠一郎	芸術新潮	593				
天声人語[無言館]		朝 日	6. 4				

海外

(ア行)

日本人ペルー移民が設立 天野博物館、息吹き返す「人質事件」で観光客激減の会支援で乗り切る

日経夕刊 5.36

ピカソの作品切り裂かれる アムステルダム市立現代美術館

産 経 5.18

ピカソ切られる アムステルダムの美術館

東 京 5.18

特集 ベルリン ラスト・ユートピア アルト&パートナー ミッチェを牽引する若手ギャラリスト2

嘉藤 笑子 美術手帖 767

特集 ベルリン ラスト・ユートピア ヴォーンマシーン ミッチェを牽引する若手ギャラリスト1

" " "

自然と歴史への旅—雲南の博物館を訪れて—

亀井 節夫 徳島県立博物館研究報告 9  
日下 武久

ロシアの有力美術館 国外での分館作り推進 慢性的な経営難解消めざす[エルミタージュ美術館]

伊熊 幹雄 読売夕刊 12.22

国立ゴッホ美術館「さまよえるオランダ人」今もなお

森 忠彦 毎日夕刊 7.19

ゴッホ美術館 新館オープン 安田火災が建設費25億円を寄付

新美術新聞 868

ゴッホ美術館 黒川紀章氏らが新館建設に一役

日 経 4.30

ゴッホ美術館新館が完成 アムステルダム

" 6.24

オルセーを参考に [JR奈良駅舎]

多川 俊映 日経夕刊 7.17

(カ・サ・タ行)

グルノーブル美術館の改造

能美 栄子 博物館研究 370

WORLD REPORT オランダ[コブラ美術館]

廣川 覚子 美術手帖 768

アジェンデ美術館が“亡命”作品集め開館 赤リ[サルバドル・アジェンデ連帯美術館]

朝日夕刊 10.14

シーボルト邸を「江戸」展示館に ライデン[シーボルトハウス] 日 経 4.30

パリ便り ジャック・マール=アンドレ美術館

孝子・トビー 絵 427

WORLD Los Angeles 全米日系人博物館華々しく新館オープン

藤森 愛実 芸術新潮 591

ネットで学ぶ「古代エジプト」大英博物館の収蔵品題材 小中学生向けサイト完成

笠間亜紀子 読 売 12.1

ギリシア美術館 訪問客が年々増加

日 経 5.10

公開待たれる「チリダ美術館」 自然への愛鉄と石で表現

奥田 裕 産 経 11.21

(ハ行)

会館三年目を迎えた『パリ日本文化会館』

阿部 雅延 新美術新聞 850

モダン・アートの風は東から 開館10周年を迎えたバレンシア近代美術館

坂田 幸子 ユリイカ 417

特集 ベルリン ラスト・ユートピア ビュー・ロフリードリッヒ オルナタティヴ・アートの磁場として

嘉藤 笑子 美術手帖 767

フィジー博物館と考古学部門の新設

木口 祐史 MUSEOLOGIST 14

パリ便り プシャール美術館

孝子・トビー 絵 424

日影 眩の360°のニューヨーク62 美術史上ダントツの大騒動? 「SENSATION」展 [ブルックリン美術館]

日影 眩 ギャラリー(月刊) 175

日影 眩の360°のニューヨーク63 NYに火事場嵐を巻き起こす「若い英国作家たち」[ブルックリン美術館]

" " 176

NY・ブルックリン美術館補助金打ち切り騒動 「反宗教的」か表現の自由か

近藤康太郎 朝 日 10.7

地球万華鏡 聖母マリアの胸にゾウの排泄物 下劣か芸術か 全米絵画論争 批判のNY市長「美術館助成やめる!」[ブルックリン美術館]

松浦 一樹 読 売 10.3

丸井今井 ペテルブルグ美術館が休館経営再生策の一環、次回展示の予定立たず	新美術新聞	851	特集 いま全地球が注目している！北の民族 アイヌに学ぼう [Ainu: Spirit of a Northern People, ワシントンD. C.、スミソニアン国立自然史博物館、4/30-2000/1/2]	野本 正博 佐々木利和	芸術新潮	595	
近代ペルーにおける考古学の消費—国立博物館の誕生と民族の隠蔽—	関 雄二	民博通信	85	ワシントンでアイヌ展 文化財や工芸品など200点[「アイヌ—ある北方民族の精神」展、スミソニアン博物館、4/30-2000/1/2]			
米ゲッティ博物館 収蔵品3点盗品だった 古代ギリシャの酒杯などイタリヤへ返還[ポール・ゲッティ美術館]		読 売	2.6	スミソニアン博物館のアイヌ展 舞台裏に日米先住民夫妻の活躍 [Ainu: Spirit of a Northern People, ワシントンD. C.、スミソニアン国立自然史博物館、4/30-2000/1/2]	産 経	5.1	
特集 ベルリン ラスト・ユートピア ホフマン・コレクション	嘉藤 笑子	美術手帖	767	光と音の世界 現地の素材で バングラデシュ・ビエンナーレ報告[アジア・アート・ビエンナーレ9回、バングラデシュ、ダッカ、11/26]	新沼 秀男	”	5.4
(マ・ヤ・ラ行)							
レンブラントの絵 本物と模写が逆転 [マウリッツハイス美術館]		朝日夕刊	2.22	WORLD REPORT プリスベン[アジア太平洋トリエンナーレ3回、クイーンズランド・アート・ギャラリー、9/9-2000/1/26]			
「本物」の自画像実は模写だった レンブラントの初期作品 [マウリッツハイス美術館]		東京夕刊	2.12	アジア太平洋トリエンナーレを見て パワーアップした中国勢[アジア太平洋トリエンナーレ3回、オーストラリア、プリズベン、クイーンズランドアート・ギャラリー、9/9-2000/1/26]	中村 誠	毎日夕刊	11.26
レンブラント自画像 実は「模写」が本物 [マウリッツハイス美術館]		日経夕刊	2.12	アジア・パシフィック・トリエンナーレに見る豪州気質 多様性尊ぶ「地図のない旅」[アジア太平洋トリエンナーレ3回、オーストラリア、プリズベン、クイーンズランド州立美術館、9/9-2000/1/26]			
パリ便り ユダヤ美術歴史博物館	孝子・トビー	絵	423	WORLD REPORT イスタンブール[イスタンブールビエンナーレ、9/17-10/30]	岩切 みお	美術手帖	780
美術界初の夜通し開館 ロスのゴッホ展 明け方でも人出絶えず [ロサンゼルス郡美術館]	撰待 卓	日経夕刊	5.18		金澤 毅	毎日夕刊	10.6
ソウルに「ロダン美術館」	樋口正一郎	産 経	5.2				
海 外 展							
(ア 行)							
日影 眩の360°のニューヨーク55 86年後の「アーモリー・ショウ1999」 [第69連隊兵器庫、2/19-2/22]	日影 眩	ギャラリー(月刊)	168		建畠 哲	読売夕刊	11.14
アール・ヌーヴォーとデコの陶芸展	由水 常雄	毎 日	9.1				
会田誠inアイスランド 痛感! ローカル・アートの問題点 [会田誠&フリヌル・ハルソン展、アクレイリ市立美術館、8/14-9/26]	名古屋 覚	美術手帖	780		市原研太郎	美術手帖	780

WORLD REPORT ラインランド[一条 美由紀「記憶の反乱」 展、BBK(ケルン芸 術家協会)、3/ 4-28]	清水 穰	美術手帖	770	第48回ベネチア・ビ エンナーレ報告・上 中国現代美術で新鮮 味[6/13-11/7]	菅原 教夫	読売夕刊	6.28
ソウルの「井上有一 遺墨展」「破格的な 文字」に強い関心[芸 術の殿堂・書芸館、 6/5-27]	中安 宏規	毎日	6.22	第48回ベネチア・ビ エンナーレ報告・中 映像アート元氣[6 /13-11/7]	"	"	6.29
特集 今世紀最後を 飾るアートの祭典 ヴェニス・ビエン ナーレに行こう[6 /13-11/7]		ギャラ リー(月 刊)	171	アメリカ合衆国にお ける欧米日本古美術 展「江戸—日本の 美術—六一五—一八 六八—展」「ワシント ンD.C.、ナシヨナル ・ギャラリー、 1998/11/15-99/ 2/15]	斎藤 孝正	文化財 (月刊)	428
第48回ヴェニス・ビ エンナーレ 日本コ ミッショナーに塩田 純一氏 参加作家に 宮島達男氏と「時の 蘇生」柿の木プロ ジェクト[6/13- 11/7]		新美術新 聞	860	WORLD REPORT ニューヨーク[大井 成義展、シルヴァー スタイン画廊]	杉浦 邦恵	美術手帖	779
ヴェネツィア・ビエ ンナーレの受賞作 異彩を放つ蔡國強作 品[6/13-11/7]	森口 水翔	"	869	WORLD Praha 大 成浩の彫刻と東欧バ ロックのハーモニー [大成浩展「風と蜃気 楼」、チェコ、ブラ ハ国立美術館・東洋 館、6/20-9/ 5]		芸術新潮	596
特集1 第48回ヴェ ネツィア・ビエン ナーレ詳報 今年の ビエンナーレの印象 は? ヴェネツィア でアートピープル14 人に聞いてみました [6/13-11/7]	児島やよい +編集部 取材・構成	美術手帖	775	盛会裏に終わった小 倉遊亀バリ展	小倉 雅子	新美術新 聞	862
特集1 第48回ヴェ ネツィア・ビエン ナーレ詳報 西洋中 心主義から離れて [6/13-11/7]	小倉 正史	"	"	小倉遊亀さんバリで 個展 繊細な日本画 に反響		朝 日	2.17
特集1 第48回ヴェ ネツィア・ビエン ナーレ詳報 アイデ ンティティからサブ ジェクティヴィティ へ ネイションから デ・テリトリズムへ ビエンナーレ審査に 参加して[6/13- 11/7]	長谷川祐子	"	"	(カ 行)			
特集1 第48回ヴェ ネツィア・ビエン ナーレ詳報 抵抗の アート[6/13-11 /7]	市原研太郎	"	"	木の造形、ウィーン で加賀谷氏個展[加 賀谷武展、ハウス・ ワイトゲンシュタイ ン、6/1-11]		日 経	6.22
第48回ベネチア・ビ エンナーレ 注目集 める中国の作家 美 術の枠組みを超える宮 島氏[6/13-11/ 7]	山盛 英司	朝日夕刊	8.12	WORLD London 大英博物館がゲッ ト! 日本から流出し た神楽面[「神楽」 展、5/8-8/ 29]		芸術新潮	598
宮島氏らが出品 ベ ネチア・ビエンナー レ[6/13-11/7]		毎日夕刊	4.8	WORLD New York 安全ピンが伸びるく ねる河田多美子の屋 外彫刻[河田多美子 展、イギリス、ハン プトンズ・ロングハ ウス保護地、8/ 7-9/19]		"	"
				パリで「具体美術協 会」展 伝わらぬ創 造の活気 名品とし ての鑑賞に限界[国 立ギャラリー・ ジュ・ド・ポーム、 5/4-6/27]	飯山 雅英	朝日夕刊	7.22
				「倉俣史朗の世界」巡 回展回想録	内田 洋子	視 る	383
				WORLD REPORT ラインランド[栗林 隆展]	清水 穰	美術手帖	775



グローバル・コンセプチュアリズム展 [ニューヨーク、クイーンズ美術館、4/28-8/29]	彦坂 尚嘉	新美術新聞	863	「水墨画」で世界に挑戦[上海ビエンナーレ、上海美術館・劉海粟美術館、1998/10/20-11/20]	藤山 純一	美術(月刊)	280
グローバル・コンセプチュアリズム展 [ニューヨーク、クイーンズ美術館、4/28-8/29]	富井 玲子	" "	" "	オー"Jomon"! パリで大人気[「縄文」展、パリ日本文化会館、1998/9/29-11/28]		芸術新潮	589
現在通信from NEW YORK 抑止された視覚性(1)[グローバル・コンセプチュアリズム—その諸起源展、クイーンズ美術館、4/28-8/29]	"	" "	870	海外情報 菅井汲の大作展日本文化会館で開催	水原 冬美	美術(月刊)	287
WORLD REPORT 台北[芸術真説、生活真説展、花園新城、5/23-6/12]	鷺見 明彦	美術手帖	774	ハンゲル書活況際立つ「世界書芸ビエンナーレ」地元韓国に熱気	田中 節山	読売夕刊	6.29
現代日本のテキスタイル展[ニューヨーク近代美術館、1998/11/12-99/1/26]		デザインの現場	101	WORLD REPORT ニューヨーク[曾根裕展 デヴィッド・ツヴァーナ画廊]	杉浦 邦恵	美術手帖	779
NY発「現代日本のテキスタイル」展 手織の絹織物から囲み網漁の網、カーボンファイバーまで (「Structure and Surface—Contemporary Japanese Textile」展、ニューヨーク近代美術館、1998/11/12-99/1/26)	川上 典子	" "	" "	(タ行)			
WORLD REPORT ニューヨーク「構造と表面：現代日本の織物」展[ニューヨーク近代美術館、1998/11/12-99/1/26]	杉浦 邦恵	美術手帖	768	トヨ・ツチヤ写真展 [アジア・アメリカン・センター、5/21-6/26]	富井 玲子	新美術新聞	864
日影 眩の360°のニューヨーク58 NYの孤独とOne Twenty Eight画廊 [齋藤清光展、-5/15]	日影 眩	ギャラリー(月刊)	171	1990年代、日本的PC(ポリティカル・コレクティブ)のゆくえ[「テイストと探求—1990年代の日本美術展」、ニューヨーク国立近代美術館、1998/12/26-99/1/20]	清水 哲朗	美術手帖	769
南米美術の今を見る社会との結びつき緊密に[サンパウロ・ビエンナーレ24回]	金澤 毅	毎日夕刊	3.25	ベルリンのゲーマーを興奮させた「トキョー・テクノ・ツーリスモ展」[クンスト・ウント・テクニク、1998/12/12-12/27]	ニナ・フイツシャー マロアン・エルザニ 矢羽々 崇 訳	" "	768
WORLD REPORT ニューヨーク[篠原有司男・ロッキー鹿児島二人展「ガラブ・ン・ギャロップ」、アジア・アメリカン・センター]	杉浦 邦恵	美術手帖	768	「どないやねん!」がどないやねん? [「どないやねん!—日本の想像力」展、パリ国立美術学校、1998/9/22-11/30]	林 洋子	" "	766
				「どないやねん!」展はいかなる機能を果たしたか[「どないやねん!—日本の想像力」展、パリ国立美術学校、1998/9/22-11/30]	清水 敏雄	" "	769
				日影 眩の360°のニューヨーク52 俯瞰する人生：鳥光桃代と村井啓乗のNY初個展[モメンタ・アート、-1998/10/19]	日影 眩	ギャラリー(月刊)	165

(ナ 行)

「99日・韓交流展」  
開催!! 実行委員  
長鈴木雅博氏独り  
ポート  
美術の窓 188

WORLD REPORT  
ニューヨーク[第一  
歩:日本からでてき  
たアーティスト展、  
グレイ・アート画  
廊、1/29-3/  
20]  
杉浦 邦恵 美術手帖 770

WORLD New York  
米国人の収集品に見  
る竹籠の匠の美[日  
本の竹籠展、アジ  
ア・ソサエティー・  
ギャラリー、2/  
18-5/30]  
藤森 愛実 芸術新潮 594

(ハ 行)

WORLD REPORT  
ニューヨーク[バラ  
ダイス8展、エグ  
ジツト・アート、1  
/16-4/3]  
杉浦 邦恵 美術手帖 770

パリで東山魁夷展開  
幕[三越エトワール、  
11/23-2000/  
1/5]  
柴山 重久 日 経 11.24

ピサの斜塔真つづく  
に 日本人ら美術展  
計 画[ピサ・プロ  
ジェクト2000、2000  
/9/3-24]  
産 経 12.4

平松礼二展 韓国で  
初の日本画展開催一  
熱気ある質疑応答  
[光州市、光州日報  
ビル、1998/10/  
24-30]  
編 集 部 美 術(月  
平松 礼二 刊) 280

WORLD REPORT  
ニューヨーク  
「ファッションにお  
けるジャポニスム  
展」[ブルックリン美  
術 館、1998/11/  
20-99/2/14]  
杉浦 邦恵 美術手帖 768

フィリップ・モリ  
ス・アート・アワード  
1998[ニューヨーク  
大 学、グレイ・  
ア ート・ギャラ  
リ ー、1998/1/  
29-3/20]  
高橋 葉子 " 769

「光の画家」ポール・  
フジノ パリで初の  
遺作展[ポール・フ  
ジノ(藤野周作)遺作  
展、フランス大蔵省  
ギャラリー、9/  
30-10/15]  
池村 俊郎 読売夕刊 10.14

WORLD REPORT  
ロサンジェルス[本  
多 眞 吾 展、LA・  
ア ートコア、9/  
1-9/30]  
高橋 謙輔 美術手帖 779

(マ 行)

WORLD REPORT  
ラインランド[松井  
紫 朗 展、カーラ・  
シ ュツウツァー画  
廊、1998/1.1/  
6-99/1/15]  
清水 穰 美術手帖 768

タンポポを描いて15  
年 木版画家・松山  
徹さん タイ・バン  
コクで作品展[3/  
20-4/8]  
国保 良江 東 京 3.14

MANGA展[パリ日  
本文化会館、10/  
12-12/28]  
(す) 朝日夕刊 12.13

マンガの居場所 パ  
リのMANGA展での  
反応[パリ日本文化  
会館、10/12-12/  
28]  
夏目房之介 毎日夕刊 10.22

フランス人に日本マ  
ンガを読ませる法  
パリのMANGA展を  
企画して[パリ日本  
文化会館、10/12-  
12/28]  
" " 11.11

日本「MANGA」展パ  
リで開催[パリ日本  
文化会館、10/12-  
12/28]  
細萱 敦 読売夕刊 12.3

南川三治郎「アトリ  
エの巨匠・100人展」  
展[イセ文化基金  
ギャラリー、1/  
21-3/6]  
富井 玲子 新美術新  
聞 853

Issei Miyake Mak  
ing Things展[パ  
リ、カルティエ現代  
美術財団、1998/10  
/13-99/2/28]  
小倉 正史 美術手帖 767

WORLD REPORT  
ベルリン[宮本隆司  
写真展、芸術家会館  
ベタニエン、10/  
8-11/7]  
河井 純枝 " 780

日 影 眩 の360° の  
ニューヨーク52 俯  
瞰する人生:鳥光桃  
代と村井啓乗のNY  
初 個 展 [Liebman  
Magnan画 廊、一  
1998/10/17]  
日影 眩 ギャラ  
リー(月  
刊) 165

現在通信from NEW  
YORK 意味の無意  
味の意味(1)、(2)  
[村上隆展、バー  
ド・カレッジ美術  
館、6/27-9/  
12]  
富井 玲子 新美術新  
聞 873、874

WORLD REPORT  
 ニューヨーク[村上隆：スバースロート展 マリアン・ボースキー画廊、1/16-2/18]

藤森 愛実 美術手帖 769

WORLD REPORT  
 ニューヨーク[村上隆回顧展「意味の無意味の意味」、バード大学美術館、6/12-9/12]

杉浦 邦恵 " 777

生きる標し[メルボルン・ピエンナーレ、5/14-7/11]

光田 由里 展 評 1

第1回メルボルン・ピエンナーレ「サイズ・オブ・ライフ」レポート「5/14-7/11」

平野 到 美術手帖 775

森山大道NY個展[森山大道写真展：「野良犬」「狩人」、ニューヨーク、ジャパン・ソサエティ・ギャラリーとメトロポリタン美術館]

富井 玲子 新美術新聞 875

米で評判 森山大道の写真「曖昧な戦後日本を視覚化」[森山大道写真展：「野良犬」「狩人」、ニューヨーク、ジャパン・ソサエティ・ギャラリーとメトロポリタン美術館]

笠原美智子 読売夕刊 10.21

(ヤ・ラ行)

海外情報 戴内佐斗司展三越エトワールで盛況

水原 冬美 美術(月刊) 287

NYで「ピゼン」広める[山本雄一展]

川西 和夫 毎日夕刊 6.15

WORLD REPORT  
 ニューヨーク[篠原有司男・ロッキー鹿兒島二人展「ガルプ・ン・ギャロップ」、アジア・アメリカン・センター]

杉浦 邦恵 美術手帖 768

## 美術展覧会図録所載文献

### 企画展

#### ア 行

アートイング東京1999：21×21展  
セゾン現代美術館 セゾンアートブ  
ログラム[主催]

#### § Answer to the Question §

水上 央子  
清岡 正彦  
岩熊 力也  
出口 貴子  
眞島 竜男  
仁木 智之  
金田 勝一  
川島 亮子  
市川 武史  
吉田 重信  
斉藤 裕之  
横谷 奈歩  
杉山 靖尚  
酒井 香奈  
倉山 裕昭  
木暮 伸也  
齋藤 芽生  
安田 千絵  
朴 眩妹  
河口 彩  
豊嶋 康子

アイヌの四季と生活 十勝アイヌと  
絵師・平沢屏山 埼玉県立博物館

十勝アイヌの民具  
とその所蔵先 内田 裕一

平沢屏山とアイヌ  
絵 佐々木利和

最後のアイヌ絵  
師—平沢屏山 五十嵐聡美

青い目の人形展 八戸市博物館

青い目の人形につ  
いて

青木コレクション名品展 知られざ  
る広重の肉筆を中心に 千葉市美術  
館他

青木コレクション  
について—成立の  
歴史と概要— 馬頭町美術  
館準備室

祖父のコレクショ  
ン 青木 久子

広重の肉筆風景  
画—大和絵伝統の  
名残り— 小林 忠

川村清雄の人と作  
品 高階 秀爾

青の表現展 歌会始御題にちなみ  
式年遷宮記念神宮美術館

「青」の競演—昭和  
以降の美術から— 中村 潔

「あを」の日本の特  
性—洋画と工芸に  
探る— 深田 一郎

アクション1949—1979展 行為が  
アートになるとき 東京都現代美術  
館

虚空への跳躍—パ  
フォーマンスとそ  
のオブジェ ボール・シ  
ンメル

身体と場—日本の  
戦後美術における  
アクション 尾崎信一郎

身振りとおブ  
ジェ—アクション  
という解放—ヨー  
ロッパにおけるパ  
フォーマンス・  
アート ヒューバー  
ト・クロッ  
カー

生の戦略—全体像  
と主眼点—ブエノ  
スアイレス ロン  
ドン リオデジャ  
ネイロ サンティ  
アゴ1960—1980年 ガイ・ブ  
レッド

無垢な悦び—世界  
各地のアート・ア  
クション クリス  
ティーン・  
スタイルズ

動詞としての美  
術—進化する連続  
性 レスリー・  
キング=ハ  
モンド  
ロウリー・  
ストーク  
ス・シムズ

行為がアートにな  
るとき—東京展に  
よせて 岡村 恵子

アトリエの謎 ミュージアム・コレ  
クション'79—'99 Part 3 開館  
20周年記念 板橋区立美術館

「出来たもの勝負」  
—白井謙二郎氏に  
きく— 松岡希代子  
聞き手

アトリエが建つま  
で 古沢 岩美

生きものとの対話 寺田 政明

「自分で何かを驚  
きたい」—清塚紀  
子氏にきく— 佐々木英理  
子聞き手

「木の声がききた  
い」—深井隆氏に  
きく— 松岡希代子  
聞き手

「生への実感とし  
てのフィールド  
ワーク」—丸山常  
生氏にきく— 佐々木英理  
子聞き手

安土城・1999 特別史跡安土城跡発  
掘調査10周年成果展 滋賀県立安土  
城考古博物館

安土城と織田信長 脇田 修

阿波の華 徳島城 徳島市立徳島城  
博物館

「阿波の華 徳島  
城」概説 根津 寿夫

安徽省博物館名品展—中国悠久の至  
宝— 高知県立美術館

安徽の類稀なる  
宝—風土、物産、  
そして、人— 回 良玉

安徽省博物館のご  
紹介 鄧 朝源

安徽省博物館を歩  
きながら—中国と  
日本の美術をすこ  
し… 鍵岡 正謹

アングラ 日本のポスターのアヴァ  
ンギャルド 1960—1980展 武蔵野  
美術大学美術資料図書館

近代を乗り越えた  
ポスター デイヴィッド  
・グッド  
マン

演劇ポスターの黄  
金時代 扇田 昭彦

すべてはポスター  
からはじまった—  
「現代演劇のアー  
ト・ワーク60'S  
~80'S」展から11  
年 小堀 純

状況を作る運動の  
デザイン 及部 克人

井伊家伝来の名宝—近世大名の文と  
武— サントリー美術館

井伊家の歴史と大  
名道具 斎藤 望

彦根屏風の魅力と  
井伊家 高木 文恵

斑鳩寺—その宝物と歴史—絵画と彫  
刻 太子町立歴史資料館

斑鳩寺の絵画につ  
いて 知念 理

斑鳩寺の彫刻につ  
いて 栗岡 清高

斑鳩寺の歴史 栗岡 清高  
 石田三成一秀吉を支えた知の参謀一  
 市立長浜城歴史博物館  
 石田三成の生涯一  
 その出自と業績一 森岡 栄一  
 太田 浩司  
 豊臣政権と石田三  
 成 小和田哲男  
 イタリア未来派写真展 名古屋画廊  
 未来派写真表現と  
 モダニズムの呪い 河添 剛  
 イタリア・ルネッサンス美術展  
 フィレンツェとヴェネツィア エル  
 ミタージュ美術館所蔵 国立西洋美  
 術館  
 エルミタージュの  
 イタリア・ルネサ  
 ンス絵画一それら  
 はいかにして獲得  
 されたか イリーナ・  
 アルテミエ  
 ワ 新田建史、  
 越川 倫明  
 翻訳  
 タチアヤナ  
 ナ・クスト  
 ジェワ 本間 紀子  
 翻訳  
 セルゲイ・  
 アンドロソ  
 フ 新田 建史  
 翻訳  
 絵画と彫刻をつな  
 ぐもの一ヤコボ・  
 サンソヴィーノと  
 パラゴーネ ブルース・  
 バウチャー  
 吉川 珠衣  
 翻訳  
 ヴェネツィアの  
 フィレンツェ人一  
 15世紀彫刻を中心  
 に 遠山 公一  
 ティツィアーノ、  
 トスカーナ人た  
 ち、同時代の芸術  
 批評 越川 倫明  
 伊能忠敬が描いた日本 徳島県立博  
 物館  
 伊能忠敬の測量と  
 地図作成 平井 松午  
 祈りのかたち一東北地方の仏像 東  
 北歴史博物館  
 東北地方北部の仏  
 像 大矢 邦宣  
 東北地方南部の仏  
 像 若林 繁  
 古き山の神断想 嶋田 忠一  
 茨城の歌仙絵一華麗なる歌人の姿一  
 土浦市立博物館  
 三十六歌仙絵につ  
 いて 小川 知二  
 ヴィクトリア&アルバート美術館所  
 蔵 英国水彩画100選展 入間市博

物館他  
 序文 ロナルド・  
 パーキンソ  
 ン  
 断想・近代日本の  
 水彩画と英国の水  
 彩画 福田 徳樹  
 上野の森美術館大賞展16回入賞者展  
 吉井画廊  
 §作家の言葉§ 出射 茂  
 笹田 敬子  
 塚本 英一  
 西宮 房子  
 橋本美智子  
 森井 宏青  
 浮世絵師たちの神仏一錦絵と大絵馬  
 に見る江戸の庶民信仰一 渋谷区立  
 松濤美術館  
 江戸の庶民信仰 宮田 登  
 庶民信仰を描いた  
 浮世絵師たち 徳 俊彦  
 浮世絵師たちの神  
 仏一近世の神の表  
 現を中心に一 矢島 新  
 うさぎワンダーランド 石川県立歴  
 史博物館  
 かたちになった兎  
 たち 本谷 文雄  
 暮らしの中の兎た  
 ち 〃  
 兎の造形 展示資  
 料を中心に 〃  
 資料編 うさぎ物  
 語一兎造形基礎資  
 料集成一 〃  
 海一海流に乗った古代の恋物語一  
 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館  
 恋多き大国主神一  
 その通婚の軌跡一 藤岡 大拙  
 四隅突出型墳丘墓  
 一覽  
 高志の中の出雲文  
 化 藤田富士夫  
 海を渡った陶磁器展 景德鎮・伊万  
 里・デルフト そごう美術館(横浜)  
 他  
 フローニンゲン博  
 物館所蔵、東洋の  
 輸出磁器とデルフ  
 ト焼 クリステイ  
 アーン・ヨ  
 ルグ  
 近世陶磁器の出發  
 と展開 下川 達弥  
 永青文庫十七回展 白隠と仙厓 細  
 川護立コレクションの原点 熊本県  
 立美術館  
 白隠と仙厓展概説 村田 栄子

座談記録 昭和拾  
 五年十月二十二日  
 (第六回) 白隠和  
 尚について 細川 護立  
 述  
 仙厓コレクション  
 を語る 細川 護立  
 述  
 西村 南岳  
 エイブル・アート'99 このアート  
 で元気になる 東京都美術館  
 「エイブル・ア  
 ー」案内記 服部 正  
 エコール・ド・パリとその時代展  
 笠間日動美術館他  
 エコール・ド・パ  
 リの光と影 深谷 克典  
 タイタニックから  
 シャネルまで一20  
 世紀パリの余白  
 に一 山田登世子  
 パリの写真世界 横江 文憲  
 1910年代から1930  
 年代にみるパリの  
 モード 福家由美子  
 越境する民族文化 いきかう人び  
 と、まじわる文化 国立民族学博物  
 館  
 …なぜ「越境する  
 民族文化」なのか 中牧 弘允  
 エディンバラの工芸展 京都国立近  
 代美術館  
 エディンバラの工  
 芸 フィリパ・  
 スワン  
 大脇美智子  
 訳  
 江戸小紋と型紙 極小の美の世界  
 渋谷区立松濤美術館  
 「きもの」文化の中  
 の小紋染 長崎 巖  
 日本の型染小史 水上嘉代子  
 江戸小紋と染め型  
 紙 大滝 幹夫  
 型紙からのメッ  
 セージ 増井 一平  
 江戸小紋小史 着  
 物と型紙にみる小  
 紋の発生と展開 福井 泰民  
 江戸時代の瀬戸内海 海道をゆく  
 愛媛県歴史文化博物館  
 伊予八幡の藩船と  
 参勤交代 井上 淳  
 瀬戸内海の本陣と  
 御茶屋 東 昇  
 「客船帳」、「入船  
 帳」にみる伊予の  
 廻船 〃  
 吉田先家流生花門  
 人の基礎的考察 井上 淳

江戸南画の潮流 1 谷文晁と鈴木芙蓉 飯田市美術博物館

江戸南画における文晁と真景図 河野 元昭  
鈴木芙蓉と江戸南画の潮流 横村 洋介

江戸の華 浮世絵展 錦絵版画の成立過程 町田市立国際版画美術館

江戸木版画の開花期—浮世絵師たちの台頭— 佐藤 光信  
一枚絵と揃物 大久保純一  
名数一役者絵における諸例 森山 悦乃  
浮世絵における名数題材略解 岩切友里子  
套印本の周辺 『御馬印』—多色刷りの源流 大沼 晴暉  
多色摺り絵俳書について 岡崎 久司  
我が国の版彩色の技術的源泉を求め 雲英 末雄  
河野 実

江戸の華 歌舞伎絵展—近世初期風俗画から幕末浮世絵まで— 東武美術館

江戸の華—歌舞伎絵— 諏訪 春雄  
初期役者絵の展開 武藤 純子  
役者絵における似顔表現の変遷—歌川派を中心に— 藤澤 茜  
歌舞伎の歴史 田口 章子

江戸モード大図鑑—小袖文様にみる美の系譜— 国立歴史民俗博物館他

服飾史のなかの小袖—なぜキモノに文様があるのか— 丸山 伸彦  
文様を読む—「木賊と兎」よきこときく」文様の意味とその周辺— 小池 三枝  
きものファッションと江戸モード—描かれた風俗と美の系譜— 小澤 弘

江戸モードの諸相—歌舞伎衣裳流行晰— 佐治ゆかり

絵本の100年展 大丸ミュージアム KOBE他

子ども達への贈り物 20世紀アメリカの絵本 レナード・S・マーカス

絵馬展 神に捧げた祈りの美 福岡県立美術館

特別展「絵馬」開催にあたって 魚里 洋一

絵巻物—アニメの源流館 千葉市美術館

日本人はアリスの同類だった 高畑 勲  
寮仲間と展覧会—「絵巻物—アニメの源流」展をめぐって— 辻 惟雄  
江戸のアニメ「写し絵」 佐々木千賀子  
続・むかしむかし、日本には映画があった 黒田 泰三  
対談 マンガ・アニメ的表現と十二世紀 夏目房之介  
高畑 勲

役行者と修験道の世界 東武美術館

役行者像から見た修験の世界 西川 新次  
修験道の歴史と役行者 宮家 準  
葛城の修験とその遺品 宮崎 泰年  
金峯山山上下山と大峯 首藤 善樹  
役行者像—岩座に腰掛けて坐るということ 石川 知彦  
伝説の尊像、蔵王権現 藤岡 穰  
霊山聖地の曼荼羅 米屋 優

オーストラリアの現代工芸展 クロスカルチャーと生活の美 北海道立近代美術館他

オーストラリアの工芸—多様なアイデンティティ— グレイス・コ克蘭  
オーストラリアの現代工芸シーンを 見て 苦名 真

岡倉天心とボストン美術館 名古屋ボストン美術館

「與古為徒」—古美術とともに：岡倉覚三と中国 呉 同

正当性の提唱—岡倉覚三とボストン美術館日本コレクション— アン・ニシムラ・モース

ナショナル・アイデンティティ、アジアの理想、そして美術家—岡倉がボストンで紹介した日本美術院 エミコ・K・ウスイ

『ボストン美術館紀要』のなかの岡倉覚三 山口 静一

お店の広告展 おもしろ引札大図鑑 群馬県立歴史博物館

引札 おもちゃ絵の世界展 天理ギャラリー

「おもちゃ絵の世界」から明治を見る

織り・染め・縫いの宇宙 インドネシア・スマトラ島の染織 エイコ・クスマ・コレクション 福岡市美術館他

スマトラ島とその染色 スワティ・カルティワ都築 悦子 訳

アチェの文化と工芸 プスピタサリ・ウィビソノ 都築 悦子 訳

北スマトラ州 トバ・バタック人の染織 スハルディニ 都築 悦子 訳

西スマトラ州のミンカンカバウ人 ニアン・S・ジユムナ 都築 悦子 訳

ジャンビのバティック スワティ・カルティワ都築 悦子 訳

パレンバンの染織 "

中央高地：ルジャンとパセマ ジュディ・アフヤディ 都築 悦子 訳

ランブンの染織 スワティ・カルティワ都築 悦子 訳

ランブンのピダ プスピタサリ・ウィビソノ マルワンシャ・ワルガヌガラ 都築 悦子 訳

折るころ 折り紙の歴史 龍野市立歴史文化資料館

折り紙の流れ 岡村 昌夫  
森脇家旧蔵のおりがみ資料について 高木 智

宮廷・公家の「折り紙」 穴戸 忠男

折り紙の文化史考—折り紙神話・体験・歴史的証言を中心に— アン・ヘリング

オルセー美術館展 19世紀の夢  
と現実 神戸市立博物館他

19世紀の人間—夢  
と現実 カロリー  
ヌ・マ  
チュール・バ  
スター  
高橋 明也  
隠岐由紀子  
訳

夢の終わり—戦争  
と美術家たち 高橋 明也

リアリティの源  
泉—印象派と浮世  
絵版画の一視点 岡 泰正

オルレアン美術館展 ロココからエ  
コール・ド・パリまで 宇都宮市美  
術館他

オルレアン美術館  
の歴史の変遷につ  
いて エリック・  
モワネ

森、都市そして海  
へ 18~19世紀:  
小説と絵画にみる  
視線の行方 青木 理

女たち/国境を越えて展 天竜市立  
秋野不矩美術館

「女たち/国境を  
越えて」協力と  
共同 ロレイン・  
セレナ

カ 行

海洋国家・薩摩—薩摩に鎖国はな  
かった— 鹿児島県歴史資料セン  
ター黎明館

「海洋国家・薩  
摩—薩摩に鎖国は  
なかった—」展示  
の歴史的背景 徳永 和喜

考古学 海上交流  
にみる貿易陶磁器 元田 信有  
栗林 文夫  
重久 淳一

薩摩藩の琉球支配  
と中国情報 紙屋 敦之

鎖国時代の中国貿  
易 原田 博二

近世薩摩出土の東  
南アジア陶磁と薩  
摩の海外活動 新田 栄治

画家と額縁展 もうひとつの美術史  
西宮市大谷記念美術館

多面体の鏡—日本  
近代美術史のなか  
の額縁 大熊 敏之

西洋近代の額縁を  
めぐって—美術館  
は額縁をどう考え  
るか 宮崎 克己

日本人が額縁を意  
識した時—南蛮・  
阿蘭陀時代の額— 岡 泰正

日本に於いての額  
縁 岩松 是親

鏡を作る 海獣葡萄鏡を中心として  
奈良国立文化財研究所飛鳥資料館

海獣葡萄鏡 杉山 洋

飛鳥池遺跡の工房  
復元 ”

中国周辺における  
銅鏡 白杵 勲

柿右衛門—その様式の全容— 佐賀  
県立九州陶磁文化館

展覧会について  
—概説— 家田 淳一

柿右衛門研究史  
—柿右衛門作品観  
の変遷— 藤原 友子

柿右衛門様式の技  
術的特徴について 鈴田由紀夫

酒井田柿右衛門家  
所蔵の土型につい  
て 吉永 陽三

カザールコレクション 文具 さま  
ざまな蒔絵技法 石川県輪島漆芸美  
術館

大阪市立美術館の  
カザールコレク  
ション 土井久美子

没後100年 勝海舟展 東京都江戸  
東京博物館

慶応戊辰の海舟 勝部 真長

狩野永納—その多彩なる画業— 兵  
庫県立歴史博物館

紙展 TOSA—TOSA' 99 高知県立  
美術館

“氣を呼吸する精  
神生命紙”メモよ  
り 井田 照一

作業の実際 岩村 伸一

紙とのつきあい 樞尾 正次

和紙と私 北 泰子

§ 作家の言葉 § 北古味可葉

” 坂本 直昭

無謬なるものへ 辻 けい

和紙デニム—ジ  
ーンズを作る 浜井 弘治

「遠景の座標」より 御獄 伊紗

§ 作家の言葉 § 宮田 福美

” 横谷 研二

増殖する世界 吉田富久一

現代美術と紙 風  
流の昔恋しき紙子 鍵岡 正謹

「TOSA — TOSA  
'99紙」視覚と感覚  
の出会い 影山 千夏

感覚の解放 東京オペラシティア  
ー トギャラリー開館記念企画展 東京  
オペラシティアートギャラリー

§ 東京 オペラシ  
ティアートギャラ  
リーの開館によせ  
て § ディヴィッ  
ド・エリ  
オット

” ロバート・  
ストー

” ジェルマ  
ン・ヴ  
アイ  
アット

感覚の解放—「見  
えない糸」のポテ  
ンシャル 片岡 真実

関西の戦後美術 1950's~1990's 和  
歌山県立近代美術館

§ 関西の戦後美術  
1950's~1990's § 安來 正博

観音山古墳と東アジア世界—海を越  
えた水瓶と鏡の縁— 群馬県立歴史  
博物館

北斉の蓋のある細  
頸銅瓶の変遷 張 慶捷

武寧王とその出土  
遺物について 金 英媛

武寧王陵文物をめ  
ぐる東アジア世界 小田富士雄

武寧王陵と百濟 早乙女雅博

観音山古墳発掘調  
査の意義 梅澤 重昭

記憶/記録の漂流者たち 東京国際  
写真ビエンナーレ展 3回 東京都写  
真美術館

記録・記憶の漂  
流者たち 伊藤 俊治

ロバート・パーク  
ハリソン ケイト・ブ  
リーキー

有り得ない客観性 フランク・  
ミッチェル

創造的記録のため  
に 港 千尋

存在と非存在を沈  
思黙考するイメ  
ージ チェ・テ  
マン

歴史、ドキュメン  
トそして再構築 フリッツ・  
ギースベル  
グ

研究、罪のない  
嘘、まねごとにつ  
いて ウルス・ス  
ターエル

現実の描写から意味の構築まで	ジョアン・フォンベルタ	北九州ビエンナーレ5回 繰り返しと連続性の美学展 北九州市立美術館	建築と工芸	ヤナ・ホルネコヴァー
記憶の復活：記憶の力	ブレッド・ロジャース	繰り返しあるいは連続性の美学 黒岩 恭介	アール・デコと彫刻	マグダレーナ・ユジーコヴァー
記憶された身体—アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫展 国立西洋美術館	クリストフ・ガイスマール=ブランドイゼル・バルタ=フリードリ 佐藤 直樹	桑山忠明：空間へ	アール・デコと絵画	アレーナ・ポマイズロヴァー
「記憶された身体—アビ・ヴァールブルクのイメージの宝庫」のための序論	イルゼピル・バルタ=フリードリ 加藤 哲弘	江上計太、連続と非連続の繰り返しという美学—モダニズムという名の積み木崩し—	世紀を超えて—19世紀末から20世紀初頭のボヘミア チェコと日本	遠藤 望
「凱旋から心理劇まで：探求と発見、あるいはある思索好きな男の冒険」—アビ・ヴァールブルクが研究した身ぶり言語の図版シリーズについて	アビ・ヴァールブルク 加藤 哲弘	光をあらわすために	チェコの専門教育	ヤナ・ホルネコヴァー
図版集『ムネモシュネー』のための序文	加藤 哲弘	反転する容器 真武真喜子	近世公家の生活と伝統文化 冷泉家展 そごう美術館(奈良)他	小倉 嘉夫
イメージの記憶とその歴史的機能：図版集『ムネモシュネー』について	加藤 哲弘	宮廷の装束 京都国立博物館	江戸時代の冷泉家	田母神克幸
複製される思考空間—アビ・ヴァールブルクの知的遺産とその再生—	佐藤 直樹	宮廷の装束 仙石 宗久	宮廷をめぐる食卓文化—普段使いの器を探る—	鈴木由紀夫
形式的特異性の人類学のために—ヴァールブルクの発想に関する考察—	ジョルジュ・ディディ=ユベルマン 三宅真紀・赤間 啓之 訳	饗宴 伝統の美 宮内庁三の丸尚蔵館	京都と伊万里焼	冷泉 為人
危機の時代と絵画 1930—1945 愛知県美術館	牧野研一郎	[資料]宮中の御膳—『類聚雑要抄』と『類聚雑要抄指図巻』	筆の錦	冷泉 為子
危機の時代と絵画 1930—1945	鯨井 秀伸	京都画壇の俊英たち 京都の日本画 茨城県天心記念五浦美術館	最期の公卿—冷泉 為理の静かな日々—	冷泉 貴実子
1930—1945年の絵画動向	鯨井 秀伸	伝統と創世……象徴としての画塾と美術学校……	近世「のぼの」考—江戸時代の人々が見たヤマトタケル墓— 亀山市歴史博物館	小林 秀樹
帰山窯の100年 初代・井高帰山と妻・芳尾、井高富美、二代・井高帰山、井高洋成の陶業 目黒区美術館	林屋 晴三	京都の日本画について	概説 近世「のぼの」考—江戸時代の人々が見たヤマトタケル墓—	日本画革新の旗手たち 京都国立近代美術館
初代帰山茶碗のこと	樋田豊次郎	京都洋画のあけぼの展 京都文化博物館	近代京都画壇と『西洋』展 日本画革新の旗手たち 京都国立近代美術館	内山 武夫
井高家の陶芸遍歴	二代井高帰山	京都洋画のあけぼの—近代初期洋画の模索—	明治期京都画壇の伝統と西洋	島田 康寛
初代井高帰山—その作陶の軌跡 帰山作陶の素材・技法の範囲		資料紹介1 明治画学館名簿	近代京都の日本画と『西洋』	小倉 実子 編
		資料紹介2 田村宗立 第二回内国博覧会出品解説書(草稿)	関係年表・資料	近代南画展 自然に遊び、自然に謳う 群馬県立近代美術館
		資料紹介3 正田敬蔵、大山周三、蛭川式胤 約定書	南画—江戸から近代へ—	細野 正信
		資料紹介4 正田敬蔵宛、高橋由一 書簡	近代南画史考	大熊 敏之
		京友禅 きのう・きょう・あした 目黒区美術館	近代南画—本展の趣旨と内容—	鶴見 香織
		日本を代表する高度な技術と洗練され尽くした意匠・デザインを誇る友禅	近代日本画の精華50選展 滋賀県立近代美術館コレクション	千葉そごう美術館
		煌めくプラハ 19世紀末からアールデコへ 世田谷美術館	滋賀県立近代美術館と日本画家たち	榮樂 徹
		モダニスタイルの変化—ヨーロッパの文脈におけるチェコ美術	近代日本の風景画 兵庫県立近代美術館・静岡県立美術館所蔵作品共同巡回展 尼崎市総合文化センター	兵庫県立近代美術館
				ベトル・ヴィトリッヒ



近代日本の風景洋画とは?—静岡の側から	下山 肇	大学美術館とそのコレクション	歌田 真介	道は身体のただなかに終わる?	杉田 敦
「風景画」の成立	中島 徳博	乾山と京のやきもの展	高島屋(日本橋)他	メディア・アートが提示する人間とメディア・テクノロジーの関係	森 公一
金と銀 かがやきの日本美術	東京国立博物館	京のやきもの史	中ノ堂一信	「身体」を希求する身体	谷 新
金と銀—かがやきの日本美術—	松原 茂	文人 乾山その人	武内 範男	小杉武久	A. T.
かがやきへの憧憬	松浦宥一郎	京焼と乾山陶—その伝統と創造	荒川 正明	スタジオ・アッズ—ロ	Y. O.
仏の金色相	山本 勉 小林 達朗	京のやきもの解説	中ノ堂一信	椿昇	A. T.
荘厳と装飾	小林 達朗 原田 一敏 島谷 弘幸	現代日本絵画の展望展	東京ステーションギャラリー	砥綿正之+松本泰章	Y. O.
黄金の時代	田沢 裕賀 竹内奈美子	「現代日本絵画の展望」展 座談会	高階 秀爾 内山 武夫 酒井 忠康 安永 幸一 松田 重昭	藤本由紀夫	A. T.
さまざまな表現	田沢 裕賀 伊藤 嘉章 小松 大秀	現代日本画名品展	箱根・芦ノ湖成川美術館所蔵	やなぎみわ	Y. O.
空海とマンダラ	神奈川県立金沢文庫	現代日本画の展開とその動向	村木 明	シンポジウム「溶け出す自己とリアルの行方」	やなぎみわ 梶岡本 昇明 司会
空海がめざすマンダラの総合的な表現形態とその源流	真鍋 俊照	私のコレクション	成川 實	光悦と宗達 サントリー美術館	
空間をみつめる眼展	絵画+空間の楽しみ	成川美術館のプロフィル	村木 明	光悦と宗達—至福の競演から別離、そして晩年の相愛へ—	山根 有三
芸術につづる扉と、その鍵	谷 哲夫	現代の美術・今日の状況展 4	この地方で、今…	光悦の茶碗	林屋 晴三
くずし字を読んでみよう—古文書入門—	神奈川県立金沢文庫	現代の美術・今日の状況展について	山根 達也	光悦と能 華麗なる謡本の世界	
『金沢文庫古文書』と『金沢文庫文書目録』		現代版画・21人の方向—「現代版画入門」展	国立国際美術館	MOA美術館	
グラネ美術館展	南仏プロヴァンスの女神たち	現代版画・21人の方向—関西を中心として—	中井 康之	文芸と美術の交響—光悦謡本の魅力—	西野 春雄
はじめに	ド・ニ・クタ—ニュ	拳の文化史	ジャンケン・メンコも拳のうち	光悦と能—能役者との交流と謡本にみる光悦謡本の出現—	天野 文雄
栗山村—その自然・歴史・民俗・文化	みどりと文化の交流展	日本の拳遊び	セップ・リンハルト	桃山の光悦	岡 佳子
栗山村の民俗—山に生きる民の暮ら	柏村 祐司	拳の絵を通して見る幕末の浮世絵の特徴	湯浅 淑子	伝光悦作「樵夫詩絵硯箱」の意匠をめぐって	内田 篤呉
群馬青年ビエンナーレ'99	県民芸術祭参加23回	庄屋拳から庄屋券、そしてメンコへ	江橋 崇	嵯峨本再考	岡崎 久司
審査総評		茶の間の拳の文化史考	アン・ヘリング	料紙装飾と俵屋宗達	中部 義隆
慶祝の風景	御即位十年記念特別展	元禄繚乱展	東京都江戸東京博物館	本法寺教行院日富過去帳について	岡 佳子
第一回展	宮内庁三の丸尚蔵館	他		高宮寺と時宗の美術	彦根城博物館
慶祝の風景—近代の名所絵と御慶事	大熊 敏之	百花繚乱—元禄時代の美術—	榊原 悟	高宮寺の歴史と美術	高木 文恵
芸大美術館所蔵名品展	東京芸術大学大学美術館	赤穂事件と「忠臣蔵」	松井 良祐	工芸作品と図案—創造への思考—	展
開館記念展に寄せて	澄川 喜一	恋スル身体展	A SENSE of REALITY	石川県立美術館	
開かれた大学美術館	大沼 映夫	恋スル身体—A SENSE of REALITY	岡本 康明	概説	寺尾 健一
				皇室の名宝	美と伝統の精華
				国立博物館	
				皇室コレクション—その内容と蒐集の経緯	太田 彩
				古代のかたち	笠野 毅
				天皇の肖像と書	古谷 稔
				古筆の名品	島谷 弘幸

伝世の品々 松原 茂  
 近世宮廷の美 太田 彩  
 新しい伝統美 大熊 敏之

交趾香合—福建省出土遺物と日本の  
 伝世品— MOA美術館他

交趾香合—伝世品  
 と出土資料— 赤沼 多佳  
 「交趾」について 清水 実  
 平和田坑窯と出土  
 「素三彩」磁器の初  
 歩的研究 林 恭務  
 鄭 恭輝  
 福建平和田坑窯素  
 三彩の造形と装飾  
 技術 陳 龍

国際風刺漫画展 下関市立美術館

「マンガとは何  
 か?」世界の風刺  
 ひとこまマンガ事  
 情 小野 耕世

古九谷 珠玉の小品 MOA美術館

古九谷珠玉の小品 西田 宏子  
 展によせて

御慶事のかたち 御即位十年記念特  
 別展 第三回展 宮内庁三の丸尚蔵  
 館

御慶事のかたち 大熊 敏之  
 古写真に探る 幕末徳川の城 松戸  
 市戸定歴史館

写された幕府の城 齋藤 洋一  
 について

湖上水運の盛衰と彦根三湊 彦根城  
 博物館

湖上水運と彦根藩 母利 美和  
 蒙御免—相撲の起りと常陸の三横  
 綱— 土浦市立博物館

近世の大相撲 竹内 誠

祭りとは相撲 山田 知子

常陸国の相撲興行  
 と力士の人馬賃銭  
 について 土屋 喜敬

相撲節と大方政家 熊岡 美和  
 考古資料にみる相  
 撲 中澤 達也

コレクションによるテーマ展示：イ  
 メージのむこうがわ 東京都現代美  
 術館

行間／イメージの  
 むこうがわ 武内 厚子

コレクションを中心とする企画展示  
 横浜市民ギャラリー

テーマ展示「横浜  
 の美術振興と洋画  
 家たち(大正～戦  
 後復興期まで)」関  
 連ノート 内山 淳子

これを判じてごろうじろ—江戸の判  
 じ絵— たばこと塩の博物館

判じ物成立前史 小野 恭靖  
 江戸の判じ絵 岩崎 均史

今日の作家展 34 回

APPROACHING REALITY コン  
 セプチュアリスムの新たな展開 横  
 浜市民ギャラリー

コンセプチュアリ  
 ズムの系譜 市原研太郎

矛盾と分裂—「亀  
 裂」の捕獲 北川 裕二

サ 行

斎宮女御 斎宮歴史博物館

斎宮女御御子女王 山中智恵子

斎宮女御の生涯 岸田 早苗

斎宮歴史博物館本  
 『斎宮女御集』につ  
 いて 榎村 寛之

再発見、日本の姿：キーワードはデ  
 ロリ展 郡山市立美術館

「デロリ」の味 福富 太郎

序論：「デロリ」に  
 ついて 菅野 洋人

序章：「デロリ」と  
 した近代絵画のき  
 ざし ”

第1章：人物のい  
 る風景 ”

第2章：「浮世」の  
 風景 ”

第3章：芝居小屋 ”

第4章：「浮世」に  
 生きる女たち ”

第5章：「デロリ」  
 としたリアリズム ”

終わりに ”

岸田劉生の「デロ  
 リ」語録

彩発見—よみがえる江戸の装い—  
 八代市立博物館未来の森ミュージア  
 ム

松井家の人々と服  
 飾—江戸時代後期  
 の装い— 山崎 摂

西遊記のシルクロード 三蔵法師の  
 道 奈良県立美術館他

仏教文化の東漸 樋口 隆康

インドと中国を結  
 んだ玄奘三蔵—人  
 と足跡と美術 宮治 昭

日文化交流の架  
 け橋—多くの三蔵  
 法師たち 百橋 明穂

伝説の中の三蔵法  
 師—西遊記の世界 中野美代子

検証・三蔵法師の  
 道 高橋 徹

坂本龍馬 京都国立博物館

京都国立博物館保  
 管の坂本龍馬関係 宮川 禎一  
 資料

サントリー美術館所蔵 日本のやき  
 もの名品展 富山県民会館美術館

サントリー美術館  
 所蔵—日本のやき 林屋 晴三  
 もの概観—

サンフランシスコ近代美術館展 カ  
 リフォルニア・アート・シーン 伊  
 勢丹美術館他

カリフォルニアの  
 栄光の歴史—サン  
 フランシスコ近代  
 美術館所蔵の絵画  
 と彫刻から ジャネッ  
 ト・ピ  
 ショップ  
 木村理恵子  
 訳

シェイクスピアのヴィジョン展 コ  
 レクションによる物語る美術2 栃  
 木県立美術館

『シェイクスピア  
 のヴィジョン』あ  
 るいは表現主義の  
 画家と舞台 木村理恵子

信貴山 信貴山縁起絵巻 サントリー  
 美術館

空飛ぶマジックの  
 鉢—信貴山縁起絵  
 巻を見る 辻 惟雄

信貴山・朝護孫子  
 寺の歴史と信貴山  
 縁起絵巻 鈴木 鳳永

紫禁城の女性たち 三越ギャラリー  
 (福岡)他

貴婦人たちを飾っ  
 たもの—前言に代  
 えて— 雷 従雲  
 稲畑耕一郎  
 訳

紅粧は汗青を照ら  
 ず—紫禁城の女性  
 たち 稲畑耕一郎

伝説の中の皇妃た  
 ち—明清宮廷女性  
 列伝— 岡崎 由美

明清の恋愛—宮女  
 や貴族女性の場合— 大木 康

宮廷の歳時習俗 堀 誠

宮廷人たちの食卓  
 食文化の頂点をき  
 わめた明清の宮廷  
 料理 張 競

王国維「頤和園詞」  
 にみる 西太后の  
 宮廷生活 竹村 則行

明代の貴婦人たちの装い—「命婦」制度の中で—	王興平 稲畑耕一郎 訳 大森 信徳 訳	自然との交感 素材の探求者	北谷 正雄 北川 智昭 ステファ ン・ク ラー 木下 哲夫 訳	満州と日本の近代 美術 思い出の満州 白樺派と美術展 武者小路実篤、岸 田劉生と仲間たち 東京ステーショ ンギャラリー	江川 佳秀 森田 挙次
清代皇室の日々の暮らし	支運亭 大森 信徳 訳	美徳の守護者		父実篤と油絵 武者小路辰 子	武者小路辰 子
時代の体温 ART/DOMESTIC展 世田谷美術館		プリンキー・パレ ルモを語る ラズ ロー・グローサー とヨーゼフ・ポイ スの対談(抜粋)	中島 芳郎 訳	白樺派と美術 武 者小路実篤・岸田 劉生と仲間たち	東 珠樹
ART/DOMESTIC of the Time つくること	東谷 隆司	しまなみ海道をめぐる文化財展 広 島県立歴史博物館		シルクロードの煌めき—中国・美の 至宝 北海道立近代美術館他	
奈良美智 NOW IS THE TIME TO FLY TO ANOTHER LAND		概論	西村 直城	シルクロードと東 西文化交流	孫濱田 英作 訳
東恩納裕一 居心 地の悪い場所		島根の美術 島根県立美術館		宸翰と日本文化の伝統 宮内庁三の 丸尚蔵館	宮内庁三の 丸尚蔵館
多田正美 名もな き音、つくりもの		島根近世絵画史雑 考—画家の遊歴—	椋木 賢治	宸翰—天皇の筆 跡、さまざま	平林 盛得
田中敦子 流転か ら循環へ		島根の近・現代日 本画	直良 吉洋	天皇の日記	宮崎 康充
根本敬 でもやる んだよ		島根の洋画(1) 島根洋画の曙	古浦 秀明	四親王家と書陵部 蔵書	小池 一行
大木裕之 参与す る映画		島根の洋画(2) 森本香谷と水彩画 講習会	西尾 尚子	宮廷と絵画—絵所 の画師たち	太田 彩
大竹伸朗 ロック /カラオケ		島根の洋画(3) 松江洋画研究所と 「研展」		身体の夢 ファッションOR見えな いコルセット展 京都国立近代美術 館	
7人の作家 Silent Friendship— 1960—90's: 7 artists— 豊田市美 術館		島根の近代木彫— その伝統と革新—	白根 敏昭	序論	河本 信治
はじめに	北川 智昭	写真に見る[実篤とその時代]展—1 大正期まで—平成11年度秋の特別展 調布市武者小路実篤記念館		身体の夢—20世紀 の身体イメージと ファッション	深井 晃子
自作を語る	ダニエル・ ビュレン 木下 哲夫 訳	写真に見る「実篤 とその時代」—「近 代」をめぐって	福島さとみ	身体の夢/夢の身 体	渡邊 守章
あの頃ヨーロッパ では	ダニエル・ ビュレン 北川 智昭 聞き手 木下 哲夫 訳	写真表現の軌跡1—日本の写真: 渡 来から1950年代まで—東京都写真美 術館コレクションより 東京都写真 美術館		仮想身体に着替え 方—デヴィッド・ リンチ『ロスト・ ハイウェイ』の可 能性を探る	遠藤 徹
あの時代	トニー・ク ラッグ 北川 智昭 聞き手 矢間 みき 訳	渡来から1950年代 までの写真表現の 流れ	鈴木 佳子	身体のリゴス—ドイツからの14人の 女性アーティストたち 国立国際美 術館他	
私はバスカーリ の、立方体、キリ ン、武器、を覚え ている	ジュゼッ ペ・ペノー ネ 上村 清雄 訳	写真表現の軌跡3—ヨーロッパの写 真—東京都写真美術館コレクション 展 東京都写真美術館		身体のリゴス 美 術と女性—ポスト モダンの理論的枠 組みから	グードル ン・イ ン ボーデン 吉村 健一 訳
色彩について	ヨハネス・ シュテュッ トゲン イミ・ク ネーベル 中島 芳郎 訳	首藤コレクション 幻の日本画名品 展 ロシア国立東洋美術館所蔵 そ ごう美術館(横浜)他	鈴木 佳子	ダグマー・デミン グ 不確定性関 係、または形態と 見かけの不明瞭な 関係	ハンネ・ロ レック 中西 博之 訳
偉大なる絵画の実 験屋	青木 正弘	近世・近代の日本 画回顧	細野 正信	エルケ・デンダ マリオネット劇場 について リヒ・フォン・ク ライスト	
		首藤コレクション の肉筆浮世絵	佐藤 光信		
		首藤コレクション の全体像	富田 章		

マリア・アイヒホルン 休息と運動—UMBのために	ハンズ＝ウルリッヒ・オーブリス ト 山本 和弘 訳	シンデレラと見つけ出された靴	ステファニア・リッチ 安野 玲	生の視線—触覚・軌跡・領域 武蔵野美術大学・アルバータ大学版画交換展 武蔵野美術大学美術資料図書館
カタリーナ・フリッチュ	ヴァレリア・リーバーマン 中西 博之 訳	私のことが見えている	中沢 新一	現代版画の一断面 酒井 忠康 版画、この未知なる領域 滝沢 恭司
イザ・ゲンツケン 誰もが少なくともひとつの窓を必要としている	カタリーナ・ファトゼラ 中西 博之 訳	シンデレラークチュリエのためにあつらえたおとぎ話	ウ エ ン ディ・グッ トマン 福家由美子 訳	清流展 9回 染 京都市美術館他 長い染めの道—第9回染・清流展に よせて 加藤 類子
アスタ・グレーティンク 内面の声(アスタ・グレーティンクの映画)	木村理恵子 訳	映画館のシンデレラ	ダニエレ・トマーゾ 斉藤 綾子 訳	世界を編む展 横浜美術館 「世界を編む」 沼田 英子
レベッカ・ホルン 火夫 フランツ・カフカ『アメリカ』より	山本 和弘 訳	シンデレラと靴 フェティッシュ	ジーロ・ドルフレス 斉藤 綾子 訳	つくる、ほどく、それは常につくること イザック・ゴールドバーク 菅原恵美子 訳
カタリーナ・カレンベルク 伝記	カタリーナ・カレンベルク 中西 博之 訳	<b>新弥生紀行 北の森から南の海へ</b> 国立歴史民俗博物館他		「際」の時代 ジャネット・コプロス 木下 哲夫 訳
カーリン・サンダー	ハラルド・ヴェルツァー ハネローレ・ケルステン 中西 博之 訳	弥生文化を見る眼	春成 秀爾	世田谷美術展2000 世田谷美術館 インタビュアー：須田寿氏に聞く 清水 久夫 聞き手
ヴィーグケ・ズィーム トロイアの財宝—トロイア発掘調査報告 ハインリッヒ・シュリーマン 1873年6月17日、トロイア	山本 和弘 訳	変わる弥生時代の実年代	永嶋 正春	仙界伝説—卑弥呼の求めた世界— 大阪府立弥生文化博物館 「商」発「元祿繚乱」行紋様考 石神 怡 音楽に魅せられた人々 金関 恕 墓制にみる古代中国人の他界観 黄 曉芬
ピア・シュタットボイマー 男女両性具有の構成	ウルリヒ・ウィルメス 中西 博之 訳	続縄文時代の食料 貝塚後期文化の食生活	西本 豊弘	扇面といふかたち展—その風流と機知を求めて— 三鷹市美術ギャラリー 近現代の扇面 富田 智子
ローズマリー・トロックル 寄る辺なしの絵画にとつてかわる台所	マリオ・ディアコーノ 山本 和弘 訳	南北精神文化の原点	中村 愿	創作版画の誕生 近代を刻んだ作家たち 渋谷区立松濤美術館 序 版画が美術になるとき 瀬尾 典昭
ウーテ・ヴァイス＝レーダー Mをめぐる会話	ウーテ・ヴァイス＝レーダー 木村理恵子 訳	貝の道の人々	設楽 博己	反「明治」としての「江戸趣味」—版画と文学の明治末 山田 俊幸
秦玉芬(チン・ユーフェン) 異文化間の使者	ミヒャエル・ヘルトナー 木村理恵子 訳	貝の道のもつ意味	木下 尚子	<b>神品とよばれたやきもの 宋磁展</b> 東武美術館他 宋瓷—その背景と精神 梅原 郁 宋磁序説 長谷部楽爾 宋代の青磁 今井 敦 宋代の白磁の位置づけ 弓場 紀知
シンデレラ・ストーリー展 (新宿)他		西日本弥生人の動物観	藤尾慎一郎	天目—日本伝世の黒釉陶磁の世界 西田 宏子 宋代の磁州窯および磁州窯系諸窯 出川 哲朗
		漢代の農業を弥生文化と比較する	渡辺 昌宏	
		土偶の末裔	西谷 大	
		東日本弥生墓制の特質	設楽 博己	
		漢人のあの世観	石川日出志	
		<b>神話と聖書の図像学</b> 美術館	西谷 大	
		神話と聖書と図像学—その成り立ちと展開—	ブリヂストン	
		<b>菅江真澄展 白井英二・秀雄より真澄へ</b> 豊橋市美術館	吉城寺尚子	
		北行した菅江真澄とその学問	新野 直吉	
		菅江真澄について	横田 正吾	
		菅江真澄の見た秋田の民俗	田口 昌樹	
		<b>西欧近代の版画と素描</b> 岩井尊人コレクションより 天理ギャラリー第112回展 天理ギャラリー		
		版画・素描・岩井尊人コレクション		

朝鮮半島出土の宋磁 中沢富士雄  
 相馬のやきもの一収蔵資料を中心として— 野馬追の里原町市立博物館  
 相馬焼研究の現状と課題 関根 達人  
 「素描いろいろ」展 小作品展示室常設展示No.195 福岡市美術館  
 解説 山本香瑞子  
 素描の世界展 所蔵作品を中心として 宮城県美術館  
 「素描」という言葉をめくって 西村 勇晴

夕行

大英博物館 古代エジプト展 東京都美術館他  
 大英博物館古代エジプト・コレクションの歴史 トマス・G・H・ジェイムズ  
 英国におけるミイラ研究 W・ヴィアン・デイヴィース  
 古代エジプトの葬祭儀礼と棺の発展 ジョン・H・テイラー 大林 京子 訳  
 装飾亜麻布と遺体のミイラ化の儀礼 鈴木まどか  
 大ザビエル展 来日450周年 その生涯と南蛮文化の遺宝 川崎市市民ミュージアム他  
 ポルトガルと日本との出逢い(1543~1639) ルイ・マヌエル・ロウレイロ 日笠 博司、北河 世津 訳  
 キリシタン布教における「適応」について 高瀬弘一郎  
 ヴァン・ダイク作、通称《日本の王に拝謁する聖フランシスコ・ザビエル》について 木村 三郎  
 スペインにおける聖フランシスコ・ザビエルの画像研究 フェルナンド・G・グティエレス神父 久々 直子 訳  
 ポルトガルにおける聖フランシスコ・ザビエルの美術的画像表現—企画・立案から実行への系譜— ヴィトール・セラン 日笠 博司、内藤 理佳 訳

聖遺物入れを見るための手引き

聖フランシスコ・ザビエルと日本

聖フランシスコ・ザビエルが見た16世紀のリスボン

脱・「現代美術教養論」 開館20周年記念図録2 板橋区立美術館

自分のなかの他者を発見するために—新たな「物語化」のすすめ 尾崎 真人

田中芳男展 日本の博物館の父 飯田市美術博物館

黎明期の博物館を構想した田中芳男 椎名 仙卓

田能村竹田と上方文化—絵画に見る— 大分市美術館

細見コレクションについて 杉崎 貴英

富春館コレクションについて 岡村 暢哉

田能村竹田と上方 狩野 博幸  
 多摩の板碑 町田市立博物館

板碑の履歴書 千々和 到

伊奈石板碑—武蔵型板碑の分布圏にみられる地域石材を利用した板碑— 松島 満

多摩川下流域に見られる地方色のある「蝶型蓮座」板碑 渡辺 美彦

町田の板碑 畠山 豊

遺跡の発掘成果から 阿部 真

小さきものたち 掌編絵画の展覧会 小作品展示室常設展示No.199 福岡市美術館

解説 柴田 勝則

知覚の実験室展 佐倉市立美術館

なかみとしてのインスタレーション 千葉 成夫

茶の湯の名碗—和物茶碗— 茶道資料館

和物茶碗—誕生と好みの変遷— 赤沼 多佳

江戸時代における茶の湯の諸相 筒井 紘一

瀬戸・美濃の天目について 藤澤 良祐

美濃の茶碗—「規範」という視点から— 伊藤 嘉章

中世末から近世初頭の国産陶磁器の需要動向—近年洛中出土の考古学資料に基づいて— 堀内 明博

九州諸窯の茶陶 林屋 晴三

萩焼茶碗スタイルの成立 榎本 徹

仁清の茶碗 岡 佳子

古茶会記にみる茶碗の様相 鎌塚 宏子 杉山 左近

中国の正倉院 法門寺地下宮殿の秘宝 唐皇帝からの贈り物展 新潟県立近代美術館他

唐代文化 妹尾 達彦

帝王の動産について 前川 誠郎

法門寺地宮考古記 韓 偉

法門寺の歴史と舍利供養 気賀沢保規

唐代の喫茶と法門寺出土の茶具 高橋 忠彦

法門寺出土の秘色青磁 出川 哲朗

法門寺地宮出土の金銀器 松本 伸之

忠臣蔵の世界—この間の遺恨覚えるか!— 兵庫県立歴史博物館

解説 香川 雅信

彫刻の理想郷 イタリア・チェレからの贈り物展 神奈川県立近代美術館

生きた彫刻公園—あいさつにかえて— 酒井 忠康

ジュリアーノ・ゴリー 美術のなかの生活 ビエール・レスタニー

チェレ—歴史と現代の統合— 毛利伊知郎

築地小劇場とその時代展 新興の烽火 舞台・美術・写真 名古屋市美術館

(場)としての劇場、再考—村山知義に即して— 池田 浩士

構成・舞台—大正期新興美術と演劇— 五十殿利治

舞台写真の成立と展開—築地小劇場を中心として— 金子 隆一

“何が彼女をそうさせたか”一築地小劇場の舞台上で 竹葉 丈

ティファニー展 その輝きの栄光と未来 三越美術館(新宿)他

ティファニー・アンド・カンパニーの歴史 ア ナ マ リー・V・サンデッ キー

ティファニー・ジュエリー ヴィヴィアン・ベッ カー

ティファニー・アンド・カンパニーのホローウェア(銀器)の起源、デザイン、プロモーションの歴史 D・ア ル パート・ソーフィン グ

デモクラート1951—1957展 解放された戦後美術 宮崎県立美術館

私のデモクラート、瑛九のデモクラート 福島 辰夫

デモクラートとその時代—関西の動向を中心に— 高橋 亨

デモクラート美術家協会総論—文献切り貼りによる私見 正木 基

デモクラート展記念座談会 巖加藤 嘸 早川 良雄 福島 辰夫 細江 英公 吉原 英雄 久保 静雄 司会

瑛九と写真 岡塚 章子

泉茂宛書簡 安來 正博

関西デモクラートの7年—結成から解散まで ”

天変地異と世紀末—日本人の災害観—終末観— 古河歴史博物館

天変地異と世直し 宮田 登

ドイツ表現主義の版画展 高知県立美術館

ドイツ表現主義小史 奥野 克仁

東寺の密教図像—形像の相伝— 東寺宝物館

東寺の密教図像 中野 玄三

文献史学からみた密教図像 上川 通夫

東寺五大尊・十二天画像研究小史 大原 嘉豊

東寺における密教図像の伝来について 新見 康子

『大正新脩大藏經 図像編』所載の密教図像

東大寺の至宝 東武美術館

東大寺の歴史 堀池 春峰

東大寺の文化財 鷺塚 泰光

東大寺の造仏機構と工人・仏師—平安時代前期を中心に— 伊東 史朗

東大寺文書の世界 奈良国立博物館

東大寺文書とその伝来 堀池 春峰

銅鐸・銅剣・剣矛 辰馬考古資料館

館蔵の武器形青銅器 吉田 広

動物彫刻の世界—宗教美術の脇役たち— 大津市歴史博物館

「動物彫刻の世界」展の開催に寄せて 岩田 茂樹

東北の戦国時代—伊達氏、仙台への道— 仙台市博物館

東北の戦国時代 小林 清治

伊達氏、仙台への道

東北の洋風画展 融合する東西の美意識 秋田県立近代美術館

ブレ洋風画の検証—小野田直武初期作品ノート— 太田 和夫

秋田蘭画・小田野直武をとりまくイメージ 山本 丈志

時を紡ぐ、ゆたかに語る 絵本と絵巻 新潟県立近代美術館

絵本に流れる絵巻の心 宮下 東子

〈特集〉日本近代美術史 豪華三本立て!! 秋の随筆展 第1部—からくり美術—「機巧」から「工芸」へ—第2部—[見ること]の座の復権/第3部—都市のリアリティ・絵画のリアリティ 西宮市大谷記念美術館

「内部」/「可視」と「見る座」 尾崎 眞人

からくり美術—機巧から工芸へ— 本康 宏史

都市のリアリティ・絵画のリアリティ 篠 雅廣

渡来人登場—弥生文化を開いた人々— 大阪府立弥生文化博物館

方形周溝墓の源流 渡辺 昌宏

渡来人のもたらした宗教 金関 恕

韓国南部地域における原三国時代の墳墓と集落 高久 健二

鳥の考古学 神・精霊・人の死—古代人の精神と密接にかかわる鳥の造形たち— かがみつけの里博物館

埴輪の鳥はどんな鳥 賀来 孝代

鳥に託された古代人の心—民族・民俗・文献・考古資料から— 坂本 和俊

考古資料にみる鳥と人のつきあい 若狭 徹

ナ行

永井荷風と東京展 東京都江戸東京博物館

山の手の知識人の下町への想い 川本 三郎

永井荷風—都市と風景 湯川 説子

20世紀日本美術再見3…1930年代 三重県立美術館

1930年代の日本美術 酒井 哲朗

1 伝統の再発見 毛利伊知郎

2—1 モダニズムの成熟・新しい日本画の胎動 佐藤 美貴

2—2 モダニズムの成熟・前衛の屈曲 石崎 勝基

2—3 モダニズムの成熟・機械の眼としての写真 桑名 麻里

3—1 見出された「伝統」とモダニズムの交錯・モダニズム建築と「日本的なるもの」 ”

3—2 見出された「伝統」とモダニズムの交錯 土田 真紀

3—3 産業工芸のなかのモダニズムと伝統、見出された工芸の「伝統」 ”

3—4 見出された「伝統」とモダニズムの交錯・書物文化到来 桑名 麻里

4 都市と田園 毛利伊知郎

日本画家たちの視線—1930年代の日本画について— 佐藤 美貴

ふわふわ、きちかち、ずずず、あるいは黒死館の影のもとに 石崎 勝基

1930年代の日本彫刻	毛利伊知郎	展覧会ノート ピクチャーズ・イン・モーションー	森山 朋絵	2. 日本の「前衛」再考—抽象・風土・都市	〃
堀口捨己と田園趣味を考えるためのプロローグ	桑名 麻里	日本のアニメーション表現		3. 交錯する「前衛」	〃
20世紀のアメリカ版画展 国際版画美術館	町田市立	日本人形アニメーション史・抄	おかだえみこ	4. 未完の「前衛」—伝統と革新の葛藤	〃
20世紀アメリカの美術	広本 伸幸	持永只仁の人形アニメーション世界	小松沢 甫	結び	〃
「ジ・エイト」と今世紀前半の版画	高木 幸枝	持永先生の思い出	川本喜八郎	クラウディア・デランク	
ヘイターのニューヨーク時代とその後のアメリカ版画	杉野 秀樹	岡本忠成さんの人形アニメーションについて	五味 洋子	パウハウスにおける日本的感性の受容	池田 祐子 訳
プリント・リバイバルと版画工房	木戸 英行	温かい未来	森まさあき	日本の鍍金いものの形展'99	高岡市美術館
20世紀の扉—いろとかたちの革命—展 香川県文化会館		日本の印象派—明治末・大正初期の油彩画—展 下関市立美術館開館15周年記念 下関市立美術館		日本の鍍金—高岡における近代の流れ	長谷川 洋 訳
色彩へのめざめ		印象と表現—日本印象主義のアポリア—	北澤 憲昭	日本の版画2 1911—1920 刻まれた「個」の饗宴 千葉市美術館他	
いろとかたちの革命		児島虎次郎の画風の変遷について	田中 善明	近代版画興隆期としての大正版画	岩切信一郎
抽象へ		明治末・大正初期の油彩画と「印象派」—錯綜する概念と技術—	岡本 正康	「創作版画の側面—富本憲吉を中心に」	西山 純子
日米交流のあけぼの—黒船きたる—全米最古ピーポディー・エセックス博物館の日本コレクションから— 東京都江戸東京博物館		日本のガラス2000年—弥生から現代まで— サントリー美術館		創作版画の揺籃期	山田 俊幸
西洋との出会い—ポルトガルとオランダ—	ウィリアム・サー ジャント	日本のガラス2000年	土屋 良雄	日本の藩窯—東日本編— 彦根城博物館	
海運都市セーラム—その黄金時代—	ディーン・ラヒカイネン	日本のガラスの起源—弥生時代のガラス	藤田 等	藩窯各説	谷口 徹
アメリカ船、長崎に入港す	ピーター・フェチコ	仏教美術と瑠璃	内藤 榮	日本ビジュアル・アート展 JACA '98 フジタヴァンテミュージアム	浅葉 克己 建昌 哲 日比野克彦 タナカノリ ユキ談
太平洋の捕鯨をめぐる	ダン・フィネモア	近世ガラスの華・薩摩切子	土屋 良雄	審査員座談会	
開国という時代	ダン・フィネモア	明治・大正のガラス	井上 暁子	日本美術院 創立百周年記念展 宮城県美術館他	
異文化へのめざめ	小林 淳一	現代日本のガラス 素材認知の歩みとスタジオ・グラス 運動周辺	土田ルリ子	脈うつ天心精神	細野 正信
日本近代美術展 早稲田大学所蔵 早稲田大学會津八一記念博物館		日本の歳時 春・夏展 式年遷宮記念神宮美術館		戦後の院展—その一断面・個人的回想を交えて—	倉田 光裕
坂崎乙郎先生のこ	藪野 健	季節の中の美人たち	中村 潔	率処に違あらず—古墳時代の戦乱— 滋賀県立安土城考古博物館	
日本刀 京の名匠 来派の隆盛にみる 佐野美術館		日本人と季節表現	小池 賢博	弥生の戦いから古墳の戦いへ	大橋 信弥
「京の名匠—来派の隆盛にみる」によせて	渡辺 妙子	日本の写真 1850s~1945 幕末の志士の肖像から昭和前期の情景まで 姫路市立美術館		軍事システムの成立	吉田 秀則
来派の銘の変遷	檜山 政則	展覧会ノート	高瀬 晴之	文献・文字から見た古墳時代の戦乱	大橋 信弥
日本/東洋の美 奈良・大和文華館の至宝 福岡市美術館		日本の前衛 Art into Life 1900—1940 京都国立近代美術館		岩戸山古墳の「石人石馬」と磐井の乱	神保 忠宏
大和文華館の理想と収蔵品の特色	鈴木 喜博	序文	山野 英嗣	古墳時代の軍事組織をめぐる研究と展望	松室 孝樹
日本のアニメーション表現展 ピクチャーズ・イン・モーション 映像工夫館作品展 東京都写真美術館		1. ある「前衛」画家の生活空間— Art into Life	〃	北山古墳出土鉄製短甲の製作技法について	中川 正人

八 行

ハーバード大学コレクション展 モダンアート100年 Bunkamura ザ・ミュージアム

現代性[モダニズム]の意味するところ 木島 俊介

傍流から本流へ—ハーバードのモダンアートに関する一考察 ハリー・クーパー 宮澤 政男 訳

バカラ展 永遠のきらめき 広島県立美術館他

バカラ、永遠のきらめき ダニー・ソト 滝 瑞穂 訳

万国博覧会と国際博覧会 ダニー・ソト

1940年代から1970年代にかけて 新たなフォルムへの挑戦 "

初期の作品 "

オパール・クリスタルガラスとめとうガラス "

球形のペーパーウェイト "

王政から共和制へ 19世紀 世界に向けて "

ジャポニスムとバカラ 待ちに待った必然の出会い "

近代日本とバカラ "

バカラとアール・ヌーヴォー アイデンティティの確立 "

ジョルジュ・シュヴァリエ(1894—1987)とアール・デコ "

動物の表現 "

様式のためのフォルムと技法 "

バカラと伝説の香水瓶 "

幕末の会津と若松市の成立—近代化への道— 若松城天守閣郷土博物館

長州から見た会津 家近 良樹

御宸翰の意味 畑 敬之助

会津藩敗北の理由 大塚 実

カリフォルニア若松コロニーの残照—日本人最初のアメリカ移民団の足跡：海を渡った会津人— 長尾 修

会津と長州の関わり 滝沢 洋之

会津近代化への胎動 小島 一男

会津の漆器に見る藩政改革が近代社会の産業に及ぼした影響 渡辺 明

会津戦争における主要人物 間島 勲

斗南藩 塩谷七重郎

明治期の復興に貢献した人物 坂井 正喜

パサージュ：フランスの新しい美術 世田谷美術館他

パサージュ 長谷川祐子

パリと移民アーティスト ホー・ハンルー 木下 哲夫 訳

完全雇用の終結、形象の不足、パライノイア的共同体：表現探求の現状 ジャン＝シャルル・マセラ 伊藤 治雄 訳

§ ビリ・ビジョカ § 長谷川祐子

§ ミシェル・ブラジー § 井内佳津恵

§ ソフィ・カル § 鷺田めろろ

§ マリアンジュ・ギユミノ § 越前 俊也

§ ファブリス・イペール § 原沢 暁子

OUSSパサージュ クー・ジュン・ガへのインタビュー (聞き手：ハンス＝ウルリヒ・オプリスト) 鷺田めろろ

§ マジダ・カタリ § "

§ ジャン＝ミシェル・オトニエル § 久米 淳之

§ ホアン・ヨン・ピン § 長谷川祐子

§ ジャン＝ジャック・ルリエ § 苦名 直子

§ ボヤン・サルチエヴィッチ § 越前 俊也

§ バスカル・マルティヌ・タイユ § 木村 祐子

パリのカフェと画家たち展—モンマルトル、モンパルナス、サン＝ジェルマン＝デ＝プレ 小田急美術館

モンマルトル、モンパルナス、サン＝ジェルマン＝デ＝プレの神話と天才たち：出会いの場、冒険談の目撃者としてのカフェ シルヴィー・ビュイツォン 中村 隆夫 訳

文化の発信地としてのカフェ 中村 隆夫

パリ・カフェ三景 海野 弘

シュルレアリスム運動、パリの芸術家たちの三つの地域にまたがって マリーザ・ヴェスコフ 小穴 晶子 訳

サン＝ジェルマン派の画家たち フィリップ・ルグ 小穴 晶子 訳

パリとダリの絆 ロベール・デシャルヌ 中村 隆夫 訳

パリ・モード1870—1960展 華麗なる夜会の時代 東京都庭園美術館

モードと装飾 熊澤 慧子

夜会の風景 徳井 淑子

オートクチュール点描 石上 美紀

パリ・モードとシルエットの変遷 "

オートクチュールの足跡 熊澤 慧子

バルーンアート・フェスティバル HOT AIR—うかぶ・ふくらむ・て

でふれる— グランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)

バルーンの時代 南條 史生

ホットエア、クールアート—90年代美術が受け継ぐ「ポップ」の遺産 松井みどり

美育—創造と継承—展 芦屋市立美術館

1. 指導者たち—1 『きりんの時代』 橋本猛

1. 指導者たち—2 『きりんの時代』 滝口豊

1. 指導者たち—3 『きりんの時代』 浮田要三

2. 表現者たち—1 鞍井綾音

2. 表現者たち—2 仲辻妙子

2. 表現者たち—3 衣斐美地子

3. 指導者たち—1 現場の状況 山崎つる子

3. 指導者たち—2 現場の状況 聖家族児童館 浜松静子



3. 指導者たち—3  
現場の状況 桃の里  
幼稚園 福井敏雄

4. シンポジウム 衣妻美地子  
「美術と教育」 中村 雅人  
福井 敏雄

5. 「創造と継承」 山本 淳夫

**比叡山延暦寺の名宝と国宝・梵鐘**  
佐川美術館  
鐘のこえ 三井田妙久  
国宝 梵鐘 河田 貞

**東アジア／絵画の近代—油画の誕生  
とその展開展** 静岡県立美術館  
序一本展開催の趣  
旨と経緯 越智裕二郎

中国近代油画略史 李 超  
南洋の中国人社会  
の近代美術 ラワンチャ  
イクン寿子

台湾地区「新美術」  
の萌芽とその発展 林 曼麗

韓国における油絵  
の誕生と展開—近  
代性、植民性そし  
て脱植民地化のす  
きま 李 仁範

韓国近代美術にお  
けるアイデンティ  
ティ問題 金 炫淑

李王家徳寿宮日本  
美術展示—植民地  
朝鮮における美術  
の役割 李 美那

日本の洋風画・油  
画・油彩画 越智裕二郎

**東アジアの金銅仏 愛らしき仏た  
ち—中国・韓国・日本** 大和文華館  
古代小金銅仏の鑄  
造技法 松山 鉄夫

金銅仏—日本の源  
流としての中国・  
韓国 村田 靖子

鑑賞の手引き—展  
示作品をめぐる ”

**聖と隠者 山水に心を澄ます人々**  
奈良国立博物館  
美術の中の、山水  
に心を澄ます人々 中島 博

**ひそやかなラディカリズム展**  
MOTアニュアル1999 東京都現代  
美術館  
ひそやかなラディ  
カリズム 南 雄介

**秀吉襲来—近世関東の幕開け—** 横  
浜市歴史博物館  
豊臣秀吉による東  
国政策について 曾根 勇二

**秀吉と日本三大水攻め** 和歌山市立  
博物館  
秀吉と日本三大水  
攻め 額田 雅裕

**美の殿堂・西宮市大谷記念美術館展**  
コレクションでたどる美術館形成史  
西宮市大谷記念美術館  
コレクションの形 枝松 亜子  
成

**『百科全書』とその時代展** 名古屋大  
学附属図書館  
百科全書(アンジ  
クロペディ)の時  
代 An/ I

**ヒューストン美術館展 ルネサンス  
からセザンヌ、マティスまで** 愛媛  
県美術館他  
ヒューストン美術  
館のヨーロッパ絵  
画 エドガー・  
ター  
ズ・ポーロ  
ン  
ジエーム  
ズ・クリフ  
トン

西洋美術史を日本  
からみる 原田 平作

**広重風景版画展 東海道五拾三次と  
木曾街道六拾九次** 平塚市美術館  
広重の風景版画を  
見て、今何を思い  
何を感じるか—  
《東海道五拾三次》  
と《木曾街道六拾  
九次》 福田 徳樹

旅への憧憬と広重  
風景版画 岡部 幹彦

**フィリピンにわたった焼きもの—青  
磁と白磁を中心に—富山佐藤美術館  
関コレクション** 町田市立博物館  
フィリピン出土の  
中国陶磁 長谷部楽爾

**福岡アジア美術トリエンナーレ1回  
アジア美術展5回** 福岡アジア美術  
館開館記念展 福岡アジア美術館  
テーマ「コミュニ  
ケーション〜希望  
への回路」につい  
て 黒田 雷児

コミュニケーション  
／コミュニティ  
／コラボレーショ  
ン 後小路雅弘

中国現代美術につ  
いて ジン・ユー  
チン

閉塞の時代におけ  
るコミュニケーション  
の冒険 黒田 雷児

韓国現代美術の多  
元性と「コミュニ  
ケーション」問題 チェ・ウン  
ジュ

モンゴル美術の今  
日 オチール・  
ソソル

新たな1000年への  
輝く展望〜台湾美  
術界の現在と未来 石 瑞仁

ブルネイの現代美  
術の現場 ハシム・モ  
ハメッド・  
ジャディド

カンボジアの現代  
美術〜基盤づくり  
への困難な探究 リ・ダ ラ  
ブース  
イングリッ  
ド・ムアン

政治的に正しい美  
術作品を求めて ジム・スバ  
ンカット

ラオスの美術〜過  
去の伝統から現代  
生活へ受け継がれ  
たもの カンハ・シ  
クナボン

世界化の終わり  
?〜20世紀最後  
のマレーシア美術 ニランジャ  
ン・ラ  
ジャー

ミャンマーの現代  
美術シーン テリー・  
リー  
ミン・チャ  
ン・ウイン

フィリピン現代  
美術(1994—1998)  
の概説 シド・ゴメ  
ス・ヒルダ  
ワ

外国の美術〜国際  
的・国内的なコ  
ミュニケーション アーマド・  
マシャディ

タイにおける現代  
アートシーンにつ  
いて ソンポー  
ン・ロ  
ド  
ポー

ベトナム近代美術  
素描 ルー・イエ  
ン

バングラデシュの  
美術〜90年代の美  
術家の傾向 スピル・  
チー  
ード  
リー

ブータンの美術 ミナク・  
トゥルク

現代インド美術の  
新しい兆しと方向 ルピナ・カ  
ロデ

ネパールの現代美  
術〜ひとつの視点 ウッタム・  
ネパリ

回顧と展望〜90年  
代のパキスタン美  
術 サリマ・ハ  
シミ

生き続ける遺産〜  
スリランカ現代美  
術状況 D・M・グ  
ナラトナ

コミュニケーション  
による内部対話  
的自己へ 中村 英樹

アジアの新たな価  
値創出のための試  
金石 チャン・  
ジュンモ

アジア美術のため  
のコミュニケーション  
 清水 敏男

「アジア美術」は語る  
ることができるか 後藤 新治  
出品作家および作  
品の選考基準につ  
いて ソンポ  
ーン・ロ  
ド  
ポーン  
調査の現場から～  
実社会で機能する  
美術 ラワンチャ  
イクン寿子  
福岡トリエンナー  
レの美術交流 松浦 仁

**福岡県展 始め展 昭和初期の文化  
史的 事件 福岡県立美術館**

第一章 県展前史 楠井 隆志  
第二章 戦前県展 魚里 洋一  
第三章 県展空白  
期 西本 匡伸  
第四章 戦後県展  
の礎 川浪 千鶴

**武士の意匠一透かし鐔 江戸時代か  
ら古墳時代まで 佐野美術館他**

日本の透かし鐔 渡辺 妙子  
対談「透かし鐔—  
その用と美」 河端 照孝  
渡辺 妙子

**フランス風景画展 コローからモネ  
まで 福井県立美術館**

アルノー・  
ブレジ  
ョン・ド・ラ  
ヴェルニエ  
松田 和之  
訳

19世紀フランスの  
風景画について—  
その成立と絵画の  
近代化— 芦川 貞夫

**ふるさとニッポン展 美術に探る  
“原”風景—1960年代から現在まで**

北海道立旭川美術館  
あさぎ色の空、あ  
るいはイマージュ  
の深みへ 中村 聖司

**平安時代の美術—九州の彫刻を中心  
に— 熊本県立美術館**

平安時代の九州・  
熊本の彫刻 有木 芳隆

**ポイマンス美術館展 高崎シティ  
ギャラリー**

ポイマンス・ファ  
ン・ブーニンゲン  
美術館の歴史 ハネケ  
・デ・マン

バルビゾン派 ジャクリ  
ーン・ラプマ  
ンド

ハーグ派 マール  
チェ・デ  
・ハー  
ン

印象派 ピエト  
・デ・ヨン  
ゲ

新印象主義と マール  
フォーヴィスム チェ・デ  
・ハー  
ン

ポイマンス・ファ  
ン・ブーニンゲン  
美術館におけるバ  
ルビゾン派、ハー  
グ派、印象派、新  
印象主義、フォー  
ヴィスムのコレク  
ションの歴史

ハーグ派における  
17世紀オランダ絵  
画の影響 高橋 弘樹

**房総の神と仏 千葉市美術館**

総論 房総の神と  
仏—造像の展開を  
中心に— 紺野 敏文

房総の仏画・垂迹  
画 関口 正之

不動明王・毘沙門  
天を—対で祀る安  
置法について—そ  
の由来と房総にお  
ける展開— 浜名 徳順

千葉氏の妙見信仰  
と房総の神仏 宮原さつき

**香港芸術館 珠玉の工芸 東京国立  
博物館**

香港芸術館の紹介 陳 梅芬

香港芸術館の漆工  
品 西岡 康宏

竹刻について 楊 麗中

香港芸術館の陶磁  
器 今井 敦

中国宜興の茶壺 何 金泉

その他の工芸 ”

**本の装い 岩手県立博物館第49回企  
画展 岩手県立博物館**

本の装い 阿部めぐみ  
萬鐵五郎の雑誌・  
表紙画 江渡 憲夫

**マ 行**

**前田利家没後400年 城下町金沢の  
人々—よみがえる江戸時代のくら  
し— 石川県立歴史博物館**

初期の前田利家を  
めぐって 亀田 康範

城下町金沢 長谷川孝徳

発掘された江戸屋  
敷 ”

絵皿・看板・包装紙 街にあふれた  
実篤展 春の特別展 調布市武者小  
路実篤記念館

街にあふれた実篤 伊藤 陽子

幻のおおでら—百済大寺 奈良国立  
文化財研究所飛鳥資料館

百済大寺の歴史 杉山 洋

百済大寺・高市大  
寺の候補地と大官  
大寺 白杵 勲

舒明天皇と百済大  
寺 岩本 圭輔

**みずのき寮からの発信展 言葉はい  
らない・魂との出会い 丸亀市猪熊  
弦一郎現代美術館**

みずのきアトリエ  
のきのう・きよ  
う—そして明日 西垣 篤一

「月火月火と…明  
日は絵かきや  
な」—みずのき寮  
絵画教室の現在— 谷村 雅弘

絵画教室での指導  
と作品 萩田 知子

**水の物語—神話と象徴展 島根県立  
美術館他**

水、その神話と象  
徴 ブリジ  
ット・ガ  
リー

水の変容 山梨 俊夫

水、その神話と象  
徴 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

水の変容 山梨 俊夫

源頼朝公展 鶴岡八幡宮直会殿

歌人・頼朝の素顔を想う 三浦 勝男

源頼朝とゆかりの寺社一展示資料を中心の一 八幡 義信

源頼朝とゆかりの寺社の名宝 神奈川

立歴史博物館

特別展「源頼朝とゆかりの寺社の名宝」によせて 八幡 義信

源頼朝画像の諸作について 相澤 正彦

仏教の美術展 静嘉堂文庫美術館

総論・静嘉堂の仏教絵画 有賀 祥隆

東福寺旧蔵本をめぐって 元時代の釈迦三尊像・羅感 井手誠之輔

静嘉堂文庫美術館蔵「十王図・二使者図」について 宮崎 法子

花洛のモード—きもの時代— 京都国立博物館

都国立博物館

花洛のモード—きもの時代— 河上 繁樹

妙法院と三十三間堂 京都国立博物館

館他

妙法院の歴史—草創から桃山期の復興まで— 下坂 守

妙法院と蓮華王院(三十三間堂)の彫刻 浅湫 毅

爾を封じて日本国王と為す—明皇帝より豊臣秀吉へ頒賜された冠服— 河上 繁樹

妙法院の桃山時代障壁画 狩野 博幸

魅惑のガラスの芸術展 アール・ヌーヴォーから現代まで 北海道立帯広美術館

1. アール・ヌーヴォーの時代 水田 順子

2. アール・デコの時代 ”

3. 現代 苦名 真

麦わら細工の輝き 大田区立郷土博物館

大森細工から麦稈真田へ 平野 順治

麦わら細工見聞録 金子 皓彦

麦わら細工を楽しむ—城崎湯島細工と大森細工へのいさなない— 藤塚 悦司

海外に見る日本の麦わら細工 松崎 亜砂子

クリスマスの街かど—ドイツ周辺に見る麦わら細工、削りかけ習俗— 近藤 雅樹

ヨーロッパの麦わら細工 尾崎 織女

麦わらと手遊び 大藪 裕子

無垢の芸術展 アトリエ・エレマン・プレザンに集う17人の作家たち

三重県立美術館

アウトサイダー・アートと「アトリエ・エレマン・プレザン」の作家たち 酒井 哲朗

アトリエ・エレマン・プレザンからの報告 佐藤 肇 佐藤 敬子

室生寺のみ仏たち 国宝・五重塔復興支援 東京国立博物館他

室生寺の建築と彫刻 鷲塚 泰光

名画の花東展 フランス近代絵画を中心に イセ・コレクションによる

東京都庭園美術館

名画の花東—もてなしの空間に生まれる美 岡部 昌幸

アール・デコの館「朝香宮邸」

名作が生まれる時 近代日本洋画5つの結晶 平成10年度国立博物館・美術館巡回展 郡山市立美術館他

名作が生まれる時—構想の世紀に 松本 透

黒田清輝—「構想画」とは何か 宮本 高明

安井曾太郎—肖像表現の探究 中林 和雄

岸田劉生—麗子誕生 古田 亮

古賀春江—詩情と幻想 中島 順一

北脇昇—イメージに潜む植物たち 永山多佳子

明滅するイメージ COMMUTATION展 横浜市民ギャラリー

§ 序 § 伊藤 俊治

メディテーション—真昼の瞑想—

90年代の日本の美術 栃木県立美術館

キメラの肖像—「真昼の瞑想」によせて— 多田 富雄

瞑想する美術—美術は意味を回復するか 小勝 禮子

木版画の近代 伝統と創作 長野県信濃美術館

近代の木版画—創作版画と新版画—

モダニズム再考 二楽荘と大谷探検隊 芦屋市立美術館

須磨月見山別邸から二楽荘へ 和田 秀寿

二楽荘の建築 ”

武庫中学の開校 ”

二楽荘内の生活と事業 ”

大谷探検隊とその時代 白須 淨真

大谷探検隊と二楽荘 片山 章雄

二楽荘の売却 和田 秀寿 片山 章雄

二楽荘炎上 和田 秀寿

焼失後の二楽荘跡 ”

ヤ行

焼き物にみる中世の世界—県内出土の土器・陶磁器を中心に— 上高津貝塚ふるさと歴史の広場

中世における関東地方の土器について 浅野 晴樹

「常総地域の中世陶磁器と土器」—中世びとのくらしとうつわ— 桃崎 祐輔

大和の神々と美術 舞楽面と馬具を中心に 奈良国立博物館

春日大社の歴史と美術

山本コレクション受贈記念 美濃のやきもの 黄瀬戸・瀬戸黒・志野・織部の系譜 佐野美術館

桃山時代の華—黄瀬戸・志野・織部 河合 竹彦

もう一つの織部—軟質施釉陶器 鈴木 裕子

陶片観察表 鈴木 裕子 編

山を愛する写真家たち展 日本山岳写真の系譜 東京都写真美術館

日本の山岳写真と写真家たち 杉本 誠

山を愛する写真家たち 日本山岳写真の系譜 関次 和子

山を撮ったナチュラルリストたち 変貌する日本の自然のなかで 財津 達弥

**羊遊齋 江戸琳派の蒔絵師** 五島美術館  
 評伝 原羊遊齋 郷家 忠臣  
 十二月花鳥意匠の輪—光琳・抱一・羊遊齋 玉蟲 敏子  
 羊遊齋ブランド銘 名児耶 明  
 美術品入札(売立)目録類にみる主な羊遊齋作品一覽 五島美術館学芸部編

**ヨーロッパのたばこ文化展—個性あふれた喫煙具たち—** たばここと塩の博物館  
 ヨーロッパへのたばこの伝播 個性あふれた喫煙具たち  
 土屋陽三郎さんと「世界のたばこ工芸館」コレクション 半田 昌之

**横光利一と川端康成展** 世田谷文学館  
 モダニズム芸術と新感覚派 小森 陽一  
 新感覚派映画聯盟 十重田裕一  
 佐野繁次郎と横光利一についての覚書 小池 智子  
 川端康成と古賀春江 酒井 忠康

**吉原治良賞美術コンクール展10回** 大阪府立現代美術センター  
 審査評 高橋 亨  
 「装い」文化あれこれ 清野謙次コレクションから 大阪府立近つ飛鳥博物館  
 人類学者・清野謙次 黒田 一充  
 清野謙次コレクションにみる「装い」 三宅 正浩

**よみがえる大田区の風景展** 大田区立郷土博物館  
 百年ぶりの巡り会い〔和田英作〕 平沢 勘蔵  
 記録に見る大田区の風景

**甦る日光・社寺を描いた水彩画展** 世界遺産へのオマージュ 小杉放菴  
 記念日光美術館  
 日光の社寺を描いた水彩画について 田中 正史

ラ行

**螺鈿—虹色に輝く貝と漆の芸術—** 徳川美術館  
 東アジアの螺鈿 小池 富雄  
 琉球の螺鈿 徳川 義宣

**ランゲン夫妻の眼** 初公開 欧州随一の日本美術コレクション 根津美術館他  
 ランゲン夫妻と日本美術コレクション 西田 宏子  
 ランゲン夫妻の確かな眼 河合 正朝

**リパティ・スタイル展** 東京都庭園美術館他  
 ヴィクター・アーワズ 増子 美穂  
 アンソニー・ジョーンズ 増子 美穂

リパティ・スタイルの勝利  
 リパティ、ケルト・リヴァイヴァルそしてアーチボルド・ノックス 関 昭郎

「ジャポニスム」と「唯美主義」、時代の演出家アーサー・リパティ 岡部 昌幸  
 19世紀末イギリスの総合芸術的傾向

**両洋の眼展 現代の絵画1999 第10回記念展** 三越(日本橋)他  
 『両洋の眼』の意義 小倉 忠夫  
 『両洋の眼』十周年に思う 富山 秀男  
 時間、空間、人間をトライアングルとした間主の眼 高階 秀爾 米倉 守 対談  
 草薙奈津子 藤 慶之朗 足立 健一 岡本 三上 幸子 葛山 和久

『両洋の眼』展に寄せて 瀧 悌三

『両洋の眼』つれづれ—20世紀後半・四半世紀に起こった具象運動の一環として眺めると— 瀧 悌三

**六大浮世絵師名品展** 茨城県天心記念五浦美術館  
 六大浮世絵師 佐藤 光信

ワ行

**ワイマール時代の風刺画展** 伊丹市立美術館  
 ワイマール共和国：ドイツ初民主主義の成立条件、危機、挫折 エーバーハルト・コルプ  
 武器としての線 エーバーハルト・ローターズ  
 ヴィーラント・シュミート 新即物主義—1920年代のドイツ的リアリズム ヴィーラント・シュミート

**倭国と加耶—古代の海をこえて—** 佐賀県立名護屋城博物館  
 解説 廣瀬 雄一

**和紙のかたち展 現代美術の手法4** 練馬区立美術館  
 和紙と現代美術『現代美術の手法(4)—和紙のかたち』展によせて 横山 勝彦

**ワシントン・ナショナル・ギャラリー展** 京都市美術館他  
 ワシントン・ナショナル・ギャラリーの歴史とそのコレクション 坂上 桂子 記  
 集中と拡散、そして／あるいは、近接と疎遠—ワシントン・ナショナル・ギャラリーの19世紀フランス絵画— 島田 紀夫  
 フェルメール作《手紙を書く女性》 太田 治子

**吾の会展** アート・ミュージアム・ギンザ  
 平松礼二ゼミ講評会所感 瀧 悌三  
 覚悟の十六人の「吾」 米倉 守  
 吾妻美学校を知つて 草薙奈津子  
 有笠山からの手紙 平松 礼二

**作家展**  
 ア行  
**相笠昌義展 「日常生活」日本、アメリカ、フランス、メキシコ、モロッコ** 日動画廊

- |                                   |                                    |   |                       |   |            |
|-----------------------------------|------------------------------------|---|-----------------------|---|------------|
| 萬国人間模様絵尽<br>くしー相笠昌義さ<br>んの人と作品    | 安井 収蔵                              | 白い影—ローマか<br>らの手紙                                      | 山崎 省三                 | 池田満寿夫の海外<br>活動  | 中尾 美穂      |
| 赤塚裕二展 鎌倉画廊                        |                                    | 阿部展也(芳文)の<br>戦前の仕事                                    | 大谷 省吾                 | 石内都展 モノクローム—時の器   |            |
| イメージの器                            | 清水 哲朗                              | 荒尾昌朔展 よみがえる軌跡   | 企画                    | 東京国立近代美術館フィルムセン<br>ター展示室                                |            |
| 赤堀郁彦展 漆時空の世界                      | 横浜市                                | 展No.41 大川美術館  |                       | 時間の質感—石内<br>都の写真について                                    | 増田 玲       |
| 民ギャラリー                            |                                    | よみがえる日本画<br>の挑戦 荒尾昌朔<br>展                             | 大川 栄二                 | 他者をめぐって   | 松本 透       |
| 作家あいさつ                            | 赤堀 郁彦                              | 荒尾昌朔先生との<br>出会い                                       | 松谷 武判                 | 石元泰博写真展 伝真言院曼荼羅   |            |
| 展覧会によせて                           | 高橋 節郎                              | あれから三十五年  | 荒尾 純                  | 国立国際美術館   |            |
| 赤堀郁彦の漆芸                           | 白石 和己                              | 蘇る、蘇らせる軌<br>跡   | 岡 義明                  | 伝真言院曼荼羅に<br>ついて   | トニー・滝<br>谷 |
| 荻原守衛と朝倉文夫展 日本近代彫<br>塑入門 徳島県立近代美術館 |                                    | 「正直」に表現する<br>こと                                       | 正田 淳                  | 石元泰博—微細と<br>極大の世界へ                                      | 加須屋明子      |
| ものとモノのあい<br>だで                    | 安達 一樹                              | 郷土の画家三人展(水彩) 荒木省三・<br>(洋画) 柴田幸彦・大槌隆 茂原市立<br>美術館・郷土資料館 |                       | 伊藤福紫展 空間と時間の中に 愛<br>知県美術館                               |            |
| 安達博文の世界展—僕の中のぼく—<br>池田20世紀美術館     |                                    | 荒木省三(水彩画)   | 舛田 隆満                 | 伊藤福紫のあゆみ  | 高橋 秀治      |
| 安達博文—僕の中<br>のぼく—聖化され<br>た日常性のアイコン | 林 紀一郎                              | 柴田幸彦(洋画)  | "                     | 伊藤昌夫・伊藤由美子・ゴトウ・<br>シュウ・田村史郎展 岩手の現代作<br>家シリーズ6 萬鉄五郎記念美術館 |            |
| 安達博文とその家<br>族について                 | 宝木 範義                              | 大槌隆(洋画)   | "                     | 風土・累積像・制<br>作   | 伊藤 昌夫      |
| 作家の言葉                             | 安達 博文                              | 荒木経惟展 センチメンタルな写<br>真、人生。 東京都現代美術館                     |                       | 詩 それとも そ<br>のような 絵                                      | 伊藤由美子      |
| アンセル・アダムスの世界展 三越<br>(日本橋)         |                                    | 写真は人を幸福に<br>できるか?                                     | 石田 哲朗                 | 「KARMA」その理<br>念   | ゴトウシュ<br>ウ |
| フレンズ・オブ・<br>フォトグラフィー<br>その30年     | デボラ・ク<br>ロチコ                       | 今様光源氏   | 瀬戸内寂聴                 | 出品作にそえて   | 田村 史郎      |
| 写真のルネサンス—<br>アダムスの地<br>平          | 深川 雅文                              | コンテン ポラ<br>リー・アラーキー<br>写真が現代美術<br>になるとき               | 塩田 純一                 | 伊藤弥太展 秋田県立近代美術館   |            |
| アフアンディ展 近代美術シリーズ<br>1 福岡アジア美術館    |                                    | ほのぼのといやら<br>しく  | 三宅 一生                 | 弥太、奔る—洋画<br>家 伊藤弥太の生<br>涯—                              |            |
| アフアンディの時<br>代 紅白旗と絵の<br>職人        | 後小路雅弘                              | 涙の色   | UA                    | 伊藤昌夫・伊藤由美子・ゴトウ・<br>シュウ・田村史郎展 岩手の現代作<br>家シリーズ6 萬鉄五郎記念美術館 |            |
| 画家アフアンディ<br>インドネシアの<br>ヒューマニスト    | ドゥイ・マ<br>リアント<br>徳山 由香<br>訳        | 荒木経惟インタ<br>ビュー  | 荒木 経惟<br>石田 哲朗<br>聞き手 | 岩田藤七・久利展 日本の近代ガラ<br>ス工芸の先駆者たち 三越(日本橋)<br>他              |            |
| 父の思い出—画家<br>アフアンディ                | カルティ<br>カ・アフ<br>アンディ<br>山本 裕子<br>訳 | 荒木の出現   | エッソー<br>レ・ソット<br>サス   | 「岩田藤七・岩田<br>久利」プロフィール                                   | 倉田 公裕<br>ル |
| 阿部合成展 メキシコ時代 秀友画<br>廊             |                                    | 安藤重春展 郡山市立美術館   |                       | あとがきにかえて  | 岩田 糸子      |
| 幻の画家 阿部合<br>成                     | 黒田 猛                               | 安藤重春とその周<br>辺   | 鈴木 誠一                 | 響きあう個性展 道南の美術4 [若<br>船修三、田辺三重松、橋本三郎]                    |            |
| 阿部合成の「恍惚<br>と不安と」                 | 佐々木高雄                              | 飯島一次追悼展 フジカワ画廊  |                       | 北海道立函館美術館   |            |
| 星のない夜だか<br>ら、一文字にオシ<br>ロイをひこう。    | 尾崎 真人                              | 飯島一次先生を偲<br>んで  | 美津島幸江                 | 函館画壇の軌跡—<br>三人の画家を巡っ<br>て                               | 大下 智一      |
| 阿部展也展 オマージュ 瀧口修造展<br>19回 佐谷画廊     |                                    | 池田満寿夫展 無名時代から世界の<br>スターへ 池田満寿夫美術館                     |                       | 呉二良 [ウ・イヤン] 版画展 MA<br>GALLERY                           |            |
| 阿部展也—伶俐な<br>野獣の悲喜劇                | 針生 一郎                              | 池田満寿夫の芸術<br>と人生—挫折と成<br>功のあいだの危う<br>い均衡               | 宮澤 壯佳                 | 呉二良 新作版画<br>展 錦湖美術館<br>1999年3月24日~<br>4月6日              | 高 忠煥       |
|                                   |                                    | 中国大陸での幼年<br>時代—その環境と<br>生い立ちをめぐっ<br>て                 | 滝沢 理香                 | 暗闇あるいは深淵<br>の感覚   | 申 恒變       |
|                                   |                                    | 長野と東京—無名<br>期の軌跡                                      | 藤巻理英子                 |   |            |

呉二良の近作 色の物質的側面を精神的価値への転換

尹 晋燮

上村松園展 美の精華 没後五十年記念 京都文化博物館他

松園展によせて 上村 松篁

上村松園の美人画 内山 武夫

第一回上村松園賞を受賞して 秋野 不矩

松園展によせて 上村 淳之

母の松園 秦 恒平

上村松園と作品の女性 大西 基子

京風俗を味わうー私見・松園美人画の楽しみかた 青山 訓子

主要作品解説 上村 淳之

ヴォルス展 小作品展示室常設展示 No.196 福岡市美術館

解説

クシュिटフ・ウディチコ展 ヒロシマ賞受賞記念4回 広島市現代美術館

アーティストからのメッセージ クシュिटフ・ウディチコ

クシュिटフ・ウディチコ入門 中村 敬治

ウディチコ現象のためのノート 粉川 哲夫

クシュिटフ・ウディチコのアゴーン ジョン・ライクマン

グローバルな放浪者 エヴァ・ライヤブルカルト

「14代木下利玄・梅原龍三郎」にみる白樺派 豊田秀吉400年祭記念 笠間日動美術館

木下利玄と桃山ルネサンス 童門 冬二

出品資料・作品について 梶山 孝

梅原龍三郎と白樺派 安井 収蔵

江口週の水彩画展 プルースト『失われた時を求めて』を描く 伊丹市立美術館

あいさつにかえて 大河内菊雄

私とマルセル・プルースト『失われた時を求めて』 江口 週

大久保英治展 四国の天と地の間 阿波の国から歩く 徳島県立近代美術館

四国の天と地の間ー現代日本における自然表現の環流

森 芳功

野外における表現について

”

対談 加藤 義夫 大久保英治

大沢昌助・奈良岡正夫展 変幻自在 じょっぱり画人 茨城県近代美術館

対照的な組み合わせ 加藤 貞雄

大沢昌助 変幻自在流の極意 小泉 淳一

奈良岡正夫さんの人と作品について 清水 優

大辻清司写真実験室展 東京国立近代美術館フィルムセンター展示室

大辻清司写真実験室案内書 増田 玲

記録することと表現することー大辻清司 大谷 省吾

郷土の画家三人展(水彩) 荒木省三・(洋画)柴田幸彦・大槌隆 茂原市立美術館・郷土資料館

大西忠夫展 逃げ水を追って 高松市美術館

大西氏の偉業を讀ませて 佐治 賢使

思い出の余韻 清水九兵衛

漆芸の新しい道ー大西忠夫展によせて 白石 和己

主として太陽と月とをめぐってー大西忠夫掌論 木田山日出男

大西忠夫の人と作品 佐々木正夫

逃げ水を追うクリエーター 野中 一寛

岡沼淳一展 十勝の新時代2 北海道立帯広美術館

張り詰めた弓の話 鎌田 亨

民芸運動と岡村吉右衛門展 鳥取・日本・アジアの技と美 鳥取県立博物館

「民芸運動とは」 尾久 彰三

岡村吉右衛門その歩み 磯江 哲昭

多面体・岡本太郎展 哄笑するダイナミズム 川崎市岡本太郎美術館

太郎さんはやっぱりすごかった 大貫 誠

序ー多面体・岡本太郎をめぐって 村田慶之輔

岡本太郎登場ー歴史的アヴァンギャルドの記憶とアヴァンギャルド芸術の実践

五十殿利治

岡本太郎にとっての美術史

山下 裕二

多面体岡本太郎

日比野克彦

多面体岡本太郎 造形論・平面 連続する精神の痕跡ー岡本太郎の絵画について

仲野 泰生

多面体岡本太郎 造形論・立体 岡本太郎の立体造形ー1950年代の作品をめぐってー

小井沼 香

多面体岡本太郎 フィールドワーク・探る すべてと無のあいだの深淵ー岡本太郎の「民族学」

今福 龍太

多面体岡本太郎 写真・撮す 写真家・岡本太郎の冒険

飯沢耕太郎

多面体岡本太郎 思想・著す 熱情のボイラーは爆発するーパタイユと岡本太郎

中村雄二郎

多面体岡本太郎 デザイン・遊ぶ 岡本太郎の鬼子たちは

磯崎 新

多面体岡本太郎 パフォーマンス・ひらく タロウさんへのラブコール

森村 泰昌

小川幸一展 小作品展示室常設展示 No.197 福岡市美術館

解説 山口 洋三

荻原守衛と朝倉文夫展 日本近代彫塑入門 徳島県立近代美術館

奥村土牛展 生誕110年記念 北海道立近代美術館

奥村土牛とその芸術ー五題・五想ー 奥岡 茂雄

大人物の土牛先生 山崎 富治

奥村土牛の画業 土岐美由紀

奥村土牛展 生誕110年 三越(日本橋)

奥村土牛展によせて 小倉 遊亀

土牛芸術、セザンヌを越えた、と私は思う 田中 穰

《座談会》人間「土牛」を語る	奥村 昭 奥村 信 田中 稜 山崎 富治
奥村土牛の生涯と芸術	鶴田 汀
凝視の画家—土牛の位置	濱中 真治
<b>奥山儀八郎展 創造と伝統の木版画家</b> 松戸市立博物館	
版画家・奥山儀八郎—その版画制作の軌跡をもとめて—	岩切信一郎
創造と伝統の木版画画家	田中 典子
<b>小倉遊亀展 パリ展帰国記念</b> (日本橋)他	三越
小倉遊亀パリ展に寄せて	内山 武夫
小倉遊亀の日本画—20世紀の日本絵画—	高梨 純次
梅と共に生きる	小倉 寛子
<b>小野忠重木版画展 人間愛の木版誌</b> 区立杉並会館ギャラリー	
小野忠重、ふたたび	松山 龍雄
<b>小野竹喬展 生誕110年・没後20年</b> 記念 京都国立近代美術館	
小野竹喬の画業	内山 武夫
小野竹喬の《奥の細道句抄絵》について	島田 康寛
竹喬、模索の時代 (1929~1945)	上蘭 四郎
竹喬展によせて	小野 常正
<b>オノデラ ユキ展 群馬青年ビエンナーレ'99招待部門</b> 群馬県立近代美術館	
「C. V. N. I.」シリーズ 「P. N. I.」シリーズ 「古着のポートレート」シリーズ 「Camera」シリーズ	
<b>カ 行</b>	
<b>甲斐庄楠音と大正期の画家たち</b> 千葉市美術館	
未完の美—甲斐庄楠音雑感	小林 忠
甲斐庄楠音 大正期に噴き出した日本美の伏流	島田 康寛

甲斐庄絵画の転換期—きたない絵事件をめぐって—	上蘭 四郎
<b>ガヴァルニ展 19世紀パリの生活情景</b> 伊丹市立美術館	
ガヴァルニ—19世紀パリの享楽の演出者	小勝 禮子
<b>掛井五郎展 北に東に</b> 中原悌二郎 記念旭川市彫刻美術館他	
掛井さんの芸術を想う	島 朝夫
<b>加藤陽回顧展 思索と情熱の画家</b> 没後10年 佐久市立近代美術館	
父の思い出	加藤 洋一
§ 作家の言葉 §	加藤 陽
<b>加藤土師萌展 近代陶芸の精華</b> 東京国立近代美術館工芸館	
加藤土師萌	木田 拓也
<b>イリヤ・カバコフ展 シャルル・ローゼンタールの人生と創造</b> 水戸芸術館現代美術ギャラリー	
「シャルル・ローゼンタールの人生と創造」—展覧会の意図と内容	イリヤ・カバコフ
シャルル・ローゼンタール(1898—1933)について	〃
展示作品に署名する代わりに、なぜ「登場人物」の仕掛けを講じる必要があるのか?	〃
光に目が眩んで	ロバート・ストー
シャルル・ローゼンタールとイリヤ・カバコフ	逢坂恵理子
対談	イリヤ・カバコフ 中原 佑介 熊見 直子 通訳
<b>鎗木清方展</b> 東京国立近代美術館	
鎗木清方：樹のごとく	市川 政憲
<b>デザイナー亀倉雄策展</b> 新潟県立近代美術館	
亀倉雄策のコレクション	木島 俊介
<b>加守田章二展 20世紀陶芸の神話</b> 第1章 土の生命を求めて1959—1969 陶芸メッセ・益子	
加守田章二の陶芸—第1章 土の生命を求めて[創造の器(ひと)改訂]	青木 宏

<b>河井寛次郎と棟方志功展</b> 高島屋 (日本橋)他	
「河井寛次郎と棟方志功」展によせて	小倉 忠夫
「いのちの燦々人たち」	河井須也子
河井寛次郎の陶業 1930年代が生んだ、棟方志功という日本人の故郷	諸山 正則 滝沢 恭司
河井と棟方—歓喜の友情—	原田 敦子
<b>川口軌外展 ある洋画家の軌跡</b> 和歌山県立近代美術館	
川口軌外の歩み—変貌を貫く芸術	奥村 泰彦
<b>河口龍夫—関係・京都展</b> 京都市美術館	
Xに向けられたアンテナ	中原 佑介
関係—河口龍夫論	平野 重光
<b>川西英と神戸の版画展 三紅会に集った人々</b> 神戸市立小磯記念美術館	
川西英と三紅会	金井 紀子
<b>川俣正ワーク・イン・プログレス</b> 豊田市美術館コミッションワークのためのプラン/プロポーザル 豊田市美術館	
川俣正ワーク・イン・プログレス—プロジェクト・イン・豊田	能勢 陽子
対談 / Dialogue	川俣 正弘 青木 対談
<b>川俣正展 コールマイン</b> 田川市美術館	
コールマイン田川1999	川俣 正
コールマイン田川フリートーク	
<b>菊池契月とその系譜</b> 京都新聞創刊120年記念展 京都市美術館	
ごあいさつ	菊池 綾子
菊池契月とその系譜	塩川 京子
<b>菊池容斎と明治の美術展</b> 没後120年 練馬区立美術館	
容斎断章	塩谷 純
“勤王”伝説の背景	佐藤 道信
『前賢故実』の波紋—一月岡芳年を中心に	菅原 真弓

「容齋」以後—明治  
期美術におけるそ  
の影響 野地耕一郎

菊畑茂久馬展 東京画廊  
「天動説」～「天河」  
回想 菊畑茂久馬

岸田劉生展 近親者への眼差し 町  
立久万美術館開館10周年記念企画展  
町立久万美術館  
ごあいさつ 松岡 義太  
岸田劉生—近親者  
への眼差し—によ  
せて 岸田 夏子  
岸田劉生—前衛、  
正統そして回帰 阿部 信雄  
岸田劉生の近親者  
への眼差し 神山 敦朗

増田感・北堅吉彦展 熊野の音+熊  
野の色 和歌山県立近代美術館  
「熊野の音+熊野  
の色 増田感・北  
堅吉彦展」によせ  
て 寺口 淳治

北山善夫展 図 絵画 豊田市美術  
館  
図 絵画 北山善 吉竹 彩子

鬼頭鍋三郎作品集 滞欧1945—1955  
生誕100年 名古屋画廊(名古屋)  
鬼頭鍋三郎のヨー  
ロッパ旅行 山田 論

木村友紀展 クリテリオム39 水戸  
芸術館現代美術ギャラリー第9展示  
室  
§ 木村友紀につい  
て§ 水谷みつる

木村秀樹展 半透明 京都の美術  
昨日・きょう・明日26 京都市美術  
館  
半透明な窓 清水佐保子

草間彌生展 ニューヨーク/東京  
東京都現代美術館  
草間彌生の日本に  
おける創作につい  
て 関 直子  
対談 三浦 清宏  
草間 彌生  
リン・ゼレ  
ヴァンス  
キー  
木下 哲夫  
訳

ゼロへの還元—草  
間彌生とヨーロッ  
パの「新傾向」  
ローラ・ホ  
プトマン  
関直子 訳

内発的なシュルレ  
アリスム—渡米ま  
での草間彌生 建畠 哲

アレクサン  
ドラ・モン  
ロー  
木下 哲夫  
訳

天と地の間—草間  
彌生の文学作品

マックス・クリンガー展 幻想版画  
の世界 高知県立美術館コレクショ  
ン 伊丹市立美術館  
クリンガーと日本 鍵岡 正謹  
マックス・クリン  
ガー その生涯 奥野 克仁

黒田清輝 101年目の日光展 日本  
近代洋画の巨匠 小杉放菴記念日光  
美術館  
序論 黒田清輝の  
生涯と芸術 田中 淳  
黒田清輝の絵画世  
界—底流に流れる  
バルビゾン派への  
共感 山梨絵美子  
黒田清輝と小杉放  
菴 田中 正史

小磯良平展 描かれた静謐な世界  
鹿児島市立美術館  
小磯良平と兵庫ゆ  
かりの作家たち 中島 徳博  
小磯良平のエスプ  
リ 藤島武二との  
かわりを中心に 野添 浩一

國領經郎展 横浜美術館  
國領經郎の絵画世  
界 陰里 鐵郎  
國領經郎の画業  
「孤愁の心象」につ  
いて 武田 厚  
第一章 初期の模  
索：柏崎時代を中  
心に 新畑 泰秀  
第二章 点描法の  
成果 八柳 サエ  
第三章 砂丘の主  
題の展開 柏木 智雄  
第四章 スケッ  
チ・エスキース ”

児島虎次郎展 没後70年 成羽町美  
術館他  
児島虎次郎展によ  
せて 高階 秀爾  
児島虎次郎の画業 小倉 忠夫  
児島虎次郎とベル  
ギー美術 富田 章  
児島虎次郎と大原  
コレクション—西  
洋絵画を中心に 松岡 智子  
児島虎次郎が伝え  
るもの 大原謙一郎

小嶋悠司展 ギャラリー—戸村  
§ 作家の言葉 § 小嶋 悠司

ジョセフ・コース展 1965—1999  
訪問者と外国人、孤立の時代 千葉  
市美術館他  
アンジェ  
ラ・ヴェッ  
テーゼ  
金山 弘昌  
訳

ジョセフ・コース  
ス、心の部屋をめ  
ぐる行程

既製の芸術作品を  
用いたインスタ  
レーションに関す  
る小考 水沼 啓和

ジョセフ・コース  
スの日本国内にお  
ける公共の場の仕  
事 吉原美恵子

哲学以後の芸術  
ジョセフ・  
コース  
水沼 啓和  
訳

人類学者としての  
芸術家  
ジョセフ・  
コースス  
吉原美恵子  
訳

《訪問者と外国人》  
のための第四の覚  
書  
ジョセフ・  
コースス  
水沼 啓和  
訳

震災と表現展 震災から5年[小谷  
泰子、杉山知子、堀尾貞治、涌嶋克  
己] 芦屋市立美術博物館  
震災と表現—美術  
は役割を果たせる  
のか— 河崎 晃一  
1995年の日記から 杉山 知子  
§ 作家の言葉 § 涌嶋 克己  
” 小谷 泰子  
震災のこと 堀尾 貞治

ゴッホ展 クレラー=ミュラー美術  
館所蔵 Bunkamura ザ・ミュー  
ジウム他  
クレラー=ミュ  
ラー=コレクショ  
ンのファン・ゴッ  
ホ ヨハネス・  
ファン・デル  
ル・ウォル  
ク  
宮澤 政男  
訳  
ゴッホの四季、  
ゴッホの人生 木島 俊介

伊藤昌夫・伊藤由美子・ゴトウ・  
シュウ・田村史郎展 岩手の現代作  
家シリーズ6 萬鉄五郎記念美術館  
ゴトウ・シュウの平面世界展 沈黙  
の波動—静かに浮かび上がる色と彩  
光と緑の美術館  
持続する絵画をめ  
ざして… ゴトウ・  
シュウ  
ゴトウ・シュウの  
軌跡 野村 重存



小林研三展 三重県立美術館  
 はるはいちめん 東 俊郎

小林秀雄展 中断された場所 クリ  
 テリオム41 水戸芸術館  
 写真論的な写真—  
 《中断された場所》 浅井 俊裕

ゴヤ 版画にみる時代と独創展 国  
 立西洋美術館  
 版画家ゴヤの近代  
 性 高階 秀爾  
 ゴヤ、版画にみる  
 時代と独創—序文 雪山 行二  
 バレリア  
 ノ・ポザ  
 ルの形成 中村コレクション  
 の形成 堀澤 光栄  
 ゴヤの版画作品に  
 みる民衆性 大高保二郎  
 訳  
 ファン・カ  
 レーテ・パ  
 ロンド  
 久々 湊直子  
 宮本 万紀  
 共訳

18世紀スペインに  
 おける版画  
 ファン・カ  
 レーテ・パ  
 ロンド  
 久々 湊直子  
 宮本 万紀  
 共訳

『カプリチオス』制  
 作の背景と創作版  
 画家ゴヤ 木下 亮

ゴヤと戦争 恩師  
 ファン・カレ  
 ーテ  
 に献ぐ へスーサ・  
 ベーガ  
 石塚 裕康  
 雪山 行二  
 共訳

ゴヤの版画集『妄』  
 に見られる秩序の  
 転覆とカーニヴァ  
 ルの精神 ナイ ジ  
 エル・グ  
 レン  
 デニン  
 グ  
 雪山 行二  
 訳

ゴヤとリトグラフ  
 芸術 へスーサ・  
 ベーガ  
 宮本 万紀  
 訳

ラファエル・コラン展  
 美術館他 静岡県立美  
 術館他

ラファエル・コ  
 ランのささやかな音  
 楽 ブルーノ・  
 フカール  
 三浦 篤  
 指村 恵子  
 訳

ラファエル・コ  
 ラン—日本を愛した  
 「ダフニスとクロ  
 エ」の画家 三浦 篤

コルセットのニン  
 たちへのオマー  
 ジューラ ファ  
 エル・コ  
 ラン《海  
 辺にて》をめぐ  
 る一  
 考察— 三谷 理華

ラファエル・コ  
 ラン  
 コレク  
 ション  
 詳細 クリス  
 チャ  
 ン・プ  
 リア  
 ン  
 飛嶋 隆  
 信  
 訳

日本におけるコ  
 ラン  
 受容につ  
 いての  
 メモ—展  
 覧会を中  
 心に— 山本香瑞子

複製画像に見るラ  
 ファエル・コ  
 ラン ドミニ  
 ッ  
 ク・ロ  
 ブス  
 タイン  
 田中 容  
 子  
 訳

ミレー、コロ  
 ー、バル  
 ビゾン  
 の巨星  
 たち展 姫路市立美術  
 館  
 フランス19世紀自  
 然主義絵画の成  
 り  
 立ち—バ  
 ルビ  
 ゾン  
 派コ  
 ロー、  
 ミ  
 レー  
 を中  
 心と  
 して 井出洋一  
 郎  
 中村コ  
 レク  
 ショ  
 ンの  
 形成 堀澤 光  
 栄

ジャンニ・コロ  
 ンボ展 芸術とそ  
 の  
 世界 草月美術  
 館  
 ジャン  
 ニ・コ  
 ロ  
 ン  
 ボ、  
 芸  
 術と  
 そ  
 の  
 世  
 界 ヴィッ  
 トー  
 リ  
 オ・  
 ファ  
 ゴー  
 ネ

サ 行

斎藤清展 造形の詩—伝統美とモ  
 ダ  
 ニズ  
 ムの  
 構  
 図 小田急美術館他  
 斎藤清の画業：独  
 創の源流 早川 博明

斎藤智展 シロタ画廊  
 透明なキャンバス 中原 佑介

斎藤真一展 失われし心への旅 東  
 京  
 ス  
 テー  
 シ  
 ョ  
 ン  
 ギ  
 ャ  
 ラ  
 リー  
 斎藤真一追慕記 松永 伍一  
 失われし心への旅 池田 良平

斎藤義重展 神奈川県立近代美術  
 館  
 あいさつ—斎藤義  
 重展に寄せて 酒井 忠康  
 斎藤義重さんが探  
 索してきたものは 磯崎 新  
 作家のことは 斎藤 義重  
 斎藤義重の「ユー  
 モア」 長門 佐季

坂井淑恵・高橋信行展 グリーン・  
 イ  
 ン・  
 ス  
 ピ  
 リ  
 ッ  
 ト 芦屋市立美術博  
 物館  
 内なる自然／虚構  
 の日本 山本 淳夫

坂井淑恵 クリテリオム40 水戸芸  
 術館現代美術ギャラリー  
 自分に出会う静か  
 なる視線 森 司

坂本繁二郎展 没後30年記念 石橋  
 美術館  
 坂本繁二郎—その  
 人と芸術をめぐ  
 つ  
 て— 植野 健造

作間敏宏展 Colony アー  
 ト  
 フ  
 ォ  
 ラ  
 ム  
 谷  
 中  
 集積された時間が  
 スパークする瞬間 山下 里加  
 に立ち会う

佐藤敬とその周辺展 大分県立芸術  
 会館  
 佐藤敬—画業50年  
 の軌跡— 加藤 泰彦

佐藤晃一 ポスターの世界展 「超  
 東  
 洋」 高崎市美術館  
 § 作家の言葉 § 佐藤 晃一

呼吸する風景 長沢秀之・佐藤時  
 啓・平田五郎 埼玉県立近代美術館  
 身体で測る景 大越 久子

佐藤泰生展 油彩画とガラス絵 日  
 動  
 画  
 廊  
 他  
 ガラス絵を見たア  
 トリエで 武田 厚

佐野忠吉展 北海道立近代美術館・  
 北  
 海  
 道  
 立  
 函  
 館  
 美  
 術  
 館  
 ・  
 市  
 立  
 函  
 館  
 博  
 物  
 館  
 三  
 館  
 所  
 蔵  
 品  
 に  
 よ  
 る 函館市芸術  
 ホールギャラリー  
 佐野忠吉・作品と  
 遺稿、いま再び 笹野 尚明  
 開催によせて 関 輝夫  
 佐野忠吉、色彩の  
 夢を求めて 霜村 紀子

ラインハルト・サビエ展 まなざし  
 小田急美術館他  
 芸術はいざないで  
 あり、思いを述べ  
 たいという願望で  
 ある ラインハ  
 ルト・サ  
 ビエ

現代文明批判のリ  
 アリズム—交流6  
 年からみたサビ  
 エ— 針生 一郎

存在の光—ライン  
 ハルト・サビエの  
 絵画 千葉 成夫

「私の描く肖像画  
 は共感を引き起こ  
 す」ラインハ  
 ルト・サビエ  
 ホーバル・  
 レーム

ジャンルー・シーフ写真展 小田急  
 美術館  
 ジャンルー・シー  
 フのこと 倉持 悟郎

塩出英雄展 ねりまの美術'99 練  
 馬区立美術館  
 塩出英雄私見 有川 文夫  
 春日満ちさす—塩  
 出英雄の絵画につ  
 いて 野地耕一郎  
 塩出絵画の秘密 石井 太

郷土の画家三人展 (水彩)荒木省三・(洋画)柴田幸彦・大槌隆 茂原市立美術館・郷土資料館

島田章三展 かたちびと 三重県立美術館他

「かたちびと」の作品世界 酒井 哲朗

同時代的回想 福田 徳樹

かたちびと島田章三さんのかたち 安井 収蔵

初期の島田章三 毛利伊知郎

「かたち」と「ひと」の不可分の関係—「かたちびと」島田章三 岡部 幹彦

下田之保遺作展 夢と記憶の王国／「山ぼこ山」から「アフリカの木」へ

東京芸術大学大会館

ごあいさつ 下田 正子

赤凸山に立って—下田之保の作品 千葉 成夫

下田之保との再会を前にして 矢富 康示

下田之保君を偲んで 石原 喜人

芸大野球部時代の「シモダノタモツ」君を偲ぶ 木島 彰

昭和50年頃 藤平 朱実

画家下田之保の心象風景 リュウ アヤコ

下田先生を偲び、遺作展の成功を祈る 深美 成男

兄貴 松村 達也

これからも応援しつづけてね 下田 彩子

遺稿文から 下田 之保

シャガール版画展 愛の使徒 アニ

ヴェルセル表参道

愛の画家シャガール 千足 伸行

シャガールと日本 五十嵐 卓

「愛の花束」ベラ・マイヤー

ドナルド・ジャッド1960—1991展

埼玉県立近代美術館他

経験の純粋化—ドナルド・ジャッドの芸術について 梅津 元

作品の住処—ドナルド・ジャッドのインスタレーションについて 尾崎佐智子

チナティ・ファウンデーションのためのステイトメント 尾崎佐智子

ドナルド・ジャッドのステイトメント 平野千枝子

チナティ・ファウンデーションのためのステイトメント 尾崎佐智子

チナティ・ファウンデーション—ドナルド・ジャッドの作った美術館

ドナルド・ジャッドへのインタビュー

白野文敏展 その抽象の世界 色彩

にいきづく抒情 大分県立芸術会館

白野文敏小論—「内と外」をめぐる

菅木志雄展 スタンス

菅木志雄—「所有」をめぐる

技法の減法 素ガ木・石ヲ

事実のエチカ—菅木志雄ノート

「領域は閉じない」

杉全直展 姫路市立美術館他

回想—杉全直

杉全直の作品構造—芸術家における「場」の探求

絡み合う空間表現 1960年代後半から 1970年代の作品について

震災と表現展 震災から5年[小谷泰子、杉山知子、堀尾貞治、涌嶋克己] 芦屋市立美術博物館

鈴木治の陶芸展 東京国立近代美術館工芸館他

鈴木治の造形思考—現代工芸の国際的動向の中で

鈴木治のオブジェとクラフト—昭和30年代を中心に

鈴木治の〔茶碗〕

【対談】陶芸のいま

関根正二展 生誕100年 神奈川県立近代美術館他

生誕100年—関根正二展に寄せて—画家の人生と芸術

新しい神話—関根正二の人間像

セコンド・ラッジ・カールツ展 超

現実と形而上絵画 アート・ミュージアム・ギンザ

展覧会に寄せて

ごあいさつ

マリアナ・ストックブランド 大島 哲蔵 訳

ジョン・コプラン 尾崎信一郎 訳

横濱美術館

天野 太郎

池田 隆代

横濱美術館

菅 木志雄

菅 木志雄

菅 木志雄

菅 木志雄

菅 木志雄

岸野 裕人

舟木 力英

前田 淳子

前田 淳子

金子 賢治

木田 拓也

佐治ゆかり

鈴木 治 河野 健二

神奈川県

酒井 忠康

伊藤 匡

瀬木 慎一

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セコンド・ラッジ・カールツ

セザンヌ展 セザンヌと日本 横浜美術館他

日本におけるセザンヌ受容 陰里 鉄郎

セザンヌと日本美術をめぐる 栗田 秀法

伝習の調停者マネ、近世人中の近世人たるセザンヌ—ユリウス・マイヤー—グレイフェと木下柰太郎：「絵画の約束」の背後に

島崎藤村とセザンヌ—日本におけるセザンヌ受容の一断面

明治・大正期の美術雑誌に見るセザンヌ紹介の実相—『美術新報』と『白樺』を中心に

中村 尚明

古田 浩俊

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

新畑 泰秀

タ行

高島陽子展 Lesson クリテリオム38 水戸芸術館現代美術ギャラリー

「レッスン」の行方 水谷みつる

「レッスン」 高島 陽子

高田一郎舞台美術 11のハムレット

武蔵野美術大学美術資料図書館

「ハムレット」十一変化—高田一郎氏の二つの顔—

これから舞台美術を志す人たちへ 朝倉 摂 吉井 澄雄 高田 一郎

坂井淑恵・高橋信行展 グリーン・イン・スピリット 芦屋市立美術博物館

高松次郎展 「影」の絵画とドローイング 国立国際美術館

高松次郎の「影」再考—「子供の影」(1969年)を中心に

「影」の絵画とドローイング 尾野 正晴

影のシリーズについて—いまの時点から 高松 次郎

田河水泡生誕百年記念 のらくる展

町田市立博物館

田河の残したもの 高見澤潤子

田河水泡を読む—近代日本漫画のアルケオロジー— 山口 昌男

田河水泡の「マヴォ」体験 羅望 童子

瀧口修造と武満徹展 世田谷文学館  
ジャンルを越えた友情 佐伯 彰一  
瀧口修造・武満徹往復書簡 矢野 進

武井武雄 空想へのいざない展  
ファミリー美術館'99 茨城県近代美術館  
武井武雄のこと 後藤 哲也

竹久夢二名品百選展 夢二郷土美術館所蔵 そごう美術館(横浜)  
竹久夢二の芸術 小倉 忠夫  
夢二と父・大藤昇との交友のことど 大藤 眞も  
夢二の油絵 袖井林二郎  
夢二の里帰り 松田 基

竹久夢二展 宵待草の詩人 天童市美術館  
夢二の夢 村田慶之輔  
竹久夢二よみがえる 澤田 城子

立石大河亞展—THE ENDLESS TIGER 田川市美術館  
立石大河亞の思い出 谷川 晃一  
改名の解明〜大河亞ドラマは終わらない 工藤 健志  
漫画と美術と立石大河亞 原田 真紀

メタモルフォーゼ・タイガー 立石大河亞と迷宮を歩く O美術館  
メタモルフォーゼ・タイガー—虎像そして／あるいは虚像の彼方で 天野 一夫  
混沌体。アジア的想像力の復権 杉浦 庸平  
脳内大戦—タイガー—立石の作品について 藤幡 正樹  
感想 会田 誠  
アンケート 福田 美蘭  
アンケート 松本 弦人  
ワークショップ “タイガーになろう” 大岩 オスカール 幸男  
ワークショップ 「どんぶりの小宇宙」 天野 裕夫

田中一光ポスター展 伝統への接点 東京国立近代美術館 フィルムセンター展示室  
伝統と現代—田中一光のポスター 白石 和己

響きあう個性展 道南の美術4 [岩船修三、田辺三重松、橋本三郎] 北海道立函館美術館  
谷川晃一新作展 ツバメの季節 ギャラリー新居(東京)他  
精霊たちとの交歓 内山 武夫  
伊藤昌夫・伊藤由美子・ゴトウ・シュウ・田村史郎展 岩手の現代作家シリーズ6 萬鉄五郎記念美術館  
ダリ展 サルバドール・ダリ美術館(米国フロリダ)所蔵作品および招待作品による 三越美術館(新宿)  
ダリ、または永遠の謎 千足 伸行  
サルバドール・ダリの波瀾の青春 新関 公子  
ダリとガラ—超現実的邂逅 横尾 忠則  
半信半疑・ダリの絵の表情 赤瀬川原平  
「アンダルシアの犬」について  
モース夫婦とサルバドール・ダリ美術館

デイル・チフリー展 現代ガラスの巨匠が創る新・美空間 開館10周年記念 広島市現代美術館  
チフリーの新・美空間 竹澤 雄三

鳥海青児デッサン展 平塚市美術館  
日本と西洋の眼 1957年のヨーロッパ旅行にかかわるデッサンをめぐって 鈴木 幹

月岡芳年展 最後の天才浮世絵師 秋田県立近代美術館  
最大の動乱期を生き、描き抜いた巨匠—月岡芳年の生涯と作品— 田中日佐夫  
芳年蒐集譚 西井 正氣

土屋光逸展 風光礼賛 茅ヶ崎市美術館  
激動の季節に咲いた風景版画—土屋光逸の人と作品— 北村 由雄 土屋 マサ 土屋ふさ子 談

洋画家 積田鯉士展 美術企画展—茂原ゆかりの作家シリーズ1— 茂原市立美術館・郷土資料館  
解説 舛田 隆満

ポール・デルヴォー展 幻想と静謐の空間 高崎市美術館  
幻想と静謐の空間 ポール・デルヴォー展 柴田 純江

土井俊泰の画業 茅ヶ崎市美術館  
土井俊泰の画業—情感かよう自由空間 北村 由雄 間

東松照明の50年展 日本列島クロニクル 東京都写真美術館  
TRACES OF TRACES 多木 浩二  
原光景 東松 照明  
カオスの海へ ”  
東松照明—その50年の軌跡 中原 淳行

オノレ・ドーミエ版画展2 東武美術館所蔵 東武美術館  
1 1. 二月革命前夜/後日譚(1839年9月8日—1850年9月3日)—『コンスティテューションネル』の行末と、1848年の二月革命、当時の保守派政治家の経歴と政見、そして北アフリカとギリシャにおけるフランスの外交政策。  
1 2. ラタポワール登場(1850年10月10日—1852年10月4日)—当時の主だった政治家やジャーナリストの人物と経歴、そしてヘッセン＝カッセルとナポリにおける政治的危機。  
1 3. 議会七転八倒(1849年10月9日—1851年2月)—日々の議会風景と、議員の休日。  
2 1. パリの浮草暮らし(1835年10月27日—1842年5月28日)—中流そして下層の人々の暮らしの中のおかしなできごと。  
2 2. パリの表情—顔・かお・カオ(1836年11月25日—1851年7月15日)—都会に集まる風変わりな人々と古典悲劇役者の表情の研究。

2 3. うるわしき日々の牧歌劇(1843年12月24日-1846年4月29日)一人のままたらぬ瑣事と慎ましやかな喜びの数々、そして都会人が田舎で仰天することども。

2 4. ロベール・マケール-金・かね・カネ(1836年12月11日-1857年7月7日)-ロベール・マケール・シリーズと商売ピンからキリまで。

2 5. されどバリ、住めば都(1844年9月27日-1856年11月5日)-慈善家や弁護士としての大家と間借り人の関係や、都会の新しい生活状況。

十時孝好展 USAGI 三越(日本橋)

ウサギと蟹、そして、ないものねだり。 桑原康一郎

鉄斎 書的美展 鉄斎美術館 § 解説 §

土門拳の眼 荻原守衛の彫刻を撮る 碌山美術館

土門拳の視点 三木 多聞  
彫刻を見た土門拳 基 俊太郎  
仏像写真の系譜と土門拳一記録から表現へ 岡塚 章子  
土門拳と荻原守衛を顧みる 千田 敬一

ナ 行

呼吸する風景 長沢秀之・佐藤時啓・平田五郎 埼玉県立近代美術館  
中島清之展 異材の日本画家 伝統と現代を問い続けて 佐野美術館

型にはまらぬ柔軟な感性-中島清之の場合- 細野 正信  
螺旋に昇りゆく美の力学 日夏 露彦

永瀬義郎展 浪漫 東広島市立美術館 館開館20周年東広島市立美術館所蔵作品展 東広島市立美術館

永瀬義郎-その昭和初期までの活動を概観する。 山根 達也

中村岳陵展 回顧展-没後30年 松坂屋美術館(名古屋)他

写生に徹した父の画業 中村 漢男

中村岳陵、その芳潤な絵画世界 川口 直宜

中村一美展 セゾン現代美術館

中村一美の絵画をめぐって 小川 稔

中山巍展 岡山県立美術館自主企画

特別展 岡山県立美術館

中山巍覚書 柳沢 秀行

大沢昌助・奈良岡正夫展 変幻自在 じょっぱり画人 茨城県近代美術館

難波田龍起展 生の交響詩 日本の抽象の創造と展開 東京オペラシティアートギャラリー

難波田龍起: マチエールに託された精神性 大島 賛都

難波田龍起: 生命の線と色彩 //

「東洋的抽象」と「白と黒」が織りなす作品群 飯田志保子

コレクションにおける「私」性 寺田小太郎氏に聞く 大島 清次 聞き手

難波田龍起-「抵抗」の画家- 小林 俊介

難波田龍起の著作、あるいは「日本的」抽象について 新明 英仁

古川清・西村正幸展 ころからうまれるかたちという INAZAWA・現在・未来展4回 稲沢市荻須記念美術館

ころからうまれるかたちという 山田美佐子

ハ 行

響きあう個性展 道南の美術4[岩船修三、田辺三重松、橋本三郎] 北海道立函館美術館

シヴォーン・ハバスカ展 ロンドン・アート・シーンの旗手: 明滅する記憶の未来形 東京国際フォーラム・展示ホール

ザット・ベトロー・エモーション: あのガソリンの感情が... ジェイムズ・ロバーツ

そよ風を撃て シヴォーン・ハバスカとのインタヴュー スザンヌ・コッター

浜口陽三展 モノクローム作品を中心として 佐倉市立美術館

浜口陽三とメゾ ティント 瀬木 慎一

浜口陽三さん 深沢 幸雄

早川幾忠-我流の土に咲く花- 米子市美術館

艶麗なサンクロミスム-早川幾忠 木村 重信

我心への耽溺-文人画家早川幾忠へのオマージュ 藤堂 司郎

あるがままの完石山人 中村美知生

「小泉八雲舊居玄關之圖」前後 齋鹿 逸郎

父幾忠の面白づく人生 早川 聞多

森鷗外と原田直次郎展 森鷗外小倉着任100周年記念 北九州市市立美術館開館25周年 北九州市立美術館

ミュンヘン・森鷗外・原田直次郎 中島 順一

口語訳 森鷗外『小倉日記』抄 谷 伍平

レメディオス・バロ展 伊勢丹美術館他

レメディオス・バロ-その魂の軌跡 野中 雅代

レメディオス・バロの芸術-ポストとブルトンのほざまで 木下亮 訳

レメディオス・バロの思い出 ヴァルター・グルーエン 太田 泰人 訳

ビーイング・デジタル-アニメーションとメディア 映像工夫館作品展 東京都写真美術館

ビーイング・デジタル-アニメーションとメディア 森山 朋絵

秀島由己男展 神奈川県立近代美術館別館

あいさつにかえて-ものがたりの海に 酒井 忠康

白昼夢賛歌: 秀島由己男の芸術 橋 秀文

平井一男新作品展 東邦画廊 「色彩のなかへ」 千葉 成夫

呼吸する風景 長沢秀之・佐藤時啓・平田五郎 埼玉県立近代美術館  
 平山郁夫展 文化勲章受章記念 三越(日本橋)他  
 フリー美術館と平山郁夫画伯 マイロ・C・ピーチ  
 ギメ美術館と平山郁夫画伯 ジャン=フランソワ・ジェリユー  
 「平山郁夫展」よせて フェデリコ・マヨール  
 敦煌研究所と平山郁夫画伯 樊錦詩  
 展覧会に寄せて 平山郁夫  
 平山先生御夫妻の悠久の生命へのいとなみ 松久保秀胤  
 平山郁夫の画業の意味 大岡信  
 平山郁夫の世界 桑原住雄  
 傅抱石展 20世紀中国畫壇の巨匠  
 日中美術交流のかけ橋 渋谷区立松濤美術館  
 二十世紀中国畫壇の巨匠—傅抱石 葉宗鎬  
 近代日中美術交流と傅抱石 味岡義人  
 福島瑞穂の世界 愛と死 池田20世紀美術館  
 福島瑞穂の世界—愛と死の黙示録— 林紀一郎  
 等身大の生と死とエロス 武田厚  
 絵画とは何か 新藤兼人  
 福田豊四郎展 秋田の自然と詩情を描く 東京ステーションギャラリー  
 福田豊四郎・人と芸術 武埴林太郎  
 戦前・戦後の日本画壇における豊四郎 長島真里  
 福田美蘭展 CCGA現代グラフィックアートセンター他  
 イントロダクショ 小林昌夫  
 福田美蘭：可能性についての絵画 木戸英行  
 福本潮子展 今日の作家シリーズ32 大阪府立現代美術センター  
 § 福本潮子展よせて § 内山武夫  
 藤島武二展 旧・安宅コレクション 80選 大川美術館移動展No.2 玉川近代美術館(徳生記念館)

ヨーロッパ化と藤島武二ほか 大川栄二  
 藤牧義夫展 小野忠重版画館  
 藤牧義夫のこと 池内紀  
 あとがき 小野近士  
 藤本由紀夫展 目と耳の20世紀 西宮市大谷記念美術館  
 目と耳の20世紀 藤本由紀夫  
 美術館の遠足 篠雅廣  
 プッサンとラファエッロ展 借用と創造の秘密 フランス国立図書館特別協力 愛知県美術館他  
 序論 栗田秀法  
 プッサンとラファエッロ借用と創造の秘密 栗田秀法  
 船井武彦展 シロタ画廊  
 「遺景」から予兆の地平へ 井上嘉明  
 古川清・西村正幸展 ころからうまれるかたちという INAZAWA・現在・未来展4回 稲沢市荻須記念美術館  
 フンデルトワッサー展 楽園を求めて 絵画から建築へ 高松市美術館他  
 日本の若者たちへの忠告 フンデルトワッサー  
 芸術の力 ピエール・レスタニー  
 追い風に立つ 角田美奈子  
 ベーター・ペーレンス展 コレクション6 豊田市美術館  
 ベーター・ペーレンスとAEG 田境志保  
 キース・ヘリング展 美術館「えき」KYOTO他  
 キース・ヘリング：一個人の美術史 アメリカ・アレナス  
 摩天楼を駆け抜けた男 福のり子  
 キース・ヘリング 時間の流れ/来るべき21世紀 那須孝幸  
 堀内誠一展 雑誌と絵本の世界 平塚市美術館  
 堀内誠一、その仕事の輪郭をたどる 植田実  
 試み  
 震災と表現展 震災から5年[小谷泰子、杉山知子、堀尾貞治、涌嶋克己] 芦屋市立美術博物館  
 ジャクソン・ポロック銅版画展 名古屋画廊

存在の証明—ジャクソン・ポロック 中村隆夫  
 マ行  
 ドウエイン・マイケルズ写真展 小田急美術館他  
 私が考えていること  
 ドウエイン・マイケルズ写真と絵画と詩の狭間に生きているアーティスト—  
 写真の初源へのまなざし—日本におけるマイケルズの受容—  
 ドウエイン・マイケルズ岸本佳子訳  
 エンリーカ・ヴィガノ  
 金子隆一  
 前田寛治の芸術展 詩情と造形 茨城県近代美術館他  
 前田寛治—描きつつ深まる人— 長谷川三郎  
 前田寛治と1920年代前半のフランス美術界 村上博哉  
 前田寛治と「労働」のテーマ 小泉淳一  
 前田寛治と1930年代協会 仲田耕三  
 前田寛治と帝展 木本文平  
 増田感・北聖吉彦展 熊野の音+熊野の色 和歌山県立近代美術館  
 マッケとその仲間たち ライン河の色彩と光 ボン市立美術館所蔵 宇都宮美術館他  
 マッケとライン表現主義者 伝統とアヴァンギャルドの間に ルート・ディール 石川潤訳  
 アウグスト・マッケの生涯とその作品 谷藤史彦  
 アウグスト・マッケの作品における色彩と光 フォルカー・アドルフス 岡晃弘訳  
 日本美術の受容とアウグスト・マッケにみられるその影響—ボン市立美術館所蔵作品を中心に— ヴォルフガング・プランゲ 柿沼万里江訳  
 極限の調和 アウグスト・マッケ《綱渡り師》について クリストフ・シュライヤー 萬代倫子訳

モード モデルネ  
 モデラートーア  
 ウグスト・マッケ  
 遊歩の絵画— 石川 潤

資料 アウグス  
 ト・マッケ 仮面  
 『青騎士年鑑』  
 1912年) 石川潤 訳

三岸好太郎と北海道独立美術作家協  
 会の画家たち 1930年代の青春 北  
 海道立三岸好太郎美術館  
 初期独立展の頃—  
 三岸好太郎と北海  
 道独立美術作家協  
 会の画家たち 佐藤由美加

三岸好太郎・三岸節子展 北海道立  
 三岸好太郎美術館  
 三岸好太郎美術館  
 の一時間 苫名 真

三岸好太郎・三岸節子展 尾西市三  
 岸節子記念美術館  
 素朴と剛直—三岸  
 節子の人と芸術 太田 泰人

三橋兄弟治・英子展 絆(きずな)  
 茅ヶ崎市美術館  
 慈しみと凝視と—  
 三橋兄弟治・英子  
 の芸術 北村 由雄

宮崎進の世界展 もうひとつのシベ  
 リア 山口県立美術館  
 宮崎進さんのシベ  
 リア 陰里 鐵郎  
 宮崎進の世界—も  
 うひとつのシベリ  
 ア— 高田美規雄

宮田其溪展 明治の郷土画人 龍野  
 市立歴史文化資料館  
 宮田其溪について 田淵 俊介  
 宮田其溪の画業 成澤 勝嗣

宮本三郎展 写実と幻想の巨匠 没  
 後25年 東京都庭園美術館他  
 夕映えの赤—宮本  
 先生の想い出— 山本 貞  
 写実と幻想のあい  
 だで 宮本陽一郎  
 現代洋画を先駆し  
 た巨匠 宮本三  
 郎—描線と光彩と  
 魂の万華鏡— 岡部 昌幸  
 輝くメテエの系譜 二木伸一郎  
 巨匠たちの神話—  
 安井曾太郎・林  
 武・そして宮本三  
 郎— 牟田 行秀

宮本三郎展 はぐくまれた華麗な世  
 界 25年の眠りから覚めて 世田谷  
 美術館

改めて「宮本三郎」 大島 清次  
 展覧会ノート 橋本 善八  
 展覧会によせて 宮本美音子  
 「洋画」の考古学 宮本陽一郎  
 宮本三郎・作家の  
 言葉  
 宮本文枝・夫人の  
 言葉

三好耕三作品展「横町」 フォトギャ  
 ラリー・インターナショナル  
 § 三好耕三につい  
 て § 山崎 信

ミレー、コロー、バルビゾンの巨星  
 たち展 姫路市立美術館

河井寛次郎と棟方志功展 高島屋  
 (日本橋)他

ムンク版画展 京都国立近代美術館  
 他  
 序文 サラ・G.  
 エプス  
 ティーン  
 ムンク、その生涯  
 と時代 阿部 信雄  
 アメリカとムン  
 ク—モダン・ア—  
 ト受容の一断面 池田 祐子  
 19世紀版画事情と  
 ムンクの版画—技  
 法を中心に 八重樫春樹

明和電機百貨展'99 小田急美術館  
 他  
 魚の遠吠えを聞いた朝は、冥王星の  
 歌が聞こえる 伊東 順二  
 明和電機  
 村田 真  
 石川 健次  
 小松崎拓男

ファウスト・メロッチェ展 愛知県  
 美術館  
 メロッチェの多様  
 さとその意味(形  
 而上学と対位法) 拜戸 雅彦  
 我々のメロッ  
 ティ—メロッチェ  
 の出版者としての  
 父ジョヴァンニ・  
 シャイヴィラーと  
 私 ヴァンニ・  
 シャイヴィ  
 ラー  
 形態の重みからの  
 解放—メロッチェ  
 と1930年代の建築 ジョヴァン  
 ニ・マル  
 ツァーリ  
 作陶の芸術家、メ  
 ロッチェ ヨーレ・  
 デ・サンナ  
 批評史における  
 ファウスト・メ  
 ロッチェ フラヴィ  
 オ・フェル  
 ゴンツィ

本野東一の染色 自由への旗印 東  
 京国立近代美術館工芸館  
 本野東一の染色 今井 陽子  
 自由への旗印

森田直衛展 秋田市文化会館示ホー  
 ル  
 Mの肖像 馬場 彬

ヤ 行

安井曾太郎の『文藝春秋』表紙絵展  
 ブリヂストン美術館  
 安井曾太郎の表紙  
 絵考—本業と副業  
 の間— 富山 秀男  
 『文藝春秋』をめ  
 ぐる美術家たちと安  
 井曾太郎—画家研  
 究の入口として—  
 対象を見つめる  
 眼—安井曾太郎の  
 表紙絵と絵画 森山 秀子

保田春彦展 武蔵野美術大学教授退  
 任記念 武蔵野美術大学12号館地下  
 1階展示室  
 保田春彦の位置 藤枝 晃雄

柳原義達デッサン展 三重県立美術  
 館県民ギャラリー  
 柳原義達のデッサ  
 ン 酒井 哲朗

柳原義達展 デッサンの魅力 神奈  
 川県立近代美術館別館  
 彫刻とデッサン 原田 光

柳原義達展—彫刻と新作画による—  
 現代彫刻センター  
 不断の創意—柳原  
 義達—氏への手 酒井 忠康  
 紙

柳瀬正夢展 反骨の精神と時代を見  
 つめる眼 三鷹市美術ギャラリー  
 柳瀬正夢との出  
 会、想い出、そし  
 て別れ 松岡 朝子  
 正夢四十五年の旅  
 路—松山から三鷹  
 へ— 柳瀬 信明  
 柳瀬正夢研究の展  
 開 浅野 徹  
 ゲオルゲ・グロッ  
 スと柳瀬正夢の出  
 会いがもたらした  
 もの 及部 克人  
 美術雑誌読者ネッ  
 トワークのなかの  
 柳瀬正夢 五十殿利治

「個」の解体と「手技」からの解放と—或いは柳瀬正夢の《五月の朝と朝飯前の私》—  
尾崎 真人

柳瀬正夢の「写真」—『中央公論』の二つのグラフ構成をめぐる—  
金子 隆一

やなちゃんともっちゃん  
浅倉祐一朗

運藤一家の謎—《金持ち教育》と読売サンデー漫画—  
富田 智子

柳瀬正夢のグラフィズム  
中山 公子

柳瀬正夢と「無産者新聞」  
奈良 和夫

三鷹における柳瀬正夢—建築家・山越邦彦との出会い—  
武居 利史

来る時代の創作に備えた第二の故郷に還る柳瀬正夢—三鷹の柳瀬正夢展を实らせた源流—  
甲斐 繁人

山崎芳直・インスタレーション(特別参画)風倉匠展 大分の現代美術  
4 山崎・風倉二人展 大分市美術館  
館

「山崎芳直・インスタレーション(特別参画)風倉匠」を終わって  
満生 和昭

アートプラザにおけるインターメディアの展開「山と風の対論」によせて  
菅 章

変化するインスタレーションの流れ 7/31→8/22  
山崎 芳直

インスタレーションと音楽との交換—山倉芳直と風倉匠の大いなる実験—  
大神 健二

山下充展 日動画廊他  
空、海、大気 原田 光

山田光展 陶の標 伊丹市立美術館他  
山田 光

盲亀 高島 国男

山田光君と私 大河内菊雄

新作について 正村 美里

陶に標す—山田光の半世紀をたどる  
山本貞の世界展 光と影の記憶 池田20世紀美術館  
田

山本貞の世界—光と影の無言劇—  
林 紀一郎

山本貞・私論 加藤 貞雄  
一頁目の記憶 山本 貞

山本貞展 凝視された光景 安田火災東郷青児美術館  
序章 明るい陰影の私—山本貞  
凝視のこと 山本 貞

山本正道展 宮城県美術館他  
山本正道の風景彫刻 酒井 哲朗

山本正道の野外作品について 三上 満良

フォルムと風景 毛利伊知郎

遙かに、そして、悠かに… 吉原美恵子

山本正道のデッサン 西村 勇晴

横山大観展 富山県水墨美術館開館記念特別展 富山県水墨美術館  
大観の芸術 鈴木 進  
横山大観の墨画 内山 武夫

結城正明の画業と大観 遠藤 幸一

横山大観の富山歴訪 調査メモ 浅茅 豊

横山大観展 海・山を描く 茨城県天心記念五浦美術館  
「自然の靈性を描く」 横山 隆

大観と富士山—その制作の背景— 金窪 佐和

横山操展 東京国立近代美術館他  
横山操 戦後からの出発 尾崎 正明

日本画、混迷する時代のなかで 横山 秀樹

横山操の言葉から 都築千重子編

吉澤章 創作折り紙展 米寿記念松屋(銀座)  
折り神 福田 繁雄

「大正の広重」吉田初三郎の世界展 堺市博物館  
パノラマ地図を旅する 吉田 豊

吉田初三郎—その生涯と作品— 矢内 一磨

初三郎式都市図と商業美術 吉田 豊

吉仲太造展 戦後美術を読み直す 渋谷区立松濤美術館他  
画家 吉仲太造 光田 由里

京都、そのあいまいな微笑—吉仲太造と、同時代の「前衛」美術について 清水佐保子

吉本義人展 2 依存 東邦画廊  
依存 2 吉本 義人

米陀寛展 悠々として、然たり 宇都宮美術館  
悠々として、然たり 浜崎 礼二

〈米陀寛の人と芸術〉生きものへの視線がものがたるもの 谷 新

ラ 行

プッサンとラファエッロ展 借用と創造の秘密 フランス国立図書館特別協力 愛知県美術館他

ローズマリー・ラング展 エアロ・ゾーン 国際交流展 国立国際美術館  
§ ローズマリー・ラング(エアロ・ゾーン)について § ナタリー・キング 中西 博之 訳

李禹煥展 東京画廊 § 作家の言葉 § 李 禹煥

ソル・ルウィット「スター・シリーズ」展 小作品展示室常設展示 No. 200 福岡市美術館  
解説 コンセプトチュアル・アート(概念芸術)とソル・ルウィット 山口 洋三

ルーベンスとバロック絵画の巨匠たち展 ダリッチ美術館所蔵 伊勢丹美術館他  
ジャイルス ウォーターフィールド  
千足 伸行

「空の空なり、すべて空なり」：バロック精神点描 千足 伸行

イタリア・スペイン絵画 デズモンド・ショウ=テイラー 朝海由美子 訳

フランス絵画 “ ”

フランドル絵画 “ ”

オランダ絵画 “ ”

イギリス絵画 “ ”

ルオー-Miserere展 名古屋画廊  
ルオーについて 田口 貴久

ルノワール展 川村記念美術館他  
「近代の眼」から見たルノワール 島田 紀夫

薔薇色の嘘の先輩、ルノワール 荻野アンナ

ルノワールとパ  
リ・モード 深井 晃子

マリー・ローランサン展 茨城県近  
代美術館

マリー・ローラン  
サン 凝縮された  
美のアラバスクと  
生涯 本多美佐子

パトール・ラヴ  
ワールとエコー  
ル・ド・バリール  
マリー・ローラン  
サンの周辺— 松本 教仁

ローランサンとド  
イツ—1920年前後  
の作品を中心に 今井 有

ロダンの水彩画とデッサン展 静岡  
県立美術館

ロダンのデッサン クロ  
ディ・ジュ  
ドラ ン

ロダンの贗作デッ  
サン ”

ロダンのデッサン  
と日本—いかに伝  
えられ、評価され  
たか(明治30年代  
から大正後期ま  
で)— 下山 肇

不開催に終わった  
ロダン・デッサン  
展をめぐって—パ  
リ・ロダン美術館  
所蔵の書簡を中心  
に— 泰井 良

木村荘八のロダン  
素描論—大正中期  
の日本におけるロ  
ダン評の一例とし  
て 南 美幸

シュミット・ロットルフ木版画展

名古屋画廊

根源性と普遍性の  
追求—第一次大戦  
後のシュミット＝  
ロットルフの宗教  
的木版画の意味す  
るもの 都築千重子

ワ 行

若林奮展 前方に犬、下方に花 佐  
谷画廊

若林奮—いのちに  
帰る— 市川 政憲

前方に犬、下方に  
花 小泉 晋弥

あとがき 前方に  
「彫刻」右方に「絵  
画」 佐谷 和彦

脇田和回顧展 叙情の詩歌 神戸市

立小磯記念美術館

脇田画伯のこと 桑原 住雄

飛翔する鳥たち—  
叙情奏でる脇田和  
の芸術— 廣田 生馬

震災と表現展 震災から5年[小谷  
泰子、杉山知子、堀尾貞治、涌嶋克  
己] 芦屋市立美術博物館

和達知男展 1920年代ベルリン、天  
逝の画家の足跡 第一生命南ギャラ  
リー

もうひとつのベル  
リン—「画家」とし  
ての和達知男 水沢 勉

渡辺好明展 光ではかられた時 齋  
藤記念川口現代美術館

クロノスの懼れ 鷹見 明彦

光ではかられた時  
周辺断想 森田 一



## 物 故 者

## 索 引 (50音順)

相原 求一朗(洋	2月5日	80歳).....252	鷹山 宇一(洋	10月25日	90歳).....263
浅野 竹二(版	2月1日	98歳)	竹内 英輔(工	1月11日	66歳)
畦地 梅太郎(版	4月12日	96歳).....255	多田 かおる(漫	3月11日	38歳)
あべ 善太(漫	3月14日	51歳)	田中 千代(デ	6月28日	92歳)
天野 隆一(日	1月27日	93歳)	谷 資信(学	5月1日	77歳)
綾村 坦園(書	3月8日	91歳)	谷岡 ヤスジ(漫	6月14日	56歳)
安西 啓明(日	1月11日	93歳).....251	千代倉 桜舟(書	12月2日	87歳)
岩橋 英遠(日	7月12日	96歳).....259	堤 圭三郎(美関	4月2日	62歳)
上野 省策(洋	4月7日	87歳)	中井 延也(彫	5月6日	64歳)
魚住 双全(デ	1月4日	59歳)	長沢 節(デ	6月23日	82歳)
岡村 芳男(洋	8月21日	91歳)	中島 洋一(美関	6月21日	84歳)
荻本 松頼(書	3月24日	79歳)	中畑 艸人(洋	9月27日	87歳)
加賀 美勳(洋	2月1日	59歳).....251	中村 龍石(書	5月22日	86歳)
角谷 一圭(工	1月14日	94歳).....251	楢原 健三(洋	8月14日	92歳).....260
角 卓(洋	3月23日	71歳)	成井 弘(洋	3月27日	89歳)
亀井 正道(学	2月25日	71歳)	西川 新次(学	9月18日	78歳).....261
川上 南溟(書	1月13日	83歳)	西村 昭二郎(日	11月25日	72歳).....263
川上 柏翠(書	10月26日	81歳)	野口 ミチオ(写	9月2日	68歳)
川添 智利(建	1月23日	69歳)	濱谷 浩(写	3月6日	83歳).....253
川田 幹(版	10月14日	75歳)	林 美一(学	3月31日	77歳).....254
河野 節夫(写	2月15日	73歳)	東山 魁夷(日	5月6日	90歳).....257
木下 茂徳(学	4月25日	75歳)	比田井 南谷(書	10月15日	87歳)
木村 仲久(写	3月29日	60歳)	人見 友紀(洋	10月5日	59歳)
桐野江 節雄(洋	6月29日	74歳)	平田 峻三(洋	3月17日	86歳)
栗谷川 健一(デ	8月12日	88歳)	府川 俊枝(工	3月1日	87歳)
河野 鷹思(デ	3月23日	93歳)	福島 淳志郎(洋	4月7日	83歳)
古賀 健蔵(学	1月14日	67歳)	藤田 吉香(洋	5月25日	70歳).....258
國領 經郎(洋	3月13日	79歳).....253	本多 静雄(美関	5月6日	101歳)
小林 毅(美関	12月22日	85歳)	正井 和行(日	5月12日	88歳).....258
斎藤 悦子(工	9月21日	71歳)	松下 隆治(彫	5月26日	81歳)
酒井 忠量(その他	7月6日	91歳)	松島 正幸(洋	10月27日	89歳)
酒井 淑夫(写	11月21日	59歳)	松原 三郎(学	5月4日	80歳).....256
榊原 和夫(写	9月22日	74歳)	丸山 岩根(日	8月6日	80歳)
桜田 精一(洋	11月17日	89歳)	三岸 節子(洋	4月18日	94歳).....256
佐治 敬三(美関	11月3日	80歳)	三井 安蘇夫(工	3月25日	88歳)
佐治 賢使(工	6月14日	85歳).....259	光森 正士(学	3月31日	67歳).....254
重森 翠溪(書	5月21日	87歳)	宮本 忠雄(学	1月28日	68歳)
渋谷 栄一(学	7月15日	68歳)	三輪 栄造(工	7月21日	52歳)
清水 要樹(日	12月13日	90歳)	村井 正誠(洋	2月5日	93歳).....251
鈴木 清(学	4月5日	90歳)	村田 数之亮(学	1月22日	98歳)
須藤 駿(デ	5月1日	70歳)	持永 只仁(その他	4月2日	80歳)
砂田 友治(洋	10月12日	83歳)	森 忠一(建	2月25日	90歳)
千 宗安(その他	8月19日	86歳)	森 安なおや(漫	5月21日	64歳)

物故者(平成11年)

安田 識人(その他)	2月22日	79歳)
山本 吉雄(洋)	6月25日	76歳)
山本 彪一(洋)	5月16日	86歳)
横田 忠司(学)	11月29日	54歳)……………264
吉井 忠(洋)	8月5日	91歳)……………260
吉崎 道夫(学)	11月26日	73歳)
吉田 克朗(美)	9月5日	55歳)……………261
吉田 佐源二(デ)	8月23日	74歳)
吉田 蘭 旭(書)	8月29日	77歳)
吉野 広行(洋)	5月25日	83歳)
渡辺 武山(工)	6月29日	83歳)
わち さんぺい(漫)	12月1日	73歳)

凡例:

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成11年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ( )内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。  
日：日本画家、洋：洋画家、版：版画家、彫：彫刻家、工：工芸家、デ：デザイナー、映C：映像・CG、漫：漫画家、書：書家、写：写真家、建：建築家、学：美術史研究者、評：美術評論家、美関：美術関係者、その他：絵本作家・イラストレーター等、美：美術家(前期の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者については、美術家と表記した。
4. 記事が掲載されている物故者については、死亡月日順に掲載し、索引の氏名の横に掲載ページを示した。
5. 各記事末尾の<>内はその記事の著者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。

岡田一岡田健	国際文化財保存修復協力センター
塩谷一塩谷純	情報調整室
島尾一島尾新	美術部広領域研究室
田中一田中淳	美術部黒田記念近代現代美術研究室
津田一津田徹英	美術部広領域研究室
山梨一山梨絵美子	美術部黒田記念近代現代美術研究室

「物故者」 ページ (251～264 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.251-264)

Cut for protection of the personal information

印刷 平成 14 年 3 月 29 日

発行 平成 14 年 3 月 29 日

---

日本美術年鑑

——平成 12 年版——

編集者 東京文化財研究所美術部

発行者 独立行政法人文化財研究所  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園 13-43  
電話 (3823) 2241

印刷 財務省印刷局  
東京都港区虎ノ門 2-2-4  
電話 (03) 3587-4283~9

---

出版助成：東京美術商協同組合寄付金